松本市の公民館

（令和７年度）

松本市教育委員会

◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇もくじ◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇

松本市の概要・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 3

教育の基本計画等・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 4

生涯学習課の概要と重点目標・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 9

生涯学習の推進・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 10

公民館の学びを通した地域づくり・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 14

事業報告・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 17

館長会の事業報告・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 334

主事会の事業報告・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 335

参考資料・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 343

各種名簿・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 344

教育委員会組織図・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 351

社会教育施設・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 353

公民館一覧及び利用状況・・・・・・・・・・・・・・・ 358

公民館関係略年表・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 366

松本市公民館条例・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 376

松本市公民館運営審議会規則・・・・・・・・・・・ 392

Mウイング文化センター
運営委員会設置要綱・・・・・・・・・・・ 394

松 本 市 の 概 要

1　市の沿革

松本市は、長野県のほぼ中央部西側に位置し、西は中部山岳国立公園に包含される日本アルプスの連峰を望み、東は美ヶ原高原に続く地域で、多くの河川による扇状地などから形成されています。

平安時代中期に編まれた『和名類聚抄（わみょうるいじゅしょう）』には、信濃の国府の所在地が筑摩郡と記され、この頃にはすでに政治文化の中心地であったことが分かります。江戸時代には、松本城を中心とした６万石の城下町として発展し、産業の町としても繁栄しました。

明治４年、廃藩置県により筑摩県となり、明治９年長野県と合併するまで県庁が置かれました。明治４０年には市制を施行し、その後隣村との合併等を経て、長野県の産業・文化の中心地として大きく飛躍してきました。

平成１２年１１月１日には特例市の指定を受け、地方分権の推進と個性豊かなまちづくりを進め、平成１７年４月の四賀村、安曇村、奈川村及び梓川村との合併、また、平成２２年３月の波田町との合併により、新たな松本市として歩み始めました。

令和３年４月１日には中核市に移行し、県から新たに約２，３００の事務権限の移譲を受け、多様化する市民ニーズに迅速かつ的確に対応するとともに、自立した行政運営を図りながら、２０年、３０年先を見据えた持続可能なまちづくりを進めています。

2　市の位置・面積（基準　松本市役所）

位　　置　　東経 137° 58′ 19″　　北緯 36° 14′ 17″
面　　積　　978.47 ㎢
広　　さ　　東西 52.2 ㎞　　南北 41.3 ㎞
標　　高　　592.21ｍ

3　面積と人口の推移（各年５月１日現在）

年	面積（㎢）	世帯数（世帯）	人口（人）			人口密度（人口／㎢）	備　　考
			総数	男	女		
明治 40 年	12.17	6,641	31,866	15,667	16,199	2,618	市制施行
大正 5 年	12.17	8,374	42,737	21,031	21,706	3,512	
大正 9 年	12.17	9,541	49,607	23,271	26,336	4,076	第 1 回国勢調査
昭和 5 年	18.80	14,648	72,165	35,797	36,368	3,839	大正 14 年 1 村合併による
昭和 20 年	19.87	16,753	76,532	35,080	41,452	3,852	昭和 18 年 1 部合併による
昭和 30 年	214.85	30,925	145,228	71,047	74,181	676	昭和 29 年 13 カ村合併による
昭和 35 年	226.14	34,800	148,710	71,626	77,084	658	
昭和 40 年	226.20	39,789	154,131	73,840	80,291	681	
昭和 45 年	226.20	45,421	162,931	78,733	84,198	720	
昭和 50 年	264.30	55,007	185,595	89,886	95,709	702	昭和 49 年本郷村との合併による
昭和 55 年	264.30	60,594	192,085	93,731	98,354	727	
昭和 60 年	264.60	64,192	197,340	96,803	100,537	746	
平成 12 年	265.87	80,367	208,056	102,430	105,626	782	特例市の指定を受ける
平成 17 年	919.35	90,308	228,376	112,211	116,165	248	四賀村･安曇村･奈川村･梓川村との合併による
平成 22 年	978.77	98,597	243,055	119,182	123,873	248	平成 22 年 3 月波田町との合併による
平成 25 年	978.77	101,604	243,064	119,131	123,933	248	
平成 26 年	978.77	102,275	242,458	118,684	123,774	247	
平成 27 年	978.47	102,834	241,846	118,375	123,471	247	
平成 28 年	978.47	103,350	241,279	118,161	123,118	247	
平成 29 年	978.47	104,070	240,470	117,740	122,730	246	
平成 30 年	978.47	104,971	239,757	117,427	122,330	245	
令和元年	978.47	105,681	238,990	116,974	122,016	244	
令和 2 年	978.47	106,452	238,249	116,733	121,516	243	中核市に移行する
令和 3 年	978.47	107,422	237,617	116,465	121,152	243	
令和 4 年	978.47	108,059	236,640	115,975	120,665	242	
令和 5 年	978.47	109,006	235,933	115,691	120,242	241	
令和 6 年	978.47	109,886	234,740	115,088	119,652	240	
令和 7 年	978.47	110,327	233,100	114,244	118,856	238	

資料：ＤＸ推進本部

教　育　の　基　本　計　画

1　第３次松本市教育振興基本計画

⑴　「子どもの育ちと市民の学びを支える学都松本」の実現に向けて

ア　策定の趣旨

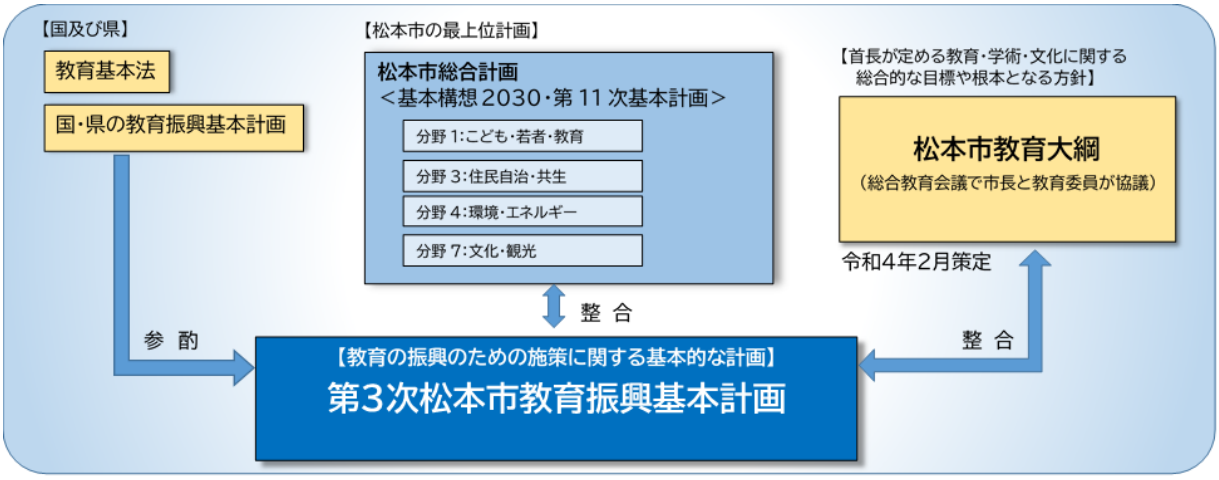
令和４年６月、松本市の教育の目指すべき方向性及び目標を明らかにし、その目標ごとの具体的な事業などを定めた第３次松本市教育振興基本計画「子どもの育ちと市民の学びを支える学都松本」を策定しました。

この計画は、『学びに、遊びや体験を。生涯を通じた学びを保障する松本まるごと学都構想』を具現化するため、各分野の方針ごとに【現状と課題】【施策の方向性】【主要事業一覧】の３つで構成されています。

急速に変化する社会情勢や、多様化する市民ニーズ（アンケート調査結果など）を踏まえて【現状と課題】を概括し、今後５年間の計画期間で特に重点的に取り組む【施策の方向性】を記載しています。また、【主要事業一覧】は、【施策の方向性】に関連する既存（令和３年度）の事業を一覧で掲載しています。

イ　位置付け

第２次計画の策定から５年が経過し、教育を取り巻く環境が目まぐるしく変化する状況の中、松本市の教育・学術及び文化の振興に関する総合的な施策の目標や根本となる方針として、令和４年２月に市長が新たに教育大綱を策定しました。この教育大綱と整合を図り、市民アンケート等を基にして、これからの松本市の教育の目指す姿を見据え、新たに第３次の教育振興基本計画を策定しました。



⑵　基本的理念　～子どもの育ちと市民の学びを支える学都松本～

生きることは学ぶこと。学ぶことは生きること。
自分らしく生きるために欠かすことのできない学び。
そのためには、一人ひとりのいのちの尊厳が守られなければなりません。
すべての人が互いを認め合い、自分らしく生きていく、その権利を保障していく。
すべての人がさまざまな経験を積み重ね、自分らしい学びを深めていく、その機会を保障していく。

松本市は「子どもの権利に関する条例」を制定し、「すべての子どもにやさしいまち」を目指しています。
子どもにやさしいまちは、すべての市民にとっても、魅力あるまちとなります。
大人は、子どもの声に耳を傾け、その思いや気持ちを受け止め、健やかな育ちと豊かな学びを支えていく。
子どもも大人も、生涯を通じて学び続け、ともに成長し、自分らしく生きていく。
松本市は、「子どもの育ちと市民の学びを支える学都松本」を実現していきます。

⑶　特徴

ア　組織を横断する複合的な体系

第３次計画では、常に組織横断的な視点をもって各種事業を推進することを大切にしていきます。そこで、複数の担当課が一つの事業を連携・協働して推進する姿勢を複合的な体系図として示すこととしました。

イ　遊びや体験の重視

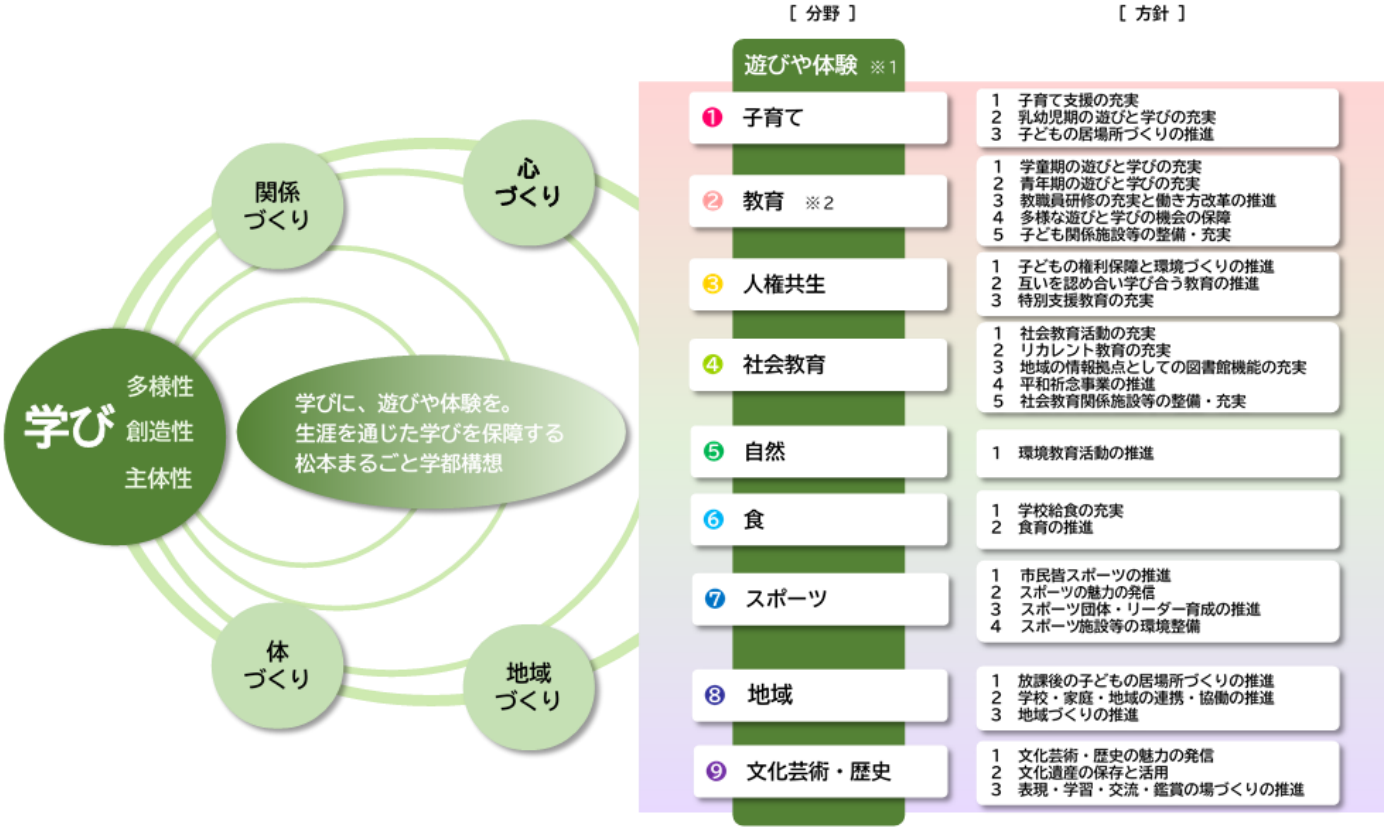
私たちは、学びを支える「楽しさ」を奪い、子どもにとっての豊かな学びの可能性を狭めてこなかったでしょうか。

学びを動かしていく原動力には、もっと知りたい、もっと深めたいという興味・関心や好奇心があります。

夢中になって遊ぶこと（遊育）。他者との関わりのなかで心を動かされること（情動）。

こうした経験の積み重ねが、学びに対する意欲を喚起し、多様性・創造性・主体性を育む資質や能力の育成につながっていくものと考えます。

そこで、第３次計画では、教育にかかわるすべての事業を、「遊び」や「体験」の要素を意識して推進していくこととしました。



2　松本市教育大綱

令和４年２月１４日に総合教育会議を開催し、教育長及び教育委員との協議を経て、教育の目標や施策に関する根本的な方針として、市長が松本市教育大綱を策定しました。教育の具体的な計画は、教育大綱との整合を図り教育振興基本計画で定めています。

⑴　学都松本の主人公は子どもです

すべての子どもは、かけがえのない存在です。

すべての子どもは、自ら学び、成長していく力を持っています。

すべての子どもは、生まれ育った環境などに左右されることなく、学びの機会が保障されなければなりません。

すべての子どもが、健やかに成長していく。

すべての子どもが、自由に自分を表現していく。

すべての子どもが、身近な大人の支援を受けることができる。

そして、すべての子どもの違いが、「自分らしさ」として認められていく。

学都松本は、「すべての子どもにやさしいまち」をめざします。

⑵　学都松本のシンカ

子どもは、さまざまな経験を通じて、日々成長していきます。

大人は、子どもの声に耳を傾け、その思いや気持ちを受け止め、健やかな育ちと豊かな学びを支えていきます。

そして、子どもも大人も、生涯を通じて学び続け、ともに成長し、自分らしく生きていくことを叶えていきます。

松本市は、「子どもを主人公とし、その学びを地域社会全体で支えること」を学都松本の根本に据え、先人たちが築き上げてきた礎のもと、「学都松本のシンカ」に挑んでいきます。

⑶　学びの３つの視点

子どもを主人公とする学都松本では、「多様性」「創造性」「主体性」を大切にしていきます。

この３つの視点には、「これからの社会を創る子どもたちに大切な価値として受け止めてほしい」という子どもへの期待と、「学びの環境を整え支えていく支援者の大人に常に心に留めてほしい」という大人への期待が込められています。

「多様性」一人ひとりの個性や能力を尊重した多様な学び

「創造性」未来を切り拓き、新しい価値を生み出す創造的な学び

「主体性」自己や他者と対話しながら、社会に参画する主体的な学び

3　教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価（開始年度　平成２１年度）

地方教育行政の組織及び運営に関する法律第２６条に基づき、毎年、教育委員会の教育に関する事務の管理及び執行の状況について点検及び評価をしています。

点検及び評価にあたっては、各課で年度末に事務事業の総括と自己評価を行い、外部意見を聴取したうえで教育委員会の改善方針をまとめ、市議会への報告と市ホームページへの公開をしています。外部点検及び評価については、松本市教育委員会事務点検評価委員会を設置し、当該委員会の委員の職務としています。

４　学都松本推進事業

⑴　趣旨

教育振興基本計画に基づく「学都松本」を実現するため、令和６年度までは学都松本推進協議会、令和７年度からは社会教育委員等との協議を通じて、市民協働で学都松本推進事業に取り組んでいます。あらゆる機会を捉えて「学都松本」を市民に周知し、生涯にわたる市民の学びの機会を広めるとともに、学びの環境づくりを進めています。

⑵　学都松本推進事業

平成２４年度からメイン事業として学都松本フォーラムを開催してきましたが、令和５年度に、市民の日常の学びの充実を目指して「多様な連携」や「遊びや体験」による多彩な事業を通年で開催する形態に改めました。

年月日	種別	会場	内容
H24.9.2（日）	第１回学都松本フォーラム	あがたの森文化会館など	⑴テーマ　学都松本をめざして ⑵予算　350 千円 ⑶内容　基調講演・パネルディスカッション、展示（13）、催事（9）など ⑷参加者　1,730 人
H25.9.7（土） 9.8（日）	第２回学都松本フォーラム	あがたの森文化会館など	⑴テーマ　学びでつながる　わたしたち ～共に学び、次代に引き継ぐために～ ⑵予算　780 千円 ⑶内容　基調講演・パネルディスカッション、展示（12）、催事（18）、同時開催イベント（子どもプレイパーク、サタデーコンサートなど） ⑷参加者　1,180 人
H26.9.6（土） 9.7（日）	第３回学都松本フォーラム	あがたの森文化会館など	⑴テーマ　日々の学びへの気づき ⑵予算　1,020 千円 ⑶内容　全体会（委員長講話、松商放送部発表、トークセッション）、食育講演会、スポーツシンポジウム、展示・催事（19）、同時開催イベント ⑷参加者　1,943 人
H27.9.5（土） 9.6（日）	第４回学都松本フォーラム	あがたの森文化会館など	⑴テーマ　“ひとり”から“みんな”の学びへ ⑵予算　1,450 千円 ⑶内容　基調講演会：池上彰氏「学び続ける力、伝える力」、食育講演会、語り場、催事展示(22)、食と学びのブース(7)、同時開催イベント ⑷参加者　2,703 人
H28.9.3（土） 9.4（日）	第５回学都松本フォーラム	あがたの森文化会館など	⑴テーマ　「学ぶ」って　おもしろい！ ～ふくらむ　つながる　ひろがる～ ⑵予算　1,320 千円 ⑶内容　基調講演会：高橋源一郎氏（100 年後の 14 歳へ贈る「ことば」）、食育講演会、分科会(7)、催事展示、食と学び含む(37)、同時開催イベント ⑷参加者　2,577 人

H29.9.2（土） 9.3（日）	第６回学都松本フォーラム	あがたの森文化会館など	⑴テーマ　「学ぶ」って　おもしろい！ ⑵予算　1,270 千円 ⑶内容　基調講演会：天達武史氏（天気の達人が語る学び　私が気象予報士をあきらめなかった理由）、分科会(4)、催事展示（21）、同時開催イベント ⑷参加者　2,041 人
H30.9.22（土） 9.23（日）	第７回学都松本フォーラム	Ｍウイング・中央体育館	⑴テーマ　「学ぶ」って　おもしろい！ ⑵予算　1,320 千円 ⑶内容　基調講演会：柳田理科雄氏（考えることは楽しい、だから科学はおもしろい）、催事展示（22）、同時開催イベント ⑷参加者　1,036 人
R 元 9.21（土） 9.22（日）	第８回学都松本フォーラム	Ｍウイング・中央体育館	⑴テーマ　どこにでも学びはある。 ⑵予算　1,230 千円 ⑶内容　基調講演会：今泉忠明氏（愛すべき“ざんねんないきもの”と進化）、催事展示（18）、同時開催イベント、第 1 回具だくさんみそ汁コンテスト） ⑷参加者　1,042 人
R2. 9.19(土) 9.20（日）	第９回学都松本フォーラム	あがたの森文化会館	※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため開催中止。「学都松本・教育 100 年を語る会」を 3 回開催（オンライン、動画配信によるもの）
R4. 2.12(土) ～2.20(日)の休日	学都松本フォーラム 2022	勤労者福祉センター・オンライン	子どもが楽しめるオンライン型体験講座、子どもや大人誰でも参加できるミニ講演会を開催。
R5. 2.19（土） ～3.5(日)の休日	学都松本フォーラム 2023	勤労者福祉センターほか	⑴予算　300 千円 ⑵内容　映画観賞会「夢みる小学校」、まち歩き（レトロな建物、城下町、古写真）、ワークショップ（フラワーアレンジメント、毛糸ボンボン、紙ひこうき、木の花、七夕人形） ⑶参加者　268 人
R5.11.18(土) ～R6.3.2(土)までの 9 日間	令和５年度学都松本推進事業	博物館ほか	⑴予算　300 千円 ⑵内容　まち歩き、施設見学、食育体験、映画観賞会、講演会など 9 事業 ⑶参加者　271 人
R6.5.18(土)～ R7.3.20(木)までの 30 日間	令和６年度学都松本推進事業	博物館ほか	⑴予算　300 千円 ⑵内容　文化財・施設見学、食育体験、映画観賞会、講演会など 15 事業 ⑶参加者　590 人

4　令和７年度　生涯学習課概要及び重点目標

⑴　生涯学習課・中央公民館

ア　概要

地域住民・民間組織・行政等の「多様な主体」が、お互いを尊重しながら学び合い、「自分たちの地域は自分たちで創る」という自治意識を育んでいくため、地域課題を解決するための場づくりや幅広い世代・立場の住民の主体的な地域参画、住民ニーズを反映した事業の推進などに取り組みます。

イ　重点目標の内容

(ｱ)　コミュニティ・スクール事業の質の向上

地域・保護者・学校等が子どもや地域に対する願いや思いを共有し、連携・協働する「コミュニティ・スクール事業」を推進します。また、学校の負担軽減、関係者の連携強化、事業内容の充実をさらに進めるため、国型制度のコミュニティ・スクール導入校の他地域への横展開を検討します。

(ｲ)　子ども・若者に身近な公民館の推進

子ども・若者が、公民館をより身近に感じ、公民館や地域との顔の見える関係を構築していくため、放課後や休日に自由に集える居場所づくりを進めます。また、多様な人々との交流を通じて主体的に学んでいくため、ニーズを反映したイベントや学習の場を、子ども・若者との協働により企画します。

(ｳ)　公民館活動への多様な住民参加

様々な考えを持った多様な人や団体が、学びや地域づくりの場として公民館を活用するために、義務感や負担感でなく、やりがいや楽しみを感じながら事業を進めるよう、公民館活動の内容や手法を見直します。また、多様な学びを支え、誰もがデジタル社会で活躍できる社会へつなげるために、インターネットを活用した情報発信やＩＣＴの活用支援を進めます。

(ｴ)　池上百竹亭の在り方検討

日本の伝統を伝える和室や茶室を有し、松本城近傍の立地条件から観光施設としての需要も見込まれる池上百竹亭について、観光施設等の生涯学習施設以外の用途での活用を検討します。

(ｵ)　あがたの森文化会館運営体制の見直し

あがたの森文化会館として活用している重要文化財旧松本高等学校本館及び講堂を適切管理していくための体制を見直します。併せて、生涯学習施設としてのあがたの森文化会館の管理運営業務に指定管理者制度を導入することを検討します。

生涯学習の推進

1　概　　要

近年の急激な社会構造の変化（少子高齢社会・情報化社会等）を背景とした学習需要の多様化に伴い、社会教育行政においては、身近な生活の場所で誰もが、いつでも、自由に学習機会を選択して学ぶことができるよう、ハード、ソフト両面の条件整備が求められています。

そこで、松本市教育振興基本計画に掲げる、「子どもの育ちと市民の学びを支える学都松本」の実現に向け、多世代の多様なニーズに応じた学習機会や施設等の充実を図り、誰もが豊かな人生を送り、活躍できる生涯学習社会を目指します。

2　重点施策

⑴　生涯学習の推進

ア　学習情報の収集と提供

イ　地域の人的・物的資源の発掘と連携による特色ある地域づくりの促進

ウ　自発的活動の支援

エ　生涯学習の啓発

オ　市民活動などのコーディネート

⑵　社会教育施設の整備等

ア　地区公民館等の整備・改修

イ　町内公民館の整備促進

3　事業の内容

⑴　公民館活動の推進（「Ⅱ 公民館の学びを通した地域づくり」参照）

社会教育・地域づくりの拠点として公民館を活用・整備し、学習機会の充実と松本らしい地域づくりを目指した活動を推進しています。

⑵　生涯学習の推進

ア　松本市出前講座「いい街つくろう！パートナーシップまつもと」の実施

（ｱ）　経過

市民と職員がパートナーとなり、協働して街づくりを進めるため、出前講座を開講しています。市が行っている業務や政策の中から、市民の生活に密着したものなど１４４講座をメニュー化し、要望に応じて担当職員等が地域に出向き講座を実施しています。

（ｲ）　現状

市の関係課等の協力を得て、講座の新設や見直し等を行っています。

令和６年度実績　４９７回　２０,５８９人参加

実施した主な講座は、交通安全、防災、子育て、健康等

イ　生涯学習情報誌「学びの森いんふぉめーしょん」の発行

市民の生涯学習活動を支援するため、生涯学習支援登録団体及び関係機関の情報を収集して、町内回覧、公共施設での配布及び市ホームページにより情報提供を行っています。

(ｱ)　発行回数

年３回（５月、９月、１月）

(ｲ)　主な掲載内容

・生涯学習情報　　……　市民が参加できるイベントに関する情報

・生涯学習ファイル　……　市内近郊で活動している団体の会員募集情報

ウ　生涯学習支援登録制度による情報提供

市民の多様な生涯学習を支援するため、地域に在住する専門的な知識・経験を有する指導者や自発的活動を行っているグループ等の情報を登録し、市ホームページ等を利用した情報提供を行っています。

［登録数］（令和６年度末現在）

指導者　１５９名、グループ　３８８団体

エ　若者の居場所「フリースペース」開設

若者の居場所として、中央公民館２階フリースペースを開放するとともに、地区公民館では３地区（松南･四賀･梓川）に加えて、令和６年度から新設した７地区(庄内･第三･城東･白板･島内･芳川･寿)でも引き続き開放します。

(ｱ)　利用者数（人）

	中央	松南	四賀	梓川	庄内	第三	城東	白板	島内	芳川	寿
R4	6,409	213	－	700	－	－	－	－	－	－	－
R5	12,649	674	－	2,220	－	－	－	－	－	－	－
R6	22,532	1,582	947	3,605	303	1,867	3	64	7	46	16

⑶　社会教育施設の整備等

社会教育・地域活動の充実に寄与することを目指して、中央公民館及び地区公民館（３５館）等の社会教育施設を整備しています。重点課題として施設の機能維持、ユニバーサルデザインの導入、エコ改修に取り組んでいます。

ア　社会教育施設等の整備状況（令和６年度実施）

区分	事　業　名	事　業　内　容	事業費（千円）
社会教育施設	Mウイング整備事業	中間改修第３期工事（全４期）を行いました。 個別施設計画に基づき、中間改修の実施設計を行いました。	155,265
	Mウイング中間改修工事実施設計		7,260

イ　町内公民館整備補助金

町会が所有・管理する町内公民館の整備等について、補助金による支援を行い、一定の負担軽減を図ります。また、整備等による各施設の機能維持・充実をとおして、町会における社会教育、その他多様な住民活動に寄与します。

令和３年度から、一般改修の補助率を現行の１／２から２／３へ引き上げ、解体補助(補助率１／２、限度額２００万円)を新設する等の要綱改正を行い、支援の充実を図っています。

(ｱ)　町内公民館整備補助金交付制度概要（令和７年度）

区　　分			補 助 率	限　　度　　額
建物	新 築	未設置町会等	2／3	1,000 万円（福祉関連含む）
		既設置町会等	1／2	1,000 万円（福祉関連含む）
	改　　築		1／2	1,000 万円（福祉関連含む）
	増　　築		1／2	600 万円 ただし、新改築時補助を受けている場合は、400 万円
	改　　修		2／3	一般改修（500 万円）
			2／3	福祉関連・耐震補強（500 万円）
	既設置建物取得		1／2	800 万円
	未設置建物取得		2／3	1,000 万円
土地	敷　地　取　得		2／3	1,000 万円 （建築基準法に基づき適正面積で計算）1 回のみ
借　地　・　借　家			1／2	5 万円
解　体　除　却			1／2	200 万円

※　ただし、２館目以降の限度額は、上記の金額の８割とする

(ｲ)　補助金交付件数

年度	新築	改築	増築	改修	解体	取　得		福祉	耐震	借地	借家	合計件数	金額
						建物	敷地						
	件	件	件	件	件	件	件	件	件	件	件	件	千円
R4	0	1	0	97	1	0	0	12	1	33	2	147	81,275
R5	1	1	1	73	3	0	1	7	0	33	2	122	98,648
R6	0	2	0	105	3	0	0	9	0	33	3	155	108,366

ウ　重要文化財旧松本高等学校校舎耐震化事業

平成２２年度に実施した耐震予備診断の結果において、基準値を満たさない項目があったため、文化庁が定めた「重要文化財（建造物）耐震診断指針」に沿い、耐震化事業を行いました。

平成２６・２７年度に耐震基礎診断を実施。平成２８年度は壁の耐久力実験を行い、データに基づいた補強案を作成しました。また、重要文化財旧松本高等学校保存活用計画策定委員会を設置し、建物の保護と活用の方針を検討し、防災計画を含めた保存活用計画の策定をしました。

平成２９年度は文化庁指導のもと、「糸魚川-静岡構造線断層帯」を起因とする地震動を考慮した追加の耐震基礎診断を実施し、その結果を踏まえた耐震補強工事の実施設計を行いました。

平成３０年度から令和２年度まで講堂、令和２年度から５年度まで本館の耐震補強工事を実施し、令和６年度に耐震工事報告書を作成・刊行し、耐震化事業の記録及び成果を広く周知・公開しました。

⑷　青少年ホームの活動

平成２７年に勤労青少年福祉法が改正され、勤労青少年ホームの設置根拠が削除されたことに伴い、条例を改正して、平成２９年４月から名称を松本市勤労青少年ホームから松本市青少年ホームと改称し、対象者を３５歳未満の勤労青少年から１５歳以上３５歳未満の青少年一般としました。なお、令和７年度からは市長部局こども若者部若者参画課に移管されました。

若者が気軽に集まれる魅力ある居場所づくりを通じ、自分づくり、仲間づくりを進めるとともに、ひきこもりの若者を含め、社会で生きていく力を培うことを支援しています。

また、若者が成長し社会で活躍できるように、若者の多様な社会参画を進めています。

ア　コーディネーターと連携し、若者が参加しやすい講座・イベントの実施

イ　若者に人気のある運動・文化系の講座「ヤングスクール」の実施

ウ　青少年の将来の選択肢を広げることを目的としたキャリアアップセミナーの実施

エ　若者が自由に過ごし、交流できるゆるやかな居場所スペースとして「若者カフェ」の開設

オ　ひきこもりの若者に対し、家族及び支援者、地域住民が気持ちを理解し、支援することを目的とした「ひきこもり支援研修会」の実施

カ　若者がまちづくりに参加するためのスキル養成と発表を行う「松本若者会議」の参加・協力

キ　青少年ホーム利用者の会の自主活動、所属クラブの育成・支援

ク　若者の職業生活や人生問題等に関する相談事業「若者お悩み相談室」の開設

ケ　二十歳の対象者で構成する実行委員会による、ハタチの記念式典の企画、運営の実施

青少年ホームの活動状況

年度	登録者数（人）	平均年齢（歳）	開館日数（日）	利用状況（人）		
				計	ホーム	体育館
R4	167	27.4	297	6,149	3,820	2,329
R5	185	27.7	295	6,275	3,610	2,665
R6	162	27.2	291	6,115	3,490	2,625

⑸　松本市ハタチの記念式典

二十歳の方々の門出を祝い励まし、故郷松本の良さを再認識することで、将来松本にＵターンし活躍する若者を増やすことを目的に、毎年開催しています。平成２９年度（平成３０年松本市成人式）から、教育委員会が担当で取り組みました。また、令和７年度からは、市長部局こども若者部若者参画課に担当が移管されました。

ア　年度別参加者

年度	令和３年度（令和４年成人式）	令和４年度（ハタチの記念式典）	令和５年度（ハタチの記念式典）	令和６年度（ハタチの記念式典）
参加者	1,801 人	1,740 人	1,736 人	1,705 人

イ　成年年齢引き下げについて

令和４年４月１日から成年年齢が１８歳に引き下げられたことに伴い、これまで「成人式」として行ってきた式典について、令和５年１月開催式典から、「ハタチの記念式典」に名称を変更しました。対象については、従来通り成人の日の前年４月２日からその年の４月１日までに２０歳になる方を対象としています。

公民館の学びを通した地域づくり

1　概　　要

超少子高齢型人口減少社会に対応したまちづくりへ向け、主役である市民が身近な地域で学び、考え、具体的に実践する機会が必要となっています。

一方地域では、地域連帯意識の希薄化や価値観の多様化、家庭機能の低下など、課題の増大化・複雑化に伴い、行政・地域だけで解決することが困難な状況となっています。

このような現状の中で、本市の公民館は松本市教育振興基本計画のもと、市民一人ひとりの幅広い学習や活動を支援し、「総合的な地域づくりの拠点」としての役割を担う体制づくりを進めるとともに、学習活動などを通じて地域課題と向き合い、市民自らが地域課題の解決に向けた学習機会を充実させ実践していく、「松本らしい地域づくり」をめざした公民館活動を展開します。

2　重点施策

⑴　松本らしい地域づくりの創造に向け、住民自治と地域連帯を育む学習機能の充実を図ります。
⑵　人権尊重のための学習活動を進めます。
⑶　男女共同参画社会をめざして、女性問題等解決のための啓発学習を進めます。
⑷　少子高齢・国際・情報化社会に対応する学習活動の推進を図ります。
⑸　町内公民館の振興と活動支援を図ります。
⑹　住民主体の公民館活動推進のリーダーとなる公民館委員の組織強化を図ります。
⑺　ふるさとづくり、まちづくりのため、地域の歴史の掘り起こしと伝承文化の振興を図ります。
⑻　住民の自治能力を高めるための学習活動を進めます。
⑼　市民のニーズに合わせた生涯学習活動の推進のための支援体制の整備を行います。
⑽　次代を担う青年の学習・相談、クラブ活動等の場の提供と講座・行事を開催します。

3　公民館事業の概要

⑴　令和７年度中央公民館主要事業計画

項　目	主な事業名	実施時期	事　業　内　容
第４１回公民館研究集会（未来へつなぐ私たちのまちづくりの集い）		２月	住民・大学・ＮＰＯ等や市関係部局の幅広い参画により、自治を基盤とした協働の実践事例を題材に、自治力の必要性や高め方、協働のあり方等について考える集会を開催
町内公民館長研修会		通年	町内公民館長の資質向上のための研修 ・新任町内公民館長研修会（６月） ・ブロック別研修会（７月～８月） ・ほか理事研修など（随時）
地域交流・まちづくり事業	聴覚障がい者と学ぶ成人学校	１０月～２月	障がい者とともに暮らす地域づくり事業
	手話教室	５月～２月	初心者を対象にした、やさしい日常会話からの手話教室と、通訳者レベルを見越した中級者教室、高校生向け手話教室を開催
	第１５回こいこい松本−松本国際ふるさと祭り	６月	多文化共生社会の実現をめざしたふれあい交流会
日本語講座		通年	日常生活に必要な日本語の習得及び学習を通じて相互理解を深める
木曜午前日本語教室		通年	日常生活に必要な日本語の習得及び学習を通じて相互理解を深める
松本みんなのにほんご教室		４月～２月	学齢期を過ぎた外国由来の青少年への学習支援、就学・就労希望の外国籍住民への日本語支援

項　目	主な事業名	実施時期	事　　業　　内　　容
コミュニティ・スクール事業		通年	子どもたちを地域全体で見守り育てる「地域とともにある学校づくり」を目指す（市内全地区／35 地区で実施）
松本市出前講座		通年	より開かれた市政と、市民と協働のまちづくりを推進
第２５回松本手まり時計まつり		５月	Ｍウイング公益施設及び利用団体がタイアップして実施
文化活動	芸術文化祭	４月 ～３月	第６６回松本市芸術文化祭
	公民館活動発表会	５月	第４７回松本市公民館活動発表会（ステージ部門・展示部門）
	お城盆踊り	８月	第７７回お城盆踊り
広報活動	公民館報の発行	年６回	全市版、地域課題や学習資料の提供
	資料集等の作成	通年	公民館活動資料
	人権教育	通年	学級講座、各地区懇談会等
町内公民館活動	松本市町内公民館館長会	通年	住民の自主的な社会教育活動推進への援助

⑵　令和７年度各公民館共通事業

項目	実　施　内　容	主な事業内容
人権教育	人権教育をあらゆる事業の中に入れ、差別を許さない、差別をしない明るい社会づくりを進めます。	学級講座、各地区懇談会、町内懇談会、隣組単位集会、各種指導者研修会、各種啓発事業
町内公民館活動の推進	町内公民館の自主的な活動の推進を図るため各町会へ委託料を交付するとともに、館長研修会、町内公民館との共催講座等を実施します。	町内公民館振興業務委託 町内公民館長研修会 町内公民館学級講座
芸術文化活動	市民の自主的な芸術文化活動の助長を図り、更に芸術文化の香り高い市民性の涵養と親睦を深めます。	地区文化祭、史跡の愛護保護、盆おどり、伝承文化の継承
スポーツ活動	スポーツを通し、健康の保持、スポーツの向上を図るとともに地域社会づくりの協調性を養い、親睦を深めます。	市民スポーツ大会参加、地区運動会、各種スポーツ大会の開催、スポーツ教室の実施
視聴覚教育	各種講座及び町内公民館活動等の中に視聴覚機材の活用を積極的に図ります。	DVD・Youtube・パソコン等の活用、映画会等の開催
広報活動	学習課題や地域住民のための身近な資料の提供や、住民の意向を反映させる館報等の発行	各地区版公民館報隔月年 6 回発行 各種お知らせ（公民館ニュース他）
地域づくり	地域の課題を共有し、課題解決へ向けた学習と実践を展開しながら、地域連帯を育みます。	地域交流ネットワーク事業として、地域資源や機能を活用した総合的な地域づくりを展開 地区担当職員による学習会の実施
青少年教育	各地区子ども会育成会などと連携を密にし、地域ぐるみで次代を背負う青少年の健全な育成活動を推進します。	松本子どもまつり参加、講演会、各種スポーツ大会、映画会、遊びと伝統行事の伝承等事業
図書活動	図書館の配布所として各公民館に 300～800 冊の本を配布し巡回方式により、住民に提供します。 図書館との連携を図りながら町会を単位とする身近な文庫活動を支援します。	地区公民館配本、町会文庫配本 こども文庫活動促進 読み聞かせ、創作絵本活動 パネルシアターの実施
食育事業	食生活の改善など自ら「食」の在り方を学ぶことにより生涯にわたって生きいきと暮らすことを目指します。	料理教室、食に関する講演会、地域食生活改善協議会・健康づくり推進員等との連携による事業の展開

－ 令和６年度 公 民 館 事 業 報 告 －



中央公民館…… 18	白板地区公民館… 109	和田公民館…… 175	里山辺公民館…… 254
第一地区公民館… 28	田川公民館…… 116	神林公民館…… 183	今井公民館…… 263
第二地区公民館… 37	庄内地区公民館… 122	笹賀公民館…… 192	内田公民館…… 273
第三地区公民館… 47	鎌田地区公民館… 128	芳川公民館…… 202	本郷公民館…… 281
東部公民館…… 56	松南地区公民館… 136	寿公民館…… 212	四賀公民館…… 290
城北公民館…… 64	島内公民館…… 140	寿台公民館…… 220	安曇公民館…… 306
大手公民館…… 75	中山公民館…… 147	松原地区公民館… 226	奈川公民館…… 312
安原地区公民館… 88	島立公民館…… 153	岡田公民館…… 235	梓川公民館…… 318
城東公民館…… 100	新村公民館…… 160	入山辺公民館…… 242	波田公民館…… 326

令和６年度　事業報告の概要

中央公民館

方針・地域課題・重点的に取り組んだ事項等	評価・反省等
【方針・地域課題】 「公民館の学びを通じた地域づくり」 超少子高齢型人口減少社会に対応したまちづくりに向け、主役である市民が身近な地域で学び、考え、具体的に実践する機会が必要となっています。 また地域では、地域連帯意識の希薄化や価値観の多様化、家庭機能の低下など、課題の増大化や複雑化に伴い、行政だけの解決、また地域だけで解決することが困難な状況となっています。 このような現状の中で、本市の公民館は松本市教育振興基本計画のもと、市民一人ひとりの幅広い学習や活動を支援し、「総合的な地域づくりの拠点」としての役割を担う体制づくりを進めるとともに、学習活動などを通じて地域課題と向き合い、市民自らが地域課題の解決に向けた学習機会を充実させ実践していく、「松本らしい地域づくり」をめざした公民館活動を展開しています。	１　松本らしい地域づくりの創造に向け、住民自治と地域連帯を育む学習機能の充実を図ります。 ２　人権尊重のための学習活動を進めます。 ３　男女共同参画社会をめざして、女性問題等解決のための啓発学習を進めます。 ４　少子高齢・国際・情報化社会に対応する学習活動の推進を図ります。 ５　町内公民館の振興と活動支援を図ります。 ６　住民主体の公民館活動推進のリーダーとなる公民館委員の組織強化を図ります。 ７　ふるさとづくり、まちづくりのため、地域の歴史の掘り起こしと伝承文化の振興を図ります。 ８　住民の自治能力を高めるための学習活動を進めます。 ９　市民のニーズに合わせた生涯学習活動の推進のための支援体制の整備を行います。 10　次代を担う青年の学習・相談、クラブ活動等の場の提供と講座・行事を開催します。

項目	学級講座・学習会等									地域事業			公民館委員会・各種会議等	ＣＳ
	人権平和	福祉健康	子育て	地域文化	環境	趣味教養	スポーツ	防災	その他	体育	文化	その他		
事業数	5	4	2	2	0	0	0	0	5	0	3	0	5	0
延べ参加人数	1477	381	398	23989	0	0	0	0	20641	0	972	0	1885	0

令和６年度　事業報告

中央公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	ＣＳ
第24回松本手まり時計まつり	5月25日 5月26日	1回	地域事業（文化）	その他	3,000人	中心市街地の活性化を図るとともに、Mウイングに集う人たちの新たな出会い・交流を促進する。	公民館利用団体の展示部門発表、ステージ部門発表、Mウイング公益施設関係（松本市女性団体連絡協議会／Mウイング管理組合／公民館活動発表実行委員会）、公共施設関係（人権共生課、ジェンダー平等センター、第一地区地域づくりセンター、第一地区公民館、中央保健センター、中央公民館）、利用団体、市民から構成された実行委員会及び運営委員により運営	例年の催しに加えて、実行委員会企画として、台湾高雄市の小学校と鎌田中学校の吹奏楽部の合同演奏会や、屋外にステージを設置してのライブイベントなどを実施した。次年度の実施に当たって、参加団体同士の交流や更なる参加団体の掘り起こしを行う工夫が必要。手まり時計まつりの母体であった伊勢町振興組合がすでに解散しているので、今後の開催目的等を実行委員会で再確認しつつ、今後の開催を含めて内容を検討していく。	
第46回松本市公民館活動発表会展示部門	5月25日 5月26日	1回	地域事業（文化）	その他	422人	市内公民館で活動するサークル、団体等の活動発表および交流の場。参加団体同士の交流、来場者にサークル活動に興味を持ってもらう。	発表団体の構成員で公民館活動発表会実行委員会を組織。実行委員会は書面にて開催。当日の運営も当番役回りで主体的に行った。	参加団体の高齢化や日程が合わない等により、例年参加団体数が減少している。スタンプラリーの効果もあってか、作品を見てくださる方が多くいたため、来場者にサークル活動へ興味を持ってもらうきっかけになった。次年度の開催にあたり、参加団体を多く募り、活気ある発表会にできるよう工夫していく。	
第46回松本市公民館活動発表会ステージ部門	5月26日	1回	地域事業（文化）	成人	400人	市内公民館とあがたの森文化会館で活動する団体等の活動発表および交流の場とする。	発表団体の構成員で公民館活動発表会実行委員会を組織。実行委員会を３回実施。当日の運営も当番役回りで主体的に行った。	出演団体それぞれが日頃の活動成果を披露し、互いに鑑賞することで、文化や芸術の多様性を感じる機会となった。	
第14回こいこい松本―松本国際ふるさと祭り―	6月23日	1回	地域事業（文化）	その他	550人	・松本市及びその周辺に住む外国人・外国由来の人たちを中心とした交流、ネットワークづくりの場として、お互いの文化に触れ、理解を深め、親睦を図るきっかけづくりとして開催。 ・Mウイングホールにて各国のブースを開設（イタリア・アルゼンチン・インドネシア・英語圏・エジプト・マレーシア・オランダ・ベルギー・韓国・タイ・台湾・中央アジア・スリランカ・中国・ドイツ・フランス・ベトナム・モンゴル）	主催：こいこい松本実行委員会（在住の外国由来の人たち、ＮＰＯ法人中信多文化共生ネットワーク、信州大学生、松本大学生、一般市民など） 共催：中央公民館 実行委員会を組織し企画運営。公民館は実行委員会のサポート役として参画	各国のブースを開設して、中央の空間で踊りや演奏などを実施。ホワイエで物販や民族衣装の試着等を行った。	
中学・高校生向け手話教室	8月6日 8月7日 8月8日	3回	福祉健康	青少年	32人	令和４年度から開催している高校生教室を中学生も受講対象として開催。手話を通じて人間関係を深め、将来に結び付けることを目的に開催。安全性を考慮して昼のみの開催とする。	主催の松本市聴覚障害者協会、市障がい福祉課の手話通訳者コーディネーターと話合いを行った。通訳者は講師が障がい福祉課を通して依頼	市内の中学・高校にチラシを配布したところ、中学生の参加者が多かった。中学生と高校生では理解力に差があるが、今後も教え方を工夫することで、中学生と高校生の両方を対象に実施していく。	

令和６年度　事業報告

中央公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	ＣＳ
第76回「お城盆踊り」	8月14日 8月15日 8月16日	3回	地域事業（文化）	成人	963人	国宝松本城での盆踊りを通じて、市民と観光客がひと夏の思い出をつくるとともに、郷土に伝わる民踊を市民が知って郷土に愛着と誇りをもってもらえるよう開催。また、踊り手の高齢化もあり、地域に伝わる民踊の保全を図る一助とする。踊りをとおして心身ともにリフレッシュを図り、健康寿命の延伸につなげる。	当日、実演する松本レクリエーション協会と、年間をとおして踊りの講習を行うとともに、ゆかたキャンペーン実行委員会と連携し、エクセラン高校の生徒への踊り指導や、広報活動を行った。また８月14日当日の踊り開始前には、エクセラン高校の生徒による生歌と盆踊りを披露する「夕暮れステージ」を実施した。	８月14日のお城盆踊り自体は荒天により中止となったものの、平均来場者数は上昇傾向にある。他課と連携して行ったＳＮＳを活用した広報などは、一定の成果につながったため、引き続き多くの方に来場していただける取り組みを検討していく。	
絵本のなかのお菓子をつくろう！（図書委員会企画）	11月4日	1回	子育て	家庭教育	34人	絵本のなかに出てくるお菓子作り、絵本の読み聞かせを行う。お菓子作りと読み聞かせを通し、子ども達に絵本に触れる機会を設け、図書への興味を持ってもらう。	図書委員会で試作（１回）	申込開始30分程度で定員に達してしまうほど、人気の企画だった。参加した親子からは、お菓子作り・読み聞かせともに楽しかったとの声が多数あり、お菓子作りとともに読み聞かせを行ったことで絵本への興味が広がったと感じる。来年度も図書の普及に向け、イベントの開催を行いたい。	
景観から地域づくりを考えるプロジェクト「看板学講座」	11月19日 11月26日 12月 3日	3回	その他	成人	52人	平成25年から２年間、文部科学省委託事業「公民館等を中心とした社会教育活性化支援プログラム」の一環として開催されたものから始まり、「松本看板学会」として組織したプロジェクトチームにより、看板を切り口にまちの景観を考える講座を展開している。	コーディネーターに倉澤聡氏（都市計画家）、コメンテーターに長谷川繁幸氏（建築士）・高田美果氏（イラストレーター）を迎え、都市計画課と連携するなかで複数回講座の内容等について検討する。	令和６年度では、「看板そうぞう学」と題し、「看板を創るプロ」であるミミー商店店主・表札看板デザイナーの吉江大紀氏を話題提供者に迎えて、「看板の発注」について考え「看板創造」の奥深さに迫った。４つのグループに分かれ、実在する店舗・空想の店舗に設置したい看板について考えるグループワークを行い、アウトプットとして、グループごとにＡ３用紙１枚の「看板注文書」を作成した。	
聴覚障害者と学ぶ成人学校「ボッチャで身体を動かそう！」	1月23日	1回	人権平和	成人	18人	昭和47年の開講当初に掲げた聴覚障がい者の学習権の保障に加え、ろう者と聴者の相互理解を深める場、地域社会の一員として尊重し合える関係づくりに寄与する場として開講。「ボッチャで身体を動かそう」をテーマに実施。令和７年に日本で初めてデフリンピックが開催されることや、パリパラリンピックが開催されたことを踏まえ、松本市聴覚障害者協会による、スポーツに関する手話を学んだり、日本ボッチャ協会公認コーチの指導の下、ろう者と聴者が一緒にボッチャを通じて交流した。	講師は中央公民館から、通訳者及び要約筆記者は障がい福祉課を通して依頼	参加者に占める、ろう者の割合が少なく、学習権の保障や、相互理解の場という目的が十分に達成できているとは言えないため、開催日時を増やすだけでなく、今後は、日頃仕事をしているろう者も参加ができるように休日の開催も検討していく。	

令和６年度　事業報告

中央公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	ＣＳ
未来へつなぐ私たちのまちづくりの集い～第40回公民館研究集会 令和６年度地域づくり市民活動研究集会～	2月16日	1回	地域事業（その他）	成人	330人	「学び」を大切にする松本市の公民館の理念を柱に、住民、市民活動団体、行政職員等の様々な主体が一堂に会し、身近な課題への理解を深め、幅広い議論を通して、気づき、学び合いながら、自分にできることを発見し、実践することを生み出す場として開催 ＜全体会＞ 開会式、パネルディスカッション 演題「地域が動き出す～自治を紡ぐ語り合いの実践から～」 進行：向井 健 氏（松本大学総合経営学部観光ホスピタリティ学科准教授） パネリスト：山岸 勝子 氏（元松本市社会福祉協議会四賀地区センター課長）／髙山 拓郎 氏（島内島高松町会長）／相馬 蕗子 氏（大野川小中学校コミュニティ・スクールコーディネーター） ＜分科会＞６つの分科会を設定 ①いざって時、どう動く？～地域で取り組むお互い様の防災対策と行政との連携～ ②地域は子育て応援団～地域にある子どもの居場所を知ろう～ ③共生社会～違いを力に、共に生きる未来へ～ ④みんなが「集う」場所をつくるには？ ⑤身近な資源を活用した地域づくり ⑥町会のシンカ	市民実行委員及び公民館・関係課職員による実行委員会を組織 ・実行委員会２回（オンライン形式、書面開催） ・準備会　１回 ・分科会世話人会　１回 ・その他、各分科会運営委員会を順次開催 ４月～２月に市民・職員で企画準備	各地域づくりセンター経由で地区関係職員（公民館、福祉ひろば等）へ各地区で取り組む地域課題の解決や地域の活性化に取り組む活動実践事例調査を実施し、その結果を参照し、分科会テーマを選定した。また、会場については各分科会のテーマに即した会場を選定し、中央公民館会場のほかに、第三地区公民館（②子育て）や笹賀地区にあるＪＡＺＺ喫茶（⑤地域資源）といった別会場でも開催することでより効果的な分科会の運営を試みた。集会終了後、各地域づくりセンターを介し、集会内容を還元する流れを構築した。	
学びの森いんふぉめーしょん	5月1日 8月1日 11月1日 2月1日	4回	その他	成人		生涯学習支援登録制度に登録している団体のイベントや会員募集情報を掲載している生涯学習情報誌。年４回（５月、８月、11月、２月）、１回につき13,000部発行。市民に生涯学習関連情報（生涯学習支援登録制度党則団体等の活動情報など）を提供し、市民の多様化した生涯学習活動を補助・促進する。		年４回発行ができ、市民の生涯学習活動を支援するための情報提供ができた。学校施設・市関連施設等への情報提供は、今年度からデータでの送付に変更し、紙媒体の発行数削減に努めた。なお、完全にデジタル化してしまうと、高齢者等インターネット環境がない方には情報が届きにくく、生涯学習の理念から外れてしまうため、今後も紙媒体での発行を続けたい。合わせてデジタルも含め効果的な情報発信を模索していく。	

令和６年度　事業報告

中央公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	ＣＳ
地域に伝わる民踊講習会	4月5日 ～12月6日	14回	地域文化	成人	137人	「お城盆踊り」の踊りの実演者の育成と、地域に伝わる民踊の周知と保存のために開催。地区に地元の民踊が広まるようにしたい。	講師は、松本レクリエーション協会民踊部の会員による。	新規で受講する市民は少ないながらも関心を持って参加している。より多くの市民に受講してもらえるよう、周知方法なども工夫したい。「お城盆踊り」での踊りの実演者の育成という観点では踊りの継承につながる講習会になっている。若者に興味を持ってもらえるよう、広報にも力を入れたい。開催回数を１回増やしたので、今後も継続していきたい。	
中級者向け手話教室「手話で学ぶ手話教室」	5月29日 ～9月18日	20回	福祉健康	成人	275人	ろう者と聴者の橋渡しとなる通訳者の育成を視野に、手話奉仕員養成講座と県の通訳者養成講座の中間的な位置づけで開催。手話奉仕員養成講座修了程度を対象に、手話通訳を配置せずにろう者２名の講師体制で、手話表現及び読み取りの技術向上を目指した。朝・夜の２部制（10回×２部）	主催の松本市聴覚障害者協会、市障がい福祉課の手話通訳者コーディネーターと話合いを行った。	受講者と講師（ろう者）が通訳者を介さずに講義をする形式となっているため、受講者には比較的高いレベルの手話技術が必要となった。途中で離脱する受講者もいたが、全体的には出席率も高く、おおむね満足をいただけた。	
初心者向け手話教室	10月16日 ～ 2月19日	20回	福祉健康	その他	309人	ろう者の生活文化に理解を深めること、手話を学び続けたいという意欲を高めて手話奉仕員養成講座等の次の学習ステップにつなげることを目的に開催。初心者を対象に日常生活に関する基礎的な手話の習得を目指した。朝・夜の２部制（10回×２部）	主催の松本市聴覚障害者協会、市障がい福祉課の手話通訳者コーディネーターと話し合いを行った。通訳者は講師が障がい福祉課を通して依頼	今後手話を生かして仕事に臨むことやろう者との交流に積極的に携わるようにしていきたいという前向きな声も多かったため、今後も継続をしていきたい。 障がい福祉課が開催する手話奉仕員養成講座との接続を考慮して、年度の後半に開催した。	
松本みんなのにほんご教室（共催事業）	4月～2月	70回	人権平和	その他	541人	学齢期を過ぎた外国由来の青少年や就学および就労希望でありながらも日本語が不十分という理由で希望がかなわない外国籍住民を対象に、日本語習得の場として開催 ●毎週月・木曜日　９：30～12：30	ＮＰＯ法人中信多文化共生ネットワークが運営	４つの日本語教室の中で唯一教室形式での日本語支援につとめており、週１回スタッフの勉強会やミーティングを行っている。受講者のニーズが多様化している中、対応できる支援員不足が課題である。	

令和６年度　事業報告

中央公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	ＣＳ
日本老民考	通年	4回	福祉健康	高齢者	40人	世界情勢から日本の政治、戦中・戦後の日本社会、福祉などを切り口に日本の歩みを検証し、老後の生活（生き方）について意見交換する中で、それぞれの生き方を考える。毎月１回第４金曜日に開催する。	手塚英男氏（社会教育実践者／『日本老民考ーさまざまな老いそれぞれの終い』著者）が設定したテーマ、参加者から提供される話題を切り口に、議論を展開	新聞の社説欄等から日々目まぐるしく変わる国内外の情勢ついて意見を交わすことも多々あり、混乱した世の中でも前向きに暮らすことのきっかけになっている。 また、参加者が各々取り組んでいる活動を話題として取り上げ、情報交換を行った。 会は参加者同士が自由に意見を交換できる空気であり、参加者の生きがいの場にもなっている。 講師の体調不良等により、８月以降は中止となった。来年度の開催については、講師と調整していく。	
第65回松本市芸術文化祭	通年	1回	地域文化	その他	23,852人	和・洋・玄人・素人を問わず、市民が参画する実行委員会へ「芸術文化祭」を委託。様々な分野での展示会・上演会等を実施する。多くの市民が気軽に楽しく文化芸術に触れあう機会を創出し、市民による主体的、継続的な文化芸術活動の推進を図るもの	松本市芸術文化祭実行委員会により運営。中央公民館は事務局を務める。	コロナウイルスの制限のない開催ができるようになり、参加者数は回復している。一方、コロナ禍で実施できないまま再開できない団体や、団体構成員の高齢化により、休会する団体も出てきた。新しい分野での加盟団体の募集や、後継者の育成に努める必要がある。	
松本市の公民館（事務報告書）	冊子作成発行12月	1回	その他	その他		各公民館より事務報告書を提出してもらい、公民館の基礎データ、年表、教育要覧掲載情報を１冊にまとめ発刊する。松本市の公民館等に関する情報を発信	各地区公民館	冊子の発行が例年より遅れてしまったが、公民館等に関する情報を発信できた。掲載内容を毎年精査し、次年度以降も継続して発刊していく。	
松本市ヤングにほんご教室（共催事業）	通年	38回	人権平和	青少年	108人	日本語を母語としない外国由来の子ども達を対象に、日本語指導及び教科指導、居場所づくりを行う。 ●毎週木曜日　18：00～20：00	ＮＰＯ法人中信多文化共生ネットワークが運営	学習時間の間に休憩時間を設け、生徒間のコミュニケーションを図っている。高校生や大学生らによるボランティアもあったが、中心となるスタッフの高齢化や、利用者数の減少により令和６年度をもって閉鎖	
日本語講座	通年	46回	人権平和	その他	636人	外国籍住民を対象に日本語習得の機会を提供することで、受講者とボランティアスタッフが学習を通じて相互理解を深めることを目的に開催。多文化共生社会の実現を目指す。 受講者のニーズや日本語能力にあわせたクラス設定を行い、きめ細かい学習を行っている。スタッフ会議等を開催し、スタッフ間の意思疎通を図っている。 ●毎週火曜日　19：00～20：30	ボランティアスタッフによる運営	夜間の講座であるため、十分なミーティングの時間が取れないことや教室運営の体制に苦慮している。令和３年度から代表を決めず各クラスの世話人及び連絡係を通じて受付をしていたが、来年度より新規申込の受付および各クラスへの割り振りを中央公民館が行う。	

令和６年度　事業報告

中央公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	ＣＳ
木曜午前ボランティア日本語教室	通年	44回	人権平和	その他	192人	外国籍住民を対象に日本語習得の機会を提供することで、受講者とボランティアスタッフが学習を通じて相互理解を深めることを目的に開催。多文化共生社会の実現を目指す。受講者のニーズや日本語能力にあわせたクラス設定を行い、きめ細かい学習を行っている。スタッフ会議等を開催し、スタッフ間の意思疎通を図っている。 ●毎週木曜日　10：00～11：30	ボランティアスタッフによる運営 共催：多文化共生プラザ	スタッフ会議、グループミーティングを行い、受講者およびスタッフの交流・連携を図っている。新博物館見学を行い、松本市の歴史や文化について学習した。	
３歳児検診時の絵本読み聞かせ	通年 第3火曜日	12回	子育て	その他	364人	中央保健センターへ３歳児検診に訪れた親子を対象に、絵本の読み聞かせを実施。検診時の読み聞かせを通し、図書委員会の活動を周知、図書室の利用促進につなげる。	中央公民館図書委員会 中央保健センター	図書室で親子連れの姿を見かけるようになった。本の貸出も増えているようで、図書室の利用促進につながっていると感じる。今後も続けていきたい。	
生涯学習支援登録制度	通年		その他	成人		地域に在住する専門分野の知識を有する指導者及び自発的な学習活動を行っているグループ等の情報を登録するもの。多様化する市民の生涯学習に関するニーズに対応するため、情報を登録・提供をすることで、市民の生涯学習活動を補助・促進する。 〇令和７年度３月31日現在 グループ 361団体 指導者 130人		ホームページを見た方や地域団体に参加したい方からの問合せも多く、市民の生涯学習活動の支援ができた。特にグループの登録状況は、『学びの森いんふぉめーしょん』に記事を掲載するための条件であることから、登録が比較的活発であった。また、指導者登録については、新規登録者のみが『学びの森いんふぉめーしょん』に掲載されるため、指導者情報の活用方法を検討したい。引き続き、ホームページで掲載する情報の更なる改善を進めるとともに、市民団体等と連携し情報発信媒体の多様化を進める。	
松本市出前講座　「いい街つくろう！パートナーシップまつもと」	通年	497回	その他	成人	20,589人	市役所やその他の行政機関などが行っている施策について市民から要望のあった講座を開講する学びの講座。毎年、出前講座のメニューを更新している。市民と職員がパートナーとなり、学びを通して顔の見える関係をつくりながら、共にいい街づくりを図るもの		ホームページで人気の講座やおすすめ講座を紹介するなどして、周知の工夫を図った。防災やよみきかせの講座は特に人気があり、参加者からは、勉強になったとの声が多くあった。ホームページのさらなる充実を図り、市民への周知を工夫していく。	

令和６年度　事業報告

中央公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	ＣＳ
中央公民館図書委員会	通年	1回	公民館委員会・各種会議等	その他	97人	３歳児検診の読み聞かせ、絵本のなかのお菓子をつくろう、ちいさなよみきかせなどの開催。手まり時計まつりへの参加。図書室への入れる本の選書。委員５名。委員長を置く。中央公民館図書室を主な活動拠点として子どもから高齢者までを対象に、地域の特性を生かしながら、イベントや選書を行い、図書の普及を図る。 月１回開催		図書委員会で企画した「絵本のなかのお菓子をつくろう」は、ただお菓子をつくるだけでなく、間に絵本の読み聞かせを行ったことで、子どもたちが本に触れる機会を作ることができた。さまざまなイベントや読み聞かせの機会を設けたことで、中央公民館の図書室の存在を知らせ、利用者の増加へつながっていると感じる。来年度以降もイベントの開催や図書室の書架整理等を行い、図書の普及に努めたい。	
公民館報全市版編集委員会	通年	1回	公民館委員会・各種会議等	成人	354人	住民自らが編集する公民館の機関誌として、地域住民と公民館を結びつけ、地域課題・生活課題の学習素材を提供するとともに、将来への足跡として公民館活動を記録するもの。	各地区、信州大学、松本大学から１名ずつ編集委員を選出。編集長１名、副委員長４名を置く。	各地区の地名の由来について深掘りする新シリーズ「まつもと地名がたり」は、読者の方から好評をいただいており、地域や生活・暮らしについて幅広く話し合うことができた。山間部に限らず全市的に各地区からの委員選出が困難になってきており、編集委員会の実施形態なども含めて今後の編集委員会のあり方について検討していく必要がある。	

令和６年度　事業報告

中央公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	ＣＳ
松本市町内公民館館長会	通年	－	公民館委員会・各種会議等	その他	283人	各町内公民館の振興及び町内公民館相互の連絡を図るために必要な研修等を行う。 ★各種会議 ・総会 ・理事会５回、三役会５回、広報部５回、研修部１回 ★研修及び学習会 〈企画部〉 ・新旧理事歓送迎会 ・理事視察研修会「須坂市生涯学習センター」、「蔵のまち須坂（まち歩き）」 〈広報部〉 ・町内公民館長会だよりの編集、封入作業 〈研修部〉 ・新任町内公民館長研修会、ブロック別研修会 〈女性部〉 ・くるまざトーク ・女性部視察研修会「高山市散策」、「高山陣屋視察」 ★広報 ・町内公民館長会だより　85号～87号の発行	各地区町内公民館館長会からの代表者を理事として１名選出し、特任理事３名を加えて計38名で理事会を運営。会長１名、副会長３名、会計１名、事務局長１名、４つの専門部（企画・広報・研修・女性）を必要に応じて開催	理事会ではＺｏｏｍでのオンライン参加に対応し、参加者の確保を目指した。 ブロック別研修会では、主事にも参加を依頼して、町内公民館と地区公民館の連携について話し合いを行った。女性部の仕組みや制度、あり方について検討していく必要がある。	

令和６年度　事業報告

中央公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	ＣＳ
公民館主事会 ・公民館主事研修会 ・主事会プロジェクト	通年 月2回	22回	公民館委員会・各種会議等	その他	609人	公民館主事の資質向上を図り、公民館活動の推進に寄与する。	①公民館主事研修会 （毎月第２第４木曜日） ②幹事会（毎月第１月曜日） ③主事会プロジェクト（不定期）	・公民館主事としての知識・理解を深めるため、公民館の理念や実務的な内容を研修テーマに設定した。また、地域の実践者等、住民との研修を行うことで、常に住民の声に寄り添う態度を養うことに努めた。本市の公民館活動や地域づくりの動向を相対的に捉えなおす機会となった。 ・令和４年度に設置したチームを改組し、公民館主事会プロジェクトとして４チームを設置し、貸館課題検討チームはさらに５つのグループに細分化して活動した。 ⑴ＩＣＴチーム ⑵町内公民館振興・支援チーム ⑶他部局連携チーム ⑷貸館課題検討チーム ①有料団体ＩＤ付与グループ ②許可減免判断グループ ③各館独自運用グループ ④予約システムグループ ⑤事務統一化グループ	
公民館館長会 ・定例会 ・理事会	通年 各月1回	24回	公民館委員会・各種会議等	その他	542人	館長相互の研修を図り、公民館活動の促進に寄与する。	・定例公民館長会 毎月第３水曜日、午後１時30分から開催、研修内容は理事会で検討し、定例会議で正式に決定 ・理事会 必要に応じて開催（原則として第２火曜日、午後１時30分～）	・各館の公民館活動に取り入れやすいよう、体験型研修会を多く取り入れると共に、定例会で各地区の情報発信･共有に力を入れ、有意義な取り組みを進めた。 ・11月の県外研修は、過去５年間研修会テーマとして取組んだ「防災」を軸に、そなエリア東京を視察。現状の社会教育の政策を学ぶために、社会教育センターを訪問した。 ・12月には、数年ぶりに公民館主事会と合同研修会を行う。長野県生涯学習センター指導員を講師に、子ども・防災・貸館などをテーマに研修後、居酒屋公民館で親睦を図った。	

令和６年度　事業報告の概要

第一地区公民館

方針・地域課題・重点的に取り組んだ事項等	評価・反省等
【方針・地域課題】 第一地区公民館は、町会連合会、地域づくりセンター、福祉ひろばおよび地区関係諸団体と共に、地域住民による主体的な生涯学習の場を提供し、またその成果を地域課題の解決等に活かすことができる活動の場とする。 （１）　子どもと共に育つ地域づくり事業の推進 （２）　地区の歴史の掘り起こしと伝統文化の継承 （３）　スポーツや食育を通した健康づくり事業の推進 （４）　地区住民交流の支援 （５）　人権尊重のための学習活動	・令和６年度は新規事業こそ少なかったものの、既存の講座は前年度までの振り返りや反省を生かし、講師の選定や内容のブラッシュアップなどの観点から見直しを行った。結果として、今まで第一地区公民館に来たことがなかった方にも講座に参加していただくことができ、多くの方に公民館活動を知っていただくきっかけとなった。 ・松本大学の実習生の受け入れや、蟻ケ崎高校探究活動の一環として行われた「地域探訪フィールドワーク」への参画など、地域の若者（学生）と多くのつながりを作ることができた。これらのつながりをその場限りとするのではなく、今後も若者と地域をつなぐ場としての公民館の役割を果たしていきたい。 ・一つ一つの講座の参加者数はなかなか増えず、声掛けをして何とか参加者を集めているような講座もあった。引き続き講座内容の見直しや地域住民のニーズの把握、周知方法の検討など、より多くの方に公民館へ足を運んでいただけるよう取り組んでいきたい。

項目	学級講座・学習会等									地域事業			公民館委員会・各種会議等	ＣＳ
	人権平和	福祉健康	子育て	地域文化	環境	趣味教養	スポーツ	防災	その他	体育	文化	その他		
事業数	2	3	4	2	2	5	0	0	1	2	2	1	3	0
延べ参加人数	33	126	31	32	30	95	0	0	21	49	95	22	85	0

令和６年度　事業報告

第一地区公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	ＣＳ
県立美術館と城山公園散策	4月30日	1回	趣味教養	成人	16人	【内容】 県立美術館の見学及び城山公園や善光寺周辺のウォーキング、散策 【ねらい】 ・美術作品の鑑賞を通して文化教養を養う。 ・ウォーキングにより参加者の健康づくりに資する。	【準備過程】 地区内広報で周知	【評価と反省】 ・美術館の見学時間は90分を予定していたが、若干時間が短かった。しかし、参加者は展示されている美術作品を興味深く鑑賞しており、文化教養に資することができた。 【今後の方針】 ・今後も芸術鑑賞の機会や、健康づくりのためのウォーキング講座は定期的に企画していきたい。	
布引観音ウォーク＆ハローアニマル視察	5月30日	1回	福祉健康	成人	9人	【内容】 布引観音へのウォーキング及び県動物愛護センター「ハローアニマル」の視察 【ねらい】 ・ウォーキングにより参加者の健康づくりに資する。 ・動物愛護に関する講義や保護動物とのふれあいを通して、動物愛護や命の大切さを学ぶ機会とする。	【準備過程】 福祉ひろばと企画を検討し、地区内広報で周知 【協力】 第一地区福祉ひろば	【評価と反省】 ・ウォーキングの行程が想像以上の山道であり、途中で引き返す参加者もいたため、参加者への事前の情報共有を徹底したい。 【今後の方針】 ・ウォーキング講座を企画する際は、参加者の年齢層等を考慮した行程を検討したい。 ・動物愛護に関する講座も、今後は継続して企画していきたい。	
乗鞍ウォーキング事前学習講座「乗鞍高原の自然を知る」	6月17日	1回	環境	成人	12人	【内容】 後日実施する乗鞍高原ウォーキングに向け、乗鞍高原の自然などについて事前に学習する。 【ねらい】 ・参加者が地域の豊かな自然を知り、興味を持つきっかけとする。	【準備過程】 視聴覚委員会にて企画を検討し、地区内広報で周知 【協力】 視聴覚委員会	【評価と反省】 ・ウォーキング当日の行程等について、参加者からも意見や要望を聞きながら企画をしていこうと考えていたが、なかなか意見がまとまらなかった。 【今後の方針】 ・バス事業はどうしても参加者が観光旅行のように捉えてしまいがちなため、今回のような事前学習講座を実施するなど、講座のねらいをしっかり参加者に理解してもらえるよう努めたい。	

令和６年度　事業報告

第一地区公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	ＣＳ
女性の健康とエクオール	7月3日	1回	福祉健康	女性	15人	【内容】 女性の健康と「エクオール」という成分について、専門家から講義を行う。 【ねらい】 ・地域住民の健康増進 ・普段公民館に来ないような若い女性が、公民館に来るきっかけとする。	【準備過程】 松本市と連携協定を結んでいる大塚製薬との共催事業であり、地区担当保健師を通じて企画等を行った。 【協力】 ・大塚製薬ニュートラシューティカル事業部 ・健康づくり課地区担当保健師	【評価と反省】 ・仕事帰り等の比較的若年層の女性の参加を見込んで企画したが、想定より参加者が集まらなかった。また、開催日時が平日夜間だから参加できたという方もいれば、別の時間帯の方が参加しやすかったという方もいた。 【今後の方針】 ・参加を見込んでいる対象者に併せた日時の設定を心がけていきたい。	
乗鞍高原トレッキング	7月17日	1回	環境	成人	18人	【内容】 乗鞍高原でのトレッキング、自然観察 【ねらい】 ・参加者が地域の豊かな自然を知り、興味を持つきっかけとする。 ・ウォーキングにより参加者の健康増進に資する。	【準備過程】 事前学習講座を開催し、参加者を募った。また内容についても、事前学習講座参加者から意見や要望を聞き取った。	【評価と反省】 ・当日はあいにくの雨天であったが、自然ウォーキングは参加者が自然とふれあい、また健康づくりのための良い機会となっている。 【今後の方針】 ・参加者が安全に自然観察ができるよう、行程等をさらにブラッシュアップしていきたい。	
青山様ぼんぼん練り歩き	8月1日	1回	地域事業（文化）	青少年	45人	【内容】 ・地区の小学生が中心となって、ぼんぼんと青山様の練り歩きを実施した。 【ねらい】 ・古くから地域に伝わる伝統行事「青山様」「ぼんぼん」を子ども達へ伝承し、郷土の歴史・文化を学ぶ。	【準備過程】 ・実行委員会を組織し、企画運営を行った。 ・周知、参加者の取りまとめは子ども会育成会に依頼 【共催団体等】 ・公民館文化委員会、子ども会育成会、民生主任児童委員	【評価と反省】 ・伝統行事を伝承していくために地区内をただ練り歩くだけでなく、行事の歴史や由来等を学ぶ機会も必要 【今後の方針】 ・少子化により町会単独での実施が困難なため、今後も伝統行事の継承のため、関係団体と連携を取りながら実施していきたい。	
夏休み自由研究応援講座 「結晶の科学」～ストームグラスづくり～	8月3日	1回	子育て	青少年	6人	【内容】 信州大学の出前講座を活用した、子ども（小学生）向けの学習講座 【ねらい】 夏休み中の子ども達への学習支援	【準備過程】 信州大学出前講座を活用し、テーマのみ公民館の希望を伝え、内容については一任した。 【協力】 信州大学	【評価と反省】 ・熱中症のリスクが年々高まっているため、屋外の史跡探索を取りやめ、屋内で完結する講義形式の講座に変更した。また、開催時間も午前中のみとし、昼食の調理と提供は無しとした。 【今後の方針】 ・講義内容についてはテーマや難易度設定については、今後慎重に検討していきたい。	

令和６年度　事業報告

第一地区公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	ＣＳ
ＫＡＧＯＭＥ野菜生活ファクトリーツアー	9月4日	1回	その他	成人	21人	【内容】 ＫＡＧＯＭＥ製品の製造工場を見学 【ねらい】 参加者の食育学習の一助とする。	【準備過程】 地区内広報で周知	【評価と反省】 ・参加者の食育に対する関心を高めることができた。 【今後の方針】 ・食育の視察研修は参加者の関心も高いことから、継続して企画していきたい。	
おやこ料理教室	9月28日	1回	子育て	青少年	2人	【内容】 親子を対象とした料理教室 【ねらい】 子どもへの食育、及び親子の親睦を深めるため。	【準備過程】 ・食生活改善推進協議会と共催で企画し、食改にはレシピの準備や食材の購入、当日の調理指導を担っていただいた。地区内広報で周知した。 【共催団体等】 ・食生活改善推進協議会	【評価と反省】 ・食改との連携が上手く取れず、当日の進行が滞ってしまう場面があった。 ・参加者数が少ないこともあってか、参加者同士の交流は盛んだった。 【今後の方針】 ・参加してくれた子どもからの要望等も取り入れつつ、今後も親子に向けた料理教室を企画していきたい。	
食改料理講座	10月17日	1回	趣味教養	成人	9人	【内容】 「よく噛む」をテーマにした献立について、その効果などを学習しながら調理実習を行う。 【ねらい】 調理技術の向上 料理を通して健康への関心を高める。	【準備過程】 ・食生活改善推進協議会と共催で企画検討した。地区内広報で周知した。 【共催団体等】 ・食生活改善推進協議会	【評価と反省】 ・進行等も問題なく、参加者同士の交流も盛んに行われていた。参加者の食育の一助になっていた。 【今後の方針】 ・今後も参加者の健康づくりに資するような料理講座を開催していきたいが、食改は来年度より一時休会となるため、開催形式は再検討	
人権啓発推進協議会視察研修「藤村記念館視察研修」	11月13日	1回	人権平和	成人	13人	【内容】 「藤村記念館」を訪れ、同和問題を題材とした作品である「破戒」などを通して人権問題や文豪の生涯について学ぶ。 【ねらい】 ・参加者の人権意識高揚に活かす。	【準備過程】 地区内広報で周知 【協力】 人権啓発推進協議会	【評価と反省】 ・参加者は係員の説明に熱心に耳を傾けており、人権学習の機会としてとても有意義であった。 【今後の方針】 ・人権啓発委託料を活用した視察研修は定期的に企画していきたい。	

令和６年度　事業報告

第一地区公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	ＣＳ
そば打ち講座	11月19日	1回	地域文化	成人	7人	【内容】 そば打ちを体験し、地域の名産品に対する造詣を深める。 【ねらい】 そば打ちを体験しながら、地域住民の交流を深める。	【準備過程】 地区内のそば打ち名人と打ち合わせを行い、地区内広報で周知を行った。	【評価と反省】 ・参加希望者の数に対して、道具や場所などのキャパシティが追い付いていない。 ・参加者からの満足度は高い。 【今後の方針】 ・今まで依頼していたそば打ち講師の方が、講師を降りたいとの要望があったため、今後も継続して開催できるよう、新しい講師の選定を含めて検討したい。	
第一地区もちつき大会	12月14日	1回	地域事業（文化）	青少年	50人	【内容】 餅つき体験と昔ながらのお正月遊びやテーブルゲームなどを行った。 【ねらい】 昔ながらの杵と臼を用いた餅つきの体験を通して、食文化の伝承を図り、子どもから高齢者まで地域住民同士の交流を深めるもの	【準備過程】 実行委員会を組織し、企画運営を行った。 【協力】 文化委員会、子ども会育成会、食生活改善推進協議会、民生主任児童委員、日赤奉仕団	【評価と反省】 ・定員50名に対し、参加者数は31名と昨年度比べても減少したが、運営側の役員も減少している中で、このくらいの人数の方が無理なく運営できた。また、保護者の方々にも餅つき等を手伝っていただいた。 ・お正月遊びは例年通り人気で、非常に盛り上がった。 【今後の方針】 ・役員の適切な人員配置や開催規模など、検討を重ねながら、今後も実施していきたい。	
多文化料理教室「本格！カレー作り講座」	1月26日	1回	人権平和	成人	20人	【内容】 地域のインドカレー店店主から、本場のインドカレーの作り方を学ぶ。 【ねらい】 調理体験を通して異文化を学ぶことで、多文化共生の意識を養う。	【準備過程】 人権啓発推進協議会の委託料を活用。講師はインド出身のアシシュ氏。地区内広報で周知 【協力】 人権啓発推進協議会	【評価と反省】 ・当初の定員を上回る申し込みがあり、関心の高さが伺えた。 ・講師も講座の進行等に慣れており、時折笑いを交えながら実施することができた。 【今後の方針】 ・引き続き、多文化共生をテーマにした料理講座を実施していきたい。	

令和６年度　事業報告

第一地区公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	ＣＳ
「まつもと日和２」上映会	2月21日	1回	地域文化	成人	25人	【内容】 地域映画「まつもと日和２」の上映会 【ねらい】 懐かしい地元の光景や出来事を振り返ることで、自分の住む地域への関心や愛着を醸成する。	【準備過程】 まつもとフィルムコモンズと連絡調整を行い実施。地区内広報にて周知 【協力】 まつもとフィルムコモンズ	【評価と反省】 ・上映後には参加者が映画の感想をおしゃべりしながら帰っていく姿が印象的であった。 【今後の方針】 ・見慣れた地域の過去に起きた懐かしい映像に触れ、そこから現在や未来について考えることができる機会は、今後も企画していきたい。	
ふれあいまつり こども縁日	3月1日	1回	地域事業（その他）	青少年	22人	【内容】 地域の子どもを対象としたレクリエーション事業 【ねらい】 ・住民同士の交流、親睦 ・地区文化祭「ふれあいまつり」への、若者の参加促進	【準備過程】 地区役員を始め、松本大学の学生に屋台の企画運営を依頼。地区内広報の他、子ども会育成会で周知 【協力】 文化委員会、子ども会育成会、民生主任児童委員、松本大学生有志	【評価と反省】 ・協力を依頼した大学生は子どもへの対応に慣れており、当日の運営も含めて非常に頼りになった。 ・縁日企画を楽しんでくださった子どもも多い一方、６階で行われていた「ふれあいまつり」が見れなかったという声も聞かれた。 【今後の方針】 ・学生とのつながりは今後も深めていきたい。 ・開催形式や内容は、今年度の反省を生かしながらブラッシュアップしていく。	
おやこ料理教室 ～スコーンをつくろう！～	3月8日	1回	子育て	青少年	6人	【内容】 親子を対象とした料理（お菓子作り）教室 【ねらい】 子どもへの食育、及び親子の親睦を深めるため。	【準備過程】 以前講座に参加した子どもから「お菓子作りをしてみたい」との声があったため企画した。地区内広報と子ども会育成会で周知	【評価と反省】 ・参加者に未就学児が多かったため、参加可能な年齢の下限を設けることも検討したい。 ・参加者同士の交流は盛んに行われていた。 【今後の方針】 ・健康づくり課の食育メニューを扱うなど、内容のブラッシュアップを図りたい。	

令和６年度　事業報告

第一地区公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	ＣＳ
男の料理教室	4月19日 7月30日 10月24日 1月23日	4回	趣味教養	成人	36人	【内容】 地域の男性を対象に、簡単に作れる料理講座を行う。 【ねらい】 男性の料理技術向上や、食への理解を深める。	【準備過程】 福祉ひろばと共催し、講師との打ち合わせや当日の料理補助などを分担して行った。 【協力】 福祉ひろば	【評価と反省】 ・１回ごとに依頼する講師を変えたところ、様々なジャンルの料理を幅広く学べた一方、回ごとのテーマ決めや講師の選定に苦慮した。 ・参加者の料理技術の向上と同時に、親睦を深めることができた。 【今後の方針】 ・今後も福祉ひろばとの連携を密にしながら、継続して開催していきたい。	
マレットゴルフ大会	6月24日 9月14日	2回	地域事業（体育）	成人	23人	【内容】 マレットゴルフの大会を開催した。 【ねらい】 マレットゴルフを通じて地区住民の健康増進と親睦を図る。	【準備過程】 体育事業実行委員会で企画検討し、地区内広報で周知 【協力】 スポーツ協会	【評価と反省】 ・６月開催の際は会場を普段のアルプス公園から変更して実施したが、普段参加されない方からも申し込みがあった。 ・事業名に「大会」とつくと、参加の敷居が高く感じてしまう方もいるのではないか。 【今後の方針】 ・会場や事業名、内容について精査しながら、次年度以降も開催していきたい。	
親子生け花教室	6月29日 7月20日 10月26日 12月21日	4回	子育て	青少年	17人	【内容】 小学生以下の子どもを持つ親子を対象に、季節の草花を使った生け花と工作を楽しむ。 【ねらい】 ・生け花などで花や植物に触れ合う機会を通じて、子どもの情操教育の一助とする。 ・子育て世代の親子の居場所、仲間づくりの場とする。	【準備過程】 地区周辺にお住いの講師をお招きし、協働で講座の企画運営を行った。 【共催団体等】 子ども会育成会（周知）	【評価と反省】 ・講座の広報はチラシ、子ども会育成会からのお知らせ、地域だより等まんべんなく効果があった。 ・毎回常連で参加してくださる方もいれば、普段公民館に訪れない方からも参加があり、講座として広がりを持つことができている。 【今後の方針】 ・開催内容等について、講師と連携を密にしながら継続して開催していく。	

令和６年度　事業報告

第一地区公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	ＣＳ
ボウリング大会	7月27日 1月18日	2回	地域事業 （体育）	成人	26人	【内容】 地域住民の交流と健康増進のため、ボウリング大会とミニ講座を併せて計画した。 （講師：地区住民） 【ねらい】 多世代で楽しめるボウリングを通じて、地区住民の健康増進と親睦を図る。	【準備過程】 体育事業実行委員会での企画検討。地区内広報で周知した。 【共催団体等】 スポーツ協会	【評価と反省】 ・普段公民館に訪れない方々の参加もあり、またボウリングは参加者同士の距離も近く、親睦を深める場として最適であった。 【今後の方針】 ・気温の変化で屋外スポーツの実施が厳しい時期に、地区住民の健康増進のため、室内で出来るスポーツを企画していきたい。 ・スポーツ協会会員の参加が少ないため、積極的な参加勧奨を行いたい。	
スマホの達人 （スマホ講座）	8月20日 8月26日 9月 3日	3回	趣味教養	成人	19人	【内容】 スマホ操作に不慣れな方を対象としたスマホ操作等に関する講義 【ねらい】 地域のデジタルディバイトの解消	【準備過程】 講師及び当日の指導補助として、中央包括支援センターへ協力を依頼 【協力】 中央包括支援センター	【評価と反省】 ・ある程度スマホ講座のニーズは見込めるものの、全体で一つのことを扱うい わゆる講義形式では、細かな対応が難しくスマホ講座には適さない部分が多い。 ・本事業終了後、希望者には職員が随時スマホの操作等について相談を受けている。 【今後の方針】 ・地区住民が相談しやすい開催形式や会場等について、検討しながら進めていきたい。	
デジカメ講座「はじめよう！お散歩写真」	10月21日 12月16日	2回	趣味教養	成人	15人	【内容】 デジタルカメラでの撮影方法等を学ぶ講座を開催 【ねらい】 デジタルカメラでの撮影技術の向上及び視聴覚委員の人材発掘と育成を図る。	【準備過程】 視聴覚委員会で企画を検討。地区内広報で周知 【共催団体等】 公民館視聴覚委員会	【評価と反省】 ・長年地域の写真を撮り続けている市館報編集委員の方に講師を依頼した。撮影技術はもとより、地域の光景を写真等の記録に残していく大切さなどを講義していただいた。 【今後の方針】 ・初心者向けの技術講座を望む声があった。 ・視聴覚委員の活動と結びつくような内容を検討したい。	

令和６年度　事業報告

第一地区公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	ＣＳ
かんたんストレッチ	通年	12回	福祉健康	成人	102人	【内容】 健康運動指導士から転倒予防や筋力維持のための正しいストレッチ方法を学んだ。 【ねらい】 運動初心者向けの講座として開催し、定期的に実施することで運動習慣を身に付け、健康への意識向上を図る。	【準備過程】 講師と職員で企画を検討した。地区内広報で周知した。 【共催団体等】 福祉ひろば事業推進協議会	【評価と反省】 ・筋力アップのための体操を中心に、参加者の体力維持に役立った。 【今後の方針】 ・体力維持ができるよう、講師にプログラムの内容を相談しながら、実施していきたい。	
地域だよりの発行	通年	12回	公民館委員会・各種会議等	その他		【内容】 地区内の情報や公民館と福祉ひろばの講座案内等を掲載した「地域だより」を、広報まつもとの配布に合せ毎月発行した。 【ねらい】 町会連合会、地区団体、公民館、福祉ひろば等の諸活動について周知を図り、地域の活性化に向ける。	【準備過程】 町会連合会広報委員会で紙面の編集と発行を行った。 【共催団体等】 町会連合会	【評価と反省】 ・地区事業の周知報告や住民の生活にかかわる情報など、地域に身近な情報紙として発行することができた。 【今後の方針】 ・より多くの地域住民に見てもらえるようにするため、広報委員会で検討をしていきたい。	
館報の発行	通年	6回	公民館委員会・各種会議等	その他		【内容】 「第一地区版」公民館報を２カ月毎に編集発行した。 【ねらい】 地区の諸活動を記録、共有するため、地区住民から選出された委員によって編集を行う。	【準備過程】 ・発行月毎に館報委員会を開催し、内容等を検討した。 ・視聴覚委員会は、地区の「今」を写真として記録するため、季節の写真や行事等の写真を撮影し掲載した。 【共催団体等】 館報委員会、視聴覚委員会	【評価と反省】 ・記事の感想などをいただく機会もなく、本当に読んでもらえているのか疑問視する委員もいる。読者の興味を惹くような記事の作成や周知活動を検討する。 ・各委員とは、館報委員会以外でもコミュニケーションを図り調整した。毎号発刊日を厳守することができた。 【今後の方針】 ・地区内の諸活動を幅広く掲載できるよう、紙面の充実を図りたい。	
公民館委員会	通年	6回	公民館委員会・各種会議等	その他	85人	【内容】 運営、館報、文化、視聴覚など、事業内容に応じた委員会を組織し、公民館事業を企画、運営、評価等を行った。 【ねらい】 住民主体の公民館活動を推進する	【準備過程】 委員会ごとに随時開催した。	【評価と反省】 ・委員会を開催しても出席者は毎回決まっており、人によっての地区に対する関心の高さの違いが浮き彫りになっている。 【今後の方針】 ・状況を見ながら、委員会活動の充実を図っていきたい。	

令和６年度　事業報告の概要

第二地区公民館

方針・地域課題・重点的に取り組んだ事項等	評価・反省等
【方針・地域課題】 　各種公民館事業の実施に際し、前年度事業をベースにして、それぞれの講座及び事業を継続実施した。前年度の反省を踏まえて各種事業のより一層の充実と、新規講座等開設を重点目標として取り組んだ。 　地区の体育事業として親しまれているマレットゴルフ大会・ボッチャ大会は参加者の熟度が上がり、スポーツとしての楽しみがより増している。 　今年度で３回目の開催となった合同三九郎を伝統行事の体験と多世代交流の機会となる地区行事と捉えており、今後も継続していきたい。 　新規事業として北インドの家庭料理を知る食育講座、趣味の仲間の掘起こしと仲間づくりを目的とする「真空管で音楽を聴こう会」「写真講座　ポートレートの撮り方撮られ方」を実施した。また、今年度から実施し、これらの講座を企画するきっかけとなった「居酒屋こうみんかん」のように住民同士の交流・対話の機会をより多く設けていくことを意図して取り「わらび狩りウォーク」等に取り組んだ。	通年実施している講座については、参加者と講師の関係も良く、講座参加者からはとても楽しい講座だから継続実施していって欲しいとの声があるが、新規講座を実施する財源を確保するためにも長年続く講座はサークル化を促す等で自立した運営ができるよう働きかけていく必要があるため、今年度は「楽しいパソコン講習会」を自主講座に移行した。また、来年度から「歌で健康力アップ講座」を月２回の講座のうち１回を自主活動として行うこととし、講座名を「第二地区歌の会」とした。 　新型コロナウイルスの感染症の分類が５類に改められ「アフターコロナ」を意識して地区を挙げて取り組むこととなった。盆踊り大会・文化祭の二大行事は参加者が多いこともあり、安心して参加できる公民館事業となるよう開催形態を改めて検討した。

項目	学級講座・学習会等									地域事業			公民館委員会・各種会議等	ＣＳ
	人権平和	福祉健康	子育て	地域文化	環境	趣味教養	スポーツ	防災	その他	体育	文化	その他		
事業数	1	0	0	3	0	6	4	0	1	0	0	2	1	0
延べ参加人数	0	0	0	33	0	57	0	0	0	0	0	0	84	0

令和６年度　事業報告

第二地区公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	ＣＳ
体育委員会	4月26日	1回	公民館委員会・各種会議等	その他	4人	【内容】 体育事業の企画・当日の運営等を行う。 【ねらい】 地区住民の体育活動への参加促進	【準備過程】 体育委員は、館報編集委員・図書視聴覚委員と同様に町会推薦に依らず適任者に委嘱しており、今年度は６人で委員会を構成している。	【評価と反省】 地区内に町会対抗戦ができる体育施設がないため、体育事業は個人参加のレクリエーション的なものが主体になっている。 マレットゴルフとボッチャが好評だが、新しいものも提案したい。 【今後の方針】 モルック等の人気が出ている種目、スポーツ吹矢のように人気が再燃しているものを取り入れて体育事業の参加者を増やしていく。	
わらび狩りウォーキング	5月27日	1回	その他	成人	15人	【内容】 小谷村でわらび狩りを兼ねたウォーキングを実施 【ねらい】 傾斜地を歩くことで通常よりも足腰に負荷がかかるウォーキングができ、旬の山菜を探す季節感を感じながら参加者間の交流を図る。	【準備過程】 公民館だよりとともにわらび狩りの募集チラシを回覧 受け入れ先との調整 【協力団体】 福祉ひろば	【評価と反省】 参加者の大半が70代以上の高齢者だったが、事故なく事業を完了できた。参加者はわらび狩りを楽しみながら交流していた。安全対策・救護体制を整える必要性が増してきている。 【今後の方針】 高齢者にも人気の事業であり、安全の確保に配慮しながら継続しきたい。	
本格インドカレーを作ろう	6月16日	1回	趣味教養	成人	17人	【内容】 北部インドの家庭料理・スパイスとともに煮込むチキンカレーの作り方、付け合わせの食材を学ぶ。 【ねらい】 異文化の家庭料理を学ぶ食育講座として開催。グルテンフリーの食事の一例として紹介する等、食と健康を学ぶ機会とする。	【準備過程】 講師との日程調整、公民館だより・館内掲示等で開催を周知 【協力】 北インド家庭料理「印度山」シンプカー・アシシュ氏 第二地区福祉ひろば	【評価と反省】 スパイスで煮込むチキンカレーを通じて北インドの風土・食文化を学ぶ機会を提供できた。 講師の食に対する考え方を語っていただき、食と健康のつながりを実感する食育講座になった。 【今後の方針】 身近な食材や料理で実習を伴う食育講座を通じて、食と健康・食の文化的側面を学ぶ講座を開催していく。	

令和６年度　事業報告

第二地区公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	ＣＳ
盆踊り大会実行委員会	7月11日	1回	公民館委員会・各種会議等	成人	47人	【内容】 盆踊り大会の開催に先立ち、実行委員の役割分担・運営体制を周知する。 【ねらい】 盆踊り大会の円滑な運営及び参加者の安全確保を図る。	【準備過程】 公民館運営委員会で実施内容を検討し、開催要項を整えながら実行委員個々の役割分担を決定 【協力】 第二地区町会連合会 第二地区地域づくり協議会 社会福祉協議会第二地区支会	【評価と反省】 公民館運営委員会での検討内容を伝達する会議という色合いが強いが、参加者の安全に配慮した運営ができるよう実行委員の協力を求めることができた。 【今後の方針】 実行委員会でも開催要綱についての意見が出るよう、提案型の会議にしていきたい。	
盆踊り大会	8月12日	1回	公民館委員会・各種会議等	その他	400人	【内容】 第二地区の恒例行事として毎年８月12日に開催。令和６年度で23年目を迎えた。 【ねらい】 子どもから大人まで、地域住民が集える機会の提供。相互の親睦を深め、地域の活性化と地域づくりの推進を図る。	【準備過程】 「アフターコロナ」と言われるなか、熱中症対策を含む参加者の安全確保を最重点とした。 実行委員会及び資材の手配等に延べ60人が参加して打ち合わせ、当日までの準備を進めた。 【協力団体】 実行委員会を通じて地区内の事業所等に協賛を依頼した。	【評価と反省】 「アフターコロナ」の盆踊り大会として感染症対策と熱中症予防に配慮しながら事故なく開催できた。地区独自の行事のノウハウが継承されていると評価できる。 【今後の方針】 開催のノウハウ・情報収集の仕組みを確実に継承しながら伝統行事として続けていく。子どもも踊りやすい曲を取り入れる、抽選会の実施方法を見直すべきとの意見に応えられるよう運営体制の見直しを重ねていく。	
文化祭実行委員会	9月27日	1回	公民館委員会・各種会議等	その他	47人	【内容】 第二地区の恒例行事として毎年11月の第２週の週末に開催。令和６年度で27年目を迎えた。 【ねらい】 公民館運営委員会での検討を経て昨年に続き１日での開催となった文化祭当日の運営方法と運営委員の役割分担を確認する。	【準備過程】 公民館運営委員会で実施内容を検討し、開催要項を整えながら実行委員個々の役割分担を決定 【協力】 第二地区町会連合会 第二地区地域づくり協議会 社会福祉協議会第二地区支会	【評価と反省】 盆踊り大会実行委員会と同様、公民館運営委員会での検討内容を伝達する会議という色合いが強いが、役割分担がより細分化されている文化祭を事故なく円滑に開催する打ち合わせ会になった。 【今後の方針】 実行委員からの意見を求めながら負担感の軽減につながる役割分担を検討していく。	

令和６年度　事業報告

第二地区公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	ＣＳ
人権啓発推進協議会視察研修	10月7日	1回	人権平和	その他	13人	【内容】 人権啓発推進協議会の事業として実施。公民館は研修地の選定及び資料づくり等で参画している。地域づくり協議会、町内公民館長会との合同研修 【ねらい】 地区内で指導的な立場を担っている役員が主な対象となり、人権学習の機会を提供することで円満な地域づくりの一助とする。	【準備過程】 人権啓発推進協議会三役を中心に研修地の選定及び日程を設定する。 事前研修の資料作成を公民館が担当 【協力団体】 第二地区地域づくり協議会 町内公民館長会	【評価と反省】 小諸市の懐古園内の島崎藤村記念館及び上田市の無言館を研修地とし、バス内で事前研修を行った。学習内容が新鮮なうちの現地研修は効果的であった。 【今後の方針】 公民館として人権学習の機会を広く提供していけるよう、対象者と学習テーマのマッチングを意識したテーマ設定をしていく。	
第二地区文化祭	11月9日	1回	地域事業（文化）	その他	388人	【内容】 地区住民・公民館利用団体が作品展示、ステージ発表で日頃の文化活動の成果を発表し、互いに鑑賞しあって交流を深める文化事業 【ねらい】 「アフターコロナ」の認識が定着するなか、１日での開催が３度目となった文化祭の今後のあり方、準備から当日の運営方法を模索する契機とする。 文化祭を継続していくにあたって、見直すべき点の洗い出しもしていく。	【準備過程】 盆踊り大会同様、新型コロナウイルス感染症の流行状況を注視しながら開催の可否を検討 →昨年同様１日での開催。場内の飲食禁止等の感染防止策を講じて開催 【協力】 第二地区町会連合会 第二地区地域づくり協議会 社会福祉協議会第二地区支会 第二地区内各種団体	【評価と反省】 ステージ発表は昨年よりも２団体減少したが、子どもの出展が増える等、賑やかさを感じる文化祭だったとの感想が寄せられた。 １日の開催でよいとする声と展示期間が１日では寂しいという声の両論が引き続き上がっている。 【今後の方針】 次回以降の開催規模、役員体制の再検討等、「ウイズコロナ」の開催形態を検討する。	
ボウリング大会	12月4日	1回	スポーツ	成人	17人	【内容】 地区内へ広く参加者を募って実施するボウリング大会。４～５名で１チームとすることでチーム内の交流を図る。 【ねらい】 公民館から離れて実施することで日頃、公民館を利用しない参加者にも訴求し、参加者の裾野を広げる。	【準備過程】 12月第１日曜日を実施日として定着させている。 公民館体育委員が会場手配、当日の設営等を担当 【共催団体】 第二地区福祉ひろば 社協第二地区支会協賛	【評価と反省】 広く住民の参加を求めるうえでは会場までの交通手段の確保、会場使用料の発生はマイナス要因ではあるが、親子・三世代での参加や公民館へ足を運ぶ機会のない人の参加もあり、公民館事業の一形態として積極的な評価をしたい。 【今後の方針】 「12月の第１日曜日開催」を継続し、第二地区の事業として周知し、より一層の定着を図る。	

令和６年度　事業報告

第二地区公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	ＣＳ
第二地区合同三九郎	1月12日	1回	地域事業（その他）	その他	90人	【内容】 子ども会育成会が主体の合同三九郎。子どもが少ない若しくはいない町会が増え、第二地区内18町会のうち町会独自に三九郎を実施できるのは３町会のみという現状があるため、第二地区公民館、町会連合会も参画して地区合同の三九郎を実施 【ねらい】 伝統行事の体験と多世代交流を通じて地域への愛着を涵養する。	【準備過程】 子ども会育成会で役員の役割等、分担を決定 公民館玄関に松飾の回収ボックスを設置し、松飾の収集を受け入れる。 当日、松飾の解体、だるまの底抜き、櫓の組み立て指導をしていただける方への依頼 【協力団体】 第二地区長会連合会 第二地区地域づくり協議会	【評価と反省】 ４回目となる地区合同の三九郎に町会連合会、地域づくり協議会、公民館が参画した。 だるまの加工、櫓の組み立てに子どもが手を出せるよう工夫している。安全に配慮しながら町会長等が指導し、多世代交流の要素もあり地区内の協力体制が得られている。 【今後の方針】 独自に三九郎を開催できる町会が減っていくなか、第二地区の地区行事として定着するよう、第二地区子ども会育成会の事務局である公民館も参画して来年度以降も実施していく。	
歴史文化継承講演会	1月25日	1回	地域文化	成人	27人	【内容】 松本文書館の窪田特別研究員を講師にまつもと文化遺産認定記念講演「描かれた天神さま、記された深志神社」を開催した。 【ねらい】 まつもと文化遺産認定を契機に、第二地区の歴史文化の継承への関心を高める。	【準備過程】 講師依頼 チラシを作成し、地域住民へ周知	【評価と反省】 歴史文化講演会は令和２年度から開催しており、毎回、テーマを変えて第二地区の歴史を解説しており、地区の文化財・歴史への関心を喚起している。 【今後の方針】 講演にとどまることなく、第二地区歴史マップ・解説書の改訂版と合わせて身近な文化財への関心を高める活動を継続いていく。	
写真講座 ポートレートの撮り方撮られ方	1月29日	1回	趣味教養	成人	8人	【内容】 写真撮影の基本とポートレートの撮り方、撮られるときのポーズの工夫等を実技を交えて解説する方写真講座 【ねらい】 写真撮影を趣味とする人の掘り起こしとサークル化を図る。	【準備過程】 講座のテーマ（写真の基礎の解説とポートレート撮影）の決定 公民館だより、館内掲示で周知 会議室での撮影のセッティング	【評価と反省】 自然光の取り入れ方、ライティングの工夫で写真の見栄えが大きく変わることを体験する講座になった。 周知が遅く８名の参加にとどまった。 【今後の方針】 写真撮影を趣味とする人に訴求するテーマ設定等、講座の内容を検討して提示・周知していく。	

令和６年度　事業報告

第二地区公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	ＣＳ
第２回歩いて探そうお宝探訪ウォークラリー	3月20日	1回	地域文化	その他	33人	【内容】 内の見過ごしがちな史跡をウォークラリーで巡り、その後、講座で史跡について学んだ。 【ねらい】 歩いて史跡をめぐって地域を再発見することで、地域愛を醸成する。 参加した住民同士が交流することで、地域間交流を図る。	【準備過程】 市内６地区公民館主事を中心に、公民館長の協力を得てチェックポイントの選定・コースの下見、当日の日程の打ち合わせを行った。各地区の公民館だより等で周知し、各館の窓口及びネットで参加申込を受け付けた。 【共催団体等】 第一、第三、東部、城東、大手公民館及び第一、第二、第三、東部、城東、中央地区地域づくりセンター（福祉ひろばを含む）	【評価と反省】 ６館合同企画として開催。各館協力し合い参加者からも好評だった。 今回は主に中央地区の文化財チェックポイントとしてコースを設定。コンパクトなコース設定ができた。 当日は講座の時間を短縮していただく等の工夫で概ね予定どおりの日程で実施できた。 【今後の方針】 参加者から好評を得ており、ルールの工夫をしながら合同開催をしていきたい。	
真空管で音楽を聴こう会	10月12日 1月24日	2回	趣味教養	成人	32人	【内容】 真空管アンプの製作・同アンプでの音楽鑑賞を趣味とする住民グループの発表の場を兼ねて選曲と曲にまつわるエピソード、真空管アンプの魅力を伝える講座として開催 【ねらい】 同じ趣味を持つ人の仲間づくり、新たに興味を持つ人の掘り起こしを通して参加者のつながりづくりをしていく。	【準備過程】 手作りの真空管アンプを使っている方の話を聴き、興味がありそうな方への声掛けを仲介した。 【協力】 選曲・機材の持ち寄りをしていただいた地区住民４名	【評価と反省】 真空管アンプで再生した音の味わいを知っていただくよう、クラシック、イージーリスニング、映画のサントラ盤等々、様々な曲を持ち寄ったレコードコンサートのような展開になり、主催者側も聴きに集まった方にも好評だった。今後は周知方法を工夫していく。 【今後の方針】 趣味・興味でつながる住民の自主活動として続けていく前提で、日程調整、場所の提供、周知活動に公民館がかかわりながら住民のつながりづくりを支援していく。	
居酒屋こうみんかん	5月～10月	5回	地域事業（その他）	その他	143人	【内容】 地域のコミュニケーションの場として、第二地区公民館視聴覚室他で開催 住民の交流と、気楽な意見交換が自主的な地域活動等につながっていくよう語らいの場を提供する。 【ねらい】 会議や事業開催の場としてではなく公民館に足を運び、居酒屋気分の気軽な会話から地域活動のヒントを見出せる場とする。	【準備段階】 昨年度から開催。令和２年度からのする予定だったが新型コロナウイルス感染症の影響で開催を見合わせていた。同ウイルスの感染症の扱いが５類になったことを機に開催に踏み切った。 【協力団体】 町会連合会・福祉ひろば・地区内有志（飲物、ツマミの提供等）	【評価と反省】 ツマミは持ち寄りを想定。毎回、工夫したものを提供している方もいて参加者同士の会話も盛り上がる等、活気のある集まりになった。 飲食が主な目的になっていると思われる参加者も散見されるが、地区の話題で活発なやり取りがされる場面も多かった。 【今後の方針】 継続を望む声が多く、地域活動につながるコミュニケーションの場として継続していく。	

令和６年度　事業報告

第二地区公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	ＣＳ
ボッチャ大会	5～2月	4回	スポーツ	成人	111人	【内容】 パラスポーツとして注目されているボッチャの協議を体験するとともに、参加者の交流、健康増進を図る。 【ねらい】 公民館の大会議室にボッチャコートを２面作り、公式ルールよりも小さなコートとすることで高齢者にも親しみやすいスポーツであることを体感してもらう。	【準備過程】 コートの補修（ラインの貼り直し） 公民館だよりでの周知 参加者からの要望で開催回数を１回増やした。 【共催団体】 公民館体育委員会の主管とし、福祉ひろば、町会連合会、健康づくり推進委員会と共催 社協第二地区支会協賛	【評価と反省】 ボッチャ大会に取り組んで４年目。ボッチャに慣れた参加者が増え、戦略的にゲームを進める等、スポーツとしての楽しみも増してチームを組んだ住民同士の交流も深まっていると思われるが、参加者の固定化傾向は相変わらず。 【今後の方針】 気軽に取り組めるスポーツであること等を周知し、新規の参加者を増やすとともに、それに応じて大会の回数を増やしていく。	
押し絵雛講習会	6～8月 11月	9回	地域文化	成人	18人	【内容】 市内で唯一、押絵雛を扱うベラミ人形店の三村隆彦氏の指導で松本押し絵雛を作製する。 【ねらい】 松本に伝わる伝統工芸「松本押し絵雛」を学び、その文化と技術を身近に感ずるとともに、その楽しさを継承していく。	【準備過程】 公民館だよりで地域住民へ周知 前年参加者へ声掛け。 ６～８月は時間をかけて製作に取り組む教材を選定 11月は新年を飾る干支押絵を１日で製作できる教材とした。	【評価と反省】 受講経験者と初心者では技量の差があるため、参加者同士が助け合うなどして、全員が完成させることができた。「同じ教材を作りながらも出来栄えはそれぞれ」という点も受講者相互の交流の種になっている。 【今後の方針】 伝統文化伝承という意義を考慮し、今後も継続実施していきたい。	
マレットゴルフ大会	6～12月	4回	スポーツ	成人	41人	【内容】 マレットゴルフ 【ねらい】 地区住民の親睦を深め、健康増進を図る。	【準備過程】 体育委員等と会場、当日の日程を打ち合わせた。 公民館だよりと口コミで周知 【共催団体】 第二地区福祉ひろば	【評価と反省】 野外で体を動かす爽快感を楽しみに、誘い合って参加するという仲間づくりにもなっている。コースの選定等、バスでの移動に頼らない開催方法を検討する。 【今後の方針】 参加者の声を参考にしながら今後も継続実施し、市民体育大会への参加者の掘り起こしも図っていく。	

令和６年度　事業報告

第二地区公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	ＣＳ
図書視聴覚委員会	5月 11月	1回	公民館委員会・各種会議等	その他	13人	【内容】 年２回、図書コーナーの図書を入替える際の選書、入替作業を行う。 盆踊り大会・文化祭での音響係を担当する。 【ねらい】 公民館での図書利用の促進、地区の二大行事の運営を支える音響係のノウハウの継承	【準備過程】 町会推薦ではなく適任者に委嘱しているのは他の委員会と同様。今年度は８人で構成	【評価と反省】 図書の入替と二大行事の音響は公民館に欠かせない役割になっている。 活動内容がその二点になっているのが現状 【今後の方針】 視聴覚分野（オーディオ、動画等）の講座を企画することも委員会の活動に取り入れていく。	
公民館運営委員会	4月 7月 9月	1回	公民館委員会・各種会議等	その他	24人	【内容】 第二地区公民館の年間事業計画の検討、事業に対する提案 地区の二大行事（盆踊り大会・文化祭）の要綱の検討 【ねらい】 地区の公民館運営審議会を兼ね、事業計画・事業報告を受けて活動内容を審議する。	【準備過程】 町会連合会長を委員長とし、地区内の各種団体（町内公民館長会、子ども会育成会長、民生児童委員協議会等）の長で委員会を構成している。	【評価と反省】 運営委員会は年度当初と二大行事の実行委員会開催前に各１回開催している。盆踊り大会に新機軸を盛り込む、文化祭の開催形態の検討等の課題が増えてきているのが現状 【今後の方針】 運営委員会に先立って諸懸案の予備検討の機会を設ける等で課題の増加に対応していく。	
歌で健康力アップ講座	通年	20回	趣味教養	成人	458人	【内容】 声を前に出す発声を意識して行うことで健康増進を図る。 懐かしい曲を中心に木次由美子先生のオリジナル曲「第二地区讃歌」も歌いながら第二地区文化祭での発表曲も練習している。 【ねらい】 発声による健康増進と、合唱を通じて住民相互の親睦を図る。	【準備過程】 毎号の公民館だよりで講座日程・講座への参加方法を地域住民へ周知 【第二地区文化祭への出演】 ステージ発表午後の部のメインとして認知され、好評を博している。発表の場を持つことで受講者の意欲が高まっている。	【評価と反省】 大人気講座。第二地区オリジナル曲「第二地区讃歌（せせらぎに寄せて…）」は、当講座から生まれ、地区行事の定番になっている。 長年指導された講師の交代で転換期を迎えている。 【今後の方針】 講師の交代に伴い、自主サークルへの移行を促している。当面は月２回の講座のうち１回を参加者の自主運営講座とし、１回を公民館講座として継続していく。	

令和６年度　事業報告

第二地区公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	ＣＳ
楽しいパソコン講習会	通年	24回	趣味教養	成人	216人	【内容】 高齢者を中心に、ゆっくりとしたペースで繰り返し教えるパソコン講座 【ねらい】 高齢者の生きがいづくりや認知症予防、住民相互の親睦を図る。	【準備過程】 毎号の公民館だよりで講座日程・講座への参加方法を地域住民へ周知	【評価と反省】 ゆっくり丁寧に、一人ひとりにやさしく指導していただいており、好評を得ている反面、「自分が望むレベルの講習会ではない」と離れていく受講者もいた。 【今後の方針】 Ｒ６年度から受講者が講師謝礼を負担する自主運営に移行した。高齢者主体の講座が自主運営を続けられるよう所要の支援をしていく。	
にこにこ体操講座	通年	23回	スポーツ	成人	231人	【内容】 太極拳の動きを取り入れたストレッチを中心に、体力維持・健康増進を目的とした体操教室 【ねらい】 高齢者の運動習慣の維持と健康増進、住民相互の親睦を図る。	【準備過程】 毎号の公民館だよりで講座日程・講座への参加方法を地域住民へ周知。ビデオ体操を取り入れ、“特別企画”として体力測定・フレイル健診を実施し、健康維持への関心を喚起している。	【評価と反省】 月２回の講座のうち１回は講師の指導を受けながらの体操、１回はビデオ体操（百歳体操等）を実施 ビデオ体操は講師が指導する回よりも参加者が少ないが徐々に増えてきている。 【今後の方針】 家でもできるビデオ体操を紹介しながら、運動習慣の継続を呼びかけ、自主サークルとして体操を続けられるよう働きかけていく。	
やさしい手話講座	通年	24回	趣味教養	成人	186人	【内容】 講師を招き、テキストを中心に手話を学ぶ。 【ねらい】 日常会話ができるようになることはもちろん、災害時等、有事の際にも役立てるよう手話を習得することを図る。	【準備過程】 毎号の公民館だよりで講座日程・講座への参加方法を地域住民へ周知 【第二地区文化祭への出演】 歌で健康力アップ講座とタイアップして、合唱の歌詞を手話で表現する等、手話講座のＰＲに務めている。	【評価と反省】 手話を通じて聴覚障害者の方々とのコミュニケーションが深められている。また、継続実施してきていることにより、受講者の手話能力レベルが上がってきており、日常会話等ができるようになってきている。 【今後の方針】 受講者の固定化が見られるため、今後は、新しい受講者の確保を図りながら、継続して実施したい。	

令和６年度　事業報告

第二地区公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	ＣＳ
館報編集委員会	通年	1回	公民館委員会・各種会議等	その他	60人	【内容】 「公民館報だいにちく」の企画、取材、記事の依頼、記事の校正等 【ねらい】 住民参加による地区の広報誌づくり	【準備過程】 偶数月の委員会で記事の内容を決定。奇数月は取材や寄稿された原稿の校正と紙面構成を行う。	【評価と反省】 館報編集委員は現在、男性のみで５名。委員の増員と女性委員の加入が課題として浮上している。 【今後の方針】 委員の増員、女性委員の加入ともに適任者の掘り起こしに取り組む。	

令和６年度　事業報告の概要

第三地区公民館

方針・地域課題・重点的に取り組んだ事項等	評価・反省等
【方針・地域課題】 1　高齢者だけでなく子どもや若者も利用しやすい公民館を目標に、まずは公民館という存在を知ってもらうことから始め、講座への参加や地域活動への参加へとつなげていく。	1　あがた児童センターやこども育成会と協力して小学生向けの講座を開催したり、地区公民館フリースペース開放事業で若者の居場所の提供を行なった。特にフリースペースは高校生の利用が多く、公民館の存在を認知している子どもが増えてきたと感じている。公民館に来てくれる子どもたちをどうやって地域とつなげていくかが今後の課題である。
2　第三地区公民館に併設していたトライあい・松本が令和６年３月31日付で閉館となり、トライあい・松本で管理運営していた会議室が第三地区公民館の管理となった。文化施設としてのトライあい・松本と社会教育施設の公民館では利用条件なども異なるため、トライあい・松本を利用していた団体や新しく第三地区公民館を利用する団体など公民館利用者への対応を丁寧に行い、利用者全員が気持ちよく公民館を利用していただけるよう環境を整備する。	2　立地の良さや駐車場スペースがあることなどから令和５年度に比べ利用団体が大幅に増えた。また、利用者アンケートを実施するなどして公民館についての意見を伺い、改善できる点は対応し、利用者に気持ちよく公民館を利用いただけるような工夫をした。

項目	学級講座・学習会等									地域事業			公民館委員会・各種会議等	ＣＳ
	人権平和	福祉健康	子育て	地域文化	環境	趣味教養	スポーツ	防災	その他	体育	文化	その他		
事業数	0	4	3	12	0	5	0	1	3	1	3	2	6	4
延べ参加人数	0	98	157	591	0	221	0	28	2557	52	1204	720	263	884

令和６年度　事業報告

第三地区公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	ＣＳ
～春のウォーキング講座～プラネタリウムを観に行こう	5月18日	1回	福祉健康	青少年	16人	【内容】 教育文化センターまでウォーキングをした後、プラネタリウムで星空について解説を聞く。 【ねらい】 参加者同士の交流、ウォーキングによる健康増進と自然観察	【準備過程】 体育委員会で企画。公民館だより（全戸配布）にて周知	体育委員が参加者へ積極的にコミュニケーションをとっている姿が見られた。 子どもも参加できるよう休日に開催したが子どもの参加は２名であった。世代間交流事業でもあるのでもっと子どもが参加できるように工夫が必要である。	
第三地区まちあるき講座～あがたの森を歩こう～	6月4日	1回	地域文化	成人	9人	【内容】 オープンガーデンの見学とあがたの森公園内の散策 【ねらい】 あがたの森周辺の自然・歴史文化についての学習と地域の魅力の再発見	【準備過程】 文化委員会で企画。公民館だより（全戸配布）にて周知	普段見落としてしまう植物や樹木なども解説を聞きながら散策すると興味深い。内容は良いのに一般参加者が少ないのがもったいないとの声をいただいたので、次回開催するならば周知方法など工夫が必要	
清水中学校まちあるき	6月6日	1回	地域文化	青少年	132人	【内容】 中学１年生を対象にまちめぐりを行う。 【ねらい】 自分たちの住む地域について知り、地域の歴史や文化に興味をもってもらう。	【準備過程】 学校との日程調整、まちの案内をしてくださる講師の派遣 【協力】 第三地区まちづくり協議会	自分たちの住む地域について知り、地域に興味を持ってもらうことは大切であるため、学校とも相談しながら今後も継続していく。	○
第20回水無月コンサート	6月16日	1回	地域事業（文化）	成人	279人	【内容】 第三地区で活動する音楽団体が出演する演奏会 【ねらい】 住民同士、また住民と児童生徒との交流を図る。	【準備過程】 町内公民館長会で企画。公民館だより（全戸配布）にて周知、町内掲示板にポスター掲示、児童センター、近隣の市施設へチラシ設置 【協力】 町会連合会	20回目の節目のコンサートに第三地区の子どもが通う清水小、源池小、清水中の各校から演奏に参加いただけて良いコンサートとなった。地域の方々が子どもたちの演奏を聴く機会は少ないので、今後も継続していきたい。	
８mmフィルム上映会	6月27日	1回	地域文化	成人	37人	【内容】 昭和30年代、日活映画全盛期に活躍した俳優たちによる映画を８mmフィルム映写機で上映する。 【ねらい】 ８mmフィルムの歴史を感じながら映画を鑑賞し参加者同士が語り合ったり、懐かしい映像を見る事による認知症予防を図る。	【準備過程】 公民館主催講座として企画。公民館だより（全戸配布）にて周知 【協力】 務台秀夫さん	映像を見ながら懐かしさを感じている声も聞こえ、大勢の方が昔の映画や８mmフィルムで撮った映像に興味があることがわかった。今ではなかなか見る機会のない貴重なものであるので今後も講座等で８mmフィルムに触れる機会を作りたい。	

令和６年度　事業報告

第三地区公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	ＣＳ
ぼんぼんと青山様の由来を知ろう	7月6日	1回	地域文化	青少年	29人	【内容】 青山様とぼんぼんの歴史や由来について学ぶ。 【ねらい】 松本の伝統文化である青山様ぼんぼんについて学び、次世代へ継承していく。	【準備過程】 まちづくり協議会主催で企画。チラシを近隣施設・学校、こども育成会へ配布。公民館だより（全戸配布）にて周知	保護者世代でも青山様とぼんぼんについて由来を知らないまま地区行事として参加している方が多い。講座に参加することで意味を持って行事に参加することができ、次世代へもつながっていく。	
夏のウォーキング講座～上高地を散策しよう～	7月23日	1回	福祉健康	成人	25人	【内容】 上高地の散策 【ねらい】 自然豊かな上高地をウォーキングすることで、住民同士の交流を深めながら健康増進を図る。	【準備過程】 体育委員会で企画し、公民館だより（全戸配布）にて周知	人気で恒例のバスウォーキング講座。申し込みが多いため参加者を抽選で決めたが、昨年も今年も両方当選した方が多くいて、当選しなかった方から不満の声をいただいた。昨年参加した方はご遠慮いただくなどして地区の皆さんが平等に参加できるような工夫が必要である。	
夏休みこども企画「公民館で遊ぼう！」	7月31日	1回	子育て	青少年	60人	【内容】 あがた児童センターに通う児童を対象に、公民館でカレー作りやバランスボール運動などを体験する。 【ねらい】 公民館を利用する機会の少ない子どもたちに公民館を知ってもらい、夏休みの思い出の一つになるような交流会を行う。	【準備過程】 公民館主催講座として企画。あがた児童センターで保護者の方へ案内を配布 【協力】 あがた児童センター	子どもたちはとても満足していた様子であった。児童センターの職員からも好評をいただいた。今回は児童センターに通う子どもを対象に実施したが、今後はこども育成会とも協力をして地区の子どもたちを対象に公民館を知ってもらえる講座を検討したい。	
第22回あがたの森夏まつり	8月4日	1回	地域事業（その他）	青少年	300人	【内容】 あがたの森正面通路で開催。地区の子どもたちによる青山様ぼんぼんの練り歩きと各町会による屋台の出店 【ねらい】 第三地区住民同士の親睦を図るとともに、松本の伝統を継承しながら子どもたちに交流の場を提供する。	【準備過程】 あがたの森夏まつり実行委員会を組織。公民館だより（全戸配布）にて周知、町内掲示板にポスター掲示、児童センター、近隣の市施設へチラシ設置、イオンモール松本のサイネージへ掲示 【協力】 あがたの森夏まつり実行委員会（町会連合会、町内公民館長会、育成会わかばの会）、イオンモール松本	家族で参加されている方も多く、多世代の参加が見られた。昨年の反省を踏まえ改善できた部分もあったが、新たな課題も出たので次回へつなげたい。地区役員も楽しみにしている夏のイベントのようなので、引き続き開催していきたい。	

令和６年度　事業報告

第三地区公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	ＣＳ
ポーセラーツ体験講座～オリジナルマグカップを作ってみよう～	9月19日	1回	趣味教養	成人	13人	【内容】 11月の作品展に向けて、ポーセラーツでオリジナルデザインのマグカップを制作 【ねらい】 作品展に向けた作品制作の機会を作るとともに、住民同士の交流を図る。	【準備過程】 町内公民館長会で企画。チラシを作成し、各町会から参加者を募った。	作品展に向けた講座ということで講師のご厚意で様々な模様のシールを用意していただいた。デザイン決めからレイアウトまで楽しみながら制作していた姿が印象的であった。	
まちなか井戸めぐり講座	9月25日	1回	地域文化	成人	15人	【内容】 第三地区周辺にある井戸をめぐる。 【ねらい】 井戸の由来や水質の違いなど解説を聞き、地域住民の交流と教養の向上	【準備過程】 文化委員会で企画。公民館だより（全戸配布）にて周知	歴史に興味のある方が多く、講師に質問をしたり興味深く解説を聞いていた。井戸水の飲み比べも行なったが、飲み比べると味や硬さの違いがわかり、楽しんでいただけた。好評だったため今後も開催したい。	
世代間交流スポーツ講座～ニュースポーツを楽しもう	10月19日	1回	地域事業（体育）	その他	52人	【内容】 チームに分かれてニュースポーツ体験 【ねらい】 世代を問わずみんなで遊べるレクリエーションを通して地域住民の健康づくりと住民同士の交流を図る。	【準備過程】 体育委員会で企画。公民館だより（全戸配布）にて周知 【協力】 あがた児童センター	子どもも大人も楽しそうにプレーしていて、世代間交流の良い機会となった。 昨年度と同じスポーツの体験だったので違うスポーツを取り入れたり、時間配分などの見直しが必要	
共に育つ子育て～三つ子の魂百まで～	10月27日	1回	子育て	成人	35人	【内容】 心の育ちについて専門家から講演をいただく。 【ねらい】 子育てに必要な考え方や心の育ち方について学ぶ。	【準備過程】 まちづくり協議会共催で企画。チラシを町内回覧 【協力】 子育て支援ねっこだっこ	子ども連れで大勢の子育て世代の方に話を聞いてもらえた。子育てが終わった方からも目から鱗な話があったとの声をいただき、どの世代にも通じるお話であった。子育てサークルの活動も多い地区なので、今回のような講演会も定期的に開催していきたい。	
エコバッグに型染めしてみよう	10月31日	2回	趣味教養	成人	12人	【内容】 型染めという技法を使い自分の好きな色でデザインしたオリジナルエコバッグを製作 【ねらい】 作品展に向けた作品製作の機会を作るとともに講座を通して住民同士の交流を図る。	【準備過程】 公民館主催講座として企画。公民館だより（全戸配布）にて周知	同じ型を使っても色合いが違うだけで全く違うイメージのエコバッグが出来上がったため、作品展向けの講座としては良い内容であった。	

令和６年度　事業報告

第三地区公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	ＣＳ
第25回第三地区作品展	11月 9日 11月10日	1回	地域事業（文化）	成人	321人	【内容】 各町会の作品、公民館の作品の展示、地区に関係するＤＶＤの上映、イオンモールの展示、抽選会 【ねらい】 地区住民の日頃の活動、学習の成果の展示を行い、住民相互の親睦と交流を図る。	【準備過程】 町内公民館長会で企画。公民館だより（全戸配布）にて周知、町内掲示板にポスター掲示、児童センター、近隣の市施設へチラシ設置 【協力】 町会連合会、イオンモール松本	勤労者福祉センターでの開催は会場が明るくて広くて見やすい等で好評。町会ごとに展示スペースを決めているが、スペースと作品の数や大きさが合わずバランスが悪いので改善が必要である。子どもの作った作品をもっと展示できるよう育成会と協力する。	
山と天気のプロ 北アルプス西穂山荘支配人が語る「よも山話し」	11月14日	1回	地域文化	成人	31人	【内容】 西穂山荘の支配人による山と天気のよもやま話 【ねらい】 身近な存在である山のことについて、山のプロから様々なお話を伺い、山について教養を深める。	【準備過程】 公民館主催講座として企画。公民館だより（全戸配布）にて周知	山で起きた様々なお話を写真や映像も交えながら分かりやすく説明いただけた。定員を超える申し込みもあり山に興味のある方が大勢いることが分かった。続編を希望する声もあったので今後も開催を検討したい。	
介護予防講座 介護予防に役立つコミュニケーションゲーム	11月26日	1回	福祉健康	高齢者	41人	【内容】 認知症・介護の予防に効果があるコミュニケーションゲームを体験する。 【ねらい】 認知症・介護の予防と住民同士の交流を図る。	【準備過程】 まちづくり協議会共催で企画。チラシを町内回覧。ひろば事業等で参加者へ告知 【協力】 東部包括支援センター、地区生活支援員	手と足を同時に動かしたり、ペアになって相手とコミュニケーションを取りながら動かしてみたり、認知症予防や介護予防は楽しく遊びながらできることであると知れる良い機会になった。認知症の方も増えてきているので、早いうちから予防できるよう企画を考えていきたい。	
押絵雛で来年の干支をつくろう	12月9日	1回	地域文化	成人	12人	【内容】 押絵雛の技法を使って来年の干支である「巳」を製作 【ねらい】 松本の伝統工芸である「押絵雛」に親しみをもち、松本の文化を次世代へ継承する。	【準備過程】 公民館主催講座として企画。公民館だより（全戸配布）にて周知	講師と参加者がコミュニケーションをとりながら楽しい雰囲気の中で製作ができた。毎年変わる干支をモチーフにすることで講座への継続参加にもつながる。	
しめ縄お飾りづくり	12月15日	1回	地域文化	成人	17人	【内容】 年末年始に飾るしめ縄としめ飾りの製作 【ねらい】 正月の伝統的な文化を地区住民に親しんでいただき、次世代へ継承していく。	【準備過程】 公民館主催講座として企画。公民館だより（全戸配布）にて周知	毎年恒例の講座のため、ある程度参加者が固定されてはいるが、初めて参加される方もいた。しめ縄としめ飾りを間違えて申し込まれた方もいたので募集の際に写真などを示して誤りの無いように工夫が必要である。	

令和６年度　事業報告

第三地区公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	ＣＳ
まゆ玉づくり＆おもちつき大会	12月22日	1回	地域文化	青少年	31人	【内容】 三九郎に向けた、まゆだま作りとおもちつきの体験 【ねらい】 学校や町会での開催が減少している正月の伝統文化の体験	【準備過程】 公民館とまちづくり協議会共催で企画。公民館だより（全戸配布）にて周知 【協力】 第三地区まちづくり協議会	毎年恒例のまゆ玉づくり講座に合わせてお餅つき大会を開催した。子どもたちや保護者からも好評であったため継続したいが、今後はこども育成会と相談をして育成会が主になっての開催も検討していきたい。	
人形劇団やまんば公演	1月9日	1回	子育て	家庭教育	62人	【内容】 人形劇団やまんばによる０歳から楽しめる参加型人形劇の公演 【ねらい】 発達が未分化な乳幼児期から、他者との関わりや人権感覚を育て人間形成の基礎を培う。	【準備過程】 第三地区人権啓発推進協議会主催で企画。公民館だより（全戸配布）にて周知。公民館で活動する子育てサークルへチラシ配布 【協力】 民生児童委員協議会、福祉ひろば	多くの親子に参加いただき、子どもも大人も楽しんでいた。子育てに疲れたお母さんたちもリラックスできたり癒されたりできる場が必要なので、民生児童委員や福祉ひろばとも連携して今後について検討していきたい。	
飾り巻き寿司講座	1月17日	1回	趣味教養	成人	14人	【内容】 節分に向けた鬼の柄の巻き寿司と絶対に失敗しない恵方巻作り 【ねらい】 生活文化の振興と参加者同士の交流を深める。	【準備過程】 公民館主催講座として企画。公民館だより（全戸配布）にて周知	昨年に引き続きの開催で今回も好評であった。次はクリスマスの柄を作りたいという要望もあったが、大人向けだけでなく子ども向けの講座または親子で参加できる講座の形も検討したい。	
第１回第三地区文化祭	3月1日 3月2日	1回	地域事業（文化）	成人	604人	【内容】 公民館および福祉ひろばで活動するサークルの発表、作品展示など 【ねらい】 日頃の文化活動の成果を披露する機会として、また、地域住民が気軽に集い交流する機会として開催	【準備過程】 文化祭実行委員会を組織。公民館だより（全戸配布）にて周知、町内掲示板にポスター掲示、児童センター、近隣の市施設へチラシ設置 【協力】 福祉ひろば事業推進協議会、文化委員会	初めての開催。参加者や来場者からは大変好評であった。公民館で活動しているサークルの発表の機会がなかったため今回多くの団体に活動の成果を発表頂けて良かった。サークル同士の交流もあり、他の団体の発表を見て刺激をもらえたとの声もあった。初めての開催だったため準備不足な点もあったが、今回の反省点を活かし次回の開催に向けて準備していきたい。	
防災講座～地域の防災力を高めよう～	3月5日	1回	防災	成人	28人	【内容】 災害に強い地域をつくるため地域としてできることは何かなど講演をいただく。 【ねらい】 地域住民の防災意識を高める。	【準備過程】 まちづくり協議会主催で企画。公民館だより（全戸配布）にて周知、チラシを町内回覧	Ｒ６元日に起きた能登半島地震の現場のお話や復興の状況、第三地区の災害リスクなどお話をいただいた。Ｒ６は各避難所ごとに避難所開設訓練を実施したこともあり、地区としての防災意識が高まってきていると感じる。災害はいつ起こるかわからないので引き続き講座や訓練で意識を高めていきたい。	

令和６年度　事業報告

第三地区公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	ＣＳ
暮らしの中で看取りを考える	3月18日	1回	福祉健康	成人	16人	【内容】 在宅医療に携わる医師に実際の経験談を交えた講演をしていただく。 【ねらい】 在宅における看取りや終活についての理解を深める。	【準備過程】 公民館主催講座として企画。公民館だより（全戸配布）にて周知	在宅医療のリアルをお話しいただき、参加者はとても興味深く話を聞いていた。高齢者も多くなっており、このような講座も需要があるため今後も開催を検討したい。	
第４回歩いて探そう！お宝探訪ウォークラリー	3月20日	1回	地域文化	成人	33人	【内容】 中央地区周辺をウォークラリーで巡る。 【ねらい】 地域の身近な魅力を再発見するとともに、地区の垣根をこえた参加者同士の交流を深める。	【準備過程】 ６地区の公民館で実行委員会を作り、企画、準備、公民館だより（全戸配布）にて周知 【協力】 第一地区、第二地区、第三地区、東部地区、城東地区、中央地区の地域づくりセンター、福祉ひろば	他の地区の参加者とチームを組み、コマ図を読み解いたりクイズに回答したりと一緒に考えてゴールを目指すことで、普段会わない方同士で交流ができた。ウォークラリーのあとは座学で通ってきた道にある歴史的ポイントの解説もあり学びを深めることができた。	
プロから学ぶおそうじ講座	8月29日 11月 7日 2月13日	3回	趣味教養	成人	34人	【内容】 お掃除全般のポイントなどの紹介と場所別の掃除方法をお掃除マイスターから学ぶ。 【ねらい】 地区住民が過ごしやすい住環境をつくることをサポートする。	【準備過程】 公民館主催講座として企画。公民館だより（全戸配布）にて周知	講座に参加してすぐ自宅で実践できるという点で参加者から大変好評をいただいた。歴史講座やモノづくりの講座が多いが、今回のような実生活に役立つ講座も今後も企画していきたい。	
源池小学校稲作体験	5月15日 5月22日 9月24日 10月 9日	4回	地域文化	青少年	184人	【内容】 ５年生を対象に学校内にある田んぼで代掻き、田植え、稲刈り、脱穀の体験をする。 【ねらい】 農業・自然環境に対する関心を高める。	【準備過程】 講師、源池小学校と日程調整	最近は裸足で田んぼに入ったり鎌を扱う体験をする機会がなく、稲作も初めて体験する子どもが多かった。普段食べているお米がどのように作られるのか、自分たちで体験しながら学習するというのはとても大切なことである。今後も学校と相談しながら稲作体験の機会を提供していきたい。	○
源池小学校放課後クラブ活動支援	6月11日 7月 8日 9月 9日 10月 8日	4回	趣味教養	青少年	148人	【内容】 地区住民がクラブ活動（手芸や将棋など）の指導を行う。 【ねらい】 地区住民と児童の交流を図る。	【準備過程】 源池小学校から依頼があり、地区住民から講師を派遣	子どもたちは興味のあるクラブ活動を楽しむことができ、地域住民には子どもたちに教えるやりがいを感じていただけた。	○

令和６年度　事業報告

第三地区公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	ＣＳ
「蚕業革新の中心地」第三地区の歴史を知ろう！	1月18日 1月25日	2回	地域文化	成人	61人	【内容】 まつもと文化遺産登録に向けて、第三地区の歴史について歴史的観点と文化・建築の観点から解説をいただく。 【ねらい】 地域住民に第三地区の歴史について興味をもっていただき、文化遺産の保存活動に参加していただく。	【準備過程】 まちづくり協議会主催で企画。チラシを町内回覧、公民館だより（全戸配布）にて周知	各回30名程度の参加があり、地区の歴史について興味のある方が大勢いることがわかった。現在建物がないものが多いのでどのように後世に伝えていくかが課題。若者向けの歴史講座も検討していきたい。	
地区公民館フリースペース開放事業	8月～3月	225回	その他	青少年	1,867人	【内容】 中学生～大学生を対象にフリースペースを開放 【ねらい】 新しい若者の居場所として公民館を利用いただき、若者と地域とのつながりをつくる。	【準備過程】 チラシを近隣の学校へ配布、公民館だより（全戸配布）にて周知 【協力】 生涯学習課・中央公民館 職員不在の時間帯の見守り人はシルバー人材センターへ委託	昨年度は公民館単独で夏休みと春休みに自習室を開放したが数名の利用しかなかった。しかし、今年度は松本市全体の事業としてフリースペースを開放することになり、学校施設の多い第三地区では数多くの学生の利用があった。トライあい・松本から会議室が移管されフリースペース専用の部屋を用意できて毎日開放していることは利用者が多い理由につながっている。来年度も引き続き若者の居場所として多くの学生に利用いただけるよう学生からの声も聞きながら工夫をしていきたい。	
居酒屋公民館	通年	11回	その他	成人	287人	【内容】 料理と飲み物を持ち寄り、地域住民のコミュニケーションの場とする。 【ねらい】 普段公民館を利用することの少ない人にも気軽に立ち寄れる場所を提供し、地域住民の交流を深める。	【準備過程】 公民館主催事業として企画。公民館だより（全戸配布）にて周知	各回20名～25名程度の参加があり大変盛り上がっているが、参加者が固定されてきたので、新しい方に来ていただけるような工夫が必要。また内容についても何か企画を考えたり参加者の声を聞きながら内容を改善していくことも必要	
みつばちかふぇ	通年	11回	その他	高齢者	403人	【内容】 誰もが気軽に集える場として地域住民の交流の機会をつくる。 【ねらい】 地域住民の交流、認知症予防	【準備過程】 まちづくり協議会主催で企画。みつばち隊（ボランティア）が各回の内容を計画 【協力】 民生児童委員協議会、地区生活支援員、福祉ひろば	月に１回開催していて各回35名程度の参加をいただき楽しい交流会を実施している。高齢者向けの事業として始まったが、赤ちゃん連れの方の参加もあり、参加された高齢者は赤ちゃんと触れ合い癒されている。世代間交流の機会にもなっていて、来年度も引き続き開催していきたい。	

令和６年度　事業報告

第三地区公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	ＣＳ
あいさつ運動（見守り活動支援）	通年	40回	地域事業（その他）	その他	420人	【内容】 地区ボランティアが毎週金曜日の朝に各所に立ち、通学の見守りとあいさつ運動を行う。 【ねらい】 通学中の児童生徒の見守り、地域住民との交流	【協力】 各地点の町会の町会長、町内公民館長、民生委員など	定期的に実施することで地域の方々と子どもたちが顔見知りになり、子どもたちからあいさつをしてくれることも増えている。この活動が始まったきっかけの「あがたの森未来サミット」は現在は開催されておらず当時のことを知る学生や教員もいないため、当時のように子どもたちにあいさつ運動に参加してもらうには、改めて学校や町会と調整が必要になる。	○
館報編集委員会	通年	12回	公民館委員会・各種会議等	成人	68人	【内容】 年６回の公民館報発行のための記事取材、紙面構成、編集作業		地区の方に執筆していただく機会をもっと増やせるよう検討したい。	
図書委員会	通年	3回	公民館委員会・各種会議等	成人	7人	【内容】 図書コーナーにある団体貸出図書の入れ替え作業		今年度新設された委員会。今年度は図書の入れ替え作業のみ行なったが、来年度以降主催講座の企画や本の紹介、図書新聞の作成など、活動内容を検討していきたい。	
体育委員会	通年	5回	公民館委員会・各種会議等	成人	31人	【内容】 体育事業に関わる企画立案と実施		世代間交流事業にもっと子どもが参加できるような工夫が必要。今年度は昨年度とほぼ同様の内容で講座を行なったため、来年度は各講座の内容について再検討する。	
文化委員会	通年	4回	公民館委員会・各種会議等	成人	44人	【内容】 文化事業に関わる計画立案と実施		今年度から構成員の変更をし町内公民館長に兼務いただくことになった。第三地区町内公民館長会は活動が活発なことから文化委員としても講座の企画提案を出したり、積極的に講座に参加してくださっている。来年度も引き続き委員の声を聞きながら講座などの計画をしていきたい。	
公民館運営委員会	通年	2回	公民館委員会・各種会議等	成人	22人	【内容】 公民館の運営や事業計画について協議し決定する。		公民館の利用状況や講座の実施状況のみの報告となっているため、今後は活発な意見がでるような仕組み作りが必要	
町内公民館長会	通年	8回	公民館委員会・各種会議等	成人	91人	【内容】 町内公民館長会主催事業の計画立案と実施		あがたの森水無月コンサート、第三地区作品展を主催し、あがたの森夏まつり、第三地区文化祭では当日スタッフとしてご協力いただいた。また歓送迎会や忘年会、視察研修を計画するなど会の活動も活発で、第三地区を盛り上げるのに重要な役割を担っている。会の雰囲気も良くやりがいを感じて活動をしている。来年度も引き続きさまざまな活動をしていきたい。	

令和６年度　事業報告の概要

東部公民館

方針・地域課題・重点的に取り組んだ事項等	評価・反省等
【方針・地域課題】 ・住民の生活文化の振興、社会福祉の増進に寄与する。 ・だれもが安全・安心でいきいき暮らせる地域を目指す。 ・公民館を知り・参加し・携わる人を増加し、自主的な活動を促す。 ・できることで且つ継続していける事業に衣替えして行く。 【重点的に取り組んだ事項】 1　継続的に利用・参加状況をデジタルに把握する。 2　住民の声を吸収すると共に、事業成果を報告する。 3　全体講座・町内公民館出前講座での学ぶ講座の実施 4　周知徹底を図る仕組みを向上させる。 5　貸館事業の活性化	・公民館事業全体講座は、計画した講座はすべて計画通り実施した。また、年度中途においても、住民のニーズに合わせた講座・事業の追加開催を実施した。 ・新規事業の立ち上げ、実施を行い、大勢の参加者を呼び込むことができた半面、参加者の固定化が目立つ結果にもなり、参加できない方、事業自体を知らない方への周知方法など、課題も浮き彫りとなった。

項目	学級講座・学習会等									地域事業			公民館委員会・各種会議等	ＣＳ
	人権平和	福祉健康	子育て	地域文化	環境	趣味教養	スポーツ	防災	その他	体育	文化	その他		
事業数	2	4	2	6	1	8	1	3	6	2	2	3	1	3
延べ参加人数	153	107	74	99	28	192	18	175	238	253	260	189	292	49

令和６年度　事業報告

東部公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	ＣＳ
北アルプスと松本盆地の成り立ちから考える防災講座	4月17日	1回	防災	成人	56人	【内容】 北アルプスと松本盆地の成立ちの観点から見た松本の防災上の留意点を学ぶ。 【ねらい】 ・防災意識の向上 ・知識の習得	【準備過程】 地区内全戸配付チラシにて周知 【協力】 共催　地区防災部	ただ巨大地震の可能性が高いから備えようという物ではなく、地形の成り立ちから解説してもらうことで、意識をもっと松本の地盤の危険が伴うことを実感させることができた。	
地域文化講座①文書館と西善寺	5月1日	1回	地域文化	成人	25人	【内容】 文書館と西善寺を訪問し地区由来の古文書や文化財に触れる。 【ねらい】 ・教養の向上 ・地域文化の継承	【準備過程】 全戸配布のひろばニュースにて周知 【協力】 文書館、和田地区	東部地区由来の文化財を鑑賞、学習し地区の歴史について興味を持ってもらうことができた。	
竹巻パンづくり	5月18日	1回	子育て	青少年	14人	【内容】 親子で竹巻パンをつくる。 【ねらい】 ・食育意識の醸成 ・地域学生との交流 ・子育て支援	【準備過程】 全戸配布のひろばニュースにて周知 【協力】 共催　女鳥羽川デザイン研究室	大学生と連携して実施したことにより、繋がりが希薄な学生と公民館との接点を持つことができた。	
高原でマレットゴルフ	6月10日	1回	福祉健康	成人	22人	【内容】 高原に出向きマレットゴルフを実施する。 【ねらい】 ・運動による健康増進 ・地域住民の親睦	【準備過程】 全戸配布のひろばニュースにて周知 【協力】	自然を満喫しながらのマレットゴルフで健康増進に寄与した。来年度も目的地を変更して開催予定	
目からウロコのパッククッキング講座	6月21日	1回	趣味教養	成人	15人	【内容】 講師：浅井由起子さん 【ねらい】 ・食育 ・防災意識の向上	【準備過程】 全戸配布のひろばニュースにて周知 【協力】 共催　地区日赤奉仕団	防災時にも役立つパッククッキングを普段の料理にも大いに活用できるということを普及できた。	
古文書講座	6月30日	1回	趣味教養	成人	14人	【内容】 講師：文化財課 【ねらい】 ・教養の向上 ・参加者の交流	【準備過程】 全戸配布のひろばニュースにて周知 【協力】 文化財課	東部地区由来の古文書を実際に読み解き、学習し地区の歴史について興味を持ってもらうことができた。	

令和６年度　事業報告

東部公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	ＣＳ
自然観察ウォーク	7月19日	1回	福祉健康	成人	29人	【内容】 行先：上高地　講師:上條恒嗣さん 【ねらい】 ・ウォーキングによる健康増進 ・地域住民の親睦	【準備過程】 全戸配布のひろばニュースにて周知 【協力】	自然を満喫しながらのウォーキングで健康増進に寄与した。来年度も目的地を変更して開催予定	
防災キャンプ	7月27日	1回	防災	青少年	53人	【内容】 防災にも活かせるライフハックをデイキャンプで学ぶ。 【ねらい】 防災意識向上　地域住民の交流	【準備過程】 全戸配布のひろばニュースにて周知 【協力】 共催：町会連	コンセプトを明確にできなかったこと、真夏に屋外で実施したことなどがあり、参加者が想定よりかなり少なかった。	
楽しいラジオ体操	7月28日	1回	地域事業（体育）	青少年	188人	【内容】 講師：公認１級ラジオ体操指導士 【ねらい】 ・健康増進 ・親睦と世代間交流	【準備過程】 全戸配布のひろばニュースにて周知 【協力】 共催：東部地区こども会育成会	例年通り大盛況であった。多くの住民が集まるイベントであるため、ただ集まるだけでなく、なにか他にも有効活用できないか同時開催などを検討したい。	
交通安全教室	7月28日	1回	地域事業（その他）	青少年	188人	【内容】 講師：松本警察署 【ねらい】 ・交通安全意識の向上と事故防止 ・親睦と世代間交流	【準備過程】 全戸配布のひろばニュースにて周知 【協力】 共催：東部地区連合町会	警察による安全講習を行ったが、屋外であったため声が届かないなどの課題も残った。	
青山様・ぼんぼん補助			地域文化	青少年		【内容】 青山様・ぼんぼんの運営補助 【ねらい】 子どもの減少、担い手不足で存続が難しくなりつつある地域文化の維持	【準備過程】 【協力】 共催：東部地区連合町会	地元小学校ＰＴＡが解散し、ますます今後の厳しさが見込まれるため、引き続き実施していく。	
ボウリング大会	8月3日	1回	地域事業（体育）	成人	65人	【内容】 ボウリング大会の実施 【ねらい】 健康増進・住民の親睦	【準備過程】 全戸配布のひろばニュースにて周知 【協力】 共催：東部地区体育協会	東部地区体育協会が中心となり実施し、大盛況だった。健康増進に寄与した。来年度も開催予定	
納涼祭	8月10日	1回	地域事業（その他）	成人	165人	【内容】 納涼祭の実施、振舞屋台、盆踊り 【ねらい】 親睦と世代間交流	【準備過程】 全戸配布のひろばニュースにて周知 【協力】 共催：東部地区連合町会	初開催の事業であったが、夏の夕涼みに集まれる機会を作り、住民同士の交流ができた。次回、より内容を向上し実施したい。	

令和６年度　事業報告

東部公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	ＣＳ
東部地区街歩き	8月20日	1回	地域文化	青少年	30人	【内容】 地区内の文化財を実際に歩いて回る。 講師：倉澤聡さん 【ねらい】 ・青少年育成 ・地域文化の継承	【準備過程】 清水小学校内にて周知 【協力】 清水小学校	初開催の事業であったが、清水小学校全面協力の下実施することができた。今後も学校連携を強化していきたい。	○
ブロック別バス講座	9月3日 9月5日	2回	趣味教養	成人	55人	【内容】 行先：高山市 【ねらい】 ブロックに分散させ、参加できる機会を増加。参加者の教養、親睦を深める。	【準備過程】 全戸配布のひろばニュースにて周知 【協力】 共催：東部地区連合町会	町会別に実施。視察先がマンネリ化してきているため、企画自体の組立を新しい発想で行いたい。	
電気が生まれる現場を見てみよう	9月12日	1回	環境	成人	28人	【内容】 行先：奈川渡ダム、新信濃変電所 講師：東京電力パワーグリッド 【ねらい】 ・環境意識の向上 ・地域住民の親睦	【準備過程】 全戸配布のひろばニュースにて周知 【協力】 共催:東部地区環境衛生協議会	参加者の環境意識を高めることができたと同時に、知識習得に寄与できた。	
マレットゴルフ大会	9月22日	中止	趣味教養	成人	0人	【内容】 マレットゴルフ大会の実施 【ねらい】 ・健康増進 ・住民の親睦	【準備過程】 全戸配布のひろばニュースにて周知 【協力】 東部地区体育協会	雨天中止	
運試しウォークラリー	10月5日	1回	地域事業（文化）	成人	78人	【内容】 ウォークラリーで地区内を巡る。 【ねらい】 ・健康増進・親睦と世代間交流 ・地域文化についての学習	【準備過程】 ・地区内全戸配付チラシにて周知 ・関係団体に個別通知 【協力】 町会連合会、東部福祉ひろば	多くの方に参加いただいた。子どもたちも楽しんでいた。健康増進、地域の親睦、地域の文化理解に寄与したイベントだった。	
ベネチアンガラス講座	10月19日	1回	趣味教養	成人	18人	【内容】 講師：太田敏子 ベネチアンガラスペンダントの作成 【ねらい】 ・知識の習得 ・住民の親睦	【準備過程】 全戸配布のひろばニュースにて周知 【協力】 東部地区福祉ひろば	今まで平日開催だったものを土曜開催に変更。親子連れや初参加の人もおり、新たなる公民館の関りのきっかけとできた。	

令和６年度　事業報告

東部公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	ＣＳ
終活講座　人生 100年時代をどう生きて逝きますか？	10月23日	1回	趣味教養	成人	19人	【内容】 講師：安曇野市社会福祉協議会　岡村律子 【ねらい】 終活準備のきっかけづくり	【準備過程】 全戸配布のひろばニュースにて周知 【協力】 安曇野市社協	避けて通りたい話題のため、開催の是非が検討されたが、結果好評であり、今後も様々な分野の終活を展開したい。	
町内公民館長会合同研修	11月13日	1回	趣味教養	成人	21人	【内容】 行先：糸魚川フォッサマグナパーク、フォッサマグナミュージアム 【ねらい】 知識習得、防災意識向上、住民の親睦	【準備過程】 全戸配布のひろばニュースにて周知 【協力】 東部地区町内公民館長会	専門団体の研修を一般住民にも開放し、知識習得を機会を設けることができた。	
東部文化祭	11月17日	1回	地域事業（文化）	成人	182人	【内容】 サークルや地区住民が日ごろの活動発表の場とするもの 【ねらい】 地区住民に発表の場を提供し文化向上を目指すとともに住民親睦を図る。	【準備過程】 全戸配布のひろばニュースにて周知 【協力】 東部地区連合町会 東部地区文化・音楽祭実行委員会	サークルの展示減少により、音楽と講演会のステージ中心のイベントとした。来年度は開催方法をあり方を含め検討したい。	
押絵雛講座	11月25日	1回	地域文化	成人	15人	【内容】 人形職人を招き、松本の伝統工芸である松本押絵雛を作る。 【ねらい】 ・伝統文化の継承 ・地域住民の親睦	【準備過程】 全戸配布のひろばニュースにて周知 【協力】	恒例行事。地区内外からの参加希望の連絡が来る。今後も続けたい。	
防犯講座	11月27日	1回	その他	成人	46人	【内容】 講師：松本警察署 「街頭犯罪」や「特殊詐欺」の被害防止対策など、身近な防犯について学ぶ。 【ねらい】 地域住民の防犯意識の向上	【準備過程】 全戸配布のひろばニュースにて周知 【協力】 東部防犯協会	東部交番所長と生活安全課の職員が講師。参加者は「自分は大丈夫と思っている人が危ないと知った。気を引き締めたい。」と話していた。	
餅つき大会	12月7日	1回	子育て	その他	60人	【内容】 臼と杵を使った餅つき大会 【ねらい】 親子で参加できる企画。子育て世代の参加を公民館活動への参加を促す。	【準備過程】 全戸配布のひろばニュースにて周知 【協力】 東部地区連合町会、民児協 こども育成つぼみの会	子どもメインのイベント。楽しくおいしくが重要。家族で楽しんでいただけた。来年度も引き続き開催したい。	

令和６年度　事業報告

東部公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	ＣＳ
しめ縄作り講座	12月14日	1回	地域文化	成人	29人	【内容】 ・講師：地区住民 ・正月のしめ縄の作り方を学ぶ。 【ねらい】 ・参加者の交流 ・日本の伝統であるしめ縄作りを学び、正月を彩る。	【準備過程】 地区内全戸配付チラシにて周知 【協力】	当日は講師から教わるだけでなく、参加者同士で教え合う雰囲気が自然に作られ、交流が深められた。 講師から引退を示唆されているが、何とか継続できる方法を模索したい。	
年末大掃除会	12月27日	1回	その他	成人	30人	【内容】 公民館利用サークルにより公民館の清掃を行うもの	【準備過程】 各利用団体宛に個別通知 【協力】	恒例行事。引き続き実施したいが、サークル減少による参加者減が課題	
三九郎マップ作成		1回	地域文化	成人		【内容】 女鳥羽川の河川敷で行われる三九郎を紹介するマップの作成 【ねらい】 「女鳥羽川の魅力を伝えること」を目的として発行	【準備過程】 つぼみの会、他地区町会、こども育成課から情報を得、12月広報配布日に間に合うように作成する。 【協力】	町会に全戸配布。地区内公民館、小中学校にもお願いし、設置。好評を得ている。今後も続けたい。	○
清水小わくわく応援団		3回	その他	その他	19人	【内容】 ＣＳ事業の一環。地区のボランティアにご協力をいただき、調理実習やしめ縄づくりなどを補助 【ねらい】 学校と地域のつながりを強める。	【準備過程】 全戸配布のひろばニュースにて実施状況を周知 【協力】	子どもたちとの世代間交流、学校と地域のつながりを強めることができるとてもいい事業。今後も続けたい。	○
新春書初め大会	1月4日	1回	趣味教養	青少年	50人	【内容】 公民館書道サークルの指導により書初めに取り組むもの 【ねらい】 学校の書初め宿題のフォローを行い、子どもと公民館の結びつきを強める。	【準備過程】 全戸配布のひろばニュースにて周知 【協力】 (東部サークル)楽しい書道教室	子どもたちとの世代間交流、世代間のつながりを強めることができるとてもいい事業。今後も続けたい。	
人権講座　ルーキーさんの「多様性時代の歩き方」	1月14日	1回	人権平和	成人	71人	【内容】 講師：社会派おネェ　ルーキーさん 【ねらい】 ・人権啓発 ・人権保護意識を高める	【準備過程】 全戸配布のひろばニュースにて周知 【協力】 東部地区人権啓発推進協議会	地区内住民に講師をお願いすることで、より身近に感じ問題意識を抱いてもらうことができた。	

令和６年度　事業報告

東部公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	ＣＳ
理学療法士による運動教室	2月7日	1回	福祉健康	成人	24人	【内容】 講師：ＫＡＲＡＤＡＲＡＫＵ理学療法士 【ねらい】 ・健康増進 ・住民の親睦	【準備過程】 全戸配布のひろばニュースにて周知 【協力】	専門家の運動指導により、セルフケアの知識を身につけ、実践させる狙い。継続性が必要である。	
ニュースポーツ講座	2月13日	1回	スポーツ	成人	18人	【内容】 モルックの実施 【ねらい】 健康増進と地域住民の交流を図るもの	【準備過程】 全戸配布のひろばニュースにて周知 【協力】 東部地区体育協会	簡単で楽しく、盛り上がっていた。チーム内での親睦も深まっているようだった。来年も種目を変えて開催したい。	
楽団ケ・セラ演奏会	3月8日	1回	人権平和	成人	82人	【内容】 楽団を招き、音楽を鑑賞する。 【ねらい】 ・人権意識の向上 ・地域住民の親睦	【準備過程】 ・全戸配布のひろばニュースにて周知 ・関係団体を通じて周知 【協力】 ・東部地区人権啓発推進協 ・東部地区社協 ・東部地区町会連合会	参加人数が多く大盛況だった。人権啓発の推進のため次年度以降も行いたい。	
交通安全教室	3月9日	1回	地域事業（その他）	青少年	24人	【内容】 講師：松本市安協東町支部 【ねらい】 ・交通安全意識の向上と事故防止 ・親睦と世代間交流	【準備過程】 全戸配布のひろばニュースにて周知 【協力】 共催：松本市安協東町支部	地区安協による安全講習を行った。法律改正の要素を取り入れるなど、各所に工夫が凝らされた内容であった。	
公民館喫茶（居酒屋）	5月15日 6月17日 7月24日 8月28日 9月25日 10月23日 11月13日	7回	その他	成人	143人	【内容】 地区住民に飲食物を持ち寄ってもらい、皆が集える場所を提供する。 【ねらい】 住民同士の交流	【準備過程】 ・全戸配布のひろばニュースにて周知 ・各町内回覧 【協力】 共催：町会連、町内公民館長会	普段関わりが少ない近隣の住民同士が集い、意見を交わすことができた。しかし、カラオケに依存して会話が進まない、一部の住民に過度な負担がかかってしまうなど、今後の実施の仕方に課題も残った。	
防災緑地草刈り	5月25日 9月29日	2回	防災	成人	66人	【事業内容】 地区内防災緑地の草刈り 【ねらい】 ・防災緑地の維持管理 ・防災緑地の認知向上	【準備過程】 ・地区内全戸配付チラシにて周知 ・関係団体に個別通知 【共催団体等】 共催：町会連合会　町会連防災部	防災緑地の維持管理、防災緑地の認知向上のため、引き続き実施したい。	

令和６年度　事業報告

東部公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	ＣＳ
食育講座　減脂（ヘルシー）教室	7月19日 9月24日	2回	福祉健康	成人	32人	【内容】 脂肪削減に注目した料理講座 講師：健康づくり課 【ねらい】 ・食生活改善 ・健康増進	【準備過程】 全戸配布のひろばニュースにて周知 【協力】 健康づくり課 共催：食生活改善推進委員	地区健康課題である脂質異常症に着目し、ただおいしいだけではなく健康にもよい料理教室を実施した。継続して健康課題解決のための講座を企画したい。	
東部ひろばニュースの発行	通年	12回	その他	成人		【内容】 公民館情報の提供 【ねらい】	【準備過程】 【協力】 東部地区福祉ひろば	翌月の行事を周知することが目的。	
松本市公民館報東部版の発行	通年	6回	その他	成人		【内容】 公民館情報の提供 実施事業の周知、啓発 【ねらい】	【準備過程】 【協力】	公民館活動の報告および周知を行うのがメイン	
各種委員会	通年	29回	公民館委員会・各種会議等	成人	292人	【内容】 【ねらい】	【準備過程】 【協力】		

令和６年度　事業報告の概要

城北公民館

方針・地域課題・重点的に取り組んだ事項等	評価・反省等
【方針・地域課題】 1　ふれ愛の創出・発展 住民が大切にしてきた「ふれ愛」について、時代に合わせた見直し・発展を行う。	1　地区文化祭「ふれ愛まつり」を実行委員が主体的に進め実施することができた。新しく企画した取り組みもあり、住民のふれあいの場となった。準備から当日までのスタッフの負担が大きく、実施内容や準備段階の見直しを行いたい。
2　地域との連携 住民の豊かな生活づくり、地域づくりのよりどころとして、住民が地域や暮らしについて主体的に考え、行動できるよう、公民館委員会を始めとした各種団体と次のとおり協議、連携し、住民と共に講座づくりを行う。 ⑴　子どもを対象とした事業は、子ども会育成会や学校と連絡・協議して実施する。 ⑵　地区公民館が地区の南端に位置していることから、町内公民館と連携し、出張講座を実施する。	2　他団体等の主催事業の実施に際して、事前の打ち合わせ等を行ったが、連絡の行き違い等が生じることもあった。事業内容によっては、電話等非対面のみに頼らない丁寧な打ち合わせを実施していきたい。
3　地域住民の要望を取り入れた事業実施 事業内容や参加者が固定化しないよう、常に新しい講座を取り入れていく。	3　新しい講座を取り入れ、日頃公民館に来る機会のない住民の参加が見受けられた。住民の要望を聞きながら、楽しく学べる講座を柔軟に企画していきたい。

項目	学級講座・学習会等									地域事業			公民館委員会・各種会議等	ＣＳ
	人権平和	福祉健康	子育て	地域文化	環境	趣味教養	スポーツ	防災	その他	体育	文化	その他		
事業数	2	3	5	2	0	20	2	2	5	2	1	0	5	1
延べ参加人数	44	76	173	30	0	414	52	51	171	73	641	0	139	641

令和６年度　事業報告

城北公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	ＣＳ
ウォーキング大会	5月18日	1回	地域事業（体育）	その他	35人	【事業内容】 距離別の４コースに分かれて地区内をウォーキングする。 【ねらい】 ・参加者の交流 ・健康増進	【準備過程】 地区内全戸配付チラシにて周知 【共催団体等】 共催：福祉ひろば・公民館体育部・住みよい町づくり協議会健康の部会	【評価と反省】 ・例年好評の大会 ・参加者の交流が促進された。 【今後の方針】 継続	
丸の内病院健康教室	6月27日	1回	福祉健康	その他	16人	【事業内容】 丸の内病院と連携した健康や福祉に関する講座 【ねらい】 健康、福祉の学習	【準備過程】 地区内全戸配付チラシにて周知	【評価と反省】 ・福祉制度や自宅でできるストレッチなど、将来役立つ知識向上になった。 ・今を健康に生きる学習がしたいとの意見があった。 【今後の方針】 その時の参加者の興味関心がある内容を検討し継続	
育成会バス視察研修	6月30日	1回	子育て	青少年	37人	【事業内容】 ・行先：国営アルプスあづみの公園 ・小学生を対象に、自然の中で外遊びやネイチャークラフトといった経験を通して学ぶ。 【ねらい】 ・子どもの交流 ・学校ではできない自然体験	【準備過程】 地区内全戸配付チラシにて周知 【共催団体等】 主催：子ども会育成会	【評価と反省】 グループに分かれ行動することで高学年児童の自立心の向上につながった。 【今後の方針】 継続	
防災講座：活断層大地震に備える	7月12日	1回	防災	成人	31人	【事業内容】 ・信州大学出前講座 ・近年発生した活断層地震の被害や明らかになった問題点に触れる。 ・国内外の事例紹介 【ねらい】 ・防災意識と知識向上	【準備過程】 地区内全戸配付チラシにて周知	【評価と反省】 ・近年の災害の影響もあり町会役員の参加が多く、防災への関心がみられた。 ・地震のメカニズムや地域に求められる防災活動等を知る機会となった。 【今後の方針】 住民からの要望によって検討	
文化部視察研修	7月18日	1回	趣味教養	成人	32人	【事業内容】 ・公民館委員会文化部が企画する視察研修 ・行先：糸魚川市 ・フォッサマグナや断層について学ぶ。 【ねらい】 ・教養の向上 ・参加者の交流	【準備過程】 地区内全戸配付チラシにて周知 【共催団体等】 主催：公民館委員会文化部	【評価と反省】 ・視察先や内容の企画、資料の準備等を主催者である公民館委員会文化部が主体的に行った。 ・多くの参加があり、地域住民の交流につながった。 【今後の方針】 継続	

令和６年度　事業報告

城北公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	ＣＳ
からだの健康測定会	7月19日	1回	福祉健康	成人	40人	【事業内容】 明治安田生命から健康に関わる測定器具を借用し、からだの健康測定を行う。 【ねらい】 健康への意識向上	【準備過程】 ・明治安田生命からの提案に基づいて企画 ・地区内全戸配付チラシにて周知	【評価と反省】 ・福祉ひろばで実施しているオレンジカフェ事業と同日に設定したことにより、多くの参加があった。 ・血管年齢や脳年齢など、普段測定できない項目があり、参加者の意識向上につながった。 【今後の方針】 日程により継続検討	
平和を語る会	8月5日	1回	人権平和	その他	22人	【事業内容】 ・多文化共生に関する講座 ・講師：松本市人権共生課 【ねらい】 人権啓発	【準備過程】 地区内全戸配付チラシにて周知 【共催団体等】 主催：人権啓発推進協議会	【評価と反省】 松本市が行う外国人住民との交流や取り組みを学び、共に地域で生きることについて学んだ。 【今後の方針】 継続	
松本サリン事件30年を振り返って語る会	8月22日	1回	その他	その他	37人	【事業内容】 事件から30年の節目に、地区住民が当時の状況や今想うことを語り合う。 【ねらい】 地区で起きた事件を風化させない。	【準備過程】 ・地区内全戸配付チラシにて周知 ・地区住民が報道関係者、当時の養護教諭に出席を依頼	【評価と反省】 ・報道ではみられない、当時の住民の状況や心境を知る機会となった。 ・宗教や冤罪について参加者が改めて考え、事件を風化させてはならないことを再認識した。	
スマホで遊ぶ会	8月30日	1回	趣味教養	成人	3人	【事業内容】 ・仕掛け人：デジタル活用支援人材育成研修を受講した職員 ・遊びながら慣れることを目的としたスマホ講座を行う。 【ねらい】 デジタルデバイド解消	【準備過程】 地区内全戸配付チラシにて周知	【評価と反省】 参加者があまり利用しない機能にテーマを置いてしまったため、その後の活用につながらなかった。 【今後の方針】 身近で便利なテーマを検討しながら継続	
ファミリーコンサート	10月19日	1回	子育て	その他	50人	【事業内容】 楽団ケ・セラによる親子向けのコンサートを行う。 【ねらい】 ・教養向上 ・親子の交流	【準備過程】 地区内全戸配付チラシにて周知 【共催団体等】 主催：子ども会育成会	【評価と反省】 ・近年、親子での参加は減少傾向だが、地域の大人が音楽鑑賞をとおして福祉施設と交流する機会となっている。 ・障がい者の自立を目指す楽団を演奏に招くことで、人権意識の高揚にもつながっている。 【今後の方針】 継続	

令和６年度　事業報告

城北公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	ＣＳ
ソーセージ作り体験	10月27日	1回	趣味教養	成人	9人	【事業内容】 ソーセージを腸詰めから手作りする。 【ねらい】 ・趣味の幅を広げる。 ・教養向上	【準備過程】 地区内全戸配付チラシにて周知	【評価と反省】 日頃できない体験ができ、参加者から好評の声が多かった。 【今後の方針】 調理内容を検討しながら継続	
普通救命救急講習	11月11日	1回	防災	成人	20人	【事業内容】 ・講師：丸の内消防署 ・ＡＥＤの使い方等救命救急講習を行う。 【ねらい】 救命救急技術の向上	【準備過程】 地区内全戸配付チラシにて周知 【共催団体等】 共催：日赤奉仕団	【評価と反省】 例年開催しているが、少しずつ救命救急の方法や講習の内容も変化しており、住民の満足度も高い。 【今後の方針】 継続	
人権啓発推進協議会視察研修	11月18日	1回	人権平和	成人	22人	【事業内容】 松代大本営地下壕と歴史観を視察する。 【ねらい】 戦争、平和、人権についての考察を深める。	【準備過程】 ・人権啓発推進協議会委員に通知 ・地区内全戸配付チラシにて周知 【共催団体等】 主催：人権啓発推進協議会	【評価と反省】 ・反戦の思いを新たにした。 ・協議会委員に限らず、一般にも参加者を募ることで広く学習機会を担保した。 【今後の方針】 継続	
旧開智学校見学会	11月25日	1回	趣味教養	成人	22人	【事業内容】 耐震工事を終え再開館した旧開智学校を見学する。 【ねらい】 ・身近にある文化財を改めて認識する。 ・教養向上 ・郷土愛を育む。	【準備過程】 地区内全戸配付チラシにて周知	【評価と反省】 ・身近にある文化財を改めて学び、参加者の知識向上につながった。 ・文化財の保護について学ぶ機会となった。	
料理教室	11月29日	1回	趣味教養	成人	16人	【事業内容】 ・講師：食生活改善推進員 ・食生活改善推進員による料理教室を行う。 【ねらい】 ・料理技術向上 ・健康増進	【準備過程】 地区内全戸配付チラシにて周知 【共催団体等】 主催：城北公民館 共催：食生活改善推進員会	【評価と反省】 ・フレイル予防のメニューが興味を引き、参加者も多く食生活改善推進員の活動の場となった。 ・料理の丁寧なポイントや衛生管理の説明があり、技術向上につながった。 【今後の方針】 食改と相談しながら継続を検討	

令和６年度　事業報告

城北公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	ＣＳ
健康講座	11月30日	1回	福祉健康	その他	20人	【事業内容】 ・健康に関する講話、簡単なストレッチなどを行う。 【ねらい】 ・運動不足解消 ・健康増進	【準備過程】 ・地区内全戸配付チラシにて周知 【共催団体等】 主催：公民館体育部、住みよい町づくり協議会健康の部会、福祉ひろば	【評価と反省】 ・企画から運営まで、主催者である住民が主体的に行った。 【今後の方針】 ・継続	
城北公民館年末大掃除	12月2日	1回	その他	その他	50人	【事業内容】 公民館を利用している約50の団体からなる「城北友の会」が年に一度公民館の大掃除を行う。 【ねらい】 ・公民館の美化、保全 ・自ら利用する公共施設を大切にする意識を育む。	【共催団体等】 主催：城北友の会	【評価と反省】 約半日の日程の中で、団体の枠を超えて協力し合い、大掃除を行うことができた。 【今後の方針】 継続	
地域めぐり	12月3日	1回	趣味教養	成人	15人	【事業内容】 ・行先：第二・第三地区 ・他地区を探訪し、歴史や文化財について学ぶ。 【ねらい】 教養向上	【準備過程】 地区内全戸配付チラシにて周知 【共催団体等】 主催：公民館委員会文化部	【評価と反省】 文化部員である住民が主体的に企画・運営している。 【今後の方針】 継続	
クリスマスリース作り	12月10日	1回	趣味教養	成人	7人	【事業内容】 お正月飾りにも使えるクリスマスリースを作る。 【ねらい】 ・参加者の交流 ・趣味の幅を広げる。	【準備過程】 地区内全戸配付チラシにて周知	【評価と反省】 参加者それぞれが作品を見せ合いながら交流する機会となった。 【今後の方針】 講師と調整	
そば打ち講座	12月15日	1回	趣味教養	その他	18人	【事業内容】 年越しそば文化を感じるため、子どもから大人までを対象としたそば打ち体験を行う。 【ねらい】 ・参加者の交流 ・趣味の幅を広げる。	【準備過程】 地区内全戸配付チラシにて周知	【評価と反省】 休日に開催したことにより、家族での参加が多く好評の声が多かった。 【今後の方針】 時間割りをし少人数で行う等実施方法を検討し継続	

令和６年度　事業報告

城北公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	ＣＳ
餅つき大会	12月26日	1回	地域文化	その他	30人	【事業内容】 地区内で募ったボランティアと職員で餅をつき、来館者へ振舞う。 【ねらい】 ・参加者の交流 ・日本の文化に触れる機会とする。	【準備過程】 地区内全戸配付チラシにて周知	【評価と反省】 ・参加した子どもが地区ボランティアと共に餅をついたり飲食をする等、交流の場となった。 ・飲食スペースを作る等検討が必要 【今後の方針】 実施方法を検討し継続	
書初め大会	1月4日	1回	その他	青少年	22人	【事業内容】 ・講師：書道サークル講師他 ・書初め大会を行う。 【ねらい】 ・正月行事に触れる。 ・講師の添削を受けながら書道技術を向上する。	【準備過程】 地区内全戸配付チラシにて周知 【共催団体等】 主催：子ども会育成会	【評価と反省】 ・毎年の恒例行事として実施した。 ・４名の講師が連携し、丁寧に指導した。 【今後の方針】 継続	
スキーツアー	1月19日	1回	スポーツ	その他	22人	【事業内容】 市内のスキー場でスキーに親しむ。 【ねらい】 ・冬場の運動不足解消 ・参加者の交流 ・健康増進	【準備過程】 地区内全戸配付チラシにて周知 【共催団体等】 主催：住みよい町づくり協議会健康の部会	【評価と反省】 ・昨年参加が少なく中止となったため、行先の検討をしたところ申込みが増えた。 ・家族での参加が多く楽しんでもらえたが、当日の手続きに時間がかかる場面があり、詳細な計画が必要 【今後の方針】 行先等を主催者と相談しながら検討	
軽スポーツ交流会	1月26日	1回	スポーツ	その他	30人	【事業内容】 老若男女問わず楽しめる軽スポーツを行う。 【ねらい】 ・冬場の運動不足解消 ・参加者の交流	【準備過程】 地区内全戸配付チラシにて周知 【共催団体等】 主催：公民館委員会体育部、住みよい町づくり協議会健康の部会、子ども会育成会	【評価と反省】 申し込みが少なかったが当日参加もあり、世代を超えて軽スポーツを楽しんだ。 【今後の方針】 継続	
珈琲焙煎講座	2月1日	1回	趣味教養	成人	16人	【事業内容】 珈琲焙煎の方法を学ぶ。 【ねらい】 ・趣味の幅を広げ、掘り下げる。 ・珈琲の健康に係る知識を深める。	【準備過程】 地区内全戸配付チラシにて周知	【評価と反省】 ・試飲の際には参加者同士で味の感想を言い合いながら交流を深めた。 ・講師が保健師のため健康に関する質問が寄せられ健康意識向上につながった。 【今後の方針】 講師と調整し継続	

令和６年度　事業報告

城北公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	ＣＳ
文化部主催講演会	2月14日	1回	その他	成人	26人	【事業内容】 演題「人々は疫病とどう向き合ったか」 各講師：地区住民 【ねらい】 ・教養を深める ・地域の歴史や人物を振り返る	【準備過程】 地区内全戸配付チラシにて周知 【共催団体等】 主催：公民館委員会文化部	【評価と反省】 講演会の企画や運営等について、文化部員である住民が主体的に行った。 【今後の方針】 継続	
ボウリング大会	2月23日	1回	地域事業（体育）	その他	30人	【事業内容】 町会対抗のボウリング大会を行う。 【ねらい】 ・冬場の運動不足解消 ・参加者の交流	【準備過程】 地区内全戸配付チラシにて周知 【共催団体等】 共催：城北公民館委員会体育部、住みよい町づくり協議会健康の部会	【評価と反省】 隣接レーン等、町会の枠を超えて交流する機会となった。 【今後の方針】 継続	
男衆のキッチン	2月20日	1回	趣味教養	その他	15人	【事業内容】 ・講師：城北地区食生活改善推進委員 ・男性の料理教室を行う。 【ねらい】 ・男性の料理技術向上 ・男性の公民館活動参加促進	【準備過程】 地区内全戸配付チラシにて周知 【共催団体】 主催：城北地区社会福祉協議会	【評価と反省】 健康に関するアドバイスや調理方法のポイント説明があり、技術向上の機会となった。 【今後の方針】 継続	
ミステリーツアー	3月12日	1回	趣味教養	成人	20人	【事業内容】 行先をクイズ形式にし、当日まで明かさない視察を行う。 【ねらい】 ・参加者の自発的な事前学習 ・教養向上	【準備過程】 地区内全戸配布チラシにて出題、周知	【評価と反省】 事前に参加者が自ら学習したり、参加者同士で推理しあったりする機会を設けることができた。 【今後の方針】 バス利用縮減により未定	
親子料理教室	3月15日	1回	子育て	家庭教育	15人	【事業内容】 ・講師：地区住民 ・親子で楽しみながら料理を学ぶ。 【ねらい】 親子の交流	【準備過程】 ・主催者と講師とでメニューを検討 ・地区内全戸配付チラシにて周知 【共催団体等】 主催：子ども会育成会	【評価と反省】 料理をとおして親子の交流を深めた。 【今後の方針】 継続	

令和６年度　事業報告

城北公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	ＣＳ
新・市立博物館に行こう	5月27日 2月27日	2回	趣味教養	成人	44人	【事業内容】 歴史文化に精通する地区住民に案内を依頼し、市立博物館で開催する地域に関わる特別展を視察 【ねらい】 ・教養向上 ・参加者の交流	【準備過程】 地区内全戸配布チラシにて周知	【評価と反省】 ・普段目にすることのない文化財を見学し、参加者の教養向上となった。 ・地域に関わる文化や展示を学び、郷土愛を育むことにつながった。 【今後の方針】 継続	
手作りパンとスイーツ講座	5月29日 6月30日 7月 8日	3回	趣味教養	その他	36人	【事業内容】 パンと簡単なお菓子の作り方を学ぶ。 【ねらい】 ・参加者の交流 ・親子や若者の参加につなげる。	【準備過程】 地区内全戸配付チラシにて周知	【評価と反省】 休日開催の回は、ほとんどが親子での参加となり、ねらいを達成した。 【今後の方針】 継続	
マレットゴルフ大会	6月8日 11月9日	2回	地域事業（体育）	その他	43人	【内容】 ・会場：アルプス公園 ・マレットゴルフを行う。 【ねらい】 ・健康増進 ・参加者の交流	【準備過程】 地区内全戸配付チラシにて周知 【共催団体等】 主催：公民館体育部	【評価と反省】 準備、運営を体育部員の住民が全て主体的に行った。 【今後の方針】 継続	
歴史とロマン講座	6月24日 7月29日 8月26日	3回	趣味教養	成人	51人	【事業内容】 ・歴史や文化に関する講座 ・講師：松本市文化財審議委員 【ねらい】 ・歴史学習 ・教養向上	【準備過程】 地区内全戸配付チラシにて周知	【評価と反省】 ・講師の話術等で参加者の満足度が高い。 ・地域の歴史や文化に関する知識が深まった。 【今後の方針】 継続	
夏休み自習室開放	7月24日 ～8月21日	1回	子育て	青少年	45人	【内容】 夏休み中の子どもたちへの自習室として、公民館の一室を期間中の開館日に開放 【ねらい】 ・快適な学習環境の提供 ・子どもに公民館を身近に感じてもらう。	【準備過程】 地区内全戸配付チラシにて周知	【評価と反省】 利用する子どもは固定化しつつあるが、実施期間中は毎日利用されており、ニーズがある。 【今後の方針】 継続	

令和６年度　事業報告

城北公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	ＣＳ
科学講座	7月30日 3月27日	2回	趣味教養	その他	25人	【事業内容】 子どもの長期休みを利用して、子どもから大人までを対象に科学に親しむ講座 【ねらい】 ・文系以外の講座展開 ・年齢を問わない公民館事業の実施	【準備過程】 地区内全戸配付チラシにて周知	【評価と反省】 ・長期休みを利用したことで、親子の参加が得られた。 ・若い世代が参加しやすい申し込みや周知の方法が課題 【今後の方針】 継続	
公民館に泊まって遊ぼう	8月2日 8月3日	1回	子育て	青少年	26人	【事業内容】 公民館の宿泊体験を行う。 【ねらい】 子どもの主体性を養う。	【準備過程】 ・地区内全戸配付チラシにて周知 ・７月13日に事前打ち合わせ会を開催し、子どもたちが夕食等を計画 【共催団体等】 主催：子ども会育成会	【評価と反省】 ・夕食の買い出しを子どもたちが自ら行うことで、協調性や主体性を養うことにつながった。 ・運営役員の役割や安全面での打ち合わせを検討したい。 【今後の方針】 継続	
古きを訪ね新しきを悠学する講座	9月11日 9月19日	2回	趣味教養	成人	37人	【事業内容】 ・講師：地区住民 ・県内の文化財について学ぶ。 【ねらい】 ・参加者の交流 ・教養向上	【準備過程】 地区内全戸配付チラシにて周知	【評価と反省】 前年度からの継続参加を基本とするとともに、事前学習と現地視察を行うことで、より効果的な学習機会となった。 【今後の方針】 継続	
第23回（開館25周年） 城北地区ふれ愛まつり	9月28日 9月29日	1回	地域事業 （文化）	その他	641人	【事業内容】 日頃の成果発表と地域づくりを目的とした地区文化祭を開催する。 【ねらい】 ・参加者の交流 ・学習成果の発表	【準備過程】 ・地区住民で構成される実行委員会で、内容等を検討 ・地区内全戸配付チラシにて、作品募集・開催周知 【共催団体等】 主催：ふれ愛まつり実行委員会	【評価と反省】 ・昨年より多くの参加があり、地区住民の交流の場となった。 ・実行委員の高齢化があり、運営体制の検討が必要 【今後の方針】 実行委員会の中で検討しながら継続	○
ハワイアンキルト講座	10月9日 11月6日	2回	趣味教養	成人	22人	【事業内容】 ・講師：地区住民 ・ハワイアンキルトのクリスマスソックスの作り方を学ぶ。 【ねらい】 ・参加者の交流 ・趣味の幅を広げる。	【準備過程】 地区内全戸配付チラシにて周知	【評価と反省】 ・講座時間内の完成は難しいが、冬のこもりがちな時期に自宅で取り組む趣味の創出機会となった。 ・講師が積極的に参加者と会話しながら進め、参加者同士の交流の場ともなった。 【今後の方針】 継続	

令和６年度　事業報告

城北公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	ＣＳ
ふれ愛まつり写真展	11月 7日 ～11月28日	1回	趣味教養	その他	―	【事業内容】 地区文化祭の様子を記録した写真を展示する。 【ねらい】 写真鑑賞をとおした住民の交流	【準備過程】 地区内全戸配布チラシにて周知	【評価と反省】 当日来場していた住民同士で思い出を語らう交流の機会となった。 【今後の方針】 継続	
ケーキ作り教室	1月20日 2月 2日 2月18日	3回	趣味教養	その他	26人	【事業内容】 ケーキ作りを学ぶ。 【ねらい】 ・参加者の交流 ・休日開催し、親子や若者の参加につなげる。	【準備過程】 地区内全戸配付チラシにて周知	【評価と反省】 ・休日開催の会では、地区内他事業と日程が重なってしまい参加者が少なくなったため、日程について検討が必要 ・例年人気の講座であり、時期に合わせたメニューになるよう調整し、参加者からは好評だった。 【今後の方針】 継続	
あなたの知らない松本城と世界遺産講座	1月24日 1月30日	2回	その他	成人	36人	【事業内容】 ・松本城と世界遺産登録に関する講座 ・座学と現地見学を行う。 【ねらい】 ・教養向上 ・地域にある文化財の価値と保護活動の再認識	【準備過程】 地区内全戸配付チラシにて周知 【共催団体等】 共催：「国宝松本城を世界遺産に」推進実行委員会、文化振興課	【評価と反省】 講座をとおし、改めて松本城について認識できたとの声が多く好評であった。	
小さな仲間たち・その７（写真展）	2月17日 ～3月21日	1回	趣味教養	その他	―	【事業内容】 地区住民が撮影した動植物の写真を展示する。 【ねらい】 ・住民の活動発表 ・来場者の交流	【準備過程】 地区内全戸配付チラシにて周知	【評価と反省】 ・例年来場者に好評の写真展 ・年齢を問わず楽しめる写真展となった。 【今後の方針】 継続	
城北地区の１年を振り返る（写真展）	3月26日 ～5月2日	1回	地域文化	その他	―	【事業内容】 ・地区内で行われた１年間の事業写真を各種会議が多い期間に展示する。 ・写真提供：公民館委員会館報記録班、地区住民、地域づくりセンター職員 【ねらい】 ・地区の行事を振り返る。 ・来場者の交流 ・住民の活動発表	【準備過程】 ・公民館委員館報記録班に写真の選考、掲示作業補助を依頼 ・地区内全戸配付チラシにて周知	【評価と反省】 ・人が多く出入りする期間に開催したことにより、多くの方の目に触れることができた。 ・公民館委員の活動発表の機会となった。 【今後の方針】 展示内容、日程等含め検討	

令和６年度　事業報告

城北公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	ＣＳ
企画運営委員会（会議）	通年	1回	公民館委員会・各種会議等	その他	139人	【事業内容】 公民館運営のための委員会を開催する。	【準備過程】 地区内各種団体より委員選出	【評価と反省】 公民館事業実施結果の報告、企画検討に合わせ、各部会の連携強化に寄与した。 【今後の方針】 継続	
館報編集	通年	1回	公民館委員会・各種会議等	その他		【事業内容】 館報城北地区版編集のための会議を開催する。	【準備過程】 地区内各種団体より委員選出	【評価と反省】 ・地区の活動等に目を向ける記事を取材、掲載した。 ・委員が会議の効率化に努め、例年に比べて回数を縮減した。 【今後の方針】 ・継続 ・館報記録班との連携強化	
館報記録	通年	1回	公民館委員会・各種会議等	その他		【事業内容】 公民館事業及び地区内の活動を記録する。	【準備過程】 地区内各種団体より委員選出	【評価と反省】 委員同士で教え合いながら写真技術の更なる向上に努めた。 【今後の方針】 ・継続 ・館報編集委員との連携強化	
文化部	通年	1回	公民館委員会・各種会議等	その他		【事業内容】 ふれ愛まつり及び研修・講演会の打ち合わせを行う。	【準備過程】 地区内各種団体より委員選出	【評価と反省】 下見を行なったうえで視察研修の行程を決定する等、委員が主体となって積極的に企画、運営している。 【今後の方針】 継続	
体育部	通年	1回	公民館委員会・各種会議等	その他		【事業内容】 ウォーキング大会、マレットゴルフ大会等の打ち合わせを行う。	【準備過程】 地区内各種団体より委員選出	【評価と反省】 ・必要物品の準備、当日の運営等、委員自らが積極的に関わっている。 ・恒例行事であっても内容を変える等、参加者を飽きさせないよう工夫した。 【今後の方針】 継続	

令和６年度　事業報告の概要

大手公民館

方針・地域課題・重点的に取り組んだ事項等	評価・反省等
【方針・地域課題】 ・「中央地区は家族だ」をスローガンに、地域住民がお互いに支え合っていけるよう住民の場づくり・関係づくりに取り組む。 ・地域づくりセンターを中心に公民館や福祉ひろばが独自性を出しながら地区住民の多くの参加・参画を促し公民館事業、公民館委員会の活動をより充実させ、主体的な住民を育成する。 ・「自分が頼りにされている」「自分がいなければこの行事はできない」という主体的な意識を少しでも持たせることで、地域への愛着と生きがいづくりにつなげてもらえるような「人づくり」を実施する。 ・住民の知りたい、学びたい、やりたい思いを汲み取り、また、困りごとや課題を把握し、公民館事業をより充実させる。 ・住民の得意なこと、公民館で学んだことを地域に還元する機会を設け、住民の活躍の場を作る。 ・各団体の主体性を育成するために、主催事業等の方法等について検討の場を設ける。 ・ＤＸを活用し、より利用しやすい公民館を目指す。	・体験・学び・交流を活かした公民館活動を実施し、つながりや関係づくりを促すことができた。 ・今年度初めて開催した「人権啓発プロデューサー：ＪＫＰ」では、住民有志が協力的・主体的に企画・運営に携わり、参加者からも大変頼りにされ、やりがいにもつながっている。 ・子どもの放課後の居場所づくりを目的とした「公民館を楽しもう」では、多くの子どもの参加があった。学校にいけない子どもの参加もあり、保護者からも感謝された。長期休みの自習室開放にも毎日来る子どももおり、公民館を居場所にする子どもが定着している。 ・町会連合会の主催事業に部会を設け、意識付けを行った。 ・玄関先に電子キーボックスを設置し、事前に鍵を取りに来ることなく公民館を利用できるようになり、利用者からも好評であった。

項目	学級講座・学習会等									地域事業			公民館委員会・各種会議等	ＣＳ
	人権平和	福祉健康	子育て	地域文化	環境	趣味教養	スポーツ	防災	その他	体育	文化	その他		
事業数	3	6	4	1	3	8	2	1	5	3	5	4	1	6
延べ参加人数	68	557	191	35	155	183	18	300	387	61	794	138	237	871

令和６年度　事業報告

大手公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	ＣＳ
中央地区お花見会	4月6日	1回	地域事業（その他）	成人	67人	【内容】 松本城公園にて、地区住民のお花見会を行う。 【ねらい】 地区住民の親睦と交流を図る。 【地域文化】	【準備過程】 地区町会連合会が主体となり企画・運営。公民館は補助 【協力】 福祉ひろば、地域づくりセンター、社会福祉協議会中央地区支会	【評価と反省】 ７年ぶりに松本城公園での開催。開花はしていなかったが、子どもから高齢者まで60名を超える参加者が親睦を深めることができた。 【今後の方針等】 地区住民の交流の場として継続開催。関わる住民の主体性をより引き出す方法を検討する必要がある。	
中央地区マレットゴルフ交流会	4月23日	1回	地域事業（体育）	成人	16人	【内容】 誰もが楽しめるマレットゴルフを行う。４人１グループに分かれ、コースを周りスコアを競う。会場：武石森林公園マレットゴルフ場 【ねらい】 健康の増進と参加者同士の交流を図る。地区内のスポーツ行事を盛り上げる。 【福祉健康】【スポーツ】	【準備過程】 地区スポーツ協会と公民館で企画 【協力】 中央地区マレットゴルフ同好会	【評価と反省】 グループごと会話を楽しみ、つながりづくりにも寄与した。市スポーツ協会からの補助を活用して景品を用意し、大会を盛り上げることができた。 【今後の方針等】 地区内のマレットゴルフ競技者の裾野を増やしていきたい。地区のスポーツ事業を盛り上げていくことは必要であるため、他の種目も含め継続開催	
ローカル線＆高原ウォーク	5月29日	1回	地域事業（体育）	成人	10人	【内容】 大糸線を利用し、小谷村においてウォーキング及び山菜について学習会を行う。 【ねらい】 存続が危ぶまれる大糸線の現状を知り、公共交通について考える。 高原でのウォーキングを行い、健康の増進と心身のリフレッシュを行う。 山菜（ワラビ）を切り口に、山岳県・岳都の機運を醸成する。 【福祉健康】【スポーツ】【環境】	【準備過程】 地区スポーツ協会と公民館で企画 【協力】	【評価と反省】 ウォーキングに加え公共交通や山菜など多様なテーマを絡めることができた。 収穫したワラビの一部を公民館で販売し、売り上げ全額を地区縁日の活動資金に充てることができた。 【今後の方針等】 多様なテーマを絡めた講座を企画したい。未来の公共交通やまちについて考える機会を設けたい。	
上高地ウォーク	6月10日	1回	地域事業（体育）	成人	35人	【内容】 上高地をガイドとともに①明神コース②徳沢コースに分かれて歩く。 既存の公民館事業のウォーキング講座と合同開催とする。 【ねらい】 市が誇る上高地を歩き、心身のリフレッシュを図るとともに、高山植物や野生動物の知識を深める。 それぞれのコースに挑戦し、日ごろの生活習慣にウォーキングを取り入れるきかっけづくりとする。 【福祉健康】【スポーツ】【環境】	【準備過程】 中央地区スポーツ協会と公民館で企画 【協力】	【評価と反省】 何とか歩き切った参加者もおり、自身の体力を感じてもらうきっかけとなった。 既存事業と合同開催としたが、特に問題なく開催できた。 【今後の方針等】 継続開催。地区でのスポーツ行事を盛り上げる必要がある。	

令和６年度　事業報告

大手公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	ＣＳ
丸ノ内中学校 校庭一斉除草支援	6月12日	1回	環境	成人	10人	【内容】 丸ノ内中学校の校庭一斉除草を支援する。 【ねらい】 生徒達と交流し、地域とのつながりを促すもの	【準備過程】 丸ノ内中学校と調整 地区関係団体へ協力依頼 【協力】 中央地区関係団体	【評価と反省】 生徒・先生・ＰＴＡ・地域住民が除草作業を行い、時間を共有することができた。生徒に限らず保護者との交流は貴重な時間であった。 【今後の方針等】 継続支援。学校へ生徒との交流の機会が増えるよう要望したい。	○
サザンガク主催事業 「ＡＩで話すキャラクターづくりワークショップ」受け入れ	7月25日	1回	趣味教養	高齢者	12人	【内容】 小学生対象にサザンガクが開催した「ＡＩで話すキャラクターづくりワークショップ」事業において、小学生が作成したキャラクターと、地域住民が実際に会話をする。 【ねらい】 タブレットや生成ＡＩに慣れ、デジタルデバイドの解消に寄与する。 小学生世代との交流を促進する。 【その他】	【準備過程】 サザンガク、ＤＸ推進本部で事業の企画・募集。公民館は比較的来館者が多い日時等を示し日程調整 【協力】 サザンガク ＤＸ推進本部 中央地区福祉ひろば	【評価と反省】 既存のひろば事業に来ていた参加者に残っていただき、生成ＡＩで作成されたキャラクターと会話を行った。小学生に関心する住民も多く、小学生の成功体験にもつながった。作成したＡＩキャラクターを１週間借りることができ、別日に楽しむ来館者もいた。将来、家での会話相手にもなり得ると未来を想像する機会にもなった。 【今後の方針等】 関係機関と連携し、様々な角度から講座等を企画し、デジタルデバイドの解消を進めていきたい。	
中央地区縁日	8月8日	1回	地域事業 （文化）	その他	500人	【内容】 ①青山様・ぼんぼんを地区合同で行う。 ②地区住民等が屋台を出店する。 ③花火大会を行う。 【ねらい】 コロナによって中断してしまった青山様・ぼんぼんを地区で盛り上げる。 子ども達の夏休みの思い出を作る。 「縁日」という場を提供し、交流を促進する。 【地域文化】	【準備過程】 地区団体からなる実行委員会を組織し、内容について協議した。 松本大学、信州大学の学生や丸ノ内中学校の生徒にも縁日の企画・運営の協力者を募った。 【協力】 中央地区関係団体 丸ノ内中学校 松本大学 信州大学 明治安田生命保険相互会社	【評価と反省】 昨年の反省を踏まえ企画を行った。子ども達のために地域住民が協力して運営することができた。松本大学と丸ノ内中学校の生徒による企画は、子どもたちが大いに楽しんおり、地域で豊かな体験を提供することができた。明治安田生命保険相互会社からも多くの協力をいただくことができた。地区内の賑わいの場を創出することができた。 【今後の方針等】 今後も無理なく継続されるよう、協力者を広く募りながら実施していきたい。	○
日赤奉仕団視察研修	9月26日	1回	福祉健康	成人	20人	【内容】 かんてんぱぱガーデンにおいて健康チェックを行う。 千畳敷カールを訪れウォーキングを行う。 【ねらい】 自身の健康について理解を深める。 団員の健康の増進と親睦を深める。 【スポーツ】	【準備過程】 日赤奉仕団中央分団と企画 【協力】	【評価と反省】 参加者の体力に応じて健康チェック、ウォーキングを行うことができた。また、団員の親睦を深めることができた。 【今後の方針等】 継続開催。様々なことに対して協力する心を醸成していきたい。	

令和６年度　事業報告

大手公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	ＣＳ
町内公民館長会視察研修	9月27日	1回	趣味教養	成人	18人	【内容】 長野市松代の史跡を巡る。 【ねらい】 歴史的教養を深める。 町内公民館長同士、地区住民の親睦を深める。	【準備過程】 町内公民館長会と企画 【協力】	【評価と反省】 多くの町内公民館長と参加者が出席し、親睦や繋がりを深めることができた。歴史に詳しい住民にガイドを依頼し、活躍の場を提供することができた。 【今後の方針等】 公民館の無い町会が多いが、視察等で繋がりを深め、町内公民館としての機能を果たせるよう支援していきたい。	
中央地区 ふれあい祭りの開催	10月18日	1回	地域事業（文化）	成人	100人	【内容】 地区と公民館の文化祭 【ねらい】 「つなげよう中央地区の絆」をテーマに、飲食ブースや農産物販売、子ども体験コーナー、作品展示、サークル発表会などを行い、地域住民の親睦と交流を深める。	【準備過程】 地区関係団体からなる実行委員会を組織公民館は事務局 【協力】 中央地区関係団体	子ども世代の参加が多く、賑やかな祭りとなった。前日準備や展示レイアウトなど、実行委員をはじめ主体的な活動が垣間見えた。 【今後の方針等】 反省を活かし次年度へつなげたい。事務局として関係者の主体性を引き出しながら継続支援	
タイ料理	12月1日	1回	人権平和	成人	8人	【内容】 タイ出身者を講師に招き、料理や文化を学ぶ。 【ねらい】 異文化理解を図る。【趣味教養】	【準備過程】 地区人権啓発推進協議会と企画・運営 【協力】	【評価と反省】 異文化を感じ、深めることができた。地区内のタイの品物を扱う店舗とも、やり取りが生まれた。 【今後の方針等】 今後外国人住民の増加が見込まれることから、継続して異文化理解を広めていきたい。	
利用団体大掃除	12月3日	1回	その他	成人	15人	【内容】 利用団体の有志を募り、感謝を込めて大掃除を行う。 【ねらい】 会議室を貸すと借りるの関係ではなく、利用団体との関係づくりを目的に開催する。	【準備過程】 利用団体へ周知 【協力】 利用団体	【評価と反省】 毎年それぞれ都合がありながらも有志で参加いただいている。また、普段顔を合わさない団体の方と話す機会ともなっている。 【今後の方針等】 利用団体との関係づくりを続けていく。	
門松づくり	12月25日	1回	地域事業（文化）	成人	10人	【内容】 地区の有志を募り、伝統行事である門松づくりを行う。 【ねらい】 伝統行事の伝承 主体的な住民の育成 【地域文化】	【準備過程】 主催団体である地区町会連合会の材料調達や資材運搬等を支援。当日の作業を補助	【評価と反省】 門松づくり当日だけでなく、資材調達をはじめとする事前作業など、より多くの営みを共有することができている。 解体した門松は子ども会育成会主催の三九郎の材料ともなり、幅広い世代が関わる行事となっている。 【今後の方針等】 継続開催。参加者の高齢化が顕著であり、担い手の育成が急務である。	

令和６年度　事業報告

大手公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	ＣＳ
世代間交流もちつき大会	12月26日	1回	地域事業（文化）	その他	150人	【内容】 住民寄贈の木製の杵と臼を使い、子ども達に本格的な餅つきを行う。 【ねらい】 伝統行事の継承 子どもの豊かな体験 世代間交流 【地域文化】	【準備過程】 地区町会連合会及び地区福祉ひろば推進協が中心となり、材料の手配・役割分担の調整 公民館は周知チラシ作成等支援 【協力】 中央地区関係団体 松本山雅（株）	【評価と反省】 子どもからお年寄りまで多くの交流が生まれた。子育て世代からも「家ではできない貴重な体験」と好評 【今後の方針等】 主催及び予算等について、役割を改めて明確にして主体性を促しながら、次年度も継続開催	○
中央地区新年初顔合わせ会	1月7日	1回	地域事業（その他）	成人	71人	【内容】 地区住民が集い、新年を祝う。 【ねらい】 地区役員、地区住民の親睦を深める。	【準備過程】 町会連合会主催事業 公民館・福祉ひろば・地域づくりセンターは企画・運営を支援 【協力】 地区関係団体によるお雑煮作り	【評価と反省】 地区役員・地区住民の親睦を図る貴重な場となっている。 冬休みの家族連れや、自習室開放に来ていた小学生たちも顔を出し、多世代交流の場ともなった。 【今後の方針等】 継続支援。連合会で担当部会を組織し、主体性を促したい。	
新春落語会	1月17日	1回	地域事業（文化）	成人	34人	【内容】 柳家燕弥による高座 【ねらい】 伝統芸能である落語に触れ、教養を深める。新年の初笑いを地区に届け、笑いで地域を元気にする。 【趣味教養】	【準備過程】 関係団体からなる実行委員会を組織 公民館は事務局となり松本落語会と調整 【協力】 地区関係団体 松本落語会	【評価と反省】 伝統芸能に触れる機会となった。毎年楽しみにしている住民もいる。当日の演目について調べる住民もおり、学びを深めることができた。 【今後の方針等】 継続開催。予算増が見込まれるため、多くの共催団体を巻き込んでいきたい。	
新春ピンポン交流会	1月28日	1回	スポーツ	成人	10人	【内容】 ピンポンを楽しみ交流する。 【ねらい】 運動会が地区で行われていないことから、地区でスポーツ行事を開催し盛り上げるもの 地区住民の健康増進を図り、親睦を深めるもの	【準備過程】 中央地区スポーツ協会と企画・運営 【協力】 中央地区スポーツ協会 利用団体「Wの会」	【評価と反省】 利用団体「Wの会」に協力をいただき、ピンポンを楽しみながら交流する事ができた。実は卓球やってますという住民もおり、新たな一面が見られた。 【今後の方針等】 継続開催。気軽に楽しく始められるスポーツ行事を検討したい。	
食育講座 みそ仕込み体験	1月30日	1回	福祉健康	成人	6人	【内容】 大豆、糀、塩などの材料を量り、みその仕込みを体験する。 【ねらい】 みそや大豆を切り口に、生きる源である「食」を知る機会とする。	【準備過程】 企画・周知 【協力】 丸正醸造	【評価と反省】 コロナによる制限期間中は材料のみ提供していただき、各家庭で仕込みをしていたが、公民館での仕込み体験が復活した。対面での作業や参加者同士の会話など、公民館での「集い」を実感する機会となった。 【今後の方針等】 食育を切り口とした講座を検討	

令和６年度　事業報告

大手公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	ＣＳ
歴史講座	2月19日	1回	趣味教養	成人	29人	【内容】 「日本の城の推移と松本城周辺の山城」についての講演会 講師：市文化財課職員（地区住民） 【ねらい】 松本城を初め、城に関する教養を深める。	【準備過程】 市文化財課へ講師派遣依頼 公民館と町内公民館長会で企画・周知 【協力】 地区町内公民館長会	【評価と反省】 講師が地区住民でもあったことから、多くの参加があり、好評であった。 【今後の方針】 もっと聞きたいという声もあり、続編を企画したい。	
食育講座 ソーセージづくり体験	3月17日	1回	趣味教養	成人	11人	【内容】 ソーセージづくりを体験する。 【ねらい】 手作りの食について考える。なかなか家ではできない体験を公民館が提供し、公民館の気軽さ・楽しさを知ってもらう。	【準備過程】 企画・運営 調理が得意な地区住民にスタッフを依頼 【協力】 住民有志	【評価と反省】 住民ニーズを受け、昨年度に続いての開催。地区住民スタッフも定着し、主体的な活動に繋がっている。 【今後の方針等】 家庭ではなかなか取り組めない体験を今後も提供したい。	
おおてワイン講座	3月19日	1回	趣味教養	成人	25人	【内容】 ワインの知識を学ぶ。 【ねらい】 ワインに関する教養を深める。参加者同士の親睦を深める。公民館利用者の新規掘り起こしを図る。	【準備過程】 企画・周知 【協力】 ＯＲＩＩ亭	【評価と反省】 住民ニーズを受け、昨年度に続いての開催。「楽しかった」と参加者から好評であった。公民館を普段利用しない方の参加もあり、新たな交流が生まれた。 【今後の方針等】 住民ニーズに応じて開催を検討	
６地区合同事業 地域再発見！歩いて探そうお宝探訪ウォークラリー	3月20日	1回	地域文化	成人	35人	【内容】 昨年度に続き４回目。地区内の隠れた名所をウォークラリーで巡る。今回は中央地区が会場。ウォークラリーでクイズを解き、終了後に後藤先生の講義を行う。 第一、第二、第三、城東、東部、中央の６地区合同事業 【ねらい】 隠れた名所を再発見してもらい、地域に愛着を持ってもらう機運を醸成する。参加者同士の親睦を深める。	【準備過程】 ６地区の公民館で実行委員会を組織し、企画・運営 【協力】 各地区の福祉ひろば、地域づくりセンター、生活支援員	【評価と反省】 毎回地域の魅力を再発見する機会となっている。体験＋座学でさらに学びを深めることができた。 【今後の方針等】 継続開催。スタッフに地区住民を巻き込んでいきたい。	

令和６年度　事業報告

大手公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	ＣＳ
四賀地区との交流会	4月19日 12月 6日	2回	趣味教養	成人	40人	【内容】 元々中央地区と四賀地区がペタンクを通じて交流しており、ペタンクを超えた交流会を行う。４月に大手公民館にてソーセージづくりと居酒屋公民館、12月に四賀にて野沢菜収穫と坊主山クラインガルテンにて交流会を行った。 【ねらい】 地区同士の交流を深め、互いの魅力を認め合い、愛着形成を図る。	【準備過程】 四賀公民館と調整・企画 【協力】 中央地区、四賀地区のペタンククラブ	【評価と反省】 交流会では「ペタンク以外の種目もやったらどうか？」と声が上がり、今後の交流も期待される。両ペタンククラブの親睦を深めることにも繋がった。 【今後の方針等】 次年度も開催	
城西花壇整備事業	6月17日 10月22日	2回	環境	成人	120人	【内容】 地区内にある城西花壇の花の植え替えを行う。丸ノ内中学校の生徒も参加する。 【ねらい】 市民の花いっぱい運動の機運を醸成する。花に触れることで情操の純化を図る。公民館に愛着を持ってもらう。 【地域事業（その他）】	【準備過程】 企画・周知 【協力】 中央地区関係団体 丸ノ内中学校	【評価と反省】 今年度も地区団体、有志の協力得て作業を行うことができた。丸ノ内中学校の生徒も参加し、地区との交流の機会となっている。 【今後の方針等】 継続開催。定期的な除草を負担と感じる団体の声もあることから、除草等の管理方法について改めて検討する必要がある。	○
人権啓発プロデューサーの育成	6月18日 7月 9日 9月10日 11月12日 1月14日 3月25日	6回	人権平和	成人	20人	【内容】 人権啓発プロデューサー（通称：ＪＫＰ）を公募し、市の人権啓発推進委託料の使い道や視察先の決定などを協議してもらう。 【ねらい】 地区内の人権啓発を強化し、主体的な住民を育成する。	【準備過程】 企画・周知・募集 【協力】 中央地区人権啓発推進協議会	【評価と反省】 ４名の応募があり、２ヶ月に１回の打ち合わせで委託料を活用した視察先の検討などを行うことができ、地区内の人権啓発へ寄与する事ができた。 視察先の検討をする中で事前学習の提案も生まれ、主体的な住民の育成をする事ができた。視察の参加者からも感謝され、ＪＫＰの方々のやりがい・生きがいにつながった。 【今後の方針等】 継続開催	
大手公民館前 花壇整備事業	6月21日 11月 8日	2回	環境	成人	25人	【内容】 有志を募り、公民館前のプランターの花の植え替えや花壇の手入れを行う。 【ねらい】 市民の花いっぱい運動の機運を醸成する。花に触れることで情操の純化を図る。	【準備過程】 企画・周知・募集 【協力】 中央地区関係団体	【評価と反省】 今年度も地区団体、有志の協力得て作業を行うことができた。 【今後の方針等】 継続開催	

令和６年度　事業報告

大手公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	ＣＳ
中央地区 ゴルフ交流会	7月 2日 11月14日	2回	スポーツ	成人	8人	【内容】 地区住民でゴルフの交流会を行う。 【ねらい】 ゴルフを通じて地区住民の交流と親睦を図る。地区のスポーツ行事を盛り上げる。	【準備過程】 企画・周知 【協力】	【評価と反省】 チラシでは募集をかけず、愛好家同士の声掛けで開催した。２回目のリクエストも参加者から生まれ、つながりづくりを促すことができた。 【今後の方針等】 様々なテーマを切り口に、つながりづくりを促進したい。	
ジェンダー平等センター主催講座受け入れ	8月21日 11月 5日	2回	趣味教養	成人	28人	【内容】 ジェンダー平等センターが主催する講座を受け入れるもの。 ８月21日　成年後見制度 11月５日　らくらく片付け術講座 【ねらい】 他部局の活用及び連携を図る。	【準備過程】 人権共生課と日程調整 公民館でも地域住民に周知 【協力】 ジェンダー平等センター 人権共生課	【評価と反省】 新規に公民館に来る参加者もおり、公民館の可能性が広がった。 【今後の方針等】 連携して開催を検討	
中央地区 人権啓発推進協議会 視察研修	8月27日 3月10日	1回	人権平和	成人	40人	【内容】 ８月　島崎藤村記念館を訪ね、『破戒』を題材に部落差別について考える。 ３月　富岡製糸場を訪れ、工女の歴史について考える。 【ねらい】 地区内に人権啓発を図る。	【準備過程】 人権啓発推進プロデューサー（ＪＫＰ）と視察先について検討 【協力】 【共催団体等】 地区人権啓発推進協議会 ＪＫＰ	【評価と反省】 ８月は、地区内の国語教員経験者にガイドを依頼し、道中に様々な角度から学習をする事ができた。 ３月は、ＪＫＰとの打合せの中から、事前学習を行ってはどうかと声が上がり、視察をより深める事ができた。 【今後の方針等】 今後もＪＫＰと伴走しながら、戦争や平和について考える機会を提供していきたい。	
昭和レトロ鑑賞会	9月25日 11月 2日	2回	趣味教養	成人	20人	【内容】 ８ミリフィルム映写機を所有する務台秀夫さん協力を得て、上映会を行う。 ９月　テレビヒーロー上映会 11月　蟻ケ崎高校演劇部のアテレコによる無声映画の上映 【ねらい】 昭和の時代を懐かしみながら、令和に残すべき昭和について考える。 地域住民や高校生に地域での活躍の場を作る。	【準備過程】 務台さんと企画・打合せ 蟻ケ崎高校演劇部との打合せ 【協力】 務台秀夫さん 蟻ケ崎高校演劇部	【評価と反省】 昭和レトロを軸に様々なテーマで、昭和を懐かしみ、語ることができた。務台さんに加え、高校生の活躍の場を創出することができた。 【今後の方針等】 昭和の人々が選択して、令和の現在に残っているもの、残っていないものなどを考えながら、未来を考える視点も投げかけ深めていきたい。	

令和６年度　事業報告

大手公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	ＣＳ
蟻ケ崎高校１年 探究フィールドワーク 受け入れ	10月22日 12月12日	2回	その他	家庭教育	17人	【内容】 蟻ケ崎高校の１年生が、探究の授業の一環で市街地のフィールドワークを行うにあたり、公民館や地域に興味をもつ生徒を受け入れた。 テーマを「公民館と集いの場づくり」に設定し、公民館のことや中央地区縁日のブースについて企画してもらった。 【ねらい】 せっかくの機会なので、高校生に公民館を知ってもらう場とする。 地域での集いの場について考えてもらい、実践へ繋げる。	【準備過程】 一般社団法人ＫＯＫＯから受け入れの依頼があり調整 【協力】 一般社団法人ＫＯＫＯ 蟻ケ崎高校	【評価と反省】 高校生に公民館や地域の交流の場について説明し、公民館の魅力を知ってもらう事ができた。ワークショップでは縁日のブースについて検討してもらい、高校生のアイデアを知ることができた。 【今後の方針等】 高校生などの若者の受け入れを積極的に行い、若者と地域の接点を多くしたい。	
いきいき元気大学 第17期・第18期	4月～3月	16回	福祉健康	成人	237人	【内容】 脳トレやリズム運動、ストレッチ等を行う。年１回ウォーキングを実施し、屋外での運動の機会を提供する。 講師：百瀬みどり氏 【ねらい】 健康づくり・体力づくりを図る。	【準備過程】 講師と調整し企画・運営	【評価と反省】 参加者の高齢化が進んでいるが、毎回無理のない範囲で体力づくりに取り組んでいる。新規参加者もあり、新たなつながりが生まれている。６月のウォーキングでは、参加者同士の交流を深め、関係づくりに寄与することができた。 【今後の方針】 今後も主催事業として継続開催。参加者の主体的な講座運営を模索したい。	
健康アップ歌唱講座 第29期・第30期	4月～3月	12回	福祉健康	成人	120人	【内容】 歌唱を通して、呼吸法、声帯の使い方など学ぶ。 講師：木次由美子氏、寄藤明子氏 【ねらい】 健康増進　心のケア【趣味教養】	【準備過程】 講師と調整し企画・運営	【評価と反省】 公民館主催の本講座と、講座に参加している有志で立ち上がった歌唱サークルが自走し定着している。公民館で主催する講座で新規掘り起こしを図り、自立化したサークルへの支援も行いたい。 【今後の方針】 主催講座の縮小を視野に、立ち上がったサークルの支援を行い、主体的な住民育成へつなげたい。	

令和６年度　事業報告

大手公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	ＣＳ
フラダンス講座	4月～3月	12回	福祉健康	成人	117人	【内容】 体幹にも良いとされているフラダンスを初歩から学ぶ。 【ねらい】 地区住民の健康及び社会福祉の増進、心身のリフレッシュを目的として開催 【趣味教養】	【準備過程】 講師と調整し企画・運営	【評価と反省】 参加者から、「月１回では振り付けを忘れてしまうため、自主練習をしたい」と申し出があり、会議室を確保し支援した。意欲的で主体的な参加者が育成されている。 【今後の方針等】 継続開催。発表の機会が設けられれば理想だが、参加者は乗り気ではない。何かスイッチが入る仕掛けを模索したい。	
かんたん体操コース	5月～3月	6回	福祉健康	成人	57人	【内容】 簡単・優しいをテーマに、椅子に座って取り組める体操を行う。 【ねらい】 コロナ禍により外出機会の減った高齢者の健康づくりを支援し、フレイル予防を目的に開催	【準備過程】 講師と調整し企画・運営 【協力】 講師：ＮＰＯ　ＣＦＭ実行委員会	既存事業のいきいき元気大学と比べ、かんたん・やさしいレベルで開催している。参加者の顔ぶれも異なり、ニーズを捉えている。 【今後の方針等】 福祉ひろば事業から「いきいき百歳体操サークル」が立ち上がっている。重複する部分もあるため、見直しを検討したい。	
居酒屋公民館	4月～3月	12回	その他	成人	292人	【内容】 一人一品を持ち寄り、「みんなで気軽にワイワイ！！」をテーマに地域のことを語り合う。 【ねらい】 住民の交流と、語り合いの中から生まれる住民の自主的な地域活動等につなげていけるよう毎月１回定期的に開催	【準備過程】 企画・周知 当日は参加者で会場設営・片付けを行う。	【評価と反省】 地区の話題、社会の関心事など、毎回盛り上がっている。夏には玄関前でＢＢＱを実施した。小学生親子の参加もあり、定期的な多世代交流の場となっている。 【今後の方針等】 １月に 100回目を迎えた。さらなる参加者同士の交流に期待したい。住民の学習の場となるような企画も引き続き検討したい。	
公民館を楽しもう	6月から 月1回	10回	子育て	青少年	37人	【内容】 小学生対象に、工作や調理体験を行う。 【ねらい】 小学生の放課後の居場所づくり 小学生に公民館を身近に感じてもらう。	【準備過程】 企画・運営 地区住民にスタッフを依頼 開智小にチラシを配布依頼 【協力】 地区住民 開智小学校	【評価と反省】 子ども達に公民館の楽しさを感じてもらうことができた。地区住民も一緒に工作を行い、世代間交流の場にもなった。「学校へ行けない子どもの居場所にもなる」と保護者から感謝された。 【今後の方針等】 継続開催。開催曜日を工夫しながら実施したい。	○

令和６年度　事業報告

大手公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	ＣＳ
自習室開放事業	通年 及び 長期休み	30回	子育て	青少年	100人	【内容】 高校生・大学生へは通年でその日空きのある会議室を開放する。 小中学生には、夏休み及び春休み期間を開放する。 いずれも平日の日中 【ねらい】 子ども達に宿題のできる場所を提供し、公民館は身近なところだと感じてもらうことを目的に実施 また、若者と地域の交流へつなげることを目的に実施	【準備過程】 企画・公民館だより、公式インスタグラムで周知	【評価と反省】 夏休みには小中学生が集まり、真剣に勉強する姿が見られた。冬休み期間は小中学生向けに特に周知しなかったが、利用希望があり開放した。１月の地区新年初顔合わせ会に急遽参加してもらい、交流の場となった。「また３月来るね。公民館無くならないでね。」と小学３年生の言葉が印象に残った。 若者と地域の交流につなげることが思うように行かず、課題である。 高校生・大学生の利用は全くなかった。中公や博物館のフリースペースの方が環境としては好まれるか。 【今後の方針等】 継続開催。子どもたちと地区住民との交流も図りたい。	
公民館５部門委員会	通年	通年	公民館委員会・各種会議等	成人	237人	【内容】 運営、館報、図書・視聴覚、文化、体育の５部門委員会により、各公民館事業の企画・運営、評価等を行う。 【ねらい】 公民館の運営や各種事業に、委員として携わってもらい、住民主体による公民館活動を目指す。	【準備過程】 各部門ごとに随時開催	【評価と反省】 各会において、時代に沿った活動を実施した。運営、館報編集、図書・視聴覚委員会ではそれぞれの活動が行えた。 文化委員会は地区ふれあい祭り実行委員会、体育委員会は地区スポーツ協会と活動が重なることから、委員会活動としての実施はなかった。 【今後の方針等】 各委員会の目的、取り組みについて再度検討したい。	
大手公民館要援護者優先避難所運営委員会	通年	11回	防災	成人	300人	運営員会を組織化し、定期的に開催する。防災知識や避難所での役割を学び、平時から災害に備えることを目的とする。 班長会　年３回開催 委員会　年７回開催 運営訓練　年１回開催	【準備過程】 委員会の内容について、各活動班班長と企画 【協力】 中央地区防災部 中央地区関係団体	【評価と反省】 年間計画、有識者講演会、被災者講話などを開催した。また、10月６日に避難所運営訓練（初動訓練）を開催。訓練を行う中で見えてきた課題の共有や、運営にふさわしいマニュアルの改定に向けた話し合いを行うことができた。 【今後の方針等】 定期的に開催し、班ごとの活動内容を確認し、いざという時に動ける住民を増やしていきたい。	

令和６年度　事業報告

大手公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	ＣＳ
中央っ子応援団 下校時見守り活動	通年	11回	子育て	成人	54人	【内容】 地元団体からなる「中央っ子応援団」を結成し、月２回を定期的な下校時の見守り活動を行う。 【ねらい】 地域で子供たちを支援する。	【準備過程】 見守り当番の作成 【協力】 中央地区関係団体 開智小学校	【評価と反省】 年度途中から全学年が一斉下校する曜日へ変更。見守り時間が減り、負担軽減に繋がった。開智学校側から大変ありがたいと感謝をされており、学校との連携や、コミュニティースクール事業の充実へつなげたい。 【今後の方針等】 継続実施。地域でも子どもを育てていくの重要性を地区住民へも投げかけていきたい。	○
子ども会育成会支援	通年	通年	子育て	家庭教育		【内容】 天守床磨き、青山様・ぼんぼん、キャンプ、焼き芋大会などの開催を支援する。 【ねらい】 地区内の子ども会育成会を支援し、地域で子どもたち育てる機運を醸成する。 親子に地域に愛着をもってもらう。	【準備過程】 育成会の企画・運営を支援	【評価と反省】 家庭ではできない、豊かな体験をする機会を提供することができた。 【今後の方針等】 継続支援。子育て世代のニーズを把握しながら、引き続き子どもたちのために支援していきたい。	
中央地区町会連合会支援	通年	通年	地域事業 （その他）	その他		【内容】 主催事業であるお花見会、門松づくり、もちつき大会などの開催を支援する。 【ねらい】 地域づくりのエンジンとなる町会連合会を支援する。町会長会にも同席し、町会や地域の課題、関心ごとを把握する。	【準備過程】 各主催事業の企画・運営を支援	【評価と反省】 コロナによる制限が解除され、主催行事が盛んに行われ、諸々の支援を行うことができた。 【今後の方針等】 継続支援。主催事業の意識付けを進めたい。	
社協中央地区支会支援	通年	通年	地域事業 （その他）	その他		【内容】 主催事業であるふれあい会食会などの事業運営を支援する。 【ねらい】 地区の福祉を推進する。	【準備過程】 企画委員会の資料作成、事業運営の補助などを行う。	【評価と反省】 企画委員会では、社協事業について委員の中で共有することができた。 【今後の方針等】 住民が抱える課題が会議に反映され、解決策が話し合われることが必要 事業の方向性について、今後も共有・協議を促して行きたい。	

令和６年度　事業報告

大手公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	ＣＳ
中央地区福祉ひろば事業支援	11月 2月 3月	6回	その他	その他	63人	【内容】 スマホ講座 松本大学の学生を講師として、住民からのスマホ相談を、個別形式で対応 【ねらい】 市が進めるＤＸ推進 デジタルデバイドの解消	【準備過程】 福祉ひろばで企画・周知 公民館は当日支援	【評価と反省】 初めは講師へ相談をしていたが、参加者同士でも教え合う姿も見られ、学び合い、認め合いの関係が生まれた。 【今後の方針等】 住民からの継続要望があり、Ｒ７年度は月２回で通年開催	
事前の鍵の受取レスシステムの構築	6月～		その他	その他		【内容】 玄関先に電子キーボックスを設置する。 【ねらい】 平日夜及び土日祝日の利用時の事前の鍵の受け取りを不要にし、貸館の利便性の向上を図る。 利用団体との信頼関係の構築	【準備過程】 マニュアルの作成 利用団体へ周知 【協力】	【評価と反省】 22団体の希望があった。 利用団体からは「便利になった」と好評 【今後の方針等】 継続実施	

令和６年度　事業報告の概要

安原地区公民館

方針・地域課題・重点的に取り組んだ事項等	評価・反省等
【方針・地域課題】 １　地区の文化・福祉の向上 　地区住民の繋がりづくり、地域コミュニティーの推進を図るため、地区関係団体と連携して地区の文化・福祉の向上を図る。 ２　文化財保護事業の推進 　県宝である武家屋敷「橋倉家住宅」を中心とした地区内文化財の保護事業を展開。まずは地区住民に知ってもらい、活用にまでつなげる。 ３　コミュニティスクール事業の推進 　地区内の学校と地域住民、また学校同士のパイプ役として、相互を繋げられるよう課題の共有や解決方法を検討し、事業実施を図る。 ４　地域防災の推進 　地区内の各団体と協力して各種防災事業を展開し、地区防災力の向上に努める。 ５　地区内ＤＸの推進 　スマートフォンの普及や電子決済が進展していることを踏まえ、主に地区内の高齢者を対象に、講座を通したＤＸ推進を図る。	１　各地域事業は概ねコロナ前と同等規模で開催できた。一方、地区役員の高齢化、出席ボランティアの固定化等、準備にかかる課題が表面化してきているので、新たな担い手の育成や事業内の新企画を立案する等、事業継続に向けた動きを進めていく。 ２　橋倉家住宅での読書会、ＣＳ事業での歴史まちあるき学習、スマホ相談会にて無料の歴史まちあるきアプリを用いた文化財巡り等、積極的な“文化財の活用”ができた。 ３　学校側のニーズに応じる形で事業を実施した。また、ＣＳ事業発展のための事業を新規に行った。 ４　地区団体と協力して防災勉強会を開催。来年度も防災の取り組みを前進させていく。 ５　スマホ相談会の高齢受講者は基本的操作が難しい方もおり、ＤＸ推進のハードルは高いが、繰り返しの学習でアプリ操作の習熟が見られる等、進展も見えている。講座内容を再検討や新企画を

項目	学級講座・学習会等									地域事業			公民館委員会・各種会議等	ＣＳ
	人権平和	福祉健康	子育て	地域文化	環境	趣味教養	スポーツ	防災	その他	体育	文化	その他		
事業数	3	3	8	2	0	12	3	1	1	0	3	2	3	8
延べ参加人数	363	22	451	80	0	107	99	36	56	0	359	339	0	451

令和６年度　事業報告

安原地区公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	ＣＳ
旭町小学校新１年生下校指導	4月 5日 4月 8日 4月 9日 4月10日 4月11日	1回	子育て	青少年	23人	【内容】 小学校新１年生が自力下校ができるよう、地域住民の協力を得て交通の安全を確保する。 【ねらい】 小学校新１年生の自力下校の達成と経験を積ませ、小学校生活を送れるようにする。	【準備過程】 ・全戸配布の公民館だよりで事業周知 ・地区ボランティアに対して個別に協力を要請 【共催団体】 旭町小・中学校応援団	【評価と反省】 事業が定着してきており、町会長を中心に来てくださる方が増えてきた。 【今後の方針】 町会役員に限らず、より大勢の地区住民にも参加してもらえるよう周知方法等を工夫したい。	○
旭町小学校春の交通安全教室	4月19日	1回	子育て	青少年	56人	【内容】 ２年生を対象に、小学校周辺を歩きながら交通マナーや作法を練習する。地区ボランティアはチェックポイントに立ち、児童への指導と見守りを行う。 【ねらい】 交通マナーや道路の危険性を学び、自分の命は自分で守るという意識を育む。	【準備過程】 地区ボランティアに対して個別に協力を要請 【共催団体】 旭町小・中学校応援団	【評価と反省】 児童に対し、道路を渡る前の一旦停止や手を挙げて横断歩道を渡ること等、交通マナーを教えることができた。 【今後の方針】 事業の継続を図る。	○
安原地区親睦春季マレットゴルフ大会	5月12日	1回	スポーツ	成人	33人	【内容】 地区住民を対象に、松本市総合体育館付属コースにてマレットゴルフ大会を開催した。 【ねらい】 地区住民の健康増進と参加者同士の親睦を深める。	【準備過程】 安原地区スポーツ協会が企画・実施。公民館だよりにて事業を周知 【主催】 安原地区スポーツ協会	【評価と反省】 外でのスポーツ機会があまり無い中で、本事業を開催したことは、高齢者の健康増進や気晴らしにも繋がり、意義深い事業となった。 【今後の方針】 来年度も地区スポーツ協会主催のもと事業実施を図る。	
安原地区親睦ボウリング大会	6月14日	1回	スポーツ	成人	27人	【内容】 地区住民を対象に、アピナボウル松本城山店にて、ボウリング大会を開催した。 【ねらい】 地区住民のスポーツ機会の確保。また、健康増進と参加者同士の親睦を深める。	【準備過程】 安原地区スポーツ協会が企画・実施。公民館だよりにて事業を周知 【主催】 安原地区スポーツ協会	【評価と反省】 地区住民の健康増進、参加者同士の交流促進に寄与する事業となった。 【今後の方針】 来年度も地区スポーツ協会主催のもと事業実施を図る。	

令和６年度　事業報告

安原地区公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	ＣＳ
橋倉家住宅「春の読書会」	6月23日	1回	趣味教養	成人	10人	【内容】 県宝に指定されている地区文化財「橋倉家住宅」内にて読書会を開催。昔ながらの雰囲気を味わいながら、読書を楽しむ。 【ねらい】 文化財保護事業の一環として、“文化財を活用する”ことに焦点を当てた事業とすることで、文化財保護をより一層推進する。	【準備過程】 ・安原地区まちづくり協議会文化部会との日程、内容調整 ・当日資料の印刷 【共催団体】 安原地区まちづくり協議会文化部会	【評価と反省】 閑静な室内で昔ながらの雰囲気を感じながら読書会を楽しむことができた。また、天白琥珀会の協力で、自家焙煎のコーヒーを飲みながら参加者それぞれが好きな本の意見交換を行い、有意義な時間となった。 【今後の方針】 文化財を活用するといった観点からも、内容を変えながら、事業実施を図りたい。	
飯田探訪～旧小笠原書院と飯島陣屋～	6月28日	1回	趣味教養	成人	22人	【内容】 安原地区歴史研究会の会員を中心とした他地域の文化保護活動について学習。今回は飯田市の文化財について学習し、自地区の歴史学習に活かす。 【ねらい】 他地域の文化保護活動を学ぶことで、当地区の文化財保護事業をより一層推進する。	【準備過程】 ・歴史研究会と行程等について打ち合わせ ・訪問先との日程調整 【共催団体】 安原地区歴史研究会	【評価と反省】 他地域の文化財を学習することで、自地区の文化財保護活動に新たなアイディア等が用いられた。また、講師の説明を付けたことで、より深い学習につながった。 【今後の方針】 歴史研究会で学習したいものを精査し、それに関する課外学習を実施したい。	
安原地区親睦球技大会	7月15日	1回	スポーツ	成人	39人	【内容】 地区住民を対象に、卓球、マレットゴルフ等の大会を開催 【ねらい】 住民のスポーツ機会を設け、身体・健康づくりを推進する。	【準備過程】 安原地区スポーツ協会が企画・実施 公民館だよりにて事業を周知 【主催】 安原地区スポーツ協会	【評価と反省】 地区スポーツ協会が中心となり、地区住民のスポーツ機会の提供及び健康づくりに寄与する事業となった。 【今後の方針】 来年度もスポーツ協会協力のもと、事業継続を図りたい。	
サマーナイトフェスタＩＮ安原	7月27日	1回	地域事業（その他）	成人	300人	【内容】 安原地区住民を対象とした夏祭り。露店での飲食物販売や公民館利用団体等によるステージ発表などを行う。 【ねらい】 安原地区住民の交流を通して、地域活性化を図る。子どもからお年寄りまで幅広い世代が楽しめる事業とする。	【準備過程】 ・公民館運営委員会、文化委員会合同会議にて開催可否、内容等を協議 ・各団体、施設との連絡調整 ・全戸配布の公民館だより、チラシによる広報 【共催団体】 サマーナイトフェスタＩＮ安原実行委員会（安原地区まちづくり協議会、安原地区町会連合会、公民館運営委員会　等）	【評価と反省】 コロナ前と同様の形で開催し、昨年度並みの来場者数があった。ステージ発表も盛り上がり、楽しいひとときを作り出すことができた。 【今後の方針】 今年度の実績を踏まえ、さらに内容の充実を目指して、来年度の事業実施へつなげる。	

令和６年度　事業報告

安原地区公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	ＣＳ
県宝橋倉家住宅見学会	9月20日 9月21日	1回	地域文化	成人	80人	【内容】 地区文化財であり県宝にも指定されている「橋倉家住宅」の見学会を開催 【ねらい】 橋倉家住宅の存在を広く住民に知ってもらい、ゆくゆくは活用にまで繋げ、文化財保護事業の推進を図る。	【準備過程】 市文化財課と日程調整	【評価と反省】 文化財保護事業を進める上で多くの人に橋倉家住宅を知ってもらういい機会となった。 【今後の方針】 市文化財課と協力し、まち歩きをなども絡めた事業実施に繋げたい。	
橋倉家住宅「秋の読書会」	9月22日	1回	趣味教養	成人	10人	【内容】 県宝に指定されている地区文化財「橋倉家住宅」内にて読書会を開催。昔ながらの雰囲気を味わいながら、読書を楽しむ。 【ねらい】 文化財保護事業の一環として、“文化財を活用する”ことに焦点を当てた事業とすることで、文化財保護をより一層推進する。	【準備過程】 ・安原地区まちづくり協議会文化部会との日程、内容調整 ・当日資料の印刷 【共催団体】 安原地区まちづくり協議会文化部会	【評価と反省】 閑静な室内で昔ながらの雰囲気を感じながら読書会を楽しむことができた。また、天白琥珀会の協力で、自家焙煎のコーヒーを飲みながら参加者それぞれが好きな本の意見交換を行い、有意義な時間となった。 【今後の方針】 文化財を活用するといった観点からも、内容を変えながら、事業実施を図りたい。	
旭町小学校遠足付き添い支援	10月1日	1回	子育て	青少年	70人	【内容】 地区住民が旭町小学校の遠足の付き添いをする。 【ねらい】 子ども達が安全に遠足を楽しむために大人の目を増やすとともに、児童と地域住民の交流の機会とする。	【準備過程】 ・小学校教諭との打ち合わせ ・地区住民への参加呼びかけ	【評価と反省】 地区住民が引率の補助をすることで子ども達が安心・安全に遠足を楽しむことができた。また、親でも先生でもない方が一緒にいることで、ほどよい緊張感を持ちながら子ども達が頑張る姿を見られたのも意義深いものだと思われる。 【今後の方針】 学校側の要望に応じて、事業継続を図る。	○
安原地区文化祭・ひろばまつり	10月12日	1回	地域事業（文化）	成人	200人	【内容】 公民館利用団体や学校からの展示物を掲示、ダンスや歌唱等のステージ発表、福祉ひろばでの飲食物提供も実施した。 【ねらい】 安原地区で活動しているサークルの成果発表の機会とすることのほか、安原地区住民の交流を図るとともに、安原地区の地域活性化を目指す。	【準備過程】 ・下記共催団体と開催可否、開催内容等について協議 ・ステージ発表団体との内容調整 ・全戸配布のチラシで事業周知 ・各サークル、学校の成果品を展示 【共催団体】 安原地区文化祭・ひろば祭り実行委員会（安原地区まちづくり協議会、安原地区町会連合会、公民館運営委員会　等）	【評価と反省】 昨年度の反省から開催日数を２日から１日に縮小したが、その分濃く充実した内容で実施することができた。 【今後の方針】 さらなる発展のため、反省点を振り返りつつ、来年度の事業実施へつなげる。	

令和６年度　事業報告

安原地区公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	ＣＳ
澤柳政太郎と島木赤彦のお話（人権啓発推進研修）	10月26日	1回	人権平和	成人	38人	【内容】 大正時代に起きた女性教員擁護・排斥論について関わりのあった地区出身者の澤柳政太郎と歌人で教育者の島木赤彦について学習する。 【ねらい】 二人の著名人の生い立ちを元に、女性の人権や歴史について学習する。	【準備過程】 ・下記共済団体と内容について協議 ・公民館だよりにて事業周知 【共催団体】 安原地区人権啓発推進協議会、安原地区まちづくり協議会文化部会	【評価と反省】 女性の社会進出が始まっていく直前の日本において、当時の著名人が女性についてどう考えていたかを知ることができた。 【今後の方針】 より参加しやすく、参加したいと思われる内容を考え、事業継続を図りたい。	
パッククッキング　お料理講習会	10月29日	1回	趣味教養	成人	10人	【内容】 災害時に役立つパッククッキングによる料理づくり講座 【ねらい】 地区住民の健康増進、食育を目的に開催した。	【準備過程】 ・地区食生活改善推進協議会と日程内容調整 ・公民館だよりに事業周知 【主催】 食生活改善推進協議会	【評価と反省】 参加者同士楽しみながら料理づくりをすることができた。今後も内容を検討しながら、幅広い層へ講座を提供したい。 【今後の方針】 食生活改善推進協議会と連携して講座継続を図りたい。	
人権フェスタin旭町中	11月5日	1回	人権平和	その他	305人	【内容】 中学校と地域が協同で人権に関する学習機会を作る。今年度は「楽団ケ・セラ」を招致し、体育館にて演奏会を開催。生徒だけでなく地域住民も参加可能とした。スタッフには生徒のボランティアを募った。 【ねらい】 中学生と地域がつながる仕組みを作る。「学校教育」と「社会教育」を同時に行い、共に人権について考える。学校への地域住民の参加を促し、ＣＳ事業の発展のきっかけとする。	【準備過程】 ・下記共済団体と事業内容を協議 ・「楽団ケ・セラ」との内容調整 ・各戸回覧のチラシで事業周知 【共催】 旭町中学校 安原地区人権啓発推進協議会	【評価と反省】 スタッフの生徒は主体的に活動し、司会進行等を円滑に進めていた。学校側からも大きな協力を頂くことができた。ケ・セラの演奏に感化された生徒たちは自らの意思で会場を盛り上げる等、障がいの有無に関わらず、その場にいた者全員が一体感を得ることができ、共生社会について学習することができた。一方、地区住民の参加は伸び悩んだ。 【今後の方針】 事業の継続を図ることで、地域に事業を浸透させ、発展させていく。	

令和６年度　事業報告

安原地区公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	ＣＳ
あさばのウォークラリー2024	11月9日	1回	地域事業（その他）	成人	39人	【内容】 安原地区内や隣接地区の文化財・史跡にチェックポイントを設定し、関連する問題を解きながらウォーキングを行うウォークラリーを開催。終了後は、景品抽選会、炊き出しによる食事をとった。 【ねらい】 文化財・史跡をチェックポイントとすることで、毎年異なる発見や楽しさを生み出す。また、ウォーキングを通じた健康増進、地区住民相互の交流を図る。	【準備過程】 ・下記共催団体と事業内容を協議 ・チェックポイント決め、マップの作成 ・景品、食材の買い出し ・全戸配布のチラシで事業周知 【共催団体】 あさばのウォークラリー実行委員会（安原地区まちづくり協議会、安原地区町会連合会、公民館運営委員会、文化委員会、シフォンの会　等）	【評価と反省】 ウォークラリー形式を取ったことで、地区内外の歴史文化財を知る機会となった。参加者数が減少傾向にあるため、内容等を見直す必要がある。 【今後の方針】 内容を再検討し、より多くの参加が見込める事業としたい。	
“フレイル予防”講座&お料理講座	11月15日	1回	趣味教養	成人	10人	【内容】 フレイル予防に役立つ料理づくり講座を開催した。 【ねらい】 地区住民の健康増進、食育を目的に開催した。	【準備過程】 ・地区食生活改善推進協議会と日程内容調整 ・公民館だよりに事業周知 【主催】 食生活改善推進協議会	【評価と反省】 参加者同士楽しみながら料理づくりをすることができた。今後も内容を検討しながら、幅広い層へ講座を提供したい。 【今後の方針】 食生活改善推進協議会と連携して講座継続を図りたい。	
安原地区もちつき大会	12月1日	1回	地域事業（文化）	青少年	100人	【内容】 安原地区に住む子ども、親、祖父母など、あらゆる世代の方たちを対象にしたもちつき大会を開催 【ねらい】 昔は多くの家庭で行われていた「もちつき」を体験し、日本の伝統文化に触れる。また、多世代交流を図る。	【準備過程】 ・安原地区子ども会育成会が企画 ・公民館だよりにて事業周知 【主催】 安原地区子ども会育成会	【評価と反省】 参加した保護者と子どもの貴重な体験となった。今回の開催はインフルエンザやコロナ禍のため６年ぶりとなった。参加者だけでなくスタッフにとっても貴重な経験となった。 【今後の方針】 来年度の事業実施へつなげる。	
四季防災館視察研修（人権啓発推進事業）	12月12日	1回	人権平和	成人	20人	【内容】 県外の防災施設へのバス視察研修を実施 【ねらい】 ・災害時において障がい者や高齢者の人権をどう守っていくかについて学ぶ。 ・地震や水害等の災害や防災知識について学ぶ。 【防災】	【準備過程】 ・下記共催団体との日程、行程等について打ち合わせ ・講座への参加呼びかけ 【共催団体】 安原地区人権啓発推進協議会	【評価と反省】 先進的な防災施設での地震体験や災害に関する学習会を通じ、災害時における要配慮者への対応等を考えることができた。 【今後の方針】 より参加しやすく、参加したいと思われる内容を考え、事業継続を図りたい。	

令和６年度　事業報告

安原地区公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	ＣＳ
安原地区公民館・福祉ひろば年末一斉清掃	12月14日	1回	その他	成人	56人	【内容】 日頃公民館を利用しているサークル・団体による年末大掃除を行う。 【ねらい】 日々の清掃では手の行き届かない細かな場所を年に一回掃除してもらいながら、サークル間の交流の機会とする。	【準備過程】 ・事業開催通知の発送 ・参加者とりまとめ ・清掃用具の準備 【共催団体】 あさひ会（安原地区公民館利用者の会）	【評価と反省】 日頃使用している公民館・福祉ひろばを利用者に丁寧に清掃してもらうことで、施設をきれいに保つことができている。 【今後の方針】 事業継続を図る。	
旭町小学校４年生＆６年生　火縄銃学習	12月19日	1回	子育て	青少年	117人	【内容】 信州松本藩鉄砲隊の方を講師に招き、旭町小学校４、６年生を対象に火縄銃の歴史、使い方などについての学習会を開催 【ねらい】 ４、６年生の社会科の授業に合わせ、火縄銃の実物を見ながら歴史について説明を聞くことで、より深い学習ができる。	【準備過程】 小学校教諭、信州松本藩鉄砲隊の方との日程、内容調整 【共催団体】 信州松本藩鉄砲隊	【評価と反省】 通常の授業では体験できない講義をすることができ、子ども達が興味を持ちながら学習に取り組めた。火縄銃の実物を間近で見ることで、より深い学習をすることができた。 【今後の方針】 学校側の要望に応じて、事業継続を図りたい。	○
絵でつくる干支の壁飾り講座（押絵雛講習会）	12月19日	1回	趣味教養	成人	4人	【内容】 松本伝統工芸として知られている押絵雛の技法を学びながら、その年の干支をモチーフにした壁飾りを作る。 【ねらい】 松本伝統工芸の一つである押絵雛の技法を学ぶ。	【準備過程】 ・ベラミ人形展：三村氏と日程、内容等について打ち合わせ ・講習会で使用する物品の購入	【評価と反省】 新年を迎えるにあたり季節を感じられる講座となった。講習時間が長く、作業も細かいため、疲れが見える方もいた。 【今後の方針】 事業継続を図りたい。	
安原地区新年顔合わせ会	1月19日	1回	地域事業（文化）	成人	59人	【内容】 幅広い地区住民を対象にした地区新年会を開催。お弁当による会食会、地元有志による余興を披露する。 【ねらい】 新年の抱負等、地区で取り組むまちづくりの方向性を共有し、決意新たに新年を迎える。	【準備過程】 安原地区まちづくり協議会新年会企画委員会が企画、実施	【評価と反省】 コロナ禍前の会食形式を行うことができた。人数も昨年の倍になり、本年のまちづくり、地域づくりに向けた決意を共有できる良い機会となった。 【今後の方針】 事業実施を図りたい。	

令和６年度　事業報告

安原地区公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	ＣＳ
旭町小学校２学年豆腐づくり体験	1月21日 1月22日	1回	子育て	青少年	57人	【内容】 ＪＡ指導員のもと、豆腐づくりの体験と学習を実施。地区住民がボランティアとして児童の調理実習の支援を行う。 【ねらい】 豆腐や大豆について学習すると共に、児童自らの手で調理を行い、料理全般の知識を学ぶ。	【準備過程】 ・小学校教諭との打ち合わせ ・地区住民への参加呼びかけ	【評価と反省】 地区住民のボランティアは、児童にとって頼りがいのある存在として映った。指導に従い、楽しく調理実習を行うことができた。 【今後の方針】 学校側の要望に応じて、事業継続を図る。	○
旭町小学校６年生歴史まち歩き学習	1月30日	1回	子育て	青少年	59人	【内容】 旭町小学校６年生を対象とした安原地区の歴史まち歩きを実施。歴史研究会の会員が講師となり、地区の歴史文化について説明する。 【ねらい】 城下町特有の歴史文化に触れてもらう。また、地区内の文化財がどのように保存・活用されているのか知ってもらう。	【準備過程】 ・小学校教諭、歴史研究会と当日の内容、日程等について打ち合わせ ・当日の行程表の作成、資料の配布 【共催団体】 安原地区歴史研究会	【評価と反省】 地区の歴史を記載した資料により、分かりやすいまち歩きを実施することができた。季節が１月で講師も高齢化しているため、開催時期の変更が必要 【今後の方針】 内容、時期を再検討して事業実施をしたい。	○
お料理講座「朝ごはんでＣｈｏｉｃｅ」	1月30日	1回	趣味教養	成人	10人	【内容】 朝ごはんの重要性と健康にまつわる料理づくり講座を開催 【ねらい】 地区住民の健康増進、食育を目的に開催	【準備過程】 ・地区食生活改善推進協議会と日程内容調整 ・公民館だよりに事業周知 【主催】 食生活改善推進協議会	【評価と反省】 参加者同士楽しみながら料理づくりをすることができた。今後も内容を検討しながら、幅広い層へ講座を提供したい。 【今後の方針】 食生活改善推進協議会と連携して講座継続を図りたい。	
安原地区防災勉強会「安原地区の防災どうなっているの？」	3月8日	1回	防災	成人	36人	【内容】 市危機管理課職員を講師に招き、安原地区の災害危険度や防災知識について学ぶ。日赤奉仕団による手ごろな価格でできる防災アイテムの作成紹介、炊き出しを実施した。 【ねらい】 安原地区の防災について学習すると共に参加者同士の顔の見える関係づくりを図る。	【準備過程】 ・日赤奉仕団を中心に町会長、町会防災部、民生等による企画会議を実施 ・当日の詳細等にて打ち合わせ 【主催】 赤十字奉仕団安原地区分団	【評価と反省】 参加者から防災について知らなかったことが学べた、思い込みがあった等の感想があった。また、参加者同士の意見交換を通じて町会ごとの情報交換を行うことができた。 【今後の方針】 引き続き、地区単位・町会ごとの防災の巣心を図るため、防災にかかる事業を継続する。	

令和６年度　事業報告

安原地区公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	ＣＳ
安原地区高齢者交流	7月30日 3月11日	2回	福祉健康	高齢者	22人	【内容】 安原地区に住む高齢者を対象にバス講座を開催。今年度は佐久市周辺の文化財及び群馬県の秋間梅林を訪れた。 【ねらい】 主に引きこもりがちな高齢者等を対象に事業を実施することで、地区全体の健康づくりの増進と繋がりづくりを図る。	【準備過程】 ・下記共催団体との日程、行程等について打ち合わせ ・講座への参加呼びかけ 【共催団体】 安原地区まちづくり協議会健康福祉部会	【評価と反省】 外出機会が少ない方々を中心とした交流の機会を実施したことで、健康づくりや繋がりづくりに寄与する事業となった。 【今後の方針】 行程内容を変えて、事業継続を図りたい。	
旭町小学校１学年さつまいも定植・収穫	6月10日 11月 4日	2回	子育て	青少年	69人	【内容】 １年生と一緒にさつまいもの定植と収穫を行う。 【ねらい】 学校が目指す“探究的な学び”を大事にし、植え方や水やり等について児童主体で行う。	【準備過程】 小学校教諭と事業内容等について打ち合わせ	【評価と反省】 学校の方針である“探究的な学び”に重きを置き、児童たちが植え方などを勉強しながら定植作業と収穫を実施できた。 【今後の方針】 児童たちが主体的に進めることを大事にしつつ、事業継続を図る。	○
安原地区古本市	3月3日 ～3月7日 3月10日 ～3月14日	1回	趣味教養	成人	31人	【内容】 地区住民からリサイクル本の提供を受け、一定期間古本市を公民館内で開催し、リサイクル本を無料提供する。 【ねらい】 ・安原地区住民の読書を推進する。 ・断捨離を促進することで生活改善及び片付けから始まる防災のきっかけ作りを図る。 【防災】	【準備過程】 ・全戸配布の公民館だよりで事業周知 ・開催直前まで準備期間を設け、その間にリサイクル本の提供を受ける。	【評価と反省】 提供を受けたリサイクル本の大半が古本市期間内に他の提供希望者に渡った。電話でもリサイクル本提供に関する問い合わせも寄せられ、住民にとって関心のある取り組みであることが伺えた。 【今後の方針】 図書委員会にて開催結果に基づき事業継続の可否や開催内容について検討する。	
旭町小学校・中学校あいさつ運動	通年		子育て	青少年		【内容】 旭町小学校西門、旭町中学校正門の前で、登校する児童・生徒に地区住民があいさつする運動 【ねらい】 地域全体であいさつが当たり前にできるように。また、子ども達が気持ちよく学校生活を送れるよう住民が率先してあいさつ運動を実施	【準備過程】 全戸配布の公民館だよりで事業周知 【共催団体】 旭町小・中学校応援団	【評価と反省】 事業が定着してきており、町会長を中心に来てくださる方が増えてきた。 【今後の方針】 町会役員に限らず、地区住民にも参加してもらえるよう、周知方法等を工夫したい。	○

令和６年度　事業報告

安原地区公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	ＣＳ
パソコン教室	通年		趣味教養	成人		【内容】 パソコンの基礎学習を行う。月に２回講師を招き、日頃パソコンを使用するうえでの不明点について解決を図る。 【ねらい】 参加者同士が教えながら講座を行うことで、技能向上と参加者交流を図る。	【準備過程】 ・講師：山川豊氏と日程、内容を調整 ・全戸配布の公民館だよりで事業周知	【評価と反省】 当館の定期講座として例年開催しているが、参加者の減少・固定化が見られる。講師も高齢となってきているため、講座内容、回数等を見直す必要がある。 【今後の方針】 講師と日程、内容等を再検討し、事業実施を図る。	
スマホ使い方相談会	通年		趣味教養	成人		【内容】 地区住民が日頃スマホを使っていて分からない点を相談し、説明を受ける相談会を開催。今年から無料の歴史まち歩きのＬＩＮＥアプリ「ＭＥＧＵＲＹ（メグリー）」の説明と実地講習も実施 【ねらい】 地区内ＤＸの推進、スマホに関する悩み解決	【準備過程】 ・下記共催団体と日程、内容等の調整 【共催団体】 天白琥珀会	【評価と反省】 あえて講座内容は決めず、何でも相談できる形式にすることで、参加者は気軽にスマホの悩み事が相談できた。講座の過程でできたＬＩＮＥグループも引き続き機能している。メグリーも自分で繰り返し操作することで操作方法の習熟に繋がっている。参加者は高齢者が多いが、その中でもスマホ操作のレベルに差が生じている。 【今後の方針】 講座内容もマンネリ化しないよう専門の講師を呼ぶなど検討をする。高齢者のスマホ操作の習熟を図るため、一定期間同一の内容で講座を継続する。	
スローストレッチ教室	通年		福祉健康	成人		【内容】 ゆっくりとした動きの健康体操を行う。 【ねらい】 自分に合ったストレッチ体操を行い、自身の健康づくりに繋げる。	【準備過程】 全戸配布の公民館だよりで事業周知	【評価と反省】 専任講師に依頼することで継続的に無理のない範囲でストレッチ体操ができた。新たな参加者が時々くるなど、当館では人気の講座となっている。 【今後の方針】 事業継続を図る。	
男のストレッチ講座	通年		福祉健康	その他		【内容】 ストレッチとトレーニングを自分のペースで行う。（男性向け） 【ねらい】 男性限定の講座とすることで、男性の講座参加率を向上させる。	【準備過程】 ・すがの鍼灸整骨院：高橋達也先生と日程打ち合わせ ・全戸配布の公民館だよりで事業周知 【共催】 安原地区福祉ひろば	【評価と反省】 専任講師に依頼することで継続的に無理のない範囲でストレッチ体操ができた。男性限定にしていることから、男性が気兼ねなく参加できる講座となっている。 【今後の方針】 新規参加者が増えるよう、内容や周知方法等を見直し、改善する。	

令和６年度　事業報告

安原地区公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	ＣＳ
パンとスイーツ教室	奇数月 第4金曜日		趣味教養	その他		【内容】 パンとスイーツを一品ずつ作る料理教室を開催 【ねらい】 料理教室を通して、食育、地区住民の交流を図る。	【準備過程】 ・講師：高梨雅子氏と内容等を調整 ・全戸配布の公民館だよりで事業周知	【評価と反省】 毎回内容を変えて、様々な種類のパン・スイーツづくりを学ぶことができ、非常に好評な講座となっている。 【今後の方針】 来年度も継続する。	
安原コーヒー講座	通年		趣味教養	成人		【内容】 焙煎コーヒーの淹れ方を学ぶ。	【準備過程】 下記共催団体と日程、内容等の調整 【共催団体】 天白琥珀会	【今後の方針】 事業の継続を図る。	
安原地区歴史研究会	毎月 第4金曜日		地域文化	成人		【内容】 地区内の歴史、文化を中心に、幅広く歴史について学ぶ。 【ねらい】 会員が率先して地区内の歴史、文化を学ぶことで、地区内の文化財保護事業の推進を図る。	【準備過程】 歴史研究会が企画、事業実施	【評価と反省】 地区内の歴史文化を中心に幅広く学習することができた。文化財保護事業の推進やコミュニティースクール事業での講師など、幅広く活躍しているサークルとなっている。 【今後の方針】 座学だけでは会員のモチベーションを保つのは難しく、講演会やバス研修など内容を工夫しながら事業継続を図る必要がある。	
公民館運営委員会・文化委員会等合同会議	6月 5日 8月 7日 2月26日	1回	公民館委員会・各種会議等	その他		【事業内容】 公民館の運営、各種イベントについて内容等を協議し、事業の運営をする。 【ねらい】 安原地区公民館、安原地区全体の活性化につなげる。	【準備過程】 ・会議開催通知の送付 ・当日資料の準備 ・各種イベント時の役割分担	【評価と反省】 サマーナイトフェスタや文化祭など、コロナ禍では開催が困難だった地区事業を、概ね元に戻すことができた。今後は役員の高齢化及び人手不足の対策、事業内で新企画の立案して新規参入者を増やす等、より発展していく方法の模索が必要。 【今後の方針】 必要に応じ、随時開催する。	

令和６年度　事業報告

安原地区公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	ＣＳ
図書委員会		1回	公民館委員会・各種会議等	その他		【内容】 公民館内にある図書スペースの本の入替。古本市の開催 【ねらい】 地区住民により近い場所で、様々なジャンルの本に触れてもらう機会を提供する。	【準備過程】 松本市中央図書館と各委員との日程調整	【評価と反省】 それぞれの委員が好きな本を選んで図書入替を行うことで、楽しみながら入替活動をすることができた。本の紛失が多々あるため、予防策を講じる必要がある。今年度は初の試みとして「古本市」を開催 【今後の方針】 事業継続を図る。	
館報編集委員会	通年	1回	公民館委員会・各種会議等	その他		【内容】 安原地区公民館報の作成 【ねらい】 安原地区公民館報を通して、地域の情報を発信する。	【準備過程】 ・編集会議開催通知の送付 ・編集会議資料作成 ・館報紙面の割り付け	【評価と反省】 掲載記事の選定や記事校正など、委員が積極的に意見を言いながら館報編集を進めることができた。掲載記事が事業報告のものが多いことから、地域の“人”に焦点を当てるなど、より興味深い内容とする必要がある。 【今後の方針】 今後も委員と話し合いながら、よりよい館報づくりを進める。	

令和６年度　事業報告の概要

城東公民館

方針・地域課題・重点的に取り組んだ事項等	評価・反省等
【方針・地域課題】 ・地区の北端、福祉複合施設の３階にある公民館ということで、地域住民が気軽に立ち寄ることが難しい条件にある。このため大勢の住民に足を運んでもらえるような多種多様の講座、事業を実施するよう留意している。 ・高齢化などにより、地域住民の公民館活動への参加は少なくなってきている。大勢の方が参加してもらえる講座等の開催をしたい。 ・昨年まではこども育成会事業を城東地区福祉ひろばや元町児童館で開催していたが、ひろばはひろば事業を開催することが主であること、元町児童館には地区以外の子どもも集まるため、今年度から公民館で開催することとした。	・昨年好評だったカレー講座を２回開催したところ、昨年に続き好評でした。苔テラリウムや多肉植物講座は参加者には好評でした。 ・マレットゴルフの参加が減少している。ニュースポーツのボッチャやモルック大会を開催したところ予想以上に参加していただけた。 ・最初は、城東公民館が分からない親や子がいて遅れて来たが、後半行事では遅れずに参加いただけた。公民館の場所を知らない方が多い。

項目	学級講座・学習会等									地域事業			公民館委員会・各種会議等	ＣＳ
	人権平和	福祉健康	子育て	地域文化	環境	趣味教養	スポーツ	防災	その他	体育	文化	その他		
事業数	0	2	7	5	1	10	5	2	0	0	1	2	5	6
延べ参加人数	0	51	123	238	24	176	74	38	0	0	79	48	48	105

令和６年度　事業報告

城東公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	ＣＳ
街中さんぽ	4月17日	1回	福祉健康	成人	35人	【内容】 市が提供しているアプリの操作方法を学ぶことからスマホの操作方法等を学ぶ。	【共催団体等】 福祉ひろば	歩く速度や体力などが違うため、それぞれグループに分かれて実施	
旭町小学校 交通安全教室	4月19日	1回	子育て	青少年	5人	【内容】 校庭の模擬道路や実際の道路での練習を通じ、正しい歩行を身につけたり、再確認したりする機会とする。 【ねらい】 地域で子どもを見守る、育む。	【共催団体等】 城東地区子ども見守り隊	子ども達の交通安全に資することができた。	○
モルック体験会	5月25日	1回	スポーツ	成人	17人	【内容】 ニュースポーツのモルックを開催し、ルール等覚えて、身近なスポーツと感じてもらう。 【ねらい】 ・健康づくり ・参加住民同士の交流	【共催団体等】 地区スポーツ協会	・ルールは簡単で慣れてもらえば広まりそうである。 ・定期的に開催して、競技ができるようになればいいと思う。 ・会場が床の場合は絨毯等用意が必要。屋外では場所がない。	
苔テラリウム講座	5月28日	1回	趣味教養	成人	7人	【内容】 簡単につくれて、管理も簡単な園芸講座 【ねらい】 趣味教養をひろげる。		・講師の指導のもと簡単に作ることができる。 ・地区で他のイベントがあり、参加したかったとの声があった。	
旭町小学校 さつまいも植え	6月10日	1回	子育て	青少年	2人	【内容】 旭町小学生と地域住民でさつまいもの植付を行う。 【ねらい】 ・児童と地域住民の交流 ・食育		・今年はマルチシートが敷いてなかったため植える作業は楽だった。 ・長い苗もあったので園芸用の支柱で深く穴を掘り植えることができた。	○
第47回マレットゴルフ大会	6月11日	1回	趣味教養	成人	11人	【内容】 大芝公園でマレットゴルフ大会を行う。 【ねらい】 ・健康づくり ・参加住民同士の交流	【共催団体等】 地区スポーツ協会	・天候もよく楽しく開催ができた。 ・地区内でマレットゴルフが盛んな町会もあるので、もっと参加者が増えてほしい。 ・平日開催のため参加者が少なかった。	

令和６年度　事業報告

城東公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	ＣＳ
バスで行く工場見学とブルーベリー狩り	6月27日	1回	趣味教養	成人	11人	【内容】 身近な食品工場を見学することにより、食の安全性等を学ぶ。 【ねらい】 食の安全性について学ぶ。		・参加者からは体験や見学が多くできて喜ばれた。 ・地区の他団体の行事と重なり出席者が少なかった。	
城東シアター（神様のカルテ）	7月2日	1回	趣味教養	成人	6人	【内容】 松本市で撮影された映画「神様のカルテ」の鑑賞		内容が重い内容でした。 ・地域医療の問題 ・身内がいない人の病死 参加者からは良かったと評価をいただいた。	
七夕人形作りとほうとうの会	7月6日	1回	地域文化	青少年	45人	【内容】 ・七夕人形づくりを学ぶ。 ・ほうとうを食べる。 【ねらい】 地域文化である七夕人形づくりとほうとうを子どもに教えて地域文化を継承する。	【共催団体等】 城東地区育成会	今年度から公民館で開催したため、昨年まで開催していた児童館で開催すると思った方がいて遅れて来た。 申込不要で開催したため、材料が足りなくなるか心配だったが足りた。	
女鳥羽川外来植物駆除作業	7月7日	1回	環境	成人	24人	【内容】 女鳥羽川河川内の外来植物駆除を実施 【ねらい】 女鳥羽川河川内の環境整備	【共催団体等】 城東地区環境衛生協議会	作業は１時間位行い、ゴミ袋に大量に駆除をしたが、ほんの一部しか駆除ができなかった。	
盲学校　地域奉仕活動	7月23日	1回	地域事業（その他）	成人	34人	【内容】 松本盲学校の生徒による施術奉仕 【ねらい】 地域の絆を深める。	【共催団体等】 松本盲学校 福祉ひろば	・地域の方も学校も充実した交流ができたとの感想で、今後も継続していきたい。 ・募集人員には達しなかったが参加者から喜んでいただけた。 ・会場を公民館で開催できないか検討したい。	
子ども安全安心学校	8月1日	1回	子育て	青少年	18人	【内容】 ・防災、防犯について子どもと大人が一緒に学ぶ。 ・山辺消防署による煙道訓練・消火器による訓練 ・日赤奉仕団によるハイゼックス米の炊出訓練 【ねらい】 ・体験学習 ・参加住民同士の交流	【共催団体等】 山辺消防署 子ども会育成会 日赤奉仕団	・今年度から公民館で開催した。 ・猛暑ためか子どもの参加が少なかった。 ・ひろばの防災倉庫から窯やプロパンなどの運搬が必要である。 ・来年は警察署	

令和６年度　事業報告

城東公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	ＣＳ
相続遺言セミナー	8月3日	1回	防災	成人	22人	【内容】 古い家屋は所有者の名義が何代も前になっていることがあり、災害等で倒壊した家屋を解体するにあたり所有者の同意が必要で相続が済んでいないと解体もできない。 【ねらい】 もしもの時に備えて遺言書などを用意するなど相続について準備をする。	【共催団体等】 城東地区防災部	災害時の建物の解体ということで講義を受けましたが、災害以外でも相続について早めに準備は必要である。	
乗鞍自然観察会	8月5日	1回	福祉健康	成人	16人	【内容】 乗鞍高原自然散策、ウオーキング 【ねらい】 ・健康づくり ・参加住民同士の交流		・自然学習や、参加者の健康づくりに役立った。 ・途中で雨が降ったため、車窓から乗鞍の説明を受けた。	
盲学校の草取り作業	9月1日	1回	地域事業（その他）	成人	14人	【内容】 松本盲学校の草取り 【ねらい】 ・地域の絆を深める。 ・環境美化	【共催団体等】 地区環境衛生協議会	・申し込み不要で開催したため、台風の影響でやらないと判断されたのか昨年より参加者が少なかった。 ・学校関係者が参加しなかったので来年度開催する場合は調整したい。	
城東公民館文化祭	9月28日	1回	地域事業（文化）	成人	79人	【内容】 ・公民館利用団体、地域住民による芸術文化の祭典 【ねらい】 ・文化、教養の向上 ・参加住民同士の交流	【共催団体等】 文化委員 文化祭実行委員会	・発表は参加団体が少なく、昨年と団体数は変わらない、午後１時には舞台部門は終了した。 ・地区住民が楽器の演奏で参加いただき盛りあがった。 ・各団体の設置時間や発表時間を細かく打ち合わせる必要がある。楽器の搬入や設置時間を含めた時間で依頼したため、団体による発表時間に差が発生した。 ・展示サークルがないため町内公民館長等経由で展示作品を募集したが、協力いただけるのか連絡もない。 ・舞台発表のサークルは会議にも参加しなかったり、準備や片付けも協力が少ない。 ・根本的に開催の有無について検討が必要かもしれない。	

令和６年度　事業報告

城東公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	ＣＳ
第48回マレットゴルフ大会	10月26日	1回	スポーツ	成人	11人	【内容】 アルプス公園でマレットゴルフ大会を行う。 【ねらい】 ・健康づくり ・参加住民同士の交流	【共催団体等】 地区スポーツ協会	・参加人数が少ない。 ・参加する町会に偏りがある。	
旭町小学校 芋掘り	11月1日	1回	子育て	青少年	3人	【内容】 旭町小学生と地域住民でさつまいもの収穫を行う。 【ねらい】 ・児童と地域住民の交流 ・食育		・昨年は収穫がほとんどなかったが、今年は苗によって収穫があったり、無かったりとまちまちだった。 ・とれなかった児童の為に、先生がこっそり埋めて、埋めた場所を児童に掘らせて収穫体験をさせていた。	○
地震体験車	12月1日	1回	防災	成人	16人	【内容】 地震車で地震の模擬体験をする。 【ねらい】 地震での揺れを経験して、いざという時に慌てないように心構えを養う。 消防署員に地震に備えること等の講話を受け、災害に備える。	【共催団体等】 山辺消防署 城東地区防災部	住民の参加が少なかった。デイサービスなど施設職員が都合をつけて参加してくれた。	
フォッサマグナミュージアム見学	12月10日	1回	スポーツ	成人	17人	【内容】 フォッサマグナミュージアムを見学して地震のメカニズムを学ぶ。 【ねらい】 参加者の住んでいる松本が地形的にどのような場所か学び、少しでも災害に備える。		ＣＧなどの映像で説明が分かりやすかった。時期的に施設の見学者が少なくゆっくり見学ができた。	
餅つき大会	12月14日	1回	地域文化	青少年	66人	【内容】 子ども達に臼と杵による餅つきを体験させて、できたてのお餅を食べる。 【ねらい】 伝統文化を学ぶ 子どもと地域住民の交流	【共催団体等】 城東地区育成会	参加した子どもは美味しく食べて、お代わりした子もいた。今年度から公民館で事業を実施したため、福祉ひろばからの荷物の運搬などあった。公民館の倉庫に道具の保管できる場所を確保したい。育成会の一部役員の負担が多かった。	

令和６年度　事業報告

城東公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	ＣＳ
多肉植物寄せ植え講座	12月18日	1回	趣味教養	成人	15人	【内容】 簡単につくれて、管理も簡単な園芸講座 【ねらい】 趣味教養をひろげる。		・講師の指導のもと簡単に作ることができる。 ・同じような植物関係の講座を開催したい。	
本格キムチ漬け講座	12月24日 12月25日	1回	趣味教養	成人	11人	【内容】 簡単漬け物講座 【ねらい】 ・文化、教養の向上 ・参加住民同士の交流		今年度、材料の白菜が不作で十分な材料が確保できなかった。準備も含めて２日参加にしているため参加者が少なかった。	
まゆ玉づくり	1月11日	1回	地域文化	青少年	60人	【内容】 三九郎で焼くまゆ玉をつくる。 【ねらい】 ・伝統文化を学ぶ。 ・子どもと地域住民の交流	【共催団体等】 城東地区育成会	今年度から公民館で事業を実施したため、福祉ひろばからの荷物の運搬などあった。 公民館の倉庫に道具の保管できる場所を確保したい。参加の申し込みは町会の育成会役員にするようになっていたが、連絡が無かったケースがあった。 材料は余裕があったので足りないことはなかった。	
ラージ卓球教室	1月18日	1回	スポーツ	成人	9人	【内容】 ・ラージ卓球の基本を学び、試合形式までできるようにする。 ・健康づくり ・参加住民同士の交流	【共催団体等】 地区スポーツ協会	参加人数が少ない。町内公民館で卓球をやっているという話を聞かないので地区では盛んではないかもしれない。	
ボッチャ・モルック大会	2月1日	1回	スポーツ	成人	20人	【内容】 それぞれの競技のルールの理解と競技をして楽しむ。 【ねらい】 ・健康づくり ・参加住民同士の交流	【共催団体等】 地区スポーツ協会	総当たりで２種目を同時進行したため、モルックが早く試合が終わり待ち時間が発生した。 来年度は１種類毎、別の日で開催したい。 町内公民館でやっているという話をきいたので開催したが、参加しない町会の方もいる。	

令和６年度　事業報告

城東公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	ＣＳ
やしょうまづくり	2月15日	1回	地域文化	青少年	34人	【内容】 やしょうまを作る。 【ねらい】 ・伝統文化を学ぶ。 ・子どもと地域住民の交流	【共催団体等】 城東地区育成会	今年度から公民館で事業を実施したため、福祉ひろばからの荷物の運搬などあった。 公民館の倉庫に道具の保管できる場所を確保したい。餅つきやまゆ玉ほどは参加者がいなかった。出来上がりを考えながら作らないといけないので子どもには難しかった。	
酒蔵見学	3月10日	1回	趣味教養	成人	17人	【内容】 身近な酒蔵を見学して、お酒の作り方の行程などを学ぶ。		近隣にある見学場所で初めて見学した方も多く、参加者からは好評だった。	
歩いて探そうお宝探訪ウォークラリー	3月20日	1回	地域文化	その他	33人	【内容】 ・ウォークラリー ・ウォークラリーにて巡った史跡に関する歴史講座 【ねらい】 ・地域資源、財産の再発見 ・参加住民同士の交流	【主催】 まちなかウォークラリー実行委員会（第一、二、三、東部、城東、大手公民館）	地区合同講座として開催。単独館での企画より大規模に行うことができ、参加者同士はもちろんのこと、職員同士の連携醸成や地区間の情報共有にも役立った。	
旭町小学校 新１年生下校見守り	4月 5日 4月 8日 4月 9日 4月10日 4月11日	5回	子育て	青少年	40人	【内容】 旭町小学校の新１年生が安全に下校できるように見守る。 【ねらい】 地域で子どもを見守る、育む。	【共催団体等】 城東地区子ども見守り隊	子ども達が安全に下校することに資することができた。	○
スマホ相談会	6月18日 8月23日 1月24日	3回	趣味教養	成人	6人	【内容】 市が提供しているアプリの操作方法を学ぶことからスマホの操作方法等を学ぶ。		・個別での相談や基本操作を教えられた。 ・不要なアプリの削除 ・課金が発生するアプリのためインストールできない内容があった。 ・来年度は広報まつもとなどのＱＲの読み込み方法や松本市公式ＬＩＮＥについて相談会を開催したい。	

令和６年度　事業報告

城東公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	ＣＳ
伝承料理教室	8月23日 10月25日 12月20日 2月28日	4回	趣味教養	成人	52人	【内容】 地域に伝わる昔ながらの料理を学ぶ。 【ねらい】 ・文化、教養の向上 ・参加住民同士の交流簡単に作れる料理の作り方を学ぶ。		作る料理によっては、細かな計量が必要でデジタル秤など準備が必要だった。調理道具を綺麗に洗わない人がいたり片付けが大変だった。	
本格インドカレー講座	11月17日 11月24日	2回	趣味教養	成人	40人	【内容】 インドの家庭料理的なカレーつくりを学ぶ。 【ねらい】 インドの食文化について学ぶ。		２週続けて別メニューで開催した。講師の店舗にチラシを置いたので市外からも参加があった。来年度も別メニューで開催をしたい。	
あいさつ運動	4月 5日 8月22日 8月26日 1月 7日 1月 8日	8回	子育て	青少年	37人	【内容】 旭町小、中学校でのあいさつ運動 【ねらい】 ・児童生徒と地域住民との交流 ・地域で子どもを見守る、育む。	【共催団体等】 城東地区子ども見守り隊	・地区内でボランティアを募り、実施した。 ・子どもや保護者、地域の方が取り組みを認識できるようにベストを着用した。 ・学校と連携し、実施内容を検討、継続したい。	○
旭町中学校読み聞かせ	7月 8日 7月10日 7月11日 12月16日 12月18日 12月19日	6回	子育て	青少年	18人	【内容】 旭町中学生への読み聞かせボランティア 【ねらい】 ・中学生は本に触れるきっかけとする。 ・地域住民の交流		・中学生と接する機会として継続した取り組みとしたい。 ・ボランティアの高齢化等で協力いただける方を見つけるのが難しくなった。	○

令和６年度　事業報告

城東公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	ＣＳ
運営委員会	通年	1回	公民館委員会・各種会議等	成人	8人	【内容】 ・公民館の運営に助言や支援をいただく。 ・各部門の主管事業の実施		・活動が定例化しつつあるため、各委員会の活動理念に沿った新しい取り組みを模索したい。 ・昨年度、図書視聴覚委員、文化委員、体育委員の選出に町会で偏りがあったため、各町会から５名はいずれかの委員に選出していただくように依頼をしたが、選出できない町会もあった。	
館報編集委員会	通年	4回	公民館委員会・各種会議等	成人	17人	【内容】 ・公民館の運営に助言や支援をいただく。 ・各部門の主管事業の実施			
図書視聴覚委員会	通年	2回	公民館委員会・各種会議等	成人	10人	【内容】 ・公民館の運営に助言や支援をいただく。 ・各部門の主管事業の実施			
文化委員会	通年	2回	公民館委員会・各種会議等	成人	7人	【内容】 ・公民館の運営に助言や支援をいただく。 ・各部門の主管事業の実施			
体育委員会	通年	2回	公民館委員会・各種会議等	成人	6人	【内容】 ・公民館の運営に助言や支援をいただく。 ・各部門の主管事業の実施			

令和６年度　事業報告の概要

白板地区公民館

方針・地域課題・重点的に取り組んだ事項等	評価・反省等
【方針・地域課題】 ・地区内の関係機関、各種団体等と連携を図った事業を開催した。	・地区内の各種団体との連携により、各種団体との共催事業を複数回実施した。今後も、各種団体の活性化につながる事業を展開していきたい。
・児童センター、小学校、中学校、高校との交流の機会を創出し、世代間の交流を活発にした。	・児童センターや小学校、中学校、高校との交流の機会により、「公民館とは何か」を子ども達に知ってもらえた。このつながりを活かし、多世代交流のさらなる活性化を図りたい。
・講座参加者や地域住民の声を取り込み、講座の企画を行った。	・公民館講座に初めて参加する方も複数おり、公民館活動の広がりを感じることができた。今後は、既存の公民館活動への参加者を大切にしながら、新規参加者を集めることができる講座を企画していきたい。

項目	学級講座・学習会等									地域事業			公民館委員会・各種会議等	ＣＳ
	人権平和	福祉健康	子育て	地域文化	環境	趣味教養	スポーツ	防災	その他	体育	文化	その他		
事業数	1	3	4	6	6	7	2	1	0	1	0	1	5	2
延べ参加人数	60	35	70	185	123	286	134	20	0	400	0	120	186	140

令和６年度　事業報告

白板地区公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	ＣＳ
サントリー天然水工場＆大町山岳博物館見学	4月25日	1回	環境	成人	20人	【内容】 サントリー北アルプス信濃の森工場、大町山岳博物館の見学学習 【ねらい】 北アルプスの山や自然、歴史などを学習し、自然の恵みについて学習する。	【準備過程】 地区内全戸配布チラシにて周知	【評価と反省】 自然環境の学習により、地球温暖化問題に対する意識向上につながった。	
文化伝承講座 端午の節句	5月11日	1回	地域文化	青少年	60人	【内容】 端午の節句について学習し、節句にちなんだ料理を食べ、交流を図る。 【ねらい】 端午の節句という文化について学習し、文化を伝承する。	【準備過程】 地区内全戸配布チラシにて周知 【協力】 白板地区食生活改善推進協議会	【評価と反省】 端午の節句の学習だけでなく、地区団体による音楽の演奏も取り入れ、子どもと大人の交流につながった。	
第22回白板地区大運動会	5月19日	1回	地域事業（体育）	成人	400人	【内容】 地区大運動会（誰でも参加できる競技が主体）の実施 【ねらい】 ・町会同士の交流 ・健康増進	【準備過程】 地区内全戸配布チラシにて周知 【協力】 白板地区スポーツ協会 白板地区町会連合会	【評価と反省】 当日の運営に、松本大学の学生に関わってもらった。地域の大人と若い世代との交流につながった。	
上高地自然観察会＆ウォーキング	5月20日	1回	環境	成人	30人	【内容】 上高地の自然を観察しながらウォーキング 【ねらい】 ・高齢者の閉じこもり解消 ・自然とのふれあい	【準備過程】 地区内全戸配布チラシにて周知	【評価と反省】 上高地の自然に触れ、自然環境に対する意識向上につながった。	
駒ヶ根シルクミュージアム＆光前寺　見学	6月3日	1回	地域文化	成人	20人	【内容】 駒ヶ根シルクミュージアム、光前寺の見学 【ねらい】 養蚕・製糸の歴史、「ヒカリゴケ」の学習	【準備過程】 地区内全戸配布チラシにて周知	【評価と反省】 駒ヶ根市で養蚕・製糸が発展した歴史について学習した。	
夏休み親子体験会 化石の採集	7月20日	1回	子育て	青少年	20人	【内容】 フォッサマグナミュージアムの見学、化石の採集 【ねらい】 ・親子の交流 ・子ども同士の交流	【準備過程】 地区内全戸回覧にて周知 【協力】 白板地区子ども会育成会	【評価と反省】 化石の採集により、歴史について学習が深まった。	

令和６年度　事業報告

白板地区公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	ＣＳ
乗鞍自然観察会	7月23日	1回	環境	成人	23人	【内容】 乗鞍の自然を観察しながらウォーキング 【ねらい】 ・高齢者の閉じこもり解消 ・自然とのふれあい	【準備過程】 地区内全戸配布チラシにて周知	【評価と反省】 乗鞍の自然にふれることができ、自然環境に対する意識の向上につながった。	
公民館であそぼう	8月10日	1回	子育て	青少年	15人	【内容】 子どもを対象とした、公民館での料理づくり等による交流行事 【ねらい】 学校、学年を超えた子ども同士の交流	【準備過程】 地区内全戸回覧チラシにて周知 【協力】 丸ノ内スポーツクラブ	【評価と反省】 リーダーシップを発揮する子どももおり、行事の中での成長を見ることができた。 【今後の方針】 継続して実施予定	
黒部ダム見学学習	8月19日	1回	環境	成人	30人	【内容】 黒部ダムの見学講座 【ねらい】 脱炭素社会に向け、クリーンなエネルギーの学習、啓発	【準備過程】 地区内全戸配布チラシにて周知	【評価と反省】 クリーンなエネルギーの学習により、自然環境に対する意識の向上につながった。	
乗鞍自然観察会	8月30日	1回	環境	成人	20人	【内容】 乗鞍の自然を観察しながらウォーキング 【ねらい】 ・高齢者の閉じこもり解消 ・自然とのふれあい	【準備過程】 地区内全戸配布チラシにて周知	【評価と反省】 乗鞍の自然にふれることができ、自然環境に対する意識の向上につながった。	
松本市立博物館（生物多様性と松本）見学講座	9月2日	中止	環境	成人	0人	【内容】 企画展（生物多様性と松本）の見学学習 【ねらい】 地球環境への意識の向上	【準備過程】 地区内全戸配布チラシにて周知	【評価と反省】 台風接近に伴い中止とした。	
健康料理教室	10月8日	1回	福祉健康	成人	10人	【内容】 白板地区食生活改善推進協議会による健康料理教室 【ねらい】 食育、健康の増進	【準備過程】 地区内全戸配布チラシにて周知 【協力】 白板地区食生活改善推進協議会	【評価と反省】 家庭で作る料理について見直すきっかけとなった。	

令和６年度　事業報告

白板地区公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	ＣＳ
白板日赤奉仕団　視察研修	10月19日	1回	防災	成人	20人	【内容】 フォッサマグナミュージアムへ行き、地震のメカニズム等の学習 【ねらい】 防災意識の向上	【協力】 白板日赤奉仕団	【評価と反省】 防災意識の向上につながった。	
文書館見学講座	10月23日	1回	趣味教養	成人	12人	【内容】 文書館のバックヤード等の見学 【ねらい】 教養を深める。	【準備過程】 地区内全戸配布チラシにて周知	【評価と反省】 バックヤード見学が盛り上がり、文書館の講座にも参加してみたいなど教養が深まった。	
バランスボールでストレッチ講座	11月20日	1回	福祉健康	成人	15人	【内容】 バランスボールを用いたストレッチを行う。 【ねらい】 健康の増進	【準備過程】 地区内全戸配布チラシにて周知 【協力】 ポジ◎ラボ	【評価と反省】 バランスボールの新しい使い方を学習でき、健康の増進につながった。	
楽団ケ・セラ演奏会	11月27日	1回	人権平和	成人	60人	【内容】 楽団ケ・セラによる演奏会 【ねらい】 人権・共生社会に向けた意識づくり	【準備過程】 地区内全戸配布チラシにて周知 【協力】 白板地区人権啓発推進協議会 白板地区町内公民館長会	【評価と反省】 演奏に聞き入り、涙を流す方もいるほど感動的な演奏会となった。共生社会に向けた意識が向上した。	
飛騨高山　歴史研究講座	11月29日	1回	趣味教養	成人	25人	【内容】 飛騨高山の朝市や高山陣屋の見学 【ねらい】 教養を深める。	【準備過程】 地区内全戸配布チラシにて周知	【評価と反省】 朝市の歴史や高山陣屋の歴史について学習できた。	
ニュースポーツ体験会	11月30日	1回	スポーツ	成人	20人	【内容】 ボッチャ、カローリングの体験講座 【ねらい】 性別、世代問わず参加できるスポーツを通じた健康増進	【準備過程】 地区内全戸配布チラシにて周知 【協力】 白板地区スポーツ協会	【評価と反省】 カローリングはあまり知られていなかったが、初めて体験するとおもしろいと声があり、普及につながった。	

令和６年度　事業報告

白板地区公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	ＣＳ
親子料理教室	12月1日	1回	子育て	青少年	20人	【内容】 親子で協力し、クリスマスケーキ作り 【ねらい】 親子の交流、子ども同士の交流	【準備過程】 地区内全戸配布チラシにて周知 【協力】 白板地区子ども会育成会	【評価と反省】 親子で楽しくケーキを作りながら、他の親子との交流も深めることができた。	
健康料理教室	12月10日	1回	福祉健康	成人	10人	【内容】 白板地区食生活改善推進協議会による健康料理教室 【ねらい】 食育、健康の増進	【準備過程】 地区内全戸配布チラシにて周知 【協力】 白板地区食生活改善推進協議会	【評価と反省】 家庭で作る料理について見直すきっかけとなった。	
クリスマス会	12月15日	1回	子育て	青少年	15人	【内容】 子どもを対象とした、公民館での料理づくり等による交流行事 【ねらい】 学校、学年を超えた子ども同士の交流	【準備過程】 地区内全戸回覧チラシにて周知 【協力】 丸ノ内スポーツクラブ	【評価と反省】 ケーキ作りやハンドベル体験等により、普段体験できないことを体験して、子ども同士交流を深めていた。 【今後の方針】 継続して実施予定	
しめ飾りづくり	12月19日	1回	地域文化	成人	10人	【内容】 しめ飾りを手作りする講座 【ねらい】 しめ飾りの文化を継承する。	【準備過程】 地区内全戸配布チラシにて周知	【評価と反省】 初めてしめ飾りを作る参加者もいて、文化の継承につながった。 【今後の方針】 継続して実施予定	
そば打ち講座	1月30日	1回	趣味教養	成人	10人	【内容】 そば打ち講座 【ねらい】 住民の趣味の養成	【準備過程】 地区内全戸配布チラシにて周知	【評価と反省】 そばを打ちながら参加者同士交流を深めることができた。	
松本市立博物館（春を待つ涅槃図）見学講座	2月7日	1回	地域文化	成人	15人	【内容】 企画展（春を待つ涅槃図）の見学学習 【ねらい】 趣味、教養を深める。	【準備過程】 地区内全戸配布チラシにて周知	【評価と反省】 松本に伝わる珍しい涅槃図の見学をし、参加者同士の交流が深まると同時に、教養も深まった。	

令和６年度　事業報告

白板地区公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	ＣＳ
ひなまつり会	3月1日	1回	地域文化	その他	50人	【内容】 七段飾りの飾り付け、丸ノ内中学校吹奏楽部の演奏、白板地区食生活改善推進協議会による料理の提供 【ねらい】 ・ひなまつりという文化について学習し、文化を継承する。 ・多世代の交流を図る。	【準備過程】 地区内全戸配布チラシにて周知 【協力】 白板地区食生活改善推進協議会 丸ノ内中学校吹奏楽部	【評価と反省】 七段飾りの飾り付けで参加者同士の交流が深まり、多世代の交流につながった。	
須坂探訪　～ひな人形を訪ねて～	3月6日	1回	地域文化	成人	30人	【内容】 世界の民族人形博物館、岩松院の見学 【ねらい】 ひなまつりという文化について学習し、文化を継承する。	【準備過程】 地区内全戸配布チラシにて周知	【評価と反省】 千体近くが並ぶお雛さまを見学し、文化の学習ができた。	
茶道　お点前体験会	3月19日	1回	趣味教養	成人	15人	【内容】 松本蟻ケ崎高校茶道部による、お点前の体験会 【ねらい】 ・趣味、教養を深める。 ・多世代交流を図る。	【準備過程】 地区内全戸配布チラシにて周知 【協力】 松本蟻ケ崎高校茶道部	【評価と反省】 お点前の体験により、高校生と参加者の会話が弾み、多世代交流を図ることができた。	
ウエストンと上高地講座	通年	11回	趣味教養	成人	88人	【内容】 近隣地区の住民を対象とした上高地の山岳・自然・文物について研究を行う講座 【ねらい】 ・教養を深める。 ・参加者の交流	【準備過程】 地区内全戸配布チラシにて周知	【評価と反省】 座学で上高地について学習。参加者も自発的に発言があるなど、教養・交流ともに深まっている。 【今後の方針】 継続して実施	
健康吹き矢講座	通年	12回	スポーツ	成人	114人	【事業内容】 腹式呼吸を用い、健康効果も期待できる「吹き矢」を行い、ゲーム感覚でスポーツを楽しむ。 【ねらい】 ・健康増進 ・高齢者の閉じこもり解消	【準備過程】 地区内全戸配布チラシにて周知	【評価と反省】 新規加入者を含め、参加者で楽しく吹き矢を行っている。参加者をより増やすことができるよう、周知を図っていく。 【今後の方針】 継続して実施	

令和６年度　事業報告

白板地区公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	ＣＳ
暮らしの花講座	通年	12回	趣味教養	成人	96人	【内容】 生活に彩りを与える花と身近なものを花器として講座を実施 【ねらい】 ・教養を深める。 ・参加者の交流	【準備過程】 地区内全戸配布チラシにて周知	【評価と反省】 気取らずに参加できる講座を目指し、身近なものを使って講座を実施し、身近なものをどう使って花を融合させていくか、アイディアを参加者で出しながら行った。 【今後の方針】 継続して実施	
スマホなんでも相談	通年	17回	趣味教養	高齢者	40人	【内容】 高齢者向けにスマートフォンの相談会を実施 【ねらい】 デジタルデバイドの解消	【準備過程】 地区内全戸配布チラシにて周知	【評価と反省】 参加者の質問に回答する方式で実施。講座形式ではなく相談形式のため、事前予約制で対応。予約なく参加する方もおり、人が多くなると手一杯となる時があった。 【今後の方針】 継続して実施	
下校時見守り活動	通年	12回	地域事業（その他）	青少年	120人	【内容】 地区内の小学生の下校時の見守り活動 【ねらい】 子どもの安全	【協力】 白板地区住みよい町づくり協議会	【評価と反省】 見守り活動への参加者も増え、多くの人手で下校の見守りが実施できている。 【今後の方針】 継続して実施	○
運営委員会	通年	1回	公民館委員会・各種会議等	成人	20人	【内容】 事業計画、事業報告等の会議		【評価と反省】 公民館活動について協議した。	
文化委員会	通年	1回	公民館委員会・各種会議等	成人	82人	【内容】 文化委員会が関わる事業の計画、実施		【評価と反省】 五月人形やひな人形の飾りつけ、その他行事の運営等、活発に活動	
館報編集委員会	通年	1回	公民館委員会・各種会議等	成人	20人	【内容】 白板地区版館報の編集、会議		【評価と反省】 丸ノ内中学校の生徒に館報編集委員を委嘱し、中学校の行事や生徒会活動を地区に情報発信している。	○
図書視聴覚委員会	通年	1回	公民館委員会・各種会議等	成人	10人	【内容】 年２回、図書の入替作業を実施。おすすめの図書の紹介文を作成		【評価と反省】 公民館の図書コーナーの利用者が少ないため、周知を図っていく。	
体育委員会	通年	1回	公民館委員会・各種会議等	成人	54人	【内容】 体育委員が関わる事業の計画、実施		【評価と反省】 ニュースポーツ体験会を実施した。	

令和６年度　事業報告の概要

田川公民館

方針・地域課題・重点的に取り組んだ事項等	評価・反省等
【方針・地域課題】 1　次世代育成事業の推進 2　地域の居場所づくりと福祉の充実 3　「地域を知る」学習の充実 4　住民同士の顔の見える関係づくり	・少子高齢化や人口減少等を背景に、担い手不足や伝統行事の継承困難など問題が顕在化するなか、田川地区では将来地域を担う子どもや若者の郷土への愛着・関心を育むことを目的にコミュニティスクール事業や、地区事業への協力・支援を通じて、次世代育成の推進を図った。 ・高齢者を中心とする住民の居場所づくりの一環として行う「田川地区いきいきサロン事業」においては、サロン部会を中心に企画し通年開催でき、住民が気軽に集うことができる居場所づくりと地域福祉の充実につながった。 ・従来の文化・スポーツ事業を通じた交流を中心に、仲間づくりの活動を積極的に展開し、住民同士の顔の見える関係づくりを促進した。

項目	学級講座・学習会等									地域事業			公民館委員会・各種会議等	ＣＳ
	人権平和	福祉健康	子育て	地域文化	環境	趣味教養	スポーツ	防災	その他	体育	文化	その他		
事業数	0	5	1	5	3	2	0	0	0	1	2	0	2	2
延べ参加人数	0	424	14	252	78	142	0	0	0	31	641	0	0	0

令和６年度　事業報告

田川公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	ＣＳ
水辺の生き物観察会	6月1日	1回	環境	青少年	29人	【内容】 両島川において水生生物を採集し観察する。 【ねらい】 青少年を対象に身近な自然への興味・関心を育てる。	【準備過程】 公民館だよりへの掲載及び田川小学校へのチラシ配布により周知 【共催団体等】 ・たがわ水辺を守る会 ・松本ホタル学会	【評価と反省】 街中の当地区において水生生物を観察する貴重な自然体験の機会となった。 【今後の方針】 次年度も継続。地域の自然に目を向けるきっかけとしていきたい。	
飛騨高山まちなかウォーク	6月22日	1回	福祉健康	成人	37人	【内容】 城下町・商都として発展した高山市のまちなかを現地ガイド付きで散策する。 【ねらい】 高山市内のウォーキングを通して、文化的教養を深めながら心身の健康増進を図る。	【共催団体等】 気楽に運動委員会	【評価と反省】 良い気候の中でウォーキングを楽しみ、参加者の親睦交流を深めつつ健康づくりにつなげることができた。 【今後の方針】 気楽に運動委員会で事業内容を検討	
群馬文化視察	7月3日	1回	地域文化	成人	38人	【内容】 世界遺産の富岡製糸場を中心に文化施設等を訪れ、現地ガイドの案内により地域の文化活動や歴史を学習する。 【ねらい】 近県地域の文化活動や歴史についての教養を深めるとともに、地域住民間の交流を深め、地域活動の活性化を推進する。	【共催団体等】 文化委員会	【評価と反省】 参加者同士の交流を楽しみながら、文化施設の訪問を通して教養を深めることができた。 【今度の方針】 文化委員会で検討	
ホタル観察会	7月13日	1回	環境	青少年	49人	【内容】 両島川においてホタルを観察するとともに、生態系について学習する。 【ねらい】 青少年を対象に身近な自然への興味・関心を育てる。	【準備過程】 たがわ水辺を守る会で企画、事前準備等 【共催団体等】 ・たがわ水辺を守る会 ・松本ホタル学会	【評価と反省】 ホタルを観察しながらその生態を学ぶ貴重な機会となった。 【今後の方針】 次年度も継続。地域の自然に目を向けるきっかけとしていきたい。	
親子料理教室	7月21日	1回	子育て	家庭教育	14人	【内容】 親子で一緒に調理実習を行い、食生活改善推進員が考えた献立をつくる。 【ねらい】 調理を通じた親子のコミュニケーションを促し、料理や食事の楽しさを実感する機会とする。	【準備過程】 食生活改善推進協議会で企画、準備等 【共催団体等】 食生活改善推進協議会	【評価と反省】 親子での共同作業を楽しみながら料理体験ができた。また、子育て世代の公民館参加のきっかけになった。 【今度の方針】 食生活改善推進協議会で検討	

令和６年度　事業報告

田川公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	ＣＳ
ぼんぼん・青山様のつどいと夕涼み	7月27日	1回	地域事業（文化）	青少年	316人	【内容】 松本の夏の伝統行事「ぼんぼん」「青山様」を地区行事として実施する。 【ねらい】 少子化を背景に単位町会での実施が困難になった、ぼんぼん、青山様を地区事業に位置づけ、伝統行事の継承を図るとともに、地域の絆づくりの機会とする。	【共催団体等】 田川地区まちづくり協議会、福祉ひろば、地域づくりセンター、田川公民館	【評価と反省】 地区の一大行事として各関係団体の協力のもと盛大に実施できた。地域の子ども達やその保護者が多く参加し、伝統行事の継承を図りつつ、世代を超えた交流の機会となった。 【今後の方針】 実行委員会で検討	
戸隠ウォーキング	9月28日	1回	福祉健康	成人	32人	【内容】 気楽に運動委員会の主管事業として、戸隠神社周辺を散策する。 【ねらい】 自然豊かな戸隠でのウォーキングを通して、北信地域の伝統文化や自然に対する情操を養いながら心身の健康増進を図る。	【共催団体等】 気楽に運動委員会	【評価と反省】 良い気候の中でウォーキングを楽しみ、参加者の親睦交流を深めつつ健康づくりにつなげることができた。 【今後の方針】 気楽に運動委員会で事業内容を検討	
第27回田川地区ふれあい文化祭	10月20日	1回	地域事業（文化）	成人	325人	【内容】 公民館利用サークル及び個人の作品展示及びステージ発表、ワークショップ ・小学校金管演奏／中学校吹奏楽演奏／青果即売／喫茶／ゲームコーナー／昼食（豚汁、おにぎり）提供／古本市／綿あめ・ポップコーン提供／野外コンサート 【ねらい】 公民館を拠点に活動する団体・サークル等が、日頃の学習成果を発表し合い、地域の文化振興に役立てると同時に、地区の一大イベントとして住民相互のふれあいと交流の機会とする。	【共催団体等】 田川地区まちづくり協議会、公民館五部門委員会、福祉ひろば、地域づくりセンター、田川公民館	【評価と反省】 ・公民館利用サークルの作品展示以外にも、各団体・個人による活動展示が多く、文化祭が住民の日頃の活動成果の発表の場として機能した。 ・保育園児の作品展示や小・中学生の金管演奏、子ども会による「ゲームコーナー」、日赤奉仕団による豚汁・おにぎりのふるまいなどもあり、田川地区らしい文化祭となった。 ・実行委員会でプログラムを検討し、円滑な準備・運営方法を模索できた。 【今後の方針】 実行委員会で検討	

令和６年度　事業報告

田川公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	ＣＳ
田川健康ウォーキング大会	10月26日	1回	地域事業（体育）	成人	31人	【内容】 ＭＥＧＵＲＹアプリを活用しながら田川地区内を散策する。 【ねらい】 身近な地域を歩くことで、田川地区の自然、歴史文化等への理解を深めるとともに、住民相互の交流や健康増進に役立てる。	【準備過程】 福祉ひろばでコース等を設定、公民館だより及びひろばだよりへの掲載により周知 【共催団体等】 福祉ひろば	【評価と反省】 参加者同士の交流を楽しみながらウォーキングが実施できた。かろやか会にそばを打っていただき、ウォーキング後に参加者でおいしく食べられた。 【今度の方針】 福祉ひろばと検討	
男の料理教室	11月20日	1回	趣味教養	家庭教育	12人	【内容】 地域内の男性を対象とした調理実習を行い、食生活改善推進員が考えた献立をつくる。 【ねらい】 料理や食事の楽しさを実感し、男性の生活力向上を図る機会とする。	【準備過程】 食生活改善推進協議会で企画、準備等 【共催団体等】 食生活改善推進協議会	【評価と反省】 毎年開催している料理教室だが、新規で参加する男性も見られ、参加者から口伝えで徐々に参加しやすい雰囲気が生まれている。 【今度の方針】 食生活改善推進協議会で検討	
白樺湖ウォーキング	11月23日	1回	福祉健康	成人	38人	【内容】 気楽に運動委員会の主管事業として、白樺湖周辺を散策する。 【ねらい】 自然豊かな白樺湖でのウォーキングを通して、心身の健康増進と地域住民の交流を図る。	【共催団体等】 気楽に運動委員会	【評価と反省】 移動途中での車両トラブル発生により、当初予定していたウォーキングが実施できなかった。 【今後の方針】 気楽に運動委員会で事業内容を検討	
エコキューブ学習会	12月3日	1回	環境	青少年	ー	【内容】 ・田川小４年生の授業支援 ・地区住民考案のエコキューブ（平面キューブパズル）づくりやゲームを通じてゴミの分別方法を学習する。 【ねらい】 環境学習の支援とともに、子ども達が地域の大人と身近にふれあう機会とする。	【準備過程】 事前に地域ボランティア向けの講習会を開催 【共催団体等】 田川小学校	【評価と反省】 地域の大人たちによるサポートのもと、子ども達がゲーム感覚でごみの分別方法を学び、資源の大切さに気付くことができていた。 【今後の方針】 学校側の要望にもよるが、田川地区の特色ある活動として継続したい。	○

令和６年度　事業報告

田川公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	ＣＳ
まゆだまづくり講習会	1月6日	1回	地域文化	青少年	24人	【内容】 小正月の伝統行事「三九郎」で焼く団子（まゆだま）を作る。 【ねらい】 近年まゆだまをスーパー等で購入する家庭も増えるなか、本来の手作りを体験し、郷土の伝統文化を伝える機会とする。	【準備過程】 ・サロン部会メンバーに講師を依頼 ・公民館だよりへの掲載及び田川小学校へのチラシ配布により周知	【評価と反省】 地域の「おばあちゃん」たちから、まゆだまづくりを教わることで、世代間交流の場になっている。 【今後の方針】 まゆだまの作り方だけでなく、行事の意味やいわれを伝える機会としていきたい。	
書き初め講習会	1月6日	1回	地域文化	青少年	16人	【内容】 冬休み中の小・中学生を対象とした書き初め講習。各々学校から宿題として出された課題字に取り組む。 【ねらい】 日本古来の年中行事である書き初めを通して、表現力や集中力、豊かな感性を養う。	【準備過程】 ・公民館で活動する書道師範に講師を依頼 ・公民館だよりへの掲載及び田川小学校へのチラシ配布により周知	【評価と反省】 講師の丁寧な指導もあり、集中して取り組んでいる様子であった。初めて筆を持つ幼児や低学年の参加もあり、書道に親しむ機会づくりができた。 【今後の方針】 次年度も継続を検討する。	
やしょうまづくり講習会・交流会	1月21日 1月22日	2回	地域文化	青少年	多数	【内容】 田川小１年生の授業支援として、信州の郷土食である「やしょうま」づくりをサポートする。 【ねらい】 郷土の伝統的な食文化を学び継承を図るとともに、児童と地域の大人とのふれあいの機会とする。	【準備課程】 指導にあたるボランティアを対象とした「やしょうま講習会」を前日に実施 【共催団体等】 田川小学校	【評価と反省】 ・事前講習会で試作を重ね、当日もスムーズに進行することができた。 ・スタッフの後継者育成が課題ではあるが、若い世代も少しずつ増えている。 【今後の方針】 郷土の伝統を子ども達に伝える機会として、学校側と連携しながら引き続き取り組みたい。	○
水野先生の食育講座	2月28日 3月14日	2回	福祉健康	女性	25人	【内容】 管理栄養士を講師に、健康づくりにつながる栄養の講話を聴き、調理実習に取り組む。 【ねらい】 健康的で豊かな食生活に対する理解を深め、実際生活に生かす。	【準備過程】 ・管理栄養士に講師を依頼 ・公民館だよりへの掲載により周知	【評価と反省】 10年以上続く講座であり、本年度も地域住民からの要望を受け開催した。食生活を見直す良い機会であり、調理実習を含め、参加者から大変好評であった。 【今後の方針】 次年度も継続を検討する。	

令和６年度　事業報告

田川公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	ＣＳ
気楽に運動しよう	通年	20回	福祉健康	成人	292人	【内容】 高齢者でも無理なく取り組めるストレッチ体操やニュースポーツ等で気楽に運動する。 【ねらい】 定期的に体を動かすことで、運動習慣の定着を図り、地域の健康づくりと仲間づくりを推進する。	【準備過程】 ・毎月公民館だよりへの掲載により周知 ・運営は気楽に運動委員会が担当 【共催団体等】 気楽に運動委員会	【評価と反省】 毎回笑顔の絶えない講座であり、仲間と楽しみながら、継続的に体を動かす機会づくりができた。 【今後の方針】 今後も継続。男性の参加者を増やす工夫を検討したい。	
パソコン講習会	通年	22回	趣味教養	成人	130人	【内容】 パソコンによる文書作成、画像編集、ホームページ制作等を学ぶ。 【ねらい】 パソコンの基礎を共に学び、生活・暮らしの向上に役立てる。	【準備過程】 ・地区在住の住民に講師を依頼 ・毎月公民館だよりにより周知	【評価と反省】 自主的、意欲的に取り組んでおり、パソコン操作の能力向上を感じる。	
かろやか会 （そば打ち講習会）	通年	11回	地域文化	成人	174人	【内容】 地域の名人からそば打ちを教わり腕前を磨く。 【ねらい】 そば打ちを通じて住民同士の仲間づくりと交流を図る。特に団塊世代の男性の参加をねらうもの	【準備過程】 地区在住の講師に依頼	【評価と反省】 ・年々技術も向上し、地区行事（ウォーキング）でそばをふるまうなど充実している。今年度は小谷村でのそば打ち研修を受け、参加者が現地で刺激を受けながら技術を磨いた。 ・参加者にとって、公民館で行われる月に一度の講習が楽しみの一つになっており、生きがいづくりにもつながっている。	
公民館報の発行	通年	6回	公民館委員会・各種会議等	その他	―	【内容】 公民館報「田川版」（年６回）を編集・発行する。 【ねらい】 住民自らが編集する公民館の機関紙として、公民館活動を記録するとともに、地域を学ぶ学習素材を提供する。	【準備過程】 各月の館報編集委員会で紙面内容を検討・校正した。	【評価と反省】 地域の身近な情報収集に努めることができた。 【今後の方針】 館報編集委員会を中心に、住民の関心に応えられる紙面づくりに努めていきたい。	
五部門委員会	通年	―	公民館委員会・各種会議等	その他	―	【内容】 運営、館報、図書・視聴覚、体育（気楽に運動）、文化の五部門委員会により、公民館事業の企画・運営、評価等を行う。	【準備課程】 各部門ごとに随時開催	【評価と反省】 委員会活動を通して住民の公民館運営への参画を保障できている。 【今後の方針】 従来の枠組みにこだわらず、地域課題や住民の学習要望をふまえながら、より弾力的に活動を展開していきたい。	

令和６年度　事業報告の概要

庄内地区公民館

方針・地域課題・重点的に取り組んだ事項等	評価・反省等
【方針・地域課題】 ・庄内地区で活動する様々な団体との連携を重視し、黒子として各事業の実施を支援する。地域住民との連携という面は、引き続き重視しつつ、地域課題の解決に向けて公民館独自事業の展開も行っていく。 ・ゆめひろば庄内は、立地が良く地区内外を問わず多くの利用者が来館するため、より個人個人のモラル向上のため、利用方法の丁寧な説明を心がけ、気持ちよく互いが使えるよう徹底を図った。 ・庄内地区最大のイベントである「ドリーム庄内“秋のつどい”」は、地域の結束、団結、顔の見える関係の構築を図っていくイベントである。しかし、近年やらされ感が増しており、事業のマンネリ化が進んでいた。そこで、地元小中学生に運営委員の希望者を募ったところ19名が参画。イベントの企画や作業の手伝いをしてもらうことで、地区の運営委員の刺激になった。 ・子どもたちの活動発表の場ということで、住民から要望の上がっていた「合同演奏会」を開催。地区内の筑摩小学校・並柳小学校・開成中学校の子どもたちによる演奏会・合唱の発表を行った。 ・新興住宅街で市外・県外からの移住者が増えており、松本や信州の文化などを知らない住民が増えているため、地域愛や住民のつながりづくりのため、地元の観光資源の見学や講演会などで知ってもらう機会をつくった。 ・町会の公民館長からの意見で、市や県のサービスについて知りたいという意見があったため、生涯学習課の出前講座を活用し、住民の知る機会をつくった。	・公民館利用団体に講師となってもらい講座や館内の展示を実施したことで、会員が増えるなど社会教育活動の活性化が見られた。 ・モラル向上で改善も見られたが、利用者への伝え方など誤解される場面もあったため、より丁寧な対応を心掛ける必要もある。 ・子どもたちが企画、宣伝したことでこれまでよりも事業への参加者が増加した。また、次年度以降もやっていきたいという声が運営委員より聞くことができた。 ・他校の演奏を聞くことで刺激になっており、活動が活性化している。 ・これまで公民館を利用していない方、引っ越したばかりという方が参加してもらうことができ、講師の方と新たな活動を始めたという声も聞くことができた。 ・出前講座はとても良い事業だが、平日日中の対応が基本となるため、参加できない人も多いとの意見があった。

項目	学級講座・学習会等									地域事業			公民館委員会・各種会議等	ＣＳ
	人権平和	福祉健康	子育て	地域文化	環境	趣味教養	スポーツ	防災	その他	体育	文化	その他		
事業数	1	3	6	1	0	2	0	1	2	0	0	2	6	3
延べ参加人数	27	99	722	10	0	120	0	30	63	0	0	1600	650	0

令和６年度　事業報告

庄内地区公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	ＣＳ
メンズサロン	4月23日	1回	福祉健康	高齢者	10人	【内容】 高齢男性の居場所体験として新村で活動している「パティオ新村」のスタッフを招き実施 【ねらい】 独居の高齢男性の居場所づくりの参考にするため、また住民のニーズ調査として参加者へ聞き取り。	【準備過程】 会場の提供 【協力】 地区担当の生活支援員が主催	この体験から実際に居場所事業として「メンズカフェ」が地区でもスタートした。	
県歌『信濃の国』ゆかりの地を訪ねて	8月20日	1回	地域文化	成人	10人	【内容】 『信濃の国』に出てくる地名を実際に巡る。また、ガイドの解説によって、ただ訪問するだけでは分からない歴史を学ぶ。 【ねらい】 住民同士の交流、地域を知る事で愛着を持ってもらう。	【準備過程】 講師と打ち合わせをし、場所の選定 【協力】 奈川公民館に昼食や道中の見どころを確認	地元の住民も知らない、行ったことがない場所も多く、知ってもらう良い機会となった。今後は、市内の観光資源も活かしていきたい。	
ドリーム庄内“秋のつどい”	10月19日 10月20日	2回	地域事業 （その他）	その他	800人	【内容】 初日は小中学生運営委員による前夜祭、２日目は運動会を実施 【ねらい】 地区住民がイベントをとおして、顔の見える関係づくりを行う。また地区資源を発掘し活用する。	【準備過程】 ・初めて小中学生の運営委員を募り、イベントの企画を実施。運動会の種目決めや前夜祭のお楽しみ会を行った。 ・運動会の運営は実行委員をグループに分け、担当制とした。 【協力】 まちづくり協議会主催	・前夜祭は子ども達が司会進行から全てを自分達で企画したことで、主体的な運営が見られた。 ・運動会は担当制にしたことで、企画段階はスムーズに進めることができた。しかし、各グループのリーダーが構成員に対して指示をだすことができず、事務局へ問合せが集中したため、十分な対応が取れなかった。次年度は、リーダーとしての役割の説明もより具体的に行い、担当部署への理解を深めてもらえるようにしていく。	
視察研修会	11月6日	1回	公民館委員会・各種会議等	成人	17人	【内容】 馬籠の藤村記念館をガイドの解説とともに見学する。 【ねらい】 文化活動の発展、活性化をはかる。	【準備過程】 文化委員と視察場所の検討 【協力】 庄内地区公民館文化委員会	良い刺激となった。また、この活動から他の公民館活動へも参加する住民があった。	
合同演奏会	11月16日	1回	子育て	その他	300人	【内容】 地区内の小中学生の演奏・合唱団体の発表会 【ねらい】 コロナによって、発表の場や地域住民が学校と関わる機会の創出	【準備過程】 各校の担当者と打合せ。 【協力】 筑摩・並柳小学校、開成中学校、地区住民	普段はない、他校の児童・生徒が関わる機会を持つことで、活動の活性化につながった。近隣の中山小学校からも参加の要望があった。	

令和６年度　事業報告

庄内地区公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	ＣＳ
「小林一茶」と巡る“信州”	12月2日	1回	趣味教養	成人	19人	【内容】 信州の代表的な歌人のゆかりの土地を巡って、歌に込められた思いを感じる。 【ねらい】 住民同士のつながり、伝統文化振興	【準備過程】 ガイドと見学場所の選定	普段は見ない場所まで案内があり、より理解が深まった。	
地震体験＆煙道体験	12月7日	1回	防災	その他	30人	【内容】 地震体験車と火事の煙を想定した体験訓練 【ねらい】 災害が起こった際に、実際はどんな状況になるのか知っておくことで、いざという時でも対応できるようにする。	【準備過程】 消防署へ地震体験車と煙道の借用を依頼 【協力】 丸の内消防署庄内出張所	体験せずに実際に起こったら本当に大変だと知ってもらうことができた。次年度は地区の行事の際に子ども中心に体験会を実施予定	
新春落語会	1月17日	1回	その他	その他	44人	【内容】 公民館主催で落語を聞く。 【ねらい】 伝統文化を住民に体験してもらうこと。	【準備過程】 演者・関係者との打合せ 【協力】 松本落語会	無料で実施することで、誰でも日本の伝統文化である落語に触れる機会をつくり、文化の継承をはかることができた。	
松代大本営見学会	3月17日	1回	人権平和	その他	27人	【内容】 松代大本営を見学し、戦争の悲惨さを学ぶ。 【ねらい】 地元のガイドに依頼し、ただ見学するだけでは分からない戦争の悲惨さを体感する。	【準備過程】 公民館活動で知り合った方が松代大本営でボランティアをしており、その縁で依頼することができた。 【協力】 ＮＰＯ法人松代大本営記念館	ガイドの解説によって、ただ中に入ってみるだけでは分からない歴史を知る事ができた。今後も座学だけでなく、実際に県内にもそういった戦争遺産があることを感じてもらいたい。	
カンタン・楽しい運動講座	5月 9日 5月16日 5月23日 6月 6日	4回	福祉健康	高齢者	32人	【内容】 エアロビの体験会 【ねらい】 高齢者の運動不足解消	【準備過程】 公民館サークル提案で実施。活動に体験として参加 【協力】 公民館サークル「ゆっくりエアロビ」	想定より若い世代の参加もあり、健康に関心のある人が多くいることが分かった。この活動からサークルへ入会する参加者もおり、公民館活動の活性化が見られた。	
弘法山さくら絵画コンクール	5月24日 ～6月28日	1回	子育て	その他		【内容】 地区内の小中学校対象に弘法山の桜を題材とした絵画展を実施 【ねらい】 地元の資源を知る機会とともに、文化活動を発展させる。	【準備過程】 画用紙を各校へ配布し、５月中旬に回収。文化委員会と展示 【協力】 筑摩・並柳・中山小学校、庄内地区公民館文化委員会	桜の開花状況によっては、実物ではなく写真を見て絵を描く児童もいるが、それも良い体験になっているということで、引き続き実施していく。	

令和６年度　事業報告

庄内地区公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	ＣＳ
メンズカフェ	6月25日 9月15日 11月26日 2月 5日	4回	福祉健康	高齢者	57人	【内容】 住民ボランティアがコーヒーを提供し、参加者やスタッフとの交流を行う。 【ねらい】 高齢男性の居場所づくり	【準備過程】 メンズサロンに興味を持った住民と一緒に計画 【協力】 地区生活支援員主催、地区住民	参加者からスタッフになりたいという住民もおり、高齢男性の活動活性化に繋がっている。一方で、固定化された参加者もいるため、様々な方に興味を持ってもらえるように新たな活動を検討する必要がある。	
庄内地区子ども会育成会事業	7月19日 8月 2日 8月 3日 12月 1日 1月 5日	5回	地域事業（その他）	その他	800人	【内容】 「やまびここどもまつり」、「お泊り会」、「三九郎講習会」、「カルタ会」 【ねらい】 子ども達の健全育成。地域活動への参画補助	【準備過程】 広報、会場の手配などを実施 【協力】 育成会主催、児童センター、青年会、庄内盛々会など	・やまびここどもまつりではイベント参加券の配布方法を変更したことで、それに伴う待ち時間は減少したが、人気のあるイベント等の列が増えてしまい、参加できない参加者も見られた。昨年課題であった駐車場については改善された。 ・お泊り会では、町内公民館長に協力を依頼し、災害時を想定してテントやベッドの組立を行った。	
多国籍料理教室	8月 4日 3月20日	2回	その他	その他	19人	【内容】 １回目はフィリピン料理、２回目は台湾料理を作った。 【ねらい】 多文化理解を深めるため、料理づくりを通して、外国の文化を学ぶ。	【協力】 講師を務めた住民からの提案により実施	住民から講師になるからやってみないかと声をいただき実施。家庭料理のため、より外国の文化を身近に感じてもらえる機会になった。庄内地区は外国人の居住者も多いため、今後も継続して、多文化共生を進めていきたい。	
和歌と楽しむ古典の世界	10月10日 10月24日 11月 7日 11月21日 12月 5日 12月19日	6回	趣味教養	その他	101人	【内容】 和歌について楽しく学ぶ連続講座。時代を遡りながら、その変遷についても学んでいく。 【ねらい】 同じ興味関心を持つ住民同士のつながりづくり。また、日本の伝統文化への理解を深める。	【準備過程】 講師と内容や回数を検討	時間帯を平日夜間にしたところ、普段は参加できなかったという方が多く、仕事をしていても興味があれば、夜に参加したいという層が想定よりも多くいることが分かった。様々な人が参加できるよう、既存事業についても見直しを行っていく。	
庄内地区フリースペース	8～3月	119回	子育て	青少年	422人	【内容】 公民館の会議室を子どもの居場所として開放 【ねらい】 自習スペースの確保、公民館に若い世代との関わりを創出する。	【準備過程】 地域住民が有償ボランティアとして活動するため、事前の打合せ、マニュアル作成などを実施 【協力】 庄内地区子ども会育成会、庄内盛々会、ボラティアの会	利用者は少ないが、何度も利用する中でボランティアと関係性が構築され、事業の改善やイベント実施へ繋がった。	

令和６年度　事業報告

庄内地区公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	ＣＳ
公民館運営委員会	通年	2回	公民館委員会・各種会議等	その他	17人	【内容】 公民館事業の推進と評価 【ねらい】 公民館の事業を客観的に評価してもらい、より良い活動へ繋げていく。	【協力】 町会連合会役員、町内公民館長会役員等の地区関係団体が構成員	委員の半数が入れ替わったことで、展示の内容も変化し、マンネリ感がなくなった。七夕の笹飾りでは、子ども達も参加できる工夫があり好評だった。	
館報編集委員会	通年	12回	公民館委員会・各種会議等	その他	49人	【内容】 隔月で発行している館報の記事検討、校正作業 【ねらい】 町会事業や取り組みを紹介することで、これからの活動の参考になるようにした。	【準備過程】 委員になった住民がどんな内容なら読みたくなるかを意識して記事の内容を検討した。	町会の年間行事を掲載したことで、興味を持った住民から問い合わせがあり、活性化へ繋がった。	
子育て委員会	通年	13回	公民館委員会・各種会議等	その他	406人	【内容】 未就園の親子向け体験教室。定例のおはなし会を実施 【ねらい】 子育て支援として居場所づくりを行い、親同士のつながりづくりをする。	【準備過程】 子育て委員により準備、運営が全て行われている。 【協力】 こどもプラザ、地区住民	コロナ以降、誰かと関わる機会が減っているため参加者との交流を重視した。そういった企画は好評で、良いストレス発散になっていると感じた。スタッフが増えれば開催できる回数も増えるため、今後も広報に力を入れていきたい。	
文化委員会	通年	11回	公民館委員会・各種会議等	その他	61人	【内容】 施設のロビーに季節の展示を行う。その他必要に応じて公民館事業への協力 【ねらい】 庄内地区の文化活動の推進	【準備過程】 全て文化委員会で計画・実行	委員の半数が入れ替わったことで、展示の内容も変化し、マンネリ感がなくなった。七夕の笹飾りでは、子ども達も参加できる工夫があり好評だった。	
おはなしゆめの会	通年	8回	公民館委員会・各種会議等	その他	100人	【内容】 保健師の健康診断に合わせて、お話し会を実施 【ねらい】 親子の交流としておはなし会で楽しんでもらう。また、健康診断の待ち時間を楽しく過ごしてもらう。	【準備過程】 全て住民ボランティアによって企画運営されている。	昨年までおはなし会を定期的に実施していたが、参加者が年々減少していた。そこで保健師と相談し、健康診断で待っている人のためにおはなし会を実施することとした。その結果、参加者が増え、健康診断がなくても聞きにきてくれるようになった。	

令和６年度　事業報告

庄内地区公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	ＣＳ
筑摩小学校コミュニティスクール事業	通年		子育て	その他		【内容】 地域住民が講師となって様々な活動を行う。（例：朗読、稲作、畑作、家庭科） 【ねらい】 学校と地域が一体となって教育を行う。また、活動をとおして地域住民のつながりを形成する。	【準備過程】 ＣＳ導入前から地域住民が入って学習活動をしていたため、現在も学校と住民が相談して実施	事業内容は概ね定番化しており、安定した教育の場を作ることができている。現状の活動は続けつつ、学校の要望により新たな活動を模索していく。	○
並柳小学校コミュニティスクール事業	通年		子育て	その他		【内容】 地域住民が講師となって様々な活動を行う。（例：クラブ活動、朝のあいさつ） 【ねらい】 学校と地域が一体となって教育を行う。また、活動をとおして地域住民のつながりを形成する。	【準備過程】 館長がコーディネーターとして各活動へ人材を紹介している。 【協力】 庄内地区ボラティアの会	様々な地域ボランティアとのコーディネートが上手に行われたことで、学校に地域住民が関われる素地ができつつある。特に、あいさつ運動について地域住民の評価が高い。今年度からクラブ活動の講師を住民が担う体制づくりを行った。	○
開成中学校コミュニティスクール事業	通年		子育て	その他		【内容】 地域住民が講師となって様々な活動を行う。（例：地域でのボランティア活動、職場体験受け入れ） 【ねらい】 学校と地域が一体となって教育を行う。また、活動をとおして地域住民のつながりを形成する。	【準備過程】 館長がコーディネーターとしてボランティアの受け入れ先の確認などをしている。 【協力】 地区内にある神社など	開成タイムで地域の清掃活動。また、避難所開設訓練について地元町会の協力により実施。次年度は、公民館への宿泊体験などの要望もあるため、実現に向けて関係者と協議していく。	○

令和６年度　事業報告の概要

鎌田地区公民館

方針・地域課題・重点的に取り組んだ事項等	評価・反省等
【方針・地域課題】 ①公民館は楽しい学びを提供する場でありたい。 ②公民館は自身の行動や実践を喚起する“きっかけ作り”となる場でありたい。 ③公民館での講座は、多様な市民の希求にできるだけ応えられるよう、広く門戸を開放したい。 ④今までやったことの無い講座を開催する。 【重点的に取り組んだ事項】 １　子どもを取り込んだ事業 ⑴　こども陶芸体験教室 ⑵　夏休み公民館学習室解放 ⑶　松本の七夕まつり ⑷　ニュースポーツ体験会 ⑸　子ども連続スポーツ教室 ２　公民館活動サークルや利用者と連携した事業 子ども陶芸体験教室 ３　新たに取り組んだ講座 ⑴　ハンギングバスケット講座 ⑵　食器のリユース市 ⑶　終活講座 ⑷　防災講座 ⑸　折り紙講座	・今まで植物に関する講座を開催してこなかったが、昨年度から頻繁に開催することができた。 ・市民からの要望があった、食器リユースを行えた。また、防災に関する講座を今まで開催できずにいたが、今年度は開催することができた。 ・他にも、他団体との共催で中央西包括支援センターと、地域づくりセンターとの共催で終活講座も開催でき、ぜひまたやってほしいとの声が聞けた。

項目	学級講座・学習会等									地域事業			公民館委員会・各種会議等	ＣＳ
	人権平和	福祉健康	子育て	地域文化	環境	趣味教養	スポーツ	防災	その他	体育	文化	その他		
事業数	2	4	2	5	3	3	3	1	5	0	0	2	1	1
延べ参加人数	14	21	213	240	40	200	48	15	36	0	0	450	0	0

令和６年度　事業報告

鎌田地区公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	ＣＳ
苔玉づくり講座	5月14日	1回	環境	その他	15人	【内容】 竹下光重先生を講師に迎え、苔玉を作るもの 【ねらい】 昨年度も開催したが、ぜひまたやりたいとの声があったため。	【準備過程】 竹下先生と調整	好評だったためまた開催したい。	
健康づくりウォーキング	7月5日	1回	福祉健康	その他	21人	【内容】 文化委員会が主催で行う健康トレッキング。今年度は車山高原へ行った（場所は毎年変わる） 【ねらい】 散策を通じて歴史や植物について学ぶ機会とする。	【準備過程】 文化委員と調整・準備	山へ登る時間を健脚者の１．５倍の時間で見積もったが、登頂できなかった。また、中には健脚な方がおり１人で登ってしまい取りまとめが大変だった。	
ボッチャ・モルック体験会	7月24日	1回	スポーツ	その他	24人	【内容】 ボッチャ・モルックを体験してもらうもの（暑さ対策として公民館で行った）	【協力】 スポーツ委員会	大人や夏休みに入った子ども達に参加してもらい、交流してもらおうと思ったが大人の参加者が０人だった。	
鎌田地区防災講座	7月30日	1回	防災	その他	15人	【内容】 松本市社会福祉協議会の西澤さんを講師に迎え、講義していただくもの。その後、鎌田地区食生活改善推進協議会によるパッククッキング講座を行った。	【準備過程】 各講師との調整 【協力】 松本市社会福祉協議会 鎌田地区食生活改善推進協議会	参加した方からは「勉強になった」という声があったが、参加者がなかなか集まらなかった。 来年度は地震体験車が来る日に合わせて防災講座を開催したい。	
松本の七夕まつり	8月3日	1回	地域文化	青少年	24人	【内容】 松本地方の七夕行事を題材にした絵本や平和をテーマにした絵本の読み聞かせと七夕人形（紙びな式）作り。（７月29日～８月７日：短冊コーナー設置） 【ねらい】 松本の伝統行事を学ぶ機会とする。	【準備過程】 図書・視聴覚委員会で内容の検討 【共催団体】 子ども会育成会	公民館だよりで募集をかけたが参加者が少なかった。児童センターに呼びかけ募集を行った。	

令和６年度　事業報告

鎌田地区公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	ＣＳ
子ども体験教室	8月9日	1回	趣味教養	青少年	20人	【内容】 鎌田地区公民館の特徴である陶芸作業棟にて子ども達が陶芸（ものづくり）を体験するもの 【ねらい】 子ども達に陶芸の楽しさ、魅力を知ってもらう。	【準備過程】 陶芸協議会と内容を検討 【共催】 鎌田地区陶芸協議会 鎌田地区子ども会育成会	【評価と反省】 子ども達が楽しそうに陶芸に取り組んでいた。難しい工程もあったが、陶芸協議会の皆さんが子ども達に丁寧に指導してくださった。子ども達の作品は、10月に開催した「鎌田地区まつり」に展示し、大勢の方に鑑賞していただいた。期間的には夏休みに実施が一番望ましいが、陶芸室のエアコンが劣化のため熱中症の心配があった。 【今後の方針】 非常に好評な教室であったため、陶芸協議会と検討し継続したい。	
多肉植物ミニ寄せ植え講座	8月27日	1回	環境	その他	14人	【内容】 竹下光重先生を講師に迎え、多肉植物の寄せ植えを作るもの	【準備過程】 竹下先生と調整	管理が簡単な多肉植物の講座を開催してみたが、思ったより人が集まらなかった。	
リユース食器市	10月4日	1回	その他	その他	６人	【内容】 家にある不要な食器を出してもらい、必要としている方へリユースするもの 【ねらい】 波田で行っている食器リサイクル市のようなものを、鎌田地区でできたらなと思い開催	【準備過程】 10月４日までに家にある不要な食器を持ってきてもらう。	初めての試みであったが、盛況だった。全部で 100枚以上集まったがすべてはけた。当初の予定だと、公民館では処分ができないため、余った食器は出品者に持ち帰ってもらう予定だったが、それも無かった。	
鎌田地区まつり	10月19日	1回	地域事業（その他）	その他	200人	【内容】 鎌田地区の文化祭。福祉ひろばのひろば祭りや、図書館主催のリサイクル本の配布や児童センターによるミニゲームなど。 【ねらい】 地域住民の交流や、施設を知ってもらうため。	【準備過程】 鎌田地区まつり運営委員会を開き、各団体と調整	昨年度から文化祭改め鎌田地区まつりとして始まった事業。昨年度の経験を活かし準備をしたが、手順が悪い場面もあった。来年度に生かしたい。	
鎌田小学校・中学校ジョイントコンサート	10月26日	1回	地域事業（その他）	その他	250人	【内奥】 鎌田地区にある学校による吹奏楽部の演奏会（信明中・開明小は不参加） 【ねらい】 地域住民に子ども達の活動を知ってもらうため。	【準備過程】 各学校と調整	昨年度の反省を生かして開催することができたが、今年度新たに課題となったことを来年度改善していきたい。	

令和６年度　事業報告

鎌田地区公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	ＣＳ
秋の博物館・国宝・名刹巡り	11月26日	1回	地域文化	その他	26人	【内容】 大町の仁科神明宮、山岳博物館、霊松寺へ行くもの。毎年図書視聴覚委員会が企画する、美術館・博物館を巡る事業	【準備過程】 図書視聴覚委員会による調整 【協力】 鎌田地区公民館図書視聴覚委員会	とても好評だった。初めて来たという方もいて、ガイド付きで回れたのはよかったという声もあった。	
人権啓発推進研修「浅川兄弟資料館と原田泰治美術館」	12月5日	1回	人権平和	その他	14人	【内容】 浅川兄弟資料館を見学し、その後原田泰治美術館を巡るもの。浅川兄弟について学ぶため、事前学習会として映画鑑賞も行った。	【準備過程】 事前映画学習を２日間ほど設け、映像を見てから当日資料館へ行った。 【協力】 主催：鎌田地区人権啓発推進協議会	事前学習をしてから資料館へ行けたため、わかりやすかったという声があった。来年度以降も開催する場合、事前学習会というものを設けていきたい。	
松本の伝統工芸講座「干支の押絵づくり」	12月11日	1回	地域文化	その他	12人	【内容】 来年の干支「巳」をテーマに押絵の技法を学ぶ。 【ねらい】 松本地域の伝統を学ぶ場とする。	講師：三村　隆彦　氏	松本の伝統工芸を知る良い機会となった。講師と内容を検討し継続したい。	
ハンギングバスケット講座	12月19日	1回	環境	その他	11人	【内容】 竹下光重先生を講師にハンギングバスケットを作るもの 【ねらい】 クリスマス飾りとして、家にも飾れるものを作る。	【準備過程】 竹下先生と調整	参加者からは初めて作ったが、楽しかったなどの声が聞けた。前年度から造花でつくるクリスマス飾りを辞め、生花に変えたが好評である。	
ボッチャ交流会	2月21日	1回	スポーツ	その他	24人	【内容】 ボッチャを老若男女関係なくチーム分けをし、対戦するもの 【ねらい】 地域の方と子ども達の交流の場として開催	【準備過程】 特になし。運営も館長、主事、生活支援員で行った。	子ども達が学校から帰ってくる時間に開催した為、地域の方がなかなか集まらなかった。（15時スタート） 子ども達が長期休みや計画休業等で学校が無いときに開催をするよう検討していきたい。	
国宝を巡ろう！	3月13日	1回	地域文化	その他	20人	【内容】 国宝松本城と旧開智学校を案内ボランティア付きで回るもの 【ねらい】 鎌田地区に在住する人で案内ができる人がいる為、地域の方にも学んでもらうもの。	【準備過程】 案内ボランティアの方と調整 【協力】 案内ボランティア　小岩井さん 文化財課城郭整備担当　小山さん	参加者からは、「こういう機会が無いと来られないから、参加できてよかった」「またやってほしい」との声があり好評だった。	

令和６年度　事業報告

鎌田地区公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	ＣＳ
歩こう鎌田ウォーキング	4月26日 5月27日 6月19日 7月12日 8月20日 9月27日 10月15日 11月15日 12月18日 1月17日 2月12日 3月13日	12回	福祉健康	高齢者		【内容】 通称「歩かま」毎月、地区内を異なったルートで歩く。年に１～２回は、地区を出て、自然の中を歩く。（グリーンエクササイズ） 【ねらい】 歩く習慣を身につけ、健康づくりを促進する。参加者同士の交流を深め、自主的なグループ作りを推進するもの	【準備過程】 毎月ルートの選定 【共催団体】 鎌田地区福祉ひろば	【評価と反省】 参加者の中で歩く習慣がついた人がいた。参加者同士の交流を深めることができ、地域での顔見知りが増えてきているように感じる。※７、８、12～２月は室内にてエルダーを使ったストレッチや筋トレ等を行った。 【今後の方針】 参加者の自主性を尊重しながら、継続実施したい。	
松本一本ねぎ食育講座	4月27日 6月 8日 7月20日 8月24日 9月28日 10月20日 11月16日	7回	地域文化	成人	158人	【内容】 松本一本ねぎの栽培 苗植え～収穫～料理方法について学ぶ体験型の食育講座 【ねらい】 食育講座の一環として、地域文化を学ぶ場とする。	【準備過程】 文化委員会で内容を検討 農業体験講師：鎌倉　秀文 料理体験講師：鎌田地区食生活改善推進協議会	【評価と反省】 地区内でも栽培されている伝統野菜を知る良い機会となった。 松本一本ねぎのほかに、サツマイモや落花生も育て、栽培方法を学んだ。 今年度も土曜日に講座を実施したことにより、未就園児や小学生を含む家族での参加が多く、幅広い年代が集まる講座となった。 【今後の方針】 定員を超える申込みがあった。文化委員会で事業の目的を明確にしながら、対象などを検討し継続したい。	
陶芸体験教室	6月21日 6月28日 7月12日 7月19日 7月26日 8月 2日 8月23日 8月30日 9月13日 10月11日	10回	趣味教養	その他	161人	【内容】 陶芸の基礎を学ぶため、初心者を対象に毎年開催。土練り～成形～釉薬まで一通りの技術を学び、コーヒーカップや花器を制作する。 【ねらい】 ・趣味生きがいづくりのきっかけとする。 ・陶芸サークルへの加入を促進し、陶芸サークルの活性化を図る。	【準備過程】 講師との打ち合わせのうえ内容を検討。陶芸サークルに講座の際にサポートを依頼 講師：木村　岳史　氏 【共催団体】 鎌田地区公民館陶芸サークル	【評価と反省】 参加者からは好評を得ており、陶芸サークルへの見学、加入を希望する者がいた。 陶芸５つのサークルの皆さんにご協力をいただき、講座時にサポートに入っていただいた。受講者と陶芸サークル間に交流が生まれ、サークル活動の詳細について質問をする場面が見受けられた。 【今後の方針】 講師や陶芸サークルの皆さんと実施内容を検討し継続したい。	

令和６年度　事業報告

鎌田地区公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	ＣＳ
町内公民館でからだを動かそう！	5月15日 6月19日 11月15日	3回	福祉健康	その他		【内容】 町内公民館を活用した運動講座 【ねらい】 ・運動不足の解消、筋力低下の予防 ・町内公民館の利用促進	【準備過程】 内容についてスポーツ委員会で検討 講師：スポーツ委員会	【評価と反省】 町内公民館を活用する良い機会となり、運動を継続する町会もあった。 高齢者の参加が多かった。 【今後の方針】 スポーツ委員会で内容を検討し継続したい。	
公民館周辺美化作業 公民館年末大掃除	6月 2日 10月 7日 12月13日	3回	その他	成人	約110人	【内容】 公民館及び周辺の美化作業。公民館周辺美化作業２回と年末大掃除１回を実施する。 【ねらい】 公民館利用サークルの会員相互交流及び公民館周辺の美化	【共催団体】 鎌田地区公民館利用サークル	【評価と反省】 公民館周辺の美化や利用団体の相互交流の場となった。 【今後の方針】 公民館利用サークルと連携しながら実施内容を検討し継続したい。	
夏休み公民館学習室解放事業	7月24日 ～ 8月 9日 （土日除く）	13回	子育て	青少年	213人	【内容】 夏休み期間中の学習場所として公民館の会議室を開放し、自由に勉強できる部屋として開放する。 また、開放日の午前中は学習ボランティアが学習の相談に応じることができる。 【ねらい】 小・中学生、高校生の学習支援とする。	【準備過程】 公民館だより及び学校配布で周知 学習ボランティアの募集 【共催団体】 子ども会育成会	【評価と反省】 集中して勉強できる場として好評であった。 【今後の方針】 勉強を相談できる環境を整えるなど実施内容を検討し継続したい。 また、春休みにも実施してほしいという声もあったので、検討していきたい。	
蕎麦打ち講座	9月26日 2月25日	2回	趣味教養	その他	19人	【内容】 蕎麦打ち作りを体験してもらうもの 【ねらい】 昔開催されていたということだったため、復活で開催したもの	【準備過程】 講師：大手公民館　遠藤館長 館長と調整 【協力】 大手公民館　遠藤館長	９月開催はあまり人が集まらなかった。 ２月の方が満員になったので、時期を今後検討していきたい。	
折り紙講座	12月26日 3月24日	2回	その他	その他	36人	【内容】 季節にあった折り紙を作成するもの	【準備過程】 １回目の時は中央公民館から書画カメラを借りた。２回目からは公民館で購入し、実施 講師：鎌田地区公民館主事　髙山	【評価と反省】 大人、子ども問わず好評だった。「また、やりたいとの声がありニーズに合った実施が求められる。	

令和６年度　事業報告

鎌田地区公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	ＣＳ
鎌田小学校子どもを守る安心の家マップ制作	12月～3月	1回	子育て	成人		【内容】 鎌田小学校「子どもを守る安心の家マップ」の地図を作成し、小学校で配布する。 【ねらい】 通学路にある「こどもを守る安心の家」を把握し、不審者を見かけたときや緊急事態時に備える。	【準備過程】 学校やＰＴＡの方との打ち合わせを数回実施	【評価と反省】 「子どもを守る安心の家」を児童が自主的に確認してもらえるようなマップに改訂できた。 【今後の方針】 学校と連携しながら、実施内容を検討したい。	○
「人権啓発ポスター」の展示	2月 3日 ～2月13日	1回	人権平和	青少年		【内容】 「人権啓発ポスター入賞作品」の展示 【ねらい】 平和教育、人権問題を考える機会とする。	【準備過程】 人権啓発ポスター展に入賞した作品を借用 【主催】 鎌田地区人権啓発推進協議会	【評価と反省】 平和や人権に対する意識の向上に役立った。 【今後の方針】 協議会と実施内容を協議しながら継続して実施したい。	
子ども連続スポーツ教室	3月17日 3月18日 3月21日	3回	スポーツ	青少年		【内容】 小学４～６年生の児童が、３日間で６種類のスポーツを体験する教室 【ねらい】 様々なスポーツに親しみ、楽しむきっかけづくり。多種多様な動きを体験してもらい、運動能力向上の一端を担う。	【準備過程】 スポーツ委員会で内容を検討 講師：ＮＰＯ法人まつもとスポーツサービス　関　知大　氏 Ｆスタイル 鎌田地区スポーツ委員３名	【評価と反省】 ３日間を通して、子ども達が多種多様なスポーツに触れ、楽しむことができた。 【今後の方針】 スポーツ委員会で種目や開催時期を検討し、継続したい。	
ラジオ体操ひろば	4月～3月		福祉健康	成人		【内容】 毎週月・金曜日の朝、鎌田地区公民館前でラジオ体操を行う。 【ねらい】 住民の健康を維持増進する。 交流を深める。	【準備過程】 スポーツ委員会で内容を検討 講師：ラジオ体操１級指導士 山本　英明　氏	【評価と反省】 ラジオ体操が習慣になった住民がいた。地域の住民同士が交流する良い機会となっている。 【今後の方針】 現時点では公民館が主体となっているが、今後は住民主体の集まりになるよう、公民館から提案していきたい。	

令和６年度　事業報告

鎌田地区公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	ＣＳ
５部門委員会	通年	5回	公民館委員会・各種会議等	成人		【内容】 ・館報編集委員会 館報の取材・編集 ・図書・視聴覚委員会 図書館展示パネル作成、更新 ・文化委員会 環境、歴史文化、食育講座の開催 ・スポーツ委員会 初心者向けスポーツ講座の開催 ・運営委員会 地区課題を探りながら公民館の在り方を提案、助言を行う。	・館報編集委員会 ・文化委員会 ・図書・視聴覚委員会 ・スポーツ委員会 ・運営委員会	【評価と反省】 必要に応じて委員会を開催した。 【今後の方針】 講座や公民館活性化のため、積極的に開催する。公民館委員は長年同じ方が担っているため、後任の選出が課題	
鎌田地区公民館だより発行	通年	12回	その他	成人		【内容】 市広報誌の配布に合わせて、公民館だよりを全戸回覧し、公民館事業を周知する。 【ねらい】 公民館事業や地区情報を広く周知する。	【準備過程】 公民館が作成	【評価と反省】 公民館講座や地区行事の周知に有効と考えている。ただし、紙媒体以外の情報発信も考える必要がある。 【今後の方針】 継続したい。	
鎌田地区公民館だよりのホームページ掲載	通年	12回	その他	成人		【内容】 市広報誌の配布に合わせて発行した公民館だよりを市ホームページに掲載する。また、公民館だよりにＱＲコードを登載し、手軽にホームページにアクセスできるようにする。 【ねらい】 回覧の場合は公民館だよりが手元に残らないため、誰もがいつでも簡単に情報を取得できる環境を整える。	【準備過程】 公民館が市ホームページに掲載	【評価と反省】 公民館講座や地区行事の周知に有効と考えている。 【今後の方針】 ホームページでの表示方法など研究しながら継続して掲載したい。	

令和６年度　事業報告の概要

松南地区公民館

方針・地域課題・重点的に取り組んだ事項等	評価・反省等
【方針・地域課題】 **【重点目標１】** **松南地区らしい地域づくりの創造に向け、住民自治と地域連携を育む学習機能の充実や防災意識の高揚を図る。** ア　日常の暮らしで生じる悩みや課題を掘り起こす機会の創設 イ　地域課題の解決に向け、学習機会の充実、関係する多様な主体の連携・協働を支援する取り組み。 ウ　若い世代を巻き込み、地域づくりの担い手を育成する取り組み。 **【重点目標２】** **日常の暮らしの中の多様な悩みや課題を互いに理解しあう「自由な学びの場」機能の充実を図る。** ア　子どもからお年寄りまで、性別、年齢などに関わらず、誰でも自由に学べる場の拡充 イ　日常の暮らしで生じる悩みや課題など、住民の多様な学びのニーズに対する、講座や勉強会の実施、資料の整備 ウ　伝統行事や地域の財産を次代へ継承する取り組み。 **【重点目標３】** **地区の特性を活かした松本らしいコミュニティスクール事業の進展を目指し、学校、家庭、地域の協働を図る。** ア　子どもたちが地域の行事や活動に参加する機会の創出、地域への帰属意識の醸成 イ　地域住民が主体となった子育ての取組み支援、地域全体で子どもを育てる意識の向上 ウ　学校の教育目標やヴィジョンと地域の課題の共有、学校と地域の連携・協働の促進	（左記の重点目標の番号と対応して記載） 1　地域づくりセンターとともに避難所運営訓練の企画・実施に協力し、運営委員の手で避難所運営を行えるよう、訓練内容を工夫した。 今後は、より実践的な訓練となるよう、運営委員が主体的に関与できるような訓練内容や、住民を巻き込んだ防災の取組みとなるよう、内容の工夫が求められる。 2　デジタル媒体による周知なども影響し、全体的に昨年までよりも参加者の増加が見られた。（子育て世代から下の若い世代を中心に） 一方で、地区内に移動弱者も多いことから、各町会への出張事業や、住民のニーズに対応した新たな内容の事業の開催などが求められる。 3　地区子ども会育成会の存続や今後の活動について、相談・助言やサポートを行うなどの関与をした。今後も継続して相談役として関与する。

項目	学級講座・学習会等									地域事業			公民館委員会・各種会議等	ＣＳ
	人権平和	福祉健康	子育て	地域文化	環境	趣味教養	スポーツ	防災	その他	体育	文化	その他		
事業数	1	2	7	2	0	2	0	0	1	1	4	1	4	3
延べ参加人数	60	233	2423	150	0	455	0	0	5	320	3231	400	314	855

令和６年度　事業報告

松南地区公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	ＣＳ
信明中学校地域出前講座	7月	3回	趣味教養	青少年	350人	コミュニティスクール事業の一環として、公民館で紹介した地区住民を講師に、料理、スポーツや絵画工作などを教わる。地域住民とのふれあい、つながり作りの場として実施	松南地区・鎌田地区住民を中心に講師を依頼	昨年度から開催している、信明倶楽部（保護者の任意団体）の協力による空手の体験講座が好評である。生徒のニーズを把握しつつ、保護者の協力も得て事業を継続していきたい。	○
夏のスペシャル人形劇	8月15日	1回	子育て	青少年	100人	南部図書館と共催で、子ども向けの人形劇を行う。	共催：南部図書館	企画実施は主に図書館で行っている。大会議室を会場に、多くの親子が参加して人形劇を楽しむ機会となっている。	
なんぶ未来まつり	9月7日	1回	地域事業（文化）	その他	1,200人	神社や仏閣がなく、例大祭のような祭りのない松南地区の地区住民が、他町会の方とも交流ができるようにと始まった、すべてが手づくりのお祭り。町会を超えた地区住民の交流を図る。	主催：未来まつり実行委員会（町会連合会を中心に組織）	各町会の出店、信明中吹奏楽部などのステージ発表、子ども神輿など、盛大に開催された。様々な地域住民が集い、非日常感を皆で楽しむ、地区最大のイベントとなっているため、今後も継続される見込みである。	
なんなんフェスタ2024	9月14日 9月15日	1回	地域事業（文化）	その他	1,978人	松南地区公民館利用者の会が主体となって開催する文化祭。利用団体の展示及びステージ発表を行い、普段関わることのない他の団体の活動を知る機会、出会う機会としている。	実行委員会形式 青少年ホームの子ども向け体験事業、南部図書館の本のリサイクル事業などを共催で実施	参加団体が感染症禍前よりも多く、展示会場・上演スケジュールの調整に苦慮した。感染症禍前と同程度の来場者があったが、観客がほとんどいない上演もあり、今後の課題である。	
健康まつり松南	11月17日	1回	福祉健康	その他	200人	子どもから高齢者までが、気軽に参加して楽しめる軽スポーツやレクリエーションの競技を行う。地区住民が主体的に事業を運営し、幅広い年齢層が交流できる機会となっている。	主催：松南地区社会福祉協議会 公民館は実施準備や当日の業務に協力	住民が主体的に、かつ協力し合って事業を実施している。子ども食堂との同時開催もあってか、今年度は子どもの参加も多く、多世代交流のある事業となった。	
オンライン相談窓口体験会	12月12日	1回	その他	その他	5人	施設内に設置されている「オンライン相談窓口」の利用方法を体験してみてもらい、気軽に利用してもらえるようになることを目指す。	協力：ＤＸ推進本部（周知に福祉ひろば、生活支援員などが協力）	平日の日中に開催したことも原因ではあるが、参加者が非常に少なかった。「オンライン相談窓口」自体の認知度が低い、何ができるか分からないことから、市民相談課などと連携し、宣伝方法を工夫することが求められる。	
カリヨン　イルミネーション点灯式	12月19日	1回	地域事業（文化）	その他	40人	地区住民が参加できる冬のイベントとして、カリヨンの鐘へイルミネーションを設置し、点灯式として地区の団体にハンドベルの演奏を行ってもらう。	共催：町会連合会 公民館は周知、実施準備の協力などを行う。	地区定例会の開始前の時間に実施したことで例年に比べて参加者が増えた。一般の参加者も15名ほどあった。式典に合わせたカリヨンベルの演奏、一般周知の方法を検討する必要がある。	
なんなんひろば　クリスマス人形劇	12月21日	1回	子育て	青少年	100人	南部図書館と共催で、子ども向けの人形劇を行う。	共催：南部図書館	夏のスペシャル人形劇と同様	
町内公民館長会視察研修	3月21日	1回	地域事業（文化）	成人	13人	ＯＭＦ（旧ＳＫＦ）とゆかりのある千住博氏の美術館の見学や、軽井沢歴史民俗資料館で軽井沢の歴史を学ぶ。	主催：地区町内公民館長会、館報編集委員会	平日開催のためになかなか参加者が集まらず、公民館長、編集委員以外にも参加者を募って開催した。なかなか知らない軽井沢の歴史、別荘地として知られるようになった経緯や、千住博氏の作品に触れる機会となった。	

令和６年度　事業報告

松南地区公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	ＣＳ
開明小学校登下校見守り	4月～5月	1回	子育て	青少年	105人	地区住民の有志により開明小学校の児童の登下校を見守る。新一年生は登下校にも不安があるため、地域で登下校の見守りをおこない、学校と地域の結びつきを深めるもの		人材不足で、小学校からかなり遠くに住む住民にも協力していただいている。Ｒ７年度から保護者が協力する予定であり、ボランティアの住民の負担軽減が期待される。	○
親子の食育講座	4月～12月	5回	子育て	家庭教育	72人	畑での苗植えや土寄せから、収穫、調理して食べるまでを体験し、普段口にしている、ねぎやさつまいもなどの作物がどのようにして育てられているのかを学ぶ。	共催・講師：子どもが輝く食育ネットワーク松本	子ども達が農作業を体験できる貴重な機会となっているだけでなく、参加者同士のつながりができ、親子で交流できる機会となっている。継続して実施したい。	
体操教室	7月～8月 1月～2月	6回	福祉健康	成人	33人	自分にあった運動・体操を見つけ、無理なく継続してもらうため、参加者の希望に合わせた内容で、楽しみながら健康づくりに取り組んでもらう。夏季（前期）と冬季（後期）に実施している。	共催：福祉ひろば	会場が遠いという声もあり、町内公民館などへの出張実施も検討したい。	
夏の文化祭	7月～8月	1回	地域文化	成人	80人	松南地区公民館利用者の会が主体となって開催する夏の文化祭。利用団体の活動紹介（展示）とサークルの体験会を開催。利用団体の活動発表の場の充実	主催：公民館利用者の会	昨年より多くの団体の参加申込みがあった。一般来場者が増えるよう、メディア等での情報発信にも注力したい。	
親子料理教室	8月～3月	3回	子育て	家庭教育	66人	季節の食材を使って、親子で調理実習をする。子ども達の五感豊かな食育を進め、家庭での食を大切にしてもらう。	共催・講師：子どもが輝く食育ネットワーク松本	リピーターの方だけでなく、新規参加者も一定数得られている。ネットからの予約も定着してきた。地区外からも多く参加申込みがあり、参加者の満足度も非常に高い。今後も継続して実施していきたい。	
開明小学校クラブ支援事業	9月～11月	4回	子育て	青少年	400人	コミュニティスクール事業の一環として、公民館で紹介した地区住民を講師に、スポーツや絵画工作などを教わる。地域住民とのふれあい、つながり作りの場として実施	松南地区・鎌田地区住民を中心に講師を依頼	感染症禍以前は実施していたが、昨年度まで実施できていなかった。地域住民が講師となるほか、学校側で一般の地域住民に参加者としての参加を募り、児童と地域住民の交流が進んだ。	○
子ども食堂	9月15日 11月17日 3月 2日	3回	地域事業（その他）	その他	400人	子育て支援及び食を通じた地域住民の交流などを目的として実施した。９月15日のなんなんフェスタと11月17日の健康まつり松南、３月２日の地区スポーツ協会行事に合わせて、駐車場スペースを利用して配食した。	主催：地区地域づくり推進協議会 協力：地区日赤奉仕団、市社協（炊き出しキャラバン隊）など	子ども、親子連れだけでなく、幅広い年齢層の住民が訪れ、食事や同日開催したイベントを楽しんだ。地区関係職員が主体で企画・運営しており、地区住民主体での実施にはハードルがある。	
みんなで学ぼう発達障がい講座	1月～2月	3回	人権平和	成人	60人	５年目の実施になる発達障がいを基礎から学ぶ講座。講師・内容や開催日時を見直し、保護者など当事者も含めて多くの方が参加しやすいよう、土曜日の午前中に開催した。	共催：地区人権啓発推進協議会 協力：こども発達支援課（インクルーシブセンター）	開催日時や内容を見直したこと等により、昨年度よりも参加者が増え、保護者など当事者を含め、地区内外から多くの方が参加した。	

令和６年度　事業報告

松南地区公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	ＣＳ
冬の文化祭	2月～3月	1回	地域文化	成人	70人	令和２年から実施。内容は夏の文化祭と同様	主催：公民館利用者の会	利用者の会の冬の事業として定着した。参加団体は多かったが、冬場で一般来場者が少ないことが課題である。	
学習室開放	通年	274回	子育て	青少年	1,580人	小学生から大学・専門学校生までを対象とし、Ｒ５年８月から開放日を増やし平日にも実施している。		ＨＰのほか口コミで認知度が向上しており、常連利用している利用者もみられる。平日は平均５名、土日は平均７名と利用者に定着してきている。今後も継続して開放するとともに、可能な範囲で要望にも対応できるよう検討したい。	
ソフトバレーなんなんリーグ	通年	8回	地域事業（体育）	成人	320人	月に一度開催の、地区内ソフトバレーチームによるリーグ戦。地域住民が主体で、住民の仲間づくりの場である。		リーグ戦の役員が主体的に運営を行っている。特に運営上の課題は寄せられていない。	
なんなん日本語講座	通年	43回	趣味教養	成人	105人	毎週月曜日の夜に定期的に開催。日本語に限らず日本の文化や慣習についても学習し、また生徒の希望によって日本語検定に向けての勉強も行う。	協力：日本語講座ボランティアなど	感染症禍の影響を受けず、一定数継続して受講生を得られた。今後も市南部で実施する日本語講座として、継続して実施したい。事業周知は引き続き行う必要がある。	
松南地区公民館運営委員会	通年	1回	公民館委員会・各種会議等	成人	106人	地区公民館の運営委員（委員は各町会から） 地区公民館の運営や事業について、地域住民から意見をいただく。	地区町会連合会	今後も、積極的に運営委員との意見交換を行い、協力して事業を実施したい。	
松南地区公民館館報編集委員会	通年	1回	公民館委員会・各種会議等	成人	90人	地区公民館報の編集委員（委員は各町会から） 地域情報の発掘・発信、地域課題の投げかけを行う。		「地域学習会」の中核となる団体として、今後も様々な活動を進めていきたい。	
松南地区公民館体育委員会	通年	1回	公民館委員会・各種会議等	成人	97人	地区公民館の体育委員（スポーツイベント等の企画・開催） 地区の体育事業について地域住民から意見をいただく。	地区スポーツ協会	各町会の状況を踏まえてイベント内容の見直しを進めた。他の地区団体とも協力しながら、子どもから高齢者まで多くの住民が体を動かし、交流できる事業としていくことが求められる。	
松南地区公民館利用者の会	通年	1回	公民館委員会・各種会議等	成人	21人	公民館利用団体で組織する会であり、夏及び冬の文化祭の実行、秋に行う文化祭「なんなんフェスタ」の実行委員会の中心的な役割を担う。 利用者同士の交流の促進、利用団体の活動支援	公民館利用者の会	役員のなり手不足が顕在化しており、公民館から利用団体への声掛けが必要となる。	

令和６年度　事業報告の概要

島内公民館

方針・地域課題・重点的に取り組んだ事項等	評価・反省等
【方針・地域課題】 ■島内公民館「５つの基本方針」 １．講座の充実 　地域住民の声を公民館活動へつなげ、各種団体と積極的に連携し、地域課題解決へ向けた講座を実施します。住民生活に根差した事業（講座）を実施します。講座から発展したグループ活動についても、支援をします。 ２．芸術文化活動の推進 　芸術文化祭やおはなしファミリー劇場等、既存事業の充実、公民館ギャラリーを活用した島内地区文化の発表・発信・交流を通じて、地域文化の醸成を図ります。 ３．子どもに魅力のある公民館活動の展開 　児童や生徒が、積極的に参加できる公民館活動を展開します。さらに、子育てに奮闘する母親の要望等も取り入れることで、明るく子育てができるような地域へつなげます。 ４．スポーツの底辺拡大 　島内地区の特性を活かし、誰でも参加できる楽しいスポーツ機会の充実を図り、心と体の健康づくりへつなげます（スポーツフェスティバルin島内、体協スポーツ事業、さわやか健康教室、健康ウォーキング等） ５．人権教育の推進 　すべての人権が尊重される地域を形成するために、指導者を対象とする視察研修や講演会、人権を考える住民のつどい「ふれ愛コンサート」を通じ、改めて「人権」「平和」「愛」等について考え・意識する機会をつくり、より住みよい地域社会へとつなげます。	島内公民館５つの基本方針に沿って、学習やスポーツ等の社会活動を通じて住民間のつながりを構築し、地域社会での関係性を深めるなかで、互助の関係が根付いた魅力ある地域の形成（人づくり）へつなげた。 　今年度は島内地区運動会をリニューアルした「スポーツフェスティバルin島内」を初めて開催した。コロナ禍をきっかけに、運動会に対する地区住民の要望等を拾い上げ、町会単位の参加から個人単位で気軽に参加できる内容に変更し、参加者にも満足してもらえるイベントとなった。 　平瀬古城会の活動も４年目を迎え、会員向けのどぶろく酒製造や染め物体験会、視察研修会を行う中、狼煙まつりでは会員の負担軽減の観点から、会場を変更して開催した。 　事業をいかに持続可能なものにしていくかという視点の重要性が年々増している中、公民館に求められる地区の人材育成と、公民館を核にした地域づくり活動の質を高めていくため、来年度は既存の事業について内容の見直しを行う等の取り組みをしていきたい。

項目	学級講座・学習会等									地域事業			公民館委員会・各種会議等	ＣＳ
	人権平和	福祉健康	子育て	地域文化	環境	趣味教養	スポーツ	防災	その他	体育	文化	その他		
事業数	2	4	3	3	0	2	3	0	7	8	2	4	4	8
延べ参加人数	266	101	940	177	0	42	162	0	684	540	622	7800	356	9595

令和６年度　事業報告

島内公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	ＣＳ
小谷で交流「山菜狩り体験」	4月25日	1回	趣味教養	成人	22人	島内地区住民の交流を図り、仲間づくり等へ繋げる。	公民館で受入側と準備、調整	地区として５回目の取組みとなるが、今年も新規参加者が多く、前回に続いて参加した住民を核に交流の輪が広がった。	
春季スポーツ大会	5月19日	1回	地域事業（体育）	成人	57人	地域住民の交流と健康増進のため、町会対抗でバドミントン・グラウンドゴルフで競う。	地区体協関係者と日程・運営方法等について調整	例年に比べグラウンドゴルフの参加者が多かったが、バドミントンが３チームしかできず、やや寂しい結果となった。	
ソフトボール・バレーボール大会	7月7日	1回	地域事業（体育）	成人	88人	住民の交流と健康増進を図るため、町会対抗でソフトボールとバレーボールで競う。	地区体協関係者と日程・運営方法等について調整	ソフトボールは４チームで試合ができたが、バレーボールは男女それぞれ２チームだけとなり、短時間で終わってしまった。	
島内地区指導者研修会	7月22日	1回	その他	その他	17人	町会長・町内公民館長等の地域指導者を対象に、指導者学習会を実施することで、地域づくりへつなげる。	主催者の町会・町内公民館長・地域づくりセンター長と実施内容について検討	山梨県立防災センターの職員から、災害に備え平時から求められる取組みについて、話を伺った。地震体験や煙体験を合わせて実施したことで、学習効果が高まった。	
中学生のための島内公民館開放	8月 1日 ～8月18日 うち８日間	1回	その他	青少年	85人	夏休み期間中に学習の場として公民館を開放することで、中学生と公民館をつなげる。	学校や育成会関係者等と実施有無について検討	中学生が公民館とつながる機会として有効であり、生徒にも好評であった。食事支援・学習支援を地域住民が行い、交流の場にもなった。	○
夏休みおはなしファミリー劇場	8月4日	1回	その他	その他	400人	子どもから大人まで楽しめる、読み聞かせ「夏休みおはなしファミリー劇場」を実施。また同日に、「子どもあそびのひろば」と称した、子ども達の夏休みの思い出づくりの場（射的、くじ引き、輪投げ等）を、子ども達が主体となってつくる場も設けられた。	公民館図書視聴覚委員会や文化委員会、公民館読み聞かせサークルや子ども育成会、総合企画のオフィス蘭と内容を検討	夏休みおはなしファミリー劇場では、工夫を凝らした劇が繰り広げられ、公民館委員もたくさん参画しており、公民館にとっても有意義なイベントとなった。子どもあそびのひろばでは、子ども達が考えた企画に大勢の来場者が殺到し、子どもにとって大きな成長に繋がる日となった。	○
河西部球技大会	8月25日	1回	地域事業（体育）	成人	100人	スポーツを通じて、河西部地区（島内・島立・和田・新村）で交流を図る。（野球は市長杯争奪大会出場地区選考兼ねる。）	今年は島内が当番地区となり、４地区体協関係者と開催方法について協議した。	実施競技が年々少なくなっており、今後の大会のあり方を問う声も上がってきている。来年度も今年度同様に実施するが、時代に合った形への見直しが求められる。	
陶芸講座	9月18日 9月25日	2回	地域文化	成人	8人	山田地籍の登り窯を会場に、陶芸を切口に地域文化・歴史を学び、作品を制作するなかで、地域への愛着醸成や仲間づくりへつなげる。	登り窯を管理する「山田炎の会」と講座内容について調整し、単なる陶芸作品制作に留まらない取組みへつなげる。	公民館にとっては、登り窯で３回目の開催となったが、陶芸や地域文化への関心を更に高められた。また、炎の会への新規登録へつながったり、会主催の陶芸教室への参加へつながったりと、講座後も広がりを見せた。	

令和６年度　事業報告

島内公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	ＣＳ
夏季スポーツ大会	9月22日	1回	地域事業（体育）	成人	30人	地域住民の交流と健康増進を図るため、町会対抗で野球とソフトバレーボールで競う。	地区体協関係者と日程・運営方法等について調整	春季スポーツ大会同様、参加が少なく、大会の開催方式について改めて検討を要する。	
第66回市民体育大会	10月13日	1回	スポーツ	成人	20人	市内35地区が、卓球、ソフトバレーボール、マレットゴルフ、野球、ゲートボール種目で競う大会	出場選手について地区体協関係者と調整	松本市スポーツ協会で検討の結果、参加できる種目のみで開催。島内からはマレットゴルフとソフトバレーボールのみ出場	
第１回スポーツフェスティバルin島内	10月20日	1回	地域事業（体育）	その他	300人	・地区住民の連携意識の高揚と郷土愛を育む ・健康的な体力の維持と向上を図るため、スポーツを日常生活に取り入れる契機とする。 ・スポーツを通して地区の町会や年齢の枠を超えて交流を深める。	実行委員会を体協・町会・町内公民館関係者等で組織し、実施内容について検討	前身の地区運動会を、個人で気軽に参加できるような内容にリニューアルして実施したもの。運動会時代の「町会参加」の概念を撤廃したことに戸惑う町会もあったが、おおむね目的は達成できた。来年度以降は、持続可能なイベントにするための視点を加え、実施していきたい。	
第40回松本市長杯争奪球技大会	11月4日	1回	スポーツ	成人	12人	市民体育大会の上位入賞チーム等が、卓球、軟式野球、ゲートボール、ママさんバレーボール、マレットゴルフで競う大会	出場選手について地区体協関係者と調整	松本市スポーツ協会で検討の結果、参加できる種目のみで開催。島内からはマレットゴルフとソフトバレーボールが出場した。	
卓球大会・ニュースポーツ体験会	11月10日	1回	地域事業（体育）	その他	50人	地域住民の交流と健康増進を図るため、町会対抗の卓球大会とニュースポーツ体験会を実施	地区体協関係者と日程・運営方法等について調整	卓球の参加者は地区内の卓球サークルに所属している方のみとなり、寂しいものだった。一方、ニュースポーツは大変多くの人で賑わい、来年度以降の体協スポーツ事業の計画に向けて、ひとつのきっかけとなった。	
公民館委員視察研修	11月14日	1回	その他	その他	16人	公民館委員間の情報交換や交流、視察研修学習を通じて、各委員会活動へつなげることを目的に実施	委員会関係者と研修成果を活かせるような視察場所を検討→結果、河口湖周辺の美術館を見学した。	視察を通じて学習した成果を、各員会活動へつなげるだけでなく、委員同士の情報共有も図られたことで、公民館活動全体にとって大切な機会となった。次年度も実施予定	
第５回島内文化ふれあいまつり	11月17日	1回	地域事業（文化）	その他	500人	地域住民の日頃の文化活動の成果等を一堂に集め、島内地区の文化発信の場として実施。（展示やステージなど）	公民館・福祉ひろば・図書館・社協島内支会で実行委員会を組織し、実施内容等を検討	公民館、ひろば、図書館それぞれの会場で催しを行った。公民館のステージ発表では、小中学校や公民館利用団体等が日頃の成果を発表し盛況だった一方、館内の展示については作品提供者が減少しており、来年度以降に向けて発掘が必要と思われる。	
人権教育推進視察研修	11月28日	1回	人権平和	その他	16人	地域内指導者を対象に、人権に対する意識を高め、地域活動へつなげるために実施	人権推進協関係者と今年度のテーマを決め、視察先・日程等調整	今年は第二次世界大戦の遺跡である松代象山地下壕を視察した。現地のガイドによる、地下壕が作られた過程等の話を聞くことによって、理解がより深まる研修となった。	

令和６年度　事業報告

島内公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	ＣＳ
刃物研ぎ講座	12月16日 午前・午後	2回	趣味教養	成人	20人	初心者向けで、刃物の研ぎ方を学ぶことで、仲間づくりや趣味による生きがいづくりへつなげる。	シルバー人材センター刃物研ぎ会員と相談の上実施	愛用の刃物を研ぎながら住民間の交流が図れたことで、仲間づくりへもつながった。	
人権を考える住民の集い「島内・島立ふれ愛コンサート」	2月9日	1回	人権平和	その他	250人	地元小学生や音楽家によるコンサートを通じて、人権について考える場にするとともに、意識向上の一助へつなげる。地元の小中学生の発表の場としても活用する。	当番地区の島立公民館を主として実施内容について検討	車いすダンス団体「舞❤フレンズ」によるダンスの後、島立小・松島中・高綱中金管部などが出演。改めて、コンサートそのものの位置づけや重要性を確認する機会にもつながった。	○
健康ウォーキング大会	6月15日 11月23日	2回	地域事業 （体育）	その他	112人	健康増進と世代間交流を図るため、地区内健康ウォーキングコースを歩く。 ６月は４㎞＆７．５㎞の２コースを設定し、11月は６㎞のコースを歩くもの	福祉ひろば・関係者と日程・運営方法等について調整	６月は気温が上がったため、急遽７．５㎞コースは取りやめた。 気候の状況が以前と変わってきているため、開催時期等について再度検討を要する。	
夏休み子ども講座 ※小学１～６年生対象	7月31日 8月 7日	2回	その他	青少年	85人	普段の学校生活では体験できない様々な体験や異年齢交流を通じて、子ども達の生きる力の醸成へつなげる。	学校や育成会関係者等と実施内容について検討	伊那市のみはらしファームで工作体験を行い、駒ケ根市のかんてんぱぱガーデンで工場見学を行った。上級生が率先して班員をまとめる光景が多く見られ、下級生も上級生の言うことをしっかり聞いて行動できていた。 大変人気のある講座のため、申込方法を工夫した上で、次年度も行先を変更して実施予定	○
おとこの料理教室	8月22日 10月31日 12月15日 2月26日	1回	福祉健康	高齢者	29人	高齢の男性を対象に、料理の楽しさや健康的な食事について学ぶなかで、仲間づくり等へつなげる。	地区食生活改善推進員と内容・日程を調整	昨年度実施し、継続してほしいとの声を受けて４回実施した。参加者は毎回固定されがちだったが、和気あいあいとした雰囲気で参加者同士の交流に繋がった。 最終回は新しい参加者も増え、参加者からは今後作りたい料理名も具体的に上がったため、来年度以降も継続予定	
島内公民館子育て講座	8月26日 9月24日 11月25日	3回	子育て	家庭教育	90人	就園前の親子を対象に親子参加型の講座を実施し、親子の触れ合いや仲間づくりへつなげるため、人形劇・親子体操・親子ヨガを実施	福祉ひろば・民生と内容や講師、日程等を検討	親子交流の大切な場であるため、次年度も継続開催予定	
健康講座	9月30日 10月 7日 10月21日	3回	福祉健康	成人	18人	公民館利用団体「シャイニングスター」からの提案で、活動内容（体操、エアロビクス）をより地区の多くの人に体験してもらいたいというねらいで実施	公民館利用団体「シャイニングスター」と内容を調整	参加者は少なかったが、その分、一人ひとりに丁寧に指導できたこともあり、その後の団体加入にも繋がったため、一定の成果は得た。	

令和６年度　事業報告

島内公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	ＣＳ
こどもの居場所づくり事業愛ランド島内「おらんちdeランチ」	4月 6日 ～3月 8日	12回	子育て	家庭教育	650人	三世代交流とこどもの居場所づくりを目的に、学習支援や囲碁・将棋・書き初め、食事支援等を通じて交流を図る。	住民組織「愛ランド島内実行委員会」を主宰に、公民館と連携する中で実施内容等を検討	子ども達が集まり、勉強や工作、遊び、食事など、日頃学校では体験できない、学年や世代を超えた交流を図る場として、地域における子ども達の人間力醸成へもつながった。 今年度は公民館フリースペース事業を抱き合わせで実施したが、成果には繋がらず、来年度以降については実施方法などを再検討したい。	○
お話しの会 ※うち2回は図書館共催（お話のスペシャル、クリスマススペシャル） ※うち2回は保育園で実施	5月11日 ～3月 8日	6回	子育て	家庭教育	200人	親子参加による図書視聴覚委員を中心とした読み聞かせを行い、小さい頃から本に親しむことへつなげる。絵本・紙芝居・パネルシアター・ＯＨＰ等による読み聞かせや、終了後の工作等の内容を、企画会議で検討の上実施	読み聞かせの内容は、全て委員会を開催し、図書視聴覚委員が決定する。	子どものころから本に触れる機会を提供し、豊かな人間力向上や家庭教育へつなげる機会となった。 委員の数が減っており、今後の読み手の確保が必須となる。	○
農業文庫講座 第１回　視察研修 「南信州を訪ねて」	5月25日	1回	その他	成人	41人	視察を通じて、仲間づくりや生きがいづくりへつなげる。	農業文庫運営委員が中心となって下見等を行い、満蒙開拓平和記念館の見学やくりん草園の散策などを計画	農業文庫講座は、講座の内容を主に農業文庫運営委員会（公民館・図書館関係者も連携）で企画したことで、住民主体の取組みが進められた。次年度も、同様の手法で進める方針。 視察研修では、会員が「学び」の視点を大事にした視察先の選定を積極的に行い、会員同士の交流と、深い学習に繋がった。 講演会では地元の歴史文化学習について学んだり、地元住民に講師をお願いするなど、会員同士で合意形成をしながら進めることができた。 生涯学習に繋がる事業を地区住民により企画、運営している貴重な団体であるが、会員の高齢化･減少が進んでいる。今後も主体性を持って取組みを継続できるようサポートしていきたい。	
農業文庫講座 第２回　講演会 「明治以降の松本市・島内を概観する～歩み・できごと・人物から～」	7月19日	1回	地域文化	成人	44人	住民生活に根差した講座を実施することで、生きがいや仲間づくりへつなげる。	会員と公民館で、窪田雅之氏（市文書館特別専門員）を講師に、島内の平歴史に関する学習会を計画		
農業文庫講座 第３回　講演会 「だまされる心の心理学」	9月26日	1回	福祉健康	成人	22人	住民生活に根差した講座を実施することで、生きがいや仲間づくりへつなげる。	会員と公民館で、菊池聡氏（信州大学）を講師に、特殊詐欺の被害を防止するための学習会を計画		
農業文庫講座 第４回　視察研修 「長和町を訪ねて」	10月23日	1回	その他	成人	40人	視察を通じて、仲間づくりや生きがいづくりへつなげる。	農業文庫運営委員が中心となって下見等を行い、黒曜石体験ミュージアムの見学や和田宿の散策を計画		
農業文庫講座 第５回　世代間交流 「正月の伝統行事と遊び」	12月7日	1回	地域文化	家庭教育	125人	昔の遊びや伝統行事を、高齢者が子ども達に伝えていくことで、世代間交流を図る。	愛ランド島内運営委員会とも共催し、コロナ禍での実施内容を検討。餅つきや食事会も実施		○
農業文庫講座 第６回　講演会 「加助様と松本藩」	3月14日	1回	福祉健康	成人	32人	住民生活に根差した講座を実施することで、生きがいや仲間づくりへつなげる。	会員と公民館で寺島敏郎氏（貞享義民記念館）を講師に、江戸時代の地元の偉人を通した当時の歴史に関する学習会を計画		

令和６年度　事業報告

島内公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	ＣＳ
平瀬古城会の活動	4月～3月	1回	地域事業（文化）	その他	122人	平瀬城跡（特別史跡）を中心に、関連史跡・関連文化財群などの整備・保全・活用を、地域全体の取組みとして推進することで、地域文化財を活用した地域づくりへつなげる。	公民館を事務局に、社会教育的な発想で文化財の活用や保全を進めるため、全ての取組みについて会員内で協議・調整を行い、実施へつなげる。	令和２年４月発足。通常の整備・周知・学習活動に加え、夏休みの親子向け染め物体験会やどぶろく酒製造などを行った。狼煙まつりは、会員の負担軽減の目的で会場を変更して行い、好評だった。視察研修会も行ったが、参加者が少なく来年度は中止とする。	
さわやか健康スポーツ教室	6月～3月	8回	スポーツ	女性	130人	健康維持のための教室として、ニュースポーツ、ストレッチ体操などを行う。	地区体協関係者と内容等調整	毎月１回、女性の健康づくり推進員ＯＢを中心に開催し、コミュニティの受け皿としても機能している。今年度はコロナ明けにより、久々に通年実施できた。	
ソフトバレーボールリーグ	1月～3月	1回	地域事業（体育）	成人	60人	地域住民の交流と健康増進のため、チームによるリーグ戦を行う。	地区体協関係者と内容等調整	島内体協主催事業として、３か月間にわたりリーグ戦が開かれ、毎年楽しみにしている選手も多い。	
図書視聴覚委員会	5月 7日～2月25日	6回	公民館委員会・各種会議等	その他	36人	「おはなしの会」の企画・実施を通じて、地区内の図書普及と交流を図る。	・お話しの会の企画・実施 ・おはなしファミリー劇場の運営	定期的な本の読み聞かせを、委員主体により進められた。	
文化委員会	4月26日～3月28日	12回	公民館委員会・各種会議等	その他	120人	ギャラリーピアッザの企画・実施を通じて、人材の掘り起こしや地区内の文化活動を活性化させ、島内文化を発信する。	・ギャラリー「ピアッザ」の企画・実施 ・おはなしファミリー劇場の運営 ・ふれあいまつり協力	ギャラリー展示の企画・運営から、ふれあいまつり等への参画まで、委員主体により進められた。	
館報編集委員会	4月 9日～3月 4日	12回	公民館委員会・各種会議等	その他	120人	地区内の情報を集約し、住民の視点から公民館報を発行することで、地区住民の生活文化の向上を図る。	・島内公民館報の企画、編集 ・おはなしファミリー劇場の運営	偶数月に企画会議を行い、掲載内容や取材方法等を検討。奇数月には編集作業を行う。	
町内公民館長会	4月 2日～3月14日	10回	公民館委員会・各種会議等	その他	200人	町内公民館活動の支援・協力、地区事業運営等について検討		概ね月１回集まり、町内公民館に関係する事業等について検討した。	

令和６年度　事業報告

島内公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	ＣＳ
公民館ギャラリー“ピアッザ”への展示	通年	15回	地域事業（その他）	その他	7,800人	地域住民及び島内公民館利用サークル等の作品展示を常時実施することで、地域の文化発信を積極的に行うとともに、展示者の生きがいづくり等へもつなげる。	４月　中南信蘭友会の洋ラン展 ５月　五月人形展 ６月　版画・切り絵仲間展／花フレンド作品展（フラワーアレンジ） ７月　赤廣三郎仏画展／浅香吉司段ボール模型作品展 ８月　丸山廣登・清水口治雄と仲間の作品展 ９月　島内書道研究会作品展／島内小学校６年生展示 10月　今井麻美子動物の陶器作品展 11月　ふわもこの会作品展 12月　松島中学校作品展 １月　陶芸作品展（山田炎の会） ２月　稲田隆・福島辰郎模型展 ３月　ひな人形展	地域住民及び島内公民館利用サークル等の作品展示を常時実施することで、地域の文化発信を積極的に行うとともに、展示者の生きがいづくり等へもつなげる。 今年度は赤廣三郎仏画展において、作品を来場者にプレゼントする企画があり、地区内外を問わず多数の応募があった。 作品提供者が減っていることが課題。展示を運営する文化委員会の委員を中心に、展示団体（者）の確保をしていきたい。	○
公民館だより	毎月	12回	地域事業（その他）	その他	全戸回覧	公民館事業の参加者募集・周知について情報発信		毎月公民館事業の周知に活用	
ホームページ	随時更新		地域事業（その他）	その他	年間	島内公民館の活動情報等について発信		毎月①公民館だより②ギャラリー展示の様子③イベントについて掲載する。 また、館報に毎回、公民館ＨＰとＸのＱＲを掲載することで、更なる情報発信にもつながっている。	
利用サークルの育成・支援及び、地区関係諸団体の支援・連携	随　時		地域事業（その他）	その他	－	・貸館及び活動支援 ・関係諸団体の活動支援や連携		窓口及び利用者会議等で利用団体と、活動状況などについて情報交換を行う。	

令和６年度　事業報告の概要

中山公民館

方針・地域課題・重点的に取り組んだ事項等	評価・反省等
【方針・地域課題】 ・地域で子どもを育てる仕組みづくりを行うため、学校と連携、協同する。 ・公民館活動への参加が少ない子ども、若者を対象に事業、講座を開催する。 ・既存事業について、現状に合わせた実施方法を地区住民と検討し開催する。 ・公民館が高齢者の居場所づくり、仲間づくりの拠点となる。	・手づくり教室（縄ない、しめ縄づくりの指導）、クラブ活動の支援に地域の人財を学習の場面に投入するＣＳ事業を展開した。 　また、中山地区文化祭では、地区内の中学生にステージ発表での司会進行を依頼し、世代を超えて協力し合い文化祭を行うことができた。 ・８月に「なかやま夏まつり」「親子で工場見学」12月に「餅つき大会」を開催した。多くの子ども、若者の参加があったが、一過性のものにせず継続して事業を行っていく。 ・昨年度から高齢者から子どもまで参加できる「モルック大会」を開催し、地区住民の交流の場となっており、継続していく。 ・高齢化率が高い地区であり、買物弱者も多いため、気軽に買い物やおしゃべりを楽しめる「なかやまでお買い物」を開催し、高齢者の居場所づくりに繋がった。

項目	学級講座・学習会等									地域事業			公民館委員会・各種会議等	ＣＳ
	人権平和	福祉健康	子育て	地域文化	環境	趣味教養	スポーツ	防災	その他	体育	文化	その他		
事業数	0	3	2	3	0	3	0	0	3	3	1	1	4	1
延べ参加人数	0	120	130	300	0	780	0	0	320	310	300	150	427	100

令和６年度　事業報告

中山公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	ＣＳ
花桃ウォーキング	4月19日	1回	福祉健康	高齢者	20人	【内容】 地区住民の健康増進、体力アップのため阿智村の花桃を眺めながらウォーキング事業を実施するもの 【ねらい】 地区住民の健康増進、体力アップ、交流	【準備過程】 館長、主事で下見を実施し、高齢者も歩きやすい平坦なコースを選定した。	【評価と反省】 普段は、一人でウォーキングしている方も、他の参加者と交流することができた。 【今後の方針等】 福祉ひろば事業と重なる部分も多いことから、ひろばと連携し、定期的な運動の機会提供を継続したい。	
高齢者健康のつどい	6月4日	1回	福祉健康	高齢者	100人	【内容】 高齢者対象で、健康相談や軽い体操、アトラクションを楽しみ、食事をして交流する。 【ねらい】 高齢者の健康づくり、親睦を図る。	【準備過程】 地区のボランティア団体と福祉ひろば、公民館とで打ち合わせを実施し、開催内容を決定 【共催団体等】 白ゆり会、福祉ひろば	【評価と反省】 多くの参加があり、高齢者の交流の場となった。 【今後の方針等】 今後も地域高齢者に楽しんでいただけるような内容になるよう関係団体と意見交換し充実させていきたい。	
親子で工場見学	8月6日	1回	子育て	青少年	30人	【内容】 夏休み期間に小学生の親子を対象として長野市にあるホクトへ工場見学に行った。 【ねらい】 小学生の学びの場の提供	【準備過程】 ・保健師と小学生にも伝わる食育についての学習の準備等 ・小学校へチラシを配布し周知を行った。	【評価と反省】 13組の親子の参加があり、エリンギができるまでの過程や、世界には12,000種類のキノコがあることなど、たくさんのことを学ぶことができた。 【今後の方針等】 多くの継続を求める声があったため、今後も開催していく。	
なかやま夏まつり	8月9日	1回	地域事業（その他）	成人	150人	【内容】 公民館で、地区全体の夏まつりを開催した。 【ねらい】 納涼祭を行っている町会もあるが、地区全体での開催がなかったため、地区住民の交流の場とするため。	【準備過程】 町会連合会含め地区の各種団体とで打ち合わせを実施し、開催内容を決定 【共催団体等】 町会連合会含め地区の各種団体と共催	【評価と反省】 飲食ブースが多くあったため、多くの子ども、若者の参加があった。 ボランティア不足のため、今後、積極的に中学生等に声をかけていく必要がある。 【今後の方針等】 多くの継続を求める声があったため、今後も開催していく。	
夏休み自習室	8月 5日 ～8月22日		その他	青少年	10名	【内容】 小・中学校、高校の夏休み期間中、視聴覚室を学習室として開放するもの 【ねらい】 家庭では中々身に付きづらい学習習慣の定着	【準備過程】 学校にチラシを配布し、周知を行った。	【評価と反省】 近隣の小・中学校、公民館だよりで呼びかけを行ったが、参加者は10名ほどに留まった。 【今後の方針等】 静かで集中できる環境であるため、活用してもらえるよう、更に周知を強化したい。	

令和６年度　事業報告

中山公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	ＣＳ
第49回東南ブロック球技大会	8月25日	1回	地域事業（体育）	成人	150人	【内容】 バレー、バトミントン、卓球、ソフトバレー、マレットゴルフ、軟式野球の６種目による６地区対抗競技 【ねらい】 他地区住民との親睦を目的とするもの	【主管】 東南ブロック球技大会実行委員会 【準備過程】 実行委員会で企画、準備、実施	【評価と反省】 各地区の交流の場として実施できている。運営面での人員不足等課題があるため、各地区協力をしていきたい。 【今後の方針】 東南ブロックでの主催となる数少ない体育行事として他地区との交流の推進を図る。	
2024なかやま体験フェスタ	9月21日 9月22日	1回	その他	その他	300人	【内容】 中山地区は市内でも少子高齢化が進んでいる地区だが、令和元年度に作成した地区紹介カタログを元に地区内外の交流人口の増加を目的に体験型ワークショップのイベントを立ち上げた。 【ねらい】 地区内外の交流人口による地域活性化	【準備過程】 地域づくり協議会地域活性化部会で準備会、プロジェクト会議を重ね、プログラムの選定を行った。 【共催団体等】 地域づくり協議会地域活性化部会	【評価と反省】 ２日間中山各地でワークショップを分散型で行った。松本大学の学生２名にプロジェクトに参加してもらい、学生主体のワークショップ、動画撮影等を協力いただいた。昨年度から「稲刈り体験」「そば打ち体験」を新たに実施し、より中山地区を知ってもらう機会となった。 【今後の方針等】 運営面での高齢化、人手不足の課題があるため、松本市内の大学等へ協力を要請する。また、周知方法も検討していく必要がある。	
第２回中山地区モルック大会	10月12日	1回	地域事業（体育）	成人	100人	【内容】 子どもから高齢者までが参加し、楽しめるモルック大会を開催した。 【ねらい】 スポーツを通じて健康増進を図りながら、地区住民が相互の親睦を深めることにより地域づくりの基礎とする。 また、従来の運動会ではなく、自由に参加できるモルック大会へと変更した。	【準備過程】 公民館体育委員が中心となり、実行委員会を組織。企画、運営等を行う。 【共催団体等】 町会連合会含め地区の各種団体と共催	【評価と反省】 事前周知や、福祉ひろばでもモルックを行っていたため、高齢者から子どもまで多くの参加があった。 子どもと高齢者の交流の場となった。 【今後の方針等】 好評だったため、来年度も継続して開催していく。	
第67回松本市市民スポーツ大会秋季大会	10月13日	1回	地域事業（体育）	成人	60人	【内容】 市民スポーツ大会に際し中山地区団を結成し、軟式野球、ゲートボール、卓球、マレットゴルフの種目の試合に出場する。 【ねらい】 地区内における団結力、交流の促進を図る。	【準備過程】 選手団の結団式、解団式は簡素化し、応援を体育委員に依頼した。 【共催団体等】 町会連合会	【評価と反省】 体育委員の方の応援もあったため、競技参加者からも力がでたという声があがった。 【今後の方針等】 地区内にて選手を確保して積極的に参加する体制を継続したい。	

令和６年度　事業報告

中山公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	ＣＳ
第48回中山地区文化祭	11月 3日 ～11月15日	1回	地域事業 （文化）	成人	300人	【内容】 中山小学校の体育館や駐車場でステージ発表、お楽しみひろば（飲食ブース）を行った。中山公民館で２週間、展示部門を実施した。 【ねらい】 文化の向上を図り、世代を超えた住民相互の触れ合いの場とする。	【準備過程】 公民館文化委員が中心なり、他団体と連携して準備を行った。	【評価と反省】 お楽しみひろば（飲食ブース）は昨年同様。若者の参加も多く、展示部門は展示期間を２週間としたため、普段文化祭へ足を運んだことのない人達も含め、多くの地区住民に作品を観覧いただき、出展者の満足にも繋がった。 【今後の方針等】 今後も地域文化発展を担う一事業として継続させていきたい。	
第43回中山小学校手づくり教室	12月13日	1回	地域文化	青少年	150人	【内容】 地域で冬季に行われている縄ない、しめ縄つくりを地域住民が講師となって、中山小全学年の児童に教える。 【ねらい】 伝統文化の伝承と世代間の交流を図る。	【準備過程】 子ども会育成会が中心となり講師の手配、調整、小学校との打ち合わせを行った。 【共催団体等】 中山小学校、中山地区福祉ひろば	【評価と反省】 子ども会育成会の理事を講師として事前講習会を行い、講師の担い手の確保に努めた。 ６年生には１年生へ指導してもらうことで、学年を超えた交流にもなった。 【今後の方針等】 引き続き人材育成を進めながら、継続させていきたい。	
なかやま餅つき大会	1月11日	1回	地域文化	青少年	50人	【内容】 子どもを対象に、餅つき大会を行った。 【ねらい】 冬で外出が少ない子ども達が参加でき、地区住民の交流の場とすること。	【準備過程】 地区住民へボランティアを要請し、前日準備を行い、子ども達も餅つき体験ができるように準備を行った。	【評価と反省】 参加者全員でお餅を食べることで、交流の場となった。 【今後の方針等】 周知方法を検討し、参加者を募っていく。	
中山映画会	2月22日	1回	その他	その他	20人	【内容】 公民館の大会議室で映画鑑賞会を実施 【ねらい】 住民が気軽に集まれる場所としての認識を図る。	【準備過程】 公民館文化・図書視聴覚委員が上映するものから周知まですべて企画、運営した。	【評価と反省】 各町内公民館、地区内の事業所等にポスターを設置することで、多くの参加があった。 【今後の方針等】 日頃なかなか来館しないような高齢者が、孫を連れて公民館を訪れたりと、世代間交流また家族交流をする良い機会になっている。上映する映画作品により来場者の増減はあるものの、地域住民の集い、居場所づくりを促進するため、今後も継続したい。	

令和６年度　事業報告

中山公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	ＣＳ
父ちゃんの時間ですよ	11月22日 12月19日 1月21日 2月20日	4回	趣味教養	高齢者	60人	【内容】 料理講座、健康体操などを行った。 【ねらい】 ふれあい健康教室等の福祉ひろば事業への出席率が低い、男性をターゲットにして運動習慣の定着、事業への参加意欲を図るもの	【共催団体等】 福祉ひろば、社協中山支会と共催	【評価と反省】 より多くの男性が気軽に集まれる場にし、健康増進を図れるよう講座を企画。地区住民同士の交流を図った。 【今後の展開】 継続して事業を行っていく。	
なかやまでお買い物	6月20日 12月 3日	2回	福祉健康	高齢者	80人	【内容】 松本市内の事業者に依頼し、移動販売を行った。また、中山地区で活動する「コーヒを楽しむ会」に依頼しコーヒの提供も行った。 【ねらい】 高齢者の居場所づくり、買い物弱者支援対策のため。	【準備過程】 社会福祉協議会職員と中山地区福祉対策部会員と打合せをした。	【評価と反省】 町内公民館で開催したことにより、買い物に行けない住民の参加や、交流の場となった。 【今後の展開】 今後も継続して開催していく。	
木工講座	月2回ずつ実施	24回	趣味教養	成人	240人	【内容】 昨年に引き続き、木の小物づくりからスタートして木工のスキルを磨き、家庭内の簡単な修繕や趣味のひとつとしてコロナ禍でのおうち時間を充実させることを目的に企画したもの 【ねらい】 コロナ禍で家に引きこもってしまい、無為な時間を過ごす懸念があったことから、趣味として木工に携わり、家庭内の生きがいのひとつにしてもらうことを狙いとした。	【準備過程】 今年度も、館長が講師になり、参加者全員でテーブル、ベンチを作成した。 その後は参加者ごとに様々なものを作成し、分からない部分は館長と相談しながら作業を行った。	【評価と反省】 地区外からの参加者も増え、参加者全員で１つの作品を作成することもできた。 【今後の方針等】 参加者は木工が趣味のひとつとして定着しつつあるため、館内での常設展示や地区文化祭等で展示でより多くの人に見て興味をもっていただき、参加者増や地区内でサークルとなるような取り組みに繋げる。	
ウクレレ講座	月2回ずつ実施	24回	趣味教養	成人	480人	【内容】 気軽にはじめられる趣味のひとつとしてウクレレ講座を実施 【ねらい】 昨年に引き続きコロナ禍で家に引きこもってしまい、無為な時間を過ごす懸念があったことから、趣味として音楽に携わり、家庭内の生きがいのひとつにしてもらうことを狙いとした。	【共催団体等】	【評価と反省】 当初の狙い通り、コロナ禍でのおうち時間の過ごし方のひとつとして、興味をもって参加してくれている。 また、地区外の参加者も増え、文化祭で発表することもできた。 【今後の方針等】 地区文化祭やふれあい健康教室などを発表の場とすることで、更に参加者のやりがいが増進するような仕掛けを講じる。	

令和６年度　事業報告

中山公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	ＣＳ
ＣＳ事業クラブ活動支援	5月～1月	7回	地域文化	その他	100人	【内容】 中山小学校のクラブ活動支援として地域講師に依頼する。 【ねらい】 地域と学校、家庭と積極的に連携して、一体となって子どもを育てる。	町会連合会	【評価と反省】 本年度は卓球、パソコン、理科実験、スポーツ、写真、の６つのクラブで４～６年生を指導した。 【今後の方針等】 これまでのような講師謝礼という財政的支援のみにならず、地域とのつながりを深められるような内容を引き続き検討していきたい。	○
ワイワイ子育て	5月～1月	7回	子育て	家庭教育	100人	【内容】 パン作り、読み聞かせ等の７回の講座を通じて、親同士、子ども同士が楽しみながらふれあう。 【ねらい】 親、子ども同士の交流、地域とのつながりを図る。	【準備過程】 社協中山支会、福祉ひろばとともに企画した。 【共催団体等】 各回ごとに地区内各種団体におやつ作りを依頼。	【評価と反省】 少子化の進行もあり参加者は毎年減少傾向にあるが、参加者同士、地域との交流を促すことはできている。 ママ友などのネットワークから、地区外からも参加を希望する方がおり、積極的に受け入れた。 【今後の方針等】 地域における子育て支援として今後も継続していきたい。	
公民館専門委員会	通年	25回	公民館委員会・各種会議等	成人	200人	公民館事業の企画・運営のため開催 ①運営委員会②館報編集委員会③体育委員会④文化委員会⑤図書視聴覚委員会		【今後の方針等】 引き続き委員会の主体的な活動を促し、地域の活性化を図っていきたい。	
地域づくり協議会活動支援	通年	10回	公民館委員会・各種会議等	成人	120人	地域づくり協議会の活動支援、連携強化を図る。 ①運営委員会②地域活性化部会③防災環境保全対策部会④福祉対策部会		【今後の方針等】 さらに連携を強め、地域づくりを進めていきたい。	
町内公民館長会活動支援	通年	4回	公民館委員会・各種会議等	成人	20人	町内公民館長会の活動支援、連携強化を図る。		【今後の方針等】 さらに連携を強め、地域づくりを進めていきたい。	
子ども会育成会支援	通年	9回	公民館委員会・各種会議等	成人	87人	子ども会育成会の活動支援、連携強化を図る。		【今後の方針等】 さらに連携を強め、地域づくりを進めていきたい。	

令和６年度　事業報告の概要

島立公民館

方針・地域課題・重点的に取り組んだ事項等	評価・反省等
【方針・地域課題】 1　芸術文化祭・福祉ひろばまつり 　公民館最大の行事である島立地区芸術文化祭・福祉ひろばまつりについて、参加者の主体性を促しながら、誰もが気軽に参加でき、交流できる機会の創出を目指す。公民館・福祉ひろばサークル、地元小中学校の日頃の活動成果の発表の場を整える。 2　中央公民館重点施策・推進施策について 　若者の多様なニーズに対応できる魅力ある居場所づくりと環境づくりを進め、交流を通じて他者との関係性の構築や学び直し支援を進めることで、互いを尊重し、社会を生き抜く力を醸成する。事業推進にあたり、主に小中学生にスポットを当て、地区内関係団体や関係課と連携し、学びや遊びを通じて子どもの居場所づくりを進める。	1　芸術文化祭・福祉ひろばまつり ・島立体育館に会場を集約し、ステージ発表と作品展示を実施した。作品を展示した個人・団体にとっては年に一度の展示発表の機会となった。また、地元小中学校ブラスバンド部、吹奏楽部や公民館利用サークルの活動成果の発表の機会を創出できた。子どもたちやサークル会員が生き生きと発表する姿を保護者をはじめ来場者にも見ていただくことができた。新たに出演・出展される個人・団体が増え、大きな盛り上がりを見せた。 2　中央公民館重点施策・推進施策について ・大学、ＮＰＯ、子育てサークル、有志ボランティアと協働し、こどもの居場所づくり支援を行った。継続的に実施することで認知度も増し、多くの子どもたちが利用するようになった。 ・小中学校の長期休業中に学習スペースを開放し、子どもの居場所づくり支援を行った。 ・毎月開催される町内公民館長会を各町内公民館で実施し、町会独自の特色や課題を共有した。

項目	学級講座・学習会等									地域事業			公民館委員会・各種会議等	ＣＳ
	人権平和	福祉健康	子育て	地域文化	環境	趣味教養	スポーツ	防災	その他	体育	文化	その他		
事業数	1	0	9	0	1	3	1	0	2	7	1	1	1	1
延べ参加人数	353	0	1402	0	11	34	365	0	66	1040	675	0	317	48

令和６年度　事業報告

島立公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	ＣＳ
救急救命講習会	5月11日	1回	その他	成人	13人	【内容】 町会役員、町内公民館役員、スポーツ協会役員を対象に普通救命講習を行うもの 【ねらい】 地区のスポーツ大会や公民館事業実施中等における、緊急時人命救助の初動対応力の向上	【準備過程】 スポーツ協会三役会（スポーツ委員会）、理事会で内容を検討 【共催団体等】 ・島立地区スポーツ協会（スポーツ委員会） ・島立地区町内公民館長会（企画委員会）	【評価と反省】 スポーツ協会三役会（スポーツ委員）が中心に参加し、緊急時の対応方法を身につけることができた。 【今後の方針】 いざという時のために定期的に手順を確認することが大切であるため、今後も継続して開催したい。	
町会対抗卓球・ソフトバレーボール大会	5月19日	1回	地域事業（体育）	成人	100人	【内容】 地区内10町会対抗で、卓球、ソフトバレーボールの大会を行うもの 【ねらい】 地域住民の体力向上を図るとともに、親睦を深める。	【準備過程】 ・スポーツ協会三役会、理事会で内容を検討 ・町内公民館長に協力を依頼 【共催団体等】 ・島立地区スポーツ協会 ・島立地区町内公民館長会	【評価と反省】 ねらいどおり事業が実施できたが、全町会が参加できなかったのは残念であった。（卓球７町会、ソフトバレー６町会） 【今後の方針】 全町会が参加できるように参加資格を見直し、事業を継続したい。	
町会対抗ゲートボール大会	6月23日	中止	地域事業（体育）	成人	0人	【内容】 地区内10町会対抗で、ゲートボールの大会を行うもの 【ねらい】 地域住民の体力向上を図るとともに、親睦を深める。	【準備過程】 ・スポーツ協会三役会、理事会で内容を検討 ・町内公民館長に協力を依頼 【共催団体等】 ・島立地区スポーツ協会 ・島立地区町内公民館長会	【評価と反省】 雨天のため中止とした。 【今後の方針】 共催団体等と連携し、事業を継続したい。	
町会対抗野球・マレットゴルフ大会	7月28日	1回	地域事業（体育）	成人	150人	【内容】 地区内10町会対抗で、野球、マレットゴルフの大会を行うもの 【ねらい】 地域住民の体力向上を図るとともに、親睦を深める。	【準備過程】 ・スポーツ協会三役会、理事会で内容を検討 ・町内公民館長に協力を依頼 【共催団体等】 ・島立地区スポーツ協会 ・島立地区町内公民館長会	【評価と反省】 ねらいどおり事業が実施できたが、野球については酷暑のため急遽試合数を変更することになった（減らした） 【今後の方針】 開催時期の変更、酷暑対策を講じながら、事業を継続したい。	
河西部球技大会	8月25日	1回	地域事業（体育）	成人	150人	【内容】 松本市長杯争奪球技大会予選を兼ねて、河西部地区対抗で軟式野球・ママさんバレー・卓球の大会を行うもの 【ねらい】 河西部４地区住民の体力向上、健康の増進、スポーツの振興、住民相互の親睦を図る。	【準備過程】 合同打ち合わせ会議にて、内容を検討 【共催団体等】 ・河西部４地区公民館 ・河西部４地区スポーツ協会	【評価と反省】 ・島内地区が当番で開催した。 ・軟式野球、卓球の２種目開催となったが、大勢が参加し、各地区の交流・親睦を深める場となった。 【今後の方針】 ４地区のスポーツを通した親睦という点に重点を置いて、毎年の恒例行事として継続して開催する。	

令和６年度　事業報告

島立公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	ＣＳ
町会対抗ソフトボール大会	9月8日	1回	地域事業（体育）	成人	130人	【内容】 地区内10町会対抗で、ソフトボールの大会を行うもの 【ねらい】 地域住民の体力向上を図るとともに、親睦を深める。	【準備過程】 ・スポーツ協会三役会、理事会で内容を検討 ・町内公民館長に協力を依頼 【共催団体等】 ・島立地区スポーツ協会 ・島立地区町内公民館長会	【評価と反省】 全町会が参加し、ねらいどおり事業を実施できた。 【今後の方針】 共催団体等と連携し、事業を継続したい。	
公民館講座 苔テラリウム講座	9月30日	1回	趣味教養	成人	13人	【内容】 地区住民からの要望により、苔テラリウム制作の講座を実施するもの 講師：グリーンアドバイザー竹下さん 【ねらい】 教養を高め、地域住民の親睦を深める。	【準備過程】 ・女性委員会で内容を検討 ・島立地域だよりで内容を周知し、参加者を募集 【共催団体等】 女性委員会	【評価と反省】 ねらい通り事業を実施できた。 【今後の方針】 地域住民の要望を聞きながら、講座の開催を検討していく。	
島立スポーツフェスティバル	10月20日	1回	地域事業（体育）	成人	430人	【内容】 地区住民を対象に町会対抗で運動会形式の各種競技、抽選会、ニュースポーツ体験会及び健康チェックなどを行うもの 【ねらい】 スポーツを通して地区住民の親睦、健康増進と共に、地域づくりの推進を図る。	【準備過程】 ・実行委員会を組織し、内容を検討 ・プログラムを全戸配布し、開催内容を周知 【共催団体等】 ・島立地区スポーツ協会 ・島立公民館専門委員会 ・島立地区町会連合会	【評価と反省】 ５年ぶりの開催であったが、ねらいどおりの事業を実施できた。 【今後の方針】 共催団体等と連携し、事業を継続したい。	
ハロウィン運動会	10月30日	1回	子育て	家庭教育	47人	【内容】 未就園児の子どもとその親を対象に軽度な運動を取り入れた運動会を実施するもの 【ねらい】 参加者同士の親睦と交流を図り、子育て世代の情報交換の場とする。	【共催団体等】 ・福祉ひろば ・つどいの広場	【評価と反省】 参加した親子はハロウィンの仮装をしたり、のびのびと運動を楽しめた。 【今後の方針】 共催事業として継続実施できるよう検討する。	

令和６年度　事業報告

島立公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	ＣＳ
島立地区作品展示発表会（島立地区芸術文化祭・島立地区福祉ひろばまつり）	11月 9日 11月10日	1回	地域事業（文化）	その他	675人	【内容】 地区文化活動者の発表（ステージ発表、展示発表）、公民館活動功労者表彰、各種体験会などを行う。 【ねらい】 地区文化活動者や福祉ひろば利用者の発表の場、また住民が一堂に集う場を提供することで、活動者がより生きがいを持って文化活動を行なうこと、その他の参加者が身近な文化・芸能に触れ、新たな文化活動の担い手となること、また住民同士の交流、親睦を深めることを目的に開催する。	【準備過程】 ・地区内関係団体と内容を検討 ・また、福祉ひろばまつりと共催のため、福祉ひろばと内容を検討 【共催団体等】 ・島立公民館専門委員会 ・島立福祉ひろば	【評価と反省】 新規出展者、出演者も増え、参加者同士の交流を図ることができた。 【今後の方針】 ・毎年の恒例行事として今後も福祉ひろばと協力しながら継続して開催する。 ・各種団体と連携しながら、より良い文化祭となるよう内容を検討する。	
公民館講座 おいしいコーヒーの淹れ方	11月21日	1回	趣味教養	成人	12人	【内容】 コーヒーショップ店主を講師に招き、おいしいコーヒーの淹れ方を学ぶ。 講師：カフェシュトラッセ　児玉さん 【ねらい】 教養を高め、地域住民の親睦を深める。	【準備過程】 ・女性委員会で内容を検討 ・島立地域だよりで内容を周知し、参加者を募集 【共催団体等】 女性委員会	【評価と反省】 ねらい通り事業を実施できた。 【今後の方針】 地域住民の要望を聞きながら、講座の開催を検討していく。	
クリスマス会	12月18日	1回	子育て	青少年	58人	【内容】 未就園児の子どもとその親を対象にコンサートを中心としたイベントを開催するもの 【ねらい】 参加者同士の親睦と交流を図り、子育て世代の情報交換の場とする。	【共催団体等】 ・島立福祉ひろば ・つどいの広場	【評価と反省】 ねらいどおり事業を実施できた。 【今後の方針】 ３館共催事業として今後も継続開催する。	
町会対抗モルック大会	2月2日	1回	地域事業（体育）	成人	80人	【内容】 地区内10町会対抗で、モルックの大会を行うもの 【ねらい】 地域住民の体力向上を図るとともに、親睦を深める。	【準備過程】 ・スポーツ協会三役会、理事会で内容を検討 ・町内公民館長に協力を依頼 【共催団体等】 ・島立地区スポーツ協会 ・島立地区町内公民館長会	【評価と反省】 ねらいどおり事業を実施できた。 【今後の方針】 共催団体等と連携し、事業を継続したい。	

令和６年度　事業報告

島立公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	ＣＳ
島内・島立ふれ愛コンサート	2月9日	1回	人権平和	成人	353人	【内容】 島内、島立の２地区合同で人権をテーマとしたコンサートを行うもの 【ねらい】 ・人権問題の解決に向けた取組みが重要性を増している中、誰もが幸せな日々を過ごせるよう福祉のまちづくりに精力的な活動の展開につなげる。 ・人権が尊重され、誰もが明るく幸せに暮らせる地域づくりを進めることを目的に開催する。	【準備過程】 ・両地区の人権啓発推進協議会で実行委員会を組織し、内容を検討 ・島立地域だよりで開催内容を周知 【共催団体等】 島内・島立ふれ愛コンサート実行委員会	【評価と反省】 ・人権感覚を磨く機会とすることができた。 ・小中学生の活動発表の場を創出し、音楽を通じて児童生徒と地域住民が繋がる場となった。 【今後の方針】 子どもの成長を地域全体で見守り、誰もが明るく幸せに暮らせる地域を目指して継続実施する。	
公民館講座 キレイと健康を！ 女性のストレッチ講座	2月15日	1回	趣味教養	女性	9人	【内容】 ・女性を対象としたストレッチ講座を開催するもの （講師：健康運動指導士 丸山さん） 【ねらい】 ・健康意識を高め、地域住民の親睦を深める。	【準備過程】 ・女性委員会で内容を検討 ・島立地域だよりで内容を周知し、参加者を募集 【共催団体等】 ・女性委員会	【評価と反省】 ・ねらい通り事業を実施できた。 【今後の方針】 ・定期的な開催の希望があったため、事業の継続を検討していく。	
大きくなったね会	3月7日	1回	子育て	家庭教育	58人	【内容】 来年度から保育園に入園する子どもを含めたつどいの広場利用者を対象に寸劇を中心としたイベントを開催するもの 【ねらい】 参加した親子にコンサートなどを楽しんでもらうとともに、皆で今年度の子どもたちの成長を祝う。	【共催団体等】 ・福祉ひろば ・つどいの広場	【評価と反省】 寸劇を行い、新年度に入園する子どもたちを中心に楽しんでもらい、送り出すことができた。 【今後の方針】 ３館共催の事業として今後も継続して開催する。	
春休み学習スペース開放	3月18日 ～3月31日	9回	子育て	家庭教育	15人	【内容】 小・中学校の長期休業に合わせ、学習スペースを開放するもの 【ねらい】 小・中学生の居場所づくりとする。	【準備過程】 地区内の小学校にチラシを配布し、周知	【評価と反省】 利用者、保護者からも好評であった。 【今後の方針】 事業の継続を検討していく。	
夏休み学習スペース開放	7月24日 ～8月26日	23回	子育て	家庭教育	70人	【内容】 小・中学校の長期休業に合わせ、学習スペースを開放するもの 【ねらい】 小・中学生の居場所づくりとする。	【準備過程】 地区内の小学校にチラシを配布し、周知	【評価と反省】 利用者、保護者からも好評であった。 【今後の方針】 事業の継続を検討していく。	

令和６年度　事業報告

島立公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	ＣＳ
島立っ子　森・杜探検隊～自然体験学習チーム～	7月28日 10月14日 11月24日 3月26日	4回	子育て	青少年	145人	【内容】 地区内の小学生及びその保護者を対象に自然体験学習を行うもの 【ねらい】 児童の自然への畏敬の念を強め、思いやりの心を醸成につなげる。	【準備過程】 専門講師を交えて、打合せを行い内容を検討 【共催団体等】 ・自然体験学習チーム ・子ども会育成会	【評価と反省】 ・日常では本格的に体験できない自然体験を通して仲間同士の協調性や主体性を育んだ。 ・運営側の人数確保、完全ボランティアなど、活動の継続性について検討が必要。 ・活動のさらなる周知方法について検討する。 【今後の方針】 運営側の人数確保については、ＰＴＡ、小中学校、大学、町会との連携などを視野に検討する。	
しまだちフードドライブ	8月16日 11月25日	2回	環境	その他	11人	【内容】 市内の子ども食堂を応援するためのフードドライブを実施するもの 【ねらい】 子ども食堂並びに食品ロスの啓発	【準備過程】 島立地域だよりで内容を周知 【共催団体】 ＮＰＯ法人ホットライン信州	【評価と反省】 多くの食料品等の寄付をいただき、食品ロスの削減につなげることができた。 【今後の方針】 不定期開催となるが、事業の継続を検討する。	
親子フィットネス	5月～3月	11回	子育て	その他	242人	【内容】 健康運動士資格所持の講師を招き、主に地区住民を対象に親子で仲間と一緒に運動するもの 講師：健康運動指導士　小布施さん 【ねらい】 親子で一緒に運動する機会を創出し、地区住民の健康増進と交流を図る。	【準備過程】 児童センター等にチラシを配置し、内容を周知し、参加者を募集 【共催団体等】 ・つどいの広場 ・主任児童委員	【評価と反省】 ねらいどおり事業が実施できた。 【今後の方針】 共催団体等と連携し、事業を継続したい。	
ゆいま～る子どもひろば支援	5月～3月	11回	子育て	家庭教育	719人	【内容】 ・地区内の小学生を対象とした放課後の居場所づくりをするもの 【ねらい】 ・学習、あそび及び食料等を支援し、子どもたちの放課後の居場所の選択肢を増やす。 ・多様な体験を通し、地域づくりに貢献する。	【準備過程】 ・開催前に実行委員会で打合せを行い、内容を検討 ・決定した内容をチラシで地区内小学校に配布し、周知し、参加者を募集 【共催団体等】 ・ＮＰＯ法人ホットライン信州 ・松本大学 ・おやこクラブてるてる ・地区内ボランティア有志	【評価と反省】 ・ねらいどおり事業を実施できた。 【今後の方針】 ・地区内ボランティア有志の更なる拡充に重点を置く。	

令和６年度　事業報告

島立公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	ＣＳ
公民館講座 エンディングノートを作成してみよう！	10月～12月	8回	その他	成人	53人	【内容】 司法書士等を講師に招き、万が一に備え、家族に必要な情報を残すためのノートを作成する講座 【ねらい】 これまでの人生を振返り、これからの人生を考えるきっかけ作りにする。	【準備過程】 島立地域だよりで内容を周知し、参加者を募集 【共催団体等】 ・松本市社会福祉協議会 ・包括支援センター ・島立地区生活支援員	【評価と反省】 ねらい通り事業を実施できた。 【今後の方針】 地域住民の要望を聞きながら、講座の開催を検討していく。	
スポーツをしよう（青少年の居場所事業）	毎月 第4金曜日	11回	スポーツ	青少年	365人	【内容】 地区体育館を開放し、スポーツを各々楽しんでもらうもの 【ねらい】 だれでも気軽にスポーツを楽しめる環境づくりを目指す。	【準備過程】 島立地域だよりで内容を周知 【共催団体等】 ・こども育成課 ・島立地区スポーツ協会	【評価と反省】 ねらいどおり事業を実施できた。 【今後の方針】 運営側の負担が大きいため、開催時間の縮小し、事業の継続を検討する。	
コミュニティスクール事業	通年	3回	子育て	青少年	48人	【内容】 各学校のＣＳ運営委員会に参画、予算執行管理、クラブ活動等講師紹介などを行う。 【ねらい】 地域全体での子育てにつなげる。	【準備過程】 島立地域だよりで内容を周知、ボランティア等の協力者を募集 【共催団体等】 ・高綱中学校 ・松島中学校 ・島立小学校 ・各学校ボランティア	【評価と反省】 中学校キャリア学習の地区内講師を１人派遣した。生徒と語る会、ＣＳ運営委員との語る会に参加し交流、意見交換を行った。 【今後の方針】 ・地域と学校の双方向の交流、子どもの主体的なかかわりを意識して取り組んでいく。 ・現在の活動の継続と見直しを行う。	○
公民館専門委員会	通年	5回	公民館委員会・各種会議等	成人	317人	【内容】 企画委員会、館報編集委員会、スポーツ委員会、文化図書委員会、女性委員会により公民館事業の企画、運営を行う。	【準備過程】 各部門ごと随時開催	【今後の方針】 委員の主体的な活動を促し、地域の活性化を図っていく。	
島立地域だよりの発行	通年	12回	地域事業（その他）	成人		【内容】 公民館だより、福祉ひろばだより、体協だよりを統合した島立地域だよりを毎月発行し、地区内全戸配布するもの 【ねらい】 地域住民が公民館、福祉ひろば他、地域の催しや情報を得やすくするもの	【準備過程】 福祉ひろば、スポーツ協会と内容について相談の上、決定	【評価と反省】 見やすい紙面づくりを心がけ、ホームページでも引き続き公開している。 【今後の方針】 紙面の見直しなどにより見やすい紙面づくりを心がけ、地区内の組織団体等と連携しながら多種多様な情報を掲載し、さらなる利便性の向上を図る。	

令和６年度　事業報告の概要

新村公民館

方針・地域課題・重点的に取り組んだ事項等	評価・反省等
【方針・地域課題】 １　公民館事業への参加者の固定化を改善し、より多くの住民が参加できるような魅力ある事業の企画・運営を行う。 ２　「地域の子どもは地域で育てる」を目標に、地区住民や関係機関（小学校、中学校、大学、子ども会育成会）と連携・協働し、松本版コミュニティースクール事業の推進を中心に、子ども達の地域に対する愛着形成を図る。 ３　子どもからお年寄りまで幅広い年代の住民対象に、地域の歴史や文化への興味・関心を高めるため、「新村文化財保存会」や「あたらしの郷協議会」と連携を図り、講座等の事業を展開していく。 【重点的に取り組んだ事項】 １　「ものぐさ大学」や「あたらしの郷協議会」と連携を図り、視察研修や講演会を開催した。 ２　昨年度に続き、コミュニティスクール事業として、小学生を対象とした書道教室を夏と冬に開催。育成会主催事業として「新村ちびっ子夏祭り」を開催。育成会役員が企画・運営を行い、ボウリングや謎解きなど手作り感溢れる内容で、多くの児童が参加した。 ３　夏休みの小学生を対象に「公民館寺子屋」を開催。地域住民が先生役となりながらも、子どもたちは各自でその日の目標を立てて自主的に勉強に取り組んだ。勉強時間の後にはレクリエーションとして塗り絵の技法やダンスなどを学ぶ時間をとった。	恒例となっているバスを使った施設見学の事業や、写経、生け花などの成人向け事業は好評で、常連の参加者に加えて新規の参加者もあった。しかし、一回の事業の中で、一見の参加者と他の参加者との懇親を深めたりするところまでは至らず、単発の参加に留まってしまうところがあった。 夏休みや冬休みに行った小学生向けの事業では、子ども会育成会の役員を務める世帯の子どもの参加が多かった。対象は小学生ではあるが、児童が参加するには保護者が在宅している必要があり、共働き世帯には参加が難しい面があった。また、参加する児童は固定的であり、子育てに関する意識の偏りも感じた。 スポーツ関連の地域事業については、参加したチームでは懇親を深めている様子が見て取れたが、その裏では役員が参加者集めに苦労していたり、参加者が集まらずに出場できない町会があるなど、事業の継続を望む声と廃止を望む声が混在していた。

項目	学級講座・学習会等									地域事業			公民館委員会・各種会議等	ＣＳ
	人権平和	福祉健康	子育て	地域文化	環境	趣味教養	スポーツ	防災	その他	体育	文化	その他		
事業数	2	2	4	4	2	15	1	0	2	7	1	6	11	6
延べ参加人数	316	15	218	180	147	489	10	0	40	528	400	485	1228	388

令和６年度　事業報告

新村公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	ＣＳ
ものぐさ大学 自然観察会	4月30日	1回	環境	成人	27人	【内容】 小谷村　塩の道をガイドと歩く。 【ねらい】 自然観察会を通じて自然環境に関心を高めるとともに、住民相互の親睦を図る。	【準備過程】 ものぐさ大学理事会にて検討 地区内全戸配布チラシで周知 【協力】 白馬アルプスホテル	【評価と反省】 現地ガイドに案内を依頼したことで、自然・環境、歴史への理解が深まった。 【今後の方針】 次年度も現地ガイドに案内を依頼し、自然・環境等への理解がより深まるよう内容を工夫していきたい。	
芝沢小学校３年生 「地域探検」	5月8日	1回	地域文化	青少年	70人	【内容】 芝沢小学校３年生が地域を巡り、歴史や文化、地域等について学ぶ。 【ねらい】 地域探検を通じて、地域への愛着形成を図る。	【準備過程】 福祉ひろば 【協力】 芝沢小学校	【評価と反省】 公民館長から公民館・出張所の職員が普段どのような仕事をしているか、それがどのように住民の生活に役立っているのか説明がされた。また、職員による「ものぐさ太郎」の紙芝居が披露された。 【今後の方針】 次年度も学校から要望があれば、対応するようにしたい。	
町会対抗球技大会 （ソフトボール、ソフトバレーボール）	5月19日	1回	地域事業 （体育）	その他	100人	【内容】 町会対抗で球技大会を実施する。 ≪種目≫ ソフトボール・ソフトバレーボール 【ねらい】 球技大会を通じて、地区住民の健康増進や体力の向上、住民相互の親睦を図る。	【共催団体】 ・新村体育協会 ・町会連合会 ・町内公民館長会	【評価と反省】 ５年ぶりに開催することができた。ソフトボール７町会、ソフトバレーボール８町会が参加し、親睦を深めることができた。 【今後の方針】 次年度も引き続き、関係団体と連携を図りながら、開催していきたい。	
公民館講座 写経会	6月27日	1回	趣味教養	成人	16人	【内容】 地区内にある専称寺で写経会を開催 【ねらい】 写経会を通じて、歴史や文化に対する関心を高め、住民相互の親睦を図る。	【準備過程】 地区内全戸配布チラシで周知 【共催団体】 ものぐさ大学理事会	【評価と反省】 「一枚起請文」を１字ずつ丁寧に経文を書き写した。写経の目的について詳しい説明を受け、写経に対する理解がより深まった。 【今後の方針】 次年度も引き続き、開催していきたい。	

令和６年度　事業報告

新村公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	ＣＳ
新村地区オープン大会（ワンハンドふらばーるバレー）	7月6日	1回	地域事業（体育）	その他	56人	【内容】 オープンで参加者を募り、スポーツ大会を開催する。 ≪種目≫ ワンバウンドふらばーるバレー ≪会場≫芝沢体育館 【ねらい】 大会を通して、地区住民の健康増進や体力の向上、住民相互の親睦を図る。	【準備過程】 地区内全戸配布チラシで周知 【共催団体】 ・新村体育協会 ・町会連合会 ・町内公民館長会	【評価と反省】 今年度は土曜日の開催となったが、計10チームが参加して親睦を深めることができた。 【今後の方針】 次年度も引き続き、開催していきたい。	
公民館寺子屋	7月25日 7月26日	2回	子育て	青少年	42人	【内容】 夏休み中の小学生を対象に、学習支援ボランティアが宿題等の学習活動を支援。支援以外に、有志団体等により体験活動を実施する。 ７月25日　自主学習 塗り絵レクリエーション ≪講師≫松森清昭　氏 ７月26日　自主学習 ダンスレクリエーション ≪講師≫小林美穂　氏 【ねらい】 「地域の子どもは地域で育てる」を実践するため、公民館を会場として子ども達が地域の方々と交流する場を創出する。交流を通して、お互いが学び合い、地域に対する愛着を深める。	【準備過程】 小学校を通じてチラシ配布 【協力】 ・あたらしの郷協議会学びの友部会 ・子ども会育成会	【評価と反省】 地域住民が先生役となりながらも、子どもたちは各自でその日の目標を立てて自主的に勉強に取り組んだ。勉強時間の後にはレクリエーションとして塗り絵の技法やダンスを学ぶ時間をとった。 【今後の方針】 次年度も引き続き、関係団体と連携を図りながら、開催していきたい。	
書道講座	7月29日 7月30日 7月31日	1回	子育て	青少年	28人	【内容】 夏休み中の子ども達を対象に、書道教室を開催する。 【ねらい】 書道を通して、集中力を養う。	【準備過程】 小学校を通じてチラシを配布 【協力】 萩原通伸　氏	【評価と反省】 計11名の児童が参加し、３日間の書道に集中して取り組んだ。学校ではまだ書道が始まっていない１、２年生も初めての書道に親しんだ。 【今後の方針】 次年度も引き続き、開催していきたい。	○

令和６年度　事業報告

新村公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	ＣＳ
親子料理教室	8月9日	1回	子育て	青少年	28人	【内容】 夏休み中の子ども達とその親を対象に、食育事業の一環として料理教室を開催する。 【ねらい】 料理教室を通して、親子間の交流と食に対する理解を深める。	【準備過程】 地区内全戸配布チラシにて周知 【協力】 新村地区食生活改善推進協議会	【評価と反省】 男子５名を含む計13名の児童が参加し、親子で料理を実践した。 【今後の方針】 次年度も引き続き、開催していきたい。	
河西部球技大会	8月25日	1回	地域事業（体育）	その他	120人	【内容】 島内、島立、和田、新村の河西部４地区対抗で競技を実施する。 ≪種目≫軟式野球、卓球（硬式・ラージボール） 【ねらい】 河西部４地区住民の健康増進や体力の向上、住民相互の親睦を図る。	【共催団体】 河西部４地区体育協会	【評価と反省】 今年度は島内地区が当番で開催した。昨年に続きママさんバレーボールは開催せず、軟式野球と卓球のみの開催となり、軟式野球は新村地区と和田地区のみの参加であったが、地区内外の親睦を深めることができた。 【今後の方針】 次年度は新村地区が当番となるため開催内容を検討したい。	
講演会 信州経済の歴史について～信州の絹と綿～	9月19日	1回	趣味教養	成人	22人	【内容】 信州経済の歴史について、専門家を招いて講義を行う。 講師：前松本大学大学院総合経営研究科教授　木村晴壽先生 【ねらい】 地区住民の知識や教養の向上を図る。	【準備過程】 地区内全戸配布チラシにて周知 【共催団体】 あたらしの郷協議会学びの友部会	【評価と反省】 松本大学との連携を生かし、身近ながらあまり聞くことのないテーマについて学習することができた。 【今後の方針】 次年度も、住民の関心のあるテーマを探して開催していきたい。	
講演会 ＡＩは人間を超えられるか～新時代と生きる賢い知恵と目指す方向性と課題について～	10月3日	1回	趣味教養	成人	19人	【内容】 ＡＩの発達と利用方法について、専門家を招いて講義を行う。 講師：松本大学理事・副学長経営情報学科学科長教授　浜崎央先生 【ねらい】 地区住民の知識や教養の向上を図る。	【準備過程】 地区内全戸配布チラシにて周知 【共催団体】 あたらしの郷協議会学びの友部会	【評価と反省】 松本大学との連携を生かし、専門的なテーマについて学習することができた。 【今後の方針】 次年度も、住民の関心のあるテーマを探して開催していきたい。	

令和６年度　事業報告

新村公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	ＣＳ
新の里ウォークラリー2024	10月5日	中止	地域文化	その他	0人	【内容】 新村地区の子どもから高齢者まで幅広い世代を対象に、地区内でウォークラリーを開催。コース内に地区文化財に関するチェックポイントを設け、問題を出題。問題の正解数に応じて、参加記念品を贈呈 【ねらい】 ウォークラリーを通じて、地区の歴史・文化に触れ、地区への愛着を深めるとともに、住民相互の親睦を図る。	【準備過程】 地区内全戸配布チラシにて周知 【共催団体】 ・ものぐさ大学理事会 ・子ども会育成会 ・福祉ひろば	【評価と反省】 チラシを全戸配布、子ども会育成会でも周知を行ったが参加者がなく、２年連続での中止となった。 【今後の方針】 一定の役割を果たし終えたと考え、次年度は開催しない。	
松本市市民スポーツ大会「秋季大会」	10月13日	1回	地域事業（体育）	成人	20人	【内容】 市内35地区が、卓球やソフトバレー等の種目で競う。	【共催団体】 新村体育協会	【評価と反省】 今年度は排球部と野球部が出場した。 【今後の方針】 選手集めをしっかりと行いながら、次年度も出場したい。	
にいむら防災フェスティバル2024	10月13日	1回	地域事業（その他）	成人	300人	【内容】 住民の防災意識の醸成のため、防災フェスティバルを開催する。 【ねらい】 フェスティバルを通じて、防災に対する意識を高めるとともに、住民相互の親睦を図る機会とする。	【共催団体】 ・町会連合会 ・町内公民館長会 ・新村体育協会 ・あたらしの郷協議会 ・民生児童委員協議会 ・松本市社会福祉協議会 ・交通安全協会新村支部 ・消防第11分団 ・防災部、防犯女性部　など	【評価と反省】 昨年度に引き続き２回目の開催。今回はフェスティバル当日朝に町会ごとに安否確認訓練を実施し、避難所となる松本大学で結果を集計した。開催時期は行事が集中しているため分散が必要 【今後の方針】 次年度は時期をずらして実施する。 フェスティバル形式はコンテンツのマンネリ化が課題	
健康料理教室（食改さんと作る！食卓彩る噛み噛みごはん）	10月23日	1回	福祉健康	成人	15人	【内容】 健康への意識を高めてもらうため料理教室を開催する。 【ねらい】 健康に配慮したメニューを参加者同士で調理してもらうことにより、食への理解や健康への意識を高めてもらう。	【準備過程】 地区内回覧チラシで周知 【協力】 食生活改善推進員	【評価と反省】 食改の会員の皆様の指導のもと、健康に配慮したメニューを調理した。町会長など男性も参加し、食と健康について学ぶ料理教室となった。 【今後の方針】 次年度も引き続き、開催していきたい。	

令和６年度　事業報告

新村公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	ＣＳ
講演会 フレイル予防のための食事と運動のあり方について～日常生活に取り入れるフレイル予防～	10月29日	1回	趣味教養	成人	22人	【内容】 フレイル予防について、専門家を招いて講義を行う。 講師 松本大学人間健康学部健康栄養学科 准教授　成瀬祐子先生 スポーツ健康学科　山本薫先生 【ねらい】 地区住民の知識や教養の向上を図る。	【準備過程】 地区内全戸配布チラシにて周知 【共催団体】 あたらしの郷協議会学びの友部会	【評価と反省】 松本大学との連携を生かし、身近なテーマについて座学と実技を交えて学習することができた。 【今後の方針】 次年度も、住民の関心のあるテーマを探して開催していきたい。	
新村文化祭・福祉ひろば祭り	11月2日 11月3日	1回	地域事業（文化）	その他	400人	【内容】 公民館や福祉ひろば利用団体等の活動成果の発表の場として２日間開催する。 【ねらい】 文化祭を通じて、文化活動への関心を高め、住民相互の親睦を図る。	【準備過程】 地区内全戸配布チラシで周知 【共催団体】 文化祭実行委員会	【評価と反省】 作品展示やステージ発表が行われた。ＪＡ新村支所とタイアップしたスタンプラリーも開催され、それぞれの会場を多くの来場者が行き来した。 【今後の方針】 次年度引き続き、関係団体と連携を図りながら、開催していきたい。	
市長杯争奪球技大会	11月4日	1回	スポーツ	成人	10人	【内容】 松本市スポーツ協会主催行事に地区代表として参加する。 【ねらい】 大会を通じて、地区住民の健康の増進や体力の向上、住民相互の親睦を図る。	【共催団体】 新村体育協会	【評価と反省】 今年度は野球部が出場した。ママさんバレーは和田と合同チームで出場し、地区内外で連携を深めることができた。 【今後の方針】 選手集めをしっかりと行いながら、次年度も出場したい。	
新村歴史探訪	11月10日	1回	地域文化	成人	20人	【内容】 地区内を大きく５つのエリア（上新・下新・北新・南新・東新）で分け、エリアごと文化財等について説明を受けながら歩いて巡る。 【ねらい】 歴史探訪を通じて、地区住民の文化財等への関心を高めるとともに、住民相互の親睦を図る。	【準備過程】 地区内全戸配布チラシで周知 【共催団体】 ・新村文化財保存会 ・あたらしの郷協議会　学びの友部会	【評価と反省】 今年度は根石町会を巡った。町会長や町内公民館長の協力もあり、大勢の参加者に参加いただくことができた。 【今後の方針】 次年度も該当地区の町会長や町内公民館長にも協力をお願いし、大勢の参加があるように内容を工夫していきたい。	

令和６年度　事業報告

新村公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	ＣＳ
第10回ニュースポフェスＩＮ新村	11月24日	1回	地域事業（体育）	その他	52人	【内容】 ニュースポーツの体験を行う。 ≪種目≫ボッチャ、モルック、囲碁ボール、ラダーゲッター、ダブルダッチ 【ねらい】 子どもから高齢者まで幅広い年代が気軽にニュースポーツを楽しみ、健康増進や地区住民相互の親睦を図る。	【準備過程】 地区内全戸配布チラシで周知 【共催団体】 ・新村体育協会 ・子ども会育成会 ・あたらしの郷協議会　学びの友部会	【評価と反省】 松本深志高校の協力を得て、初めてダブルダッチの体験を取り入れた。学校を通じて和田地区の児童にも告知し、一定数の参加を得て、住民がニュースポーツに親しむ機会となった。 【今後の方針】 次年度も引き続き、開催していきたい。	
地域学習	11月29日	1回	地域文化	青少年	90人	【内容】 中学校の総合的な学習の時間において、自分たちの住む地域について学ぶ。 【ねらい】 地域の中で働く人たちから直接話を聞くことで、地域について深く理解する。	【準備過程】 地域の中から適した人材を選出 【協力】 藤田昌志氏、大久保昭文氏、森井正臣氏、辰田裕二氏、輿賢次氏、上條俊道氏	【評価と反省】 地域住民の生の声を聞き、自分たちの住む地域について理解を深めることができた。 【今後の方針】 次年度の学習方針に沿って企画したい。	○
書道指導	12月10日 12月11日 12月13日	1回	趣味教養	青少年	90人	【内容】 中学校において、地域の書道講師から指導を受ける。 【ねらい】 教養の向上、伝統文化の継承を図る。	【協力】 萩原通伸　氏	【評価と反省】 １学年の生徒が指導を受け、書道に取り組むことができた。 【今後の方針】 次年度も企画していきたい。	○
公民館講座 押し絵教室	12月10日 12月17日	2回	趣味教養	成人	4人	【内容】 講師を招き、干支の押し絵を作成する。 【ねらい】 教養の向上、伝統文化の継承を図る。	【準備過程】 地区内全戸配布チラシで周知 【協力】 降旗順子　氏	【評価と反省】 少数の参加者ではあるが、毎年恒例の公民館講座として伝統文化を学んでいる。 【今後の方針】 参加者増加を目指し、講師と相談しながら、内容の工夫を図っていきたい。	
新村地区人権啓発視察研修	12月13日	1回	人権平和	成人	16人	【内容】 人権啓発推進事業の一環として、県内視察研修を実施する。 ＜視察先＞円福寺愛育園（長野市） 【ねらい】 視察研修を通じて、地区住民への人権啓発を行う。	【準備過程】 地区内全戸配布チラシで周知 【共催団体】 ・新村地区人権啓発推進協議会 ・ものぐさ大学理事会	【評価と反省】 今年度の視察研修は子どもの権利をテーマとし、児童養護施設である円福寺愛育園を訪問した。園長から話を伺うとともに施設内を見学し、充実した視察研修となった。 【今後の方針】 次年度も引き続き、視察研修を開催したい。	

令和６年度　事業報告

新村公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	ＣＳ
公民館講座 お正月しめ縄づくり教室	12月15日	1回	趣味教養	成人	18人	【内容】 講師を招き、しめ縄づくりを学ぶ。 【ねらい】 教養の向上、伝統文化の継承を図る。	【準備過程】 地区内全戸配布チラシで周知 【協力】 土屋和輝　氏	【評価と反省】 毎年恒例の公民館講座として伝統文化を学ぶことができている。 【今後の方針】 次年度も開催したい。	
公民館講座 お正月生け花教室	12月26日	1回	趣味教養	成人	18人	【内容】 講師を招き、生け花教室を開催する。 【ねらい】 教養の向上、伝統文化の継承を図る。	【準備過程】 地区内全戸配布チラシで周知 【協力】 黒木幸子　氏	【評価と反省】 毎年恒例の公民館講座として伝統文化を学ぶことができている。 【今後の方針】 講師の引退により、次年度の開催は未定	
第50回元旦マラソン	1月1日	1回	地域事業（体育）	その他	60人	【内容】 地区内の子どもから大人まで幅広い世代を対象に、新村運動広場の周回コースを走る。 【ねらい】 マラソンを通じて、住民の健康増進や体力の向上、住民相互の親睦を図る。	【準備過程】 地区内全戸配布チラシで周知 【共催団体】 新村体育協会	【評価と反省】 天候にも恵まれ、子どもから高齢者まで幅広い年代の参加があった。新村地区の新年の恒例行事となっている。 【今後の方針】 次年度も引き続き開催していきたい。	
新村地区新年祝賀会	1月11日	1回	地域事業（その他）	成人	65人	【内容】 地区内の関係団体関係者が新年を祝して一同に集まるもの 【ねらい】 祝賀会を通じて、地区の繁栄や安寧等を願う。	【共催団体】 ・町会連合会 ・町内公民館長会 ・新村体育協会　　など	【評価と反省】 今回は安協新村支部が当番団体であったが、地区役員への出欠確認や集金、会場設営など、準備から当日の運営まで行った。 【今後の方針】 多くの地区関係者が集める貴重な機会であるので、次年度も当番団体を中心に開催してほしい。	
第37回冬季室内競技大会（綱引き、卓球）	2月2日	1回	地域事業（体育）	その他	120人	【内容】 町会対抗で下記の種目を実施する。 ≪種目≫午前：綱引き　午後：卓球 【ねらい】 室内競技を通じて、住民の健康増進や体力の向上、住民相互の親睦を図る。	【共催団体】 ・新村体育協会 ・町会連合会 ・町内公民館長会	【評価と反省】 綱引きには５町会で昨年から１町会減、卓球はラケットを変えた「おかしな卓球大会」として開催したこところ１町会増の６町会の参加あり、いずれも白熱した試合が繰り広げられた。 【今後の方針】 次年度も引き続き、関係団体と連携を図りながら、開催していきたい。	

令和６年度　事業報告

新村公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	ＣＳ
利用者懇談会	3月18日	1回	公民館委員会・各種会議等	成人	15人	【内容】 公民館利用者団体の各代表者から利用に関する要望等を聞き取り、次年度の公民館等の運営の参考とする。 【ねらい】 利用者懇談会を通じて、公民館等の運営の改善を図る。	【共催団体】 新村公民館利用団体	【評価と反省】 公民館利用に関する要望等を直接利用者から聞き取ることができ、次年度の公民館運営の参考となった。 【今後の方針】 次年度も引き続き開催していきたい。	
ものぐさ大学 文化遺産巡り	3月24日	1回	趣味教養	成人		【内容】 島崎藤村の足跡を辿る。 【ねらい】 文化財の歴史等への理解を深めるとともに、住民相互の親睦を図る。	【準備過程】 地区内全戸配布チラシで周知 【共催団体】 ものぐさ大学理事会	【評価と反省】 島崎藤村の生家である藤村記念館で資料を見学し、理解を深めることができた。 【今後の方針】 次年度も行先を検討し、開催していきたい。	
サルビア花壇づくり	4月 3日 11月27日	2回	環境	青少年	120人	【内容】 中学校において地域住民とともにサルビア花壇づくりを行う。 【ねらい】 花壇づくりを通じて自然に関心を高めるとともに、住民と生徒の親睦を図る。	【協力】 濱　邦彦氏	【評価と反省】 濱氏が畑の土おこしを行い、生徒が花壇をつくり、学校と地域が連携することができた。 【今後の方針】 次年度も協力をお願いしたい。	○
運動広場等整備	5月12日 9月29日	2回	地域事業 （その他）	成人	120人	【内容】 町会連合会、町内公民館長会、新村体育協会が分担して、地区内にある運動広場等の草刈りやゴミ拾いを年２回実施する。 ≪場所≫ ・忠魂碑周辺、ものぐさ自然公園 ・秋葉原古墳周辺 ・新村運動広場周辺	【準備過程】 地区内全戸配布チラシで周知 【共催団体】 ・町会連合会 ・町内公民館長会 ・新村体育協会	【評価と反省】 各団体で担当場所の草刈りやゴミ拾いなどの清掃を実施した。 【今後の方針】 次年度も引き続き、運動広場等の整備を実施していきたい。	
ものぐさ大学 大人の社会見学	5月24日 9月27日	2回	趣味教養	成人	40人	【内容】 県内の美術館を見学する。 ５月24日　サントリー大町工場 ９月27日　みすずコーポレーション 【ねらい】 工場見学を通じて、経済産業への関心を高め、教養を養う。また、住民相互の親睦を図る。	【準備過程】 ものぐさ大学理事会にて検討 地区内全戸配布チラシで周知 【協力】 サントリー みすずコーポレーション	【評価と反省】 案内係の説明を受けるなど、各工場の設備や環境への方針について理解が深まった。 【今後の方針】 次年度も企画し、住民の教養等の向上に寄与したい。	

令和６年度　事業報告

新村公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	ＣＳ
新村文化財保存会	5月30日 12月19日 3月27日	1回	公民館委員会・各種会議等	その他	30人	【内容】 新村文化財保存会の運営・支援を行う。 【ねらい】 保存会の活動を通じて、地区内にある文化財の保存・整備を行い、地区内外の住民の文化財への理解を深める。	【共催団体】 あたらしの郷協議会　学びの友部会	【評価と反省】 保存会の活動としては、案内板の点検と「新村を語る会」を行った。また、あたらしの郷協議会学びの友部会や新村公民館と共催で、歴史探訪を開催し、地区の歴史や文化に対する理解を深めることができた。 【今後の方針】 次年度も引き続き、関係団体と連携を図りながら事業を実施していきたい。	
図書委員会	6月6日 12月5日	1回	公民館委員会・各種会議等	その他	12人	【内容】 公民館の図書コーナーにある書籍の入れ替え作業を年２回行う。 必要に応じて、公民館やその他施設に出向き、本の読み聞かせ等を行う。 【ねらい】 図書委員会の活動を通じて、本への関心を高める。	【準備過程】 図書の入れ替えについては、中央図書館へ出向き、図書委員の判断で本の選定を行う。ジャンルは限定せず、子どもからお年寄りまで幅広い年代に向けた本を選定する。	【評価と反省】 図書の入れ替えを例年通り実施。身近な地域で図書に親しむ場となったが、未返却本が多いとの指摘を中央図書館から受けている。 【今後の方針】 図書入れ替え作業の前に、未返却本のチェックや督促などを行いたい。	
ものぐさ大学 まつもと文化遺産巡り	6月17日 3月14日	中止	趣味教養	成人	0人	【内容】 「まつもと文化遺産」に認定された文化財のある地区を歩いて巡り、歴史等を学ぶ。 ６月17日　城北地区　→中止 ３月14日　城北地区　→中止 【ねらい】 まつもと文化遺産巡りを通じて、他地区にある文化財の歴史等への理解を深めるともに、住民相互の親睦を図る。	【準備過程】 地区内全戸配布チラシで周知 【共催団体】 ものぐさ大学理事会	【評価と反省】 一昨年まで実施してきた「おでかけウォーキング」に替わるウォーキング事業として２年目の開催。城北地区巡りを企画したが、参加者が集まらず中止となった。 【今後の方針】 次年度は目的地を変えて開催していきたい。	
ものぐさ大学理事会	7月9日 2月7日	1回	公民館委員会・各種会議等	成人	30人	【内容】 公民館事業を企画・運営する独自の組織として、公民館委員の活動とは別に活動を続けている。各事業の担当に分かれて、企画・運営を担った。 【ねらい】 地区住民の知識や教養の向上、住民同士の親睦を図る。		【評価と反省】 公民館と福祉ひろばと協働する住民有志の組織であり、人材の確保が課題である。 【今後の方針】 「楽しく学ぶ」をモットーに活動しているが、公民館としては「学ぶ」の部分を大事にしていきたい。	

令和６年度　事業報告

新村公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	ＣＳ
陶芸指導	7月19日 7月23日 7月26日 8月 1日 8月 2日 8月 5日	6回	趣味教養	青少年	60人	【内容】 中学校美術部において地域住民の指導を得て陶芸制作を行う。 【ねらい】 陶芸制作を通じて芸術への関心を高め、住民と生徒の親睦を図る。	【協力】 陶芸クラブ四炎窯	【評価と反省】 地域住民によって、部活動顧問ではできない専門的な指導が得られた。 【今後の方針】 次年度も企画し、住民との連携を深めたい。	○
ものぐさ大学 美術館巡り	7月24日 2月27日	2回	趣味教養	成人	40人	【内容】 県内の美術館を見学する。 ７月24日　上田市立美術館 ２月27日　松本市美術館 【ねらい】 美術館巡りを通じて、芸術への関心を高め、教養を養う。また住民相互の親睦を図る。	【準備過程】 ものぐさ大学理事会にて検討 地区内全戸配布チラシで周知 【協力】 上田市立美術館 松本市美術館　ほか	【評価と反省】 参加者の理解を深めるため、見学の際は学芸員の説明を受けるなど、見学方法の工夫を図った。 【今後の方針】 次年度も企画し、住民の教養等の向上に寄与したい。	
にいむら防災フェスティバル実行委員会	6月～10月	1回	公民館委員会・各種会議等	成人	105人	【内容】 にいむら防災フェスティバルの企画・運営等について協議を行う。 【ねらい】 フェスティバルを通じて、地区住民の防災意識の向上、住民相互の親睦を図る。	【共催団体】 ・町会連合会 ・町内公民館長会 ・あたらしの郷協議会 ・民生児童委員協議会 ・松本市社会福祉協議会 ・交通安全協会新村支部 ・消防第11分団 ・防災部、防犯女性部　など	【評価と反省】 昨年度に引き続き２回目の開催。今回はフェスティバル当日朝に町会ごとに安否確認訓練を実施し、避難所となる松本大学で結果を集計した。開催時期は行事が集中しているため分散が必要 【今後の方針】 次年度は日にちをずらして実施する。フェスティバル形式はコンテンツのマンネリ化が課題	
文化祭実行委員会	9月～11月	1回	公民館委員会・各種会議等	その他	180人	【内容】 新村文化祭・福祉ひろば祭りの企画・運営等について協議を行う。 【ねらい】 文化祭を通じて、文化・芸術等への関心を高めるとともに、住民相互の親睦を図る。	【共催団体】 ・町会連合会 ・町内公民館長会 ・新村体育協会 ・新村地区各種団体	【評価と反省】 文化祭の企画・運営等について、関係者で協議を行った。 【今後の方針】 次年度も引き続き、関係団体と連携を図りながら、開催していきたい。	
学習支援	10月～2月		その他	青少年		【内容】 中学３年生の放課後時間に、松本大学生の協力を得て学習支援を行うもの 【ねらい】 校内での自主学習の機会とするとともに、大学生にとっても指導経験を積む機会とする。		【評価と反省】 中学生にとっては受験前の学習時間となり、大学生にとっても貴重な指導の経験となった。 【今後の方針】 次年度も松本大学と連携を図り開催していきたい。	○

令和６年度　事業報告

新村公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	ＣＳ
町会別人権啓発懇談会	10月～3月	14回	人権平和	成人	300人	【内容】 人権啓発推進事業の一環として、新村14地区で懇談会を開催し、人権啓発チラシの配布やＤＶＤ視聴会を実施 【ねらい】 懇談会を通じて、地区住民の人権に対する関心や意識を高める。	【共催団体】 町内公民館長会	【評価と反省】 人権啓発懇談会を開催できなかった町会がいくつかあった。それらの町会に関しては、全戸に啓発チラシを配布し、住民に人権啓発を行うことができた。 【今後の方針】 今後も引き続き地区住民への人権啓発を図っていきたい。	
町内公民館活性化事業	通年	2回	その他	成人	40人	【内容】 町内公民館活動の支援を実施する。 【ねらい】 地区住民がいきいきと明るく張り合いを持って生活ができるよう、町内公民館活動の活性化支援を図る。	【共催団体】 町内公民館長会	【評価と反省】 今年度は複数の町会で活性化事業が実施された。 【今後の方針】 事業の周知を行い、町内公民館の活性化に寄与していきたい。	
いきいき投稿文芸	通年	4回	趣味教養	成人	20人	【内容】 春夏秋冬をテーマに俳句と川柳を募集し、選者の講評を受けたのち、広報等に掲載するもの ≪選者≫降旗　牛朗　氏 【ねらい】 投稿文芸を通じて、俳句や川柳への関心を高める。	【共催団体】 あたらしの郷協議会　いきいき部会	【評価と反省】 令和３年度から継続した企画で、毎回多くの投稿がある。投稿された作品は、毎月発行している「あたらしの郷通信」に掲載している。 【今後の方針】 次年度も継続していきたい。投稿者が固定化してきているので、無関心層に投稿してもらえるように周知を図っていきたい。	
アクリル画教室	通年	12回	趣味教養	成人	120人	【内容】 通年講座としてアクリル画教室を開催するもの ≪講師≫松森　清昭　氏 【ねらい】 教室を通じて、芸術への関心を高めるとともに、住民相互の親睦を図る。	【共催団体】 あたらしの郷協議会　いきいき部会	【評価と反省】 通年講座として開催。参加者は思い思いに自由なテーマでアクリル画を描いた。美術館を巡る事業も参加するなど、芸術への関心と親睦が深まっている。 【今後の方針】 次年度も引き続き、開催していきたい。	

令和６年度　事業報告

新村公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	ＣＳ
育児講座	通年	12回	子育て	家庭教育	120人	【内容】 子育て支援の一環として、未就園児とその母親を対象に、月１回活動 【ねらい】 親子の交流の場や、母親同士の情報交換の場を創出し、未就園児の健全育成を図る。	【共催団体】 ひよこの会	【評価と反省】 地区内の母親同士の交流の場となっている。役員を中心に企画・運営を行った。 【今後の方針】 育児講座への参加者が少ないため、周知を工夫していきたい。	
町内公民館長会（文化委員会）	通年	1回	公民館委員会・各種会議等	成人	200人	【内容】 町内公民館館長会の活動支援、連携強化を図る。 【ねらい】 町内公民館長会の活動を通じて、町内公民館の活性化を図る。		【評価と反省】 公民館のメイン事業である文化祭において、主な運営に携わる町内公民館長には実行委員会から当日までの準備・運営で積極的に動いていただいた。当日は作品展示やステージ発表に多くの住民が来場してくれた。 【今後の方針】 次年度も引き続き、関係団体と連携を図りながら、各種事業を展開していきたい。	
新村体育協会（体育委員会）	通年	1回	公民館委員会・各種会議等	成人	250人	【内容】 地区内で行われる体育行事の企画・運営を行う。 【ねらい】 体育行事を通じて、地区住民の健康の増進や体力の向上、住民相互の親睦を図る。		【評価と反省】 昨年は開催できなかった５月の町会対抗球技大会も今年は開催できた。その他の行事にも多くの参加があり、住民の親睦の場となった。 【今後の方針】 次年度も多くの住民が参加できるような事業を展開していきたい。	
館報編集委員会	通年	12回	公民館委員会・各種会議等	その他	120人	【内容】 公民館報（新の里）の原稿執筆、編集等を行う。 【ねらい】 公民館報の発行を通じて、公民館活動や地区内の諸活動、歴史・文化等に関心を持ってもらう。	【準備過程】 奇数月（1、3、5、7、9、11月）に発行する公民館報の原稿執筆や編集を行う。 会議は偶数月に２回開催され、掲載する内容等を検討する。	【評価と反省】 記事については担当ごと執筆してもらい、校正等を自主的に委員が行った。地区内の行事等について住民に周知することができた。 【今後の方針】 今後も引き続き、編集委員発信で取材・原稿執筆等の活動を行ってもらう。	

令和６年度　事業報告

新村公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	ＣＳ
視聴覚委員会	通年	1回	公民館委員会・各種会議等	その他	36人	【内容】 地区内に残る文化財や古い町並み、農作業風景などの生活の様子を記録として保存し、後世に残す活動を行う。 【ねらい】 地区内の街並みや文化財等を写真等で記録・保存し、若い世代に伝えていくことで、地区への愛着を育む。		【評価と反省】 昨年度に続き「新村のお寺」という冊子の原稿案を作成し、「新村のお宮」の構想に着手した。両冊子について予算化できた段階で発行を検討することになった。 【今後の方針】 委員の高齢化や人材確保が課題となっている。人材確保については、公民館事業に関心が高い住民や松本大学の学生にも声を掛け、加入を促していきたい。	
子ども会育成会	通年	1回	公民館委員会・各種会議等	青少年	250人	【内容】 新村地区子ども会育成会の運営・支援を行う。 【ねらい】 育成会の活動を通じて、地区内の子ども達の健全育成を図る。		【評価と反省】 今年度は「新村ちびっ子夏祭り」を初めて開催した。企画から準備・運営まで役員が行い、夏休み中の児童を対象に各種催し物を開催した。その他、共催事業への参加協力などをお願いした。 【今後の方針】 今後も引き続き、関係機関と連携を図りながら、各行事を実施したい。	
あたらしの郷協議会	通年	1回	地域事業（その他）	その他	ー	【内容】 あたらしの郷協議会（地域振興部会・安全安心部会・いきいき部会・学びの友部会）の運営・支援を行う。 【ねらい】 協議会の活動を通じて、地域課題の解決等を図る。	【共催団体】 ・あたらしの郷協議会 地域振興部会 安全安心部会 いきいき部会 学びの友部会	【評価と反省】 まちづくり協議会である「あたらしの郷協議会」の運営・支援を行った。 【今後の方針】 次年度も引き続き運営・支援を図っていきたい。	
プチ送迎ボランティア	通年	ー	福祉健康	高齢者	ー	【内容】 地域福祉の推進を目的として、住民主体のボランティア組織である「プチ送迎ボランティア」への支援を実施 【ねらい】 地区内の高齢者の交通弱者を減らし、住民相互の助け合い精神を助長する。	【共催団体】 プチ送迎ボランティア	【評価と反省】 事務局は松本市社会福祉協議会所属の生活支援員が行っている。 運転手の高齢化が深刻で、人材の確保が大きな課題となっている。また、会員数が減少傾向にあり、団体の収入源である会費が思うように集まっていない。 【今後の方針】 団体の存続のためにも、団体の活動をＰＲしていき、会員確保に努めていきたい。	

令和６年度　事業報告

新村公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	ＣＳ
ものぐさだよりの発行（公民館だより）	毎月	12回	地域事業（その他）	その他	ー	【内容】 毎月の広報配布に合わせて、公民館講座等の情報を掲載する広報として発行 【ねらい】 公民館講座等への参加者増加を図る。	【共催団体】 ・あたらしの郷協議会 ・福祉ひろば	【評価と反省】 Ａ３判サイズ、フルカラーで毎月発行しており、公民館以外にあたらしの郷協議会と福祉ひろばの広報も一緒に掲載している。 【今後の方針】 住民の関心が向くような紙面作りを心掛けていきたい。	
ホームページ	随時更新	ー	地域事業（その他）	その他	ー	【内容】 新村地区の公民館活動について情報発信を行う。 【ねらい】 地区内外に対して新村地区のＰＲを行い、地区に対する理解を深めてもらう。		【評価と反省】 公民館講座や配布物の情報を随時更新した。 【今後の方針】 引き続きホームページの更新作業を行っていきたい。	

令和６年度　事業報告の概要

和田公民館

方針・地域課題・重点的に取り組んだ事項等	評価・反省等
【方針・地域課題】 ・わくわくする公民館を目指す 　参加する住民がわくわくして、楽しく学べる公民館を目指す。 ・子ども向け事業の拡充 　公民館活動の拡充、発展には子どもの参加が必要不可欠な為、公民館を身近に感じてもらえるような事業を実施する。	・わくわくする公民館を目指す 　大人でもわくわく、楽しめるように新規事業「ＷＡＤＡチャレンジャー」の実施、既存事業の見直しなどを行った。次年度以降もさらに発展させ、様々な事業を充実させたい。 ・子ども向け事業の拡充 　育成会と連携したクリスマスコンサートの他、既存事業の「和田ウォークラリー」についても、子どもが参加しやすく楽しめる内容を追加、また親子向け講座の実施など、前年度と比べ、子どもが公民館事業に参加する機会を増やすことができた。

項目	学級講座・学習会等									地域事業			公民館委員会・各種会議等	ＣＳ
	人権平和	福祉健康	子育て	地域文化	環境	趣味教養	スポーツ	防災	その他	体育	文化	その他		
事業数	1	0	5	5	1	8	6	0	2	1	2	0	5	2
延べ参加人数	33	0	211	71	26	103	262	0	18	144	379	0	361	78

令和６年度　事業報告

和田公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	ＣＳ
春の寄せ植え講座	5月27日	1回	趣味教養	成人	15人	【内容】 講師（地区住民）による春～秋頃までの寄せ植え講座 【ねらい】 生きがいの仕組みづくりの一環として、住民の趣味・教養の養成、参加者同士の交流	【準備過程】 地区内全戸配布チラシで周知	【評価と反省】 参加者同士の交流、寄せ植えに関する知識を得ることができた。 【今後の方針】 引き続き実施予定	
わら細工づくり講座	6月23日	2回	趣味教養	その他	7人	【内容】 講師（地区住民）によるわら細工づくり（亀）の講座 【ねらい】 伝統文化の継承	【準備過程】 地区内全戸配布チラシで周知	【評価と反省】 子どもも参加し、わら細工という伝統文化の継承の一助となった。 【今後の方針】 引き続き実施予定	
人権啓発推進協議会視察研修	6月26日	1回	人権平和	成人	33人	【内容】 浅川伯教・巧兄弟資料館を視察 【ねらい】 異文化理解と人権について学ぶ。	【準備過程】 人権啓発推進協議会と協議し、視察先を選定 【協力】 和田地区人権啓発推進協議会	【評価と反省】 浅川伯教・巧兄弟の活動について学ぶことで異文化理解の重要さを学ぶことができた。 【今後の方針】 内容をさらに充実させ、実施したい。	
ハワイアンフラ体験講座	6月29日	1回	趣味教養	成人	20人	【内容】 初心者向けハワイアンフラ講座 【ねらい】 ハワイの伝統的な舞踊を学ぶ。参加者同士の交流	【準備過程】 地区内全戸配布チラシで周知 【協力】 公民館サークル「オヒア・レフア」	【評価と反省】 初心者でも実際に体を動かし、ハワイアンフラを体験することでハワイの伝統文化を学ぶことができた。 【今後の方針】 引き続き実施したい。	
健康スポーツのつどい夏季大会	7月7日	1回	スポーツ	その他	100人	【内容】 町会交流種目：ソフトバレー 自由参加種目：ニュースポーツ体験 【ねらい】 町会内、町会同士の交流やスポーツの振興、健康の増進	【準備過程】 町内公民館町会、体育委員会を中心に準備 【協力】 町内公民館町会、体育委員会	【評価と反省】 前年度より参加町会が減少してしまった。選手集めに苦慮しているという意見があったため、内容を検討したい。 その一方、大会は盛り上げりを見せ、町会内、町会同士の交流のきっかけとなった。 【今後の方針】 選手集めがしやすいよう、内容を検討し、継続したい。	

令和６年度　事業報告

和田公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	ＣＳ
映画と語りの会	7月29日	1回	子育て	青少年	60人	【内容】 「人形劇団やまんば」による人形劇の上演 【ねらい】 地区の子どもの情操教育、公民館と各施設の交流	【準備過程】 図書視聴覚委員会で内容を協議 【協力】 図書視聴覚委員会 和田保育園 和田児童センター	【評価と反省】 多くの子どもが観劇し、保育園・児童センターと連携をすることができた。 【今後の方針】 内容を検討し、継続したい。	
芝っ子の夏休み　書道講座	7月29日 7月30日 7月31日	3回	子育て	青少年	54人	【内容】 夏休みの小学生を対象とした書道講座 【ねらい】 書道の経験・未経験を問わず、書道に親しみ、作品を作り上げる達成感を得ること。また公民館と小学生をつなぐこと。	【準備過程】 小学校に周知チラシを配布	【評価と反省】 初心者でも集中し書道に取り組み、作品を作り上げ、県書道展に出展、多くの作品が入賞した。 【今後の方針】 今後も継続したい。	○
芝っ子の夏休み　学習支援	8月1日 8月2日	2回	子育て	青少年	73人	【内容】 夏休みの小学生を対象とした学習支援。地区住民による宿題指導とダイヤモンドビーズアートの製作 【ねらい】 地区住民と子どもの交流	【準備過程】 小学校に周知チラシを配布	【評価と反省】 地区住民と子どもが交流することで、地域で子どもを育てることを再認識できた。 【今後の方針】 内容を検討し、継続したい。	
窪田空穂生家図書館	8月 1日 8月 6日 8月 8日 8月15日	4回	地域文化	青少年	7人	【内容】 夏休み期間に和田公民館の図書の一部を、窪田空穂生家に設置し図書館を開設。中学生のボランティアによる宿題指導も実施 【ねらい】 地域の文化施設の利用促進、公民館図書館の利用促進。小学生と中学生の交流	【準備過程】 小学校・中学校に周知チラシを配布　中学校ボランティアによる図書の選定 【協力】 窪田空穂記念館 高綱中学校	【評価と反省】 中学生による図書の選定、当日の運営などは小学生との交流という面からも有効だと感じた。一方で昨年度より参加者が減少してしまった。 【今後の方針】 内容・実施について検討したい。	
刃物の研ぎ方講座	8月18日	1回	趣味教養	成人	6人	【内容】 包丁、剪定鋏などの刃物の研ぎ方を学ぶ。 【ねらい】 地域人材の活用、刃物についての知識と技術の習得	【準備過程】 地区内全戸配布チラシで周知	【評価と反省】 知識、技術を学ぶことができた。 【今後の方針】 今後も継続したい。	

令和６年度　事業報告

和田公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	ＣＳ
安塚古墳群発掘調査見学会	8月20日	1回	その他	成人	8人	【内容】 安塚古墳群の発掘調査現場を見学 【ねらい】 和田地区に隣接している史跡について学ぶ。	【準備過程】 地区内全戸配布チラシで周知 【協力】 長野県埋蔵文化財センター	【評価と反省】 地区の史跡について実際に見て学ぶ貴重な機会となった。 【今後の方針】 地区近隣で同様な調査があれば実施したい。	
河西部球技大会	8月25日	1回	スポーツ	成人	23人	【内容】 和田・島内・島立・新村地区による対抗球技大会。卓球・軟式野球を実施 【ねらい】 市民スポーツ大会の予選、地区同士の交流やスポーツの振興	【準備過程】 各地区の代表者会議で協議 【協力】 各地区公民館及び体育協会、体育委員会	【評価と反省】 競技によって参加できない地区があった。 【今後の方針】 内容を検討し、継続したい。	
マレットゴルフ大会	9月5日	1回	スポーツ	高齢者	15人	【内容】 市民スポーツ大会の予選を兼ねたマレットゴルフ大会 【ねらい】 地区内の交流、マレットゴルフの振興	【準備過程】 マレットゴルフクラブと協議 【協力】 和田地区マレットゴルフクラブ	【評価と反省】 参加者が減少傾向にある。 【今後の方針】 地域行事として、内容を検討し継続したい。	
上高地ウォーキング	9月11日	1回	環境	成人	26人	【内容】 上高地の散策、学習 【ねらい】 国の文化財である上高地について学ぶ。	【準備過程】 地区内全戸配布チラシで周知	【評価と反省】 上高地について、現地で歩きながら学ぶことができた。 【今後の方針】 継続して実施したい。	
第67回松本市市民スポーツ大会	10月13日	1回	スポーツ	成人	56人	【内容】 全市的な地区対抗スポーツ大会 【ねらい】 スポーツ振興	【準備過程】 町内公民館町会・体育委員会を中心に準備 【協力】 町内公民館町会・体育委員会・各部活動	【評価と反省】 地区内の各部が出場し、スポーツ振興、住民同士の交流の機会となった。	

令和６年度　事業報告

和田公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	ＣＳ
第17回和田ウォークラリー	10月20日	1回	地域事業（体育）	その他	144人	【内容】 地区内の文化財等にまつわるクイズ、ゲームをしながら約６㎞のコースを歩くウォークラリー 【ねらい】 地区内の文化財について学びながら、地区住民同士の交流、健康増進の機会とすること。	【準備過程】 協力団体と実行委員会を組織し、準備 【協力】 和田地区地域づくり協議会 子ども会育成会 和田地区福祉ひろば 町内公民館町会、体育委員会	【評価と反省】 幅広い年齢層の住民が参加し、交流を深めることができた。また、併せてゴミ拾いも実施したことで地区内の環境美化に対する意識も高めることができた。 【今後の方針】 より充実したイベントを目指し、継続したい。	
秋の寄せ植え講座	10月24日	1回	趣味教養	成人	16人	【内容】 講師（地区住民）による秋～春頃までの寄せ植え講座 【ねらい】 生きがいの仕組みづくりの一環として、住民の趣味・教養の養成、参加者同士の交流	【準備過程】 地区内全戸配布チラシで周知	【評価と反省】 参加者同士の交流、寄せ植えに関する知識を得ることができた。 【今後の方針】 引き続き実施予定	
市長杯争奪球技大会	10月27日 11月 4日	1回	スポーツ	成人	17人	【内容】 全市的な地区対抗スポーツ大会 【ねらい】 スポーツ振興	【準備過程】 各部の補助を公民館で担当	【評価と反省】 競技人口が減少する中で、他地区と合同チームで参加し、スポーツの振興、交流の機会となった。	
第52回芸術文化祭	11月2日 11月3日	1回	地域事業（文化）	その他	347人	【内容】 地区住民によるステージ発表、作品展示など 【ねらい】 文化的活動の発信の場とすること。	【準備過程】 実行委員会を組織し、準備 【協力】 窪田空穂記念館	【評価と反省】 来場者は昨年度と比べ、微増ではあるが、作品展示などは減少したため、事務局からの声がけ、周知がさらに必要である。 【今後の方針】 ステージ発表、展示ともに、さらに盛り上げるための方策を検討したい。	
ファミリーコンサート	11月17日	1回	地域事業（文化）	その他	32人	【内容】 世代を超えて楽しめるコンサート 【ねらい】 音楽を通じた交流、情操教育	【準備過程】 共催団体と打ち合わせし、出演者を選定 【協力】 和田地区福祉ひろば 子ども会育成会	【評価と反省】 幅広い年代層の参加があった。 【今後の方針】 引き続き実施予定	

令和６年度　事業報告

和田公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	ＣＳ
ＷＡＤＡチャレンジャー	11月28日	1回	その他	その他	10人	【内容】 路線バスを使用し、市内の各施設を見学する。 【ねらい】 路線バスの利用促進、市内の魅力の再発見	【準備過程】 各見学施設との連絡・調整	【評価と反省】 路線バスを利用することで、普段とは異なった視点から市内を見学することができた。 【今後の方針】 引き続き実施予定	
しめ縄づくり講座	12月14日	1回	地域文化	その他	15人	【内容】 しめ縄の文化的背景を学びながら、しめ縄づくりの基本や応用を学ぶ。 【ねらい】 伝統文化の継承	【準備過程】 講師（地区住民）と相談し、準備	【評価と反省】 通常の作り方の他、簡易的な作り方も学ぶことができ、幅広い年齢層が楽しみながら学ぶことができた。	
あなたの知らない　松本城と世界遺産講座	12月17日 12月24日	1回	地域文化	成人	23人	【内容】 松本城について、座学と現地学習で学ぶ。 【ねらい】 松本城の良さを学ぶことで、松本城や世界遺産に対する関心を高める。	【準備過程】 文化振興課と調整 【協力】 「国宝松本城を世界遺産に」推進実行委員会、文化振興課	【評価と反省】 松本城と世界遺産について学ぶことができ、世界遺産登録に向けた興味・関心を高めることができた。 【今後の方針】 他課との共催事業を今後も実施したい。	
芝っ子の冬休み　書道講座	1月6日 1月7日	2回	子育て	青少年	24人	【内容】 冬休みの小学生を対象とした書道講座 【ねらい】 書道の経験・未経験を問わず、書道に親しみ、作品を作り上げる達成感を得ること。また公民館と小学生をつなぐこと。	【準備過程】 小学校に周知チラシを配布	【評価と反省】 初心者でも集中し書道に取り組み、作品を作り上げ、市民タイムス書道展に出展、多くの作品が入賞した。 【今後の方針】 今後も継続したい。	○
親子のやしょうまづくり講座	2月8日	1回	地域文化	青少年	16人	【内容】 食生活改善推進員の協力による、やしょうまづくり講座 【ねらい】 食育、食文化の継承	【準備過程】 食生活改善推進員と調整し、準備 【協力】 食生活改善推進員	【評価と反省】 多くの親子が参加し、食文化の継承につながった。 【今後の方針】 今後も継続したい。	
白菜キムチ漬け・チヂミづくり講座	2月21日	1回	趣味教養	その他	6人	【内容】 白菜キムチ漬け・チヂミづくり方を学ぶ講座 【ねらい】 食の多様性を学ぶ。	【準備過程】 講師と調整し準備	【評価と反省】 本格的なキムチ漬け、チヂミの作り方を学ぶことで、食の多様性を学ぶことができた。 【今後の方針】 今後も継続したい。	

令和６年度　事業報告

和田公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	ＣＳ
文化講演会『窪田空穂と開智学校－随筆「70年前の中学生」を読む－』	2月22日	1回	地域文化	その他	25人	【事業内容】 窪田空穂生家で窪田空穂について学ぶ。 【ねらい】 松本市の歴史や文化財について、理解を深める。	【準備過程】 講師と相談し準備 【共催団体等】 窪田空穂記念館 文化財調査委員会	【評価と反省】 地域の文化人について学ぶことができた。 【今後の方針】 文化財調査委員会等で内容を検討しながら実施していきたい。	
文化財臨地学習会	3月11日	1回	趣味教養	その他	23人	【事業内容】 長年続く視察学習会。県内外各地の文化財等を巡り、学習する。 【ねらい】 各地の歴史や文化財を学び、地元の文化財について考える機会ともする。	【準備過程】 公民館で行先等検討	【評価と反省】 長野県と関係がある武田神社、甲斐善光寺で詳しい説明を聞くことができ、理解を深めることができた。 【今後の方針等】 行先やプラン等を練り、参加者のニーズを満たせるよう考えたい。	
ボッチャ体験講座	通年	5回	スポーツ	その他	51人	【内容】 パラスポーツのボッチャを体験する講座 【ねらい】 性別、世代問わず気軽に楽しめるボッチャの普及	【準備過程】 公民館で内容、用具等準備	【評価と反省】 当初は少人数だったが、回を重ねるにつれて参加者が増え、ボッチャの普及の土台を築くことができた。 【今後の方針】 内容を検討して、今後も継続したい。	
男の料理教室・居酒屋公民館	通年	3回	趣味教養	成人	30人	【内容】 男性向け料理教室と居酒屋公民館を同時開催 【ねらい】 男性の公民館事業への参加促進、地域内交流	【準備過程】 講師と調整し、準備	【評価と反省】 一定数の参加があったが、新規層への浸透が今後の課題 【今後の方針】 内容を検討して、今後も継続したい。	
育児学級「めだかの会」	通年	8回	子育て	家庭教育		【内容】 育児サークル「めだかの会」の活動のうち、３回を公民館と協力して実施 【ねらい】 未就園児と親の交流・学習の場を提供する。	【準備過程】 めだかの会が事業計画を立て、公民館が実施に協力 【協力】 育児サークル「めだかの会」	【評価と反省】 団体の自主的な運営を主とし、公民館が協力することで、活発な活動が生まれ、親子の交流・情報交換の場となった。 【今後の方針】 今後も積極的に協力し、継続的な活動を推進したい。	

令和６年度　事業報告

和田公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	ＣＳ
運営委員会	通年	1回	公民館委員会・各種会議等	成人	30人	【内容】 事業報告・事業計画・決算・予算案の審議 【ねらい】 公民館運営への住民参加の機会の担保	【準備過程】 町会長・町内公民館長のほか地区内の主要組織の役員で組織	【評価と反省】 公民館活動について、審議をすることができた。 【今後の方針等】 地区の他団体と公民館をつなぐ貴重な機会として、有効活用したい。	
館報編集委員会	通年	1回	公民館委員会・各種会議等	成人	41人	【内容】 公民館報和田版の取材や編集作業 【ねらい】 住民主体の情報発信の場として公民館報和田版の発行	【準備過程】 取材や記事の作成を分担	【評価と反省】 記事の発案や取材等、委員が前向きに取り組むことができた。 【今後の方針等】 主体性を持った活動を推進したい。	
図書視聴覚委員会	通年	1回	公民館委員会・各種会議等	成人	43人	【内容】 公民館図書の管理、図書だよりの発行、「映画と語りの会」の主催 【ねらい】 図書室の管理及び有効活用、読書啓発に係る委員主体の活動	【準備過程】 定例の委員会を開催し、協議と図書の整理を行う。	【評価と反省】 活動の充実が課題 【今後の方針】 活動内容を検討し、継続したい。	
体育委員会	通年	1回	公民館委員会・各種会議等	成人	163人	【内容】 地区全体の体育事業について、企画・検討する。また事業当日の運営にも中心的な役割を担う。 【ねらい】 体育事業を通じた地区内の交流促進、スポーツの振興	【準備過程】 三役会で原案を審議し、事業運営の中心となる体育委員と町内公民館長の合同会議で決定する。	【評価と反省】 体育事業について、協議、検討した。 【今後の方針等】 引き続き、住民の意見を聞く機会を増やしながら、三役を中心に事業内容の見直しを進めたい。	
文化委員会	通年	1回	公民館委員会・各種会議等	成人	84人	【事業内容】 夏休み行事や文化祭等原案ほか公民館事業全般を協議する。 【ねらい】 公民館事業全般の協議	【準備過程】 委員は町内公民館長が兼ねている。	【評価と反省】 地区事業の原案協議の中心となり、事業運営でも町会内の取りまとめとして関わっている。 【今後の方針等】 より良い地区事業の実施のため、充実した協議の場としたい。	

令和６年度　事業報告の概要

神林公民館

方針・地域課題・重点的に取り組んだ事項等	評価・反省等
【方針・地域課題】 1　神林みんなの幸せ計画のもと、一人ひとりが尊重され、共に支え合い、年齢や性別、障がいのあるなしにかかわらず、誰でもが安全で安心して、生き生きと暮らせる神林を目指す。 2　各公民館委員の自主的な活動を促し、地域リーダーの育成を図る。 3　神林の自然・文化・芸術に親しみ、地域愛を育む。	・今年度は公民館講座に関する住民のニーズ調査として、アンケートを全戸配布し、回答の集計結果をもとに講座を開催することができた。 ・「わくわく子ども広場」をはじめとする子ども会育成会と共催で行う事業では、子どもたちの参加が多く、公民館事業での様々な体験活動を通じて、子ども同士だけでなく、様々な年代の方との世代間での交流を図ることができた。 ・文化祭やスポーツフェスティバルといった地区事業については、コロナ禍以前と同規模で開催できるようになったが、以前と比べると参加者はだんだん少なくなっている。長く継続して開催していくためにも、開催内容や周知方法の見直しなどが必要で、現代のニーズに沿った形で開催をしていきたい。

項目	学級講座・学習会等									地域事業			公民館委員会・各種会議等	ＣＳ
	人権平和	福祉健康	子育て	地域文化	環境	趣味教養	スポーツ	防災	その他	体育	文化	その他		
事業数	2	1	4	5	1	5	3	2	2	4	1	0	6	0
延べ参加人数	33	20	453	175	34	393	102	54	39	329	955	0	214	0

令和６年度　事業報告

神林公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	ＣＳ
自然観察会	5月 2日	1回	環境	成人	34人	【内容】 上高地をウォーキングしながら、自然観察を行う。 【ねらい】 自然散策しながら、健康増進、仲間づくりを図る。	【準備過程】 図書視聴覚委員会にて行き先を決定 【協力】 公民館図書視聴覚委員	【評価と反省】 自然の中を歩き、講師の説明を受けながら植物等の観察をすることで、健康増進、仲間づくりを図ることができた。 【今後の方針】 庁用バスの利用に困難になってきたため、開催に向けた検討が必要	
モルック体験会	6月19日	1回	スポーツ	成人	12人	【内容】 近年、人気が高まってきているモルックの体験会 【ねらい】 ニュースポーツの体験を通じて、住民同士の親睦と健康づくりを図る。	【準備過程】 講師と打合せを行い、内容を決定 【協力】 公民館体育委員に講師を依頼	【評価と反省】 普段行うことができないニュースポーツを体験することで、参加者同士で親睦を図ることができた。	
わくわく子ども広場「みんなでニュースポーツ」	6月30日	1回	スポーツ	青少年	50人	【内容】 小学生を対象としたボッチャやモルックなどのニュースポーツの体験 【ねらい】 ニュースポーツの体験を通じて、子ども同士の親睦と交流を図る。	【準備過程】 神林地区子ども会育成会が中心となり、企画・運営 【共催団体】 神林地区子ども会育成会	【評価と反省】 普段行うことができないニュースポーツを体験することで、参加者同士で親睦を図ることができた。 【今後の方針】 継続して開催したい。	
西南ブロック球技大会	7月	中止	地域事業（体育）	成人	0人	【内容】 市長杯争奪球技大会の予選会を兼ねた球技大会 種目：軟式野球、婦人バレーボール 【ねらい】 西南ブロック３地区（神林・笹賀・今井）の親睦交流	【準備過程】 今井地区を当番地区として３地区合同会議を開催し、内容の検討を行った。 【共催団体】 ・神林地区スポーツ協会 ・笹賀地区スポーツ協会 ・笹賀公民館 ・今井地区スポーツ協会 ・今井公民館	【評価と反省】 コロナ禍以降、選手集めが困難になり中止	

令和６年度　事業報告

神林公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	ＣＳ
第13回神林地区スポーツ協会長杯争奪マレットゴルフ大会	7月 6日	1回	地域事業（体育）	成人	28人	【内容】 男女混合戦にて行うマレットゴルフ大会 【ねらい】 地区住民の親睦と健康づくり	【準備過程】 神林地区スポーツ協会役員会にて内容決定 【共催団体】 神林地区スポーツ協会 【協力団体】 神林マレットゴルフクラブ	【評価と反省】 ・当初、男女別での開催を予定していたが、女性の申込みが少なく、急遽男女混合戦へと変更した。 ・ねらいどおり、親睦と健康づくりを図ることができた。 【今後の方針】 地区のスポーツ大会として今後も実施しつつ、開催方法の見直しやあらゆる年齢層の方に参加してもらえるよう周知していきたい。	
食改の料理教室	7月18日	1回	福祉健康	成人	20人	【内容】 成長期の子どものためのメニューを作る料理講座 【ねらい】 健康を意識した食事の調理方法を学ぶ。	【共催団体】 神林地区食生活改善推進協議会	【評価と反省】 定員いっぱいの参加があり、女性だけでなく、男性の参加もあった。食改の皆さんの説明だけでなく、栄養士も参加することで、健康を意識した食事内容について学びを深めることができた。 【今後の方針】 食改の皆さんとメニューを検討し、継続して開催したい。	
さかなつかみ大会	7月21日	1回	子育て	青少年	160人	【内容】 鎖川河川沿いで、マスを中心とした魚つかみ体験 【ねらい】 自然とふれあいながら、子ども達同士や親子の交流と絆を深める。	【準備過程】 神林地区子ども会育成会が中心となり、企画・運営 【協力】 神林地区子ども会育成会	【評価と反省】 自然に親しみながら、子ども達同士や親子の交流を行うことができた。 【今後の方針】 子ども達に貴重な体験してもらうためにも継続して開催したい。	
夏休みわくわく子ども広場	8月 2日	1回	子育て	青少年	59人	【内容】 国営アルプスあづみの公園大町・松川地区へ行き、クラフト体験や食体験、自然遊びを行う。 【ねらい】 子ども達の交流と公民館事業に親しんでもらう。また、夏休み中の親の負担軽減も図る。	【準備過程】 神林地区子ども会育成会・主任児童員が中心となり、企画・運営 【共催団体】 ・神林地区子ども会育成会 ・社会福祉協議会神林支会	【評価と反省】 施設側の人手不足により食体験ができなくなってしまったが、自然散策などを行い、子ども達が自然に親しみながら交流を行うことができた。 【今後の方針】 子ども達に貴重な体験してもらうためにも内容や目的を見直しつつ、継続して開催したい。	

令和６年度　事業報告

神林公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	ＣＳ
みんなの防災講座	8月6日	1回	防災	成人	38人	【内容】 町内公民館を会場とし、パッククッキング、段ボールベッド組み立て体験、防災講話を実施 【ねらい】 防災について学ぶことで、地区住民の防災意識を高める。	【準備過程】 協力団体と打合せを行い、内容を決定 【協力】 ・神林地区食生活改善推進協議会 ・男性の料理教室 ・松本看護大学学生ボランティア	【評価と反省】 身近な町内公民館を会場として開催することで、住民の防災意識を高めることができた。 【今後の方針】 内容を検討しつつ、要望に応じて開催した。	
スマホ相談会	8月19日	1回	その他	高齢者	11人	【内容】 スマートフォンの基本的な使い方から日常よく使う機能についての個別相談会 【ねらい】 高齢者のデジタルデバイド対策	【準備過程】 松本看護大との日時、内容の調整 【協力】 松本看護大学学生ボランティア	【評価と反省】 学生ボランティアに協力いただくことで、個別の相談についても対応がしやすかった。 【今後の方針】 住民のニーズがある内容のため、開催方法や頻度を検討したい。	
史跡めぐり	8月21日	1回	地域文化	成人	30人	【内容】 富岡製糸場を訪れ、その歴史を学ぶ。 【ねらい】 様々な史跡について学ぶとともに、仲間づくりを目指して開催	【準備過程】 文化委員会にて行先を決定 【協力】 公民館文化委員	【評価と反省】 大勢の参加申込みがあり、ねらいどおり開催することができた。 【今後の方針】 様々な行先を検討しながら、継続して開催したい。	
神林スポーツフェスティバル	9月 8日	1回	地域事業（体育）	成人	181人	【内容】 ・ニュースポーツ、パラスポーツ体験 ・福祉用具体験会を同時開催 【ねらい】 スポーツの楽しさを広め、健康で明るく生き生きと暮らせる神林地区を目指し、住民の交流と絆を深める。	【準備過程】 体育委員会にて実施種目や運営について検討 【主管】 神林スポーツフェスティバル実行委員会	【評価と反省】 ・前回開催時と種目を変更するだけでなく、福祉用具体験会の同時開催や松本山雅からガンズくんを呼ぶなど、内容を見直しつつ開催ができた。 ・あらゆる年齢層の参加があり、健康増進のほか、多世代交流の場にもなった。 ・見込みより参加者が少なく、周知方法について検討するべきとの声があった。 【今後の方針】 参加者が以前の開催時より少なかったため、小学校等へも周知を行うなど、内容を見直しながら、継続して開催していきたい。	

令和６年度　事業報告

神林公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	ＣＳ
防災講習会	9月24日	1回	防災	成人	16人	【内容】 消防士を講師に迎え、自宅でできる防災対策を学ぶ講習会 【ねらい】 防災について学ぶことで、地区住民の防災意識を高める。	【準備過程】 講師と打合せを行い、内容を決定 【共催団体】 芳川消防署神林出張所	【評価と反省】 地震への対策として、自宅ですぐに実施できる防災対策を学ぶことで、住民の防災意識を高めることができた。 【今後の方針】 内容を検討しつつ、要望に応じて開催した。	
空穂と源氏物語の世界	10月 9日	1回	趣味教養	成人	4人	【内容】 窪田空穂記念館にて、空穂の歴史と源氏物語の解釈について学ぶ。 【ねらい】 身近な偉人の歴史を学び、地区住民の趣味教養を高める。	【準備過程】 窪田空穂記念館学芸員と打合せを行い、内容を決定 【協力】 窪田空穂記念館	【評価と反省】 住民からの声で開催した講座であるが、現地集合であったためか、参加者が少なかった。	
第52回神林ふれあい文化祭	10月14日	1回	地域事業（文化）	成人	955人	【内容】 作品展示、地区団体やサークルなどによるステージ発表、公民館利用者による出店やイベントコーナーの実施 【ねらい】 地区の芸術・文化及び交流の１年間の集大成の場とし、個人・サークル活動団体の成果を発表する場を提供することにより、地区の芸術・文化の向上を図る。	【準備過程】 文化委員会にて開催方法や内容を決定 【主管】 神林ふれあい文化祭実行委員会	【評価と反省】 ・公民館利用団体だけでなく、地区で活動している団体も参加し、地域の子どもから大人までが一堂に会して盛大に開催することができた。 ・飲食ブースについては出店数を増やしてほしいという声が多かった。 【今後の方針】 文化委員会で開催内容を検討しつつ、継続して開催していきたい。	
台湾の料理講座	11月26日	1回	人権平和	成人	10人	【内容】 台湾の朝ごはんを作る料理講座 【ねらい】 海外の料理を作ることで、多文化共生について学ぶ。	【準備過程】 講師と打合せを行い、内容を決定 【協力】 地区に住む多文化共生キーパーソンの方に講師を依頼	【評価と反省】 多文化共生キーパーソンを通じて講座を開催することができ、外国の文化を学ぶ良い機会となった。 【今後の方針】 多文化共生キーパーソンと協力し、様々な内容の活動を検討したい。	
人権啓発推進研修	12月 6日	1回	人権平和	成人	23人	【内容】 放浪美術館、原田泰治美術館の見学 【ねらい】 人権施設の見学を通じて、障がいのある方との関わりについて考える機会とする。	【共催団体】 神林地区人権啓発推進協議会	【評価と反省】 障がいのある方の活躍について見学するので、自分たちが地域で障がいのある方とどう関わっていくか考える機会とすることができた。 【今後の方針】 様々な人権について、視察研修は継続しつつ、その他の人権啓発事業の実施も検討していきたい。	

令和６年度　事業報告

神林公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	ＣＳ
正月飾りづくり講習会	12月15日	1回	地域文化	その他	33人	【内容】 正月飾りづくり（しめ縄など）の講習会 【ねらい】 正月飾りづくりを体験する機会を設け、地域文化の大切さを学ぶ。	【準備過程】 神林地区子ども会育成会が中心となり、企画・運営 【共催団体】 神林地区子ども会育成会	【評価と反省】 子どもから大人まで幅広い年齢層の参加があり、多世代交流の場となった。 【今後の方針】 地域文化継承のためにも継続して開催していきたい。	
家電製品の仕組み講座	12月17日	1回	趣味教養	成人	3人	【内容】 家電製品を長く使い続けるため、その仕組みを学ぶ。 【ねらい】 家電製品の仕組みを学び、自分でメンテナンスを行う知識の取得を図る。	【準備過程】 講師と打合せを行い、内容を決定	【評価と反省】 内容が難しかったためか、参加者が少なかった。	
まつもと日和上映会	1月26日	1回	地域文化	成人	28人	【内容】 地域映画「まつもと日和」の上映会 【ねらい】 上映会を通じて、過去の松本市の姿や、当時の生活について知るとともに、参加者同士で語り合うことを通じて親睦を図る。	【準備過程】 図書視聴覚委員会で内容を検討 【協力】 公民館図書視聴覚委員	【評価と反省】 高齢の方の参加が多かったが、それぞれ昔を思い出しながら、近くの人と語り合う姿があり、ねらいどおりの開催ができた。 【今後の方針】 費用が高額であるため、内容の検討が必要	
神林地区球技大会	3月 2日	1回	地域事業（体育）	成人	120人	【内容】 町会対抗の球技大会 競技種目：ラージボール卓球、ソフトバレーボール 【ねらい】 住民同士の親睦、スポーツ振興、冬季の運動不足解消	【主管】 神林地区球技大会実行委員会 【協力団体】 ・神林卓球クラブ ・神林ソフトバレーボール協会	【評価と反省】 寒い時期にも関わらず、選手は真剣勝負を行っていたが、選手集めが困難で参加を辞退する町会があった。 【今後の方針】 町会対抗の唯一の事業となっているため、継続した開催ができるよう参加要項を見直すなど内容を検討していきたい。	
西南ブロック地区ボッチャ交流会	3月18日	1回	スポーツ	その他	40人	【内容】 西南ブロック３地区（笹賀・今井・神林）によるボッチャの交流会 【ねらい】 西南ブロック３地区の親睦交流	【準備過程】 今井地区を当番地区として３地区合同会議を開催し、内容の検討や準備を行った。 【共催団体】 ・神林地区スポーツ協会 ・笹賀地区スポーツ協会 ・笹賀公民館 ・今井地区スポーツ協会 ・今井公民館	【評価と反省】 令和５年度から新たに合同で企画し継続開催となったが、地区を超えて交流ができたことに加え、子どもと高齢者が同じチームを組むなど、世代間交流も行うことができた。 【今後の方針】 ３地区の親睦交流のため、様々な競技を行ったり、大会形式にするなど内容を変更しての開催を検討していく。	

令和６年度　事業報告

神林公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	ＣＳ
春のわくわく子ども広場	3月20日	1回	子育て	青少年	53人	【内容】 いちご狩り（筑北村） 【ねらい】 子ども達の交流と公民館事業に親しんでもらう。	【準備過程】 神林地区子ども会育成会が中心となり、企画・運営 【共催団体】 神林地区子ども会育成会	【評価と反省】 大勢の子ども達が参加し、いちごの栽培されている様子を知るとともに、子ども達の交流の場とすることができた。 【今後の方針】 子ども達の貴重な経験ができる事業として、内容を検討しつつ継続していきたい。	
バスdeおでかけ	7月 2日 8月29日 11月27日	3回	その他	成人	28人	【内容】 ぐるっとまつもとバスを利用して、セルフレジ体験や博物館での見学を行う。 【ねらい】 ぐるっとまつもとバスの利用促進	【共催団体】 神林地区まちづくり協議会	【評価と反省】 毎回内容を変更し、バスの乗車体験だけではなく、買い物や施設利用など、今後の利用の促進を図ることができた。 【今後の方針】 ぐるっとまつもとバスを利用した新たな事業を検討したい。	
あなたの知らない松本城と世界遺産講座	12月20日 1月 8日	2回	地域文化	成人	27人	【内容】 松本城の歴史と構造について学ぶ。 【ねらい】 身近な松本城について学ぶことで、その魅力を再発見し、地域の文化について考える機会とするもの。	【準備過程】 共催団体と打合せを行い、内容を決定 【共催団体】 ・文化財課 ・文化振興課 ・「国宝松本城を世界遺産に」推進実行委員会	【評価と反省】 座学を行った後にフィールドワークを行うことで、参加者が実際に目で見て学ぶことができ、身近な松本城への関心をさらに高めることができた。	
ポスターコンクール	7～9月	1回	地域文化	青少年	57人	【内容】 画題を神林ふれあい文化祭とし、神林の素晴らしいところ、素敵なところを表現した作品を募集。応募作品は審査会で審査し、入賞者を神林ふれあい文化祭にて表彰 【ねらい】 地域の魅力再発見と併せて神林ふれあい文化祭の周知を図る。	【準備過程】 文化委員会にて内容決定	【評価と反省】 神林の素晴らしいところ、素敵なところを表現した作品を募集することで、地域の魅力の再発見と文化祭の周知を図ることができた。 【今後の方針】 自分たちの住む地域の関心を高めるため、また、神林ふれあい文化祭の周知のためにも継続して開催したい。	

令和６年度　事業報告

神林公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	ＣＳ
パソコン喫茶	通年	12回	趣味教養	成人	104人	【内容】 ワード・エクセルやインターネットの使い方を学ぶ。講座終了後は参加者とコーヒーを飲みながら交流する。 【ねらい】 初心者から中級者まで、気軽にパソコンに触れられる機会を作りながら、住民同士の交流を図る。	【準備過程】 講師と打合せし、内容決定 【共催団体】 神林地区福祉ひろば	【評価と反省】 学習をしながら住民同士の交流を深めることができた。喫茶の時間を設けることで再開することができた。 【今後の方針】 参加者の固定化・減少してきているため、内容および継続開催について、検討したい。	
俳句講座	通年	12回	趣味教養	成人	184人	【内容】 俳句について学ぶ。 【ねらい】 住民同士の交流を図りながら、趣味教養を深める。	【準備過程】 講師と打合せし、内容決定	【評価と反省】 日常で感じたことを俳句として詠むことで、参加者同士の交流をすることができた。 【今後の方針】 継続して開催したい。	
写真勉強会	通年	12回	趣味教養	成人	98人	【内容】 デジタルカメラの基礎知識と撮影技術をお互い学び合う。 【ねらい】 住民同士の交流を図りながら、趣味教養を深める。	【準備過程】 講師と打合せし、内容決定	【評価と反省】 ・写真を通じて、参加者同士の交流を深めることができた。 ・口コミによって地区外のみならず、市外からの参加者も増え、地区を超えた交流ができた。 【今後の方針】 継続して開催したい。	
ぽんぽこりんのひろば	通年	12回	子育て	家庭教育	181人	【内容】 パネルシアター、人形劇、工作、クリスマス会など親子のふれあい事業 【ねらい】 未就園児の親子のふれあいと親同士の親睦・交流	【準備過程】 主任児童員と打合せし、内容を決定 【共催団体】 神林地区福祉ひろば	【評価と反省】 幼少期における仲間とのふれあいや親同士の親睦を図ることができた。 【今後の方針】 継続して開催したい。	
運営委員会	随時	1回	公民館委員会・各種会議等	成人	27人	【内容】 事業計画・予算の審議、事業報告・決算の審議。地区行事開催可否の審議		【評価と反省】 コロナ禍以降、再開し始めた事業や新たな取り組みについて、開催方法等を検討することができた。 【今後の方針】 より一層公民館活動の充実を図りたい。	

令和６年度　事業報告

神林公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	ＣＳ
館報編集委員会	随時	1回	公民館委員会・各種会議等	成人	72人	【内容】 ・松本市公民館報神林版の企画編集 ・神林公民館だよりの企画編集		【評価と反省】 地区内の時事的な事柄について情報を共有し、公民館報の企画編集を行った。 【今後の方針】 親しみやすい館報の紙面づくり心がけていきたい。	
体育委員会	随時	1回	公民館委員会・各種会議等	成人	44人	【内容】 神林スポーツフェスティバル、神林地区球技大会の内容検討及びスポーツ振興		【評価と反省】 スポーツフェスティバル・地区球技大会について協議を行い、開催することができた。 【今後の方針】 恒例事業の見直しだけでなく、新たな活動などを検討していきたい。	
文化委員会	随時	1回	公民館委員会・各種会議等	成人	50人	【内容】 神林ふれあい文化祭、史跡めぐり、ポスターコンクールの企画実施及び文化、芸術の向上を図る。		【評価と反省】 ふれあい文化祭や史跡めぐり等の事業ついて協議を行い、計画的に開催することができた。 【今後の方針】 恒例事業だけでなく、新たな活動などを検討していきたい。	
図書視聴覚委員会	随時	1回	公民館委員会・各種会議等	成人	21人	【内容】 自然観察会・映画上映会などの図書視聴覚活動の実施、図書コーナーの整頓		【評価と反省】 概ね予定していた事業を計画的に実施できた。 【今後の方針】 恒例事業だけでなく、新たな活動などを検討していきたい。	
地区内関係諸団体と事業共催及び活動支援	随時	1回	公民館委員会・各種会議等	成人		【内容】 神林地区スポーツ協会、神林地区こども会育成会、神林地区人権啓発推進協議会などとの事業共催及び活動支援		【評価と反省】 各団体の自主性を尊重しつつ、連携を深めた活動ができた。 【今後の方針】 引き続き各団体の自主性を尊重しつつ、連携を深めていきたい。	

令和６年度　事業報告の概要

笹賀公民館

方針・地域課題・重点的に取り組んだ事項等	評価・反省等
【方針・地域課題】 ・地域住民の幅広い要望や課題を反映した地域づくりに活かされる学習活動を展開し、住民自治力の向上を図る。 ・町内公民館及び地区内関係団体、学校との連携協力を図る。 ・地域づくりや地域の人材育成の機会となるような事業の運営を図る。 ・地域住民の要望に合わせて、地域の歴史・文化の伝承の機会となるような事業の運営を図る。 【重点的に取組んだ事項】 ・地区全体で行う事業を各委員会で見直し、実施した。 ・新しい講座の企画、既存講座のサークル化や実施内容の見直しを行った。	・町内公民館の親睦大会などの数十年に渡り地域住民の交流に大きな役割を果たしてきた恒例事業や、地域の伝統行事、住民から声の上がった新規事業にも取り組み、それをきっかけに住民同士の交流も促進することができた。 ・今年度は館報 400号の記念事業や、文化祭の内容を見直し、地区をより知る機会が提供できた。 ・次年度は地区内の魅力を再発見・再確認できるような事業を目指していきたい。

項目	学級講座・学習会等									地域事業			公民館委員会・各種会議等	ＣＳ
	人権平和	福祉健康	子育て	地域文化	環境	趣味教養	スポーツ	防災	その他	体育	文化	その他		
事業数	2	4	10	3	1	5	0	1	0	7	2	0	5	3
延べ参加人数	49	236	1077	55	38	331	0	10	0	296	708	0	214	640

令和６年度　事業報告

笹賀公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	ＣＳ
第９回笹賀地区ウォーキング大会	5月26日	1回	地域事業（体育）	成人	56人	【内容】 地区事業として例年実施しているウォーキング大会。地区内のウォーキングに合わせて史跡巡りを実施している。 【ねらい】 地区住民の交流と健康維持を図るとともに、地区の文化財について学ぶ機会とする。	【準備過程】 公民館体育委員を中心に企画実施 【協力】 笹賀地区福祉ひろば 笹賀地区町内公民館 笹賀地区スポーツ協会 笹賀地区交通安全協会	【評価と反省】 例年多くの参加申し込みがあり、地区住民の健康づくりにつながるとともに、地区内の文化財等を知っていただく良い機会となった。 【今後の方針等】 地区内でコースを検討し、継続実施していきたい。	
スパイスを使ったインド料理教室	7月 2日 7月30日	2回	人権平和	成人	25人	【内容】 多文化共生キーパーソンによる料理教室。７月２日、７月30日（親子向け） 【ねらい】 文化の違いを知り、学ぶ。	【準備過程】 多文化共生キーパーソンと相談し企画実施 【協力】 笹賀地区多文化共生キーパーソン	【評価と反省】 海外の話を聞いて、家庭料理のことや生活文化の違いを知る良い機会となった。 【今後の方針等】 継続実施していきたい。	
第52回笹賀地区町内公民館親睦球技大会	7月7日	1回	地域事業（体育）	成人	100人	【内容】 地区行事として例年実施している町内公民館対抗の球技大会 ソフトバレーボール、ソフトボールの２種目 【ねらい】 地区住民の交流、親睦と健康維持を図る。	【準備過程】 公民館体育委員を中心に企画実施 【協力】 笹賀地区町内公民館 笹賀地区スポーツ協会	【評価と反省】 例年、多くの町会から若年層から高齢者までの幅広い年齢層の参加があり、地区住民の親睦を深め、世代間交流にもつながった。 【今後の方針等】 数十年続いている恒例行事が潰れてしまうことのないよう、体育委員とともに継続していきたい。	
親子で楽しく料理しよう！	7月31日	1回	子育て	青少年	17人	【内容】 小中学生親子を対象に調理実習を実施 【ねらい】 食について学ぶことで、健康に繋げる。	【準備過程】 地区食生活改善推進員と相談し企画実施 【協力】 笹賀地区食生活改善推進員	【評価と反省】 親子で楽しく学んで取り組める良い機会となった。 【今後の方針等】 継続していきたい。	
西南ブロック球技大会	7月	0回	地域事業（体育）	成人	0人	【内容】 市長杯争奪球技大会のブロック予選を兼ねた今井、神林、笹賀の３地区による球技大会 軟式野球とママさんバレーボールの２種目 【ねらい】 ３地区の交流事業として実施	【準備過程】 当番地区を中心に準備、運営を行う。今年度は今井地区が当番地区 【協力】 笹賀地区スポーツ協会 神林地区スポーツ協会 今井地区スポーツ協会 神林公民館 今井公民館	【評価と反省】 市長杯争奪球技大会の予選も兼ねて毎年実施しており、３地区の交流にもつながっている。参加者不足により、西南ブロック球技大会は中止としたが、市長杯争奪球技大会の代表は３地区の協議により決定した。 【今後の方針等】 ３地区の交流事業として今後も継続実施したい。できるだけ多くの選手が参加できるように開催時期を調整していきたい。	

令和６年度　事業報告

笹賀公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	ＣＳ
夏の防災講座	7月	4回	子育て	青少年	120人	【内容】 菅野中学２年生が対象。総合の学習で防災を選択した生徒とマインクラフトを使用して防災学習を行う。 【ねらい】 災害を自分ごとに捉え、命を守るための行動、対策について学ぶ機会とする。	【準備過程】 土木研究所と菅野中学校と企画 【協力】 土木研究所 菅野中学校 神林公民館	【評価と反省】 今年度はじめて実施。子ども達にとって身近なツールで防災を学ぶいい機会を提供できた。 【今後の方針等】 子ども達が主体的に取り組めるように、継続していきたい。	○
第１回夏休み寺子屋食堂	8月5日	1回	子育て	青少年	30人	【内容】 地区内小中学生親子が対象。寺子屋教室、ブラインドサッカー教室、食事を行う。 【ねらい】 寺子屋や体験教室を通して多様な世代、地域の方との交流や学びを図る。	【準備過程】 子ども会育成会を中心に企画実施 【協力】 笹賀地区子ども会育成会 松本山雅Ｂ．Ｆ．Ｃ 教職員だった方	【評価と反省】 今年度はじめて実施。地域の子どもにそれぞれの立場から関わる機会を提供できた。 【今後の方針等】 小中学生、ＰＴＡ、育成会の声を聞きながら、子ども達にとって良い経験となる行事を行っていきたい。	
ジャグリングパフォーマンス＆体験ワークショップ	8月17日	1回	子育て	青少年	30人	【内容】 地区内小中学生親子を対象に、地元講師をお呼びして体験教室を実施 【ねらい】 体験教室を通して子ども達の豊かな心を育てることを図る。	【準備過程】 子ども会育成会を中心に企画実施 【協力】 笹賀地区子ども会育成会 ＪＤＳ（ジャグリング・ドット・信州）	【評価と反省】 体験教室を通して親子が主体的に活動を行えた。 【今後の方針等】 継続していきたい。	
人生 100年時代を生きるヒントを一緒に考えましょう	8月21日	1回	福祉健康	高齢者	11人	【内容】 65歳以上の地区住民を対象に隣にある松本看護大学から講師をお呼びして実施 【ねらい】 自分の人生についての考えた方を学ぶ機会とする。	【準備過程】 松本看護大学と企画実施 【協力】 松本看護大学	【評価と反省】 日頃抱えている悩みや、気になっている疑問等、意見交換も行われていい学ぶ機会になった。 【今後の方針等】 継続していきたい。	
子ども会お楽しみ会	8月24日	1回	子育て	青少年	30人	【内容】 小中学生で企画会議を行い、お楽しみ会を開催 【ねらい】 企画会議や当日の活動を通して子ども達の豊かな心を育てることを図る。	【準備過程】 子ども会育成会を中心に企画実施 【協力】 笹賀地区子ども会育成会	【評価と反省】 小中学生、ＰＴＡ、育成会の声を聞きながら、企画。子供たち自身も主体的に活動を行った。 【今後の方針等】 継続していきたい。	

令和６年度　事業報告

笹賀公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	ＣＳ
黒部ダム見学～脱炭素社会に向けて～	9月4日	1回	環境	成人	38人	【内容】 黒部ダムで環境学習 【ねらい】 二酸化炭素を排出しないクリーンなエネルギーについて学ぶ。	【準備過程】 公民館とひろば、松本大学からの実習生と企画実施 【協力】 笹賀地区福祉ひろば 松本大学社会教育実習生	【評価と反省】 天気に恵まれ、ダムを歩きながら交流、環境学習を行えた。 【今後の方針等】 継続していきたい。	
笹賀地区親睦グラウンドゴルフ大会	9月8日	1回	地域事業（体育）	成人	100人	【内容】 運動会に代わる地区事業として例年実施している親睦グラウンドゴルフ大会 【ねらい】 年齢を問わず誰でも参加できるグラウンドゴルフ大会を行い、地区住民の親睦と交流を図る。	【準備過程】 公民館、体育委員を中心に企画実施 【協力】 笹賀地区町会連合会 笹賀地区町内公民館 笹賀地区スポーツ協会	【評価と反省】 例年、幅広い年齢から多くの参加があり、町会を越えた地区住民の交流につながった。 【今後の方針等】 継続していきたい。	
地震対策できていますか？	9月24日	1回	防災	成人	10人	【内容】 地区住民を対象に消防署から講師をお呼びして実施 【ねらい】 自分の命を守るための対策について学ぶ機会とする。	【準備過程】 近隣の消防署と企画実施 【協力】 芳川消防署神林出張所	【評価と反省】 過去の災害を振り返り、今日からできる具体的な準備・対策について学んだ。ハザードマップや手作りの模型を通して防災について学ぶ機会になった。 【今後の方針等】 継続していきたい。	
笹賀地区文化祭	11月10日	1回	地域事業（文化）	成人	700人	【内容】 地区住民の文化活動の発表の場として、作品展示会、ステージ発表会を実施。その他にも、各種団体による催し物や抽選会などを実施 【ねらい】 日頃の文化活動の発表の場を設けることにより、地域の活性化、地区住民の交流を図る。	【準備過程】 町内公民館長、町内公民館主事にて文化祭実行委員を組織し、実行委員を中心に企画運営 【協力】 笹賀地区福祉ひろば 笹賀地区各種団体 笹賀地区内企業 松本大学社会教育実習生	【評価と反省】 例年どおり、日頃の文化活動の発表の場としてステージ発表、作品展示会とともに盛り上がった。地域の協賛協業との抽選会、地元団体と教育実習生の模擬店の出店で盛り上がった。空港図書館とも連携し、リサイクル用の図書館除籍本を準備した。 【今後の方針等】 継続していきたい。	
健康寿命をのばそう！料理教室	11月29日	1回	福祉健康	成人	10人	【内容】 地区住民を対象に調理実習を実施 【ねらい】 食について学ぶことで、健康に繋げる。	【準備過程】 地区食生活改善推進員と相談し企画実施 【協力】 笹賀地区食生活改善推進員	【評価と反省】 季節の郷土食や伝統行事に触れる良い機会となった。 【今後の方針等】 継続していきたい。	

令和６年度　事業報告

笹賀公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	ＣＳ
笹賀地区もちつき大会	12月8日	1回	地域事業（文化）	成人	8人	【内容】 季節の郷土食の調理実習を通して、郷土の食文化、伝統文化の次世代への継承を図る。	【準備過程】 子ども会育成会を中心に企画実施 【協力】 笹賀地区子ども会育成会 神戸町会	【評価と反省】 季節の郷土食や伝統行事に触れる良い機会となった。 【今後の方針等】 継続していきたい。	
松本平の“食”を学ぶ大人の社会見学	12月24日	1回	福祉健康	成人	39人	【内容】 松本平地域の食文化を学ぶ。 【ねらい】 松本平地域の歴史ある食品関連企業を巡り、食文化の歴史を学ぶ。	【準備過程】 公民館とひろばで企画実施 【協力】 笹賀地区福祉ひろば 石井味噌 亀田屋酒造 丸正醸造 ゴールドパックあずみ野工場	【評価と反省】 松本平の食に関わってきた企業の貴重な話を聞いて考える機会になった。 【今後の方針等】 継続して企画していきたい。	
笹賀地区人権啓発推進協議会視察研修	1月9日	1回	人権平和	成人	24人	【内容】 満蒙開拓平和記念館、藤村記念館を視察 【ねらい】 歴史から平和や人権について学ぶ。	【準備過程】 公民館で企画、実施 【協力】 笹賀地区人権啓発推進協議会	【評価と反省】 戦争の歴史と向き合い、貴重な資料を通して人権と平和について学べた。 【今後の方針等】 継続していきたい。	
第40回笹賀地区町内公民館親睦卓球大会	1月26日	1回	地域事業（体育）	成人	100人	【内容】 地区行事として例年実施している町内公民館対抗の卓球大会 【ねらい】 地区住民の交流、親睦と健康維持を図る。	【準備過程】 公民館体育委員を中心に企画実施 【協力】 笹賀地区町内公民館 笹賀地区スポーツ協会	【評価と反省】 全町会参加とはいかなかったが、町会対抗で選手や応援が盛り上がった。 【今後の方針等】 継続していきたい。	
第２回ささが寺子屋食堂	3月1日	1回	子育て	青少年	30人	【内容】 地区内小中学生親子が対象。寺子屋教室、ボッチャ体験会、みんなでカレー作りして食事を行う。 【ねらい】 寺子屋や体験教室を通して多様な世代、地域の方との交流や学びを図る。	【準備過程】 子ども会育成会を中心に企画実施 【協力】 笹賀地区子ども会育成会 教職員だった方	【評価と反省】 夏休みに続いて２回目の実施。地域の子どもにそれぞれの立場から関わる機会を提供できた。 【今後の方針等】 小中学生、ＰＴＡ、育成会の声を聞きながら、子ども達にとって良い経験となる行事を行っていきたい。	
ワインの魅力を知ろう！	3月8日	1回	地域文化	成人	15人	【内容】 地区内でワインを作っている方を講師にお呼びして開催 【ねらい】 ワインの魅力ついて学ぶ。	【準備過程】 地区内でワインを作っている方に講師を依頼 【協力】 ガクファーム＆ワイナリー	【評価と反省】 地区内でも話題のワインを作っている方からどんな思いで作り始めたのか、なぜこの場所でワインを作っているのか、貴重な話を聞き、活発に意見交換も行われた。 【今後の方針等】 継続していきたい。	

令和６年度　事業報告

笹賀公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	ＣＳ
西南ブロック地区ボッチャ体験会	3月18日	1回	地域事業（体育）	成人	40人	【内容】 今井・神林・笹賀の３地区によるボッチャ交流会 【ねらい】 今井、神林、笹賀３地区の親睦と交流を図る。	【準備過程】 当番地区スポーツ協会が中心となり企画実施。今年度は今井地区が当番地区 【協力】 笹賀地区スポーツ協会 今井地区スポーツ協会 神林地区スポーツ協会 今井公民館 神林公民館	【評価と反省】 参加者不足により、３地区の大会が中止となったので令和５年度から開催。３地区対抗大会形式で行うことができて盛り上がった。 【今後の方針等】 継続していきたい。	
笹賀マネースクール	3月	2回	趣味教養	成人	6人	【内容】 地区住民を対象にお金の勉強会を実施 【ねらい】 小中学校や高校でも始まったお金の教育。地区住民の学ぶ機会とする。	【準備過程】 学生が学んでいるお金の今について近隣にお住いのＦＰ（ファイナンシャルプランナー）に依頼	【評価と反省】 参加者にとって日頃抱えている悩みや、気になっている疑問等、活発な意見交換も行われた。 【今後の方針等】 継続していきたい。	
育成会３地区合同会議	3月	0回	公民館委員会・各種会議等	成人	0人	【内容】 笹賀、今井、神林の３地区の子ども会育成会事業についての情報交換会 【ねらい】 ３地区の子ども会育成会事業について情報交換することで、課題の共有や解決策を探る。	【準備過程】 当番地区子ども会育成会が中心となり企画実施。今年度は神林地区が当番地区 【協力】 笹賀地区子ども会育成会 今井地区子ども会育成会 神林地区子ども会育成会 今井公民館 神林公民館	【評価と反省】 昨年度と役員と事務局に変更なかったため、今年度は実施しなかった。 【今後の方針等】 地区により状況が異なるため、共有が難しい面も多少あるが、各地区の育成会が盛り上がっていくよう今後も情報交換を継続していきたい。	
西南ブロックゲートボール大会	3月	中止	地域事業（体育）	成人	0人	【内容】 今井・神林・笹賀の３地区によるゲートボール大会 【ねらい】 今井、神林、笹賀３地区の親睦と交流を図る。	【準備過程】 当番地区スポーツ協会が中心となり企画実施。今年度は笹賀地区が当番地区 【協力】 笹賀地区スポーツ協会 今井地区スポーツ協会 神林地区スポーツ協会 今井公民館 神林公民館	【評価と反省】 毎年恒例の行事として実施していたが、競技人口の減少もあり、市民祭・市長杯にも出場できておらず中止の判断となった。 【今後の方針等】 競技団体、各地区の意向を聞きながら、継続して開催していきしたい。	

令和６年度　事業報告

笹賀公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	ＣＳ
自然観察ウォーキング	通年	4回	福祉健康	成人	176人	【内容】 ５月14日：上高地を地元ガイドと歩く ７月29日：千畳敷カール 11月５日：阿寺渓谷 11月20日：光城山・長峰山を地元ガイドと歩く 【ねらい】 自然観察と健康づくり	【準備過程】 公民館とひろばで企画実施 【協力】 笹賀地区福祉ひろば	【評価と反省】 歩きながら交流、自然観察を行えた。 【今後の方針等】 継続して企画していきたい。	
音楽の風景	通年	4回	趣味教養	成人	100人	【内容】 ５月31日：第１回ジャズの名盤を楽しむ 10月８日：第２回ジャズの名盤を楽しむ 12月28日：公民館ピアノ ２月５日：フォークソング 【ねらい】 音楽の楽しみ方や歴史を学ぶ。	【準備過程】 第３回を除き、会場としても使用した地区内にあるジャズ喫茶、ＪＡＺＺ雅鳴きたやと公民館で企画実施。第３回はピアノを寄付してもらった披露を兼ねて開催した。 【協力】 ＪＡＺＺ雅鳴きたや	【評価と反省】 音楽の歴史や楽しみ方を学び、参加者が大切している音楽や、音楽との思い出を共有するいい機会になった。 【今後の方針等】 継続していきたい。	
魅力を引き出そう！ フォトワークショップ	通年	2回	趣味教養	成人	25人	【内容】 経験豊富な写真講師をお呼びして開催 【ねらい】 カメラ、写真の楽しみを知り、実際の撮影を学ぶ。	【準備過程】 文化祭で作品が減少していることを受けて、地区住民から開催希望の声が上がった。講師の方と打ち合わせし開催	【評価と反省】 写真に対する考え方や、向き合い方を学び、意見交換も行った。具体的な技術についても学べるいい機会になった。 【今後の方針等】 次年度も継続して行い、文化祭に向けた写真サークル活動を目指している。	
ほっとスペース笹賀	通年	48回	子育て	青少年	480人	【内容】 不登校支援アドバイザーと心理師による居場所支援 【ねらい】 家や学校以外の居場所として学ぶ居場所づくり。	【共催団体等】 学校教育課学校支援室 こども発達支援課	【評価と反省】 親子で来て、楽しく過ごしている様子が伺えた。笹賀公民館の多目的ホールの広さを生かしたスポーツ活動等ができて良かった。 【今後の方針等】 継続していきたい。	○
デジステ笹賀	通年	24回	趣味教養	成人	100人	【内容】 パソコンやスマートフォンを使いデジタルに触れ、互いにスキルのレベルアップを目指す。 【ねらい】 デジタル化が進む中でデジタル機器の取り扱いに困らないよう支援する。	【準備過程】 デジタル活用に積極的な地区内住民と実施。地区内全戸配布チラシにて周知	【評価と反省】 毎月テーマを決めて学習会を開催。学んだことを活かして地域団体の活動サポートもはじめた。 【今後の方針等】 令和７年度からは団体として学んだ事を活かした相談会活動を中心に、不定期で学習会を開催していきたい。	

令和６年度　事業報告

笹賀公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	ＣＳ
笹賀地区スマホ相談会	通年	24回	趣味教養	成人	100人	【内容】 スマートフォンの基本的な使い方や参加者が普段使っていて分からないことを相談しながら解決していく講座形式で２回行った。 【ねらい】 デジタル化が進む中で特に高齢者がデジタル機器の取り扱いに困らないよう支援する。	【準備過程】 ソフトバンクのスマホ相談員の講習を受けた地区内住民と実施。地区内全戸配布チラシにて周知	【評価と反省】 継続して来てくれる方もいれば新規も豊富なため需要を感じた。 【今後の方針等】 継続実施していきたい。	
地域の畑で松本一本ネギ栽培	通年		地域文化	青少年	40人	【内容】 菅野小学校が総合学習の時間で地域が協力して実現した松本一本ネギ栽培 【ねらい】 子ども達の学びを深め、成長へとつなげるとともに、地域住民との交流により地域への親近感や帰属意識を育む。	【準備過程】 地域住民の畑を借用、地域住民で水やり等の協力 【協力】 菅野小学校 地域住民	【評価と反省】 子ども達の学びと成長のため、松本一本ネギの栽培から収穫まで長期に渡り学校からの要望に応えながらサポートすることができた。地域住民と子ども達が協力することにより、地域にとっても良い交流の場となった。 【今後の方針等】 畑の借用や栽培指導等について他のクラスからも要望が広がっている。地域と学校のコーディネーター役として引き続き協力していきたい。	○
子どもと本の集い	通年	11回	子育て	家庭教育	220人	【内容】 地区内未就園児親子を対象にした絵本を介した子育て支援事業。絵本の読み聞かせのほか、季節の行事に合わせた工作等を実施 【ねらい】 地区内未就園児親子の居場所づくり、仲間作りの場として実施	【準備過程】 おはなしの会「すがのっくる」が中心となり企画・運営 【協力】 おはなしの会「すがのっくる」 笹賀地区福祉ひろば	【評価と反省】 多くの未就園児親子が参加しており、交流、仲間作り、相談の場になっている。また、季節の伝統行事に合わせて工作等を実施するなかで、親が伝統文化について学ぶ機会にもなっている。 【今後の方針等】 「すがのっくる」の自立した活動ではあるが、子育て、親育ちの場として、継続して支援していきたい。	
笹賀おやこ教室	通年	6回	子育て	家庭教育	120人	【内容】 地区内未就園児親子を対象とした奇数月実施の親子講座。お話会、夏まつりの開催、おもちゃ工作、調理実習、施設見学等を実施 【ねらい】 様々な体験を通して、親子でともに成長する場として実施。また、地区内未就園児親子の居場所づくり、仲間づくりの場としても期待	【準備過程】 地区内親子サークル「笹賀おやこクラブてるてる」を中心に企画運営 【協力】 笹賀おやこクラブてるてる 笹賀地区福祉ひろば	【評価と反省】 多くの未就園児親子が参加しており、交流、仲間作り、相談の場の一つになっている。運営役員も含めた親子皆で交流することができた。 【今後の方針等】 引き続き協力していきたい。	

令和６年度　事業報告

笹賀公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	ＣＳ
公民館ニュースの発行（笹賀地区だより）	通年		地域文化	成人		【内容】 毎月発行、地区内全戸配布している。松本市公式ホームページにも同内容を公開している。 【ねらい】 公民館事業等の地区内への周知を図る。	【準備過程】 公民館とひろばで共同制作・発行	【評価と反省】 毎月全戸配布で発行しており、公民館事業の周知方法の一つとなっている。沢山ある配布物の中で埋もれてしまったり、町会未加入者等の配布物が届かない方の増加などの課題もある。市ホームページへの掲載も行っているが、周知方法の更なる充実を検討していきたい。 【今後の方針等】 一つの周知方法として継続発行していきたい。情報をどんな方に伝えたいのかを考え、事業により対象にあった周知方法を検討していく必要があると感じる。	
笹賀地区子ども会育成会だよりの発行	通年		子育て	青少年		【内容】 子ども会育成会で開催した事業内容の記事を中心に育成会だよりの発行、町会全戸配布 【ねらい】 子ども会育成会で実施した事業の報告および来年度以降の参加を促す。また、事業の感想について子どもに原稿依頼することで、参加したことへの思いを深めてもらうともに、地区住民へ行事の楽しさを伝える。	【準備過程】 育成会教養部を中心に事業に参加した子どもへの原稿依頼、編集会議の開催	【評価と反省】 例年、子ども達の個性が良くでている文章が集まり、カラー写真も多く掲載し、行事の楽しさの伝わる内容になっている。 【今後の方針等】 育成会役員は１年任期の方が多いため、来年度以降も継続して発行できるようにしていきたい。また、原稿依頼について特定の町会に偏らないようにしていきたい。	
公民館運営委員会	通年	1回	公民館委員会・各種会議等	成人	20人	【内容】 公民館運営委員会を開催し、笹賀公民館運営についての審議等を行う。	【準備過程】 予算、決算及び事業報告、事業計画の作成	【評価と反省】 新規事業の計画や昨年度の振り返りを兼ねて実施 【今後の方針等】 継続したい。	
館報編集委員会	通年	12回	公民館委員会・各種会議等	成人	71人	【内容】 館報編集委員会を開催し、笹賀公民館報紙面の企画、校正を行う。 【ねらい】 地域の話題を掘り出し、地区住民に知ってもらうことで、地域に興味や親近感を持ってもらう。あわせて公民館事業の報告等も行う。	【準備過程】 館報編集委員を中心に、紙面の企画および校正を行う。	【評価と反省】 館報編集委員の自主性により、紙面の企画校正を行った。編集委員は一本釣りでお願いしており、幅広い情報収集のためにも各町会から新規委員の勧誘が必要 【今後の方針等】 地域の情報を積極的に入手し、紙面のマンネリ化が起きないように心掛けていきたい。また新編集委員の掘り出しも継続して行っていきたい。	

令和６年度　事業報告

笹賀公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	ＣＳ
体育委員会	通年	6回	公民館委員会・各種会議等	成人	54人	【内容】 体育委員会を開催し、地区体育行事の企画、運営を行う。ウォーキング大会、球技大会、グラウンドゴルフ大会、卓球大会等 【ねらい】 体育委員で地区スポーツ大会の要項や参加申し込み方法等について確認および協議し、当日運営がスムーズに進むよう準備する。	【準備過程】 公民館体育委員を中心に企画実施	【評価と反省】 体育事業の開催内容について会議を行った。 【今後の方針等】 より良い体育事業を目指して継続していきたい。	
文化祭実行委員会	通年	6回	公民館委員会・各種会議等	成人	69人	【内容】 文化祭実行委員会を開催し、笹賀地区文化祭の企画、運営を行う。 【ねらい】 文化祭実行委員で協力しあいながら、地区住民の力でより良い文化祭を開催する。	【準備過程】 公民館文化委員、図書視聴覚委員を中心に企画実施	【評価と反省】 文化祭が盛り上がる開催方法について、検討した。 【今後の方針等】 多くの地区住民が楽しみにしている文化祭を絶やすことなく継続していけるようにしていきたい。	

令和６年度　事業報告の概要

芳川公民館

方針・地域課題・重点的に取り組んだ事項等	評価・反省等
【方針・地域課題】 ・コロナにより中止していた事業を徐々に復活できるように進める。 ・地区住民とコミュニケーションを深め、人間関係をつくり、支えあう地域づくりを進める。 ・地区住民が健康で明るく過ごすため、健康維持増進のスポーツ教室、仲間づくり、大会、各種大会への参加、各種スポーツのリーグ戦等を行う。 ・高齢者向けの心と体の健康づくり、将来を見据えた地域づくりに取組む。 ・将来を担う子どもたちを地域で育てる意識を高め、子育て支援・青少年健全育成・松本版コミュニティスクール事業に向けた活動を行う。 ・子ども達が自分で考え、実行していくことができる力を育む事業を進める。 ・デジタル化が進む社会情勢に対応するため、デジタルの格差の解消を進める。 ・各種事業を通じて、地区住民同士の繋がりを深めていき、顔の見える関係づくりを進める。	・地域住民の要望等を踏まえながら、現代の社会情勢や暮らしに適応したニュースポーツ体験をはじめ各種スポーツイベントを実施できた。 ・地域住民の意向を受け、地区内高齢者事業所と共催し高齢者向けの健康体操教室を実施した。 ・地区内小学生向けの夏休み講座、また中学生を対象とした長期休暇の公民館開放（自主学習）を行い、学校との地域連携を深めた。 ・地域における子ども（中高生）の居場所として水・日曜日に「フリースペース事業」を実施。今後に向けた方針やあり方等を検証するため、筑摩野中学校生徒会役員と懇談会を実施した。 ・地区文化祭の振り返りにあたり、より幅広い意見交換から事業を総括し、新たな提案や柔軟な運営を目指すため、事務局に検討組織を設置し意見集約と次年度に向けた方針をまとめた。 ・地区担当職員が連携・協働した地域課題の解決をめざして、地域資源（活動・人）、地域課題（悩み等）の掘り起こしを行い、職員間で共有の上、課題解決に向けた分析・研究を進めた。 ・学校運営の課題をはじめ地域連携事業の取組みにおける思いや悩みを自由に語り合う、学校と地域職員による地域連携懇談会を実施した。

項目	学級講座・学習会等									地域事業			公民館委員会・各種会議等	ＣＳ
	人権平和	福祉健康	子育て	地域文化	環境	趣味教養	スポーツ	防災	その他	体育	文化	その他		
事業数	1	1	2	3	0	4	9	0	3	4	1	1	7	7
延べ参加人数	8	57	210	235	0	750	417	0	86	246	1065	2704	445	4093

令和６年度　事業報告

芳川公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	ＣＳ
春のソフトバレーボール祭	4月14日	1回	スポーツ	成人	52人	【内容】 芳川地区を中心とした、ソフトバレー愛好家による親睦大会 【ねらい】 試合をとおし、交流を深める。	【共催団体】 芳川体育協会	【評価と反省】 地区内に捉われず、様々な地区から選手が集まり交流を深めることができた。 【今後の方針】 継続的に行い引き続き地区内に捉われず広く参加を呼び掛けていきたい。	
町内公民館長会	4月25日	1回	公民館委員会・各種会議等	成人	8人	【内容】 町内公民館の活動報告等 【ねらい】 芳川地区の町内公民館活動への助言等		【評価と反省】 町内公民館との連携については、情報交換・交流等積極的に連携を心掛けているが、連携が不足している部分が多い。 【今後の方針】 次年度は連携を強化できるよう、町内公民館長会の回数を増やすなど交流の場を増やしたい。	
芳川地区モルック・ニュースポーツ体験教室	5月12日	1回	スポーツ	成人	24人	【内容】 モルックとニュースポーツの体験会 【ねらい】 気軽にできるモルックとニュースポーツを地区の方々に知ってもらう。地区の体育大会で正式種目として導入をしたため、各町会の研鑽の場としても活用してもらう。	【共催団体】 芳川体育協会	【評価と反省】 体験したことのない競技に、住民が楽しく参加している様子が印象的だった。 【今後の方針】 気軽に身体を動かす機会として、また競技を知る機会として引き続き取り組んでいきたい。	
芳川公民館運営委員会	5月20日	1回	公民館委員会・各種会議等	成人	15人	【内容】 地区役員へ芳川公民館の４年度の事業報告と５年度の事業計画案を説明 【ねらい】 公民館事業の推進及び委員会活動の活性化を図る。	【構成】 芳川町会連合会 町内公民館長 芳川小学校校長 芳川小学校ＰＴＡ 筑摩野中学校校長 芳川地区子ども会育成会長 民生児童委員協議会長 健康づくり推進員会長 交通安全協会支部長 農村女性委員会長 体育協会理事長 館報編集委員長	【評価と反省】 芳川公民館活動について、様々な視点から協議できた。 【今後の方針】 次年度以降も今回の反省を踏まえ、講座や公民館運営を円滑に行うため必要に応じ開催する。	

令和６年度　事業報告

芳川公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	ＣＳ
ビーチボールバレー交流会	5月25日	1回	スポーツ	成人	14人	【内容】 ビーチボールを使用した屋内バレーボール交流会 【ねらい】 交流会とすることで初心者でも参加できるようにした。	【共催団体】 芳川体育協会	【評価と反省】 子どもからシニア世代まで楽しく交流できた。 【今後の方針】 多世代交流の場として引き続き行っていく。	
よしかわスポーツひろば	7月7日	1回	地域事業（体育）	成人	140人	【内容】 地区住民オープン参加型のスポーツ大会 【ねらい】 体力向上および交流の場	【準備過程】 体育協会および体育委員会で内容を事前に協議 【共催団体】 芳川町会連合会 芳川体育協会	【評価と反省】 昨年度に引き続き、町会対抗体育大会という形から、気軽に参加できる様式へ変更し好評いただいた。 【今後の方針】 「大会」では敷居が高くみえてしまうため、引き続き「スポーツひろば」とし、気軽に参加できる雰囲気づくりを行う。	
芳川地区人権啓発推進協議会視察研修	8月9日	1回	人権平和	成人	8人	【内容】 人権学習の視察 【ねらい】 人権問題を考える機会とした視察研修	【準備過程】 視察先について協議会と事前打合せを行い視察先を決定 【共催団体】 芳川地区男女共生を進める会と共催	【評価と反省】 視察を通じて、人権への理解を深めた。 【今後の方針】 新しい視点を得られるような内容を企画する。	
第49回東南ブロック球技大会	8月25日	1回	地域事業（体育）	成人	35人	【内容】 ６地区対抗の６競技大会 【ねらい】 他地区住民との親睦を目的とするもの	【主管】 東南ブロック球技大会実行委員会 【準備過程】 実行委員会で企画、準備、実施	【評価と反省】 他地区と協力しながら実施した。 【今後の方針】 東南ブロックでの主催となる数少ない体育行事として他地区との交流の推進を図る。	
第30回芳川地区マレットゴルフ大会	9月8日	1回	地域事業（体育）	成人	39人	【内容】 地区住民によるマレットゴルフの親睦大会 【ねらい】 地区住民同士の交流、親睦を目的とするもの	【共催団体】 芳川体育協会	【評価と反省】 地区内から多くの参加者が集まった。朝早くから活気のあるイベントとなった。 【今後の方針】 交流・親睦の場として、引き続き実施していきたい。	

令和６年度　事業報告

芳川公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	ＣＳ
第６回芳川公民館長杯野溝緑地マレットゴルフ大会	10月18日	1回	地域事業（体育）	成人	32人	【内容】 地区住民によるマレットゴルフの親睦大会 【ねらい】 地区住民同士の交流、親睦を目的とするもの	【準備過程】 体育協会マレットゴルフ役員と協力し、景品等を準備 【共催団体】 芳川体育協会	【評価と反省】 地区内から多くの参加者が集まった。朝早くから活気のあるイベントとなった。 【今後の方針】 交流・親睦の場として、引き続き実施していきたい。	
芳川地区文化祭	11月 9日 11月10日	1回	地域事業（文化）	成人	1,065人	【内容】 各サークルの展示と発表、小中学生によるステージ発表を行う地区文化祭 【ねらい】 各サークルや小中学校の日頃の活動の成果発表の場とする。文化活動を通じて地区住民の輪を広げ、絆を深めることを目的とする。	【準備過程】 文化委員、文化祭実行委員と協力して計画 【共催団体】 芳川地区文化祭実行委員会 芳川地区福祉ひろば 芳川公民館利用団体 ＣＳふたむら運営委員会	【評価と反省】 適宜、実行委員会を開き本番に向けて密に事前打ち合わせを行った。事業後は意見交換会を開き、来年度へ向けて改善点等を集約できた。 【今後の方針】 展示方法やイベント内容をより精査していき、見やすい・参加しやすい文化祭を考えていく。	○
第５回ソフトバレーボール芳川体協理事長杯	11月24日	1回	スポーツ	成人	90人	【内容】 平均年齢別に２部門制にし交流 【ねらい】 試合をとおし、交流を深める。	【共催団体】 芳川体育協会	【評価と反省】 地区内に捉われず、様々な地区から選手が集まり交流を深めることができた。 【今後の方針】 継続的に行い、引き続き地区内に捉われず広く参加を呼び掛けていきたい。	
しめ縄づくり事前講習	11月25日	1回	地域文化	成人	15人	【内容】 地域の伝統であるしめ縄作り体験 【ねらい】 正月飾りであるしめ縄づくりを通して地域の伝統文化の継承を目的とする。また、参加者には芳川小学校のしめ縄作り講習会のボランティアを担ってもらう。	【共催団体】 芳川地区福祉ひろば	【評価と反省】 昨年度と顔ぶれが大きくは変わらなかったため、伝統を継承する意味でも、もっと幅広く参加してもらいたい。 【今後の方針】 反省にもあるとおり、幅広く様々な年代の方に参加してもらえるよう引き続き活動していく。	

令和６年度　事業報告

芳川公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	ＣＳ
しめ縄づくり講習会	12月6日	1回	地域文化	家庭教育	157人	【内容】 芳川小学校５年生を対象に行っているしめ縄作り教室 【ねらい】 正月飾りであるしめ縄づくりを通して地域の伝統文化の継承を目的とする。	【準備過程】 ボランティアスタッフへの事前講習会、小学校との事前打ち合わせを実施 【共催団体】 芳川地区福祉ひろば	【評価と反省】 クラスごとに地域ボランティアを１～３名配置し、できる限り子ども達に目が届くように実施した。子ども達にしめ縄作りへ興味を持ってもらえた。 【今後の方針】 伝統文化の継承は地域の課題のため、次年度も実施していきたい。	○
冬のソフトバレーボール祭	12月25日	1回	スポーツ	成人	40人	【内容】 芳川地区を中心とした、ソフトバレー愛好家による親睦大会 【ねらい】 試合をとおし、交流を深める。	【共催団体】 芳川体育協会	【評価と反省】 地区内に捉われず、様々な地区から選手が集まり交流を深めることができた。 【今後の方針】 継続的に行い、引き続き地区内に捉われず広く参加を呼び掛けていきたい。	
新春もちつき大会	1月25日	1回	地域文化	家庭教育	63人	【内容】 子ども用の臼も用意し、もちつき体験をしてもらい、つきたてのもちを食べて楽しむ。 【ねらい】 伝統文化の継承・また住民間の交流を目的として行う。	【共催団体】 芳川地区福祉ひろば	【評価と反省】 昨年度は室内で行っていたものを、屋外へ移し、広くより大勢の参加を募ることができた。 【今後の方針】 参加者はもちろんのこと、運営スタッフからもとても評判が良いため、継続していきたい。	
芳川公民館利用者懇談会	1月27日	1回	公民館委員会・各種会議等	成人	24人	【内容】 主に芳川公民館を利用しているサークルとの懇談と利用についての情報交換を行う。 【ねらい】 公民館の利用方法について意見交換と情報共有を行い、利用しやすい公民館づくりに向けて動いていく。		【評価と反省】 主事・館長よりも公民館をよく知っている方々から意見をもらうことで、新たな気づきがあった。これをより良い公民館運営へつなげていきたい。 【今後の方針】 いただいた意見を基に、利用者が利用しやすい館内の整備につとめ、利用サークル間の交流も深められるよう配慮していきたい。	

令和６年度　事業報告

芳川公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	ＣＳ
地域連携懇談会	2月27日	1回	その他	その他	30人	【内容】 芳川小学校の各学年担当教諭と地域づくり職員との懇談 【ねらい】 学校から地域への学校支援ボランティアに関わる要望・提案・お願い事項を中心に地域づくり職員が聞き取り、学校の抱える課題解決へつなげる。	【出席者】 芳川小学校各学年担当教諭 （１～６学年）24名 芳川地域づくりセンター長 芳川公民館長 芳川公民館主事 芳川地区担当保健師 芳川地区生活支援員 芳川福祉ひろば職員	【評価と反省】 新たな試みとしての開催だったが、小学校の各学年ごとに抱えている課題や地域にお願いしたいことなど、率直な意見や要望を聞くことができ、大変有意義な時間となった。 【今後の方針】 今回でた様々な課題に対し、地域として手助けができるものから動いていきたい。今後も定期的に開催していく予定	○
筑摩野中学校生徒会役員との懇談会	3月6日	1回	その他	青少年	10人	【内容】 新生徒会役員との懇談 【ねらい】 中学生が公民館や地域でやって欲しいと思っていることを聞き、事業へ活かしていく。	【出席者】 生徒会長 男子・女子副会長 地区生徒会代表　２名 寿公民館長・主事 芳川公民館長・主事	【評価と反省】 新たな試みとしての開催だったが、中学生からの率直な意見や要望を聞くことができ、大変有意義な時間となった。 【今後の方針】 次年度の事業を考えていく中で、もらった意見を反映し、より中学生の参加が見込めるよう工夫していく。今後も定期的に開催していく予定	○
芳川ファミスポＤＡＹ	3月23日	1回	スポーツ	成人	37人	【内容】 ニュースポーツを中心に実施 【ねらい】 春休み期間での開催とし、親子から多世代にわたりスポーツを楽しむ機会の提供	【共催団体】 芳川体育協会	【評価と反省】 ねらいのとおり、親子での参加も多く、多世代でニュースポーツを楽しむ機会にできた。 【今後の方針】 多世代交流の場を創造するとともに、ニュースポーツの普及にも力を入れていきたい。	
芳川バドミントン交流会	9月 1日 12月 8日	2回	スポーツ	成人	28人	【内容】 バドミントンおよびファミリーバドミントンの多世代での交流会 【ねらい】 地区住民の体力向上及び多世代交流の場と考える。	【共催団体】 芳川体育協会	【評価と反省】 初心者も気軽に参加できるよう道具を整え、教える環境となった。 【今後の方針】 継続的に行い、バドミントンの競技人口を増やしていきたい。	

令和６年度　事業報告

芳川公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	ＣＳ
食育学級	4月～12月	9回	子育て	家庭教育	72人	【内容】 食についての思いを深め、家庭での手作りの大切さに気付いてもらう。 【ねらい】 「苗を植える→育てる→収穫→調理」を通して、食文化への関心を高め、自分で収穫した野菜を使い地元の伝統食の継承を目的とする。	【共催団体】 芳川保育ゆりかご会 寺田会	【評価と反省】 食育と農育の両面を持ち、参加者から好評であった。 【今後の方針】 次年度も内容の更なる充実を図り、実施していく。畑で土に触れ合う機会として、作業を子ども達と保護者にやってもらうことを増やし、より興味を持ってもらうようにする。	
第42回芳川地区バレーボールリーグ戦	5月～10月	5回	スポーツ	成人	82人	【内容】 芳川地区を中心とした硬式バレーボールチームによるリーグ戦 【ねらい】 総当たりのリーグ戦形式にすることで試合数を増やし、長期間での交流と身体を動かす時間を作るもの	【共催団体】 芳川体育協会	【評価と反省】 コロナウイルスや参加チームの減少により、昨年度まではリーグ戦形式をとることができていなかったが、チーム数の確保ができたため、リーグ戦形式を復活させることができた。 【今後の方針】 引き続きリーグ戦形式で行えるよう、地区内に限らずチーム数の確保を行っていく。	
芳川シニア短期大学	5月～3月	20回	趣味教養	高齢者	454人	【内容】 高齢者の生きがいづくり・仲間づくりを求めた学習講座 【ねらい】 シニア世代の学習意欲を刺激する。	【準備過程】 昨年度の参加状況を元に講師を決定	【評価と反省】 新しい参加者が増え高齢者の生きがいづくりとして定着。男性の参加者が多く、人気の講座となっている。 【今後の方針】 内容の幅を広げつつ、次年度も実施していきたい。	
プレイスクールぽかぽか	5月～3月	11回	子育て	家庭教育	138人	【内容】 未就園児を対象とした親子の講座 【ねらい】 体を動かしたり、読み聞かせを聞いたり、あらゆる経験を通し、感性豊かな成長を目的とすると同時に、親同士の交流・情報交換の場を提供している。	【共催団体】 芳川保育ゆりかご会 芳川民生児童委員協議会	【評価と反省】 多くの申込をいただき、毎回とても盛り上がる講座となった。 【今後の方針】 次年度も継続して実施したい。様々な内容の講師を呼び、親子で楽しんでもらえる時間としたい。	

令和６年度　事業報告

芳川公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	ＣＳ
第47回芳川地区ソフトボールリーグ戦	6月～10月	10回	スポーツ	成人	50人	【内容】 芳川地区５町会のソフトボールチームによるリーグ戦 【ねらい】 総当たりのリーグ戦形式にすることで試合数を増やし、長期間での交流と身体を動かす時間を作るもの	【共催団体】 芳川体育協会	【評価と反省】 雨天による延期や中止もなく全日程を無事行えた。 【今後の方針】 歴史あるリーグ戦なので継続していきたい。	
夏休み特別講座	7月～8月	4回	趣味教養	青少年	37人	【内容】 ①木を使って工作しよう！ ②お金について学ぼう！ ③はた織り体験をしてみよう！ ④ｅスポーツ体験会！！ の４つの講座を実施 【ねらい】 夏休みに地区内の小学４～６年生に様々な体験をしてもらう。	【協力】 工房　木々の詩 キッズマネースクール認定講師 ふるさと講座　よりあいての会 Ｒｅ．ｒｏａｄ株式会社 【共催団体】 芳川地域づくり協議会 芳川地区子ども会育成会	【評価と反省】 二次元コードを活用した申込にし、働き世代の保護者が気軽に申し込めるものとした。長期休みにおける子ども達の居場所となった。各小学校へチラシを配布する時期が遅くなってしまったため、来年度は早く動き出したい。 【今後の方針】 子どもの居場所づくりや新体験をとおし、視野を広げる取り組みを継続的に行いたい。	○
フリースペース開放事業	8月～3月	50回	その他	青少年	46人	【内容】 中高生の居場所として公民館の会議室を開放するもの 【ねらい】 地域における若者（中高生）の居場所として学習や読書など自由に使える部屋を公民館内に開放し、利用してもらう。若者が地域とつながる「きっかけづくり」とする。	【準備過程】 中学校へチラシ配布、校内放送 【主管】 中央公民館	【評価と反省】 新規事業のため定着が難しく、中学校へ直接周知をしたものの利用状況はあまり芳しくなかった。周知方法の改善が必要だと感じた。 【今後の方針】 開放日の見直しと周知方法の見直しを行い、利用促進に努めていく。	
健康体操ぽかとれ	11月～3月	5回	福祉健康	高齢者	57人	【内容】 健康増進を目的とした講座 【ねらい】 他で行っている体操と違い、少し激しめの体操を行うことで普段動かさない部位の運動を行う。	【協力】 リハビリデイサービスぽっかぽか芳川	【評価と反省】 ボランティア講師にデイサービス職員を呼んで実施。シニア世代の体力に即した内容を設定できた。 【今後の方針】 人気の講座になりつつあるので続けていきたい。	
公民館開放（夏・冬・春）	7月～8月 12月～1月 3月～4月	32回	趣味教養	青少年	90人	【内容】 筑摩野中学校生徒が学習をするために芳川公民館の会議室を提供 【ねらい】 Ｗｉ－Ｆｉ環境など整った場所を提供し、学生の学習を支援する。	【共催団体】 ＣＳふたむら運営委員会	【評価と反省】 長期休み期間に生徒の学習する場を提供できた。学校から生徒への周知もあり、予想より多くの利用があった。 【今後の方針】 学校と連携し、引き続き実施したい。	○

令和６年度　事業報告

芳川公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	ＣＳ
ＣＳ事業（芳川小学校・筑摩野中学校）	通年	26回	地域事業（その他）	青少年	2,704人	【内容】 スクールファーム（芳川小学校）６回 学舎ちくまの（筑摩野中学校）12回 ちくわの会（筑摩野中学校）６回 畑づくり応援団（筑摩野中学校）１回 美術応援団（筑摩野中学校）１回 書き初め応援団（筑摩野中学校）１回 【ねらい】 コミュニティスクール事業として、芳川小学校と筑摩野中学校へ地区住民のボランティアを派遣し、活動の手助けをするもの	【準備過程】 事前に教員と打合せ 【協力】 地区ボランティア ＣＳふたむら運営委員会	【評価と反省】 新規で学校から依頼を受けたものについて、地区からボランティアを見つけ対応することができた。教科担任との打合せが不十分だったところもあるため、次年度は改善していきたい。 【今後の方針】 継続のものはボランティアと連携し、引き続き活動していく。 学校からの新規の依頼があった場合には、できる限り対応していきたいと考えている。	○
日本語学級	通年（毎週木曜日）	48回	趣味教養	その他	169人	【内容】 外国人向けの日本語教室 【ねらい】 毎週１回、芳川地区在住の外国籍の方を対象に日本語教室を開催。地域内での外国籍の方の人材発掘と交流を目的としている。	【準備過程】 地区のボランティアの方に講師をお願いしている。	【評価と反省】 松本市内での日本語教室の数が少なく、最近は地区外の方も来ている。留学生同士の口コミから受講者が増えた。 【今後の方針】 今後も地区内外を問わず、外国籍の方の学習補助の教室として行っていきたい。また受講者・ボランティア募集にも力をいれていきたい。	
地区支援企画会議	通年	1回	公民館委員会・各種会議等	その他	121人	【内容】 市職員をはじめとした、芳川地区を担当する職員による会議 11回開催 【ねらい】 地区の課題等を出し合い、解消・改善に向けて意見交換をする。	【構成】 芳川地域づくりセンター 芳川地区福祉ひろば 南部保健センター 地区生活支援員 松本市社会福祉協議会 南部包括支援センター 地域づくり課 生涯学習課・中央公民館	【評価と反省】 各分野から様々な課題や意見が出るのと同時に、解消に向けての案や情報も多く出てくるため、地区に対しての知見が深まる会議となっている。 【今後の方針】 地区の課題に目を向けるため、引き続き活発に意見交換ができる場として開催していく。	
体育委員会	通年	1回	公民館委員会・各種会議等	成人	66人	【内容】 各種体育事業の企画・運営 ３回開催 【ねらい】 体育委員会活動の活性化を図る。		【評価と反省】 新しい生活様式を意識しながらスポーツイベントの企画会議を実施できた。 【今後の方針】 地区の活性化を図れるように、考えていきたい。	

令和６年度　事業報告

芳川公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	ＣＳ
文化祭実行委員会	通年	1回	公民館委員会・各種会議等	成人	127人	【内容】 文化祭準備・運営 ４回実施 【ねらい】 芳川地区文化祭開催に向けて、より良い催しになるよう意見交換を行う。		【評価と反省】 文化祭開催に向け、協議を重ねることができた。出席率も良く、多くの意見を取り入れることができた。 【今後の方針】 来年度の文化祭に向けて早くから会議を開催し、内容を考えていきたい。	
館報編集委員会	通年	1回	公民館委員会・各種会議等	成人	84人	【内容】 館報芳川版の発行 月１回開催 【ねらい】 館報を通じて他町会のことも知ってもらう。		【評価と反省】 各町会から選出されている強みを活かし、取材・記事の作成を行った。 【今後の方針】 全ての編集委員に楽しみながら活動を行ってもらえるような体制を築いていきたい。	

令和６年度　事業報告の概要

寿公民館

方針・地域課題・重点的に取り組んだ事項等	評価・反省等
【方針・地域課題】 1　利用者同士がルールを守り、気持ちよく利用できる公民館にします。 （公共の施設であるという認識） 2　スポーツ大会や文化祭を筆頭とした地域住民同士が交流できる事業を企画し、開催していきます。 3　サークル活動を充実させるとともに、文化祭を活動の成果発表の場として提供します。 4　学校応援団活動を軸とした公民館活動に取り組み、地域住民と児童・生徒の皆さんの交流の場を広げていきます。 5　公民館の持つ学習機能を発揮し、寿地区地域づくり協議会の三つの専門部会（総務・福祉・子ども部会）での議論をもとに地域課題に対して、講座や講演会など学習につなげていきます。	1　公共の施設として規律ある利用をしていただけたが、部屋や物置の整理整頓をする必要がある。 2　既存事業の企画内容を改善し、参加者を大幅に増加させた。更なる拡大に向け、関係者で協議を続けたい。 3　活動の充実に向けて、広報などによる周知を行い、会員の増加に協力した。また、文化祭への積極的な参加を促し、成果発表の場として提供した。 4　学校応援団を軸に、地域住民と児童・生徒の交流の場を多く開催できた。継続事業の周知や、新たな取り組みに力を入れていきたい。 5　寿地区地域づくり協議会の各専門部会にて、地域課題の解決に向けて取り組んだ。年間の活動が当初の目的から外れていないか、確認する必要がある。

項目	学級講座・学習会等									地域事業			公民館委員会・各種会議等	ＣＳ
	人権平和	福祉健康	子育て	地域文化	環境	趣味教養	スポーツ	防災	その他	体育	文化	その他		
事業数	2	2	2	2	1	4	2	0	4	4	3	2	4	3
延べ参加人数	27	45	201	80	53	76	768	0	2397	574	1309	6882	535	9153

令和６年度　事業報告

寿公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	ＣＳ
春の撮影講座	4月16日	1回	趣味教養	成人	24人	【内容】 上田城址、懐古園にて撮影講座を実施 【ねらい】 写真撮影の技術力向上と住民の作品展示を促す。	【主催】 視聴覚委員会、寿公民館 【準備過程】 視聴覚委員会が企画	【評価と反省】 桜の撮影を主目的にした。散り始める寸前の満開状態で天候にも恵まれた。桜と青空のバランスを工夫した撮影ができた。 【今後の方針】 日時に左右されない主目的を設定する。	
公民館運営委員会	4月24日	1回	公民館委員会・各種会議等	成人	23人	【内容】 寿公民館事業における前年度事業報告及び新年度事業計画の検討を実施 【ねらい】 寿公民館活動の推進を図る。	【組織構成】 地区役員に委嘱	【評価と反省】 現在は報告が中心。名簿の提出に課題があった。 【今後の方針】 名簿は必要な事柄のみを提出する。地区内の多くの役員が集まる機会であるため有効活用できるような内容を検討する。	
春のバスウォーキング	5月7日	1回	福祉健康	成人	20人	【内容】 大町温泉郷をベースにウォーキングを開催 【ねらい】 ウォーキングを通じて健康増進と住民相互の親睦を図る。	【主催】 体育委員会、寿公民館 【準備過程】 体育委員会が企画	【評価と課題】 雨の中であったが、散策と歩くコースに分けて実施した。体力に合わせた距離で歩ききれた。 【今後の方針】 参加者募集の際にもう少し長時間の歩行が可能か確認してコースを決める。	
第４回寿地区ウォーキング大会	5月19日	1回	地域事業（体育）	成人	84名	【内容】 ウォーキング大会の実施 【ねらい】 寿地区を歩くことで体力向上に努め、地区内をより良く知り、地区住民相互の親睦と融和を図る。	【主管】 寿地区ウォーキング大会実行委員会 【主催】 寿スポーツ協会、寿公民館 【準備過程】 寿スポーツ協会が主となり、準備、実施	【評価と反省】 広報を工夫したことにより80名余の参加者を得ることができた。 【今後の方針】 若い世代への告知を増やして行き、さらに多くの参加者を募る。	
第77地区球技大会	6月30日	1回	地域事業（体育）	成人	229人	【内容】 野球、排球、ソフトバレー（年齢フリー、40歳以上）、ソフトボール、卓球の５種目による町会対抗の球技大会 【ねらい】 地区住民相互の親睦及び健康増進を図る。	【主管】 寿地区球技大会実行委員会 【主催】 寿スポーツ協会、寿公民館 【準備過程】 寿スポーツ協会が準備、実施	【評価と反省】 怪我人が出ず、安全に競技を行うことができ、親睦が図られた。 【今後の方針】 次年度以降も怪我防止のための準備運動の徹底及び声がけと同時に、参加者を増やす工夫を考える。	

令和６年度　事業報告

寿公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	ＣＳ
第49回東南ブロック球技大会	8月25日	1回	地域事業（体育）	成人	150人	【内容】 バレー、バドミントン、卓球、ソフトバレー、マレットゴルフの５競技による６地区対抗 【ねらい】 他地区住民との親睦を目的とするもの	【主管】 東南ブロック球技大会実行委員会 【準備過程】 実行委員会で企画、準備、実施	【評価と反省】 周辺地区同士の交流ができた。今年は事務局が本公民館であった。 【今後の方針】 事務局の仕事内容の確認を行い、今後も引き続き実施したい。	
第17回寿地区子連れコンサート	9月1日	1回	地域事業（文化）	家庭教育	59人	【内容】 子育て中の親子を対象に大会議室にてコンサートを実施 【ねらい】 子育て中の親子に本物の音楽に触れてもらう機会の提供	【主催】 192サロン運営委員会 【準備過程】 192サロン運営委員会で企画、実施	【評価と反省】 歌、フルート、ピアノの演奏者による生の演奏を、間近で子ども達と家族等が一緒に鑑賞する機会を提供できた。 【今後の方針】 人気のため次年度も検討したい。	
第13回寿地区福祉の文化祭	9月18日	1回	地域事業（文化）	家庭教育	275人	【内容】 体育館で、地区内の施設職員・利用者が一堂に会し、地域の方や小学生、中学生と交流する。 【ねらい】 障がい者と一緒に活動することを通して、誰もが住みやすいまちづくりを目指す。	【主管】 寿地区福祉の文化祭実行委員会 【共催】 寿地区地域づくり協議会 福祉ひろば 【準備過程】 各施設より選出されたスタッフでスタッフ会議を行い、企画、準備など具体的内容を話し合い、実行委員会で実施	【評価と反省】 施設同士の交流や、地域住民との交流の場となった。お互い様の想いを醸成した。体育館が高温のため、時期の検討を行う。 【今後の方針】 次年度も障がい者と住民が交流できるように計画し、気温を考え６月実施にしていく。	
令和６年度寿地区スポーツフェスティバル	10月20日	1回	地域事業（体育）	成人	195人	【内容】 世代を超えた多くの住民が参加できる社会体育事業として住民運動会の名称変更と内容を見直して実施 【ねらい】 住民相互の親睦及び団結、健康の増進を図る。	【主管】 寿地区スポーツフェスティバル実行委員会 【主催】 寿スポーツ協会、寿公民館 【準備過程】 実行委員会で企画、寿スポーツ協会が主に準備、実施	【評価と反省】 新しい種目を取り上げた。ウォーキングの参加者が増えたが、他の種目への参加者を増やすことが課題である。 【今後の方針】 今年度の内容をベースにしながら再検討し、より興味がわく方法を再考する。	
文化祭協賛事業「第36回寿地区史跡めぐり」	10月22日	1回	地域文化	成人	4人	【内容】 寿地区文化祭協賛事業として、解説つきで、寿地区の史跡（上瀬黒・下瀬黒コース）を巡った。 【ねらい】 地区の歴史や史跡を知ってもらい、地域に愛着をもってもらう。	【主催】 寿公民館	【評価と反省】 子ども会育成会が参加しなくなり、史談会も解散したことから、参加者がほとんどなく、少人数での事業になった。 【今後の方針】 今後、実施しない。	

令和６年度　事業報告

寿公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	ＣＳ
第47回寿地区文化祭	11月3日	1回	地域事業（文化）	家庭教育	1,250人	【内容】 地区住民の文化活動の発表の場として、作品展示及び各団体発表の動画放映を実施 【ねらい】 寿地区における文化向上と、世代を超えた住民相互のふれあいの場とする。	【主管】 寿地区文化祭実行委員会 【主催】 寿地区町内公民館長会 寿公民館 【準備過程】 実行員会で企画、公民館、町内公民館長会で準備、実施	【評価と反省】 昨年度に続き体育館でのステージ発表、作品展示や駐車場での出店があり、盛大に開催できた。 【今後の方針】 次年度は準備等の効率化を図り、住民やサークルの参加者の増加を図る。	
秋のバスウォーキング	11月12日	1回	福祉健康	成人	25人	【内容】 県内でウォーキングを開催 【ねらい】 ウォーキングを通じて健康増進と住民相互の親睦を図る。	【主催】 体育委員会、寿公民館 【準備過程】 体育委員会が企画	【評価と反省】 風が強く足場が岩場であったため、個人の体力に合わせた距離をウォーキングできた。 【今後の方針】 歩く距離が短かったため、１時間以上は歩くよう計画する必要がある。	
秋の撮影講座	11月25日	1回	趣味教養	成人	29人	【内容】 阿寺渓谷にて撮影講座を実施。撮影写真を公民館に展示し鑑賞会を行う。 【ねらい】 技術力向上と住民の作品展示を促す。	【主催】 視聴覚委員会、寿公民館 【準備過程】 視聴覚委員会が企画	【評価と課題】 紅葉の時期を外したため、撮影に苦労したが、参加者全員の写真を展示でき、鑑賞会でお互いの良さを認め、意欲向上につながった。 【今後の方針】 引き続き、鑑賞会も併せて実施していきたい。	
クリスマスリース講座	12月12日	1回	趣味教養	成人	11人	【内容】 講師に指導いただきながら、クリスマスリースをつくる講座 【ねらい】 ものづくりを通して参加者同士の仲間づくりを図る。	【主催】 寿公民館 【準備過程】 公民館で企画、実施	【評価と反省】 毎年楽しみにしている方が多いが、若い方も参加していただいた。一人一人丁寧に教えてもらえることができた。 【今後の方針】 大変好評だったため、次年度も計画し開催したい。	
お正月飾りを作ろう講座	12月27日	1回	趣味教養	成人	12人	【内容】 講師に指導いただきながら、お正月飾りをつくる講座 【ねらい】 ものづくりを通して参加者同士の仲間づくりを図る。	【主催】 寿公民館 【準備過程】 公民館で企画、実施	【評価と反省】 昔ながらのしめ縄ではなく、女性が喜んで作れる正月飾りであり、好評であった。 【今後の方針】 大変好評だったため、次年度も計画し開催したい。	

令和６年度　事業報告

寿公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	ＣＳ
寿地区人権学習講座「楽団ケ・セラコンサート」	2月20日	1回	人権平和	成人	27人	【内容】 障害を抱えながらも自立を目指す「楽団ケ・セラ」の演奏を聴く。 【ねらい】 コンサートを通して平和や人権について考え、理解を深める。	【主催】 寿地区人権啓発推進協議会（寿公民館）、寿地区福祉ひろば 【準備過程】 福祉ひろば、寿公民館で企画、実施	【評価と反省】 大会議室でコンサートを行い、地域の方は多かったが、協議会メンバーの出席が少なかった。 【今後の方針】 人権学習として協議会のメンバーで県内施設の視察に切り替える。	
令和６年度公民館利用者懇談会	3月1日	1回	その他	成人	26人	【内容】 公民館利用サークルの顔合わせ、公民館への要望の聞き取りを実施 【ねらい】 利用サークル同士の交流や情報交換を促し、要望の集計を通じた公民館管理運営の向上を図る。	【準備過程】 公民館で企画、実施	【評価と反省】 懇談会前に行う一斉清掃もあわせ、サークル同士の顔合わせをすることができた。 【今後の方針】 次年度も引き続き公民館を気持ちよく利用してもらえるよう、サークル利用者からの要望や意見を聞いていきたい。	
寿地区地域づくり協議会専門部会	6月19日 8月28日 12月11日 2月 5日	4回	公民館委員会・各種会議等	成人	224人	【内容】 寿地区地域づくり協議会において総務・福祉・子どもの専門部会をつくり、実践的な取り組みを行う。 【ねらい】 各部会ごとに意見交換や学習会を通じて、地区内の課題解決を推進する。	【主体組織】 寿地区地域づくり協議会 【準備過程】 地域づくりプロジェクト会議、企画会議で協議し専門部会で実践する。	【評価と反省】 地区の役員住民が地域の障がい者や高齢者の施設の見学をするとともに、意見交換を行う貴重な機会となった。 【今後の方針】 次年度も引き続き、各部会毎に実践的な取り組みができるよう情報共有・課題解決に向けての意見交換を図る。	
令和６年度公民館利用者一斉清掃	7月6日 3月1日	2回	環境	成人	53人	【内容】 公民館利用サークルの顔合わせ、公民館内や敷地の清掃を実施 【ねらい】 公民館利用者がお互い気持ちよく使用できるように環境整備を行う。	【準備過程】 公民館で企画、実施	【評価と反省】 公民館内や敷地の環境整備ができ、きれいになった環境で心地よく利用者が利用し、片付けの意識も高まった。 【今後の方針】 次年度も引き続き開催したい。	
寿地区ソフトバレーボールリーグ戦	4月～3月	20回	スポーツ	成人	480人	【内容】 寿地区内の６町会対抗ソフトバレーボールリーグ戦を実施 【ねらい】 バレーボールを通じた健康増進と、参加者同士の親睦を図る。	【運営】 寿地区ソフトバレーボールリーグ理事会 【準備段階】 上記理事会で準備、実施	【評価と反省】 スポーツを通じた地区内の交流ができた。 【今後の方針】 次年度も理事会で相談しながら開催していきたい。	

令和６年度　事業報告

寿公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	ＣＳ
寿ナイターソフトボールリーグ戦	5月～9月	24回	スポーツ	成人	288人	【内容】 寿地区内の町会対抗ナイターソフトボールリーグ戦を実施 【ねらい】 ソフトボールを通じた健康増進と、参加者同士の親睦を図る。	【運営】 寿地区ナイターソフトボールリーグ理事会 【準備段階】 上記理事会で準備、実施	【評価と反省】 スポーツを通じた地区内の交流ができた。 【今後の方針】 次年度も理事会で相談しながら開催していきたい。	
寿古文書読解講座	6月～3月	10回	地域文化	成人	80人	【内容】 歴史講座のひとつとして、古文書の読み方を学ぶ。今年度のテーマは寿の幕末の出来事を読み解く。 【ねらい】 古文書の読解を通じて、歴史文化、教養の向上を図る。	【主催】 寿史談会、寿公民館 【準備過程】 公民館で実施	【評価と反省】 最終回で修業式を実施し、修業証書の授与や記念品を用意することでモチベーションの向上を図った。 【今後の方針】 参加しづらいお盆の時期は日程から外したい。	
公民館報の発行	隔月	6回	公民館委員会・各種会議等	成人	66人	【内容】 地区内の情報や、公民館の活動報告などの発信 【ねらい】 館報による情報発信を通じて、地区内の情報を多くの人に周知する。	【主体組織】 館報編集委員会 【準備過程】 館報編集委員会で企画会議及び編集会議を実施	【評価と反省】 会議では内容について委員から意見が集まり、計画通り円滑に運営することができた。 【今後の方針】 引き続き、開催したい。	
寿小学校にこにこルーム応援隊	通年	25回	その他	家庭教育	2,271人	【内容】 寿小学校の教室をにこにこルームと名付け、２時間目の休み時間に児童と地域住民の昔遊びを通じた交流を実施 【ねらい】 寿小学校内に当たり前のように地域住民が出入りしているような、地域に開かれた学校づくりを目指す。	【主催】 寿小学校にこにこルーム応援隊 【共催】 寿地区地域づくり協議会 【準備過程】 にこにこルーム応援隊と企画、調整、実施	【評価と課題】 地域住民と児童が交流することができ、メンバーも子どもの成長を喜ぶ姿が見られた。 【今後の方針】 学校・保育園と連携し、今後も実施したい。	○
学校応援団事業	通年	45回	地域事業（その他）	家庭教育	4,882人	【内容】 地域と学校が一体となって、子ども達の健全育成に取り組む事業。公共施設見学、歴史学習、ミシン学習、田植え体験、農業体験など。 【ねらい】 地域の伝統、歴史、くらしを子ども達に伝える。またそこに関わる人たちの生きがいづくり、生涯学習の成果を発揮する場としての側面も持つ。	【組織】 寿地区学校応援団 【準備過程】 公民館長がコーディネーターとして学校の要望を集約し地域住民との調整を実施	【評価と反省】 小学生たちとさまざまな年代の地域ボランティアが交流でき、地域の伝統や学びを教え、経験を深める場となった。 【今後の方針】 引き続き、地域住民と子どもが交流できる場をつくっていきたい。	○

令和６年度　事業報告

寿公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	ＣＳ
公民館図書コーナーの運営	通年	14回	その他	成人	21人	【内容】 図書委員会主体による寿公民館図書コーナーを運営し、図書委員会によるコーナーの定期清掃、図書入れ替え作業を実施 【ねらい】 地域住民に図書を身近に感じてもらう。	【主体組織】 図書委員会 【準備過程】 図書委員で月１回掃除 図書委員で年２回図書入替	【評価と反省】 図書の入れ替えは５月23日と11月27日の２回実施できた。時々本を借りに来る方が見受けられる。 【今後の方針】 図書委員の人選を工夫し、意欲的な活動になるよう運営を再検討する。	
五部門委員会	通年	24回	公民館委員会・各種会議等	成人	222人	【内容】 文化企画、館報編集、図書、視聴覚、体育委員会の五部門委員会により、公民館事業の企画・運営を行う。 【ねらい】 公民館事業への主体的参加及び意識付けを図る。	【準備課程】 各部門ごとに随時開催	【評価と反省】 各部門ごとにそれぞれ工夫して活動を行った。メンバーが固定してしまう。 【今後の方針】 引き続き、企画、運営を行うとともに、メンバーを募集しながら活性化する。	
寿ペンギンの会	通年	12回	子育て	家庭教育	24人	【内容】 託児ボランティア組織寿ペンギンの会による 192サロン、ＰＴＡ作業、保育園事業、小学校事業における託児活動を実施 【ねらい】 託児を通じた子育て支援及びボランティアの生きがいづくりを図る。	【実施組織】 寿ペンギンの会 【準備過程】 公民館が事務局として託児調整及び連絡を行い寿ペンギンの会が実施	【評価と反省】 今年度は寿保育園にて託児活動が実施された。高齢化によりメンバーの減少が激しく運営が難しくなっている。 【今後の方針】 存続について協議が必須	
子育て支援 192サロン	通年	7回	子育て	家庭教育	177人	【内容】 子育て中の親同士の交流の場の提供、子育てのヒントとなる講座、行政情報の提供などを行った。 【ねらい】 地域の中で子育て家庭同士がつながり、必要な情報を得ることができる支援を行う。	【組織構成】 民生児童委員協議会・地域づくり協議会子ども部会・食生活改善推進協議会・福祉ひろば 【準備過程】 192サロン運営委員会で企画、実施	【評価と反省】 周知方法の改善により参加者が増加した。事業内容や開催会場、人員配置などを見直す必要がある。 【今後の方針】 各事業ごとに事業内容を検討したい。	
町会別人権懇談会	通年	1回	人権平和	成人	5人	【内容】 町会単位で町内公民館を会場とした人権懇談会を計画（６町会） 【ねらい】 人権をテーマに語り合う場をつくる。	【共催】 人権啓発推進協議会 町内公民館長会 【準備過程】 町会で企画し公民館で実施	【評価と反省】 百瀬町会のみ２月15日に実施した。コロナ禍での差別事象の内容で身近なものとして捉えることができた。 【今後の方針】 早くから話をして、計画的に人権懇談会を開くようにお願いしていく。	

令和６年度　事業報告

寿公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	ＣＳ
ＣＳふたむら	通年	21回	地域事業（その他）	青少年	2,000人	【内容】 筑摩野中学校と寿・芳川地区が協力し、長期休みの公民館開放や地域住民による学習支援を実施 【ねらい】 筑摩野中学校生徒の学力向上や、地域住民との交流を図る。	【運営】 ＣＳふたむら実行委員会 【準備段階】 上記実行委員会で企画、実施	【評価と反省】 長期休み期間に公民館の一室を自習室として開放しているが、利用者は固定されている。文化祭へのボランティア参加があった。 【今後の方針】 フリースペース事業と兼ね合わせて活発になるよう進めていく。	○
新規事業・講座	通年	6回	その他	その他	79人	【内容】 子ども食堂、バラの剪定講座など多世代へのアプローチを狙った事業を開催 【ねらい】 若年層、主婦層などの公民館との関わりが薄い世代との接点を作る。	【運営】 公民館、各関係者 【準備段階】 公民館、各関係者で企画、実施	【評価と反省】 公民館と接点のない世代、人材へのアプローチができた。 【今後の方針】 各事業の継続は各関係者間で協議したい。新規事業の開催は次年度も継続したい。	

令和６年度　事業報告の概要

寿台公民館

方針・地域課題・重点的に取り組んだ事項等	評価・反省等
【方針】 ・親しみやすく、気軽に来館できる公民館にする。 ・利用者同士がルールを守り、気持ちよく利用できる公民館にする。 ・サークル活動はもとより、文化祭などの全体行事に利用者らが率先して協力できる体制づくりをする。 ・生活課題や地域課題に目を向けて、積極的に学習活動などを行い、地域づくりの拠点となることを目指す。 ・町会連合会をはじめとする地域関係団体や地域づくりセンター・福祉ひろば等地区内行政関係機関との連携を今まで以上に密にとり、地域づくりにおいて公民館事業（主に学習機能）により積極的に支援・参画する。 【地域課題】 ・少子高齢化の深刻化により役員のみでの各種行事運営が困難となっている。 ・一人暮らし高齢者の割合が市内35地区中１番多く、通いの場の創出が必要である。 【重点的に取り組んだ事項等】 ・伝統行事の継承を心掛け、伝統行事とそれにまつわる食に関する講座を多く実施することができた。 ・町会役員等のなり手不足が課題となっている中、町会連合会との共催事業において、地区住民と協働しながら行事を行うことができた。	・役員不足による課題が大きいが、行事ではコミュニティスクール事業として各種行事への中学生の主体的な参加・協力があり、また12月には行事に参加した中学生と地区役員の交流会も行えた。単なるマンパワー的な手伝いではなく、多世代交流を目指して行事運営をすることができた。 ・引続き、町会連合会をはじめとする地域関係団体と連携を密に取り、積極的に事業を行っていきたい。

項目	学級講座・学習会等									地域事業			公民館委員会・各種会議等	ＣＳ
	人権平和	福祉健康	子育て	地域文化	環境	趣味教養	スポーツ	防災	その他	体育	文化	その他		
事業数	3	1	9	4	0	5	1	1	0	5	1	1	7	11
延べ参加人数	69	50	594	49	0	74	112	80	0	404	399	240	550	1392

令和６年度　事業報告

寿台公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	ＣＳ
デジタルカメラ撮影会	4月24日	1回	趣味教養	成人	10人	バスで撮影会場を巡りながら、状況に合わせた撮影方法を学び、実際に撮影してみる。	【準備過程】 地区内回覧チラシにて周知 従来からの参加者を中心に開催	参加者の減少により、次年度以降は開催しないこととなった。	
寿台地区人権啓発推進協議会総会・学習会	5月 7日	1回	人権平和	成人	14人	人権啓発推進協議会総会開催後に、学習会として「ドキュメンタリー結婚　～部落差別とたたかい結婚した夫婦の姿～」のＤＶＤ上映を実施	【共催団体】 寿台地区人権啓発推進協議会	誰もが安心して暮らせる地域の実現に向け、人権啓発活動は続けていきたい。	
歴史・文化講座　戸隠と善光寺	5月22日	1回	地域文化	成人	22人	長野県の寺社の中でも特に長い歴史を持つ両寺社を見学し、日本の歴史と文化財を考える機会とするとともに、散策により参加者の健康増進を図る。	【準備過程】 地区内回覧チラシにて周知	参加者からは好評をいただいた。視察先の選定に配慮しながら、今後も開催したい。	
第51回町会連合球技大会	5月26日	1回	地域事業（体育）	成人	97人	球技・軽スポーツを通して、スポーツ振興、住民相互の親睦と結束を図る。	【主催】 寿台町会連合会 【主管】 寿台スポーツ協会	高齢化により大会形式での実施が難しい競技がある。気軽に体を動かせる要素を増やしていきたい。	
学校サポート事業 明善小学校川遊び支援	6月26日	1回	子育て	青少年	2人	明善小学校課外授業支援として、１・２年生の川遊び引率・見守り支援。先生以外の大人との関わりを通じて学校以外での社会性を培うと共に、地域への愛着を高める。	【準備過程】 住民ボランティアの募集、学校との連絡・調整 【共催団体】 内田公民館・松原地区公民館	地域住民と小学生の良い交流機会となった。恒例行事となっているため、継続していきたい。	
しあわせの水引ストラップ講座	7月22日	1回	趣味教養	成人	11人	「淡路結び」、「梅結び」などの縁起の良い結び方を学び、水引でストラップを作成する。	【準備過程】 地区内回覧チラシにて周知 【協力】 図書・視聴覚委員が運営に協力	図書・視聴覚委員の協力によりスムーズに行えた。来年度以降も開催するとしたら図書・視聴覚委員の協力が不可欠	
夏休みおはなし会スペシャル	8月10日	1回	子育て	青少年	50人	地区の読み聞かせサークルによるお話会。就学前～小学生の親子が対象	【共催団体】 寿台図書館 【協力】 図書・視聴覚委員会	本に親しむとともに、普段利用の少ない親子世代が公民館に足を運ぶきっかけとなった。今後も開催していきたい。	
第49回東南ブロック球技大会	8月25日	1回	地域事業（体育）	成人	150人	軟式野球、バレー、バトミントン、卓球、ソフトバレー、マレットゴルフの６地区対抗 他地区住民との親睦を目的とするもの	【主管】 東南ブロック球技大会実行委員会 【準備過程】 実行委員会で企画、準備、実施	競技によってはチームでの出場が難しい種目もあり、より参加しやすい運営方法を検討する必要がある。	

令和６年度　事業報告

寿台公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	ＣＳ
寿台地区防災訓練	9月 8日	1回	防災	その他	80人	中学生にボランティアとして地域行事に参加してもらうことで、地域の伝統行事の継承及び「地域を愛し、地域と共に生きる子ども」の育成を目指す。	【共催団体】 寿台町会連合会	段ボールベッドの組立訓練補助や片付けを行った。高齢化により訓練への参加が困難となっている町会もあるが、中学生のサポートにより全町会が訓練をすることができた。	○
第51回寿台秋の体育祭	9月22日	1回	地域事業（体育）	その他	100人	運動会を通して、楽しく地区住民同士の親睦をはかる。	【主催】 寿台町会連合会 【主管】 寿台スポーツ協会	中学生ボランティアも参加。就学前の子どもから高齢者まで参加。会場を体育館としたため雨天中止の心配は無くなった。町会単位での参加はさらに難しくなりつつある。	○
中華料理講座　肉まんに挑戦	10月 9日	1回	趣味教養	成人	8人	中国人講師から本場の肉まん作りを学び、他国文化への理解を深める。	【準備過程】 地区内回覧チラシにて周知	参加者には好評であり、他の料理も学びたいとの声もあった。次年度以降の継続開催を考えたい。	
第67回松本市市民スポーツ大会秋季大会	10月13日	1回	地域事業（体育）	成人	23人	スポーツ大会への参加を通し、スポーツ振興・健康寿命の延伸につなげると共に、住民同士の親睦と結束を図る。	【共催】 寿台町会連合会・寿台スポーツ協会	選手の人数が揃わず、一部種目が出場できなかった。多くの種目に参加できるよう、通年を通して若い世代を取り込む工夫等を考えたい。	
第48回寿台文化祭	10月27日	1回	地域事業（文化）	その他	399人	地域で文化活動を行っている団体・個人の発表の場、住民相互の親睦を図る場とする。	【主催】 寿台町会連合会 【主管】 寿台文化祭実行委員会	参加者が多く、寿台地区の大きな行事として根付いている。中学生ボランティアも多数参加し、多世代が参加する文化祭となった。今後も内容を精査しながら継続実施していきたい。	○
寿台秋のウォーキングクイズラリー＆ニュースポーツ体験会	11月 2日	1回	地域事業（体育）	その他	34人	子どもから高齢者までを対象とし、密にならず気軽に楽しく運動する機会を提供し、地域住民の健康増進と親睦を深める機会とする。中学生もボランティアとして運営に参加	【主催】 寿台町会連合会 【主管】 寿台スポーツ協会	雨天のため例年より参加者が大幅に減少した。内容・開催時期を考えながら次年度以降の開催を検討中	○
音の花束コンサート	11月28日	1回	子育て	青少年	240人	地区の行事に協力してくれた明善中学校の皆さんに、「長野県警察音楽隊」の音楽を通じて感謝の気持ちを伝える。	【共催】 内田公民館・松原地区公民館	明善中学校区３地区公民館共催事業として、今後も継続実施していきたい。	○
ヒンメリ作り講座	12月10日	1回	趣味教養	成人	10人	フィンランドの伝統装飾ヒンメリを作り、異国の文化にふれる。	【準備過程】 地区内回覧チラシにて周知	近隣の福祉施設「アルプス福祉会コムハウス」の利用者へ講師を依頼。地域と関わる機会が少なかったため感謝していただいた。今後も協働の機会を継続していきたい。	
クリスマスおはなし会スペシャル	12月21日	1回	子育て	青少年	50人	子ども達に本に親しんでもらう機会として、「人形劇団やまんば」による人形劇を開催	【共催】 寿台図書館 【協力】 図書・視聴覚委員会	本に親しむとともに、普段利用の少ない親子世代が公民館に足を運ぶきっかけとなった。今後も開催していきたい。	

令和６年度　事業報告

寿台公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	ＣＳ
お正月飾りを作ろう！	12月23日	1回	地域文化	成人	10人	しめ縄飾りの作り方を学ぶことで、伝統文化の継承を図る。	【準備過程】 地区内回覧チラシにて周知	参加者はコツを掴み楽しんで作業を行っていた。伝統文化にふれる良い機会であり、今後も開催していきたい。	
寿台地区人権啓発推進協議会　視察研修	12月25日	1回	人権平和	成人	20人	戦争遺跡である松代大本営地下壕を、ガイドを聞きながら見学し、最大の人権侵害と言われる戦争について改めて考える機会とする。	【共催団体】 寿台地区人権啓発推進協議会	人権啓発推進協議会の視察研修は、視察先が限られるため、興味を持って参加頂けるよう、内容を考えながら実施していきたい。	
カレーライス交流会	12月28日	1回	子育て	その他	16人	文化祭、体育祭等の地区行事に参加してくれた中学生と、地区役員との交流会。ニュースポーツと食事会とで交流を図り、中学生に地域をより身近に感じてもらう。	【準備過程】 明善中学校を通じて中学生に参加を呼びかけ。 【共催団体】 寿台町会連合会・子ども会育成会・壮青会	よりお互いの理解が深まるように、事前準備にも工夫を考えながら。今後も開催していきたい。	○
小学生書き初め教室	1月 6日	1回	子育て	青少年	3人	小学校３年生から課題となる書き初めの指導を受け、習字の技術を磨く。	【準備過程】 地区内回覧チラシにて周知	講座開催日と長期休みが合わず参加人数が少なかったと思われる。開催日を変更するなど、対策を考えて来年度も開催したい。	
まゆ玉を作ろう！	1月11日	1回	地域文化	青少年	10人	松本の民俗行事である三九郎で自分の作ったまゆ玉を焼いて食べられる機会を設ける。親子で一緒に作り、未経験の保護者にも作り方を学んでもらい、食文化の伝承を図る。	【準備過程】 地区内回覧チラシにて周知	生地の色付け作業から親子で実施した。それぞれ思い思いのまゆ玉を作っており、親子で伝統文化にふれる良い機会となった。	
人権啓発研修会	1月12日	1回	人権平和	成人	35人	寿台町会連合会役員研修を兼ねて「新春寄席」を開催。過去の時代の身分制度を学び、人権について考える機会とする。	【共催】 寿台地区人権啓発推進協議会・寿台町会連合会	人権関係の研修会としては珍しく、楽しく参加しやすい研修会であり、多数の参加をいただいている。今後も開催を継続したい。	
やしょうまを作ろう！	2月12日	1回	地域文化	成人	7人	郷土料理の「やしょうま」を作り、信州の食の伝統を伝える機会とする。	【準備過程】 地区内回覧チラシにて周知	地区外からの参加もあり、食文化を継承する良い機会となっている。	
双葉会軽スポーツ大会	6月 4日 10月24日	2回	福祉健康	高齢者	50人	例年高齢者の健康増進のためニュースポーツなどを楽しむ集い。【福祉健康】	寿台高齢者クラブ連合会双葉会・寿台地区福祉ひろば・体力づくりサポーター	ニュースポーツによる交流・健康教室を実施。高齢者クラブの大きな事業となっており、今後も継続実施していきたい。	
寿台夏祭り	7月28日 8月 3日 8月 4日	3回	地域事業（その他）	その他	240人	中学生にボランティアとして地域行事に参加してもらうことで、地域の伝統行事の継承及び「地域を愛し、地域と共に生きる子ども」の育成を目指す。	【準備過程】 ポスターコンテストの周知・依頼 【共催団体】 寿台町会連合会	準備として御輿制作やポスター展示準備、屋台準備を行い、当日は屋台運営を行った。自ら工夫し積極的に接客に取組む姿が住民に好評だったため、来年度も継続していきたい。	○

令和６年度　事業報告

寿台公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	ＣＳ
子どもテニス教室	5月～10月	14回	子育て	青少年	222人	寿台テニスクラブ会員の指導による教室【スポーツ】	【共催】 寿台スポーツ協会	天候により１回中止。テニスを通じ、寿台テニスクラブ会員と子どもたちの交流にもつながった。今後も継続実施していきたい。	○
松本版信州型コミュニティスクール運営委員会	5月～2月	4回	公民館委員会・各種会議等	その他	50人	地域に開かれた信頼される学校づくりの推進のため、学校と地域が連携をし、子どもを支える。	明善小・明善中・学区内３地区（町会連合会・子ども会育成会・地域づくりセンター・公民館）・関係団体	引続きコミュニティスクール事業の推進に向けて協議を行っていきたい。	○
中学生への学習スペース開放	7月～8月	112回	子育て	青少年	3人	寿台図書館には学習スペースが無いため、夏休み期間中、中学生に集中して勉強できる場を提供する。	【準備過程】 地区内回覧チラシにて周知	課題となっている子ども達の居場所づくりのため、今後も継続していきたい。	○
学校サポート ミシン学習支援	11月～2月	4回	子育て	青少年	8人	小学校から依頼があり、地域のボランティアによる支援を実施	【準備過程】 ボランティアの募集・連絡調整	小学生にとっては難しい作業も多かったが、楽しんで取り組んでいた。また、地域住民と小学生の交流機会となった。	○
地域づくり担当職員会議	通年	12回	公民館委員会・各種会議等	その他	120人	地域づくり推進にむけて、関係行政機関職員による課題共有、課題把握を目的に毎月１回開催	地域づくりセンター・公民館・福祉ひろば・健康づくり課・包括支援センター・社会福祉協議会・児童館・地域づくり課	「地域づくりセンター」を中心に、地域づくりの一環として引続き関係職員との会議を継続していきたい。	
ボッチャ講座	通年	12回	スポーツ	成人	112人	年間を通じて誰でも楽しめるスポーツ教室を開催し、地域住民の健康増進と親睦を深めることを目的とする。	【準備過程】 前年度に体験会を実施	参加者からの評判は良かった。種目を変えて次年度以降も開催を考える。	
やってみよう包丁研ぎ講座	通年	12回	趣味教養	成人	35人	地域住民の特技を生かし、身近な包丁の手入れについて学ぶ機会とする。	【準備過程】 地区内回覧チラシにて周知	一度に参加できる人数に制限があるが、熱心な参加者もおり、次年度以降も開催を検討している。	
運営委員会	通年	3回	公民館委員会・各種会議等	その他	36人	公民館の事業計画案の検討･活動への提言など。		提言・助言をいただきながら、公民館事業に活かしていきたい。	
館報編集委員会	通年	10回	公民館委員会・各種会議等	その他	64人	松本市公民館報（寿台版）の編集･発行		委員は町内公民館長を兼務しているため、毎月町内公民館長会を兼ねて開催している。	
図書視聴覚委員会	通年	6回	公民館委員会・各種会議等	その他	30人	公民館の図書視聴覚事業への提言、蔵書点検の手伝い、図書リサイクル作業、おはなし会スペシャルの企画運営		寿台図書館との共催事業にも参加し、公民館単独の事業にも協力をいただいた。来年度も継続していきたい。	
文化委員会 （文化祭実行委員会）	通年	10回	公民館委員会・各種会議等	その他	70人	寿台文化祭の企画・運営		高齢化のため組織を効率化し、少人数での文化祭企画検討委員会を開催することで、各文化部長の負担を軽減することができた。また、文化祭の運営以外の文化活動について、今後検討していきたい。	

令和６年度　事業報告

寿台公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	ＣＳ
体育委員会（寿台スポーツ協会役員会）	通年	12回	公民館委員会・各種会議等	その他	180人	町会連合球技大会、体育祭等の企画・運営		高齢化が進んでいるため、各行事での種目等の見直しを含め、実施について検討していきたい。	
町会連合会支援	通年					・地域づくり推進にむけての支援 ・町会連合会理事会への出席		「地域づくりセンター」と連携し取組んでいきたい。	
町内公民館支援	通年					各町会の公民館活動の活発化を図る。		毎月館報編集委員会を兼ねて開催している会議の中で、お互いの町会の様子を情報交換し、いい刺激となっている様子である。	
寿台地区人権啓発推進協議会支援	通年					事務局担当		人権意識啓発のため、引続き実施していきたい。	
その他、諸団体との連携による活動支援	通年					双葉会、子ども会育成会、児童センターなど。		引続き実施していきたい。	
サークル活動支援	通年					サークル活動活性化に向けた支援。公民館利用サークルに館の適正利用の周知徹底をはかる。２月利用者懇談会の実施、要望に対する速やかな対応。事務室モニターを活用した映像放映		サークル活動活性化のため、引続き実施していきたい。	
広報活動	通年					「寿台公民館だより」の発行（毎月１回地区内全戸配布と窓口設置） 事業周知ポスター掲示 事務室モニターを活用した事業のようす放映		公民館事業周知のため、引続き実施していきたい。	

令和６年度　事業報告の概要

松原地区公民館

方針・地域課題・重点的に取り組んだ事項等	評価・反省等
【方針・地域課題】 【方針】 松原地区の生涯学習の拠点として、住民要求や地域課題をテーマとし、満足度の高い学習活動を地区の町会連合会、福祉ひろば、地域づくりセンターなどの団体と連携して行う。さらにサークルおよび町会活動が地域づくりに直接的または間接的に寄与できるように支援する。 【重点的に取り組んだ事項】 ①　共に学ぶことから、思いやりの輪を広げる ②　生きる力となる学びや、遊びを提供 ③　学習成果の発表機会提供と地域人材の発掘 ④　町内公民館活動の支援 ⑤　子育ておよびコミュニティスクール事業の充実 ⑥　ＩＣＴ活用の支援	感染症が明け、役員も変わり物事を思い出しながら事業実施を行った令和５年度と違い、前年度を踏襲しながらも前例にとらわれない、また従来の手法にこだわらないで取り組むことができた。 　町内公民館活動（公民館振興業務）は、５年度の５町会から全町会（７町会）実施ができた。これからも全町会が実施できるように地区公民館との共催を含め、町会内の交流が図れるよう支援していきたい。 　引き続き力を入れている子育て事業については、地区だけでなく学区の子ども達へと対象を広げることにより、さらに手厚く事業実施ができたものと考える。地域で活躍する中学生が企画等から参画することで子ども目線の事業となり、またその姿勢が子ども達の憧れとなり、次世代に繋がる相乗効果が生まれる。多くの中学生が事業に携わってくれたが、更に思考しながら事業を開催して行きたい。 　限られた予算の中で事業を実施するため、昨今の情勢から経費増が家庭への負担増になっている。予算の増額や経費軽減等を考慮しつつ、町会の負担軽減が求められる中、遊びや体験から学びを作り、地域へ還元するという公民館の理念は曲げず継続していきたい。

項目	学級講座・学習会等									地域事業			公民館委員会・各種会議等	ＣＳ
	人権平和	福祉健康	子育て	地域文化	環境	趣味教養	スポーツ	防災	その他	体育	文化	その他		
事業数	2	6	13	0	1	7	0	1	1	1	1	1	3	3
延べ参加人数	22	1508	1225	0	39	180	0	0	7	150	272	1000	290	1443

令和６年度　事業報告

松原地区公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	ＣＳ
のるーと松本で行く　桜ウォーク	4月15日	1回	福祉健康	成人	4人	【内容】 一部オンデマンドバス「のるーと」を利用し、桜の名所“弘法山古墳”までウォーキングする。 【ねらい】 運動不足の解消と地域住民の交流を図る。	【共催】 松原地区福祉ひろば 松原地区長会連合会	【評価と反省】 桜の花の満開に合わせるため、当初の予定日を後ろにずらして実施。穏やかな日に片道約１㎞をウォーキング。近場でも普段と違う環境で歩くことで運動不足解消につながり、会話を交わしながら地域住民の交流を図ることができた。	
こども喫茶まつばら	4月25日	1回	子育て	青少年	93人	【内容】 市販のプリンに、果物やホイップクリームなどを自由に盛り付けしてプリンアラモードを作る。 【ねらい】 手作りの楽しさを感じてもらいながら、創造性を培う。また家庭訪問期間中の居場所作りとする。	【共催】 松原地区福祉ひろば 松原地区町会連合会	【評価と反省】 当日は多くの参加者があり、大変賑わった。準備したトッピングは豪華で好評だったが、予想より多くの参加者があり、プリンが不足となり途中で買い足しの対応となった。低学年でも簡単に手作りの楽しさを感じてもらえたとともに、多くの参加者があり、子どもの居場所作りにも寄与できた。	
のるーと松本説明会	5月 8日 5月17日	2回	その他	その他	7人	【事業内容】 寿・寿台・松原で実証運行されている「のるーと松本」の実証運行期間延長の説明会を実施。また町会連合会補助で参加者に片道分の乗車券をプレゼント 【ねらい】 実証運行期間延長の周知と乗車券配布により利用促進を図るもの	【主催】 公共交通課 【共催】 松原地区町会連合会	【評価と反省】 初めてののるーと松本の説明会ではなかったためか、参加者が少なかったため、その後の公民館だよりやチラシで周知を図った。 【今後の展望】 利用方法の支援や乗車券配布等による更なる利用促進を図る。	
世界遺産　忍野八海を体感しよう！	5月15日	1回	趣味教養	成人	34人	【内容】 富士山麓の美しい湧水池である忍野八海を散策、またデジカメ講座メンバーも同乗して撮影会を行った。 【ねらい】 デジタルカメラで撮影することによりＩＴ活用知識の向上を図ると同時に、「岳都」として湧水に恵まれた城下町・松本が世界遺産に選定されるための気運の醸成を図る機会とする。	【共催】 松原地区町会連合会	【評価と反省】 前年度大雪警報の発令により中止になった講座を実施。好天に恵まれて散策することは、心も体もリフレッシュができた。普段見れない富士山をバックにした景色を、思い思いの構図で写真に収め、デジタルカメラの活用知識向上を図るとともに、壮観な世界遺産を訪れ、松本城が世界遺産に選定されるための気運の醸成を図ることができた。	

令和６年度　事業報告

松原地区公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	ＣＳ
ウォーキング講座　工場見学＆善光寺	6月18日	1回	福祉健康	成人	24人	【内容】 ホクト青木島きのこセンターで工場見学し、善光寺界隈で散策及び本堂で戒壇めぐりを行う。 【ねらい】 身近な食材「きのこ」について学び食文化を通じ健康促進や、国宝善光寺界隈を散策し運動不足を解消しながら地域住民の交流を図る。	【共催】 松原地区福祉ひろば	【評価と反省】 身近な食材「きのこ」について、工場見学によりどのような過程を経て出荷に至るか、また「きのこ」の栄養素等を講話で学び、食育を図ることができた。合わせて善光寺界隈の散策および本堂での戒壇めぐりにより、地域住民の交流の場創出につながった。	
ホタル学習会と観察会	6月21日	1回	環境	その他	39人	【内容】 研究者からホタルや生息環境について講義を受け、隣接する内田地区の塩沢川でホタル観察を行う。 【ねらい】 住宅地である松原地区内にはない自然環境について学習する機会の創出	【共催】 内田公民館 講師：藤山　静雄	【評価と反省】 地区内ではみれない生物の観察は子ども達も興味津々で、貴重な経験となった。夜間に観察するため、学校教育の中での実現は難しいことから、今後も公民館事業として開催していきたい。	
松原いいづら祭	7月27日	1回	地域事業（その他）	その他	1,000人	【内容】 地区をあげての夏祭り。各町会・専門部・有志の出店があり、催事としてスイカ割大会、ダンス発表、お楽しみ抽選会等がある。 【ねらい】 住民相互のコミュニケーション創出を目的とする。	【主催】 松原地区町会連合会	【評価と反省】 前年度のマニュアルを参考にしながら実施したが、再思考する必要も感じた。担い手不足が表面化してきている中で、ＣＳ事業を通して中学生が主力となり出店する焼きそばブースも好評であったことから継続していきたい。今後は、中学生の生徒数減少による担い手不足も懸念されるため、今後の運営方法の検討も必要である。	○
収穫祭～夏～　野菜たっぷりカレーを作ろう！	8月2日	1回	子育て	青少年	9人	【内容】 公民館の畑で栽培した野菜の収穫体験を行い、その材料を用いて子ども達と一緒にカレーを作り、みんなで食べる。 【ねらい】 普段できない野菜の収穫体験を行い食育を図るとともに、カレーの調理方法を学習する。	【共催】 松原地区町会連合会 松原食生活改善推進協議会	【評価と反省】 普段できない収穫体験を行うことで、食に関する興味を引き出し食育を図ることができた。また食生活改善推進員の方の協力により、調理方法も学習する機会となった。	

令和６年度　事業報告

松原地区公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	ＣＳ
夏休み子ども自然体験会	8月8日	1回	子育て	青少年	29人	【内容】 夏休みの小学生を対象に、高ソメキャンプ場を訪れ、釣り、調理、ロープ遊び等の自然体験学習を行う。 【ねらい】 公共施設を使用した自然学習を開催し、馴染みのない奈川地区を訪れ親しむとともに、松原地区内では体験することの難しい自然体験の機会とするもの	【共催】 松原地区町会連合会	【評価と反省】 関係者及び中学生ボランティアの力により、保護者の参加なしで実施できた。参加児童の満足度は非常に高く、自然体験のニーズが高かったことが伺えたとともに、普段できない貴重な体験の機会の創出となった。	
東南ブロック球技大会	8月25日	1回	地域事業（体育）	その他	150人	【内容】 バレー、バトミントン、卓球、ソフトバレー、マレットゴルフ、軟式野球の６競技を東南ブロックの６地区対抗で行う。競技によっては市長杯の予選を兼ねる。 【ねらい】 東南ブロック６地区相互の親睦を図り、体力の向上を目指す。	【主管】 東南ブロック球技大会実行委員会	【評価と反省】 普段地区内で活動しているスポーツの成果を発揮する場となっており、またスポーツを通した他地区との交流・親睦の機会となっている。競技によっては地区内でチームを組むことができない課題が挙げられたため、地区対抗と親睦のどちらを主題とするか検討していきたい。	
松原料理講習会　～自分に必要な適正量を知って健康に～	9月4日	1回	趣味教養	成人	9人	【内容】 食生活改善推進員の方から講話・講習を受けながら実際に調理・試食を行う。 【ねらい】 食を学び、食生活の見直しや生活習慣病予防に役立てるとともに、交流・仲間づくりを図る。	【主催】 松原食生活改善推進協議会	【評価と反省】 長野県は塩分摂取量が多いと言われている。生活習慣病予防から減塩・適正量を知ることができた。また実際に調理をしながら試食まで行うことで、交流・仲間づくりの場となった。	
デジカメ講座＆健康福祉講座　上高地散策	9月19日	1回	福祉健康	成人	20人	【内容】 景勝地の環境美化及び保全のためゴミ拾いを行う。その後デジカメ講座参加者は絶景スポットをカメラに収めるため散策。他のメンバーは健康維持・増進のため景勝地を散策 【ねらい】 世界に誇る山岳景勝地の環境美化を通し、健康維持・増進と景勝地を後世まで残す。（被写体でも）	【共催】 松原地区町会連合会	【評価と反省】 当日は雨模様のため、デジカメ講座参加者は機材の保護や被写体探しに苦労したようだ。逆に雨模様を最大限に活用した構図などいつもと違う成果が得られた。また、ゴミ拾いを行うことで環境美化に寄与できたとともに、散策による健康増進の機会となった。	

令和６年度　事業報告

松原地区公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	ＣＳ
秋のフラワーアレンジメント	10月24日	1回	趣味教養	成人	16人	【内容】 講師が用意した材料でフラワーアレンジメントを行い、作品を地区文化祭に展示する。 【ねらい】 花器を通して、個々の感性と美の意識向上を高める。	【共催】 松原地区町会連合会 講師：藤森　奈留美	【評価と反省】 講師からアドバイスを受けながら、思い思いの作品に仕上がり、個々の感性が現れる結果となった。また、地区文化祭への展示としたことにより、文化祭の展示内容が華やかになり好評であった。	
松原地区文化祭・ひろば祭り	10月25日 10月26日	2回	地域事業（文化）	その他	272人	【内容】 地区の日頃の文化活動・学習活動の成果の発表機会とする。 【ねらい】 また、成果の発表を通して今後の交流・コミュニケーションのきっかけとする。	【共催】 松原地区町会連合会 松原地区福祉ひろば	【評価と反省】 感染症を経て、サークル活動が低調となったこともあり、出展数及びステージ数が減少となった。養護学校・ろう学校の協力も得て、見ごたえのある展示となったり、屋外屋台・交流スペースもあったりと、多くの人で賑わう地域住民の交流の場となった。	
秋の料理講習会　～フレイル予防編～	11月20日	1回	趣味教養	成人	7人	【内容】 食生活改善推進員の方から講話・講習を受けながら実際に調理・試食を行う。 【ねらい】 食を学び、食生活の見直しや生活習慣病予防に役立てるとともに、交流・仲間づくりを図る。	【主催】 松原食生活改善推進協議会	【評価と反省】 普段料理を行わない男性や独居で料理機会の減っている方の参加もあり、テーマに沿った講座となった。	
～人権啓発研修～　無言館・別所温泉	11月27日	1回	人権平和	成人	13人	【内容】 無言館で戦没画学生の作品を鑑賞し別所温泉では寺院を散策して運動不足を解消する。 【ねらい】 志半ばで戦死した学生の作品から戦争や平和について考える。	【共催】 松原地区人権啓発推進協議会 松原地区町会連合会	【評価と反省】 戦争で亡くなった画学生の遺品を今も大事に保管・管理し、無益な戦争を風化させないことは並大抵のことでは無いと感じ、この悲劇を二度と繰り返さないようにと、平和について考えさせられる機会となった。	
看取り講座	12月7日	1回	福祉健康	成人	30人	【内容】 大切な人が最期を迎えるとき在宅でできること・利用できるサービスのことなどについて、専門知識を有した方からお話を伺う。 【ねらい】 体験談を話し合うことで、実際に受けられるサービスの情報共有などを行い、在宅で最期をどう生きるかの選択肢の一つとして考える機会とする。	【共催】 松原地区町会連合会 南東部包括支援センター	【評価と反省】 松本協立訪問看護ステーション、訪問看護ステーションひまわり、南松本訪問看護ステーションの先生のもと、看取りの体験談等を通じてそれぞれの家庭にあった看取りの在り方を学習できる機会となった。	

令和６年度　事業報告

松原地区公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	ＣＳ
～人権啓発研修～　貞享騒動から学ぶ	12月18日	1回	人権平和	成人	9人	【内容】 松本市内の史跡や安曇野市の貞享義民記念館を巡り、加助騒動について講師から説明を受けた。 【ねらい】 農民一揆から当時の農民の生活環境や身分格差から人権について考える。	【共催】 松原地区人権啓発推進協議会	【評価と反省】 加助騒動を詳しく知るため、一連の施設（史跡）を見学し専門員から説明を受けた事は当時起きたでき事について想像しながら学べる良い手法であった。また専門員の説明から人権・民俗の両側面を知ることができる有意義な研修になった。	
まつばら子ども食堂	12月24日	1回	子育て	青少年	80人	【内容】 公民館の畑及び地元の方からいただいた野菜を使って豚汁とおにぎりなどを配布 【ねらい】 地域資源に感謝しながら地域で作った野菜等を食す機会・冬休み期間中の子どもの居場所の創出	【共催】 松原地区町会連合会	【評価と反省】 地域の方が作った野菜を使用した温かい料理を通じて、学年を超えた子ども達の交流が生まれた。また、冬休み期間中の子どもの居場所の創出ともなった。	○
新春！書初め大会	1月6日	1回	子育て	青少年	13人	【内容】 冬休みの宿題の書初めを書道の先生に教わりながら仕上げる。 【ねらい】 お正月の伝統行事の継承、地域の中の達人の存在を知るきっかけとする。	講師：市ノ瀬　進	【評価と反省】 参加した子ども達は集中して取り組み、積極的に先生に質問するなど活発な姿が見られた。	
柿渋染め体験	1月30日	1回	趣味教養	成人	14人	【内容】 トートバッグ・クッションカバー・テーブルセンターから好きな品を選び、柿渋染めで作品を仕上げる。 【ねらい】 日本の伝統的な染色技法を学び体験する。	【共催】 松原地区町会連合会 松原地区福祉ひろば	【評価と反省】 染色液の希薄により、濃淡がはっきり変わり個性が現れる作品の仕上がりとなり、日本の伝統的な染色技法を実際に体験することで、貴重な体験の機会となった。	
レッツ手づくり　バレンタインスイーツを作ろう！	2月11日	1回	子育て	青少年	10人	【内容】 手作りバレンタインスイーツ（トリュフ・スノーボール）を作る。 【ねらい】 手作りを通して料理の楽しさを知るきっかけとする。	【共催】 松原地区町会連合会	【評価と反省】 スイーツ作りは繊細な行程が多く難しさを感じた。それでも、サイズや形、トッピングで思い思いのスイーツ作りができ、料理の楽しさを知るきっかけとなった。	

令和６年度　事業報告

松原地区公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	ＣＳ
七味ブレンド講座	2月27日	1回	趣味教養	成人	20人	【内容】 七味について材料や製造工程についてお話を聞いた後に、自分好みのブレンドでオリジナル七味を作る。 【ねらい】 七味唐辛子は長野県が代表的産地であるため、その由来や材料・製造工程を学ぶ。	【共催】 松原地区福祉ひろば 講師：八幡屋磯五郎	【評価と反省】 普段聞けない講話を受け、七味唐辛子について理解を深める機会となり、またオリジナルブレンド体験は普段できない貴重な機会となった。	
山梨県立防災安全センター	3月5日	中止	防災	成人	0人	【内容】 山梨県立防災安全センターで見学・講話・体験（地震・火災の煙）を行う。 【ねらい】 普段できない体験を通して、防災意識を高める。	【共催】 松原地区町会連合会	【評価と反省】 大雪警報により前日に中止判断	
春休み子どもバス研修in伊那・駒ケ根	3月18日	1回	子育て	青少年	29人	【内容】 春休みの子ども達を対象に伊那市を訪問し、パン作り体験を行い、午後は駒ケ根シルクミュージアムへ訪問し、シルクについて学んだ後、まゆクラフト体験でストラップ作りを行う。 【ねらい】 調理体験講座を通して、食育を図る。また、長野県の特産品である絹織物の原材料であるシルクについて見学と体験を通して学ぶ。	【共催】 松原地区町会連合会	【評価と反省】 普段できない体験ができる講座は好評であり、調理体験による食育・シルクミュージアムの見学によりシルクについて理解を深める機会となった。また、春休み期間の子どもの学習機会の創出と居場所作りに寄与できた。	
中学生が教える！春休み小学生卓球教室	3月25日	1回	子育て	青少年	18人	【内容】 明善中学校の卓球部員が講師を務め、小学生へ卓球の基礎知識から実践まで教える。 【ねらい】 小学生と中学生が卓球を通じた楽しみや学びを共有するとともに、教室の内容を部員で検討することで中学生の自主性を育む。	【共催】 松原地区町会連合会 講師：明善中学校　卓球部	【評価と反省】 中学生たちが事前に予行演習を行い準備をしていたこともあり、当日はスムーズに卓球教室を開くことができた。参加した小学生も楽しかったという声があり、卓球を通じた楽しみや学びを共有する機会となった。また、当日の内容を中学生で検討したことで、決められた内容を実施するものとは異なり、準備から当日進行まで中学生が自主的に動く姿が多く見られ、自主性を育む機会となった。	

令和６年度　事業報告

松原地区公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	ＣＳ
仕上がりをイメージしてシャッターを切ろう！－カメラマンから学ぶ写真撮影－	5月～ 6月 9月～10月	8回	趣味教養	成人	80人	【内容】 デジカメ操作の基本、写真の撮り方等を現地撮影・発表会を通して学ぶ。 【ねらい】 創作・自己表現活動の向上を養う目的で実施	講師：Ｅｎ１．２．３（エンカウント）　市川　まど香	【評価と反省】 参加者が意欲的に活動しており、作風にも現れている。撮影会後の座学ではそれぞれの作品を発表し合い、作品がより良くなるアドバイスをもらったりと、参加者にも刺激となった。	
やさしいヒップホップ	6月～7月	5回	子育て	青少年	92人	【内容】 ヒップホップダンスを初心者でも踊れるように講師から教えていただきながら練習を重ね、松原地区の夏祭り（いいづら祭）で成果を発表する。 【ねらい】 近年人気が高まっているヒップホップを通して、子ども達が身体を動かし自己表現できる機会を身近な公民館で創出する。	講師：小林　美穂	【評価と反省】 ここ数年継続している事業であり、発表に向けて講座日以外でも自主練習を行う姿もあった。いいづら祭での発表会をきっかけとして松原地区住民にもダンスの楽しさを共有できた。音源の調達を各保護者にお任せしたことにより、音量やスピードのばらつきが発生したため、調達方法の検討をしたい。	
夏休み子ども学習室	7月22日 ～8月 9日	18回	子育て	青少年	281人	【内容】 夏休み期間中に学習室として公民館を開放するもの 【ねらい】 休み期間の子どもの居場所づくり、普段公民館を利用しない子どもに公民館を身近に感じてもらい、今後の公民館講座等に参加しやすくなるきっかけとする。	【準備過程】 公民館だよりにて実施周知、日程・会場は市ホームページ及び公民館へ掲示	【評価と反省】 今年度も学習だけでなく遊びの場としても利用されており、夏休みの子ども達の居場所づくりとして貢献できた。使い方やマナーの徹底を明確に設定し、伝えられるようにしたい。	
ラジオ体操旬間	7月30日 ～8月 7日	7回	子育て	青少年	181人	【内容】 ＰＴＡ活動が休止となったため、公民館事業としてラジオ体操を開催 【ねらい】 休暇中の運動する機会の創出や規則正しい生活を促す。	【共催】 松原地区町会連合会	【評価と反省】 多くの子ども達が訪れ、結果として三世代交流へも結びついた。より参加者が増えるように、ラジオ体操カードを事前に配る等、検討していきたい。	
楽々ボディメンテ講座	1月20日 2月 5日 2月17日	3回	福祉健康	成人	25人	【内容】 ３回に分けて、負担のかかりやすい腰・膝・肩の筋肉をストレッチでほぐした。筋肉の収縮する冬前に柔軟とストレッチを行う。 【ねらい】 冬場で強張った筋肉をほぐし、健康増進・維持を行う。	【共催】 松原地区福祉ひろば 講師：加藤　百合子	【評価と反省】 ３回に分けそれぞれの部位のストレッチを実施したことにより、それぞれが抱える患部へのアプローチになり良かった。また、女性に好評である講座であるが、今回は男性が加わった事は健康に関する講座の需要が伺えて良かった。今後も更なる内容の充実を図るように検討し、継続的に実施していきたい。	

令和６年度　事業報告

松原地区公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	ＣＳ
春休み学習室	3月18日 ～4月 4日	13回	子育て	青少年	27人	【内容】 春休み期間中に学習室として公民館を開放するもの 【ねらい】 休み期間の子どもの学習支援（学習環境の整備）及び居場所づくり。普段公民館を利用しない子どもに公民館を身近に感じてもらい、今後の公民館講座等に参加しやすくなるきっかけとする。	【準備過程】 公民館だよりにて実施周知、日程・会場は市ホームページ及び公民館へ掲示	【評価と反省】 夏休みに好評であったことから、春休み期間にも実施。毎日多くの利用があり、子ども達の居場所づくり・学習意欲の向上へ貢献できている。	
運動習慣啓発　ラジオ体操	通年 （月曜日・木曜日）	95回	福祉健康	その他	1,405人	【内容】 松原中央公園でラジオ体操第一・第二を行う。 【ねらい】 日頃の運動不足解消と健康維持	【共催】 松原地区福祉ひろば	【評価と反省】 年間を通して実施でき、地域の方の中で習慣化することができた。今後も継続して実施していきたい。	
ほっとスペース松原	通年 （木曜日）	43回	子育て	青少年	363人	【内容】 不登校児童・生徒の居場所作りとして学習支援・ニュースポーツや調理等を行う。 【ねらい】 学校と家以外の第三の居場所を提供する。	【主催】 学校教育課 あるぷキッズ支援室	【評価と反省】 通常は学校へ通っていない子どもに対してＣＳで関わる機会はないが、スペースの開設を通して機会の提供ができた。	○
公民館委員会（松原地区スポーツ協会）	通年	8回	公民館委員会・各種会議等	成人	115人	【内容】 松本市公民館条例施行規則第８条に基づき、地区の実情に合わせた委員会活動を実施	【主催・共催】 松原地区町会連合会 松原地区スポーツ協会	【評価と反省】 委員による活発な議論が生まれている。町会の負担軽減とコミュニケーションのバランスが取れた運営を行っていきたい。	
公民館委員会（松原地区文化広報委員会）	通年	5回	公民館委員会・各種会議等	成人	64人	【内容】 松本市公民館条例施行規則第８条に基づき、地区の実情に合わせた委員会活動を実施	【主催・共催】 松原地区町会連合会 松原地区文化広報委員会	【評価と反省】 委員による活発な議論が生まれている。町会の負担軽減とコミュニケーションのバランスが取れた運営を行っていきたい。	
公民館委員会（松原地区館報編集委員会）	通年	12回	公民館委員会・各種会議等	成人	111人	【内容】 松本市公民館条例施行規則第８条に基づき、地区の実情に合わせた委員会活動を実施	【主催・共催】 松原地区町会連合会 松原地区館報編集委員会	【評価と反省】 委員による活発な議論が生まれている。町会の負担軽減とコミュニケーションのバランスが取れた運営を行っていきたい。	

令和６年度　事業報告の概要

岡田公民館

方針・地域課題・重点的に取り組んだ事項等	評価・反省等
【方針・地域課題】 ・コロナ禍の閉塞感を過去のものとし、積極的に学びの場を提供する。 ・地区内の一体感を持たせるための事業を展開し、地域コミュニティ構築の推進を図る。特に地区の三大事業である夏まつり、球技大会、新春サークル発表会については、コロナ禍で中断した経過があることから、内容を検証し事業の再構築・展開を図る。 ・地区内の学校（岡田小学校、女鳥羽中学校）と地域住民とのパイプ役として、相互の交流となるようなコミュニティスクール事業の展開、課題の共有、解決策の模索を行う。 ・地区関係団体等と連携して、地区の文化・福祉の向上を図る。 ・公民館委員は町会持ち回り選出の委員も多く、積極性に欠ける面がある。地域の各種団体も含め、地域づくりの根幹を担っているという意識を持ってもらい、自主的・主体的に事業に取り組むことができるような仕掛けづくり（体制づくり、動機付け）を引き続き検討していく必要がある。	・コロナ禍により閉塞した各事業について、単なる再開にとどまらず再構築することに注力した。また、住民が集い、学び、語り合うという原点に立ち戻り、事業の企画を実施した。地区の最大事業である夏まつりが再開２年目となり、再び軌道に乗りつつあることは大きな成果である。 ・コミュニティスクール事業についてはコロナ禍を経て縮小、廃止となった事業が多数あり、学校との連携が希薄になった印象がある。 ・他部署・他団体との連携事業を数多く実施することができ、多角的な視点からの事業を展開することができた。 ・コロナ禍を経て公民館委員の参画意識がさらに低下し停滞している印象があり、自主的な参画を図る工夫がより一層必要となった。

項目	学級講座・学習会等									地域事業			公民館委員会・各種会議等	ＣＳ
	人権平和	福祉健康	子育て	地域文化	環境	趣味教養	スポーツ	防災	その他	体育	文化	その他		
事業数	1	2	5	5	0	2	0	1	3	1	1	1	1	1
延べ参加人数	20	98	176	300	0	37	0	60	108	0	230	1300	300	62

令和６年度　事業報告

岡田公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	ＣＳ
植林＆駒打ち体験	4月20日	1回	地域文化	青少年	58人	【内容】 岡田財産区有林で地元の小中学生等を対象とした植林及びキノコの駒打ち体験を実施した。 【ねらい】 地域の子どもたちが植林体験を通じて森林と触れ合い、地域への理解を深める機会を創出する。	【共催】 子ども会育成会 岡田財産区	【評価と反省】 地区の財産である森林を活用した取り組みであり、子どもたちを中心に地域の歴史や風土、伝統文化を学習する機会を提供することができた。 【今後の方針】 地区の自然を生かした体験型事業であり、伝統文化（三九郎）の継承にもつながるため、継続実施していく予定	
おかだ七夕会	7月13日	1回	地域文化	青少年	79人	【内容】 人形劇鑑賞、七夕飾りの制作、歌 【ねらい】 地域文化の学習と子どもたちの豊かな心の育成を図る。	【共催】 児童センター	【評価と反省】 児童センター利用者だけでなく、他の地区住民（親子）の参加も見られた。参加児童が司会を務めるなど企画運営に携わっており、子どもたちの自主精神の醸成も図ることができた。 【今後の方針】 コロナやインフルエンザの感染対策を講じながら継続実施したい。	
おかだ夏まつり	7月27日	1回	地域事業（その他）	その他	1,300人	【内容】 夏まつりの開催。アトラクション、打ち上げ花火、盆踊り、模擬店の実施 【ねらい】 岡田地区で活動している関係団体が連携し、地区住民のつながりや連帯感の醸成を図る。	夏まつり実行委員会	【評価と反省】 岡田地区を代表するメインイベントである。町会による出店、花火の打ち上げ等、地域の子どもから大人まで大勢が参加し盛大に行われ、地域の連帯感を深めることができた。 【今後の方針】 継続実施の予定。運営費の大部分を占める協力券の売り上げが年々減少傾向であることから、運営面での工夫や新たなスポンサーの掘り起こし等、財源確保策について検討していく必要がある。	
自然体験キャンプ	8月7日 8月8日	1回	子育て	青少年	55人	【内容】 親から離れ１泊２日のキャンプを体験する。 【ねらい】 芥子坊主農村公園でキャンプ地の設営から薪集め、自炊等、野外活動を体験することを通して、仲間づくりや集団生活での社会性を身に付ける。	【共催】 子ども会育成会	【評価と反省】 雷雨予報のため、一部日程・場所を変更して実施した。高学年児童をチームリーダーとして宿泊体験、飯盒炊爨、花火大会を行い、集団生活の中で社会性を身に付けることができた。 【今後の方針】 人気の事業であることから、熱中症・雷・豪雨等に注意し、継続実施の予定	

令和６年度　事業報告

岡田公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	ＣＳ
川で遊ぼう	8月24日	1回	子育て	青少年	66人	【内容】 女鳥羽川での自然観察の他、魚のつかみ取りと実際に焼いて食べる体験を実施する。 【ねらい】 地元の自然を活用した自然体験活動と環境教育の実践	【共催】 子ども会育成会	【評価と反省】 普段の生活の中では体験することができない魚のつかみ取りとその場で焼いて食べるという体験をすることができた。 【今後の方針】 参加者に好評であること、また、地域の自然風土について親子で学習する機会を提供することができる事業のため、次年度も継続実施の予定	
町内公民館親睦球技大会	9月1日	中止	地域事業（体育）	成人	0人	【内容】 軟式野球・ソフトバレー・卓球・ゲートボール・マレットゴルフの５種目による球技大会を町会対抗形式で実施 【ねらい】 スポーツによる地域住民の生きがいづくり、健康増進を図る。	【協力】 地区町内公民館長会 地区スポーツ協会 地区町会連合会	【評価と反省】 台風接近のため中止 【今後の方針】 年々参加者が減少しチーム編成が困難になっているとの声がある一方、多数の地域住民が集まり交流や健康増進を図ることができる機会のため、継続実施の予定	
人権学習会	9月30日	1回	人権平和	その他	20人	【内容】 盲導犬総合センター「富士ハーネス」の視察研修により、視覚障害や介助犬、支援について学習する。 【ねらい】 人権に係る学習・啓発を行うもの	【共催】 地区人権啓発推進協議会	【評価と反省】 今年度は視覚障害をテーマに視察研修及び学習を行った。前年度の聴覚障害の学習と合わせ、障害や支援についての理解を深めることができた。 【今後の方針】 今後もテーマを検討し、引き続き地区住民への人権啓発に努めたい。	
親子なぞときウォークラリー	10月19日	1回	地域文化	その他	64人	【内容】 岡田地区やその周辺の名所旧跡にチェックポイントを配置し、親子または子ども同士でウォーキングを兼ねたウォークラリーを行う。 【ねらい】 楽しみながら地域について学習し、親子や友人同士の親睦を深める。	【共催】 子ども会育成会	【評価と反省】 地区在住者でも知らない歴史や名所旧跡をウォーキングしながら学習することができ、健康増進や親睦を深める機会にもなった。 【今後の方針】 地域について学習できる貴重な機会であることから継続実施の予定	
モルック講座	11月22日	1回	その他	その他	16人	【内容】 モルックの体験 【ねらい】 ニュースポーツへのチャレンジと地域住民の交流	【協力】 信州大学生	【評価と反省】 対戦形式で実施したため盛り上がり、住民同士・学生との交流を図ることができた。 【今後の方針】 ニーズに合わせた事業実施を検討した	

令和６年度　事業報告

岡田公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	ＣＳ
おかだクリスマス会	12月14日	1回	地域文化	青少年	45人	【内容】 人形劇鑑賞、手遊び、歌 【ねらい】 地域文化の学習と子どもたちの豊かな心の育成を図る。	【共催】 児童センター	【評価と反省】 児童センター利用者だけでなく、他の地区住民（親子）の参加も見られた。参加児童が司会を務めるなど企画運営に携わっており、子どもたちの自主精神の醸成も図ることができた。 【今後の方針】 コロナやインフルエンザの感染対策を講じながら継続実施したい。	
ハタチの記念撮影	1月12日	1回	その他	成人	30人	【内容】 岡田地区出身の二十歳の者を対象とした記念撮影 【ねらい】 同級生と交流できる機会を創出し、地域への愛着心や回帰意識の醸成を行う。	【協力】 町会連合会 子ども会育成会	【評価と反省】 総合体育館で行う市「ハタチの記念式典」の前に岡田地区出身者で記念撮影できることが特徴であり、参加者同士の旧交を温める場となっている。また、公民館報にも写真と記事を掲載するなど、地域としてこれからの時代を担う若者の新たな門出を祝う貴重な機会となっている。 【今後の方針】 今後も継続実施していく予定	
新春サークル発表会	2月1日 2月2日	1回	地域事業（文化）	その他	230人	【内容】 地域を拠点に活動しているサークルの活動成果の発表会。作品展示会、ステージ発表等を実施する。 【ねらい】 地域の自主的な学習活動の推進を図る。	【協力】 福祉ひろば 公民館利用団体 旧農林漁業体験実習館利用団体	【評価と反省】 作品展示のほかステージ発表も開催し賑やかな内容となった。健康づくり推進員による「健康チェックコーナー」など、地域住民や関係団体のつながりを重視した取り組みも実施し好評であった。 【今後の方針】 多くの住民が参加できるよう、内容を発展させながら継続実施していく予定	
コーヒー講座	2月15日	1回	趣味教養	その他	18人	【内容】 コーヒーに関する講座と試飲 【ねらい】 趣味を通じた住民同士の交流を図る。	【共催】 信州大学生	【評価と反省】 初対面の参加者同士もテーマに関して積極的に意見交換を行う姿が見られ、交流を図ることができた。 【今後の方針】 次年度以降もニーズを踏まえた事業を実施したい。	

令和６年度　事業報告

岡田公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	ＣＳ
防災訓練	3月2日	1回	防災	成人	60人	【内容】 各町会での避難・安否確認訓練及び避難所運営ゲーム（ＨＵＧ）の体験 【ねらい】 地区住民の自主防災意識の向上や知識・技術の習得を図る。	岡田地区自主防災連合会	【評価と反省】 ほとんどの参加者が初めてＨＵＧを体験し非常に好評であった。 【今後の方針】 災害対応については継続的な訓練が重要なことから、毎年テーマを設定し、今後も継続実施したい。	
ちょっと子育てがラクになるワークショップ	3月28日	1回	子育て	家庭教育	20人	【内容】 子どもとの向き合い方について考えるワークショップ 【ねらい】 子育て支援の一環として、主に未就園児の保護者を対象に、子どもとの接し方、考え方等について学び考える。	【共催】 福祉ひろば 市健康づくり課	【評価と反省】 参加者が子育てについて自問したり意見交換する場となり、子育てについて少し肩の力が抜けたのではないかと評価する。虐待抑止に関する内容も含まれており、参加者にも好評であった。 【今後の方針】 次年度以降もニーズや対象者を考えながら事業を実施したい。	
自然と歴史に親しむ講座	5月28日 10月28日	1回	福祉健康	成人	27人	【内容】 地区及び近隣の自然や歴史について学習する。（上高地ウォーキング） 【ねらい】 地域について学習し郷土愛を育むとともに、住民の生きがいづくりの推進を目的とする。		【評価と反省】 地域住民の健康増進と自然・歴史学習を目的にウオーキングを兼ねて実施した。５月28日は大雨予報のため中止。地域づくりの基盤である人と人とのつながりを構築するとともに地域学習による教養の向上も図ることができた。 【今後の方針】 地域住民の地域学習及び健康づくりの推進が期待できることから今後も継続予定。内容については地区住民のニーズにより決定したい。	
あかちゃんのタッチケア講座	6月10日 12月 9日	2回	子育て	家庭教育	18人	【内容】 タッチケアについて講師から学び体験する。 【ねらい】 子育て支援の一環として、子育てのスキルの習得、孤立状態の予防・解消、行政機関や支援体制の認知度アップを図る。	【共催】 福祉ひろば 市健康づくり課	【評価と反省】 地区担当保健師と連携して企画・実施した講座で好評であった。また、参加者と職員との顔つなぎを行ったことで、その後の育児相談、事業参加にもつながり意図した成果も得られた。 【今後の方針】 参加者から好評であり、虐待防止の一助にもなるため、子育て世代のニーズ把握を行いながら、今後も継続実施したい。	

令和６年度　事業報告

岡田公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	ＣＳ
ゆるつな講座	6月15日 1月18日	2回	趣味教養	その他	19人	【内容】 テーマ及び話題提供者を設定し、参加者同士で自由に意見交換し考察する。 【ねらい】 共通の趣味や話題を通じた住民の交流を図る。		【評価と反省】 共通の趣味や話題を切り口に、住民同士の交流を図ることができた。 【今後の方針】 住民のニーズにより検討したい。	
歴史講演会	8月28日 10月23日	2回	地域文化	成人	54人	【内容】 ①遺跡調査からみた岡田の歴史（古墳～平安時代） ②考古学から見た信濃国筑摩郡（奈良～平安時代） 【ねらい】 地域の歴史について学習する。	【共催】 地区歴史研究会	【評価と反省】 地域住民の関心の高いテーマであり、多くの住民に聴講してもらうことができ満足度も高かった。 【今後の方針】 住民のニーズにより検討したい。	
健康づくり講座	8月28日 1月14日	2回	福祉健康	成人	71人	【内容】 ①「認知症予防の食事とは」をテーマに座学と食事シミュレーションを実施 ②「認知症・フレイル予防のための運動」をテーマに座学と運動の実践 【ねらい】 健康づくりの推進を図る。	【共催】 地区健康づくり推進員会	【評価と反省】 住民の関心の高い健康維持・増進について、それぞれのテーマから内容と実践方法を学ぶことができた。また、体験メニューもあり参加者が自分事としてとらえることができた。 【今後の方針】 今後もテーマを検討し実施したい。	
離乳食講座	9月 9日 3月10日	2回	子育て	家庭教育	17人	【内容】 離乳食について講師から学び体験する。 【ねらい】 子育て支援の一環として、子育てのスキルの習得、孤立状態の予防・解消、行政機関や支援体制の認知度アップ	【共催】 地区福祉ひろば 市健康づくり課	【評価と反省】 地区担当保健師と連携して企画・実施した講座で好評であった。また、参加者と職員との顔つなぎを行ったことで、その後の育児相談、事業参加にもつながり意図した成果も得られた。 【今後の方針】 子育て世代のニーズ把握を行いながら、今後も継続実施したい。	

令和６年度　事業報告

岡田公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	ＣＳ
コミュニティスクール事業（岡田小学校）	通年	2回	その他	青少年	62人	【内容】 ①中学校強歩大会の安全指導及び見守り（前日に中止決定） ②小学校ミシン学習支援 ③小学校読み聞かせ（中止） 【ねらい】 学校、家庭、地域が連携しながら、地域の宝である子どもたちを育てる。	【協力】 岡田小学校 女鳥羽中学校	【評価と反省】 ①及び③は中止となった。コロナ禍以降、学校側の事情により縮小、廃止になった事業が多い。 【今後の方針】 小・中学校と連携を密にしながら新たな事業も展開していきたい。読み聞かせについては、地域の子どもたちの豊かな心を育むために復活を目指したい。	○
５部門委員会運営	通年	7回	公民館委員会・各種会議等	成人	300人	【内容】 各委員会の開催 【ねらい】 公民館事業の企画・運営		【評価と反省】 各委員とも、町会推薦による選任がほとんどであるが、参加意識の低い委員や事業実施に後ろ向きな委員もおり対応に苦慮している。 【今後の方針】 ２年任期で改選される委員が多いことから、年度当初に開催する運営委員会等で、改めて地域づくりの重要性を説明するとともに、個別の会議等でも継続的に意識啓発を実施していくこととしたい。	

令和６年度　事業報告の概要

入山辺公民館

方針・地域課題・重点的に取り組んだ事項等	評価・反省等
【方針・地域課題】 ・「地域の子どもは地域で育てる」を目的に、大人と子どもが交流できる事業を展開し、公民館利用者のすそ野を広げる。 ・「学ぶ」「集う」「繋げる」を実現するために、地域住民が気軽に集える場、仲間づくりの場づくりに積極的に取り組む。 ・地域全体が関わる事業に、より多くの方が参加いただけるよう、主体となる地域住民を支援する。事業の計画・準備・実施通じて地域づくりを推進する。	・「地域の子どもは地域で育てる」を目的に通学合宿や親子ひろば等の事業を実施することができ、運動会に代わる新規事業も「子どもを中心」に企画を考え、実施した。また、新たに中学生を対象にした事業を実施し、地区の方と交流することができた。今後も若い世代と積極的に関わることで、公民館活動や地域の取組み等に参加してもらいたい。 ・公民館自習室の周知に力を入れたこともあり、利用者が増えた。また、自習室を利用していた子ども達が地区団体の活動に参加するなどの交流も生まれ、良い取り組みとなった。 ・大正８年から続いていた大運動会の中止を決定し、代替行事として子どもから高齢者まで参加ができる入山辺地区全体行事を新たに開催した。 オープン参加のかたちであったが、多くの方に参加をいただき、満足度も高いものとなった。今後に向けた反省事項を来期に活かしながら、より多くの方に参加いただけるように地域住民を主体として進めていきたい。

項目	学級講座・学習会等									地域事業			公民館委員会・各種会議等	ＣＳ
	人権平和	福祉健康	子育て	地域文化	環境	趣味教養	スポーツ	防災	その他	体育	文化	その他		
事業数	2	0	5	3	1	15	3	1	0	2	4	2	9	4
延べ参加人数	58	0	621	85	400	484	69	87	0	150	774	54	701	261

令和６年度　事業報告

入山辺公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	ＣＳ
第21回山辺の郷健康ウォークラリー大会	4月20日	1回	地域文化	その他	35人	【内容】 自然と文化財の宝庫である山辺の郷をウォークラリーで満喫してもらう。 【ねらい】 子どもから大人まで幅広い世代を対象に、健康づくり、世代間交流、地域の魅力再発見を促す。	実行委員会 （入山辺・里山辺子ども会育成会、入山辺健康づくり推進員会、入山辺・里山辺福祉ひろば、山辺スポーツ少年団、里山辺公民館）	【評価と反省】 ４年ぶりの開催となったが天気にも恵まれ無事に開催することができた。参加者数が減少傾向及び運営役員の負担が大きいことから来年度以降の実施について検討 【今後の方針】 来年度の開催を見送る。	
山辺小学校草刈り	5月18日	1回	地域事業（その他）	成人	54人	【内容】 山辺小学校校庭及びその周辺環境の整備を行った。 【ねらい】 山辺小学校運動会に向けてグラウンドの整備をし、運動会で子どもたちが活発に競技できるようサポートする。	町内公民館長会（里山辺、入山辺） 里山辺公民館	【評価と反省】 里・入山辺の町内公民館長会で協力し、エリアごと分担を決め、スムーズに作業が行えた。 【今後の方針】 継続開催	
山菜を楽しむ日	5月24日	1回	趣味教養	成人	13人	【内容】 地元の山へ行き、山菜狩りをする。 【ねらい】 健康促進と地域住民の交流を図る。	福祉ひろば	【評価と反省】 山菜の生態を学び、知識向上を図るとともに、山菜を目指し山道を歩くことで、健康増進を図り、地域住民の相互交流ができた。 【今後の方針】 継続開催	
町会対抗球技大会	5月26日	1回	地域事業（体育）	成人	150人	【内容】 男性はソフトボール、女性はソフトバレーボール 【ねらい】 地区住民の親睦と健康増進を図る。	スポーツ協会	【評価と反省】 ソフトボールは山辺小学校のグラウンド、山辺運動広場にて実施。ソフトバレーは山辺小学校の体育館にて実施した。地区住民の親睦が図られ、健康増進につながった。 【今後の方針】 継続開催	
ウォーキング講座 白馬村「姫川源流自然探勝園」と「木流川　詩の小徑」を歩こう!!	6月1日	1回	趣味教養	その他	18人	【内容】 白馬村にある「姫川源流自然探勝園」、「木流川　詩の小徑」をウォーキングし、花や植物を楽しむ。 【ねらい】 地域の子どもから大人まで幅広い世代の交流の機会と健康増進を図るもの		【評価と反省】 ２つのコースを歩くことで、白馬の様々な自然を観察しながら参加者同士の交流を深めることができた。 【今後の方針】 場所を変えて継続開催していきたい。	

令和６年度　事業報告

入山辺公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	ＣＳ
人権啓発推進協議会総会	6月20日	1回	人権平和	成人	25人	【内容】 ・事業計画、予算の審議 ・共生社会の実現に向けて「認知症」についての研修会を実施 【ねらい】 「認知症」についての理解を深め、すべての人々が幸せに生活ができる地域づくりの推進に向けて地域住民に対して適切な助言ができる体制を確立する。	人権啓発推進協議会	【評価と反省】 長野県チームオレンジチューターの方に講師を依頼し実施。「認知症」について正しく理解をするためのとても貴重な機会となった。 【今後の方針】 内容を変えながら継続開催していきたい。	
文化委員会（町内公民館長会）視察研修	6月29日	1回	公民館委員会・各種会議等	成人	20人	【内容】 中町通り、蔵シック館、時計博物館、市立博物館の見学 【ねらい】 文化委員の資質向上、相互交流を図る。	文化委員会（町内公民館長会）	【評価と反省】 委員同士の交流を深めることができた。その後の各種事業でも円滑に取り組むことができた。 【今後の方針】 継続開催としたいが、庁用バスの利用が難しい場合には実施方法等を含めて開催を検討する必要がある。	
ひろば演芸会	7月13日	1回	地域事業（文化）	成人	58人	【内容】 福祉ひろばにおける演芸の鑑賞会及び交流会 【ねらい】 住民同士の交流促進を図る。	福祉ひろば事業推進協議会	【評価と反省】 演芸鑑賞を楽しむとともに、多くの人が集い、交流を深めることができた。 【今後の方針】 継続開催	
スポーツ協会東山部ブロック親睦大会	7月14日	1回	スポーツ	成人	19人	【内容】 スポーツ協会東山部ブロック（入山辺・里山辺・本郷・岡田・四賀）５地区の親睦を目的に里山辺体育館でモルックを実施する。 【ねらい】 東山部ブロック同士の交流促進を図る。	東山部各スポーツ協会	【評価と反省】 東山部ブロックの交流促進となったが、役員の負担が大きい。 【今後の方針】 役員の負担が大きいため、来年度以降の開催を見送り。	

令和６年度　事業報告

入山辺公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	ＣＳ
第34回親子ひろば	7月27日	1回	地域事業（文化）	青少年	320人	【内容】 地区の夏祭り。竹の水鉄砲作り、ニジマスのつかみ取り、スライムづくり、綿あめ配布、ポップコーン配布、景品がもらえるゲーム等を実施 【ねらい】 地域の連帯感、親子のふれあい、世代間交流を促進する。	実行委員会（ＪＡ山辺支所、子ども会育成会、スポーツ協会、社会福祉協議会、入山辺記念林協議会、町内公民館長会、健康づくり推進員会、交通安全協会、民生児童委員協議会、山辺スポーツ少年団）	【評価と反省】 多くの皆さんにご来場をいただき、親子のふれあい、世代間交流が深まる場となった。運営側もコミュニケーションを取りながら実施できたことで地域の連帯感の促進に繋がった。 【今後の方針】 継続開催	
夏休みおやつ教室	7月30日	1回	子育て	青少年	27人	【内容】 アイスクリームパフェづくり。 【ねらい】 地域の連帯感、親子のふれあい、世代間交流を促進する。	子ども会育成会 福祉ひろば	【評価と反省】 アイスクリームパフェづくりを通して、子ども同士だけでなく、その保護者同士のふれあいもあり、世代を越えた交流ができた。 【今後の方針】 継続開催	
入山辺公民館で中学生と楽しむ日！	8月1日	1回	趣味教養	青少年	34人	【内容】 中学生に入山辺地区の地区の良いところを知ってもらうため、参加しやすく、楽しい企画 【ねらい】 地区の魅力を再発見してもらうとともに、地区住民とコミュニケーションを図る。	民生児童委員協議会 入山辺記念林協議会 こんな山辺にするじゃん会	【評価と反省】 パッククッキング、バーベキューなど地区住民とコミュニケーションを図ることができた。天候にも恵まれ美ヶ原高原を散策することができ、地区の魅力の再発見につながった。 【今後の方針】 継続開催	○
薄川で魚つかみ体験	8月7日	1回	趣味教養	青少年	70人	【内容】 薄川で魚つかみ体験と水生生物の観察をする。 【ねらい】 薄川の生態や自然を観察するとともに、生きた魚に触れ人と自然の共生を学ぶ。	里山辺公民館 エクセラン高校	【評価と反省】 子どもが自然と触れ合えるだけでなく、小学生と高校生が水生生物の観察を通じて、相互に交流を図ることができた。 【今後の方針】 継続開催	

令和６年度　事業報告

入山辺公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	ＣＳ
第７回入山辺地区通学合宿	8月18日 8月29日 8月30日 8月31日	1回	子育て	青少年	52人	【内容】 小学校高学年を対象に、異年齢の子ども達が２泊３日の共同生活を営むことで、主体性や自立心を育む。 【ねらい】 共同生活を通して「社会力」や「生きる力」等を育むとともに、「地域の子どもは地域で育てる」という地域循環型の取組みを構築していく。	実行委員会（子ども会育成会、山辺小学校、松本大学、農村女性委員会、ＪＡ女性部入山辺支部等）	【評価と反省】 台風の接近が予想されたため８月27日に中止を決定。事前説明会及び「マイ箸づくり」のみ実施した。 【今後の方針】 継続開催	○
第41回松本市長杯争奪球技大会東山部ブロック予選大会	9月8日	1回	スポーツ	成人	20人	【内容】 スポーツ協会東山部ブロックから軟式野球とバレーボールの松本市長杯争奪球技大会への代表チームを選出する。 【ねらい】 東山部ブロック同士の交流を図りながら、ブロック代表チームを決める。	第一ブロック各スポーツ協会等	【評価と反省】 軟式野球は出場し、地区内及びブロック内の交流を図ることができた。バレーボールは不参加 【今後の方針】 継続開催	
きのこを楽しむ日	9月27日	1回	趣味教養	成人	18人	【内容】 地元の山へ行き、きのこ狩りをする。 【ねらい】 健康促進と地域住民の交流を図る。	福祉ひろば	【評価と反省】 きのこの生態を学び、知識向上を図るとともに、きのこを目指し山道を歩くことで、健康増進を図り、地域住民の相互交流ができた。 【今後の方針】 継続開催	
レクリエーション大会	10月6日	1回	趣味教養	青少年	64人	【内容】 入山辺地区の小学生が、全員集まる、年に一回の交流会。保護者も参加 【ねらい】 小学生の交流にとどまらず、家族同士で交流し、住民同士の繋がりの機会を提供する。また、健康増進を図る。	子ども会育成会	【評価と反省】 小学生の交流及び、家族同士での交流をすることができた。 【今後の方針】 継続開催	

令和６年度　事業報告

入山辺公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	ＣＳ
農村女性委員会視察研修	10月9日	1回	公民館委員会・各種会議等	成人	12人	【内容】 長野県果樹試験場、いろは堂おやきファーム等の視察 【ねらい】 会員の資質向上、相互交流を図る。	農村女性委員会	【評価と反省】 会員の資質向上の一翼を担っている。また、会員同士の相互交流を図ることができた。 【今後の方針】 継続開催	
第67回松本市市民体育大会秋季大会	10月13日	1回	スポーツ	成人	30人	【内容】 地区より５競技（軟式野球、ソフトバレーボール、卓球、ゲートボール、ソフトボール）に出場するとともに住民が応援に参加 【ねらい】 交流促進及び健康増進を図る。	スポーツ協会	【評価と反省】 軟式野球、ソフトバレーボールが出場し、地区内及びブロック内の交流を図ることができた。その他の競技は不参加 【今後の方針】 継続開催	
入山辺地区全体行事	10月20日	1回	地域事業（その他）	その他	350人	【内容】 地区運動会の代替行事として、オープン参加のかたちで開催。幼児から高齢者まで参加ができるように、運動広場、公民館を活用し、多くの種目を実施 【ねらい】 健康増進や地域の団結力の向上を図る。	実行委員会（スポーツ協会、町会連合会、町内公民館長会等地区内各種団体）	【評価と反省】 初開催であったが多くの方が参加し、地域の団結力の向上に繋がった。アンケート結果も８割以上の方から「良かった」という声をいただいた。今年度の反省を活かし、来年度以降も実施する。 【今後の方針】 継続開催	
彗星観察教室	10月20日	1回	趣味教養	成人	16人	【内容】 詳しい地区住民の方に講師を依頼。柴金山・アトラス彗星の接近に合わせて、観察教室を実施。彗星について学習し、実際に彗星を観察する。 【ねらい】 彗星について学習し教養を深めるとともに、地域住民の交流促進の場とする。		【評価と反省】 彗星の学習会は分かりやすかった。当日の天候がやや雲がかかっていたため、観察では彗星を見つけることが難しかった。 【今後の方針】 今回のような機会があれば、実施を検討したい。	

令和６年度　事業報告

入山辺公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	ＣＳ
第46回入山辺地区文化祭	11月2日 11月3日	1回	地域事業（文化）	その他	300人	【内容】 展示作品発表、福祉用品コーナー、健康コーナー、物販コーナー、ニュースポーツ体験コーナー 【ねらい】 地区住民の文化活動発表の場を設け、文化力向上や地域活性化を図る。	実行委員会（町内公民館長会、健康づくり推進員会、農村女性委員会、スポーツ協会、子ども会育成会、ゲートボール愛好会、交通安全協会、入山辺福祉ひろば）	【評価と反省】 より多くの方に展示発表を見ていただくため、２日間の開催とした。例年の内容に加え、ビンゴ大会を実施したことで多くの方にご来場いただいた。作品展示や各コーナーも多くの来場者で賑わいをみせた。 【今後の方針】 引き続き多くの方に来場いただけるよう、内容の充実を図る。	
町会対抗ゲートボール大会	11月3日	中止	地域事業（体育）	成人	0人	【内容】 町会対抗のゲートボール大会 【ねらい】 健康増進。仲間づくりや親睦を深める。	ゲートボール愛好会 スポーツ協会 松風園	【評価と反省】 雨天中止 【今後の方針】 日程を変更し、継続開催したい。	
東山部不用食器回収事業	11月10日	1回	環境	成人	400人	【内容】 不用になった食器を無料回収し、状態の良いものは、「もったいない市」で無料配布するもの 【ねらい】 ゴミの減量と資源の有効活用を図る。	東山部不用食器回収委員会	【評価と反省】 来場世帯数は 245世帯の方に来場いただいた。地区外からも多くの方が来場された。 【今後の方針】 継続開催	
地区防災訓練	11月16日	1回	防災	成人	87人	【内容】 地区の防災訓練 【ねらい】 ・災害時の対応力向上 ・避難所の開設・運営対応力の向上	町会連合会 地区防災部 町内公民館長会 消防団 各種団体長	【評価と反省】 災害時を想定し、対応力の向上に繋がる防災訓練となった。 【今後の方針】 継続開催	
松本市文書館を見学しよう！	12月10日	1回	趣味教養	成人	26人	【内容】 松本市文書館の見学 【ねらい】 会員の資質向上、相互交流を図る。	老政会	【評価と反省】 会員の資質向上の一翼を担っている。また、会員同士の相互交流を図ることができた。 【今後の方針】 継続開催	

令和６年度　事業報告

入山辺公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	ＣＳ
宮海道堰堤を見に行こう！	12月10日	1回	趣味教養	成人	19人	【内容】 令和６年12月に国の登録有形文化財に指定された「宮海道堰堤」の見学会 【ねらい】 地区住民から見学を希望する声が寄せられたため、「宮海道堰堤」の歴史や成り立ち等について、現地で学ぶもの	地区住民	【評価と反省】 町会の詳しい方、文化財課の職員にご協力をいただき、実施することができた。参加者からは「地区内にこのような素晴らしいものがあることを初めて知った」という声が聞かれ、好評であった。 【今後の方針】 今回のように地区住民から希望が寄せられる案件は、見学会等を検討し、実施していきたい。	
刃物研ぎ講座	1月24日	1回	趣味教養	成人	15人	【内容】 刃物研ぎ 【ねらい】 刃物の研ぎ方を学び、家庭で使いやすい刃物にする。	シルバー人材センター	【評価と反省】 研ぎ方を学び、切れ味の良い包丁になったと参加者から好評だった。その包丁を使い、家庭での調理を通じて家族同士が交流する機会の一助となった。 【今後の方針】 継続開催	
山辺地区立志式	2月1日	1回	子育て	青少年	125人	【内容】 山辺地区に住む中学２年生を対象とした「立志」の式典 【ねらい】 中学生に町会の組織や機能を知ってもらう機会とし、地域の一員であるという意識を持ってもらう。	山辺地区立志式実行委員会	【評価と反省】 生徒たちの進路決定の一助となり、社会性の向上につながった。 【今後の方針】 継続開催したい。	○
みそ作り講座	2月9日	1回	趣味教養	その他	12人	【内容】 松本産の大豆を使った味噌づくり。 【ねらい】 みそ作りを通じて子どもから大人まで世代を超えた交流を促進するもの	農村女性員会 地区団体	【評価と反省】 小さい子から大人まで幅広い世代の方々にご参加いただき、みそ作りを通して、地区内外問わず、参加者同士で交流を図ることができた。 【今後の方針】 継続開催したい。	
講演会	2月19日	1回	趣味教養	成人	42人	【内容】 講演会（松本藩の忍者芥川家の情報収集活動ー江戸時代の忍びの姿を探るー） 【ねらい】 会員の資質向上、相互交流を図る。	老政会	【評価と反省】 会員の資質向上の一翼を担っている。また、会員同士の相互交流を図ることができた。 【今後の方針】 継続開催	

令和６年度　事業報告

入山辺公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	ＣＳ
ひろばまつり	3月8日	1回	地域事業（文化）	成人	96人	【内容】 ひろばサークル活動紹介、発表会、作品展示等 【ねらい】 住民同士の交流促進を図る。	福祉ひろば事業推進協議会	【評価と反省】 ひろばサークルを多くの人に知ってもらう機会となり、同時に多くの人が集い、交流を深めることができた。 【今後の方針】 継続開催	
しいたけコマ打ち体験とピザづくり講座	3月9日	1回	趣味教養	その他	33人	【内容】 入山辺里山辺財産区の山から切り出した原木を使用ししいたけのコマ打ちを行う。また、こんな山辺にするじゃん会特製ピザ窯を使いピザづくりを行う。 【ねらい】 入山辺里山辺財産区、こんな山辺にするじゃん会を知っていただくこと。また、世代を越えた交流を図る機会とするもの	子ども会育成会 入山辺里山辺財産区 こんな山辺にするじゃん会	【評価と反省】 子どもからお年寄りまで幅広い世代が集まって交流することができた。また、地区住民の方に入山辺里山辺財産区、こんな山辺にするじゃん会を知っていただく機会を作ることができた。 【今後の方針】 継続開催したい。	
人権講座視察研修	3月20日	1回	人権平和	成人	33人	【内容】 富岡製糸場 【ねらい】 地区住民の人権啓発の推進を図るもの	人権啓発推進協議会	【評価と反省】 多くの方にご参加いただき、富岡製糸場の歴史を学び、人権について考えるとともに、参加者同士の交流が図れた。 【今後の方針】 継続開催したい。	
山辺小学校「田んぼ」体験学習	5月15日 9月 4日 9月18日	3回	地域文化	青少年	50人	【内容】 田植えから、刈取り、脱穀まで関わり、収穫したお米を味わう。 【ねらい】 お米の栽培を通じ農業と自然に親しむことで、地区の魅力を再発見し、世代・地域を越えた交流を図る。	こんな山辺にするじゃん会 地区住民	【評価と反省】 米栽培を通じて、地区の魅力を知ってもらうきっかけとなった。また、子どもと地区住民の交流が図れた。 【今後の方針】 継続実施していきたい。	○
寄せ植えとフラワーアレンジメント講座	6月12日 11月 1日	2回	趣味教養	成人	31人	【内容】 花の寄せ植えと、牛乳パックを使用したフラワーアレンジメントを実施 【ねらい】 仲間づくりや生きがいづくりの場とする。また、松風園と連携しながら、入所者と地域住民の交流促進の場とする。	地区住民 松風園	【評価と反省】 地区住民だけでなく、松風園の入所者の方も多くご参加いただき、相互交流が図れた。 【今後の方針】 継続開催したい。	

令和６年度　事業報告

入山辺公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	ＣＳ
みんなのそばで楽し味隊ＳＯＢＡ講座	7月28日 8月10日 10月 5日 10月26日 11月24日	5回	趣味教養	成人	73人	【内容】 そばの種まきから、刈取り・脱穀まで関わり、収穫した新そばで蕎麦打ちをし、そばを味わう。 【ねらい】 そば栽培を通じ農業と自然に親しむことで、入山辺の魅力を再発見し、世代・地域を越えた交流を図る。	こんな山辺にするじゃん会	【評価と反省】 そば栽培を通じて、入山辺の魅力を知ってもらうきっかけとなった。ただ、管理担当の負担が大きいことが課題 【今後の方針】 今後の開催を見送る。	
寺小屋入山辺	7月29日 8月 5日 8月12日 8月19日 3月24日 3月28日 3月31日	7回	子育て	青少年	121人	【内容】 夏休み及び春休み期間における学習支援とレクリエーション 【ねらい】 地域の方が学習を支援することで「地域の子どもは地域で育てる」という循環型の取り組みを行うとともに、レクリエーションを実施することで世代を超えた子ども達の交流を図る。	子ども会育成会	【評価と反省】 多くの子どもに参加いただき、交流を図ることができた。 【今後の方針】 継続開催	
入山辺地区カレンダー発行	毎月1回 全12回	1回	地域文化	成人		【内容】 地区内の行事や各種団体の会議予定などを幅広く掲載するように努めている。 【ねらい】 全戸配布して幅広く住民に周知する。		【評価と反省】 学校、保育園だけでなく、地区関係団体の様々な情報を盛り込むことができ、地区住民に対し、入山辺地区情報発信することができた。 【今後の方針】 各種団体等に情報提供を呼びかけ、引き続き掲載内容の充実化を図りたい。	
公民館自習室	通年	49回	子育て	青少年	296人	【内容】 平日の開館時間（９時～17時）に自習室として開放する。 【ねらい】 公民館が子ども達にとって身近なものとして利用してもらい、小中学生の居場所づくりの一助とする。	山辺小学校 山辺中学校	【評価と反省】 長期休暇期間以外にも利用があった。 【今後の方針】 公民館をもっと身近なものとして感じてもらえるような工夫をしながら、継続したい。	

令和６年度　事業報告

入山辺公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	ＣＳ
福祉ひろば事業推進協議会支援	通年		公民館委員会・各種会議等	成人		【内容】 地区公民館長、センター長、公民館主事が推進委員として参画している。 【ねらい】 公民館活動との連携強化、地域づくり政策の一翼を担うため継続的な支援を行う。	福祉ひろば事業推進協議会	【評価と反省】 地域づくりセンター、公民館からの情報伝達の機会ともなっている。 【今後の方針】 引き続き連携を密にして、支援を継続していきたい。	
入山辺地区の将来ビジョンを考える会（こんな山辺にするじゃん会）	通年	12回	公民館委員会・各種会議等	成人	275人	【内容】 地域の課題解決に向けて会を４グループ（観光と魅力発信・食農振興・住み易い地域づくり・ＤＩＹ）に分けて、それぞれの課題に沿った解決に向けて活動を展開している。 【ねらい】 将来の入山辺地区のあり方を地域住民皆で考え、地域課題の解決に向けて具体的に行動していくため。	町会連合会 各種団体長	【評価と反省】 入山辺の地域課題の解決に向けた取り組みを住民主体で検討していく。 【今後の方針】 地域住民が主体的に会を進めていけるよう、職員の関わり方、支援のあり方を模索していきたい。	
５部門委員会支援	通年		公民館委員会・各種会議等	成人	281人	【内容】 各委員会の自主性を大切にしながら、各種事業の立案や開催のための側面支援を行う。 【ねらい】 住民主体の地域活動の促進を図る。	運営委員会 館報編集委員会 図書委員会 体育委員会 文化委員会	【評価と反省】 各委員会の自主性、自立性をさらに促したい。 【今後の方針】 委員の人数が減ってきているので新たな人材発掘を行いたい。	
公民館使用団体等支援	通年		公民館委員会・各種会議等	成人		【内容】 公民館を使用する団体やサークルを後方支援する。 【ねらい】 各団体等の活動内容を地区内に還元できる機会を設けながら、地区の活性化や文化力の向上を図る。		【評価と反省】 団体やサークルの自主性を損なわないよう十分配慮しながら、必要に応じて支援していきたい。	
公民館だより発行	通年	12回	公民館委員会・各種会議等	成人		【内容】 公民館講座の開催周知を図るため、月１回の広報まつもとの配布に合わせて発行する。 【ねらい】 公民館活動や事業の周知		【評価と反省】 主に講座の開催周知を行っている。 【今後の方針】 読みやすい、読みたくなるような紙面となるよう工夫していきたい。	

令和６年度　事業報告

入山辺公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	ＣＳ
図書貸し出し	通年	1回	公民館委員会・各種会議等	成人	43人	【内容】 図書室に中央図書館から貸出を受けた本を中心に約 700冊を配架している。図書委員が年２回入替作業を実施している。 【ねらい】 子どもから高齢者まで幅広い年代層が興味を持てる様々なジャンルの本を備えており、読書活動の推進を図っている。	図書委員会	【評価と反省】 周知方法を工夫して、さらなる利用促進を図りたい。	
公民館報「いりやま」発行	通年	6回	公民館委員会・各種会議等	成人	70人	【内容】 毎月１回編集委員会を開催し、松本市公民館報の入山辺版として発行する。 【ねらい】 地区内の様々な情報提供	館報編集委員会	【評価と反省】 地区内の出来事、イベント、行事を中心に情報を載せることができた。また、地区住民の多くの方にご寄稿いただき、直接的な声を館報に反映することができた。 【今後の方針】 ・読みやすい、面白い館報を作れるよう工夫する。 ・館報編集委員会が主体的に取り組めるようサポートしていきたい。	

令和６年度　事業報告の概要

里山辺公民館

方針・地域課題・重点的に取り組んだ事項等	評価・反省等
【地域課題】 〇里山辺地区の65歳以上の住民に占める要支援・要介護者が１割弱であり、潜在的な該当者も合わせると１割を超すと予想され、高齢化率も28%と高い。また、一人暮らし家庭は13%と松本市の比率は若干下回るものの、今後は上回ることが予想される。一人暮らしで支援が必要とする家庭で一番多い問題は、買い物、ゴミ出し、庭の雑草の除去等があり、ボランティアの登録人数では対応ができなくなってきている。 〇小中学生の地域との関わりが希薄であり、地区の行事等への参加が低調である。 【活動方針】 １　学校、地域および保護者が子ども達をどのように育てたいかについて子どもを取り巻く状況から意見を交わし、そこから学校や保護者が地域に求めることを明確にする。コミュニティスクール運営委員会をもとにそれぞれの主体で活動を展開する。 ２　町内公民館長会との研修を重ね、住民が参加しやすく、住民の生きがいづくりから住民同士のつながりの創出を図る公民館活動のあり方について議論を深める。 ３　専門委員会で委員同士が自らアイデアを出し合い、地域の実情に合った活動の展開を促進する。 ４　多世代の住民が気軽に参加できる講座を企画し、住民の要望や意見を聴きながら実施内容を見直していく。 ５　地区内の小・中学生が地域活動に参加できるきっかけをつくる。 【重点的に取り組んだ事項】 〇これまで山辺ドリーム大学をはじめ地域住民と触れ合う機会を通して、地域と学校が連携して取り組んでいった。しかし、コロナ禍にあって活動が制限されてきたが、活動が再開できるようになってきた。 〇コロナ禍の中で、地域住民特に高齢者が交流する機会が減ってきたことで、生き甲斐を失いそれに伴う様々な心身への問題が生じている現状を鑑み、公民館として令和２年から取り組んできた「週一ウォーク」は５年目となり、今では参加者も固定せず広がりを見せ、毎回30名を越す参加者がある。 〇公民館では、子育て支援、伝統文化継承事業に長年力を入れて取り組んでおり、地域への認知度も広がり、毎年多くの参加者があり、すっかり定着している。	〇ドリーム大学をはじめ地域住民と触れ合う機会を通したり、地域で中学２年生の立志を祝う『立志式』を通して、地域が安心して生活ができるように様々な取り組みをしてくれていることを知ったり、自分も山辺の一員で地域で成長しているという意識を持ってくれている。 〇公民館として令和２年から取り組んできた「週一ウォーク」は毎回多くの参加者で実施する盛況ぶりであった。また、ただ単にウォーキングに止まるだけでなく、山辺の歴史・文化・自然・産業等に関わる『歴史・自然探訪』のコーナーを設け、山辺について知っていただけるように取り組んでいる。 〇地域では防災訓練や安否確認訓練を実施し、地域住民に徐々に防災意識が向上し始めている機会に、中学生を対象に国立研究開発法人土木研究所の協力を得て、夏休み防災教室を実施した。

項目	学級講座・学習会等								地域事業			公民館委員会・各種会議等	ＣＳ
	平和人権	健康福祉	子育て	環境	趣味教養	スポーツ	防災	その他	体育	文化	その他		
事業数		3	5	1	1		1	6	8	2	2	32	
延べ参加人数		939	419	54	42		20	212	933	472	134	369	

令和６年度　事業報告

里山辺公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	ＣＳ
第21回山辺の郷健康ウォークラリー大会	4月20日	1回	地域事業（体育）	その他	35人	・レクリエーション、健康づくり、地域の魅力再発見などを目的に実施している。 ・山辺地域の名所・旧跡を結んだコースをめぐり、地元の歴史や文化、地名のいわれなどに因んだ問題を出題する。時間得点（ゴール時間と標準時間の差）と課題得点（問題の正答数）で順位を競う。	・実行委員会において企画・運営を行う。 ・実行委員会の構成団体は、入・里山辺公民館、入山辺健康づくり推進員会、入・里山辺子ども会育成会、入・里山辺福祉ひろば、山辺スポーツ少年団	今回21回の大会を実施だが、近年生活環境の変化と共に休日でも仕事があったり、子どもたちも様々な活動に関わる機会が多くなったことで、参加者が年々減少してきており、例年何度も呼びかけをしたり、直接参加を依頼して何とか大会として運営をしてきたことや、広範囲にわたってウォークラリーを実施することから交通安全上役員の増員が課題となっていた点、初期の目的は十分達成できた等を勘案し、本年度をもって終了とする。	
山辺小学校校庭の草刈り作業	5月18日	1回	環境	成人	54人	小学校の運動会の２週間前に、校庭および校舎周辺の草刈りを「地域の子どもは地域で育てる」ための活動として実施している。	里山辺地区町内公民館長および入山辺地区町内公民館長の協力で、各町会関係者等に声を掛けてもらい、実施している。ビーバー等では時間がかかる芝生部分は乗用モアでの作業とし、若手の農業者の方々に協力してもらっている。	歴史のある地域貢献活動である。山辺小学校の校地は広大なため環境整備が大変な状況であるので、毎年行われる草刈り作業への期待度は大きく今後も実施していきたい。	
第９回里山辺地区親睦ゴルフ大会	5月22日	1回	地域事業（体育）	成人	79人	個人競技の地区大会として、町会のゴルフ同好会や一般募集で参加者を募っている。競技終了後に、表彰式および懇親会を公民館にて実施している。	里山辺親睦ゴルフ大会実行委員会（町会のゴルフクラブ等を中心に各町会から１名ずつ選出）と共催	コロナ禍以降大会の開催が再開されて２年目を迎え、参加者も以前の人数に近づいている。参加者が楽しみにしていた大会であり、参加者 100名を目指している。	
第55回ソフトボール・ソフトバレーボール大会	6月2日	1回	地域事業（体育）	成人	200人	・地区住民相互の親睦や町会内の親睦、健康の増進を図る目的で開催する町会対抗の地区体育大会 ・ソフトボール競技は４月１日の満年齢で49歳以上の男性を中心にチームを編成し、２会場を使用してＡ・Ｂブロックでのトーナメント方式で実施 ・ソフトバレーボール競技はＡブロック（４月１日の満年齢で39歳以上の男女でチーム編成）、Ｂブロック（４月１日の満年齢で38歳以下の男女でチーム編成）の２ブロックトーナメント方式で実施	本部体育委員会で企画・実施。町会のチーム編成は町内体育委員がとりまとめて町会公民館ごとに行う。	コロナ禍後開催２年目となる地区の歴史あるスポーツ大会の一つ、多くの町会が参加できるように参加資格を緩和する等工夫をしている。	

令和６年度　事業報告

里山辺公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	ＣＳ
スポーツ協会東山部ブロック親睦球技大会	7月14日	1回	地域事業（体育）	成人	19人	松本市スポーツ協会第一ブロックの５地区（本郷・岡田・入山辺・里山辺・四賀）の親睦球技大会。今年度は里山辺地区が計画し、里山辺体育館において、ニュースポーツのモルックとボッチャを実施	・松本市スポーツ協会第一ブロックの５地区のスポーツ協会（本郷・岡田・入山辺・里山辺・四賀）で共催 ・本年度里山辺地区が当番で企画を行った。	例年、ニュースポーツ・ウォーキングや球技を内容とし親睦を目的として実施してきたが、どのスポーツ協会も参加者の人数の確保が困難な状況があり、今後の在り方について協議し、書面による表決を実施し、結果本年度をもって終了とした。	
夏休み親子魚つかみ体験	8月8日	1回	子育て	青少年	70人	・薄川の生態や自然を観察するとともに、生きたニジマスを手で捕まえて自分の獲った魚を家で食べることで自然の中で生きていることを感じる講座 ・今年度も小松橋上流 200m位の浅瀬で実施した。	・入山辺公民館と共催 ・両地区で参加を呼び掛け、当日の準備や運営も連携して行っている。 ・エクセラン高校環境科学コースの生徒に、参加する子ども達へ水生生物の観察指導を行ってもらっている。 ・犀川漁協（河川使用の許可）、（有）カワグチ（ニジマスの購入）に協力してもらい実施	夏休みに近くの川で自然と触れ合える貴重な体験となっている。また地元の高校生が先生となり子どもたちに水棲生物についての学習をしてくれるということで、夏休みの事業として大変好評である。	
第71回野排球大会	8月18日	1回	地域事業（体育）	成人	250人	・地区住民相互の親睦や町会内の親睦、健康の増進を図る目的で開催する町会対抗の地区体育大会 ・軟式野球競技は地区居住の男性を中心に各町会１チームを編成し、Ａ・Ｂ・Ｃの３ブロックでのトーナメント方式で実施。ソフト排球競技は地区居住の女性を中心に各町会１チームを編成し、Ａ・Ｂの２ブロック（予選リーグと決勝トーナメント）方式で実施	本部体育委員会で企画・実施。町会のチーム編成は町内体育委員がとりまとめて町会公民館ごとに行う。	コロナ禍後の開催２年目を迎える里山辺でも最も歴史あるスポーツ大会である。しかし、近年の猛暑の影響を最も受けやすい大会であるので、今年度から熱中症アラートと暑さ指数で開催可否を決定することとした。当日始めたが野球は途中で暑さ指数が規定を超えたため、決勝をやらずに競技を中止した。来年度はこの時期の開催を見合わせることを考えたい。	
第19回マレットゴルフ大会	8月20日	1回	地域事業（体育）	成人	23人	・個人競技の地区大会 ・中山霊園マレットゴルフ場で開催し、今年も芝・林間・桜の全コースで競技を実施	里山辺マレットゴルフ同好会と共催	・個人スポーツの需要が高く、できるだけ多く地区住民が参加でき、競技を通じて身近なつながりづくりや競技仲間として関係が継続することを目的に、競技に精通する団体に大会運営を行ってもらっている。 ・全コースをめぐることが参加者に好評であるが、高齢化により参加者が減少してきているので、今後は参加者をどう増やしていくかが課題である。	

令和６年度　事業報告

里山辺公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	ＣＳ
町内公民館町会・里山辺公民館合同研修会	9月24日	1回	その他	成人	9人	・里山辺地区町内公民館長会と里山辺公民館とが連携し「両輪の輪」として公民館活動を推進する上で地域に密着した公民館のあり方を模索する機会とする。 ・今回は、「野麦街道と飛騨街道が育んだ歴史と文化」をテーマに、高山の歴史的建造物、高山陣屋、高山まつりの森について研修した。	里山辺地区町内公民館長会と合同で実施	内容については町内公民館事業での研修に参考になる県内の歴史・文化・産業関連の施設及び事業所等を視察先として選定し、相互に連携を図るためどのようなことが必要か考える場としたい。	
第67回市民スポーツ大会	10月13日	1回	地域事業（体育）	成人	70人	軟式野球、卓球、ゲートボール男女、ソフトバレーボール、マレットゴルフの５種目で、地区代表チームを選出し、他地区との対抗競技を行う。	各種目に本部体育委員が分担して張り付き、チームの支援や応援、ユニホーム等の回収をお願いしている。	今年度は、ソフトバレーボール・ゲートボール男女・マレットゴルフ男女の３競技に出場し、軟式野球優勝、女子のゲートボール優勝、男子ゲートボールで３位、ソフトバレーボール２位、３位の成績で総合準優勝となった。	
第69回大運動会	10日20日	中止	地域事業（体育）	その他	0人	地区住民相互の親睦や町会内の親睦、健康の増進を図る目的で開催する町会対抗の地区体育大会	地区関係団体（町会連合会、町内公民館長会、交通安全協会里山辺支部、消防団第19分団、日赤奉仕団）と共催。本部体育委員会で開催要項およびプログラムを策定し、町内公民館長会との打ち合わせ、共催団体会議、全体会議において協議し、開催内容を決定している。準備および運営は、町会等から選任した競技役員と本部体育委員が中心に行う。競技は町会対抗または自由参加の形式をとる。	・町会対抗競技を通じて地区住民相互の親睦や、町会内の親睦・連帯に寄与している。 ・松本市の体育行事が10月～11月初旬に集中するため、現在の時期となっている。開催内容については、令和２年に実施したアンケートの結果を踏まえ、検討・改善し、コロナウィルス感染症類型が緩和されたことで５年ぶりの開催に向けて細心の準備を進めてきたが、雨天中止となった。他地区では運動会の廃止という地区が出てきているので今後については、来年度の実施状況を踏まえて検討する方向で考えている。	

令和６年度　事業報告

里山辺公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	ＣＳ
第50回文化祭	11月2日 11月3日	2回	地域事業（文化）	その他	472人	・日頃から取り組む地区住民の芸術文化活動を地区の一般の方へ発表・展示するステージ発表会および作品展示会を開催している。１日目は作品展示会・体験コーナーを開催、２日目はそれに加えてステージ発表を開催する。 ・また、大勢の方に来場してもらうため、地区福祉ひろば事業推進協議会で主催する「福祉ふれあいフェスティバル」と合同で開催し、家族で参加できるアトラクションを設けるなど多世代交流となるように工夫している。 ・作品展示では、保育園児や小学生、中学生、高校生（エクセラン高等学校）から町会で推薦を受けた住民まで、多彩な作品を展示する。 ・ステージ発表では、公民館・福祉ひろばの各サークルなどが出演する。	・本部文化委員会で企画し、町会ごとの作品の取りまとめは町内文化委員が行う。 ・開催要項について、実行委員会（福祉ひろば事業推進協議会、福祉ひろばコーディネーター、本部文化委員会）で検討し、決定している。文化祭の準備と当日の運営については、本部文化委員および町内文化委員で担う。 ・ステージ発表の出演団体や販売・喫茶コーナーの出店団体は公民館で呼び掛けて、当日の分担について打ち合わせを行う。	コロナ禍後開催２年目を迎えた。今年度は第50回の節目になる文化祭で、昨年は会場を分散し実施したが、役員の分担、移動等の安全上の問題があったので、今年度から里山辺公民館において全ての催しを実施し、問題もあまり無く実施ができたので今後も公民館において実施したい。近年、ステージ発表団体の確保が難しい状況となってきているので、今後は確保していくことが課題となる。	
親子そば打ち講習会	11月9日	1回	子育て	その他	20人	親子で信州の伝統文化と食を学び、文化の継承と食育につなげている。地域住民をが講師となり、親子にそば打ちを教える講座である。	里山辺子ども会育成会・山辺児童センターと共催	親子でなかなか体験できない地域の文化を体験して学び、楽しみながら文化の継承と食育につなげている。今後も継続して実施していきたい。	
秋葉街道と塩の道	11月11日	1回	地域文化	成人	19人	塩の道の南信版として南の塩の道である「秋葉街道」の歴史と文化に視点をあてた事業	秋葉街道の歴史で国の重要無形民俗文化財に指定されている「霜月祭り」と日本の里 100選の『下栗の里』の自然環境と文化を学ぶ企画	日本のチロルと呼ばれている「日本の里 100選」の下栗の里、遠山郷を巡り、秘境と称される下栗の自然と歴史を学ぶ人気の高い講座で３回目を迎える。今年は「霜月まつり」が行われる正一位稲荷神社を訪れることができ好評であった。来年度も実施の予定	
第68回卓球・第45回ゲートボール大会	11月17日	1回	地域事業（体育）	成人	210人	地区住民相互の親睦や町会内の親睦、健康の増進を図る目的で開催する町会対抗の地区体育大会	本部体育委員会で企画・実施。町会のチーム編成は町内体育委員がとりまとめて町会公民館ごとに行う。	コロナ禍後開催２年目となる歴史あるスポーツ大会の一つ、町会対抗競技を通じて地区住民相互の親睦や、町会内の親睦・連帯に寄与している。	
餅つき大会	12月14日	1回	子育て	その他	65人	・地域の伝統文化を学び、文化の継承につなげている。 ・地域のボランティアに協力いただき、親子を対象に杵と臼を使って餅つきを体験する講座である。	地域ボランティアに準備および当日のお手伝いをお願いしている。	コロナ禍以前のように、全ての住民が参加できる餅つき大会として２年目を迎えた。大盛況であった。もち米はわいわいファームで親子で育てたもち米を使用し、希望者にきねを使って実際に餅つきを体験してもらった。本部体育委員や食事ボランティアの協力頂き、ついた餅はコロナ禍以降は食べずに持ち帰る工夫をしている。	

令和６年度　事業報告

里山辺公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	ＣＳ
親子しめ縄教室	12月21日	1回	子育て	その他	30人	地域の伝統文化を学び、文化の継承につなげている。地域住民が講師となり、親子にしめ縄づくりを教える講座である。	里山辺子ども会育成会・山辺児童センターと共催	親子でなかなか体験できない地域の文化を体験して学び、楽しみながら文化の継承と食育につなげている。今後も継続して実施していきたい。	
山辺地区立志式	2月1日	1回	地域事業（その他）	青少年	125人	参加者が地域の先輩の話を聴き今後の進路決定の一助とするとともに、地域の一員として地域活動に参加する契機をつくる目的で、山辺に住む中学２年生を対象とした「立志」を祝う式典。３／４成人式。今年度も、嘉納雅彦・嘉納尚代ご夫婦のチェロとピアノの演奏とトークを聴き、佐々木第19分団長による消防団の活動、成田連合町会長による町会の仕組みと活動の様子を聴いた。	・実行委員会において企画・運営を行う。 ・実行委員会の構成員は、山辺中学校長、里山辺地区町内公民館長、里山辺公民館図書視聴覚委員長、里山辺地区子ども会育成会長、山辺中学校ＰＴＡ、入山辺公民館	コロナ禍後の開催２年目を迎え、始まってから12回目となる。学校の協力もあり、多くの生徒が出席してくれている。地域の町会長や公民館長が出席して地域をあげて立志式を行う地区は山辺地区のみで、地区の中学生への期待も大きく、参加する中学生も町会の取り組みや消防団の活動を知ることができるため、地域への感謝の気持ち育まれ、地域愛を持つ機会となっている。来年度も入・里山辺の行事として関係者と連携の上、継続して実施していきたい。	
やしょうま作り教室	2月15日	1回	地域文化	青少年	27人	・地域の伝統文化を学び、文化の継承につなげている。 ・地域住民をが講師となり、親子に「やしょうまづくり」を教える講座である。	里山辺子ども会育成会・山辺児童センターと共催	コロナ禍後の開催２年目となる。地域の伝統文化が徐々に薄れてきており、伝統文化の継承事業を実施する意義は大きい。親子でなかなか体験できない地域の文化を体験して学び、楽しみながら文化の継承と食育につなげている。今後も継続して実施していきたい。	
わいわいファーム	4月14日 5月12日 6月15日 7月20日 9月 7日 9月28日 10月27日	7回	子育て	その他	234人	・小学生以下の子ども達を対象に、地域のボランティアの指導を受けながら農作業を体験し、地域の自然や営みに関心をもってもらう講座。子ども達には、自分たちが育てた野菜・米の収穫まで継続して参加してもらう。 ・地域づくり推進交付金の交付金を財源とし、地域での多世代交流を促進する。	・まちづくり協議会と共催 ・（有）ファームワーク山辺、地域ボランティア（農作業支援、調理支援）、ＪＡ松本ハイランド山辺支所に協力をいただいている。	・子ども達が、食について学習するとともに、家族ぐるみで多くの住民（ボランティアや他の参加家族）と関わることで、幅広い世代の交流の場として、住民同士のつながりが深まっている。 ・これまで実施していた「さとのわファーム」事業と「わいわいカレー」事業を合体させ、両方の事業を実施できるように７回計画し全て実施した。大収穫祭では自分たちで育てたお米と野菜を使ってカレーを食べることができ、最後は焼き芋も実施できた。毎年参加している家族からは親子で農業体験ができ、農作物が食べれて良かったという感想が聞かれ、大変好評であった。来年度は「わいわいカレー」事業のみで実施する。	

令和６年度　事業報告

里山辺公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	ＣＳ
ガーデニング講習会	5月13日 11月25日	2回	趣味教養	成人	42人	・春と冬の年２回開催 ・季節に合った花を自分なりにプランターに敷き詰め、寄せ植えを行う講座。春は庭先で楽しめるものを、冬は花が少なくなる時期に向けて玄関先で楽しめるものをテーマとした。 講師：塩原園芸 塩原　文夫さん 塩原　幸子さん	里山辺花いっぱいボランティアと共催	自分なりの作品をつくる毎年好評の講座。花のない冬の時期にも開催し、長く咲き続けるための保存方法を学ぶなどプロが教えるコツも講座の目玉となっている。	
塩の道ウォーク	6月20日 9月 9日	2回	地域文化	成人	32人	当初は福祉ひろばと公民館の共催事業で始まった『週一ウォーク』。歩いた距離を意識することで、信濃の街道を地図上で踏破する目的として『千国街道』踏破から発展した事業。せっかくなら『塩の道』を実際に歩いてみようと始まった。	塩の道が整備されている白馬村からの出発するコースにする。全行程を４年間かけて踏破する計画。①千国越えコース②石坂越えコース③天神道コース④大網峠越えコース⑤養老坂コース⑥地蔵峠越えコース⑦大峯峠越え⑧高町越え⑨中山峠越えコースを計画	糸魚川と松本を結ぶ命の道でもある「塩の道」を実際に歩いて見聞することで、往時の人々の暮らしや文化をガイドから学ぶまたとない機会となっており、最も人気があり好評であった。４年間ですべてのコースを踏破したので、今年をもって終了とする。	
夏休み防災教室	7月29日 7月30日 8月 6日 8月 9日	4回	防災	青少年	20人	これまで地域住民に対する防災訓練、安否確認訓練、防災講演会は実施してきており、徐々に地域住民の防災意識は向上している。今回は更に対象を中学生に絞った防災教室を国立研究開発法人土木研究所の協力を得て、「マインクラフトエデュケーション」というプログラムを用いた水害予想マップ作りを行う講座である。	国立研究開発法人土木研究所と地域づくりセンター、公民館の共催	中学生が参加しやすい夏休みでの開催とし、事前に中学校と打合せをしたり、プレゼンをする等工夫した。国立研究開発法人土木研究所の開発プログラムを活用でき、より水害を想定した水害予測マップの作成ができた。	
第41回市長杯争奪球技大会 ブロック予選・本戦	9月 8日 11月 4日	2回	地域事業（体育）	成人	66人	・予選では、軟式野球が決勝戦で抽選で敗れ本戦への出場を逃す。 ・本戦では、ソフトバレーボール準優勝・第３位、ゲートボール準優勝、卓球第４位、マレットゴルフ第８位と好成績を残す。	・地区スポーツ協会で必要物品・用具の準備や当日のチームの支援を行った。 ・ブロック予選については５地区（本郷・岡田・入山辺・里山辺・四賀）のスポーツ協会と実施日程と競技内容を検討し、年度初めの会議で決定する。	予選会、本戦へは全ての種目で参加する事ができ、市民スポーツ大会での総合準優勝の勢いそのままで、市長杯争奪球技大会でも好成績を収めることができた。	

令和６年度　事業報告

里山辺公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	ＣＳ
健康講座	12月12日 1月 9日 1月22日 2月26日 3月 6日 3月19日	6回	健康福祉	成人	73人	歌で健康力アップ講座　全３回 ポールウォーキング講座　全３回	開催日程の調整、講師への依頼、必要な用具の準備は公民館で行う。	冬の時期は運動不足になりがちなため、室内で簡単にできる講座として継続して開催しており、今年度で12年目となる講座。講座で学んだことを個人で実践することから参加者へ伝えながらも、可能な限りでサークル活動や町会での仲間づくりにつなげるように参加者の傾向も見ながら内容等を検討していきたい。	
週一ウォーク	通年	33回	健康福祉	その他	866人	里山辺地区の65歳以上の住民に占める要支援・要介護者が２割弱であり、潜在的な該当者も合わせると２割を超すと予想される。生活習慣においても、国民保健加入者における「１日に１時間以上の運動をしない人」の割合は４割超である。このような状況を踏まえて、年齢を問わず、住民が運動習慣を身につけてもらうために、週１回の頻度でウォーキングをする講座を実施した。	里山辺地区福祉ひろばと共催。地区住民誰でも参加できる方へ向けて、公民館だよりおよび福祉ひろばだよりで周知している。ウォーキングの結果を記録できるように『週一ウォーク手帳』を作成した。参加者の継続意識を高めるポイント制を導入し、段階的ポイント達成者にプレゼントを用意した。	ウォーキングの習慣を身につけてもらうための講座であり、講座に参加するだけが目的でなく、参加者が日常生活で運動する習慣を身に付けてもらうことを目的としているが、これまで通年で実施したことで定着してきたが、猛暑や寒冷での体調面を考慮し、今年度は７～８月、１～２月は休止とし、年間33回の開催とした。口コミで広がり毎回30名を超える参加者があり、参加者から好評である。来年度も継続して実施する。	
公民館だよりの発行	通年	12回	地域事業（文化）	成人	0人	・広報まつもとの配布にあわせて公民館事業の広報として配布 ・地区公民館の主催・共催行事、講座案内等を掲載。毎月発行	・開催日までに十分な申込期間を設定して、事業の募集について記事を掲載している。 ・公民館が立上げに関わった団体や事業を共催する団体の活動報告もできるだけ取り上げて掲載している。	紙面のデザインや内容について見やすく、公民館の開催事業や住民の活動内容に興味をもってもらえるように、工夫をしていきたい。	
体育委員会	通年	7回	公民館委員会・各種会議等	成人	114人	・地区体育事業の企画・準備等について、協議する公民館委員会 ・本部体育委員が事業の企画を行い、町内体育委員が町会への事業内容の周知と町会対抗競技等のチーム編成を行う。	・本部体育委員の選出（各町会より委員を選出→公民館長から委嘱） ・体育委員会を本部体育委員長が招集し、委員の合議で事業内容を決定する。	・本部体育委員と町内体育委員とが一つの目標に向かって連携・協力し合い、地区の体育事業が開催できているため、一人ひとりが地域の活動と委員の役割について理解し関わってもらうことが大切である。 ・体育委員会の所管する事業は大がかりで、かつ休日開催であるため、会議の数など、できる限り役員の負担を軽減する必要がある。また、特定の競技に偏らずに、住民が気軽に参加でき、楽しめる内容を企画するように委員会で協議・運営している。	

令和６年度　事業報告

里山辺公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	ＣＳ
館報編集委員会	通年	12回	公民館委員会・各種会議等	成人	129人	隔月の奇数月の30日付けで発行している「館報さとやまべ」の編集を行う公民館委員会	・館報編集委員の選出（各町会より委員を選出→公民館長から委嘱） ・館報編集委員会を館報編集委員長が招集し、委員の合議で館報の掲載内容を決定し、入稿記事を整える。記事および紙面割り付けレイアウトを印刷業者へ入稿し、校正確認を行い、最終紙面を確定する。	・地区や町会の公民館活動の内容はもとより、携わった関係者や参加者が活動を通じてどんな学びや気づきを得たのかを地区全体に向け発信している。また、時代や環境で変化する地域の民俗や文化、生活環境などを取り上げ、地域の記録を残すための館報づくりを行っている。 ・館報への掲載内容は委員の意見やアイデアをもとに委員会で決定しており、委員自身の学びにつながるという効果も大切にした。	
図書視聴覚委員会	通年	2回	公民館委員会・各種会議等	成人	16人	公民館の図書コーナーの整理、返却本の管理、未返却本の督促状の送付、図書の入れ替え作業（中央図書館蔵書）、図書の購入（新刊本等）、地区行事への協力を行う。	・保育園や小学校での保護者同士のつながり、読み聞かせサークルでのつながりを活かし、公民館の図書視聴覚活動に興味のある方を委員として選出し、公民館館長より委嘱している。 ・会の運営は委員による自主運営を基本とする。	・子どもから高齢者まで幅広い世代の方が自由に利用できる図書コーナーは住民の知識の形成や学びに大いに寄与している。 ・現状、職員が常駐していないため、委員のみで本の整理するには人手が必要である。地域の作家や製作者の図書視聴覚資料を地域に積極的に発信するなど公民館の図書の利活用を促すとともに、地区行事で図書視聴覚委員会の活動に関心を持ってもらう機会を充実させたい。	
図書の購入	通年	3回	公民館委員会・各種会議等	成人	24人	・新刊図書の購入（年３回程度） ・立志式でのおすすめ本の購入と紹介 ・中央図書館廃棄本の譲受け	図書視聴覚委員会で作業にあたってもらっている。	今話題の新刊図書や山辺地区立志式で紹介する「15歳のきみへ」おすすめ本を購入。新刊図書の紹介文の作成と掲載	
図書コーナー管理	通年	36回	公民館委員会・各種会議等	成人	150人	・返却本の整理作業 ・図書の入れ替え（中央図書館所管本、年２回） ・新刊図書の貸出準備、紹介文の掲示 ・未返却図書の返却促進の掲示	図書視聴覚委員会で分担して作業にあたってもらっている。	・図書の返却・整理に負担がかかるため、間隔をあけて委員の都合の良い日にまとめて整理する方法をとっている。 ・未返却本ゼロを目指し、利用者に掲示やお知らせ、催促ハガキ等の対応をとっている。	

令和６年度　事業報告の概要

今井公民館

方針・地域課題・重点的に取り組んだ事項等	評価・反省等
【方針】 ・地区住民の親睦を深め、交流の輪を広げる。 ・地区住民が、自分達の暮らす地域や生活を見つめ直す事業を推進する。 ・事業の企画運営に住民が参画する。 【地域課題】 ・地区役員が１年で交代するため、継続して地域づくりを担う人材の発掘・育成が求められている。	・文化祭では今井小学校の支援学級や養護学校の児童に作品販売の協力をしてもらうなど、新たな取り組みをおこなうとともに、幅広い世代が参加できるよう、スタンプラリーや抽選会を企画した。 ・いまいスポーツ健康フェスティバルでは、以前運動会で行っていた競技を取り入れ開催した。今後も地区住民の交流のきっかけとなる取り組みを広げていきたい。

項目	学級講座・学習会等									地域事業			公民館委員会・各種会議等	ＣＳ
	人権平和	福祉健康	子育て	地域文化	環境	趣味教養	スポーツ	防災	その他	体育	文化	その他		
事業数	3	2	6	6	1	1	4	1	3	2	1	0	5	2
延べ参加人数	46	35	618	373	15	31	352	22	29	1706	500	0	169	377

令和６年度　事業報告

今井公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	ＣＳ
春の自然観察会	5月11日	1回	環境	成人	15人	【内容】 鉢盛山今井財産区有林の散策、山菜採取、山菜料理の試食の実施 【ねらい】 住民同士が親睦・交流を深めながら、今井財産区の歴史や自然を学ぶ機会の提供	【準備過程】 公民館ニュースにて周知、参加者を募集 【協力】 今井財産区	【評価と反省】 住民同士が親睦交流をしながら、散策、山菜採取を行い、今井財産区の歴史や自然について学ぶ機会となった。 【今後の方針】 安全対策をしながら開催を続けていきたい。	
初夏のスカイパークウォーキング	6月17日	1回	福祉健康	成人	11人	【内容】 ウォーキングの基礎を学び、信州スカイパークでウォーキングを行う。 【ねらい】 ウォーキングを行うことで、健康づくりに資するもの	【準備過程】 公民館ニュースにて周知、参加者を募集 【協力】 今井地区福祉ひろば	【評価と反省】 健康づくり課の健康運動指導士にウォーキングの基礎を学び、バラ園までウォーキングを行った。バラの見頃で時期が良かった。 【今後の方針】 スカイパークだけでなく他会場での実施を検討する。	
支部対抗球技大会	7月7日	1回	地域事業（体育）	成人	70人	【内容】 支部（町会）対抗の球技大会（バレーボール・ソフトボール）を行う。 【ねらい】 住民同士の親睦・交流 健康増進	【準備過程】 スポーツ協会役員・支部長・各部役員によるスポーツ協会総会で開催可否を協議。打ち合わせ会で内容を協議 【共催団体等】 今井地区スポーツ協会	【評価と反省】 ソフトボール７支部、バレーボール３支部で実施。マレットゴルフは別日程で、個人参加形式で実施に変更。ゲートボールは休止とした。 【今後の方針】 多くの住民が参加できるよう、内容を検討し、継続したい。	
人権視察研修（人権啓発推進事業）	7月18日	1回	人権平和	成人	20人	【内容】 石の協会内村鑑三記念館・ショー記念礼拝堂の見学 【ねらい】 多文化共生、宗教学の視点から人権を考える。	【準備過程】 公民館ニュースにて周知、参加者の募集。視察先・ガイドとの調整 【共催団体等】 今井地区人権啓発推進協議会	【評価と反省】 内村鑑三記念館では、無教会主義という形態の教派について学んだ。 ショー記念礼拝堂では、司祭さんの話を通して軽井沢最古の教会についての経緯を学んだ。 【今後の方針】 今後も人権学習ができる視察先を選定し継続したい。	

令和６年度　事業報告

今井公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	ＣＳ
スポーツを語る会	7月20日	1回	スポーツ	成人	17人	【内容】 地域で行われている各種スポーツの情報共有。住民同士の交流 【ねらい】 地域で行われている各種スポーツの魅力を共有し、新たな活動のきっかけを創出するとともに、地区に根ざしたスポーツ活動を通じて、住民同士の交流、地域コミュニティの活性化を図る。	【準備過程】 公民館ニュースにて周知、参加者を募集。会場準備 【共催団体等】 今井地区スポーツ協会	【評価と反省】 会を通じ、住民同士のコミュニケーションが活性化された。地域でのスポーツに関する取り組みなど様々な情報が交換され、新たなアイディアが生まれた。 【今後の方針】 情報交換だけでなく、具体的な改善策や新たな活動に結びつける取り組みを行いたい。	
ペットボトル風鈴工作 スイカ割	8月7日	1回	子育て	青少年	60人	【内容】 夏休みを利用して、小学生を対象としてレクレーションを行う。 【ねらい】 子ども達の思い出作り	【準備過程】 図書視聴覚委員会で内容を検討。公民館ニュースにて周知、参加者を募集。材料の調達 【共催団体等】 図書視聴覚委員会	【評価と反省】 ねらいどおり事業が実施できた。 【今後の方針】 子どもの夏休みの思い出作りや地域コミュニティの強化を図る事業の企画	
今井ドンパン夏祭り	8月24日	1回	地域事業（文化）	成人	500人	【内容】 花火の打ち上げとバンドのコラボによる地区の夏祭り 【ねらい】 地域の活性化 子ども達の思い出作り	【準備過程】 実行委員会で開催可否・内容を協議 花火関係申請等 【共催団体等】 今井ドンパン夏祭り実行委員会 今井小学校 今井地区子ども会育成会 今井小学校 150周年事業実行委員会	【評価と反省】 毎年開催している８月14日が雷雨となってしまったため予備日での開催となった。花火予備日として予定していたが、実行委員会にて出し物や出店等も行うことを決定。当日は、出店に行列ができるなど賑わいを見せた。 【今後の方針】 地域でつくる夏祭りとして今後も継続していきたい。中止判断の策定の検討	
防災講座	9月6日	1回	防災	成人	22人	【内容】 危機管理課の出前講座、消防署よりハザードマップの読み解き方を学ぶ。 【ねらい】 住民が自然災害に備えるための知識と技術を習得し、災害時に適切かつ迅速に行動できる体制を整える。	【準備過程】 公民館ニュースにて周知、参加者を募集 危機管理課、芳川消防署神林出張所と調整	【評価と反省】 多くの参加者が防災に関する基本知識や正しい行動手順を学び、日常生活における防災意識が向上した。参加が、限定的な世代であり、全体への情報伝達や受講促進が課題 【今後の方針】 より幅広い年代が参加できるよう、広報を強化するとともに、各層に合わせた講座内容や時間帯の見直しを図る。	

令和６年度　事業報告

今井公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	ＣＳ
未就園児親子バス遠足	9月18日	1回	子育て	青少年	11人	【内容】 未就園児の子どもと保護者を対象に、市のバスを使用しての遠足 【ねらい】 子ども・親同士の交流を深めるとともに、子どもの情操教育に役立てる。	【準備過程】 りんごサークル・視察先との調整 【共催団体等】 りんごサークル （子育てサークル）	【評価と反省】 果樹園での体験により、子どもの成長につながっている。 【今後の方針】 地区の子どもの数が減少傾向の中、未就園児とその保護者の貴重な交流の場でもあり、継続したい。	
マレットゴルフ大会	9月28日	1回	スポーツ	成人	20人	【内容】 個人参加形式のマレットゴルフ大会 【ねらい】 住民同士の親睦・交流 健康増進	【準備過程】 体育委員会で大会内容の検討 スポーツ協会ニュース・公民館ニュースで周知 【共催団体等】 今井地区スポーツ協会	【評価と反省】 町会の枠を超えて、交流と親睦が深まった。上位者のほか、全員に参加賞を用意した。 【今後の方針】 今後も多くの参加を得て継続したい。	
守り隊情報交換会	10月4日	1回	その他	成人	10人	【内容】 見守り活動の現状報告や課題の共有と併せて、守り隊備品の更新 【ねらい】 自治体と地域、学校との協力体制の強化	【準備過程】 日にち調整、備品整備	【評価と反省】 それぞれの活動や危険箇所の情報共有することで、効果的な見守りの方法を得られた。 【今後の方針】 定期的に危険エリアを確認し、必要に応じて対応していく。	
いまいスポーツ健康フェスティバル	10月20日	1回	地域事業（体育）	成人	106人	【内容】 ニュースポーツ、健康測定を中心とした自由参加のイベント 【ねらい】 住民同士の親睦・交流 健康増進 子ども達の思い出づくり	【準備過程】 事前打合せ会を開催し、内容を協議 各コーナー協力団体との調整 スポーツ協会ニュース・公民館ニュースで周知 【共催団体等】 今井地区スポーツ協会	【評価と反省】 屋外での競技を増やして実施。来場者が少なかった。 【今後の方針】 来場者を増やすために、小学校等へ周知を強化したい。	

令和６年度　事業報告

今井公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	ＣＳ
今井地区文化祭	11月4日	1回	地域事業（体育）	成人	1,600人	【内容】 地区全体の文化芸術に関する展示、発表、出店を行う。 【ねらい】 地域の文化芸術に携わる人、団体の活動を通して、人材発掘や諸団体等の活動について相互理解を促す。	【準備過程】 地区内活動団体に発表、展示の希望調査 実行委員会で内容を協議 【共催団体等】 今井地区文化祭実行委員会 今井地区福祉ひろば 今井小学校 鉢盛中学校	【評価と反省】 小・中学生の発表で文化祭を大いに盛り上げることができた。今井小学校の支援学級や養護学校の児童に作品販売の協力をしてもらった。幅広い世代に来場してもらえるよう、スタンプラリーや抽選会を企画した。昨年度からの課題として、午後の集客があったが、出店やステージ発表を増やしたことで最後まで賑やかな文化祭となった。 【今後の方針】 幅広い住民が気軽に参加できる企画の展開、地元団体との連携の強化	
上條嵩司先生特別記念講演会	11月25日	1回	人権平和	成人	14人	【内容】 ・上条嵩司先生公聴会会長講演 ・信濃史学会会長講演 【ねらい】 松本の自由民権運動について学ぶ。	【準備過程】 公民館ニュースにて周知、参加者の募集 【共催団体等】 今井地区人権啓発推進協議会 文化財委員会	【評価と反省】 松本の自由民権運動につて参加者の貴重な学びの場となった。	
文化資産巡り（バスウォーキング）	12月3日	1回	趣味教養	成人	31人	【内容】 松代焼陶芸体験、善光寺御戒壇巡り 【ねらい】 松代焼陶芸体験や善光寺の見学を通じて、県内の文化資源への関心を高める。	【準備過程】 公民館ニュースにて周知、参加者を募集 視察先との調整 【共催団体等】 福祉ひろば	【評価と反省】 地域固有の文化資源に触れ、歴史的・芸術的価値に対する関心を深めることができた。 【今後の方針】 文化資源への理解と関心を高めるための企画を進める。	
しめ縄・正月飾りづくり	12月14日	1回	地域文化	成人	10人	【内容】 しめ縄・正月飾りづくり体験 【ねらい】 ・文化の維持・向上を図る。 ・講座を通じ、地域住民や家族での参加を促し、世代を超えた交流と伝統の級友を目指す。	【準備過程】 公民館ニュースにて周知、参加者を募集 講師との調整 【共催団体等】 福祉ひろば	【評価と反省】 多くの参加者から「自分で作る楽しさが実感できた」との評価が寄せられた。 講師の丁寧な説明により、初心者にも分かりやすく、雰囲気も和やかであった。 【今後の方針】 各作業工程に十分な時間を確保し、段階的な指導を取り入れて実施したい。	

令和６年度　事業報告

今井公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	ＣＳ
中華料理教室 （人権啓発推進事業）	1月14日	1回	人権平和	成人	12人	【内容】 中国出身で市内在住の講師から、その国の伝統、家庭料理などの作り方を教わる。 【ねらい】 異国の料理を学びながら、多文化共生の理解を深める。	【準備過程】 公民館ニュースにて周知、参加者を募集 講師との調整 【共催団体等】 今井地区人権啓発推進協議会 多文化共生プラザ	【評価と反省】 同じアジア圏である中国の伝統的な食文化を学べた。参加者からとても好評だった。 【今後の方針】 今後も文化、習慣の違いを学ぶ機会を設け、多文化共生を目指したい。	
公民館居酒屋	1月31日	1回	福祉健康	成人	24人	【内容】 お酒やおつまみを地区の有志の方に用意していただき、交流する。 【ねらい】 気軽に公民館に足を運んでもらうきっかけづくりをする。 地区住民の交流の機会を設ける。	【準備過程】 公民館ニュースにて周知 【共催団体等】 なし	【評価と反省】 楽しく交流できる場となった。 【今後の方針】 有志が主導となってくれているが、参加者が固定化しないように、開催していきたい。	
親子コンサート	2月5日	1回	子育て	青少年	50人	【内容】 未就園児対象にコンサートを開催 出演：松本マザーズアンサンブル あっぷる 【ねらい】 ともに楽しむ経験を提供し、親子間のコミュニケーションを促進を目指す。音楽に触れる機会を創出し、幼少期から文化・芸術に対する興味関心を育む。	【準備過程】 公民館ニュースにて周知、参加者を募集 出演者との調整 【共催団体等】 今井福祉協議会子ども部会	【評価と反省】 コンサートを通じて、未就園児の感性やリズム感、聴覚の発達を促すことができた。参加者の中から、新たに松本マザーズアンサンブルあっぷるへの入団希望があり、繋がりができた。 【今後の方針】 地区の子どもの数が減少傾向の中、未就園児とその保護者の貴重な交流の場でもあり、継続したい。保護者の方の意見を取り入れ、事業を開催していきたい。	
文化系委員会合同視察	3月4日	1回	地域文化	成人	10人	【内容】 文化系委員会で岡谷蚕糸博物館、イルフ童画館、諏訪北澤美術館等を視察する。 【ねらい】 他市の文化施設を学び、今井地区の文化振興に寄与する。	【準備過程】 参加者募集 視察先との調整 【共催団体等】 館報編集委員会 文化委員会 図書視聴覚委員会	【評価と反省】 委員に視察先の希望を提案してもらった。視察先では、ガイドによる説明をお願いし、教養を深めることができた。委員同士の交流を深めることができた。 【今後の方針】 委員から要望を踏まえ、視察先を選定していきたい。	

令和６年度　事業報告

今井公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	ＣＳ
今井っ子わくわく体験	3月19日	1回	子育て	青少年	40人	【内容】 core塩尻で今話題の電子機器を使ったｅスポーツ体験、平出遺跡で土器づくり体験を行う。 【ねらい】 ｅスポーツは、目、耳、体を使って脳の活性化を目指す。 子ども達に伝統文化への理解と継承意識を高める。	【準備過程】 小学校へ周知 ボランティアの募集 【共催団体等】 今井福祉協議会子ども部会	【評価と反省】 人数が多かったため、２グループに分かれて、ｅスポーツ、土器づくり体験。ｅスポーツは適度に体を動かせ、脳トレもできた。土器づくり体験では、個々の感性やアイディアを活かしながらオリジナルの土器を作ることで、創造力や表現力の向上を促すことができた。 【今後の方針】 今後も子どもの健やかな成長につながる事業を企画したい。	
マレットゴルフ教室	4月～11月	12回	スポーツ	成人	106人	【内容】 鎖川親水公園マレットゴルフ場でマレットゴルフ教室を行う。 ルール、技術は参加者同士で教え合う。 【ねらい】 高齢者同士の親睦・交流、仲間づくり 健康増進、閉じこもり予防	【準備過程】 公民館ニュースにて周知、参加者を募集 飲料の準備 【共催団体等】 今井地区スポーツ協会	【評価と反省】 雨天、熱中症対策として６月の１回、８月の２回を中止としたが、それ以外は開催できた。 【今後の方針】 高齢者の健康増進のため、今後も参加促進を図りたい。	
小学校米作り （ＣＳ事業）	5月～10月	5回	地域文化	青少年	100人	【内容】 道の駅今井恵みの里に講師を依頼し、今井小学校５年生が米作りを体験する。 【ねらい】 児童と地域の方が交流する貴重な機会とする。	【準備過程】 小学校・道の駅との連絡 【共催団体等】 道の駅今井恵みの里 今井小学校	【評価と反省】 田植え、稲刈り等を行い、今井地区の特色である農業に親しんでもらった。 【今後の方針】 今後も引き続き実施したい。	○
親子すくすく教室	5月～3月	9回	子育て	家庭教育	180人	【内容】 未就園児の子どもと保護者を対象に、健康運動指導士に講師を依頼し、親子体操等のレクレーションを行う。 【ねらい】 子どもの健やかな成長を促すため、親子で楽しく体を動かせる親子体操を学ぶ。	【準備過程】 公民館ニュースにて周知、参加者を募集 【共催団体等】 りんごサークル （子育てサークル）	【評価と反省】 ねらいのとおり事業を実施できた。 【今後の方針】 地区の子どもの数が減少傾向の中、未就園児とその保護者の貴重な交流の場でもあり、継続したい。	

令和６年度　事業報告

今井公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	ＣＳ
卓球教室	6月～10月	21回	スポーツ	成人	209人	【内容】 卓球教室を開催し、参加者同士で技術を高めあう。 【ねらい】 住民同士の親睦・交流 市民体育大会への参加を目標とする。	【準備過程】 公民館ニュースにて周知、参加者を募集 開催時の飲料の準備 講師との調整 【共催団体等】 今井地区スポーツ協会 今井卓球クラブ	【評価と反省】 今井卓球クラブの協力もあり、開催できた。講師からの指導によって、参加者のモチベーションや技術が向上した。 【今後の方針】 今後も引き続き実施し、幅広い年代に周知したい。	
小学校クラブ活動支援（ＣＳ事業）	6月～10月	4回	子育て	青少年	277人	【内容】 児童たちがクラブ活動としてやってみたいことを地域の方々に支援していただく。 【ねらい】 児童と地域の住民が交流する貴重な機会とする。	【準備過程】 公民館ニュースにて周知、支援者を募集 小学校・支援者との調整 【共催団体等】 今井小学校	【評価と反省】 バスケット、ジャンプロープ、将棋、昔の遊び、ペーパークラフト、ものづくり、イラスト全てのクラブに支援者を依頼できた。 【今後の方針】 学校と連携し、児童の希望に沿ったクラブ活動支援に協力できる方を募集したい。	○
こだわりのそば打ち講座（日曜開催）	1月～3月	4回	地域文化	成人	36人	【内容】 地区のそば打ち名人から、そば打ちの技術を学ぶ。（日曜） 【ねらい】 今井地区の文化であるそば打ちを継承していく。	【準備過程】 公民館ニュースにて周知、参加者を募集 講師との調整	【評価と反省】 地区外からも参加してもらえた。 【今後の方針】 来年度も継続して行いたい。	
夏休み・春休みは公民館で勉強しよう	7月末 ～8月末 3月中旬 ～4月初旬	2回	その他	青少年	19人	【内容】 長期休み期間中に公民館の会議室を学習室として開放し、自由に勉強できる場を提供する。 【ねらい】 子ども達の居場所づくり	【準備過程】 公民館ニュースにて周知 学校へチラシの配布依頼 【共催団体等】 今井小学校 鉢盛中学校	【評価と反省】 ねらいのとおり事業が実施できた。 【今後の方針】 継続して開催したい。	
郷土の先人から学ぶ近代史	通年	12回	地域文化	成人	133人	【内容】 文化委員達が講師を務め、近代史を学ぶ。 【ねらい】 近代史を学び、今井地区の文化振興に寄与する。	【準備過程】 公民館ニュースにて周知、参加者を募集 講師との調整 【共催団体等】 文化委員会	【評価と反省】 参加者は積極的に意見・質問を行い、意欲的に学べた。講座を周知するため、市民タイムスへ掲載を依頼した。 【今後の方針】 来年度は「郷土の先人から学ぶ近代史」を開催予定（文化委員会主催ではなく、公民館主催）	

令和６年度　事業報告

今井公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	ＣＳ
今井地区文化財委員会	通年	10回	地域文化	成人	84人	【内容】 地区内の文化財の案内板建替、設置作業 地区内の歴史に関する学習会 文化財ニュース（会報）の発行 文化財活用事業の実施 【ねらい】 今井地区の歴史文化の伝承者の人材育成 地区内の文化財の保存、活用	【準備過程】 毎月の会議開催通知 【共催団体等】 今井ふるさと歌留多の会 松本市文化財課	【評価と反省】 全１２回を予定していたが、熱中症防止のため８月、体調不良者が多かったため１月は休会とした。委員同士が親睦、交流しながら地区内の文化財の案内板建替を行うことができた。 【今後の方針】 老朽化した案内板の立替えを継続したい。学習会など文化財活用事業を行っていきたい。	
運営委員会	4月24日 3月26日	2回	公民館委員会・各種会議等	成人	35人	【内容】 公民館事業計画、事業報告、予算、決算の審議	【準備過程】 会議通知 資料作成事務 公民館ニュースでの委員募集 【共催団体等】 館報編集委員会 図書視聴覚委員会 文化委員会 体育委員会	【評価と反省】 コロナ禍で前年まで書面会議としていたが、対面での開催ができた。 【今後の方針】 引き続き開催したい。	
館報編集委員会	通年	12回	公民館委員会・各種会議等	成人	74人	【内容】 隔月発行の館報いまい版の取材、編集 文化祭での展示	【準備過程】 資料作成事務 公民館ニュースでの委員募集	【評価と反省】 委員がアイディアを出しあい、工夫しながら紙面構成をした。文化祭では、コーヒーの販売を行った。 【今後の方針】 人材を確保しながら、引き続き積極的な委員会活動を促していきたい。	
体育委員会	通年	4回	公民館委員会・各種会議等	成人	24人	【内容】 スポーツ事業の企画運営 文化祭での出店 スポーツ協会ニュース発行	【準備過程】 会議通知 資料作成事務 公民館ニュースでの委員募集	【評価と反省】 委員がアイディアを出しあい、工夫しながら、支部対抗球技大会・スポーツ健康フェスティバルを行うことができた。文化祭では、焼きそばの出店をした。スポーツを語る会・新春ボウリング大会・ボッチャ交流会等を開催した。 【今後の方針】 人材を確保しながら、引き続き積極的な委員会活動を促していきたい。	

令和６年度　事業報告

今井公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	ＣＳ
文化委員会	通年	12回	公民館委員会・各種会議等	成人	15人	【内容】 文化祭での展示 講座「郷土の先人から学ぶ近代史」の開催	【準備過程】 会議連絡 資料作成事務 公民館ニュースでの委員募集	【評価と反省】 文化祭では、聖徳記念絵画館の壁画を展示した。文化祭での展示は、今年度で終了とする。 【今後の方針】 来年度は専門委員を設けず、町内公民館長が文化委員を兼ねるようにする。	
図書視聴覚委員会	通年	3回	公民館委員会・各種会議等	成人	21人	【内容】 図書入替（年２回） 子ども向けイベントの開催 今井ドンパン夏祭りでの放送 文化祭でのステージ発表司会・おすすめ図書の展示	【準備過程】 会議連絡 資料作成事務 公民館ニュースでの委員募集	【評価と反省】 図書入替は協力して行った。子ども向けにストーンアート・スイカ割りを企画し、多くの子ども達に楽しんでもらえた。今井ドンパン夏祭りや文化祭で放送等を行った。 【今後の方針】 ストーンアート・スイカ割りは好評だったため、来年度も実施したい。人材を確保しながら、引き続き積極的な委員会活動を促していきたい。	
公民館ニュース発行	通年	12回	その他	成人	全戸	【内容】 毎月の市広報誌の配布に合わせ、全戸に公民館事業等を周知 【ねらい】 公民館事業の周知、募集	【準備過程】 編集、印刷	【評価と反省】 紙面内容を工夫しながら発行することができた。ＨＰへの掲載も行った。 【今後の方針】 多くの方に周知できるように、紙面を工夫する。	

令和６年度　事業報告の概要

内田公民館

方針・地域課題・重点的に取り組んだ事項等	評価・反省等
【方針・地域課題】 ・学習講座には、地域で活躍する人材の育成や学習したことを実生活に活かせるような内容を取り入れる。 ・関係部局、関係団体と連携し地域の資源を活用した学習活動を実施する。 ・公民館活動へのＩＣＴ導入	・昨年度に引き続き、子ども防災合宿、ササラまつり、東南ブロック球技大会、内田地区大運動会を実施した。景品や種目の変更などの微調整を行いながら、参加した人が楽しめるものを目指した。 ・明善中学校のＣＳ事業では日頃の感謝を込めて開催した音の花束開催した。本年度は、長野県警察音楽隊を呼び、生徒たちへ本物の音楽に触れてもらうことができた。また、交通、闇バイト、ＳＮＳの危険性についても講演してもらい、理解を深めることができた。 ・新規事業を二つ行なった。 ｅスポーツ交流会については、インスタグラム、児童センター、育成会等を利用したが人が集まらなかった。来年度は日取りを変えるなど別の方法を検討したい。

項目	学級講座・学習会等									地域事業			公民館委員会・各種会議等	ＣＳ
	人権平和	福祉健康	子育て	地域文化	環境	趣味教養	スポーツ	防災	その他	体育	文化	その他		
事業数	2	1	0	3	3	2	3	1	3	4	1	1	2	4
延べ参加人数	37	50	0	115	99	33	96	50	327	685	467	350	364	1332

令和６年度　事業報告

内田公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	ＣＳ
「地球の宝石箱」見学・体験と「たつのパーク	4月19日	1回	環境	成人	25人	【事業内容】 地球の宝石箱で地学について学び、その後、たつのパークの周辺を散策した。 【ねらい】 自然環境への理解を深めるとともに、住民同士の交流を促進することにより町会や公民館活動の活性化を図る。	【準備過程】 公民館役員とひろば職員と内容の検討を行い、公民館だよりで周知	【評価と反省】 自然環境への理解、住民同士の仲をより深めることができた。 【今後の方針】 単なるサービスに終わらないよう、毎年手法を検討していきたい。	
内田スポーツＤａｙ	5月12日	1回	スポーツ	家庭教育	31人	【事業内容】 クイズラリー、ニュースポーツの体験 【ねらい】 スポーツを通じて地域住民の交流を図る。	【準備過程】 体協役員と内容の検討を行い、公民館だよりで周知 【共催団体等】 内田地区体育協会	【評価と反省】 スポーツを通じて交流を深めることができた。 【今後の方針】 内容と手法を検討し、参加者を増やしたい。	
みんなでボッチャ	5月15日	1回	スポーツ	成人	39人	【事業内容】 ふれあい健康教室と合わせて地区にボッチャを参加者で行う。 【ねらい】 球技大会に向けてボッチャを地区に向けて周知徹底を図る。	【準備過程】 公民館役員とひろば職員と内容の検討を行い、公民館だよりで周知	【評価と反省】 参加者はボッチャを楽しみ、競技を理解することができた。しかし、参加者がふれあい健康教室に参加するメンバーしかおらず、公民館側からの新たな参加者がいなかった。 【今後の方針】 球技大会への参加ハードルを下げるため、定期的に行なっていきたい。	
街めぐりウォーキング	6月16日	1回	趣味教養	成人	11人	【事業内容】 路線バスで市街地まで出掛け、松本城を見学し、市街地を歩いて巡る。 【ねらい】 １日１往復の内田線を利用することで、地域の交通について考えるきっかけとする。	【準備過程】 公民館役員と内容の検討を行い、公民館だよりで周知	【評価と反省】 普段市街地へ出掛けない方の参加があり、評判も良かった。地域交通を考えるきっかけにもなった。男性の参加者がいた。 【今後の方針】 内容次第では、男性の参加も見込めるため見学場所を検討したい。	
ホタル学習と観察会	6月21日	1回	環境	家庭教育	39人	【事業内容】 信州大学教授を講師にホタルと環境について学習した後、地区内を流れる塩沢川でホタルを観察 【ねらい】 ホタルを切り口に自然環境を考える機会とする。	【準備過程】 講師と内容の検討を行い、公民館だよりで周知 【共催団体等】 松原地区公民館、松本ホタル学会、内田児童館	【評価と反省】 ホタルを通して自然環境を考える良いきっかけとなった。 【今後の方針】 子どもの参加が多く、参加者の評判も良いので継続したい。また、夜の散歩自体を楽しんでいる参加者も多かったので、今後の講座の参考にしたい。	

令和６年度　事業報告

内田公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	ＣＳ
内田親睦ゴルフコンペ	6月25日	1回	スポーツ	成人	26人	【事業内容】 個人対抗による親睦ゴルフ大会。会場は地区内の松本カントリークラブ 【ねらい】 スポーツを通じて地域住民の交流を図る。新規の参加者の発掘	【準備過程】 町会連合会役員と内容の検討を行い、公民館だよりで周知 【共催団体等】 内田地区町会連合会	【評価と反省】 ゴルフを通じて交流を深めることができた。また、普段あまり公民館事業に参加しない方の参加もあった。 【今後の方針】 住民の交流を深める機会となっているため、継続して実施したい。	
内田地区球技大会	7月9日	1回	地域事業（体育）	成人	172人	【事業内容】 町会対抗による軟式野球、ゲートボール、ソフトバレー、ボッチャの大会 【ねらい】 スポーツを通じて地域住民の交流を図る。	【準備過程】 実行委員会（町内公民館長、主事、町会長、体協役員等）で内容の検討を行い、公民館だよりで周知 【共催団体等】 内田地区体育協会	【評価と反省】 軟式野球、ソフトバレー、ゲートボールを参加希望町会対抗で実施。大変盛り上がり住民の交流が深まった。昨年度から追加したボッチャも盛況だった。子どもや高齢者も選手として出場できた。 【今後の方針】 子ども、高齢者もスポーツに参加する貴重な機会となっているため継続したい。また、ボッチャについては来年度に向けて要項を検討していく。	
子ども防災合宿	7月26日 7月27日	1回	防災	家庭教育	50人	【事業内容】 非常食作り、防災について、避難所生活と避難所の学習、防災クイズ、ダンボールベッド組立体験 【ねらい】 子ども達や実行委員の大人が防災について考えるきっかけとする。	【準備過程】 実行委員会役員（町内公民館長、町会長、子ども会育成会役員、民生・児童委員等）で内容の検討を行い、公民館だよりで周知 【共催団体等】 南部保健センター	【評価と反省】 今年度は、大鍋を使い一度にハイゼックス料理を作った。子ども達はもちろん、町会長達も初めての経験となったので良かった。 【今後の方針】 子どもと地区の役員が防災について考える機会となっているため継続したい。	
水生昆虫観察会	8月1日	1回	環境	家庭教育	35人	【事業内容】 信州大学の先生を講師に水辺環境について学習した後、地区内を流れる塩沢川で水生昆虫を採取し公民館で観察 【ねらい】 水生昆虫の採取を通して自然環境を考える機会とする。	【準備過程】 講師と内容の検討を行い、公民館だよりで周知 【共催団体等】 松本ホタル学会、明善児童センター	【評価と反省】 水生生物採取を通して自然環境を考えるきっかけとなった。講師との質疑応答の中で子どもの考える力を養えた。 【今後の方針】 今後も連携して実施したい。	

令和６年度　事業報告

内田公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	ＣＳ
内田ササラまつり	8月14日	1回	地域事業（その他）	家庭教育	350人	【事業内容】 子ども向けのイベント、打ち上げ花火、屋台、参加者によるササラ踊りなど。 【ねらい】 地域の伝統文化であるササラ踊りの継承と子どもから高齢者まで楽しめる行事として実施	【準備過程】 実行委員会（公民館役員、町会長、子ども会育成会役員、等）で内容の検討を行い、公民館だよりで周知	【評価と反省】 公民館委員が主体的に運営することができている。今年はお祭り中、音楽を流すなどの試みをしたが、雨の影響で効果がわからなかった。 【今後の方針】 ササラ踊りの継承と地域の交流の場として定着していることから継続して実施したい。	○
第47回東南ブロック球技大会	8月27日	1回	地域事業（体育）	成人	35人	【事業内容】 バレー、バトミントン、卓球、ソフトバレー、マレットゴルフ、軟式野球の６種目による６地区対抗競技 【ねらい】 他地区住民との親睦を目的とするもの	【主管】 東南ブロック球技大会実行委員会 【準備過程】 実行委員会で企画、準備、実施	【評価と反省】 各地区の交流の場として実施できている。運営面での人員不足等課題があるため、各地区協力をしていきたい。 【今後の方針】 東南ブロックでの主催となる数少ない体育行事として他地区との交流の推進を図る。	
第60回内田地区大運動会	9月10日	1回	地域事業（体育）	その他	447人	【事業内容】 町会対抗によるリレーや、自由参加の個人競技など。 【ねらい】 地区住民が一堂に会し、伝統にもなっている競技を通じて、子どもから高齢者まで参加できる行事として開催	【準備過程】 実行委員会役員（公民館役員、町会長、子ども会育成会役員、健康づくり推進員等）と実施の可否を検討し、中止を決定	【評価と反省】 好天に恵まれ、全ての競技を事故なく終えることができた。子どもから高齢者まで幅広い世代の参加があった。 【今後の方針】 子どもから高齢者まで参加できる貴重な機会となっているため継続したい。暑い時期の開催のため、熱中症対策に気を配りたい。	○
第47回内田地区文化祭・第26回内田地区福祉ひろばまつり	11月3日	1回	地域事業（文化）	その他	467人	【事業内容】 サークルによるステージ発表や個人作品などの展示、豚汁・おにぎりの提供、くじびき、農産物の直売 【ねらい】 子どもから高齢者まで楽しむことができる行事として開催	【準備過程】 実行委員会（公民館役員、町会長、子ども会育成会役員、等）で内容を検討。プログラムを作成して周知 【共催団体等】 内田地区福祉ひろば、実行委員会	【評価と反省】 ４年ぶりの豚汁・おにぎりの提供ができ、飲食を通した交流ができた。個人作品の展示が減少傾向にある。作品が増えるような手法を検討したい。 【今後の方針】 文化・芸術活動の貴重な発表の機会となっており、また、子どもから高齢者まで参加する機会にもなっているため継続したい。	○

令和６年度　事業報告

内田公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	ＣＳ
文化芸術視察研修	11月3日	1回	趣味教養	成人	22人	【事業内容】 山梨県立美術館と桔梗屋を見学 【ねらい】 落穂ひろいなど、本物を見る機会を通して美術への関心を高める。 また、桔梗屋を見学し、企業としての工夫を学ぶことを狙いとした。	【準備過程】 公民館役員と内容の検討を行い、公民館だよりで周知	【評価と反省】 地区に通ずる歴史の学習と優れた作品の鑑賞で得る感動を共有することで、住民同士の交流を深めることができた。 【今後の方針】 芸術作品に触れることができる貴重な機会であることから今後も継続したい。	
音の花束コンサート	11月28日	1回	その他	青少年	300人	【事業内容】 明善中学校の体育館にプロの演奏者を招いてのコンサート。今年度は警察音楽隊を呼んだ。 【ねらい】 生徒の地区行事等への参加のお礼として開催。公民館活動について、生徒の理解を深める。【趣味教養、地域文化】	【準備過程】 公民館と中学校が連携して準備を進めた。 【共催団体等】 寿台公民館、松原地区公民館	【評価と反省】 普段触れる機会の少ないプロの演奏を聴ける貴重な機会となった。中学生の公民館に対する認識を広げることができた。 【今後の方針】 ＣＳ運営委員会に中山公民館も出席していることから、同館を加えての開催を検討したい。	
しめ縄・ふかし饅頭づくり	12月7日	1回	地域文化	家庭教育	13人	【事業内容】 しめ縄づくりとふかし饅頭の調理 【ねらい】 地区在住の講師から作り方を教わりながら世代間交流を図るとともに、伝統文化を学ぶ。	【準備過程】 講師と内容の検討を行い、公民館だよりで周知 【共催団体等】 子ども会育成会	【評価】 地区在住の講師ということもあり、世代間交流をより深めるとともに伝統文化に対する理解を深めることができた。子ども会育成会のクリスマス会と同日で開催したこともあり、育成会役員の協力を得られた。昨年度は、人数が多くなりすぎたので、今年度は児童センターには協力を仰がなかった。 【今後の方針】 今年度同様、子ども会育成会と連携して実施したい。	
ｅスポーツ大会	12月25日	1回	その他	その他	6人	【事業内容】 ・ｅスポーツ交流会として、ぷよテト２を参加者でプレイしてもらった。 【ねらい】 ・内田へ帰省した孫や子どもと遊べるようにまずは、入門として触れてもらう。 ・世代にかかわらず交流できるようにする。	【準備過程】 ゲーム会社と調整を行い、公民館だよりで周知 【共催団体等】 子ども会育成会	【評価】 馴染みがないこともあり、参加者が少なかった。しかし、参加者は楽しそうにしていたことから、来年は日程を変えながら、行いたい。 【今後の方針】 まずは、子どもを対象に絞って来年度の様子を見たい。	

令和６年度　事業報告

内田公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	ＣＳ
人権啓発講座	1月20日	1回	人権平和	成人	16人	【事業内容】 社協から講師を招き、視覚障害の方の体験をした。 【ねらい】 視覚障がいのある方への理解を体感し、地域にあるろう学校への関心を高める。	【準備過程】 講師と内容の検討を行い、公民館だよりで周知 【共催団体等】 内田地区人権啓発推進連絡協議会	【評価と反省】 ジェスチャーゲームで声を出せないもどかしさを体験し、他者への理解促進につなげることができた。 【今後の方針】 人権について考える貴重な機会であることから継続して実施したい。	
明善小学校３年生ササラ踊り学習講座	1月24日	1回	地域文化	家庭教育	68人	【事業内容】 市の重要無形民俗文化財である「内田のササラ踊り」の学習及び体験 【ねらい】 子どもの頃からササラ踊りに親しむことで伝統文化の継承を図る。	【準備過程】 学校から要請があり、授業の中で実施 【共催団体等】 ササラ踊り保存会	【評価と反省】 地区内の子どもだけでなく、他地区の子どもにもササラ踊りを知ってもらう機会となった。 【今後の方針】 ササラ踊りに親しむ貴重な機会となっているため、学校と連携して実施したい。	○
ニュースポーツ体験会	1月26日	1回	地域事業（体育）	家庭教育	31人	【内容】 ボッチャ、モルックの体験 【ねらい】 ニュースポーツを通して冬場の運動不足解消と世代間交流を図る。	【準備過程】 体協役員と内容の検討を行い、公民館だよりで周知 【共催団体等】 内田地区体育協会	【評価と反省】 子どもから高齢者まで一緒に楽しみ、世代間交流が深まった。 また、今年度購入したボッチャコートのおかげで、コート作りの手間が省け、負担軽減につながった。 【今後の方針】 体育館から公民館に会場を移し、参加者が増加したため、冬場は公民館で実施したい。	
人権啓発視察研修	2月19日	1回	人権平和	成人	21人	【事業内容】 盲導犬里富士ハーネスの視察 【ねらい】 人権尊重の理念に関する理解と普及・高揚を図るとともに、住民同士の交流を深めることにより町会や公民館活動の活性化を図るもの。	【準備過程】 公民館役員と内容の検討を行い、公民館だよりで周知 【共催団体等】 内田地区人権啓発推進連絡協議会	【評価と反省】 盲導犬について説明を受け理解を共有することで、住民同士の交流を深めることができた。 【今後の方針】 人権について考える貴重な機会であることから継続して実施したい。	

令和６年度　事業報告

内田公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	ＣＳ
内田地区ウォーキング	3月1日	1回	地域文化	その他	34人	【事業内容】 地区内の神社仏閣や旧跡などを歩いて巡る。内田かるたも使用 【ねらい】 内田かるたの活用、地区の文化財等への理解を深めるとともに、健康づくりを通して住民同士の親睦を深める。	【準備過程】 福祉ひろば、馬場家住宅と内容の検討を行い、公民館だよりで周知。内田児童館へチラシの配布を依頼。また、今年度は、塩尻市の片丘公民館にも宣伝をかけた。 【共催団体等】 内田地区福祉ひろば、馬場家住宅、明善児童センター	【評価と反省】 講師の解説から昔を振り返り、住民同士の親睦を深めることができた。 ウォーキングで健康づくりにつながった。多世代交流の機会となった。また、片丘地区からもたくさんの参加者が訪れ盛況となった。 【今後の方針】 内田かるたの活用のため来年度も実施したい。片丘地区とは今後も交流を続けていきたい。	
自習室開放	7月29日 ～8月16日 3月21日 ～4月 3日	20回	その他	青少年	27人	【事業内容】 夏休み・冬休み期間に公民館の会議室を自習室として開放し、地区の住民が勉強できる場を提供 【ねらい】 市民への学習場所の提供、公民館への来館機会の増進を図る。	【準備過程】 公民館だよりを全戸配布、小中学校で配布し周知	【評価と反省】 学区外の学校へ通学している地区児童の利用があり、公民館利用の機会を創出できた。 利用者同士の交流の場にもなっている。 【今後の方針】 利用があるため今後も継続したい。春休み中の開放も検討したい。	
健康づくり講座「ＰＰＫスクール」	12月～3月	3回	福祉健康	成人	50人	【事業内容】 理学療法士による健康に関するミニ講座と筋トレと有酸素運動を組み合わせた運動の実施。介護施設の方からリビングウィルの講座ともしバナゲームの実施 【ねらい】 介護予防の啓発と運動習慣のきっかけづくり。	【準備過程】 講師、共催団体と内容の検討を行い、公民館だよりで周知 【共催団体等】 南東部地域包括支援センター、地区生活支援員、介護事業所、整骨院	【評価と反省】 介護予防の知識を深めるとともに運動習慣のきっかけとすることができた。 参加者が運動を習慣化できるよう健康ビンゴを作成、配布した。第４回目でビンゴ達成者を表彰し、健康習慣が継続された。 【今後の方針】 引き続き、専門職の講師を招いて実施したい。	
公民館委員会・各種地区事業実行委員会	通年	26回	公民館委員会・各種会議等	成人	320人	【事業内容】 公民館事業、地区事業の企画運営 【ねらい】 公民館事業、地区事業を効果的に行う。	【準備過程】 年度の始め、事業の前後等に随時開催	【評価と反省】 各委員会、実行委員会で事業の企画運営が行われ、効果的な活動を行うことができた。 【今後の方針】 住民主体で事業が行われるよう、継続して支援したい。	

令和６年度　事業報告

内田公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	ＣＳ
公民館報「はちぶせ」	通年	7回	公民館委員会・各種会議等	成人	44人	【事業内容】 公民館事業や地区・町会行事等の記録、地区の出来事や課題等の記録 【ねらい】 公民館事業や地区のでき事、課題等の周知	【準備過程】 館報編集委員会において、記事の検討、推敲	【評価と反省】 公民館事業や地区事業等を住民の視点で記録することができた。一度も行事に参加したことがない委員の行事参加につながった。 【今後の方針】 事業の記録だけでなく、地区の事に興味を持ってもらえる記事を掲載したい。	

令和６年度　事業報告の概要

本郷公民館

方針・地域課題・重点的に取り組んだ事項等	評価・反省等
【方針・地域課題】 １　本郷地区松本市合併50周年を記念した各事業の推進 地区のあゆみを顕彰し、合併50年の歴史が地域住民同士の交流と連携をより活発なものにするよう各種事業を展開した。文化委員会主催の文化祭における記念展示や記念パフォーマンスの開催、館報編集委員による特集記事の展開、図書委員会による記念文化講演会等、各委員会の立場で事業を実施した。 ２　本郷地区ならではの体験の提供 山間部や農村部、観光地、住宅地など多彩な要素を持つ本郷地区が育んできた自然や文化の他、この地区に住む多様な人材を活用し、本郷地区ならではの体験の提供を心掛けた。 ３　住民による委員会活動の自主的な運営 委員の意見や考えを重視し、地区公民館主導ではなく自主的な活動となるよう取り組んだ。	１　合併50周年事業の推進 合併50周年というテーマを軸に、各委員会活動と公民館講座を結びつけながら事業計画を組み立て、実施した。一つのテーマをもとに多角的な事業を行ったことで、単独の委員会活動ではなしえない広がりのある取り組みが展開できたと感じていている。 ２　本郷ならではの体験の提供 本郷に関連する内容の講演会・講座を多数実施したほか、ウォーキング講座事業に地域の文化財見学を加える、料理教室の講師を公民館活動団体に優先して依頼するなど、本郷地区の要素を随所に加えることができた。 ３　文化委員会では、合併50周年の文化祭が盛り上がるものになるよう飲食ブースの出店やイベント会場の変更など、積極的な提案がなされた。館報編集委員会では、地区公民館から誌面案を示すのではなく、各委員毎に扱う内容を決めるなど、各委員会それぞれに工夫を加え事業を実施した。

項目	学級講座・学習会等									地域事業			公民館委員会・各種会議等	ＣＳ
	人権平和	福祉健康	子育て	地域文化	環境	趣味教養	スポーツ	防災	その他	体育	文化	その他		
事業数	3	0	1	1	3	5	6	0	2	1	5	0	7	1
延べ参加人数	96	0	66	5	37	76	99	0	44	0	1071	0	422	66

令和６年度　事業報告

本郷公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	ＣＳ
図書委員会主催視察研修（塩尻市えんぱーく及び松本市立博物館）	5月24日	1回	趣味教養	成人	5人	【内容】 塩尻市えんぱーく及び松本市立博物館の見学 【ねらい】 文化施設における図書事業を見学し、地区の図書活動振興に生かす。	【共催団体等】 本郷公民館図書委員会	【評価と反省】 テーマや展示と関連した図書が配架されており、興味を広げる工夫が見られた。後述の「松本城と世界遺産講座」で本郷図書館と協力し、同様の手法で事業を展開するなど視察内容を生かせた。 【今後の方針】 公民館と図書館が一緒の建物にあり事業連携がしやすいため、視察を継続しより効果的な事業展開を学んでいく。	
人権啓発推進協議会講演会 「知ることから始めよう、知ることから広げよう～見えない、見えにくい殻の挑戦～」	6月26日	1回	人権平和	成人	29人	【内容】 松本盲学校の教諭を講師に招いた講演会 【ねらい】 視覚に障がいがある方との接し方や注意点を座学・体験から学ぶ。	【共催団体等】 本郷地区人権啓発推進協議会 【協力】 松本盲学校	【評価と反省】 聴講だけでなく手拭いで目を隠し、目が見えない体験や手引きを行うなど、体験から学ぶ機会を設けた。実際に体験したことで理解が深まったとの感想が聞かれた。 【今後の方針】 今後も体験を事業に組み込めるよう検討していく。	
親子でホタルを見よう	6月28日	1回	環境	青少年	20人	【内容】 浅間温泉内にあるホタル生育場所でホタルの観察会を行う。 【ねらい】 観察を通して、ホタルの生態やホタルが生きる自然環境について学ぶ。	【共催団体等】 浅間温泉ホタルの里づくりの会	【評価と反省】 ホタルの雌雄に関わる資料や図書館書籍の紹介を掲載した。 【今後の方針】 図書館との連携については、早めに行っておくと講座の充実につながる。	
美鈴湖親子ディスカバリー（アウトドアアクティビティ講座）	7月6日	1回	スポーツ	青少年	22人	【内容】 中学生以下を対象に本郷地区内のオートキャンプ場で焚火起しとＳＵＰを体験 【ねらい】 健康づくり、地区住民の交流、本郷地区内にある自然と触れることによる地域への親しみを育む。	【共催団体等】 本郷地区子ども会育成会、柳沢林業	【評価と反省】 スタッフが充実しており、内容に富んだ体験会につながった。継続を希望する声も多く聞かれた。 【今後の方針】 身近な自然や運動施設を活用した体験事業を検討する。	

令和６年度　事業報告

本郷公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	ＣＳ
プラネタリウムと浮世絵で科学体験	7月24日	1回	環境	青少年	10人	【内容】 ８月23日に行う星空観察の事前学習をプラネタリウムで行う。合わせて教文センター職員による科学講座を開催 【ねらい】 夏休みに入った子ども達に学びの機会を提供する。	【共催団体等】 松本市教育文化センター	【評価と反省】 本物の浮世絵を使い、浮世絵に使われる技法や素材を顕微鏡などを使って考察した。子ども達に観察など体験の機会を提供できた一方、参加人数は少数であった。 【今後の方針】 学校や地域に広報協力を仰ぐなど、周知を強化する。	
伝統的建造物群保存地区視察	7月30日	1回	地域事業（文化）	その他	28人	【内容】 南木曽町妻籠宿及び塩尻市奈良井宿のバス視察 【ねらい】 文化財保護への関心の向上、地域資源の再発見	【共催団体等】 本郷公民館文化委員会	【評価と反省】 それぞれの保存地区で行われている営みを知り、地域文化財がいかに守られ、活用されいるかを知ることができた。 【今後の方針】 バスでの視察機会が限られることから、近隣の視察等別事業への転換を進める。	
美ヶ原トレッキング	8月6日	1回	スポーツ	その他	8人	【内容】 美ヶ原（美しの丘～王ヶ頭）を歩く。 【ねらい】 本郷地区ともゆかりが深い美ヶ原を歩き、地域への理解を深めながら健康増進を図る。	【共催団体等】 食と旅を愛する会（地元登山愛好家団体）	【評価と反省】 景観が良く風景を楽しみながら歩けたため、本郷地区への愛着と自身の健康増進が両立できた事業となった。バスでないと台上まで上がれないことが課題 【今後の方針】 市のバスによらない事業展開を検討	
親子星空観察	8月23日	1回	環境	青少年	7人	【内容】 梓川ふるさと公園において星空観察。肉眼の他、講師手配の望遠鏡を用いて観察を行った。 【ねらい】 子どもの自然科学への関心を高める。	【共催団体等】 スターウォッチングクラブ北斗	【評価と反省】 天体の他、人工衛星や星雲（ガス）などを観察。夜空には星以外のものが多く存在することを知り夜空を眺める楽しさを提供できた。観察場所が本郷から遠かったこともあり、参加者は少人数であった。 【今後の方針】 本郷地区での観察会実施を検討する。	

令和６年度　事業報告

本郷公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	ＣＳ
自然講座１　松本市立博物館見学	8月28日	1回	趣味教養	成人	8人	【内容】 特別展「生物多様性と松本」および常設展見学 【ねらい】 本郷地区の生物と松本市の温泉について学び、本郷地区の自然への関心を高める。		【評価と反省】 学芸員やボランティアの案内を手配したことで、本郷地区周辺の自然環境について詳しく学ぶ機会を提供できた。連続講座の第一回目という位置づけだったが、他に比べ参加者が伸び悩んだ。各講座との関連性を事前に示すことができればよかった。	
自然講座２　鷲鷹の渡りと白骨温泉見学会	9月25日	1回	趣味教養	成人	17人	【内容】 奈川地区白樺峠と安曇地区白骨温泉を見学し、生物と温泉について学ぶ。 【ねらい】 自然講座１の内容をベースに、他地域を見学することで、松本市や本郷地区の自然に関する理解を深める。		【評価と反省】 事業の成否が天候に左右されたが、多くの渡り鳥が見られた。また、白骨温泉では、まち歩きだけでなく実際に入浴するなど、本郷地区の生物や浅間温泉との違いを知識と体験で感じる機会を作ることができた。	
浅間温泉と芸者文化６	10月22日	1回	地域事業（文化）	成人	18人	【内容】 浅間温泉の旅館等で披露されていた三味線・端唄の発表と地域在住の講師による講演 【ねらい】 自塗んの住む地域に関する造詣を深め、地域への愛着と関心を育む。	【共催団体等】 本郷公民館図書委員会	【評価と反省】 参加者から音楽を通してかつての浅間温泉を思い出したという声が聞かれ、地域への関心を高められた。 【今後の方針】 浅間温泉で活動されていた芸者の方が体調不良により活動できなくなったため、今後も事業を継続するか検討が必要	
親子ニュースポーツ教室	10月26日	中止	地域事業（体育）	青少年	0人	【内容】 ７種類ほどのニュースポーツを行う体験会 【ねらい】 世代を問わず取り組めるスポーツを通して、健康の増進と世代間交流を図る。	【共催団体等】 本郷公民館体育委員会、本郷地区スポーツ協会、本郷地区子ども育成会	【評価と反省】 参加者不足により中止。事前周知不足やタイトルから何を行う講座なのかわかりにくかったことが一因であると考える。 【今後の方針】 共催団体との連携の他、周知媒体や周知のタイミング、体験するスポーツの数などを整理し、参加者増につなげる。	

令和６年度　事業報告

本郷公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	ＣＳ
合併50周年　本郷地区文化祭	11月 9日 11月10日	2回	地域事業（文化）	その他	1,000人	【内容】 本郷公民館利用団体及び本郷地区活動団体による展示・発表・出店など。 【ねらい】 各団体活動成果の発表による地域住民の交流と文化事業を促進する。	【準備過程】 文化委員会を核とし、文化祭検討委員会・実行委員会をそれぞれ組織。計５回の会議を行い、具体化させた。 【共催団体等】 本郷公民館文化委員会	【評価と反省】 本郷地区松本市50周年という節目の年であったため、地区のあゆみを振り返る記念行事を開催。出展・出店数も増やした結果、昨年以上に来館者が訪れ、賑わいを作ることができた。 【今後の方針】 高齢化や共働き世帯の増加により、実行委員の負担が大きくなっているため、人員動員方法など多くの点で工夫が必要である。	
人権啓発視察「松本盲学校」	11月25日	1回	人権平和	成人	17人	【内容】 松本盲学校を訪問。教室などの施設を見学したほか、教諭から説明を受けた。 【ねらい】 視覚に障がいがある方への配慮や工夫を学ぶ。	【共催団体等】 本郷地区人権啓発推進協議会	【評価と反省】 教諭による案内・講義を受けた。物を廊下に置かない事や障がいの度合いに応じた授業方法など、盲学校ならでは工夫について知ることができた。 【今後の方針】 アンケートをとりながら、必要かつタイムリーな内容で実施する。	
三九郎づくり講習会	12月1日	1回	地域文化	青少年	5人	【内容】 三九郎の柱の立て方を学ぶ。 【ねらい】 三九郎の由来を知り、子ども達主体での立て方を学ぶことで、事業の継承につなげる。	【共催団体等】 本郷地区子ども会育成会	【評価と反省】 三九郎の由来に関する資料を用意し、後日学び直しができるようにした。参加者が少なく、子ども主体で建てる内容にすることができなかった。 【今後の方針】 公民館事業として担うべき役割について整理する。本郷小学校児童の参加のみとなっているため、他の小学校児童も含めた講座としていく必要がある。	
人権コンサート 大月裕夫氏ピアノリサイタル	12月7日	1回	人権平和	その他	50人	【内容】 視覚・聴覚に障がいがあるプロピアニストによるリサイタル 【ねらい】 演奏を通して人権や共生社会について考える機会とする。	【共催団体等】 本郷地区人権啓発推進協議会	【評価と反省】 毎年演奏いただいていた団体と別の方に依頼し、リサイタルを行った。音楽の内容だけでなく、障がいについても例年と違う視点で考える機会となった。 【今後の方針】 会の活動方針をもと、招く講師についても検討する。	

令和６年度　事業報告

本郷公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	ＣＳ
親子そば打ち教室	12月14日	1回	その他	青少年	18人	【内容】 親子でそばづくりを体験。生地をこねるところから始め、麺にして持ち帰る。 【ねらい】 伝統食を作ることで食べ物への関心を高めるとともに、親子のコミュニケーション向上を図る。	【共催団体等】 本郷地区子ども会育成会、浅間そば打ち倶楽部	【評価と反省】 定員いっぱいとなり、毎年人気を博している。公民館活動団体から講師を招いており、地域交流の場にもなった。コロナ禍で食事を制限してきたが、次年度以降、実際に食べるところまで進めおいしいそばの茹で方など講座内容を深める。	
書き初め講座	1月8日	1回	地域事業（文化）	青少年	10人	【内容】 書道講師を招いた書き初め指導。冬休みの宿題や新聞社のコンクール出展作を作る。 【ねらい】 伝統文化の継承、技術の向上のほか、子どもの学習支援につなげる。		【評価と反省】 本格的に書を習う子や宿題を仕上げる子、初めて筆を握る子など、広い年齢の子どもが集まる機会となった。実施時期が３学期開始のギリギリになってしまい、参加できない子もいたため参加しやすい日程・方法を考えていく。	
児童センター交流事業 ｅスポーツ＆ボッチャ	1月17日	1回	スポーツ	青少年	18人	【内容】 浅間児童センターで過ごす児童を招き、体感型テレビゲームとボッチャで運動する。 【ねらい】 冬季の運動不足解消、協力や対決を通したコミュニケーションの促進	【共催団体等】 浅間児童センター	【評価と反省】 比較的省スペースで行え、また公民館の会議室で行える無いようであったため、参加しやすい環境を作ることができた。 【今後の方針】 児童センターに限らず、地区児童を対象とする事業を目指す。	
公民館利用者説明会	2月14日	2回	公民館委員会・各種会議等	その他	73人	【内容】 令和７年度利用希望者に向けた団体登録方法の説明会及び利用者との意見交換 【ねらい】 公民館利用における基本事項の共有、公民館へのニーズの把握		【評価と反省】 午後・夜間の２回開催。いずれもＺＯＯＭによるオンライン会議を併用した。オンラインでの参加者が全体の約30%もあり、来館できない利用者から好評である。引き続きオンラインとの併用を進めていく。	
合併50周年浅間温泉よもやま話12	2月18日	1回	地域事業（文化）	成人	15人	【内容】 浅間温泉や本郷地区の歴史文化について、地元在住の講師を招き講演。今回は、合併50周年を記念し、合併後の50年間を軸に様々な話題を扱った。 【ねらい】 地域への造詣を深め、愛着を育む。	【共催団体等】 本郷公民館図書委員会	【評価と反省】 講師の多方面にわたる話題と知識により、浅間温泉を中心にかつての地域の姿を知る機会となった。参加者から毎回好評を得ており、引き続き開催したい。	

令和６年度　事業報告

本郷公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	ＣＳ
あなたの知らない松本城と世界遺産講座	2月21日 2月28日	2回	趣味教養	成人	15人	【内容】 松本城及び松本城の世界遺産登録に向けた取り組みに関する講演会及び現地見学会 【ねらい】 松本城と世界遺産をテーマに学びの機会を提供し、松本城の良さや価値・文化財の重要性について学ぶ。	【共催団体等】 ・文化振興課 ・「国宝松本城を世界遺産に」推進実行委員会	【評価と反省】 公民館が運営・募集を担当し、文化振興課等が講演内容を請け負ったためスムーズに事業を進めることができた。本事業と合わせて本郷公民館に「松本城と世界遺産」をテーマとした選書を実施。他部所との連携による学習機会の幅を広げることができた。	
スノーシュー講座	3月1日	1回	スポーツ	その他	6人	【内容】 奈川地区の野麦峠スキー場でスノーシュー・輪かんじきの体験講座 【ねらい】 ウィンタースポーツによる冬季の健康増進と共に、松本市が持つ地域資源（自然・観光）への理解を高める。	【共催団体等】 本郷公民館体育委員会	【評価と反省】 比較的参加費が高額になったことや、遠方での開催となったこともあり、参加人数が伸び悩んだ。 【今後の方針】 西山地区の自然・魅力を満喫できる機会となり、同様のものを本郷地区で開催できないか検討を行う。	
里山ウォーキング	3月15日	1回	スポーツ	成人	11人	【内容】 浅間温泉御射神社春宮から三才山御社神社秋宮までを歩く。 【ねらい】 ウォーキングで体を動かし、春シーズンの運動開始のきっかけとする。ウォーキングと史跡巡りを組み合わせ、健康増進と地域文化財への理解を促す。	【共催団体等】 食と旅を愛する会（地元登山愛好家団体）	【評価と反省】 例年ウォーキング主体としていた事業に文化財巡りの要素を加えたことで、本郷地区ならではの体験を提供することができた。 【今後の方針】 参加者の固定化による減数が課題だが、文化財巡りなど新しい要素を盛り込むことで、新規参加を促していく。	
みそ作り講座	3月22日	1回	その他	その他	26人	【内容】 大豆と麹・塩を用いた味噌作り。 【ねらい】 伝統食品を手作りすることで食への関心を高める。	【共催団体等】 本郷地区女性３団体（ＪＡ本郷女性部、農村女性協議会本郷、食改）	【評価と反省】 講師には公民館で活動する団体を招き、活動機会の創出につながった。手動の機械を使った大豆つぶしや講師が作ったみその試食など、みそ作りを通して調理の楽しさや大変さに気づく機会を作ることができた。 【今後の方針】 食育や健康講座に関わり事業の発展を検討する。	

令和６年度　事業報告

本郷公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	ＣＳ
自然講座３　大塚勉氏講演会・現地見学会	3月30日	1回	趣味教養	成人	31人	【内容】 信州大学名誉教授大塚勉氏を招いた浅間温泉と地質に関する講演会 【ねらい】 浅間温泉を特徴付ける「温泉」をテーマに、そのメカニズムを講演と見学を通して学び、地域への理解を深める。		【評価と反省】 聴講だけでなく、浅間温泉の地層見学を講座に盛り込んだことで、浅間温泉ならではの学習機会を提供することができた。また、３回の連続講座で、自然と温泉を様々な視点から扱うことができた。	
親睦マレットゴルフ大会	7月10日 8月31日 11月19日	2回	スポーツ	成人	34人	【内容】 アルプス公園マレットゴルフ場において、個人戦形式の大会を開く。今年は、第２回目が台風のため中止 【ねらい】 スポーツ事業を通した地域住民の健康増進と親睦を図る。	【共催団体等】 本郷公民館体育委員会	【評価と反省】 愛好家内では認知度が高く、毎回一定の参加者が交流と運動を楽しんでいる。一方で参加者が固定化（特に高齢者）している。 【今後の方針】 休日開催や若年層が参加しやすい大会運営を検討し、多世代交流の場とする。	
コミュニティスクール事業	通年	1回	子育て	青少年	66人	【内容】 地域全体で子どもを育てることを目的に地元住民によるクラブ活動指導、授業指導、読み聞かせボランティア、緑化事業ボランティア、学校登山サポートを行った。	【共催団体等】 地元ボランティアなど	【評価と反省】 子どもへの学習内容は、学校主体で決まっている部分があるため、地域としての意見を反映させていく。	○
町内公民館長会	通年	1回	公民館委員会・各種会議等	その他	100人	【内容】 各町会の公民館行事の共有を行い、親睦と結束の向上、事業協力を図る。全員が文化祭実行委員となり、文化祭運営を担う。		【評価と反省】 町会を越えて交流を持ち、自分の公民館活動の参考としている町会がある。一方で、新任館長のなかでどのように事業を進めてよいかわからないという声があるなど、館長間での交流に差があり、フォロー方法が課題になっている。	
館報編集委員会	通年	1回	公民館委員会・各種会議等	その他	78人	【内容】 公民館報の作成に向けた取材・原稿作成・編集を行う。		【評価と反省】 地区行事だけでなく、地域の交通事情に関する記事など、自身の関心事項や課題意識を出発点にした内容が見られた。記事内容の多様化を進められるよう計画していく。	

令和６年度　事業報告

本郷公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	ＣＳ
体育委員会	通年	1回	公民館委員会・各種会議等	その他	25人	【内容】 各種体育行事の企画・運営。地域住民の健康増進と交流の促進を図る。		【評価と反省】 参加者不足による中止や変更を余儀なくされた事業が見られた。様々な周知の方法を活用し、募集を促していく。実施事業について委員の希望を反映できる仕組みを作り、自主的な運営を推進する。	
文化委員会	通年	1回	公民館委員会・各種会議等	その他	97人	【内容】 文化施設視察、文化祭の企画・運営などを行い、地区の文化向上と住民の交流・親睦を図る。		【評価と反省】 バスを使った視察研修の機会が限られることから、運営方法の変更もしくは公用バスによらない視察方法の検討が必要。文化祭は、合併50周年を記念し盛大に開催できた。引き続き訪れたくなる文化祭を企画していく。	
図書委員会	通年	1回	公民館委員会・各種会議等	その他	33人	【内容】 年４回の図書だより発行による読書の啓蒙と本郷図書館の活動協力。地域文化伝承をめざした年２回の講演会開催		【評価と反省】 事業計画に沿って、自主的に会を運営している。令和７年度は、構成員の変更があり少人数での運営となるため、必要に応じて事業の見直しを行っていく。	
運営委員会	通年	1回	公民館委員会・各種会議等	その他	16人	【内容】 本郷公民館の事業計画、予算案、決算報告などについて協議し、本郷公民館の活動方針について審議する。		【評価と反省】 各委員長の他、町会や学校の代表が集まる機会である。様々な立場から意見を募ることができる貴重な機会であるので、率直に課題や要望が出るよう運営方法を検討していく。	

令和６年度　事業報告の概要

四賀公民館

方針・地域課題・重点的に取り組んだ事項等	評価・反省等
【方針・地域課題】 〇感染防止には十分気を付けながら、コロナ以前と同じように事業を開催し、地域コミュニティーの推進を図る。 〇昨年度まで行ったことのない事業を企画・実施し、地域住民に新たな体験の機会を提供する。 〇ＣＳ事業については、四賀小学校、会田中学校と地域住民とのパイプ役として、相互の交流となるようなコミュニティスクール事業の展開、課題の共有、解決策の模索を行う。	〇計画した事業を予定どおりに開催でき、住民の交流を行えた。 〇今年度新たに企画した複数の事業（グラウンドゴルフ・防災デイキャンプ・ｅスポーツ等）にも多くの住民が参加いただき、直接「またやってほしい。」等の高評価をいただいた。

項目	学級講座・学習会等									地域事業			公民館委員会・各種会議等	ＣＳ
	人権平和	福祉健康	子育て	地域文化	環境	趣味教養	スポーツ	防災	その他	体育	文化	その他		
事業数	4	1	0	2	1	9	6	2	5	9	6	2	8	21
延べ参加人数	83	18	0	15	80	183	239	145	384	737	3456	5540	495	4620

令和６年度　事業報告

四賀公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	ＣＳ
公共交通機関を利用して大手公民館で交流会	4月19日	1回	その他	成人	13人	【内容】 公共交通機関を利用し、大手地区の活動を体験する。 【ねらい】 ・他地区の活動を体験し、四賀地区の活動に取り入れる。 ・地区間の交流を図るもの	【準備過程】 広報活動 【共催団体等】 ・大手公民館 ・生活支援員	【評価と反省】 ・ウィンナー作りや居酒屋公民館等の活動を視察し、参加者からも地区で行いたいとの要望があり、新規事業として検討するきっかけとなる等の住民の意欲向上につながった。 ・大手地区との交流のきっかけとなった。 【今後の方針等】 地区間の交流を継続し、新たな地区との交流を検討する。	
チャレンジ！諏訪湖一周ウォーキング	4月22日	1回	地域事業（体育）	成人	23人	【内容】 諏訪湖や周辺の山々を眺めながら、ウォーキングコースを自分の体力に合わせマイペースで歩く。 【ねらい】 諏訪湖周辺の自然環境に触れながら、体力づくりのためウォーキングを行う。	【準備過程】 広報等資料作成	【評価と反省】 ・参加者全員がそれぞれの距離を完歩し、「諏訪湖でまたウォーキングしたい」といった要望を受けた。 ・完歩された方が自分自身に自信を持つきっかけとなり好評だった。 【今後の方針等】 今後もウォーキングを企画し、企画時には参加者それぞれの体力にも合わせたコースの選定を検討する。	
ヤギ写生	4月27日	1回	趣味教養	青少年	50人	【内容】 ヤギを見てヤギの絵を描く。 【ねらい】 家で飼うことの少なくなったヤギを見たり触ったりしながら、絵を描くことの楽しさを学ぶ。	【準備過程】 会場準備（テント張）	【評価と反省】 ・親子で参加した家族が多くいた。 ・描いた絵をパウチして渡し好評であった。 【今後の方針等】 今後も機会を見て開催していきたい。	○
インドカレーの作り方教室	5月19日	1回	人権平和	その他	25人	【内容】 本場のインドカレーの作り方や、インドの文化等を教えてもらう。 【ねらい】 講座を通じ多文化へ興味を持ってもらう。	【準備過程】 ・関係者との打合せ ・広報等の資料作成	【評価と反省】 ・調理方法に関するわかりやすい説明やインドの文化に関する事柄を教えてもらい、好評だった。 ・参加者のイメージと実際のインドとの差異に驚かれる方も多く、多文化への興味を持つきっかけにつながった。 【今後の方針等】 好評であったため、再度の実施を検討する。	○

令和６年度　事業報告

四賀公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	ＣＳ
第20回四賀地区球技大会	5月26日	1回	地域事業（体育）	その他	370人	【内容】 町会対抗でソフトボール、ゲートボール、マレットゴルフ、ソフトバレーボール（女子）、ラージボール卓球の５競技を行う。 【ねらい】 地区住民がスポーツを通じて、親睦・体力向上・スポーツ人口の底辺拡大、活気ある地域づくりを図る。	【準備過程】 競技団体に役員を依頼して、要綱を検討し、町会体育部長に参加依頼する。 【協力】 ・四賀スポーツ協会 ・町内公民館長会 ・町内体育部長会	【評価と反省】 多くの競技で昨年度と同程度以上の参加者となり、スポーツ人口の拡大につながった。 【今後の方針等】 より多くの人が参加できるよう競技内容含め検討する。	○
ペタンク・モルック体験・交流会	5月26日	1回	スポーツ	成人	50人	【内容】 ニュースポーツ（ペタンク・モルック）の体験を行う。 【ねらい】 ニュースポーツを体験することにより、普及を深める。	【準備過程】 ・関係者と打合せ ・広報 【協力】 板場ペタンク会員	【評価と反省】 身体的にスポーツを行うのが難しい方にも楽しめるニュースポーツを行うことで、多くの方に体を動かす楽しさに触れてもらえた。参加者同士の交流にもつながった。 【今後の方針等】 継続して行い、ニュースポーツ人口の拡大を目指す。	
グラウンドゴルフ体験会	6月 6日 6月13日 6月20日	3回	スポーツ	成人	41人	【内容】 グラウンドゴルフの体験会 【ねらい】 地域の球場を利用し、ニュースポーツの普及を目指す。	【準備過程】 ・広報 ・物品準備 【協力】 ・（株）信州グリーン ・四賀地区社会福祉協議会	【評価と反省】 普段なかなか入ることができない球場を利用し、グラウンドゴルフを行ったことは好評だった。秋までにまた体験会を行いたいとの意見も見られた。 【今後の方針等】 好評であったため、再度のニュースポーツをより多くの人に体験してもらう企画を検討する。	
苔玉・苔ぼっくり作り講座	6月7日	1回	趣味教養	成人	19人	【内容】 家の中でも緑を楽しめ、比較的管理もしやすい、見ているだけで癒される苔玉、かわいい苔ぼっくりを作る。 【ねらい】 物を作る楽しさに触れてもらう。	【準備過程】 ・講師側と講座に関する調整 ・広報	【評価と反省】 参加者がはじめて作る苔玉・苔ぼっくり作りに夢中になっていた。自身で作った作品を長持ちさせるための方法を講師に確認する等の物づくりに関心が深まった。 【今後の方針等】 クラフト系の講座を今後も企画する。	

令和６年度　事業報告

四賀公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	ＣＳ
図書室談義 「四賀に生きるホタルに学ぶ‘24」	6月22日	1回	環境	その他	80人	【内容】 四賀小学校児童と共に研究してきた四賀のホタルについての講演 【ねらい】 四賀のホタルの様子を学び、環境について考える。	【準備過程】 ・公民館からのお知らせで全戸周知 ・会場の準備 【共催団体等】 図書視聴覚委員会	【評価と反省】 講座を通じ、今の環境を未来につなげ守っていきたいという意見も出た為、地域環境保護の意識向上につながった。 【今後の方針等】 今後も四賀地区の自然環境を守る意識の向上につながる機会の提供を検討する。	○
ひろばいきいきウォーキング～白馬五竜高山植物園	6月28日	1回	地域事業（体育）	成人	29人	【内容】 高山植物園を見学するウォーキング 【ねらい】 健康増進につながる習慣を促す。	【準備過程】 ・関係者との打ち合わせ ・広報 【協力】 四賀地区福祉ひろば	【評価と反省】 ・参加者から今後もウォーキングを行いたいといった発言があり、健康のための習慣作りのきっかけになった。 ・参加者同士の親睦にもつながり、好評だった。 【今後の方針等】 今後も健康増進のため、ウォーキングが楽しめる場所を選定した企画をする。	
サマーチャレンジボランティアスクール（防災デイキャンプ）	7月6日	1回	防災	青少年	45人	【内容】 防災を学びながらデイキャンプを行う。 【ねらい】 ・防災について学ぶきっかけ作り。 ・夏季の子ども達の居場所や日常生活ではできない体験を提供する。	【準備過程】 ・関係者との打ち合わせ ・広報 ・会場安全確認 【協力】 四賀地区社会福祉協議会	【評価と反省】 ・開催以前から保護者からの見学依頼がある等興味関心が高かった。 ・参加した子ども達がシェルター作りや火のつけ方を真剣に学び、『どうしたら上手くいくか』を真剣に考え意見を出し協力しながら体験をしていた。 【今後の方針等】 体験内容をより緊急時に役立つ内容にスライドさせながら、継続して防災・アウトドアについて学ぶ機会の提供を検討したい。	○

令和６年度　事業報告

四賀公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	ＣＳ
第31回四賀夏まつり2024	7月20日	1回	地域事業（文化）	その他	2,500人	【内容】 「ふるさと四賀」の伝統・文化を伝え、広くＰＲする夏まつりを開催する。 【ねらい】 「ふるさと四賀」の地域住民相互の交流・都市と農村、海と山の交流を深めることにより、住民のパワーアップを図り、活力あるふるさとを創生する。	【準備過程】 ・関係者との打ち合わせ ・広報 ・許可申請手続き ・会場設営対応 【協力】 四賀夏まつり実行委員会、四賀観光協会、町会連合会、商工会議所、四賀元気プロジェクト、ＪＡ、町内公民館長会、社会福祉協議会、消防団、地域づくり協議会等	【評価と反省】 概算で2500人程の参加となり、昨年よりも盛大なイベントになった。参加者からも遠方も含めた家族や友人との交流の機会となったとの意見を伺い、地域の活性化につながった。 【今後の方針等】 実行委員会で今後に向けた意見や課題も出ているため、地域住民の意見を取り入れて事業の発展・継続を検討する。	○
星を見る観察会（夏の星座と天の川）	8月10日	1回	その他	その他	31人	【内容】 天体観測 【ねらい】 地区の地域特性を活用し、自然環境の良さを感じてもらい、天体観測への興味関心を促進させる。	【準備過程】 ・関係者との打ち合わせ ・広報	【評価と反省】 当日は珍しい天体現象もあり、講師の説明を受けた子ども達が驚いた様子で望遠鏡をのぞく等天体観測への興味関心が高まった。 【今後の方針等】 より多くの参加者が見込めるよう広報活動の工夫を検討する。	○
南アフリカ共和国の文化と食を体験しよう！	8月24日	1回	人権平和	その他	25人	【内容】 南アフリカ共和国の文化と食の体験会 【ねらい】 地域住民の多文化への興味関心を促進させる。	【準備過程】 ・関係者との打ち合わせ ・広報	【評価と反省】 参加された方から同様の企画をまた開催してほしいと高評価をいただき、多文化への興味関心が高まった。 【今後の方針等】 他国を含め、同様の企画を検討する。	○
四賀公民館図書視聴覚視察研修	9月2日	1回	地域事業（文化）	成人	8人	【内容】 小布施町図書館「まちとしょテラソ」視察 【ねらい】 「まちとしょテラソ」を視察することで、現在の公民館図書室を住民により使いやすい図書室作りを目指す。	【準備過程】 ・関係者との打ち合わせ ・日程調整 ・広報 【協力】 四賀公民館図書視聴覚委員会	【評価と反省】 委員の方から小布施町図書館の方に多くの質問がなされ、視察により図書室のレイアウトイメージが話し合われる等使いやすい図書室作りの一助となった。 【今後の方針等】 必要に応じ、新たな視察を検討したい。	

令和６年度　事業報告

四賀公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	ＣＳ
鷹狩山トレッキング	9月3日	1回	地域事業（体育）	成人	9人	【内容】 鷹狩山へのトレッキング 【ねらい】 自然の中で体を動かすことの楽しさに触れながら、健康増進を目指す。	【準備過程】 ・下見 ・広報	【評価と反省】 参加者の健康増進につながったが、参加者からは「コースがきつかった」との意見を伺った。 【今後の方針等】 より大勢の参加者が申し込めるコースを検討したい。	
第20回四賀地区ソフトバレーボール大会	9月8日	1回	地域事業（体育）	その他	155人	【内容】 町会を中心とした一般の部、40歳以上の部に分けたソフトバレーボール大会 【ねらい】 幅広い年齢層の住民が参加し、親睦と友情を深め、活気ある地域づくりと運動不足解消を図る。	【準備過程】 ソフトバレーボール競技の２団体に役員を依頼し、企画・運営を行う。 【協力】 ・四賀スポーツ協会 ・四賀ソフトバレーボールクラブ ・刈谷原町ソフトバレーボールクラブ	【評価と反省】 昨年よりも多くの方が参加し、運動の習慣化や地域間交流の活性化につながった。 【今後の方針等】 より参加チーム、観戦者等が増えるような広報を心がける。	○
グラウンドゴルフ体験会	10月16日 10月23日 10月30日	3回	スポーツ	成人	50人	【内容】 上半期に行い、好評であったグラウンドゴルフの体験会を実施 【ねらい】 ニュースポーツの楽しさに触れてもらい、健康増進につなげるもの	【準備過程】 ・広報 ・関係者との打ち合わせ 【協力】 （株）信州グリーン	【評価と反省】 「普段利用する機会が少ない球場を利用しグラウンドゴルフが体験できた」と参加者から高評価をいただき、楽しみながら健康増進につながった。 【今後の方針等】 来年度以降の継続について検討する。	
第16回四賀マレットゴルフオープン大会	10月20日	1回	スポーツ	成人	38人	【内容】 マレットゴルフ大会 【ねらい】 高齢化で会員が減少する中ではあるが連盟会員以外も参加でき、地域間の交流活性化につなげるもの	【準備過程】 会員以外も参加できるので、公民館からのお知らせで参加募集等を行った。 【共催団体等】 四賀マレットゴルフ連盟	【評価と反省】 連盟参加者以外の方も参加する等交流の活性化につながった。 【今後の方針等】 マレットゴルフ競技人口を増やすため今後も協力して、開催していきたい。	

令和６年度　事業報告

四賀公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	ＣＳ
第36回四賀コンサート	10月26日	1回	地域事業（文化）	その他	411人	【内容】 ・四賀小学校体育館を会場に開催 ・松本交響楽団、会田中学校生徒、四賀小学校４～６年生、四賀鼓龍会虚空蔵太鼓、四賀混成合唱団が出演 【ねらい】 四賀の生涯学習推進の基盤として、地区住民総参加のもとに、心の豊かさ、潤い、やすらぎのある生活、情操豊かな文化を創造する。	【準備過程】 ・実行委員会を結成し、企画、運営を行う。 ・広報 【共催団体等】 ・主催：松本市 松本市教育委員会 ・主管：四賀コンサート実行委員会	【評価と反省】 ・今回から地元の中学生がポスター作製に参加し、地域の関心が高まった。 ・寒さ対策のため開催日を11月中旬から移動して開催したため、会場が寒く無くて良かった。 【今後の方針等】 チケットの購入数、当日の出席者数の増加を目指す。	○
ハロウィンの歴史とホーンテッドフード	10月27日	1回	人権平和	その他	20人	【内容】 ヨーロッパ出身の方を講師として、本場のハロウィンの文化や食等の面から教えてもらう。 【ねらい】 講座を通じ多文化への興味関心を深める。	【準備過程】 ・関係者との打ち合わせ ・広報	【評価と反省】 ・ハロウィンの成り立ち等の文化面や本場ヨーロッパで食べられるお菓子作り等参加された方々が協力しながら体験をしていた。 ・参加者も積極的に質問する等多文化への興味関心深まった。 【今後の方針等】 より多くの参加が見込めるよう広報を工夫する。	○
ジャック・オー・ランタン作り講座	10月27日	1回	趣味教養	その他	12人	【内容】 オレンジ南瓜からジャックオーランタンを作る。 【ねらい】 物づくりの楽しさに触れてもらう。	【準備過程】 ・広報 ・物品準備	【評価と反省】 ・参加者が持参された南瓜を思い思いのデザインで切り抜くのに時間を忘れて取り組んでいた。 ・親子で笑いながらランタン作りを行い、物作りの楽しさに触れる体験となった。 【今後の方針等】 好評であったため、来年度も開催を検討する。	○
第65回四賀一周駅伝競技大会	11月3日	1回	地域事業（体育）	成人	94人	【内容】 地区内を６区間14．２㎞（６人～９人）のコースで駅伝大会開催 【ねらい】 コロナ禍によりで減少したスポーツ競技を復興し地区住民のスポーツ人口の拡大と明日への活力を養い、健康で充実した生活を送り、活気ある地域づくりを図る。	【準備過程】 実行委員会をつくり、要項の検討、準備、大会運営を行う。 【共催団体等】 ・四賀スポーツ協会 ・町内公民館町会	【評価と反省】 昨年より１チーム参加が増え９チームとなり、地域の活性化や健康増進につながった。 【今後の方針等】 参加チーム、観戦者の増加を目指す。	○

令和６年度　事業報告

四賀公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	ＣＳ
もみじ湖ウォーキング	11月6日	1回	地域事業（体育）	成人	21人	【内容】 もみじ湖周辺のウォーキング 【ねらい】 体を動かす楽しさを感じてもらい、体力づくりを行う。	【準備過程】 ・下見 ・広報	【評価と反省】 ・途中でギブアップされた方も出てしまったが、多くの方がコースを踏破したため、健康や体力増強につながった。 ・気温などの影響で紅葉があまり進んでいない状況であった。 【今後の方針等】 より多くの方が踏破できるコースの選定や行う時期を調整する。	
四賀地区文化祭・生涯学習フェスティバル	11月16日 11月17日	1回	地域事業（文化）	その他	450人	【内容】 ・保育園児、小中学生、各クラブ、団体、サークル等文科系団体の作品展示や発表を行う。 ・四賀新そば祭り実行委員会主催の「そばまつり」、社協主催のバザーを開催する。 ・写真コンクールの発表を実施する。 【ねらい】 ・地区で活動する団体が一堂に会し、文化活動の発展と交流を図る。 ・地区住民の文化活動を推進する。 ・生涯学習の大切さを認識し、同じ趣味を持つ仲間が集い、学習し、得たことに対する喜びを推進するために開催する。	【準備過程】 ・文化関係団体・個人に通知し、出展者を募る。 ・出展者により運営、準備、片付けを行う。 【共催団体等】 福祉ひろば・社会福祉協議会・福寿草倶楽部・四賀小学校・会田中学校・双葉保育園他	【評価と反省】 ・今年度から文化祭とフェスティバルを同時開催し、スタンプラリー等で会場全体を回ってもらう工夫を行い、今まで少なかった若年層の参加が増え、地域の交流につながった。 ・同時開催したフェスティバルの参加者があまり増えなかったのが残念である。 【今後の方針等】 より多くの参加が来場するように広報などを工夫する。	○
第３回　四賀の里　写真コンクール	11月16日 11月17日	1回	地域事業（文化）	その他	4人	【内容】 テーマに沿った写真を撮って応募してもらう。１人３点まで。Ａ４サイズプリントで応募する。秋の文化祭で発表展示し、投票により評価する。 【ねらい】 四賀地区の知らない魅力を発見してもらい、広く周知して観光や活性化に寄与する。	【準備過程】 「公民館からのお知らせ」に募集掲載し、周知を図った。	【評価と反省】 文化祭会場で投票してもらったことでより多くの方に地区の魅力を発信する機会となった。 【今後の方針等】 作品を応募する方の増加やコンクール事態の知名度アップを目指す。	

令和６年度　事業報告

四賀公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	ＣＳ
大手・四賀交流会	12月6日	1回	その他	成人	30人	【内容】 大手地区との交流のため、野沢菜の収穫体験や手打ちそばの実食を行う。 【ねらい】 地区間の交流促進	【準備過程】 ・関係者との打ち合わせ ・広報	【評価と反省】 上半期に行った交流会に引き続き多くの方が参加され、地区間の交流の促進につながった。 【今後の方針等】 相互交流の継続を望む声が多く、来年度以降の継続を検討する。	
しめ飾り体験学習会	12月14日	1回	地域文化	その他	15人	【内容】 しめ飾りの作り方を学ぶ。 【ねらい】 伝統文化の理解を深める。	【準備過程】 ・公民館からのお知らせで全戸に告知 ・大結ぶ市と共同で開催	【評価と反省】 大結ぶ市と同時に開催したことで、飛び入り参加の方が出るなど、多くの方に伝統文化の体験による理解向上につながった。 【今後の方針等】 より多くの参加者が見込めるように周知する。	○
クリスマスツリー飾り	12月 2日 ～12月26日	1回	地域事業 （その他）	青少年	40人	【内容】 支所玄関ロビーに地域の方から提供いただいた高さ４．５ｍのもみの木を設置し、クリスマスツリーの飾り付けを行った。 【ねらい】 クリスマスツリーを見て、いろいろ話をしてもらう。	【準備過程】 モミの木を用意して、職員で飾り付けをした。	【評価と反省】 保育園児童や小中学生等に飾りつけをしてもらい、訪れた来庁者が飾りつけの様子や飾りつけを見ながら話す交流の場になった。 【今後の方針等】 ・好評のため、来年度も企画検討する。 ・ツリーに対し、飾りつけが少ないとの意見もあり、飾りつけについて今後の方針を検討する。	
年越しそばを打ってみよう	12月21日	1回	趣味教養	成人	10人	【内容】 蕎麦打ちの体験 【ねらい】 蕎麦打ちの楽しさに触れてもらう。	【準備過程】 ・関係者との打ち合わせ ・広報 【協力】 四賀地区マレットゴルフ連盟	【評価と反省】 実際に打った蕎麦を実食し、笑顔を浮かべ感想を言い合うなど料理の楽しさや交流の場を深める機会となり好評だった。 【今後の方針等】 より多くの参加者が見込めるよう周知方法を検討したい。	

令和６年度　事業報告

四賀公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	ＣＳ
書初め教室	1月5日	2回	趣味教養	青少年	13人	【内容】 書初めの体験教室 【ねらい】 伝統文化への関心を深める。	【準備過程】 ・関係者との打ち合わせ ・広報	【評価と反省】 例年より参加者が減少したが１人１人の指導時間が多くなり、参加者が伝統文化への関心を深める良い機会となり好評だった。 【今後の方針等】 参加者増加のため、周知方法を検討したい。	○
バラ冬季剪定講習会	2月9日	1回	趣味教養	成人	21人	【内容】 冬季間に行うバラの剪定方法を学ぶ。 【ねらい】 園芸の楽しさを知ってもらう。	【準備過程】 広報 【協力】 （株）信州グリーン	【評価と反省】 参加者が園芸について学ぶ機会となり、園芸を楽しむきっかけとなった。 【今後の方針等】 今後も他団体等と連携し、新たな事業を企画する。	
ウォーキングサッカー体験会	2月12日	1回	スポーツ	その他	25人	【内容】 ウォーキングサッカーを体験する。 【ねらい】 老若男女、子どもから高齢者まで誰でもできる緩やかな歩くサッカーを体験してみる。	【準備過程】 広報、講師依頼 【協力】 放課後児童クラブ	【評価と反省】 初めての歩くサッカーだったが、子どもから高齢者まで一緒に楽しめた。 【今後の方針等】 機会を作りシニア世代の体験会を企画したい。	○
五郎山ハイキング	2月17日	1回	地域事業（体育）	成人	15人	【内容】 五郎山のハイキング 【ねらい】 冬場の運動不足解消	【準備過程】 ・下見 ・広報	【評価と反省】 コースやハイキング時間共に好評で運動不足解消の一助となった。 【今後の方針等】 多くの方が参加いただけるよう広報活動を行う。	
“人生会議”知っていますか？－人生 100年時代の生き（逝き）方を考えてみましょうー	2月18日	1回	福祉健康	高齢者	18人	【内容】 「人生会議」の意味を説明し、参加者が最後までどう生きていたいかを考える。 【ねらい】 終活についての重要性を伝え、自分らしく生き抜くことを考えてもらう。	【準備過程】 ・関係団体との打ち合わせ ・広報 【協力】 ・生活支援員 ・北部地域包括支援センター	【評価と反省】 ・人生の最終段階における医療・ケアについて、本人が家族と話し合いを持っておくことの大切さを考えるきっかけとなった。 ・夫婦での参加が２組あってとても良かった。男性の参加を増やしていくようにしたい。 【今後の方針等】 男性の参加者増加を目指し、今後も同じような趣旨の講座を企画する。	

令和６年度　事業報告

四賀公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	ＣＳ
わら細工でつくるひんめり講座	2月22日	2回	趣味教養	その他	14人	【内容】 ライ麦で立方体オブジェを作成する。 【ねらい】 クラフトの楽しさを体験してもらう。	【準備過程】 広報 【協力】 （株）信州グリーン	【評価と反省】 ・信州グリーンと共催で麦藁を使っての新しい講座。今後も共催でできる講座があれば続けていきたい。 ・講座は、和気あいあいとおしゃべりをしたりして、好評をいただいた。 【今後の方針等】 ・麦藁があれば基本形のひんめりは作れるので、麦の栽培を検討する。 ・来年度も開催できるか検討する。	○
星を見る観察会（冬の星座とオリオン大星雲）	2月22日	1回	その他	成人	10人	【内容】 冬の星座やオリオン大星雲の観察会 【ねらい】 地域環境を活かした観察会を実施し、天体観測に興味関心を深めてもらう。	【準備過程】 ・関係者との打ち合わせ ・広報 【協力】 （株）信州グリーン	【評価と反省】 ・天候が不安定ではあったが、観察には問題ない状況のまま最後まで終わった。 ・講座の中で、「またやってほしい。」「今度は知り合いにも声をかけるね。」とのご意見をいただいた。 【今後の方針等】 ・今後も継続しての講座を企画する。 ・冬季等の寒冷時の防寒対策を検討する。	○
ひろば早春演奏会	3月11日	1回	地域事業（文化）	その他	83人	【内容】 ヴァイオリンとチェロの演奏会 【ねらい】 音楽の楽しさを体験してもらう。	【準備過程】 ・関係者との打ち合わせ ・広報 【協力】 ・四賀地区福祉ひろば ・北部保険センター ・生活支援員	【評価と反省】 多くの方が参加し、演奏会中も笑い声が響くなど参加者が音楽を楽しむ時間となった。 【今後の方針等】 来年度も同様な事業を企画検討する。	
映画上映会 まつもと日和２	3月15日	1回	地域文化	その他	34人	【内容】 1960年代から80年代を中心に松本市で撮影された８㎜フィルムから、市民、地元アーティストと協働しながら制作した地域映画（２回上映） 【ねらい】 懐かしいい映像を見ながらおしゃべりしてもらい、思い出したこと気づいたことを喋る。	【準備過程】 ・関係者との打ち合わせ ・広報 【協力】 図書視聴覚委員会	【評価と反省】 ・大変いい映画であった。映像を見て思い出話を参加者にしていただいた。 ・参加者が少なくて残念であった。 【今後の方針等】 次回は、参加者が増えるようにＰＲ等に努めたい。	○

令和６年度　事業報告

四賀公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	ＣＳ
イランの食事と文化の日	3月23日	1回	人権平和	その他	13人	【内容】 イラン出身の方を講師として、イランの文化を料理やダンス等を通じて体験する。 【ねらい】 講座を通じ多文化への興味関心を深める。	【準備過程】 ・会計者との打ち合わせ ・広報	【評価と反省】 参加者から「またこのような企画で講座を行ってほしい。」と高評価いただいた。多文化への興味関心が高まった。 【今後の方針等】 次年度も多文化に関わる講座の実施を検討する。	
能登半島地震チャリティー上映会	5月12日 6月30日	2回	防災	その他	100人	【内容】 震災を受けた能登半島の震災前の映像が映されている映画を上映する。 【ねらい】 地域の方主催の事業であり、事業に協力することで住民の主体性や積極的な活動を促進する。	【準備過程】 広報ならびに運営協力 【事業運営状況】 主催：四賀にきましょ！実行委員会 協力：四賀公民館	【評価と反省】 ・地域の方が能登半島地震以前の状況を知り、震災被害の甚大さを振り返る機会となった。 ・地域の方主体の活動であり、地区施設の活発な利用を目指すきっかけとなった。 【今後の方針等】 今後も住民主催の事業に協力していく。	
「楽しい絵本の世界」講座	6月21日 7月 1日	2回	趣味教養	成人	11人	【内容】 読み聞かせの基本を学ぶ。 【ねらい】 絵本の面白さを学びつつ絵本の世界を体験してもらう。	【準備過程】 ・関係者との打ち合わせ ・広報 【協力】 夢おはなしの会	【評価と反省】 参加者から「教えてもらったことを気を付けて（子どもに）読み聞かせるね」とも伺い、絵本の楽しさを実感した講座となった。 【今後の方針等】 今後も地域の団体と連携・協力しながら、新たな企画を検討する。	
松本ペタンク連盟会員との交流会・体験会	12月～3月	4回	スポーツ	成人	60人	【内容】 ペタンクの体験会 【ねらい】 ニュースポーツの楽しさを知ってもらい、健康増進につなげるもの	【準備過程】 広報 【協力】 板場ペタンク会員	【評価と反省】 体験会を通じ、多くの方にニュースポーツの楽しさを知ってもらい健康増進につながるきっかけを提供できた。 【今後の方針等】 来年度以降も体験会の継続を検討する。	

令和６年度　事業報告

四賀公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	ＣＳ
ｅスポーツ体験会	1月～2月	3回	地域事業（体育）	高齢者	21人	【内容】 ｅスポーツを体験 （太鼓の達人、ボーリング、ゴルフ他） 【ねらい】 ｅスポーツの楽しさを知ってもらい、健康増進や交流促進につなげるもの	【準備過程】 広報	【評価と反省】 体験された方がリピーターとなり、友人知人に声を欠けるなどの広がりが見られ、健康増進や交流促進につながった。 【今後の方針等】 参加者増加のため、周知方法を検討したい。	
スマホサークル	通年	11回	趣味教養	高齢者	33人	【内容】 スマートフォンの基礎と操作方法を学ぶ。 【ねらい】 スマートホンの操作を学び、使いこなせるようにする。	【準備過程】 ・スマホをある程度使える方にサークルでの指導を依頼 ・公民館からのお知らせで全戸周知	【評価と反省】 住民の要望に応え、質問形式の講座かつ定期的な開催のため、リピーターとなる人が出ており、スマートフォンの操作を少しずつ習得し始めている。 サークルが交流の場所としても機能している。 【今後の方針等】 次年度以降も質問形式の講座を検討する。	
コミュニティスクール事業	通年		その他	青少年	300人	【内容】 ・地域住民による四賀小学校児童・会田中学校生徒への指導 ＜四賀小学校＞ ・遠足付添い ・ゲートボールクラブ ・冒険クラブ・ダンスクラブ ・米づくり・しめ縄づくり ・書き初め ＜会田中学校＞ ・部活動支援（野球部週１回） ・乗鞍登山付添い 【ねらい】 ・地域住民やコーディネーターによるクラブ活動や授業の支援や交流 ・地域特性を学ぶ。	【準備過程】 ・小中学校からの依頼に応じ、協力できる方や地元講師を探し、小中学校と調整する。 【協力】 地域住民	【評価と反省】 ・地元住民から普段の授業では学習できない事を学び、交流を深めることができた。 ・地域の特徴や資源の活用を考えることができた。 【今後の方針等】 ・仕事や趣味で特技のある地元の方を探し、学校と連携してコミュニティスクール事業を推進していきたい。 ・地域資源を活用する学習を続けたい。	○

令和６年度　事業報告

四賀公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	ＣＳ
公民館図書室	通年		地域事業（その他）	成人	5,500人	【内容】 ・図書の貸出、整理 ・開館　平日10：00～18：00 土日祝日10：00～17：00 ・休館　毎週月曜日 （祝日の場合は次の日） 12月29日～１月３日 【ねらい】 地域の方が気軽に本を借り、知識を深める。	【準備過程】 ・会計年度職員６名で勤務表を作り、図書室の運営を行う。 ・新刊本にパソコンで管理するためのバーコードを貼り、カバーをする。 ・古くなった書籍等を除籍し、整理整頓を行う。	【評価と反省】 ・勉強スペースも兼ねており、学生を中心に知識を深め、学ぶ場所となっている。 ・図書購入予算が限られるため、購入本の選定に苦労している。 【今後の方針等】 ・色々な分野の蔵書の充実を図り利用を拡大していく。 ・図書室スペースが限られ入れ替え本の選択に苦労しているため、定期的に書籍の整理を行う。	
町内公民館長会	通年	1回	公民館委員会・各種会議等	成人	40人	【内容】 ・四賀公民館事業について協力を依頼する。 ・公民館振興業務委託料、町内公民館町会費の依頼をする。 【ねらい】 地域の活発的な活動を助成する。	【準備過程】 ・会議通知の送付 ・会議資料の準備	【評価と反省】 事業等について、各町内公民館長から直接相談を受けるなど連携を取り合い、お互いの活動の助けとなっている。 【今後の方針等】 今後も連絡を密にし、協力して公民館事業を開催していきたい。	
体育部長会	通年	1回	公民館委員会・各種会議等	成人	45人	【内容】 四賀公民館事業について協力を依頼する。 【ねらい】 体育的な事業を町会にも関与してもらうため、連携が取れるようにする。	【準備過程】 ・会議通知の送付 ・会議資料の準備	【評価と反省】 必要に応じ、連携を取り合って協力できる関係性を維持できた。 【今後の方針等】 今後も連絡を密にし、協力して公民館事業を開催していきたい。	
運営委員会	通年	1回	公民館委員会・各種会議等	成人	12人	【内容】 四賀公民館の全体計画を検討する。 【ねらい】 公民館の活動に地域の方の意見を取り入れる。	【準備過程】 ・会議通知の送付 ・会議資料の準備	【評価と反省】 当初委員会で決まった予定通り行事を実施できた。 【今後の方針等】 より地域の意見を反映しやすいように必要に応じ臨時で委員会を実施する。	

令和６年度　事業報告

四賀公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	ＣＳ
館報編集委員会	通年	1回	公民館委員会・各種会議等	成人	92人	【内容】 「公民館報しが」の取材、編集する。 【ねらい】 地区内の情報を地区内外問わず発信する。	【準備過程】 ・会議通知の送付 ・会議資料の準備	【評価と反省】 活動の中で委員の方からも今後の内容について意見が出るなど情報発信の場所として有効に利用されている。 【今後の方針等】 委員数の減少が懸念されるため、委員の確保を検討したい。	
体育委員会	通年	1回	公民館委員会・各種会議等	成人	109人	【内容】 四賀公民館体育事業の企画、運営する。 【ねらい】 既存の行事に地域の実態に合わせた形に調整し、新しい意見を取り入れた事業にする。	【準備過程】 ・会議通知の送付 ・会議資料の準備	【評価と反省】 体育事業の多くで様々な意見が出され、検討された。要項などの簡略化やわかりやすい表現への改良につながる等事業の改善となった。 【今後の方針等】 次年度以降の活動に対す意見も出た為、今後の活動に意見の反映を検討する。	
図書視聴覚委員会	通年	1回	公民館委員会・各種会議等	成人	77人	【内容】 ・四賀公民館図書室の運営を検討する。 ・図書だよりの発行 ・図書室談義計画 【ねらい】 地域の方に図書や映像等の楽しさや興味関心を深める一助とするもの	【準備過程】 ・会議通知の送付 ・会議資料の準備 ・図書室談義内容計画	【評価と反省】 昨年と比較し、より多く活動が行え、図書視聴覚に関する住民の関心を向上させることができた。 【今後の方針等】 今後も図書等の興味関心を深める内容を中心に活動を行う。	
文化委員会	通年	1回	公民館委員会・各種会議等	成人	70人	【内容】 四賀公民館文化事業の企画、運営する。 【ねらい】 地域の文化活動を活性化させる。	【準備過程】 ・会議通知の送付 ・会議資料の準備	【評価と反省】 ・当初決まった文化事業を実施することができた。 ・「より活発的な活動が必要では？」との意見も出た。 【今後の方針等】 文化事業への委員会の関りや役割について検討する。	

令和６年度　事業報告

四賀公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	ＣＳ
四賀地区スポーツ推進委員会	通年	1回	公民館委員会・各種会議等	成人	50人	【内容】 四賀地区のスポーツの推進を図る。 【ねらい】 地区内のスポーツ活動の活性化を図る。	【準備過程】 ・会議通知の送付 ・会議資料の準備	【評価と反省】 昨年と比較し、多くの事業で参加者やチームが増え、地区内のスポーツ活動が活性化された。 【今後の方針等】 参加者がより増加するように委員会との連携・協力を深める。	

令和６年度　事業報告の概要

安曇公民館

方針・地域課題・重点的に取り組んだ事項等	評価・反省等
【方針・地域課題】 1　学都松本を目指して、市民が生涯にわたって学び続けるまち、地域や行政が協働して共に学ぶまち、市民一人ひとりが学んだ知識、技術を社会に活かし、次代に引き継ぐまちを目指し、安曇地区の課題、特性を踏まえた公民館事業を展開する。 2　広大な面積に小集落が点在しているため、地区全体が一体感を持った地域活動を進めることが困難 3　少子高齢化が進み、児童・生徒の減少が顕著 4　特定健診受診率が低く、閉じこもり者割合が多い。　※ＪＡＧＥＳより 【重点的に取り組んだ事項等】 1　日本を代表する山岳観光地である安曇地区の魅力を発見・認識し、この財産を守り、後世に伝えていく意識を醸成（白骨温泉現地見学会、西穂独標登山等） 2　安曇地区の様々な課題を、各種団体と共有したうえで、解決に向けた一助となるような事業を実施（まつもと　お山ですくすく子育てサロン、ちょっとよっていきましょ等）	1　安曇地区の魅力を再発見できるよう事業を行なった。 2　「白骨温泉現地見学会」では、文化財課と共催し、全市を対象とした事業を行なったことで、安曇地区にある財産を学習する機会を提供した。 3　「まつもと　お山ですくすく子育てサロン」では、子育て中の親の育児への不安感や育児の孤立化の解消を目指し、地元団体との共催により事業を行なうことができた。 4　日常から、地区の課題、特性を住民と共有しつつ、事業を検討する段階から、住民の声を集め、進めていくことを心掛けたい。

項目	学級講座・学習会等									地域事業			公民館委員会・各種会議等	ＣＳ
	人権平和	福祉健康	子育て	地域文化	環境	趣味教養	スポーツ	防災	その他	体育	文化	その他		
事業数	1	0	1	0	0	0	5	1	0	0	2	3	3	0
延べ参加人数	61	0	152	0	0	0	61	20	0	0	95	187	128	0

令和６年度　事業報告

安曇公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	ＣＳ
ウェストン祭記念山行及びウェストン祭参加児童引率	6月1日 6月2日	1回	地域事業（文化）	青少年	43人	【内容】 安曇村時代から行われている伝統行事である徳本峠越えの登山を行う。また、一部児童及び教員は２日目のウェストン祭に参加し、献花と合唱を行うもの 【ねらい】 日本アルプスを世界に発信したウォルター・ウェストンの足跡を辿り、地域への理解を深める。【地域事業（体育）】	【準備過程】 ・山行ルートの下見 ・安曇地区子ども会育成連合会総会で、記念山行の実施可否を協議 【共催団体等】 ・安曇地区子ども会育成連合会 ・安曇小中学校 ・大野川小中学校	【評価・反省】 ねらいどおり事業が実施できた。 【今後の方針】 伝統行事として継続したい。	
そうだ！ 上高地へ行こう＋ａ	6月6日	1回	スポーツ	成人	17人	【内容】 上高地＋白骨温泉をウォーキングするもの 【ねらい】 ・「市民歩こう運動」の一環として行うもの ・公用バスを活用した外出機会を創出することで、移動手段を確保しながら、安曇地区の課題（閉じこもり者及び認知機能低下者割合が多い）解決に向けた一助とするもの【福祉健康】	【準備過程】 ・共催団体等との調整 ・地区内回覧等で周知 【共催団体等】 安曇地区福祉ひろば	【評価と反省】 ねらいどおり事業が実施できた。 【今後の方針】 共催団体等と連携し、行先等を変更しながら、事業を継続したい。	
初めての沢歩き	7月21日	1回	スポーツ	成人	4人	【内容】 乗鞍岳の岐阜県側（岐阜県高山市）にある「沢上谷」を散策するもの 【ねらい】 ・沢歩きの基本技術の習得を通して、自然の中で体を動かすことの楽しさを感じていただくと同時に、健康増進に資するもの ・安曇山岳会と共催することで、会の認知度を高めるとともに活性化を図るもの	【準備過程】 ・共催団体等との調整 ・地区内回覧等で周知 【共催団体等】 安曇山岳会	【評価と反省】 ねらいどおり事業が実施できた。 【今後の方針】 共催団体等と連携し、事業を継続したい。	

令和６年度　事業報告

安曇公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	ＣＳ
乗鞍サマーセミナー	10月5日	1回	地域事業（その他）	成人	42人	【内容】 ・東京大学のＯＢ・ＯＧ会が主催の、乗鞍にまつわる講演会を開催 ・山本正嘉氏より、「山歩きを活用した健康・体力づくり」と題し、講演をいただくものもの 【ねらい】 乗鞍に有用なテーマについて、学び、新たな魅力等の発見を行う。	【共催団体等】 ・東京大学乗鞍寮ＶＳＡの会 ・大野川小中学校同窓会 ・ふれあいパーク乗鞍管理委員会 ・松本市教育委員会 ・大野川区町会 ・のりくら地区町会連絡会 ・のりくら観光協会	【評価と反省】 ねらいどおり事業が実施できた。 【今後の方針】 ・地域と東京大学ＯＢ・ＯＧ会と連携を取り、今後も継続して地域学習を進めたい。 ・住民と協議をする中で、声を拾い、地域に合ったテーマを相手方に提案していく。	
地域を守る砂防防災セミナー	10月8日	1回	防災	成人	20人	【内容】 天竜川水系太田切川床固工群等の学習及び見学 【ねらい】 梓川流域に暮らす安曇・奈川地区住民を対象に、砂防防災や災害に対する防災知識を高める。	【準備過程】 ・共催団体等との調整 ・視察先との調整 【共催団体等】 ・奈川公民館 ・ＮＰＯ法人梓川流域を守る会 ・国土交通省北陸地方整備局松本砂防事務所 ・（一社）北陸地域づくり協会	【評価と反省】 ねらいどおり事業が実施できた。 【今後の方針】 共催団体等と連携し、事業を継続したい。	
西穂独標登山	10月10日	1回	スポーツ	成人	6人	【内容】 上高地にある「西穂高岳独標」を目指して登山をするもの 【ねらい】 ・安曇地区の学校登山の行先であった西穂高岳を登山することで、自然の中で身体を動かすことの楽しさを感じながら、健康づくりを目指すとともに、地域の歴史を学習するもの ・地域学習・体験を通して、安曇地区の魅力を再発見するもの ・新穂高ロープウェイを使用しながら、山頂より手前の西穂独標を目的地とすることで、登山初心者の参加しやすさを狙うもの ・安曇山岳会の協力を得ながら開催することで、会の認知度を高めるとともに活性化を図るもの	【準備過程】 ・共催団体等との調整 ・周知チラシ（案）の作成 【共催団体等】 安曇山岳会	【評価と反省】 ねらいどおり事業が実施できた。 【今後の方針】 共催団体等と連携し、行先等を変更しながら、事業を継続したい。	

令和６年度　事業報告

安曇公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	ＣＳ
神工鬼斧	12月8日	1回	地域事業（文化）	成人	52人	【内容】 ・毎年１回、地域の文化活動発表と、地区全体の住民交流のため、安曇地区文化祭を開催している。 ・開催予定日が選挙の投票日と重なったことから、日にちを変えてそれに代わる催しを開催 ・安曇村開村 120周年記念事業の一環として埋めたタイムカプセルの開封式を同時開催した。 【ねらい】 普段会う機会が少ない住民同士が交流し、地区内の名産品や文化活動を知る機会として開催	【準備過程】 ・地区内全戸配布 ・文化祭企画・検討委員会及び実行委員会で内容を検討 ・地区内企業等に協賛依頼 【共催団体等】 ・安曇地区文化祭実行委員会 ・地区内企業等	【評価と反省】 ねらいどおり事業が実施できた。 【今後の方針】 これまで同様、内容は住民等と協働で検討し、継続性のあるものを作っていきたい。	
冬の奈川をスノーシューで歩こう！	2月19日	1回	スポーツ	成人	18人	【内容】 冬の奈川をスノーシューで歩く。 【ねらい】 ・「市民歩こう運動」の一環として行うもの ・スノーシューの基本技術の習得を目指すもの ・山に囲まれた地区の特性を生かした講座を行うことで、地域の魅力を発見・認識してもらうもの ・一定程度整備されたスキー場を会場に、散策を半日とすることで、未経験者の参加しやすさを狙うもの 【福祉健康】	【準備過程】 地区内回覧等で周知 【共催団体等】 なし	【評価と反省】 ねらいどおり事業が実施できた。 【今後の方針】 事業を継続したい。	
氷瀑した三本滝を目指そう！	3月4日	1回	スポーツ	成人	16人	【内容】 冬の乗鞍高原をスノーシューで歩き、氷瀑した三本滝を目指すもの 【ねらい】 ・「市民歩こう運動」の一環として行うもの ・スノーシューの基本技術の習得を目指すもの ・山に囲まれた地区の特性を生かした講座を行うことで、地域の魅力を発見・認識してもらうもの【福祉健康】	【準備過程】 地区内回覧等で周知 【共催団体等】 なし	【評価と反省】 ねらいどおり事業が実施できた。 【今後の方針】 事業を継続したい。	

令和６年度　事業報告

安曇公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	ＣＳ
まつもと お山ですくすく子育てサロン	4月15日 5月18日 6月16日 7月 3日 8月 5日 9月 4日 10月 7日 11月17日 12月 2日 1月 8日 2月 3日 3月 9日	12回	子育て	成人	152人	【内容】 中山間地域で子育て中の親子が、気軽に集える場をつくるもの 【ねらい】 ・親の孤独感の解消 ・地域の魅力、山暮らしの楽しさを味わってもらうもの ・地域住民及び保健師とのつながりづくり	【準備過程】 地区内回覧等で周知 【共催団体等】 のりくら自然保育 木のこ	【評価と反省】 ねらいどおり事業が実施できた。 【今後の方針】 ・事業を継続したい。 ・運営に関われる人材を確保しながら、実施回数を増やしていきたい。 ・共催団体等と連携し、移住推進の取り組みと合わせてＰＲしていきたい。	
ちょっとよっていきましょ	5月15日 6月19日 7月17日 8月21日 9月18日 10月16日	6回	地域事業（その他）	成人	92人	【内容】 関係団体（町会等）とともに新たな通いの場をつくるもの 【ねらい】 健康とくらしの調査結果から見る安曇地区の課題解決を目指す。	【準備過程】 ・共催団体等との調整 ・一部長会への全戸配布にて周知 【共催団体等】 ・大野川区町会 ・のりくら観光協会 ・乗鞍うまいもの工房 ・大野川区町会民生委員 ・安曇地区地域づくりセンター ・安曇地区福祉ひろば ・西部地域包括支援センター ・西部保健センター ・松本市社協安曇事業所	【評価と反省】 ・ねらいどおり事業が実施できた。 ・関係団体から、事業継続の意向が示された。 【今後の方針】 共催団体等と連携し、事業を継続したい。	
人権学習	11月5日 AM 11月5日 PM	2回	人権平和	青少年	61人	【内容】 人権とＳＤＧｓは互いに密接な関係にあることから、障がい者スポーツの体験をとおして社会格差や世界の情勢に目を向け、人権と持続可能な社会のあり方について学習するもの 【ねらい】 人権啓発推進事業の推進	【準備過程】 ・共催団体等との調整 ・地区内回覧等で周知 【共催団体等】 ・安曇地区人権啓発推進協議会 ・安曇小中学校 ・大野川小中学校	【評価と反省】 ねらいどおり事業が実施できた。 【今後の方針】 共催団体等と連携し、事業を継続したい。	

令和６年度　事業報告

安曇公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	ＣＳ
松崎町・松本市安曇地区中学生交流事業	7月 9日 ～7月11日 8月20日 ～8月22日	2回	地域事業 （その他）	青少年	53人	【内容】 ・旧姉妹都市松崎町と中学生同士の交流を行う。（７月に松崎町への訪問、８月に松崎町からの受入） ・令和元年度から、松崎町への訪問を隔年実施、松崎町からの受入を毎年実施としているもの 【ねらい】 双方の中学生が普段行くことのない山や海の環境に触れ、知見と交流の輪を広げる。	【準備過程】 共催団体等との調整 【共催団体等】 ・松崎町教育委員会 ・安曇地区子ども会育成連合会 ・安曇中学校 ・大野川中学校	【評価と反省】 ねらいどおり事業が実施できた。 【今後の方針】 共催団体等と連携し、事業を継続したい。	
館報編集委員会	通年	1回	公民館委員会・各種会議等	成人	62人	【内容】 地域住民協力のもと、公民館活動の円滑な運営と企画検討等を行う。 【ねらい】 館報の刊行を通した地域づくりの推進や意識の高揚を図る。		【評価と反省】 ・ねらいどおり事業が実施できた。 ・安曇地区の中学生の執筆が定着してきた。 【今後の方針】 地区の様々な出来事を的確に伝えるように心がけたい。	
図書委員会	通年	1回	公民館委員会・各種会議等	成人	20人	【内容】 地域住民協力のもと、公民館活動の円滑な運営と企画検討等を行う。 【ねらい】 図書に接する機会を増やし、地域づくりの推進や意識の高揚を図る。		【評価と反省】 ・ねらいどおり事業が実施できた。 ・例年どおりふれあいパーク乗鞍の図書を年２回、入れ替えた。 【今後の方針】 大野川区の身近な図書館としてより多くの本に接する機会を提供したい。	
文化委員会	通年	1回	公民館委員会・各種会議等	成人	46人	【内容】 地域住民協力のもと、公民館活動の円滑な運営と企画検討等を行う。 【ねらい】 文化祭開催を通した地域づくりの推進や意識の高揚を図る。	【共催団体等】 安曇地区文化祭実行委員会	【評価と反省】 ねらいどおり事業が実施できた。 【今後の方針】 今後も安曇の各地区の特徴を活かした文化祭を目指し、地域の一体感を醸成していきたい。	

令和６年度　事業報告の概要

奈川公民館

方針・地域課題・重点的に取り組んだ事項等	評価・反省等
【方針・地域課題】 ・安全対策に配慮しながら事業を計画し、地域住民の学びと参加の機会の創出に心がけた。 ・参加者同士の交流を図る講座を企画・開催した。 ・参加者の運動不足の解消や、健康増進を図った。 ・各事業において、地区内外の関係機関、団体と連携を図り、事業を開催した。 関係機関：地域づくりセンター、福祉ひろば、奈川小中学校、奈川地区子ども会育成連合会、 奈川地区人権啓発推進協議会、町内公民館等	・史跡巡りとウォーキングを組み合わせた講座を開催し、住民の健康増進と交流が図られた。 ・新たに夢の森カフェを開催し、住民の居場所づくりを提供した。 ・運動会では奈川小中学校と町内公民館と合同で開催し、児童、生徒と地区住民が一緒に参加する種目を取り入れ児童、生徒と地区住民の交流が図られた。

項目	学級講座・学習会等									地域事業			公民館委員会・各種会議等	ＣＳ
	人権平和	福祉健康	子育て	地域文化	環境	趣味教養	スポーツ	防災	その他	体育	文化	その他		
事業数	1	1	1	3	0	9	0	1	3	1	1	2	4	4
延べ参加人数	16	15	539	90	0	177	0	10	554	100	200	73	48	56

令和６年度　事業報告

奈川公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	ＣＳ
ふるさと学習 （小学生　奈川地区内巡り）	6月8日	1回	地域文化	青少年	10人	【内容】 奈川地区内巡り 【ねらい】 川の砂防ダム工事の見学、水力発電所の見学を通して、地域に関心をもつ。	【準備過程】 関係者との綿密な打合せのうえ実施 【協力】 奈川小中学校	【評価と反省】 砂防ダム工事の見学、水力発電所の見学を行い、自分の住んでいる地区について関心を持ってもらえた。 【今後の方針等】 共催団体と連携を図りながら、継続して開催したい。	○
ふるさと学習 （中学生　ベンチ作り）	6月13日	1回	地域文化	青少年	10人	【内容】 ベンチ作り 【ねらい】 奈川の産業である木工を体験し、地域の優れた文化にふれる。	【準備過程】 関係者との綿密な打合せのうえ実施 【協力】 奈川小中学校	【評価と反省】 奈川の木工について理解を深めることができた。 【今後の方針等】 共催団体と連携を図りながら、継続して開催したい。	○
人権視察研修 「松代城跡・真田邸・文武学校・松代象山地下壕を訪ねる」	6月27日	1回	人権平和	成人	16人	【内容】 松代象山地下壕等の見学 【ねらい】 松代象山地下壕等の見学を行い戦争と平和について考える。	【準備過程】 関係者との綿密な打合せのうえ実施	【評価と反省】 松代象山地下壕の見学によって、戦争の悲惨を改めて学習し、平和について理解を深めることができた。 【今後の方針等】 共催団体連携を図りながら、継続して開催したい。	
すこやかウォーキング	7月5日	1回	福祉健康	成人	15人	【内容】 奈川地区内の史跡を巡りながらウォーキング 【ねらい】 市民歩こう運動の一環として実施	【準備過程】 関係者との綿密な打合せのうえ実施 【協力】 奈川地区福祉ひろば	【評価と反省】 史跡についての学習とウォーキングにより参加者の健康増進が図れた。	
阿寺渓谷散策＆歴史探訪	7月25日	1回	趣味教養	成人	16人	【内容】 阿寺渓谷散策と妙覚寺マリア観音見学 【ねらい】 他地区の自然と歴史（文化財）について学ぶ	【準備過程】 関係者との綿密な打合せのうえ実施 【協力】 奈川地区福祉ひろば	【評価と反省】 他地区の自然や歴史（文化財）について知識を深めることができた。	
居酒屋公民館	8月2日	1回	その他	成人	9人	【内容】 飲み物や料理を持ち寄り住民同士の交流を図る。 【ねらい】 普段、公民館を利用する機会が少ない世代の交流を図る。	【準備過程】 公民館主催事業として実施	【評価と反省】 普段公民館を利用する機会のない世代の交流が図れた。	

令和６年度　事業報告

奈川公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	ＣＳ
木曽おもちゃ美術館探検	8月8日	1回	趣味教養	成人	17人	【内容】 木曽おもちゃ美術館見学 【ねらい】 多様なおもちゃと遊びを体験する。	【準備過程】 関係者との綿密な打合せのうえ実施 【協力】 奈川地区福祉ひろば	【評価と反省】 館内の内装やおもちゃには木曽町産の「ヒノキ」が使われてあり、木の香りをふんだんに感じながら木育について学習できた。見学を通して、参加者同士の交流が図れた。	
第21回 奈川地区秋の大運動会	9月14日	1回	地域事業（体育）	成人	100人	【内容】 学校、公民館共催で運動会を実施 【ねらい】 地域住民の体力向上を図るとともに、日頃の運動不足解消と地域住民の親睦を図る。	【準備過程】 関係者との綿密な打合せのうえ実施 【協力】 奈川小中学校	【評価と反省】 地域住民の運動不足解消と子どもから大人まで幅広い年齢層の交流が図れた。 【今後の方針等】 関係団体と種目を検討して来年度も継続して開催したい。	
地域を守る砂防防災セミナー	10月8日	1回	防災	成人	10人	【内容】 大田切川流路工の見学 【ねらい】 梓川流域に暮らす安曇・奈川地区住民を対象に、砂防施設や災害に対する知識を高める。	【準備過程】 関係者との綿密な打合せのうえ実施 【協力】 ・安曇公民館 ・ＮＰＯ法人梓川流域を守る会 ・国土交通省北陸地方整備局松本砂防事務所 ・一般社団法人北陸地域づくり協会	【評価と反省】 大田切川の見学を通して砂防施設や災害に対する知識を深めることができた。 【今後の方針等】 関係団体と連携し、事業を継続したい。	
秋の苔玉盆景作り講座	10月25日	1回	趣味教養	成人	9人	【内容】 苔玉づくり 【ねらい】 秋らしい植物を組み合わせた苔玉を作りを通して、参加者の交流を図る。	【準備過程】 講師との綿密な打ち合わせのうえ実施	【評価と反省】 住民から要望があった苔玉づくりを開催し、参加者に好評だった。参加者同士の交流が図れた。	
第65回 奈川地区文化祭	11月2日 11月3日	1回	地域事業（文化）	成人	200人	【内容】 農産物展、文化展、出店、芸能祭 【ねらい】 住民の交流と文化振興を図る。	【準備過程】 ・文化委員との打合せ ・展示品、農産物を地区内から募った。 ・出店者との打ち合わせ ・芸能祭出演者の募集	【評価と反省】 地区外からのオーケストラ団体の出演やお抹茶体験など開催し、大勢の住民が参加した。	

令和６年度　事業報告

奈川公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	ＣＳ
もみじ湖散策	11月11日	1回	趣味教養	成人	24人	【内容】 もみじ湖散策 【ねらい】 秋のもみじ湖散策を通して、四季の移ろいを感じながら参加者同士の交流を図る。	【準備過程】 関係者との綿密な打合せのうえ実施 【協力】 奈川地区福祉ひろば	【評価と反省】 紅葉真っ盛りのもみじ湖を散策を通して参加者同士の交流が図れた。	
奈川地区世代間交流事業	12月7日	1回	地域文化	成人	70人	【内容】 子どもと一緒にしめ縄づくり、餅つき体験 【ねらい】 高齢者・小学生の世代間交流を図る。	【準備過程】 関係者との綿密な打合せのうえ実施 【協力】 ・奈川地区福祉ひろば ・奈川地区社会福祉協議会	【評価と反省】 しめ縄づくり、餅つき体験を通して子どもと高齢者との交流が図れた。 【今後の方針等】 継続して開催したい。	
わかんじきで雪山散歩	1月31日	1回	趣味教養	成人	8人	【内容】 わかんじきの初心者向け体験講座 【ねらい】 昔ながらのわかんじきで深い雪の上を歩き、先人の知恵を学ぶ。	【準備過程】 講師との綿密な打合せのうえ実施	【評価と反省】 ・参加者はわかんじきを履くのが初めての人ばかりだったが、ケガもなく実施できた。 ・靴では沈んで歩きにくい雪の上でもわかんじきなら沈まずに歩くことができ、改めて先人の知恵の偉大さに気づかされた。	
大人の社会見学	3月7日	1回	趣味教養	成人	27人	【内容】 養命酒駒ケ根工場の見学 【ねらい】 養命酒駒ケ根工場の見学を行い、健康との関わりを学ぶ。	【準備過程】 関係者との綿密な打合せのうえ実施 【協力】 奈川地区福祉ひろば	【評価と反省】 工場見学を通して、養命酒の歴史などについて知識を深めることができた。参加者同士の交流を図れた。	○
男しょの体力講座	4月 8日 8月 5日 12月 2日 1月20日 2月10日 3月 3日	6回	趣味教養	成人	34人	【内容】 男性を対象としたストレッチ、体操 【ねらい】 普段、公民館を利用する機会が少ない男性同士の交流を図る。	【準備過程】 関係者との綿密な打合せのうえ実施 【協力】 奈川地区福祉ひろば	【評価と反省】 普段、公民館を利用する機会が少ない男性同士の交流と健康増進が図れた。 【今後の方針等】 共催団体と連携を図りながら、継続して開催したい。	
夢の森カフェ	7月 9日 9月24日	2回	その他	成人	36人	【内容】 夢の森のロビーを活用した住民の居場所づくり 【ねらい】 住民同士の交流と買い物弱者対策	【準備過程】 関係者との綿密な打合せのうえ実施 【協力】 奈川地区福祉ひろば	【評価と反省】 参加者からは奈川地区には喫茶店や衣料品などのお店がないので、こういう事業をやってもらうとありがたいとの声が聞かれた。	

令和６年度　事業報告

奈川公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	ＣＳ
夏休みこどもひろば	7月22日 ～8月22日	19回	地域事業 （その他）	青少年	64人	【内容】 スポーツ、勉強、体験活動等 【ねらい】 長期休暇中の子ども達への居場所の提供	【準備過程】 関係者との綿密な打合せのうえ実施 【協力】 奈川地区福祉ひろば	【評価と反省】 今年度は、参加した児童、生徒たちが自分達で内容を企画する日を設定し積極的に事業に関わった。その他に福祉ひろばの利用者と 100歳体操を一緒に行い交流を図った。	
そば打ち講習会	12月16日 1月21日 2月17日	3回	趣味教養	成人	25人	【内容】 そば打ち講習会 【ねらい】 奈川伝統の丸打ちを覚える。そば打ちを通して参加者同士の交流を図る。	【準備過程】 講師との綿密な打合せのうえ実施	【評価と反省】 奈川伝統の丸打ちを覚えることができた。参加者同士の交流も図れた。 【今後の方針等】 継続して開催したい。	
野麦街道の歴史勉強会の開催	1月17日 2月28日	2回	趣味教養	成人	17人	【内容】 野麦街道の歴史や史跡の勉強会 【ねらい】 野麦街道の歴史や史跡を案内できる人材を育てる。	【準備過程】 講師、関係者との綿密な打合せのうえ実施 【協力】 ふるさと奈川観光交流部	【評価と反省】 野麦街道の歴史や史跡について知識を深めることができた。	
春休みこどもひろば	3月21日 ～4月 3日	5回	地域事業 （その他）	青少年	9人	【内容】 スポーツ、勉強、体験活動等 【ねらい】 長期休暇中の子ども達への居場所の提供	【準備過程】 関係者との綿密な打合せのうえ実施 【協力】 奈川地区福祉ひろば	【評価と反省】 今年度は、参加した児童、生徒たちが自分達で内容を企画する日を設定し積極的に事業に関わった。その他に福祉ひろばの利用者と 100歳体操を一緒に行い交流を図った。	○
公民館運営委員会	通年	1回	公民館委員会・ 各種会議等	成人	21人	【内容】 公民館事業、地区事業の企画、運営を行う。		【評価と反省】 委員会で委員同士の連携が図られた。 【今後の方針等】 住民の要望に応える活動を展開していきたい。	
館報編集委員会	通年	1回	公民館委員会・ 各種会議等	成人	12人	【内容】 公民館報の作成、編集を行う。		【評価と反省】 公民館事業や地区事業等記録することができた。 【今後の方針等】 住民の要望に応える活動を展開していきたい。	
体育委員会	通年	1回	公民館委員会・ 各種会議等	成人	8人	【内容】 公民館事業、地区事業の企画、運営を行う。		【評価と反省】 委員会で委員同士の連携が図られた。 【今後の方針等】 住民の要望に応える活動を展開していきたい。	

令和６年度　事業報告

奈川公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	ＣＳ
文化委員会	通年	1回	公民館委員会・各種会議等	成人	7人	【内容】 公民館事業、地区事業の企画、運営を行う。		【評価と反省】 委員会で委員同士の連携が図られた。 【今後の方針等】 住民の要望に応える活動を展開していきたい。	
放課後子ども教室の支援	通年	192回	子育て	青少年	539人	【内容】 小学生、中学生が安心、安全に放課後の時間を過ごせるように支援	【準備過程】 放課後子ども教室コーディネーターとの綿密な打合せのうえ実施	【評価と反省】 放課後子ども教室コーディネーターと連携を図りながら実施できた。 【今後の方針等】 利用者の意見を取り入れながら開催したい。	
夢の森図書室	通年	324回	その他	成人	509人	【内容】 夢の森図書室の管理運営	【準備過程】 図書室職員と連携を図りながら運営	【評価と反省】 幅広い年齢層の利用があった。 【今後の方針等】 利用者の希望を取り入れながら書籍を購入したい。	

令和６年度　事業報告の概要

梓川公民館

方針・地域課題・重点的に取り組んだ事項等	評価・反省等
【方針・地域課題】 ・コロナ禍により中止していた事業を実施するにあたり、前回の反省点や改善点をもとに内容を見直し、企画・実施した。また、福祉ひろばやまちづくり協議会等の多様な関係団体と連携しながら、講座や教室のより一層の充実を図った。 ・文化祭などの地区事業の開催にあたっては、地区内関係団体が実行委員会を組織し、公民館委員と連携を図りながら、実施内容の見直しや運営方法の改善を図った。 ・地区内の学校（梓川小学校、梓川中学校）と住民とが連携・協働し、地域全体で未来を担う子ども達の成長を支えていくための仕組み、松本版コミュニティスクール「あずさっ子応援隊」及び通学時の見守り活動を行う「あずさっ子見守り隊」の活動支援と地域への浸透を図った。	・廃止となった地区運動会の代わりとなるスポーツ振興事業として、ニュースポーツの交流会を令和７年度に実施することを地区スポーツ委員やスポーツ協会と協議し、実行委員会を立ち上げた。 ・文化祭は、多くの住民が来場し、公民館利用団体等が日頃の活動の成果を発表する良い機会となった。当日までの準備や会場設営、期間中の運営を出演団体・文化委員と連携して行うことができた。 ・「あずさっ子応援隊」は多くの住民がボランティアで学校の活動を支援した。今後も地域と学校の良好な関係が継続できるよう支援したい。「あずさっ子みまもり隊」は、活動を通して子どもと住民との間で良い関係が築かれており、やりがいを感じている隊員も多い。人材確保を呼び掛けると同時に地域全体に浸透させる取り組みを行いたい。

項目	学級講座・学習会等									地域事業			公民館委員会・各種会議等	ＣＳ
	人権平和	福祉健康	子育て	地域文化	環境	趣味教養	スポーツ	防災	その他	体育	文化	その他		
事業数	0	1	4	1	2	8	2	0	0	0	2	0	7	1
延べ参加人数	0	110	81	40	46	158	42	0	0	0	1128	0	270	13

令和６年度　事業報告

梓川公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	ＣＳ
上高地ウォーキング	6月3日	1回	趣味教養	成人	30人	【内容】 上高地（大正池からバスターミナル）を散策し、植物等を観察する。 【ねらい】 上高地の自然や歴史について学び、自然に親しむとともに、自然環境について関心を高める。	【準備過程】 地区内全戸配布チラシにて周知	【評価と反省】 ねらい通り学習や自然に親しむことができた。 【今後の方針等】 今後も継続的に開催していきたい。	
梓川地区リーダー研修会	6月	2回	子育て	青少年	12人	【内容】 １回目はネイチャーゲーム、２回目は地区の散策・歴史学習を行う。 【ねらい】 子ども会活動のリーダーとして、各町会の５・６年生が参加し、団体生活で活動を共にすることで、町会や学年をこえた交流を深め、仲間づくりを行いながら、自分たちの力で活動を進める研修会とする。	【準備過程】 梓川小学校を通じて参加者を募集した。 【共催団体】 ・地区子ども会育成会 ・地区まちづくり協議会 １回目講師 信州やがいたいけん楽校ぷらす ２回目講師 ＮＰＯ法人安曇野ふるさとづくり応援団	【今後の方針等】 今後も御浜町との交流会の事前学習に位置付け、リーダー研修会を実施し、御浜町の児童との仲間づくりや自分たちの力で活動を進める能力を身につけていきたい。	
苔玉づくり講座	7月7日	2回	趣味教養	成人	23人	【内容】 苔玉づくりをおこなう。 【ねらい】 植物の潤いと季節感を感ずる苔玉づくりにより、地域住民の交流を図り、趣味教養を高める。	【準備過程】 ・講師と内容・日程調整を行った。 ・地区内全戸配布チラシにて周知	【評価と反省】 定員を超える申込みがあり、２部制で実施した。 【今後の方針】 参加者から好評であったため、今後も開催を検討する。	
めだかの学校観察会	8月	2回	環境	青少年	16人	【内容】 小学生を対象に梓川矢橋にあるビオトープの観察会を行う。 【ねらい】 環境学習を通じて、地域の自然や生物にふれる機会を創出する。	【共催団体】 梓川児童センター	【評価と反省】 公民館職員が講師として解説を行ったが、ねらい通り自然に親しむ機会を作ることができた。 【今後の方針】 毎年の開催を検討したい。	
梓川図書館 夏のスペシャルお話会	8月10日	1回	環境	青少年	30人	【内容】 児童を対象とした読み聞かせ・ヤギとのふれあいを実施する。 【ねらい】 公民館図書委員による読み聞かせやふれあい体験を通じて、本や図書館に親しむ機会とする。	【準備過程】 図書館や公民館図書委員と協議のうえ、企画・実施した。 【共催団体】 梓川図書館	【今後の方針】 今後も図書委員に協力してもらい実施していきたい。	

令和６年度　事業報告

梓川公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	ＣＳ
米粉でつくるパン講座	9月27日	1回	趣味教養	成人	24人	【内容】 米粉を使ったピザやマフィンを作成 【ねらい】 年々減少している米消費への取り組みの一環として、米粉の活用方法、おいしさを広く知ってもらう。	【準備過程】 ・講師と内容・日程調整を行った。 ・地区内全戸配布チラシにて周知	【評価と反省】 昨年度とは異なるパン作りを実施。米粉代は公民館で負担するなどできる限り材料費を抑え実施した。 【今後の方針】 多くの申込みがあり参加者から好評であったため、今後も開催を検討する。	
市民講演会（梓弓）	10月12日	1回	地域文化	成人	40人	【内容】 松本平及び梓川地区の歴史を学ぶ。 【ねらい】 住民が自分たちの地区の歴史を学習する機会とする。	【準備過程】 梓弓研究会と企画実施した。 【共催団体】 梓弓研究会	【評価と反省】 今後地区の文化財等に関心を持ってもらうよう考えていく必要がある。 【今後の方針等】 住民にとって地区の歴史を学ぶ良い機会となっているため、今後も共催して講演会を開催していきたい。	
梓川ウォークラリー2024	10月13日	1回	スポーツ	青少年	24人	【内容】 家族や友人などのグループごとに、コマ図を使い梓川地区内を歩き、途中で地区に関連する問題を解いたり、輪投げなどのゲームゾーンも設ける。 【ねらい】 家族や友人などの参加者が、地域の再発見や健康づくり・体力づくりを行う機会とする。	【準備過程】 コースや時間設定などスポーツ推進委員と事前に調整した。 【共催団体】 ・スポーツ推進委員協議会梓川地区担当 ・まちづくり協議会 ・福祉ひろば	【評価と反省】 小学生の家族を中心に７チームが参加 【今後の方針等】 地域の魅力を発見したり、健康づくり・体力づくりを行う機会として、出発点やコースを変えながら、継続的に開催していく。	
洋ナシのビン詰め加工講座	10月21日	1回	趣味教養	成人	13人	【内容】 農村生活マイスターを講師に洋梨の瓶詰めを行う。 【ねらい】 梓川農村女性協議会の活動を支援し、住民交流と趣味教養を高める。	【準備過程】 講師と内容・日程調整を行った。 【協力】 梓川農村女性協議会	【評価と反省】 福祉ひろばと共催し開催。男性の参加が多く普段行わない料理にふれる機会となった。 【今後の方針】 農村女性協議会と連携しながら開催を検討する。	

令和６年度　事業報告

梓川公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	ＣＳ
第38回梓川地区文化祭（美術展）	11月 7日～11月10日	1回	地域事業（文化）	成人	790人	【内容】 芸術文化活動団体の発表の機会として、梓川アカデミア館で作品を展示する。 【ねらい】 梓川地区の芸術文化活動を行う住民が、日常活動の成果を発表する機会を作り、地域住民相互が親睦と交流を深めることにより、芸術文化の振興・発展を図る。	【準備過程】 出展者が参画した実行委員会を組織し、企画・運営について協議した。 【共催団体】 ・まちづくり協議会 ・梓川アカデミア館	【評価と反省】 準備や運営を出演団体が中心になり行い、自立した活動になっている。年々出展者が減少しているため、引き続き、小・中学校に作品の展示を依頼するほか、個人の出展など増やしていきたい。 【今後の方針等】 昨年同様小中学校にも参加を呼びかけ、多くの作品を展示したため好評であった。梓川の特産品であるりんごの収穫時期とも重なるため、出展者や参加者の意見を聴取しながら検討していきたい。	
第38回梓川地区文化祭（芸能祭・音楽祭）	11月10日	1回	地域事業（文化）	成人	338人	【内容】 芸術文化活動団体の発表の機会として、音楽祭、芸能祭の２部制で開催する。 【ねらい】 梓川地区の芸術文化活動を行う住民が、日常活動の成果を発表する機会を作り、地域住民相互が親睦と交流を深めることにより、芸術文化の振興・発展を図る。	【準備過程】 実行委員会（公民館文化委員、まちづくり協議会役員等）で内容を検討。プログラムを作成して周知 【共催団体】 まちづくり協議会	【評価と反省】 御浜町のみかんや地区商工会など飲食の出店、食生活改善推進協議会によるみそ汁の炊き出しなどを出すことができ、幅広い年代に来場いただいた。 【今後の方針】 文化・芸術活動の貴重な発表の機会となっている。出演団体の減少が課題	
食生活改善 調理実習講座	11月14日	1回	健康福祉	成人	13人	【内容】 減塩をテーマに生活習慣病予防を目的とした調理を学ぶ。 【ねらい】 住民の食生活の改善と健康増進を目指す。	【準備過程】 講師と内容・日程を調整	【評価と反省】 福祉ひろばと共催し開催。男性の参加が多く普段行わない料理にふれる機会となった。 【今後の方針】 参加者から好評であったため、今後も開催を検討する。	
福寄せお飾りと賑やか多肉植物の寄せ植えづくり	12月13日	1回	趣味教養	成人	24人	【内容】 新年に向け、縁起植物で寄せ植えを行う。 【ねらい】 地域住民の交流を図り、趣味教養を高める。	【準備過程】 講師と内容・日程を調整	【評価と反省】 できる限り材料費を抑え参加者の負担が大きくならないよう講師と打ち合わせを重ね実施できた。 【今後の方針】 参加者から好評であったため、今後も開催を検討する。	

令和６年度　事業報告

梓川公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	ＣＳ
木彫り講座	1月	2回	趣味教養	成人	7人	【内容】 地域住民を講師に木彫り作品の製作を行う。 【ねらい】 地域住民の交流を図り、趣味教養を高める。	【準備過程】 講師と内容・日程を調整	【評価と反省】 初めて実施した講座であったが、参加者の満足度は高かった。 【今後の方針】 参加者から好評であったため、今後も開催を検討する。	
家庭教育学級支援 「ストレッチ講座」	12月1日	1回	趣味教養	成人	16人	【内容】 単独の町会住民を対象に、町内公民館を会場に、講座を開催した。 【ねらい】 身近な場での公民館活動の推進を図り、地域の活性化を目指す。	【準備過程】 地区公民館と町内公民館と連携を図り、企画・実施した。 【共催団体】 上立田町内公民館	【評価と反省】 身近な場所での講座開設を通じて、公民館活動の推進が図られた。 【今後の方針】 今後も町内公民館と連携を図り、町会単位で行われる学習を支援していきたい。	
ファミリースキー教室	1月19日	1回	スポーツ	青少年	18人	【内容】 乗鞍スキー場を会場にして、初心者、初級者の親子を対象としたスキー教室 【ねらい】 スキーに親しむ機会の提供をし、参加者の技術習得や参加者同士の親睦を目的とする。	【準備過程】 開催内容や方法等についてスポーツ推進委員と事前に調整を図った。 【共催団体】 スポーツ推進委員協議会梓川地区担当	【評価と反省】 初めて乗鞍で開催。初心者・初級者でチームを分け講習を行い、技術の向上に繋がった。 【今後の方針】 今後も継続的に開催し、地域住民がスキーに親しむ機会を提供し、参加者の技術習得や参加者同士の親睦を図っていく。	
家庭教育学級支援 「歌の教室」	2月16日	1回	趣味教養	成人	21人	【内容】 単独の町会住民を対象として、町内公民館を会場に講座を開催した。 【ねらい】 身近な場での公民館活動の推進を図り、地域の活性化を目指す。	【準備過程】 地区公民館と町内公民館と連携を図り、企画・実施した。 【共催団体】 八景山町内公民館	【評価と反省】 身近な場所での講座開設を通じて、公民館活動の推進が図られた。 【今後の方針】 今後も町内公民館と連携を図り、町会単位で行われる学習を支援していきたい。	
福祉のつどい 松本市立病院の出前講座「リラックス体操」 梓川小学校６年生制作映画上映会	3月1日	1回	福祉健康	成人	110人	【内容】 出前講座のリラックス体操を行い、その後梓川小学校で製作した映画の上映会を行う。 【ねらい】 住民の健康増進につなげる。また、小学校の活動を知ってもらうほか、児童との交流の場とする。	【準備過程】 共催団体や小学校と協議のうえ企画・実施した。 【共催団体】 ・梓川地区社会福祉協議会 ・まちづくり協議会	【評価と反省】 ねらい通り、住民の健康増進と小学校と地域の連携の強化につながった。 【今後の方針】 今後関係団体と共催し継続的に開催していきたい。	

令和６年度　事業報告

梓川公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	ＣＳ
ママのリフレッシュ講座	6月～11月	3回	子育て	成人	44人	【内容】 未就園児の子をもつ親を対象に、アロマの虫よけスプレー作りや、入園グッズを制作する。 【ねらい】 子育て中の親が気軽に集い、語り合って子育ての不安の解消や仲間づくりを行う場を提供する。	【準備過程】 公民館・児童センター・社会福祉協議会の三者により、企画運営した。 【共催団体】 ・梓川児童センター ・地区社会福祉協議会	【評価と反省】 子育て中の親が気軽に参加できる講座として、楽しみながら育児に対する不安などを相談し、仲間づくりを行う場を提供することができた。 【今後の方針等】 今後も子育て中の親が親しみやすい講座を企画し、継続的に開催していきたい。	
歌ごえ公民館	5月～3月	22回	健康福祉	高齢者	513人	【内容】 講師の伴奏に合わせて、童謡唱歌等の16曲を、１時間30分程度合唱する。 【ねらい】 歌の経験や技量に関係なく、とにかく楽しく歌い、健康増進、ストレス解消や参加者同士の交流を深める機会とする。	【準備過程】 講師と連絡をとりあい、歌詞カードの作成等を行った。	【評価と反省】 皆楽しく歌い、健康増進、ストレス解消や参加者同士の交流を深めることができた。 【今後の方針】 高齢者を中心に参加者が増加傾向にある。本講座を楽しみにしている方も多いことから、次年度も継続的に開催したい。また、やりがいづくりとして文化祭等での発表の機会をつくれないか検討する。	
梓川地区・御浜町ふれあい交流会	8月7日 ～8月9日	1回	子育て	青少年	12人	【内容】 毎年交互にお互いの地を行き来し交流を図る。 【ねらい】 友好親善提携都市の三重県御浜町との交流により、海と山、みかんとりんご等、互いの地域の自然、伝統及び文化の違いを学びあい、友情を育む。また、集団生活を通して相互理解を深め、子ども会リーダーとしての自覚と資質を養う。	【準備過程】 事前にリーダー研修会を実施した。リーダーとしての自覚を養わせること、また自主決定させることに重きをおいて企画した。 【共催団体】 ・地区子ども会育成会 ・まちづくり協議会 ・御浜町教育委員会	【評価と反省】 ６年ぶりに梓川地区での受け入れとなったが、計画通りに実施することができた。児童も積極的に交流しており、次年度以降の交流につながる活動ができた。 【今後の方針】 次年度は御浜町に訪問するため、引き続き共催団体と協議のうえ実施する。なお、本事業は梓川村当時に友好親善提供が結ばれ、毎年交流会を開催してきている経過からも、今後も継続していく必要がある。	

令和６年度　事業報告

梓川公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	ＣＳ
あずさっ子みまもり隊	通年		子育て	成人	13人	【内容】 子ども達の登下校を中心に通学路や交差点などで見守り隊活動を実施 【ねらい】 「子どもは地域の宝」として、小・中学生の安全な登下校に努める。	【準備過程】 隊員から登下校時の児童の様子や、道路の危険個所など意見を聞き、小学校に報告するとともに、警察署等にも出された意見を伝え改善を図った。	【評価と反省】 「あずさっ子みまもり隊」は現在13人の隊員で見守り隊活動を行っているが、まだまだ地域全体には浸透していない部分もある。日々の見守り活動を通して子どもと隊員の良い関係ができつつあり、やりがいを感じている隊員も多い。 【今後の方針等】 梓川小中学校は、他地区に比べて児童・生徒数が多いが、隊員数は13人と少ない。町会などを通じ人材確保を呼び掛け、地域全体に浸透させていく必要がある。	○
町内公民館長会の運営	通年	1回	公民館委員会・各種会議等	成人	42人	【内容】 公民館事業の運営協力依頼や町内公民館事業の支援を行った。	【構成団体】 梓川地区の21町内公民館長	【今後の方針等】 今後も町内公民館長会と連携し、スポーツ祭や文化祭を始め、各町内公民館で実施されている事業を相互協力しあいながら、展開していきたい。	
運営委員会	通年	1回	公民館委員会・各種会議等	成人	14人	【内容】 公民館事業の企画・実施について検討し、助言を受けた。（書面開催）	【準備過程】 特別な諮問事項が無いため書面開催とした。	【評価と反省】 公民館事業の企画・実施について承認を得た。 【今後の方針等】 公民館運営の本質的な事柄に対して、議論を深めることができるよう内容や進め方等を工夫して開催していきたい。	
広報委員会	通年	1回	公民館委員会・各種会議等	成人	42人	【内容】 梓川公民館報の企画・編集等を行った。また、全市版の館報編集員を講師に館報の作り方等について学んだ。	【準備過程】 公民館報の発行に合わせ、委員会を招集した。	【評価と反省】 取材、原稿の作成、編集までの一連の作業を、委員と協働し作り上げることができた。 【今後の方針等】 館報を読んでいる住民が少ないため、多くの住民に読まれるような紙面づくりを考えていく必要がある。	

令和６年度　事業報告

梓川公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	ＣＳ
文化委員会	通年	1回	公民館委員会・各種会議等	成人	84人	【内容】 梓川文化祭（梓秋祭）の企画、運営等を行う。	【準備過程】 文化祭の実行に合わせて委員会を招集した。	【評価と反省】 委員それぞれが役割を理解し、企画・運営することができた。 【今後の方針等】 実行委員会と連携を図りながら、公民館事業の開催に合わせて、委員会を開催する。	
体育委員会	通年	中止	公民館委員会・各種会議等	成人	0人	【内容】 スポーツ祭と運動会の企画、運営等を行う。	【準備過程】	【評価と反省】 地区スポーツ行事が中止となったため、会議は未開催となった。 【今後の方針等】 実行委員会等と連携を図りながら、公民館事業の開催に合わせて、委員会を開催する。	
図書委員会	通年	1回	公民館委員会・各種会議等	成人	8人	【内容】 公民館談話室の本の入替え作業を年２回行い、秋のお楽しみ会（人形劇等）を企画する。	【準備過程】 公民館事業の開催に合わせ、委員会を招集した。	【評価と反省】 図書館と共催しおはなし会を開催した。 【今後の方針等】 本の入替作業や、梓川図書館との共催事業を実施する。	
地域関係団体の運営・支援	通年	1回	公民館委員会・各種会議等	成人	80人	【内容】 ・子ども会育成会：会議の開催（２回）、子ども会安全共済会事務､各種子ども会育成事業の取りまとめ等 ・スポーツ推進委員会の運営､支援：会議の開催（２回）、地区内体育事業の企画・運営等 ・地区スポーツ協会の支援：常任理事会への出席（１回）、市スポーツ協会との連絡調整､相談等	【準備過程】 適切な時期に会議を開催し、協力依頼や事業について協議した。	【評価と反省】 各団体と連携・協力を図りながら、事業の実施や取りまとめを行うことができた。また、各団体と活発な意見交換を行うことができた。 【今後の方針等】 公民館にも関わりの深い団体であるため、継続的に育成、支援を行う必要がある。	

令和６年度　事業報告の概要

波田公民館

方針・地域課題・重点的に取り組んだ事項等	評価・反省等
【方針・地域課題】 ・体育事業や文化事業などの地区事業の企画・運営等にあたっては、公民館委員（運営・体育・文化・館報編集）と連携しながら、地区住民主体により、多くの方が公民館活動に関わり、関心を持って参加していただけるよう実施内容の見直しや運営方法の改善等を図る。 ・地区内の関係機関、各種団体等と連携を図った事業を開催する。前年度の反省や地域住民からの声を踏まえ、講座の充実を図るとともに、公民館の利用者団体、地区関係団体との共催や利用者団体の方をを講師に講座を開催するなど、学習の成果を還元できる場を設ける。 ・小中学生向けの講座を企画し、青少年教育の推進を図る。	・体育事業については運営方法等を協議し、コロナ禍の間中止となっていた町内公民館対抗の行事を全て開催することができた。文化祭については、今年度新たな試みをしたが、体制の整理、運営方法を見直すことで、委員各々の負担を減らし、事業も無事開催することができた。今後もより多くの方が参加いただけるよう委員の方々と協議、検討していきたい。 ・地域の様々な団体と連携しながら、様々な事業を開催することができた。利用団体の方を講師とした講座では、講座後に団体に加入した受講者もおり、利用団体の活性化につなげることができた。 ・小中学生向けの講座をいくつか開催したことにより、例年より多くの小中学生に公民館を利用する機会を提供することができた。

項目	学級講座・学習会等									地域事業			公民館委員会・各種会議等	ＣＳ
	人権平和	福祉健康	子育て	地域文化	環境	趣味教養	スポーツ	防災	その他	体育	文化	その他		
事業数	1	4	2	5	3	4	2	0	0	4	1	0	9	2
延べ参加人数	35	291	3049	120	65	130	122	0	0	551	2797	0	1078	250

令和６年度　事業報告

波田公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	ＣＳ
自然散策バスウォーキング「姫川源流でちいさな春さがし」	4月26日	1回	環境	成人	19人	【内容】 姫川源流と親見湿原を散策する。 【ねらい】 自然散策と健康づくり、リフレッシュを目的とする。	【準備過程】 【協力】	【評価と反省】 天候にも恵まれ、ゆっくりと植物の観察やウオーキングを楽しむことができ、健康づくりやリフレッシュにつながった。 【今後の方針等】 ウォーキング事業は継続予定	
町内公民館対抗ソフトボール大会	5月26日	1回	地域事業（体育）	その他	197人	【内容】 町内公民館対抗でソフトボール大会を行う。 【ねらい】 地区住民の親睦を深めることを目的とする。	【準備過程】 【協力】 ・体育委員会 ・波田スポーツ協会	【評価と反省】 13チーム参加。参加条件を緩和し、多くの方に参加いただくことで、住民同士の親睦を深めることにつながった。 【今後の方針等】 町会ごとに競技力に差があり、危険も伴うため、対戦カード等については検討したい。	
波田堰散策ウォーク	6月19日	1回	福祉健康	成人	7人	【内容】 波田堰沿いを野鳥や植物を観察しながら散策する。 ねらい】 　散策を通じて波田堰の役割や歴史を学ぶ。	【準備過程】 【協力】 福祉ひろば	【評価と反省】 歩きながら傾聴できる場所が限られていたため、波田堰の役割や歴史について、説明を聞く時間を十分に設けられなかったことが課題として残った。 【今後の方針等】 ウォーキング事業は継続予定	
健康バスウォーク「阿寺渓谷ウォーキング」	7月5日	1回	環境	成人	15人	【内容】 阿寺渓谷を散策する。 【ねらい】 健康増進と地形や植物の学ぶことを目的とする。	【準備過程】 【協力】	【評価と反省】 アップダウンが多い遊歩道であったこともあって、歩くのに苦慮する方がおり、どの程度のコースか事前に情報を伝えることが不足していた。 【今後の方針等】 ウォーキング事業は継続予定	
親子給食試食見学ＤＡＹ	7月27日	1回	趣味教養	青少年	15人	【内容】 給食調理の流れを学んだ後、給食センターの内部を見学する。 【ねらい】 夏休み中の小中学生とその親子を対象に、給食ができるまでの過程を学ぶ機会とする。	【準備過程】 波田小・中学校でチラシを配布し周知 【協力】 波田給食センター	【評価と反省】 普段入ることのできない給食センター内を見学することができ、給食調理の実情を学ぶ良い機会となった。 【今後の方針等】 担当課と協議し検討したい。	

令和６年度　事業報告

波田公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	ＣＳ
若澤寺親子・おとなの遠足	7月28日	1回	地域文化	青少年	9人	【内容】 波多神社から若澤寺史跡まで散策し、現地で保存活動の体験をする。 【ねらい】 波田の歴史に触れ、保存活動を理解していただくことを目的とする。	【準備過程】 【協力】 若澤寺史跡保存会	【評価と反省】 現地での礎石の発掘体験では、土に埋もれた礎石を掘り出す作業を行った。体験を通じて、より一層保存活動に理解を得られたものと感じる。 【今後の方針等】 内容を協議し、若澤寺関連の事業は継続していく。	
はたっこ塾「決めろスマッシュ！卓球教室」	8月1日 8月2日	2回	スポーツ	青少年	35人	【内容】 ラケットの持ち方、フォア、バックの打ち方を学ぶ。 【ねらい】 卓球の基本を学び、夏休み中の子ども達が体を動かす機会とする。	【準備過程】 【協力】 波田中学校卓球部	【評価と反省】 はじめて卓球をする参加者もいたが、２日間通じ卓球の基本を学ぶことができた。波田中学校卓球部の協力もあり、多くの参加者を一度に指導することができた。 【今後の方針等】 今後も継続予定	○
水沢山若澤寺の七ふしぎを謎解く	8月23日	1回	地域文化	成人	41人	【内容】 若澤寺に関する七ふしぎを講師の視点から紹介する。 【ねらい】 若澤寺を知らない方に興味を持っていただくことを目的とする。	【準備過程】 【協力】 若澤寺史跡保存会	【評価と反省】 資料の実物、講義内容に関する歴代住職の拓本を展示したこともあり、より理解を深めていただくことができた。 【今後の方針等】 今後のために講師の講演要旨を記録として残していくことも必要である。	
旧国鉄篠ノ井線廃線敷きウォーキング	9月4日	1回	福祉健康	成人	12人	【内容】 旧国鉄篠ノ井線廃線敷きをウォーキングする。 【ねらい】 歴史を学びながら、ウォーキングをすることで心身の健康増進を図る。	【準備過程】 【協力】 福祉ひろば	【評価と反省】 ガイドを安曇野案内人クラブへお願いし、現地の説明をしていただくことで、ウォーキングしながら歴史を学ぶことができた。 【今後の方針等】 ウォーキング事業は継続予定	
町内公民館対抗バレーボール大会	9月8日	1回	地域事業（体育）	その他	142人	【内容】 町内公民館対抗のバレーボール大会を行う。 【ねらい】 地区住民の親睦を深めることを目的とする。	【準備過程】 【協力】 ・体育委員会 ・波田スポーツ協会	【評価と反省】 10チーム参加。参加条件の緩和を図ったが参加人数は大きく変わらなかった。参加した町会は大会後に懇親会を行うなど、親睦を深めるきっかけとなった。 【今後の方針等】 継続予定	

令和６年度　事業報告

波田公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	ＣＳ
町内公民館対抗マレットゴルフ大会	9月8日	1回	地域事業（体育）	その他	60人	【内容】 町内公民館対抗のマレットゴルフ大会を行う。 【ねらい】 地区住民の親睦を深めることを目的とする。	【準備過程】 【協力】 ・体育委員会 ・波田スポーツ協会	【評価と反省】 バレーボール大会に出れないが、マレットゴルフ大会には参加できるという町会もあり、多くの町会が町内公民館対抗に出場できる機会となった。 【今後の方針等】 継続予定	
モルタル造形に寄せ植えを！	10月 2日 10月16日	2回	趣味教養	成人	12人	【内容】 アート用のモルタルでオリジナルプレートを作成する。 【ねらい】 普段と異なる形での寄せ植えを体験してもらう機会とする。	【準備過程】 【協力】	【評価と反省】 参加者は、それぞれ思いおもいにデザインや色決め、非常に楽しみながら作品を制作していた。 【今後の方針等】 開催を検討したい。	
波田文化祭	10月26日 10月27日	1回	地域事業（文化）	その他	2,797人	【内容】 作品の展示、販売、舞台発表を行う。 【ねらい】 地域住民の日頃の活動の成果を発表する場、文化・芸術を鑑賞する機会を創出することを目的とする。	【準備過程】 【協力】 ・文化祭実行委員会 ・町会連合会 ・町内公民館長会	【評価と反省】 41団体参加。今年度は昨年度まで別日・別会場で開催していた福祉ひろばまつりも同会場で開催した。 【今後の方針等】 継続予定	
町内公民館対抗ソフトバレーボール大会	11月10日	1回	地域事業（体育）	その他	152人	【内容】 町内公民館対抗のソフトバレーボール大会を行う。 【ねらい】 地区住民の親睦を深めることを目的とする。	【準備過程】 【協力】 ・体育委員会 ・波田スポーツ協会	【評価と反省】 17チーム参加。男女混合と女子の部に分けて開催。昨年度は怪我人が多く出てしまったが、今年度は怪我無く開催することができた。 【今後の方針等】 継続予定	
ここまでわかった真光寺遺跡	11月28日	1回	地域文化	成人	46人	【内容】 ４年間の発掘調査の結果からわかったこと等について講演する。 【ねらい】 近隣遺跡との関係、その時代の土地の使われ方について学ぶ機会とする。	【準備過程】 【協力】 波田まちづくり協議会	【評価と反省】 ４年間の発掘調査のまとめということもあり、興味関心のある方に多く参加いただいた。 【今後の方針等】 来年度は調査報告が出来上がる予定とのことのため、最終報告会を開催する方向で調整	

令和６年度　事業報告

波田公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	ＣＳ
わくわく★クリスマス会	12月6日	1回	子育て	青少年	42人	【内容】 未就学児とその保護者を対象に、クリスマス会を行う。 【ねらい】 次年度竹の子教室の参加者募集前に、雰囲気を知ってもらうことを目的とする。	【準備過程】 【協力】 中央図書館（出前講座）	【評価と反省】 本年度竹の子教室の参加者が多かったが、初めての方も参加していただけたため、来年度に向けて雰囲気を知ってもらうことができた。 【今後の方針等】 講師と協議のうえ、開催について検討したい。	
お正月のしめ縄飾り	12月20日	1回	地域文化	成人	2人	【内容】 しめ縄をベースに縁起物を添えて、お正月飾りを作成する。 【ねらい】 自身でお正月飾りを作成し、気持ちよく新年を迎える準備をする。	【準備過程】 【協力】	【評価と反省】 材料費が高くなってしまったこともあり、参加者が少なかった。 【今後の方針等】 物価高騰や材料を多く使うこともあり、致し方ない部分もあるが、価格設定については検討していきたい。	
たまには書道を楽しもう	12月26日	1回	趣味教養	青少年	19人	【内容】 書初めの練習として課題に挑戦する。 【ねらい】 書道を行う機会の創出、小学生への宿題支援を目的とする。	【準備過程】 【協力】 公民館利用団体	【評価と反省】 講師がお手本を書いたり、ポイントを丁寧に教えていただいたおかげで、小学生も冬休みの課題を講座内で作成することができた。 【今後の方針等】 継続予定	
正月飾りに挑戦	12月26日	1回	地域文化	青少年	22人	【内容】 正月飾りを保護者とともに自身で作り上げる。 【ねらい】 作成することを通じて、正月飾りの意味を学ぶことを目的とする。	【準備過程】 【協力】 若澤寺史跡保存会	【評価と反省】 ２人１組のグループに、講師が１人ずつ指導に入れるように実施したため、参加者に丁寧に説明することができ、スムーズに作成できた。 【今後の方針等】 開催については検討したい。	
松本平の小さな生き物たち	3月8日	1回	環境	成人	31人	【内容】 松本平に生息するホタル・両生類（蛙）・チョウの生態についての講演を行う。 【ねらい】 松本平に生息する生物の生態を学ぶことを目的とする。	【準備過程】 【協力】 波田希少動植物保存会	【評価と反省】 会場の雰囲気も明るさが見られ、参加者は興味、関心を持って講演を聞いていた。 【今後の方針等】 講演が３部構成で計２時間30分程度擁したため、少し長いと感じる参加者も見受けられた。講演の時間設定を検討したい。	

令和６年度　事業報告

波田公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	ＣＳ
ムリしないチェアーヨガ	2月20日 2月27日 3月 6日 3月13日	4回	福祉健康	成人	36人	【内容】 ひざや腰に負担をかけないチェアーヨガを行う。 【ねらい】 自宅でもできる運動を体験し、自身の健康増進につなげることを目的とする。	【準備過程】 【協力】	【評価と反省】 通常のヨガを行うと普段運動をしていない方は、膝や腰を痛めてしまうことから椅子を使ったヨガを実施 【今後の方針等】 内容を協議し継続予定	
チャレンジフェス　ｉｎ　ＨＡＴＡ	3月20日	1回	スポーツ	青少年	87人	【内容】 【ねらい】 健康づくりやスポーツを体験する機会を提供することを目的とする。	【準備過程】 【協力】 ・波田スポーツ協会 ・ＣＦＭ実行委員会	【評価と反省】 怪我等なく運営することができ、多くの方に様々なスポーツを体験していただく機会を提供することができた。 【今後の方針等】 今後はより多くの団体に協力していただくことも検討したい。	
竹の子教室	5月下旬 ～11月下旬	44回	子育て	青少年	3,007人	【内容】 １歳半からの未就園児とその保護者を対象に、運動やあそび、工作、読み聞かせなどを行う。 【ねらい】 身体を動かしながら親子の絆をより深め、子どもの体力づくり、情操の発達を支援する。	【準備過程】 【協力】 社会福祉協議会子育て応援ボランティア	【評価と反省】 コロナ禍以降参加者の減少が続いていたが、１歳６か月検診で募集チラシを配布したこともあり、今年度は46組の参加があった。１年を通じて参加者の成長が見受けられた。 【今後の方針等】 継続予定	
遊ＹＯＵ大学	6月13日 7月11日 8月20日 9月20日 9月26日 10月31日 11月21日 12月10日	8回	福祉健康	高齢者	236人	【内容】 65歳以上の方を対象に運動や体験など多彩なプログラムを行う。 【ねらい】 高齢者の心と体の健康及び同世代の交流の場を提供する。	【準備過程】 【協力】	【評価と反省】 毎年多くの高齢者が参加してくださり、様々なプログラムを通じて心と体の健康を保つための機会を創出できた。参加者同士も交流を深めることにもつながった。 【今後の方針等】 継続予定	
みんなで楽しく手話講座	7月19日 7月26日 8月 2日 8月 9日	4回	人権平和	青少年	35人	【内容】 楽しみながら手話を学ぶ。 【ねらい】 差別のない社会を目指して、手話を学びながら、ろう者に対する理解を深める。	【準備過程】 【協力】	【評価と反省】 子どもに限らす誰でも参加できるよう講座を開催したが、一般参加者が初回のみで参加しなくなってしまった。 【今後の方針等】 子ども向けの内容になってしまったため、今後は対象を分けることも検討したい。	

令和６年度　事業報告

波田公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	ＣＳ
歌声いっぱい公民館	8月 7日 9月11日 10月 9日 11月13日 12月11日	5回	趣味教養	成人	84人	【内容】 楽しく童謡唱歌を歌う。 【ねらい】 音楽を通じ、ストレス解消や楽しむ機会を創出することを目的とする。	【準備過程】 【協力】	【評価と反省】 昨年度歌唱指導を増やしてほしいと要望があったため、今年度は講師と調整し参加者の要望に応える形で実施した。 【今後の方針等】 継続予定	
町内公民館長会	通年	1回	公民館委員会・各種会議等	その他		【内容】 地区公民館からの連絡事項や地区事業のお知らせ、町内公民館長同士の意見交換を行う。	【準備過程】 【協力】	【評価と反省】 地区の文化祭や、波田まちづくり協議会事業へ積極的に参加・協力いただいた。	
公民館運営委員会	通年	1回	公民館委員会・各種会議等	その他	8人	【内容】 公民館の事業計画等についての検討や提言を行う。	【準備過程】 【協力】	【評価と反省】 公民館活動についての検討や提言をいただける場となっている。	
体育委員会	通年	1回	公民館委員会・各種会議等	その他	176人	【内容】 町内公民館対抗スポーツ事業の企画、運営を行う。	【準備過程】 【協力】	【評価と反省】 町内公民館対抗事業の運営について、各町会ごとの事情等を鑑みた意見交換がなされ、改善を図りながら事業運営ができた。	
文化委員会	通年	1回	公民館委員会・各種会議等	その他	118人	【内容】 波田文化祭の企画・運営を行う。	【準備過程】 【協力】	【評価と反省】 役員の負担軽減のため、今年度より文化祭の運営のみという形に体制を変更した。文化祭当日も１人１人の負担が軽減され、スムーズな文化祭運営ができた。	
館報編集委員会	通年	1回	公民館委員会・各種会議等	その他	67人	【内容】 館報はたの作成を行う。	【準備過程】 【協力】	【評価と反省】 計６回の館報発行を各月ごと担当を決め原稿の作成を行った。	
波田まちづくり協議会（地域連携部会）	通年	1回	公民館委員会・各種会議等	その他	374人	【内容】 地区の課題解決へ向けて、事業の企画検討を行う。	【準備過程】 【協力】	【評価と反省】 防災事業や文化財保護、除草作業など、多岐に渡る事業を多くの地区住民に協力いただき、実施することができた。	
地区担当職員連絡会	通年	1回	公民館委員会・各種会議等	その他	120人	【内容】 地区関係機関の情報共有、課題解決に向けた検討を行う。	【準備過程】 【協力】	【評価と反省】 各部署での取り組みや事業内容、地区の課題などについて広い視野での話し合いができる場となっている。	

令和６年度　事業報告

波田公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	ＣＳ
学校応援団	通年	1回	公民館委員会・各種会議等	その他	215人	【内容】 波田小学校・中学校を地域住民がサポートする。	【準備過程】 【協力】	【評価と反省】 波田小学校１年生の下校見守り及び、今年度から始めた給食配膳ボランティアにも多くの方ご協力いただいた。 【今後の方針等】 今後も学校からの要望等について協議しながら協力していきたい。	○
人権啓発推進協議会	通年	1回	公民館委員会・各種会議等	その他	0人	【内容】 人権啓発に向けての検討、講座等の開催を企画する。	【準備過程】 【協力】	【評価と反省】 会員の負担軽減のために書面決議で開催 【今後の方針等】 会の存続を含め、検討が必要	

公民館長会　令和６年度（２０２４年度）定例会等事業報告

No.	期日	会場	内　　容
①	４月１７日(水)	中央公民館	【公民館長会総会】 ・Ｒ５年度事業報告 ・Ｒ５年度会計報告 ・Ｒ６年度役員 ・Ｒ６年度事業計画（案） ・Ｒ６年度予算（案） ・県公民館長総会並びに研修会大会ほか 【歓送迎会】 ホテルモンターニュ松本　午後６時から
		ホール	理事会　４月９日㈫　中公３－２
②	５月２２日(水)	中山公民館	【地域情報発信】中山地区 【協議事項、連絡事項、その他】 ・５つの重点戦略　地域拠点について ・令和６年度公民館長会歓送迎会会計報告 【研　修】 ・考古博物館見学 ・令和６年度公民館長会研修（グループワーク）
			理事会　５月１４日㈫　中公３－２
③	６月１９日(水)	四賀公民館	【地域情報発信】四賀地区 【連絡事項、協議事項、その他】 ・「国宝松本城・世界遺産学習会」について ・公民館冷暖房の期間について ・令和６年度公民館職員支援講座について ・第２９回松本市平和祈念式典の折鶴について ・令和６年度公民館長会研修計画について ・第７７回優良公民館表彰について ・第２９回松本市平和記念式典・平和の集いについて 【研　修】 ・ヨガ体験学習
			理事会　６月１１日㈫　中公３－２
④	７月１７日(水)	松本市文書館	【地域情報発信】新村公民館 【連絡事項、協議事項、その他】 ・公民館条例一部改正に係る冷暖房料金収納について ・中信地区公運協だよりの寄稿について ・令和６年度公民館活動推進功労者表彰について ・第７２回長野県公民館大会(上伊那・南信)について ・第４６回全国公民館研究集会・関東甲信越静大会について 【研　修】 ・松本市文書館探究
			理事会　７月９日㈫　中公３－２
⑤	８月２１日(水)	中央公民館	【地域情報発信】大手地区 【協議事項、報告事項、その他】 ・市施設の鍵デジタル調査検証に伴う現地調査について ・令和６年度松本市公民館の貸館課題改善について ・部活動の地域移行について 【研　修】 ・公民館困り事・解決提案等フリートーク （グループワーク） 【暑気払い】 ビアガーデン・スターライト　午後５時３０分から
		ホール	理事会　８月１３日㈫　中公３－２
⑥	９月１８日(水)	波田公民館	【地域情報発信】波田地区 【協議事項、報告事項】 ・公民館長会１０月定例会の研修について ・公民館長会県外視察研修について ・未来へつなぐ私たちのまちづくりの集いについて ・松本市公民館運営審議会について ・８月定例会グループワークのまとめについて ・公民館長会暑気払い会計報告について 【研　修】 ・災害ボランティアについて(災害に対する日頃の備え)
			理事会　９月１０日㈫　中公３－２
⑦	１０月１６日(水)	安曇公民館	【地域情報発信】安曇地区 【協議事項、報告事項、その他】 ・公民館長会県外視察研修について ・地区公民館長の推薦について ・公民館運営審議会について ・コミュニティスクール事業について 【研　修】 ・安曇地区噴湯丘の現地学習（歴史や文化財的活用等） 庁用バス24人乗バス－中型車－(松本200さ813)予約済
			理事会　１０月８日㈫　中公３－２
⑧	１１月２１日(木)・２２日(金)	県外視察研修	【県外視察研修】 ⑴　日　程　１１月２１日（木）、２２日（金） ⑵　会　場　そなエリア東京、社会教育実践研究センター ⑶　参加者　公民館長・事務局職員 ⑷　内　容 ア　そなエリア東京　…防災知識や技術の最先端を学習 イ　社会教育センター…国の政策や社会教育事業の取組みを学習 ※使用バス　40人乗バス－特大車－(松本200は189)
			理事会　１１月１２日㈫　中公３－２
⑨	１２月１８日(水)	中央公民館	【地域情報発信】白板地区 【協議事項、報告事項、その他】 ・公民館長会県外視察研修について ・令和６年度松本市議会１２月定例会について ・部活動の地域移行について 【研　修】 主事会との合同研修、長野県生涯学習センター共催講座 テーマを「公民館をずらした視点で見てみよう～防災からの視点で考える公民館活動～」とし、貸館・地域行事への子ども参画・防災の視点で研修 ※終了後に、主事と居酒屋公民館で学習・交流
		ホール	理事会　１２月１０日㈫　中公３－２
⑩	１月２２日(水)	内田公民館	【地域情報発信】内田地区 【協議事項、報告事項、その他】 ・令和７・８年度松本市ｽﾎﾟｰﾂ推進委員候補者推薦について ・５つの重点戦略における各地区の取組み調査について ・第１０回全国公民館報コンクールの結果について ・令和６年度公民館活動推進功労者感謝状贈呈について 【研　修】 ・ｅスポーツ学習会 公民館事業への導入へ向けて、新しいスポーツの世界を体験
			理事会　１月１４日㈫　中公３－２
⑪	２月１９日(水)	松南地区公民館	【地域情報発信】松南地区 【協議事項、報告事項、その他】 ・公民館報全市版編集委員の選出方法について ・公民館使用許可判断要領(案)の概要について ・令和７年度公民館事務事業について ・令和７年度公民館長会役員選出について ・令和６年度公民館長会会計について ・中学生が参加可能な公民館利用団体の調査について ・令和７年度県公運協活動推進功労者表彰の推薦について 【研　修】 ・奥深い蕎麦の世界「蕎麦打ち体験」
			理事会　２月１２日㈬　中公３－２
⑫	３月１９日(水)	中央公民館	【地域情報発信】第二地区 【協議事項、報告事項、その他】 ・令和７年度公民館長会役員(案)について ・令和７年松本市議会２月定例会について ・今後の日程及び令和７年度公民館長会の予定について ・令和７年度長野県公民館長会総会並びに研修会について ・公民館スマートロック(デジタル鍵)について ・退任館長あいさつ 【研　修】 ・令和６年度振り返り　グループワーク
		ホール	理事会　３月１１日㈫　中公３－２

⑴　地区公民館で実施の場合、地区情報発信を開催公民館館長が行う。
　　中央公民館で実施の場合、持ち回りで地区情報発信を行う。
⑵　会場について駐車場等の関係で物理的に開催が困難な場合は、中央公民館を会場とする。
⑶　県公民館運営協議会関係
　　県公民館長総会並びに研修会大会（松川町中央公民館「えみりあ」）５月８日㈬４０人乗バス－特大車－(松本200は287)
　　演題「地域づくりをめざす公民館への期待」(原義彦氏・東北学院大学教授)

令和６年度　松本市公民館主事会　事業報告

１　公民館主事研修会

公民館主事研修会として全 22 回開催し、延べ 609 人が出席した。各回の内容は次のとおり

回	日時・会場	出席者	研　修　内　容
1	4/11(木) 13:30～17:00 中央公民館	45	テーマ：「令和６年度　公民館主事会の運営等及び研修計画について」 １　自己紹介 ２　令和６年度中央公民館重点目標について（廣田中央公民館長） ３　協議事項・役員選出 ⑴　令和６年度役員の選出及び事務局の任命 ⑵　令和５年度主事会事業報告及び会計報告 ⑶　令和６年度公民館主事会の運営等について ４　事務連絡 ⑴　中央公民館事務分担表について ⑵　令和６年度予算について ア　公民館管理運営費 イ　公民館講座事業費 ウ　公民館職員のための会計事務の手引き ⑶　コミュニティスクール事業 ⑷　町内公民館に関わる業務について ⑸　公民館委員報償費について ⑹　防火管理講習について ⑺　令和６年度　松本市小中学校環境教育支援事業について ⑻　全国市長会市民総合賠償補償保険について ⑼　公民館総合補償制度対応手順について
2	4/下旬 ブロック研修会	35	テーマ：今年度の主事研修会で取り扱う内容・テーマの提案 各ブロックでそれぞれ担当する回の主事研修会の企画を検討する。
3	5/9(木) 13:30～17:00 中央公民館	33	テーマ：「主事会プロジェクト」「貸館の基礎知識」 １　研修趣旨 ⑴　背景 公民館がどのようにして設置されたかを知らないまま、社会教育法の解釈を誤り、間違った貸館事業を行い、のちにトラブルとなる事例がある。利用者の自由で自主的・積極的な活動を保障するために、社会教育法その他関係法令や通達などを理解し、公民館が最大限利用されるよう運営する必要がある。また、松本市公民館条例等を読み解き、減免・有料の判断について理解する。 ⑵　目的 公民館のあるべき姿を考え、社会教育法その他関係法令・条例等を理解し、貸館の判断ができる主事を目指す。 ２　事務連絡・協議事項 ⑴　松本市食育推進計画について(健康づくり課) ⑵　令和６年度後期庁用バスの予約について(庁用バス調整担当) ⑶　デジタル活用支援事業報償費について(生涯学習課) ⑷　「まつもと日和」の上映について(生涯学習課) ３　主事会プロジェクト ⑴　プロジェクト概要、令和５年度実施報告 ⑵　令和６年度方針 ４　研修 「貸館の基礎知識」 ５　地区情報発信（白板地区）

回	日時・会場	出席者	研　修　内　容
4	5/23(木) 13:30～17:00 中央公民館	29	テーマ：「経験者に学ぶ公民館・地域づくりセンター　それぞれの地域づくり」 1　研修趣旨 ⑴　背景 「主事会」と一口に言っても、経験年数や環境はさまざま。新任主事は貸館等の実務に戸惑う以上に「公民館」「地域づくり」という未経験の業務を戸惑いながらも進めはじめているこの時期に、豊かな経験をもつ先達の経験談から公民館主事として進んでいくヒントをそれぞれに得る機会を持ちたい。 ⑵　目的 廣田中央公民館長が島立公民館、中央公民館、地域づくり課と、それぞれの地域づくりの現場での経験、学んだこと、主事たちに伝えたいことをお話しいただき、主事としての経験年数・環境が異なる（新任・数年・ベテラン・復帰組）主事たちのグループワークでそれぞれが廣田館長の話をどう受け止めたのか、どの話を自分の糧としていきたいのかを振り返りながら共有する。 2　研修 「中央公民館長講和」 3　主事会プロジェクト　チームミーティング ⑴　貸館課題検討チーム ⑵　プロジェクトチーム 4　事務連絡・協議事項 ⑴　事業協力について(人権共生課) ⑵　イベント用リユース食器導入事業について(生涯学習課) 5　地区情報発信(城東地区)
5	6/13(木) 13:30～17:00 奈川文化センター 夢の森	29	テーマ：「令和5年度　未来へつなぐ私たちのまちづくりの集いの世話人の“動き”の評価検証」 1　研修趣旨 ⑴　背景 未来へつなぐ私たちのまちづくりの集い実行委員会には、分科会運営委員会が組織され、公民館主事が世話人として位置づけられ、各分科会の事務局を担い、運営している。 担当する分科会の決め方は、本人が希望するテーマを選択する方法や、経験年数の長短が平準化するように割り振る方法等、前年度の公研集会の改善に向け、様々な工夫がされてきた。 令和５年度は、経験年数の長短が平準化するように割り振ったことに加え、世話人の役割（リーダー、副リーダー、庶務、広報係等）を付す方法とした。しかしながら、各役割に求められている明確な業務内容が共有されないまま、分科会運営委員会が展開され、自らの役割を果たせたのか半信半疑なまま、公研集会を終えた。 令和６年度の公研集会は、令和５年度の反省からも、早めにスタートを切ることが求められており、運営方法の議論を進めなければならない状況にある。また、一般的に、達成感を感じにくい業務は、モチベーションの低下が懸念され、世話人（公民館主事）も例外ではないとの様子がうかがえる。集会を通して、取り扱い事例の自分の地区への生かし方等、学ぶ点が多いことを再度、認識する必要がある。 ⑵　目的 主に以下の点を狙い、令和５年度の公研集会を振り返る。 ア　世話人（特に新任主事）としての公研集会への関わり方を共有する。 イ　世話人の“動き”についての評価検証を行い、実態を把握する。 ウ　経験年数の長短が平準化するように割り振ったことに加え、世話人の役割を付した効果を整理する。 エ　令和６年度の公研集会の開催方法等を検討するための土台を作る。 2　事務連絡・協議事項 ⑴　長野県公民館職員録について(事務局) ⑵　長野県公民館報関係者研修会について（事務局ほか） ⑶　松本市公民館条例施行規則の一部改正について(生涯学習課)

回	日時・会場	出席者	研　修　内　容
			3　研修 「令和５年度未来へつなぐ私たちのまちづくりの集いの振り返り」 4　主事会プロジェクトチームミーティング ⑴　ＩＣＴ・動画チーム ⑵　町内公民館振興業務チーム ⑶　他部局連携チーム 5　地区情報発信（安曇地区）
6	6/22(土) 10:30～15:00 松南地区公民館	32	令和６年度長野県公民館報関係者研修会 1　研修趣旨 ⑴　公民館報や地区広報誌の意義や役割に対する理解を深め、読みやすく親しみのある公民館報づくりの手法について学びあう。 ⑵　長野県公民館報関係者研修会を第６回松本市公民館主事研修会に位置付けるもの 2　研修 ⑴　講演会テーマ：「地域誌の役割と取材方法」 講師：株式会社市民タイムス特別編集委員　花岡　明生　氏 ⑵　分科会 ア　第１分科会「紙面編集の基本のき」 イ　第２分科会「若年層に向けた効果的な情報発信」 ウ　第３分科会「題材選びについて」 エ　第４分科会「掲載したくなる写真のポイント」
7	7/11(木) 14:00～17:00 鎌田地区公民館	24	テーマ：「公民館委員活動を通じた住民による主体的な自治活動への参画」 1　研修趣旨 ⑴　背景 市公民館条例施行規則に基づき、公民館運営への住民参画を実現するため、各地区公民館では公民館委員会を設置している。地域拠点として住民が主体となり、幅広い世代・立場の地域住民が公民館運営に携わることは、住民の自治意識の向上につながるものと考えられる。 一方で、地区や部門によって委員会運営上の課題は多く、本来の意義とかけ離れた状況に悩んだり、住民による主体的な地域づくりへの発展に苦慮したりする公民館主事も多い。 ⑵　目的 公民館委員会の原点に立ち返りながら委員会活動の運営について見つめ直すきっかけとし、公民館主事として自館の今後の委員会への働きかけや公民館委員とのつながりを改めて考える機会とすることを目的とする。 2　事務連絡・協議事項 ⑴ 地元の元気プロジェクト、ＭＹ定期講座について(明治安田生命) ⑵ 冷暖房料金の収納事務について(生涯学習課) ⑶ 社会教育実習生の受入れ状況について(生涯学習課) ⑷ 上田市ＦＤＷＳ、社会教育研究全国集会、県公民館大会について(事務局) 3　研修 「公民館委員活動を通じた住民による主体的な自治活動への参画」 4　貸館課題検討チームミーティング
8	7/25(木) 13:30～17:00 松本市立博物館	22	テーマ：「博物館の仕事を知ろう！」 1　研修趣旨 ⑴　背景 主事会プロジェクトとして他部局連携チームが活動しており、図書館・博物館との連携は強まってきているものの、それぞれが日頃どのような業務をしているかは不明確なままとなっている。今後、さらなる連携の強化に向けて、表面的な事業だけでなく、その内側についても理解していく必要がある。 ⑵　目的

回	日時・会場	出席者	研　修　内　容
			博物館の業務内容や展示物についての説明を受け、博物館が存在する目的とその活用方法や、公民館との今後の協力体制を考える場とする。 また、今後の連携した活動を増やしていくことに向けた交流のきっかけとする。 2　地区情報発信（内田地区） 3　中央公民館長からの情報発信 4　研修 「博物館の仕事を知ろう！」
9	8/上旬 ブロック研修会	35	テーマ：下半期の主事研修会で取り扱う内容・テーマの提案等 下半期の研修テーマ、まちづくりの集い等について検討する
10	8/22(木) 15:00～17:00 中央公民館	29	テーマ：「公民館業務における会計事務について」 1　研修趣旨 ⑴　背景 公民館は地区ごとに行事や施設管理等の業務が多岐にわたるが、業務上覚えることが多い。円滑な業務遂行が求められるが、地区ごとの業務に特色もあり必要な知識を取捨選択するにも時間を要する。 ⑵　目的 会計課を講師として、公民館側の疑問点を解説してもらう。また、担当課側で把握している公民館側でよくある間違いやお願いしたい事柄を共有し、主事全体のスキルアップにつなげる。 2　地区情報発信（入山辺地区） 3　事務連絡・協議事項 ⑴　令和６年度社会教育主事講習【B】について（事務局） ⑵　冷暖房使用料の納付書払いに係るマニュアルについて（事務局） 4　研修 「公民館業務における会計事務について」 5　主事会プロジェクトミーティング ⑴　貸館課題検討 ⑵　プロジェクト
11	9/12(木) 13:30～17:00 和田公民館	27	テーマ：「クラフトのまち」の推進に向けて 1　研修趣旨 ⑴　背景 松本市総合計画（６－６地域特性を活かした新産業の創出）には、「松本は『クラフトのまち』という、本市の強みを更に高めるため、芸術家の創作活動・作品発表の場の提供による『工芸の五月』の日常化を目指す」という記述があるが、工芸の五月の事業は中心市街地で行われるものがほとんどで、市内に面的な広がりがなく、既存のファン層以外へのアプローチに課題がある。 ⑵　目的 ＮＰＯ法人松本クラフト推進協会の協力を得て、市内で開催されたクラフト作家によるワークショップ等の事例を紹介してもらい、地区公民館事.業との連携の可能性を探る。 2　事務連絡・協議事項 ⑴　公民館使用許可判断要領案の精査等について(貸館課題検討チーム) ⑵　松本市公民館運営審議会について（生涯学習課） 3　地区情報発信(島立地区) 4　研修 「クラフトのまちの推進に向けて」 5　主事会プロジェクトミーティング ⑴　貸館課題検討
12	9/20(木) 駒ヶ根総合文化センター	22	第 72 回長野県公民館大会 1　全体会 ⑴　講演会「ふるさとをつくる公民館～誰もが担い手の社会のために～」

回	日時・会場	出席者	研　修　内　容
			講師：東京大学大学院教育学研究科教授　牧野　篤　氏 ⑵　実践発表「(東伊那盛り上げ隊）×（わくわく道場）＝☺ 」 発表者：駒ヶ根市東伊那公民館主事　竹村　真奈美　氏 ２　分科会 第１分科会「公民館が地域の伝統技能をつなぐ」 第２分科会「情報機器を活用して遠隔参加で学ぶ公民館の可能性を探る」 第３分科会「公民館が地域づくりと子どもたちの活躍を結ぶ」 第４分科会「公民館、これからどうする？（どうなりたい？)」 第５分科会「中学生・高校生と地域のつながりをつくる公民館」 第６分科会「文化財・地域資源を活用した公民館活動」 第７分科会「公民館子ども向け講座の拡充」 第８分科会「村民運動会に替わるイベントとは？」 第９分科会「住民いきいき公民館活動のすすめ」
13	10/10(木)		公民館主事アンケート・主事図鑑の作成 各地区行事の繁忙期のため中止とし、代替企画として公民館主事アンケートを実施。主事図鑑を作成
14	11/28(木) 13:00～17:00 東御市中央公民館	20	令和６年度長野県公民館主事研修会(全体会) １　全体会（パネルディスカッション） 「よくばりなパネルディスカッション」 モデレーター：県主事会副幹事長 朝倉 光貴 主任（松本市第一地区公民館） パネリスト：古林 一房 係長（小川村公民館） 原澤 利明 館長（東御市公民館） 大蔵 邦之 係長（安曇野市中央公民館） 大野 史耶 主事（下条村公民館） ２　分散会
15	11/29(木) 9:00～12:00 東御市中央公民館	24	令和６年度長野県公民館主事研修会(分科会) １　分科会（４分科会） ②　「公民館の基礎知識を学ぶ」 ②「公民館のミライへＧＯ！みんなでワイワイ、新しい発見♪」 ③「公民館の主事の役割って何？」 ④「地域の繋がりと盆踊り大会」
16	12/上旬 ブロック研修会	35	テーマ：ブロックごとにテーマ設定し研修を実施。 各ブロックでそれぞれ担当する回の主事研修会の企画を検討。
17	12/26(木) 13:30～17:00 中央公民館	31	テーマ：「ｅスポーツ体験会」 １　研修趣旨 ⑴　背景 公民館は地域住民の交流の場であるが、社会情勢の変化に伴い、地域の行事の縮小・終了による地域内や世代間の交流減少が進んでいる。 また、デジタルコンテンツの発展により、先進的なツールを活用したコミュニケーションの拡大が期待されるが、取り組み方法が分からないなどの課題が現れている。そのため、多世代交流の新たな居場所として公民館を拠点とし、ｅスポーツを通して地域交流や健康増進を図る。 ⑶　目的 ア　高齢者へのｅスポーツ体験会や学校に行きづらい（不登校傾向）児童の居場所づくりにｅスポーツを活用している事例から、ｅスポーツを通じた交流活性化の手法を学ぶ。 イ　イベントを主催する立場という共通点から、イベントを盛り上げる手法を学ぶ。 ウ　イベントを開催する立場として、著作権等に配慮し、法的に問題のない会の運営方法を学ぶ。 ２　事務連絡・協議事項 ⑴　令和６年度松本市議会 12 月定例会の公民館に関連する一般質問について（廣田中央公民館長）

回	日時・会場	出席者	研　修　内　容
			⑵　満蒙開拓平和記念館「自治体パートナーweek」のご案内(平和推進課) ⑶　町内公民館振興業務委託料計画書の計画変更について（生涯学習課） ⑷　部活動地域移行について（生涯学習課） ３　地区情報発信（岡田地区） ４　研修 「ｅスポーツ実践事例研修、ｅスポーツ体験」 ５　主事会プロジェクトミーティング
18	1/9(木) 13:30～17:00 今井公民館	27	テーマ：「若者が大志を抱けるまちづくり」 １　研修趣旨 ⑴　背景 「地域に若者の居場所を作ってほしい」との市民の声を受け、令和６年８月より、若者の利用が見込まれる７つ（第三・城東・白板・庄内・島内・芳川・寿）の地区公民館にフリースペースを開設した。 若者が地域とつながるきっかけづくりとして、35 地区への拡大を目指していることから、若者の学び・交流の場づくりについて、開設方法や地域特性を加味し、地区の特徴を捉えた公民館主事の視点で考える必要がある。 ⑵　目的 小中学校の長期休業にあわせて開放している 29 地区を含め、現状と課題を整理し、今後の利用拡大を目指す。さらに、地域団体等とのつながりを模索し、地域に合った場づくりへのヒントを探る。 ２　地区情報発信（今井地区） ３　事務連絡・協議事項 ⑴　全国公民館報コンクールの結果について（中央公民館） ⑵　公民館利用者とのトラブルについて(中央公民館) ４　研修 「フリースペース事業について」
19	1/23(木) 13:30～17:00 庄内地区公民館	28	テーマ：「公民館職員として“もしもの災害”に備える」 １　研修趣旨 ⑴　背景 豪雨や地震などの災害によって、公民館が避難所として開設された場合には、公民館職員が率先して避難所の運営に関わることが求められる。そこで、避難所運営時の対応手順を十分に把握し、災害発生時でも冷静に対応にあたるための実践的な知識を職員が備える必要がある。また、災害発生を想定した防災講座などを通じて、地域住民と共に地域の防災力を高めていくことが欠かせない。 ⑵　目的 ア　避難所開設の手順や公民館職員の役割を理解する。 イ　住民と共に適切な避難所運営を図るために必要な考え方を理解する。 ウ　各地区での防災に関する取組み状況を共有し、公民館を中心とした地域での防災に関する取組みを促進する。 ２　事務連絡・協議事項 ⑴　令和６年度公民館事業見直し結果調査について（生涯学習課） ３　研修 「避難所開設の手順、職員の役割について、避難所運営ゲーム体験」 ４　地区情報発信（庄内地区）
20	2/6(木) 13:30～17:00 中央公民館	28	テーマ：「どうなる？部活動の地域移行～地区公民館にできること～」 １　研修趣旨 ⑴　背景 令和４年２月に策定された松本市教育大綱「子どもが主人公 学都松本のシンカ」において、「子どもを主人公とし、その学びを地域社会全体で支えること」を理念に掲げている。令和５年６月には「松本市学校部活動の地域クラブ活動への移行検討協議会」が設置され、議論が重ねられている。部活動の地域移行を切り口に、子どもの「やってみたい」を多様な主

回	日時・会場	出席者	研　修　内　容
			体で応援するとはどういうことなのか、公民館がどんな役割を果たせばよいかを考える機会とする。 ⑵　目的 部活動の地域移行について現状、課題を把握し、地区公民館が取り組めることを検討する。 2　事務連絡・協議事項 ⑴　アーティストバンクまつもとメッセ 2025 の周知について(生涯学習課) ⑵　まちづくりの集いの事前準備・リハーサルについて（事務局） ⑶　中学生が参加可能な公民館利用団体の調査について（生涯学習課） 3　地区情報発信(松原地区) 4　研修 「部活動の地域移行について」
21	3/13(木) 13:30～17:00 鎌田地区公民館	24	テーマ：「令和６年度の振り返りとこれから～まちづくりの集いの振り返りを中心に～」 1　研修趣旨 ⑴　背景 年度末を控え、それぞれの業務のまとめと新年度の準備を進める時期。見落としがないか、よりスムーズに新年度の業務に移行するための事務的なポイントを整理し、新年度を前向きに迎える準備の一助とする。 “まちづくりの集い”を「各地区の活動にフィードバックできることを探し合う機会の提供」と捉え、グループワークを通じて①各分会の実際の内容、進め方等々を振り返り　②分科会ごとにリーダー・サブリーダー等の役割を割り振って負担の分散を図っており、この手法についての評価・改善点の有無も検討したい。 ⑵　目的 とかく「やりっぱなし」と言われがちな事業・活動をそれぞれが振り返り、自分なりの「まとめ」をすることで、次年度以降の活動を展望していく。 2　事務連絡・協議事項 ⑴　令和年度松本市議会２月定例会の公民館に関する一般質問について（廣田課長） ⑵　スポーツ施設の予約受付事務等について（スポーツ施設整備課） ⑶　令和６年度事務概要報告書の作成について（生涯学習課） 3　研修 「令和６年度の振り返りとこれから～まちづくりの集いを中心に～」 4　主事会プロジェクトミーティング
22	3/21(木) 13:30～17:00 波田公民館	30	テーマ：「令和6年度主事会プロジェクト・貸館課題検討チームの総括、令和7年度の主事研修会に向けて」 1　研修趣旨 ⑴　背景 主事会プロジェクトは昨年度から、貸館検討チームは今年度から原則全員が参加して進めているが、今年度の各活動の内容、活動状況、課題について主事会全体で共有し、来年度以降の方向性について検討する必要がある。 ⑵　目的 主事会プロジェクト・貸館検討チームの活動状況を報告するとともに主事会全体からの意見を集約することで活動の見直しや今後の方向性を検討する。また、主事会全体についても検討し、来年度以降の実施に引き継ぐ。 2　事務連絡・協議事項 ⑴　まつもと市民カード（施設予約専用）の廃止とそれに伴う対応について（ＤＸ推進本部） ⑵　団体登録に係る指針についての情報共有(生涯学習課) ⑶　松本市公民館報全市版編集委員の活動について（生涯学習課） ⑷　公民館のスマートロック（デジタル鍵）について（生涯学習課）

回	日時・会場	出席者	研　修　内　容
			3　地区情報発信(波田地区) 4　社会教育主事講習受講者の研修報告・質疑応答 5　研修 「令和6年度主事会プロジェクト・貸館課題検討チームの総括、令和7年度主事研修会に向けて」

2　幹事会

全１２回の定例幹事会を開催し、主事研修会の企画等を協議・検討した。

【毎月第 1 火曜日 15 時～　対面実施】

＜主な協議事項＞

4/4	令和６年度の主事会・幹事会の運営等	10/1	主事研修会企画
5/7	主事研修会(前期)企画	11/5	主事研修会企画
6/4	主事研修会企画	12/3	主事研修会企画
7/2	主事研修会企画	1/7	主事研修会企画
8/6	主事研修会企画、主事研修会(後期)企画	2/4	主事研修会企画
9/3	主事研修会企画	3/4	主事研修会企画、令和 7 年度の主事会計画案

3　県・中信公運協関係、合同研修会など

⑴　5/ 8　令和６年度長野県公民館主事総会　書面開催。令和４年度から総会と主事会を別開催

⑵　8/23　令和６年度中信地区公民館運営協議会館長・主事等視察研修会
（サントリー天然水　北アルプス信濃の森工場／マルコメ美麻高原蔵）

⑶　9/20　第 72 回長野県公民館大会
（駒ヶ根総合文化センター／兼第 12 回主事研修会）
※詳細は 338 ページ～ 339 ページ参照

⑷　11/28、29　長野県公民館主事研修会(11/29 中信地区分科会担当)
（東御市中央公民館／兼第 14、第 15 回主事研修会）
※詳細は 339 ページ参照

⑸　2/16　未来へつなぐ私たちのまちづくりの集い
～第４０回公民館研究集会　令和６年度地域づくり市民活動研究集会～
中央公民館(全体会及び分科会)及び笹賀会場・第三地区会場（分科会）で実施
※詳細は 21 ページ（中央公民館事業報告）参照

4　その他（親睦事業など）

歓送迎会・暑気払い・忘年会を企画し、適宜開催

参　考　資　料

令和６年度公民館等連絡先一覧表

R6.10.1現在

No.	館名	館長等	公民館主事等	センター長(館課長)	電話番号	内線	FAX番号	郵便番号	所在地	担当地区
1	中央	廣田 圭男			32−1132	56200	37−1153		(南棟)	
		(社会教育推進担当)	土屋 浩昭			56201		390-0811	中央 1−18−1	
			上嶋 秀俊			56201			(北棟)	
			小岩井 一樹			56202		〃	中央 1−23−2	
			浅井 勇太			56202				
			合津 朋実			56212				
			矢嶋 美智子			56212				
			藤澤 智恵美			56212				
			寺社下 奈央			56204				
			清水 春生			56204				
			今福 良夢			56203				
		(施設整備担当)	中野 浩二			56211				
			酒井 謙一			56212				
			伊藤 雄太			56211				
2	第一地区	水野 範明	朝倉 光貴	中村 史子	32−1550	56405	32−1550	390-0811	中央 1−18−1 Mウイング4F	第一
3	第二地区	早坂 義導	栗田 幸信	臼井 美保	39−3601		39−3602	390-0814	本庄 2−3−23	第二
4	第三地区	武井 保典	深澤 佐恵	三村 恵美	36−7040		35−6344	390-0811	中央 4−7−28	第三
5	東部	小澤 佐智浩	降旗 一博	加藤 尚子	36−8565		36−8551	390-0806	女鳥羽 2−1−25	東部
6	城北	小岩井 成人	村田 美鈴	堀 敬子	38−0120		38−0121	390-0876	開智 2−3−39	城北
7	大手	遠藤 彰	中條 克明	宇留賀 真理子	39−5711		39−5712	390-0874	大手 3−8−1	中央
8	安原地区	藤野 一男	奥原 直弥	波多腰 秀美	39−0701		39−0702	390-0802	旭 2−11−13	安原
9	城東	瀧澤 和子	小林 弘幸	田中 治	34−0191		34−0192	390-0803	元町 3−7−1	城東
10	白板地区	内藤 哲夫	片桐 史門	村田 誠司	35−7740		36−5497	390-0875	城西 1−6−17−3	白板
11	田川	荻原 しほみ	瀧川 航平	永瀬 幸道	27−3840		27−3841	390-0841	渚 3−2−7	田川
12	庄内地区	梶山 三男	小林 大	中野 由佳	24−1811		24−1812	390-0827	出川 1−5−9	庄内
13	鎌田地区	小嶋 和好	髙山 美空	熊井 理英	26−0206		27−2957	390-0848	両島 5−50	鎌田
14	松南地区	川上 正彦	伊藤 貴浩	金井 稔	26−1083		25−5337	399-0002	芳野 4−1	松南
15	島内	上條 光司	中條 陽	勝家 隆	47−0264		40−1264	390-0851	島内 4970−1	島内
16	中山	鈴木 幹夫	宇治 樹	金山 博文	58−5822		85−1016	390-0823	中山 3746−1	中山
17	島立	伊藤 悦夫	丸山 直紀	伊藤 和宏	47−2049		40−1258	390-0852	島立 3298−2	島立
18	新村	新村 芳男	塩原 航	忠地 智司	48−0375		40−1625	390-1241	新村 2179−7	新村
19	和田	窪田 潔	北澤 圭祐	村山 佳子	48−5445		40−1259	390-1242	和田 2240−31	和田
20	神林	丸山 勝久	丸山 貴大	伊藤 裕明	58−2039		85−1159	390-1243	神林 1557−1	神林
21	笹賀	大槻 研一	矢口 竜也	藤牧 啓吾	58−2046		85−1146	399-0033	笹賀 2929	笹賀
22	芳川	永田 幸彦	碇 浩平	中井 香保里	58−2034		85−1057	399-0034	野溝東 2−10−1	芳川
23	寿	久保田 文章	丸山 稜雅	羽田野 千帆	58−2038		85−1099	399-0021	寿豊丘 424	寿
24	寿台	坂井 久吉	小山 高志	中嶌 弘美	58−6561		86−7964	399-0021	寿豊丘 649−1	寿台
25	松原地区	河内 正弘	阿部 優磨	牛丸 尚久	57−2322		85−3103	399-0022	松原 39−1	松原
26	岡田	深井 久仁彦	田中 貢治	山岸 清治	46−2313		45−1001	390-0315	岡田町 517−1	岡田
27	入山辺	小笠原 鉄夫	斉川 史徳	柏原 せつ子	32−1389		37−0258	390-0222	入山辺 1509−1	入山辺
28	里山辺	小幡 泰俊	市橋 佑磨	宮澤 正起	32−1077		37−0640	390-0221	里山辺 2943−1	里山辺
29	今井	上條 泰正	赤羽 絵美	板花 賢治	59−2001		59−1004	390-1131	今井 2231−1	今井
30	内田	丸山 明良	保科 黄	武井 義正	58−2494		85−1071	399-0023	内田 2203−1	内田
31	本郷	乾 由理子	宮下 慶祐	倉田 和昭	46−1500		45−1014	390-0303	浅間温泉 2−9−1	本郷
32	四賀	花村 憲二	浅沼 喜之	降旗 みゆき	64−3112	34105	64−2933	399-7402	会田 1001−1	四賀
33	安曇	大野 修	羽田 大樹	大野 晃永	94−2301	35121	94−2918	390-1520	安曇 1061−1	安曇
34	奈川	忠地 愛男	奥原 美鈴	奥原 喜照	79−2121	3621	79−2903	390-1611	奈川 3301	奈川
35	梓川	西牧 和夫	安藤 ひかり	二木 玲子	78−3000	33116	78−3942	390-1792	梓川梓 2288−3	梓川
36	波田	麻田 仁郎	小松 一成	平林 正隆	92−2268	37171	92−7111	390-1401	波田 4417−1	波田

あがたの森	木下 守	福沢 佳典		32−1812	2470	33−9986	390-0812	県 3−1−1	
青少年ホーム	永井 康太郎	小船井 彩乃		26−1083		25−5337	399-0002	芳野 4−1	
池上百竹亭	指定管理者			32−0141		32−0141	390-0873	丸の内 10−31	
ふれあいパーク乗鞍	指定管理者			93−1122		93−1122	390-1507	安曇 4855−100	

令和７年度公民館等連絡先一覧表

R7 7.1時点

No.	館名	館長等	公民館主事等	センター長(館課長)	電話番号	内線	FAX番号	郵便番号	所在地	担当地区
1	中央	廣田 圭男			32−1132	56200	37−1153		(南棟)	
		(社会教育推進担当)	小嶋 克巳			56201		390-0811	中央 1−18−1	
			上嶋 秀俊			56201			(北棟)	
			浅井 勇太			56202		〃	中央 1−23−2	
			合津 朋実			56212				
			矢嶋 美智子			56212				
			藤澤 智恵美			56212				
			寺社下 奈央			56204				
			今福 良夢			56203				
			中村 香奈			56204				
		(施設整備担当)	横山 宗功			56211				
			酒井 謙一			56212				
			伊藤 雄太			56212				
			村井 瑞規			56212				
2	第一地区	降簱 清人	朝倉 光貴	長澤 靖	32−1550	56405	32−1550	390-0811	中央 1−18−1 Mウイング4F	第一
3	第二地区	早坂 義導	栗田 幸信	金田 光弘	39−3601		39−3602	390-0814	本庄 2−3−23	第二
4	第三地区	青木 宏元	髙波 佐恵	三村 恵美	36−7040		35−6344	390-0811	中央 4−7−28	第三
5	東部	小澤 佐智浩	降旗 一博	加藤 尚子	36−8565		36−8551	390-0806	女鳥羽 2−1−25	東部
6	城北	小岩井 成人	村田 美鈴	堀 敬子	38−0120		38−0121	390-0876	開智 2−3−39	城北
7	大手	遠藤 彰	小林 泰	中村 史子	39−5711		39−5712	390-0874	大手 3−8−1	中央
8	安原地区	藤野 一男	奥原 直弥	村田 誠司	39−0701		39−0702	390-0802	旭 2−11−13	安原
9	城東	橋本 眞一	小林 弘幸	中野 浩二	34−0191		34−0192	390-0803	元町 3−7−1	城東
10	白板地区	内藤 哲夫	武本 健太郎	佐野 進	35−7740		36−5497	390-0875	城西 1−6−17−3	白板
11	田川	荻原 しほみ	瀧川 航平	小沢 啓一	27−3840		27−3841	390-0841	渚 3−2−7	田川
12	庄内地区	梶山 三男	飯ヶ濵 功	中野 由佳	24−1811		24−1812	390-0827	出川 1−5−9	庄内
13	鎌田地区	小嶋 和好	田中 瑞恵	熊井 理英	26−0206		27−2957	390-0848	両島 5−50	鎌田
14	松南地区	川上 正彦	大石 健爾	高野 朱見	26−1083		25−5337	399-0002	芳野 4−1	松南
15	島内	上條 光司	中條 陽	山本 茂	47−0264		40−1264	390-0851	島内 4970−1	島内
16	中山	鈴木 幹夫	宇治 樹	金山 博文	58−5822		85−1016	390-0823	中山 3746−1	中山
17	島立	百瀬 也寿之	丸山 直紀	波多腰 秀美	47−2049		40−1258	390-0852	島立 3298−2	島立
18	新村	手塚 剛	増澤 賢	金井 稔	48−0375		40−1625	390-1241	新村 2179−7	新村
19	和田	窪田 潔	北澤 圭祐	奥原 恵子	48−5445		40−1259	390-1242	和田 2240−31	和田
20	神林	丸山 勝久	羽田 大樹	村山 佳子	58−2039		85−1159	390-1243	神林 1557−1	神林
21	笹賀	大槻 研一	矢口 竜也	藤牧 啓吾	58−2046		85−1146	399-0033	笹賀 2929	笹賀
22	芳川	永田 幸彦	碇 浩平	中井 香保里	58−2034		85−1057	399-0034	野溝東 2−10−1	芳川
23	寿	久保田 文章	丸山 稜雅	岡田 健	58−2038		85−1099	399-0021	寿豊丘 424	寿
24	寿台	百瀬 康弘	小山 高志	中嶌 弘美	58−6561		86−7964	399-0021	寿豊丘 649−1	寿台
25	松原地区	河内 正弘	阿部 優磨	長田 由紀子	57−2322		85−3103	399-0022	松原 39−1	松原
26	岡田	深井 久仁彦	田中 貢治	羽田野 千帆	46−2313		45−1001	390-0315	岡田町 517−1	岡田
27	入山辺	百瀬 行敏	斉川 史徳	柏原 せつ子	32−1389		37−0258	390-0222	入山辺 1509−1	入山辺
28	里山辺	手島 学	市橋 佑磨	宮澤 正起	32−1077		37−0640	390-0221	里山辺 2943−1	里山辺
29	今井	上條 泰正	赤羽 絵美	板花 賢治	59−2001		59−1004	390-1131	今井 2231−1	今井
30	内田	梅北 幸男	保科 黄	上條 英輔	58−2494		85−1071	399-0023	内田 2203−1	内田
31	本郷	乾 由理子	宮下 慶祐	倉田 和昭	46−1500		45−1014	390-0303	浅間温泉 2−9−1	本郷
32	四賀	花村 憲二	林 祥平	降旗 みゆき	64−3112	34105	64−2933	399-7402	会田 1001−1	四賀
33	安曇	大野 修	奥原 裕樹	萩原 秀樹	94−2301	35121	94−2918	390-1520	安曇 1061−1	安曇
34	奈川	奥原 広幸	奥原 美鈴	山口 絵美	79−2121	3621	79−2903	390-1611	奈川 3301	奈川
35	梓川	西牧 和夫	安藤 ひかり	二木 玲子	78−3000	33116	78−3942	390-1792	梓川梓 2288−3	梓川
36	波田	麻田 仁郎	小松 一成	平林 正隆	92−2268	37171	92−7111	390-1401	波田 4417−1	波田

あがたの森	木下 守	福沢 佳典		32−1812	2470	33−9986	390-0812	県 3−1−1	
池上百竹亭	指定管理者			32−0141		32−0141	390-0873	丸の内 10−31	
ふれあいパーク 乗鞍	指定管理者			93−1122		93−1122	390-1507	安曇 4855−100	

松本市公民館長理事役員名簿　（H29年度以降）

（敬称略）

役名＼年度		29年度	30年度	令和元年度	2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
会　　長		村山 （島立）	滝澤 （安原）	滝澤 （安原）	柏澤 （芳川）	柏澤 （芳川）	櫻井 （今井）	櫻井 （今井）	藤野 （安原）	川上 （松南地区）
副 会 長		原田 （城東）	百瀬 （四賀）	柏澤 （芳川）	田中正 （城北）	田中正 （城北）	小笠原 （入山辺）	小笠原 （入山辺）	川上 （松南地区）	小嶋 （鎌田地区）
（中央公民館長）		高橋	栗田	栗田	栗田	髙橋	石川	石川	廣田	廣田
理事	中央1	阿部 （第一地区）	宮下 （東部）	早坂 （第二地区）	佐藤 （城東）	赤沼 （第三地区）	水野 （第一地区）	武井 （第三地区）	小澤 （東部）	早坂 （第二地区）
	中央2	髙野 （大手）	田中 （城北）	内藤 （白板地区）	髙野 （大手）	内藤 （白板地区）	藤野 （安原地区）	遠藤 （大手）	小岩井 （城北）	内藤 （白板地区）
	中央3	田中 （鎌田地区）	池上 （田川）	浦澤 （松南地区）	筒井 （庄内地区）	筒井 （庄内地区）	白澤 （松南地区）	小嶋 （鎌田地区）	梶山 （庄内地区）	荻原 （田川）
	河 西	渡辺 （和田）	青木 （梓川）	輪湖 （波田）	上條 （島内）	伊藤 （島立）	新村 （新村）	萩原 （和田）	西牧 （梓川）	麻田 （波田）
	西 南	勝山 （奈川）	藤波 （笹賀）	塩原 （神林）	櫻井 （今井）	百瀬 （安曇）	忠地 （奈川）	山田 （笹賀）	丸山 （神林）	上條 （今井）
	東 南	柏澤 （芳川）	下村 （松原）	百瀬 （寿）	坂井 （寿台）	丸山 （内田）	鈴木 （中山）	柏澤 （芳川）	坂井 （寿台）	河内 （松原地区）
	東 山	百瀬 （四賀）	橋本 （本郷）	冨岡 （岡田）	小幡 （里山辺）	小笠原 （入山辺）	藤松 （四賀）	橋本 （本郷）	深井 （岡田）	花村 （四賀）
監　事		内藤 （白板）	阿部 （第一地区）	田中 （城北）	内藤 （白板地区）	高野 （大手）	丸山 （内田）	水野 （第一地区）	小嶋 （鎌田地区）	小岩井 （城北）
事務局 （中央公民館）		金井	横山	田口	横山	土屋	土屋	土屋	土屋	上嶋
中信公運協		原田 （城東）	百瀬 （四賀）	柏澤 （芳川）	田中正 （城北）	田中正 （城北）	小笠原 （入山辺）	小笠原 （入山辺）	川上 （松南）	小嶋 （鎌田地区）
県公運協		村山 （島立）	滝澤 （安原）	滝澤 （安原）	柏澤 （芳川）	柏澤 （芳川）	櫻井 （今井）	櫻井 （今井）	藤野 （安原）	小嶋 （鎌田地区） 川上 （松南地区）

令和７年度　松本市公民館長会理事等　役職分担表(案)

年度 / 役職名		R２年度		R３年度		R４年度		R５年度		R６年度		R７年度	
		館名	氏名	館名	氏名	館名	氏名	館名	氏名	館名	氏名	館名	氏名
県公運協		芳川	柏澤	芳川	柏澤	今井	櫻井	今井	櫻井	安原地区	藤野	松南地区	川上
										松南地区	川上	鎌田地区	小嶋
長野県男女共同参画審議会										松南地区	川上	松南地区	川上
中信公運協（参与職）		芳川	柏澤	芳川	柏澤	今井	櫻井	今井	櫻井	安原地区	藤野	松南地区	川上
中信公運協（評議員職）		城北	田中	城北	田中	入山辺	小笠原	入山辺	小笠原	松南地区	川上	鎌田地区	小嶋
松本市学校部活動の地域クラブ活動への移行検討協議会 R５～								今井	櫻井	安原地区	藤野	鎌田地区	小嶋
松本市差別撤廃人権擁護審議会（会長職）　同和		芳川	柏澤	芳川	柏澤	今井	櫻井	今井	櫻井	安原地区	藤野	松南地区	川上
部落解放・人権政策確立要求松本市実行委員会委員長 （公民館長会　会長）		芳川	柏澤	芳川	柏澤	今井	櫻井	今井	櫻井	安原地区	藤野	松南地区	川上
“社会を明るくする運動”松本推進委員会（会員）		城東	佐藤	第三地区	赤沼	第一地区	水野	第三地区	武井	寿台	坂井	白板	内藤
平和祈念式典実行委員会		島内	上條	白板地区	内藤	新村	新村	和田	萩原	梓川	西牧	今井	上條
明るい選挙推進協議会 代議員２名 （うち役員候補者１名）	会長職	芳川	柏澤	芳川	柏澤	芳川	柏澤	今井	櫻井	安原地区	藤野	松南地区	川上
		今井	櫻井	白板地区	内藤	奈川	忠地	本郷	橋本	神林	丸山	第二地区	早坂
豊かな環境づくり 松本地域会議 （松本地方事務所環境課）		城東	佐藤	第三地区	赤沼	第一地区	水野	第三地区	武井	寿台	坂井	白板	内藤
教育文化センター 運営委員会		里山辺	小幡	里山辺	小幡	里山辺	小幡	里山辺	小幡	里山辺	小幡	里山辺	手島
松本市青少年健全育成 市民大会実行委員会		里山辺	小幡	庄内地区	筒井	新村	新村	和田	萩原	梓川	西牧	今井	上條
松本市生活簡素化 実行委員会		島内	上條	白板地区	内藤	奈川	忠地	本郷	橋本	神林	丸山	第二地区	早坂
学都松本子ども読書活動推進委員会 R元～		島内	上條	庄内地区	筒井	城北	小岩井	城北	小岩井	城北	小岩井	田川	荻原
まつもと文化遺産保存活用協議会 R4～						新村	新村	新村	新村	庄内地区	梶山	松原	河内
館長会研修担当	①通常研修担当	大手	高野	入山辺	小笠原	松南地区	白澤	笹賀	山田	岡田	深井	波田	麻田
		庄内地区	筒井	島立	伊藤	安原地区	藤野	大手	遠藤	東部	小澤	松原	河内
	②県外研修担当	今井	櫻井	内田	丸山	四賀	藤松	芳川	柏澤	城北	小岩井	四賀	花村
		寿台	坂井	安曇	百瀬	中山	鈴木	鎌田地区	小嶋	庄内地区	梶山	田川	荻原
学都松本推進協議会 事務局会議委員		城東	佐藤	第三地区	赤沼	第一地区	水野	第三地区	武井	寿台	坂井	R６年度末に解散	
館長会・主事会 連絡調整委員		芳川	柏澤	芳川	柏澤	今井	櫻井	今井	櫻井	安原地区	藤野	松南地区	川上
		城北	田中	城北	田中	入山辺	小笠原	入山辺	小笠原	松南地区	川上	鎌田地区	小嶋
監事		白板地区	内藤	大手	高野	内田	丸山	第一地区	水野	鎌田地区	小嶋	城北	小岩井

令和６年度　松本市公民館主事会名簿

ブロック	公民館名	氏名	役職	通算経験年数	幹事長	副幹事長	県公運協理事	県資料刊委員	中信公運協評議員	ブロック幹事	事務局
中公	中央	土屋　浩昭	課長補佐	10							
		上嶋　秀俊	係長	15							
		小岩井　一樹	主査	3							
		浅井　勇太	主査	7							○
		合津　朋実	主任	8							
		矢嶋　美智子	主事	4							
		藤澤　智恵美	主事	1							
		寺社下　奈央	主事	0							
		清水　春生	主事	1							
		今福　良夢	事務員	0							
		中野　浩二	課長補佐	1							
		酒井　謙一	主査補	2							
		伊藤　雄太	主事	3							
中央1	第一地区	朝倉　光貴	主任	4			○				
	第二地区	栗田　幸信	係長	10.5						○	
	第三地区	深澤　佐恵	主任	1		○					
	東部	降旗　一博	主査	1							
	城東	小林　弘幸	主査	1							
中央2	白板地区	片桐　史門	主事	2		○					
	城北	村田　美鈴	主事	0							
	安原地区	奥原　直弥	主任	6							
	大手	中條　克明	主任	6	○					○	
中央3	鎌田地区	髙山　美空	主事	1				○			
	松南地区	伊藤　貴浩	主任	4							
	庄内地区	小林　大	主事	2		○					
	田川	瀧川　航平	主任	3						○	
河西部	島内	中條　陽	主任	4							
	島立	丸山　直紀	主事	0							
	新村	塩原　航	主査	0							
	和田	北澤　圭祐	主事	1						○	
	梓川	安藤　ひかり	主事	1							
	波田	小松　一成	主事	1							
西南部	笹賀	矢口　竜也	主事	2							
	神林	丸山　貴大	主事	2					○		
	今井	赤羽　絵美	主事	0							
	安曇	羽田　大樹	主査	6							
	奈川	奥原　美鈴	主任	2						○	
東南部	芳川	碇　浩平	主事	0							
	寿	丸山　稜雅	主事	1						○	
	寿台	小山　高志	主査	4							
	内田	保科　黄	主任	3							
	中山	宇治　樹	主事	2							
	松原地区	阿部　優磨	主事	0							
東山部	岡田	田中　貢治	主査	3.5							
	里山辺	市橋　佑磨	主事	0							
	入山辺	斉川　史徳	主任	1							
	本郷	宮下　慶祐	主任	0							
	四賀	浅沼　喜之	主事	1						○	

令和７年度　松本市公民館主事会名簿

ブロック	公民館名	氏名	役職	通算経験年数	幹事長	副幹事長	県公運協理事	県資料刊行委員	中信公運協評議員	ブロック幹事	事務局
中公	中央	小嶋　克巳	課長補佐	0							
		上嶋　秀俊	係長	16							
		浅井　勇太	主査	8							
		合津　朋実	主任	9							
		矢嶋　美智子	主事	5							
		藤澤　智恵美	主事	2							
		寺社下　奈央	主事	1							
		今福　良夢	主事	1							
		中村　香奈	事務員	0							○
		村井　瑞規	事務員	0							
		横山　宗功	課長補佐	0							
		酒井　謙一	主査補	3							
		伊藤　雄太	主任	4							
中央1	第一地区	朝倉　光貴	主任	5			○				
	第二地区	栗田　幸信	係長	11.5							
	第三地区	髙波　佐恵	主任	2		○				○	
	東部	降旗　一博	主査	2							
	城東	小林　弘幸	主査	2							
中央2	白板地区	武本　健太郎	主事	0							
	城北	村田　美鈴	主事	1						○	
	安原地区	奥原　直弥	主任	7							
	大手	小林　泰	主査	4							
中央3	鎌田地区	田中　瑞恵	主事	0							
	松南地区	大石　健爾	主事	0							
	庄内地区	飯ヶ濵　功	主事	0							
	田川	瀧川　航平	主任	4		○				○	
河西部	島内	中條　陽	主査	5		○					
	島立	丸山　直紀	主任	1							
	新村	増澤　賢	主事	0							
	和田	北澤　圭祐	主事	2					○		
	梓川	安藤　ひかり	主事	2							
	波田	小松　一成	主事	2						○	
西南部	笹賀	矢口　竜也	主事	3	○						
	神林	羽田　大樹	主査	7							
	今井	赤羽　絵美	主事	1						○	
	安曇	奥原　裕樹	主査	6							
	奈川	奥原　美鈴	主査補	3							
東南部	芳川	碇　浩平	主事	1							
	寿	丸山　稜雅	主事	2							
	寿台	小山　高志	主査	5							
	内田	保科　黄	主任	4							
	中山	宇治　樹	主事	3							
	松原地区	阿部　優磨	主任	1						○	
東山部	岡田	田中　貢治	主査	4.5							
	里山辺	市橋　佑磨	主事	1							
	入山辺	斉川　史徳	主査	2						○	
	本郷	宮下　慶祐	主査	1				○			
	四賀	林　祥平	主任	0							

松本市公民館運営審議会委員名簿

根拠法令等　松本市公民館条例、松本市公民館運営審議会規則
活 動 内 容　館長の諮問に応じ、公民館における各種の事業の企画実施につき調査審議する。

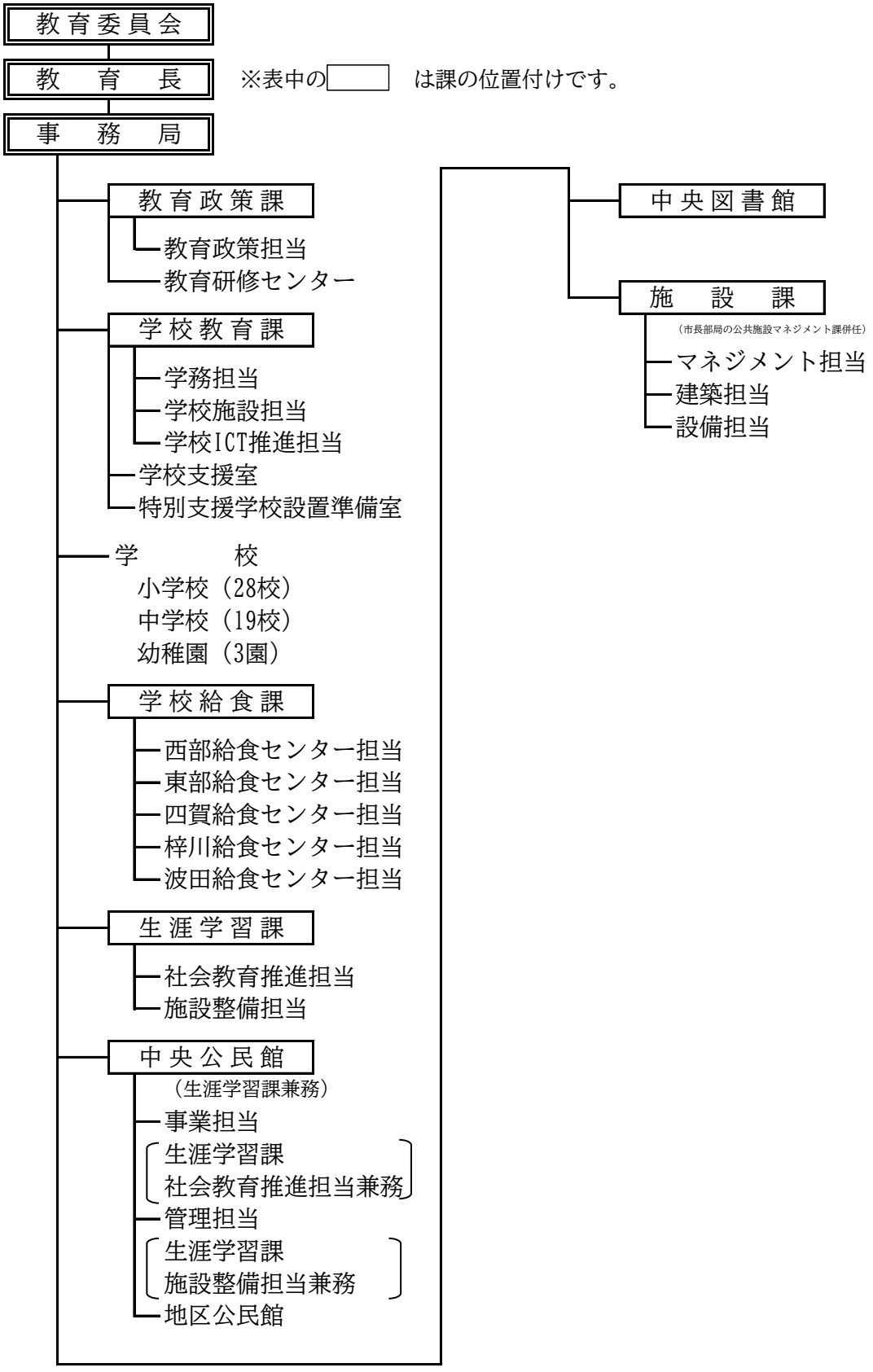
◎委員長　○副委員長

区分		氏　名	所　属　団　体　等
学校教育		安藤　隆子	松本市立今井小学校長
		馬場　英晃	松本市立大野川小･中学校長
社会教育		吉川　篤明	長野県専修学校各種学校連絡会松本支部長
		山岡　京子	愛らんど島内 会長
		原　　薫	株式会社柳沢林業 代表取締役
	○	中田　安子	前　第三地区公民館長
		奥　千津子	松本市町内公民館館長会 事務局長
		中島　麻衣	地域づくり考房「ゆめ」
		宮木　慧美	一般社団法人 KOKO 代表理事
		米田　美優	信州大学 人文学部３年、館報全市版委員
		山口　　茂	公民館報全市版編集委員長
		渡辺　直子	特定非営利活動法人 SOHO 未来塾
家庭教育		矢野　麻美	松本市ＰＴＡ連合会　顧問
		高山　未央	ママフェスまつもと
有識者	◎	大蔵真由美	松本大学　教育学部　准教授
		前田　　豊	信州大学　人文学部　准教授
公募者		松山　紘子	公募

（任期２年：令和７年８月１日から令和９年７月３１日まで）

事務局	廣　田　圭　男	松本市生涯学習課・中央公民館 課長（館長）
	上　嶋　秀　俊	松本市生涯学習課・中央公民館 社会教育推進担当　係長
	浅　井　勇　太	松本市生涯学習課・中央公民館 社会教育推進担当

教育委員会組織図　　（Ｒ７年４月１日）



（附属施設等一覧）

- 教育政策課
  - 教育研修センター
  - 教育文化センター
- 学校教育課
  - 学校支援室
  - 美ケ原少年自然の家
  - 山辺教育支援センター
  - 鎌田教育支援センター
  - 波田教育支援センター
  - 寿教育支援センター
  - オンライン教育支援センター
  - 特別支援学校設置準備室
- 学校給食課
  - 西部学校給食センター
  - 東部学校給食センター
  - 四賀学校給食センター
  - 梓川学校給食センター
  - 波田学校給食センター
- 生涯学習課
  - あがたの森文化会館
  - 同和教育集会所
  - 池上百竹亭
  - ふれあいパーク乗鞍
  - 奈川文化センター夢の森
- 中央公民館
  - 地区公民館
    - 第一地区公民館
    - 第二地区公民館
    - 第三地区公民館
    - 東部公民館
    - 城北公民館
    - 大手公民館
    - 安原地区公民館
    - 城東公民館
    - 白板地区公民館
    - 田川公民館
    - 庄内地区公民館
    - 鎌田地区公民館
    - 松南地区公民館
    - 中山公民館
    - 島内公民館
    - 島立公民館
    - 新村公民館
    - 和田公民館
    - 神林公民館
    - 笹賀公民館
    - 芳川公民館
    - 寿公民館
    - 寿台公民館
    - 岡田公民館
    - 入山辺公民館
    - 里山辺公民館
    - 今井公民館
    - 内田公民館
    - 本郷公民館
    - 松原地区公民館
    - 四賀公民館
    - 安曇公民館
    - 奈川公民館
    - 梓川公民館
    - 波田公民館
  - Mウイング文化センター

- 中央図書館
  - 図書館分館
    - 南部図書館
    - あがたの森図書館
    - 鎌田図書館
    - 寿台図書館
    - 本郷図書館
    - 中山文庫
    - 島内図書館
    - 空港図書館
    - 梓川図書館
    - 波田図書館

社会教育施設

1　松本市あがたの森文化会館

地名を冠した地域の誇り、大正ロマンあふれる木造校舎 市民や同窓生の熱意によって保存された建物は、今も多くの市民の学びの場として愛されています。			
位　　置	松本市県３丁目１番１号	電　話	３２-１８１２
概　　要	あがたの森文化会館は、大正８年に開校した旧松本高等学校校舎の保存と活用のため、昭和５４年に開館しました。大正９年から１１年にかけて建築された本館と講堂は、昭和２５年の松本高等学校廃止後も信州大学の文理学部・人文学部校舎として使用されました。全国的に旧制高等学校の建物が少なくなっている中で、大正時代の木造洋風建築がもっとも良好に保存されているものとされ、学校建築史上貴重な建造物として重要文化財の指定を受けています。 現在は、校舎を文化財として保存するとともに、市民の教育文化活動施設として活用しています。（図書館併設）		
沿　　革	大正　7年　　松本市に高等学校設置決定 大正　8年 4月　　松本高等学校設立、同年９月に松本中学校校舎を仮校舎として開校 大正　9年 8月　　県町（現在地）に校舎（本館）が落成 大正 11年 9月　　講堂が建てられ全校舎落成 昭和 24年 5月　　国立新制大学が発足、信州大学文理学部が設置される（松本高等学校は 25年 3月で廃止）。学部再編後は人文学部校舎となる 昭和 48年 4月　　人文学部が旭キャンパスに移り、校舎は閉鎖される 昭和 52年 3月　　松本市が建物及び敷地の一部を国から買い取り、文化財としての保存と活用を決め、以後施設の補修等実施 昭和 54年 10月　　『あがたの森文化会館』として開館。公民館、図書館を併設 昭和 56年 2月　　本館、講堂が長野県宝に指定される 平成 10～13 年　　講堂　保存修理工事実施 平成 14～17 年　　本館　保存修理工事実施 平成 19年 6月　　本館、講堂が重要文化財に指定される 平成 30～令和 2年　　講堂　耐震補強工事実施 令 和 2～ 5 年　　本館　耐震補強工事実施		
文化財の種別	重要文化財	指定日	平成 19年 6月 18日
名　　称	旧松本高等学校本館・講堂	構　　造	木造２階建て
建物延面積	3,611.11㎡	開　　館	昭和 54年 10月 1日
休　館　日	毎週月曜日、12月 29日～翌 1月 3日、日曜日以外の祝日（月曜日が祝日及び振替休日の場合は月・火曜休館）		

(1)　施設内容

区　　分	部　屋　数	収容人員(人)	面　積（㎡）	備　　考
ホ　ー　ル	1	300	331	
大会議室	4	60～90	454	
中会議室	8	30～45	526	
小会議室	5	15～25	181	

⑵　使用料及び冷暖房料　　（単位：円）

区　分	午　前 9:00~12:30	午　後 13:00~17:00	夜　間 17:30~22:00	午前~午後 9:00~17:00	午後~夜間 13:00~22:00	全　日 9:00~22:00	上段：冷房料 下段：暖房料 （1　回）
ホール	1,780	3,140	4,400	4,670	7,160	8,380	3,240 1,780
大会議室	830	1,040	1,250	1,770	2,170	2,800	1,460 830
中会議室	730	940	1,150	1,580	1,980	2,530	1,460 830
小会議室	520	620	730	1,080	1,280	1,680	— 410

※　冷暖房の１回とは午前、午後、夜間をそれぞれ単位とする

※　企業等が入場料等を徴収しないで使用する場合は２００／１００に相当する額、入場料等を徴収して使用する場合は２５０／１００に相当する額とする

⑶　利用実績

※　令和４・５年度は耐震補強工事に伴い、本館北棟と南棟一部に貸館の制限あり。また、令和５年度は講堂外壁塗装改修工事に伴い、８月～２月に講堂の貸館を制限。

年度	利用者総数（人）	利用総件数（件）	減免団体利用件数（減免団体数）（件）	使　用　料（円）
R4	29,237	3,309	2,809 (218)	2,809,600
R5	29,237	3,335	2,741 (227)	2,540,730
R6	38,865	4,477	3,666 (159)	3,636,490

２　池上百竹亭

呉服商・池上喜作が多くの文化人と交流を深めたゆかりの旧邸。茶道、華道等の生涯学習活動や観光施設としてご活用いただけます。			
位　　置	松本市丸の内１０番３１号	電　話	３２－０１４１
概　　要	故池上喜作氏の遺族から建物の寄贈を受けて、住居、茶室、庭園等を整備し、市民に広く施設の提供を行うことにより、教育文化活動の振興を図っています。 また、松本城近傍の立地条件を活かし、観光施設としての活用に向け検討を進めています。		
開館時間	午前９時～午後９時	敷地面積	1,038.74 ㎡
施設面積（建物）	居　宅　122.60 ㎡ 茶　室　16.52 ㎡	施設面積（庭園）	茶　庭　約 95.75 ㎡ 日本庭園　約 216.00 ㎡
休 館 日	月曜日（国民の祝日に関する法律に規定する休日にあたるときは、当該日以外の休日に当たらない最初の日）、12 月 29 日～翌 1 月 3 日		
管理運営	指定管理者制度を導入 平成 19 年　(社)松本地域シルバー人材センターを指定管理者として管理委託 平成 23～28 年 (一社)梓川ふるさと振興公社を指定管理者として管理委託 平成 29 年～　(公社)松本地域シルバー人材センターを指定管理者として管理委託直営 令和 7 年～　生涯学習施設以外の幅広い活用に向けた検討を進めるため、暫定的に直営による施設管理を実施		

(1)　使用料及び器具使用料　（単位：円）

使用区分	午前	午後	夜間	午前～午後	午後～夜間	全日
上座敷	500	700	900	1,100	1,400	1,800
下座敷	500	700	900	1,100	1,400	1,800
中の間	500	700	900	1,100	1,400	1,800
茶室	3,240	3,240	3,240	6,180	6,180	8,900
ストーブ	1 台 1 回 410 円					

※入場料等を徴収して使用するなど、営利を目的としたご利用の場合

区　分	入場料徴収	営業目的	割増率
上座敷・下座敷 中の間・茶室	×	○	200/100
	○	×	200/100
	○	○	250/100

(2)　利用実績

年度	開館日（日）	利用日（日）	利　用　内　訳（件）				使用料（円）
			公的団体等	文化団体	そ の 他	総　数	
R4	313	204	9	137	109	255	289,240
R5	309	220	26	149	100	275	214,320
R6	309	233	22	135	96	253	151,720

3　ふれあいパーク乗鞍

様々な学習活動に対応した「ふれあいパーク乗鞍」は、周辺の豊かな自然を活用した幅広い学習にご利用いただけます。			
位　　置	松本市安曇４８５５番地１００	電　話	９３－１１２２
概　　要	旧安曇村時代に一般廃棄物最終処分場を当地に建設するにあたり、その影響を少しでも緩和し、地域のコミュニティ形成の一助とする目的で建設されました。		
構　　造	鉄骨造平屋建	敷地面積	11,997 ㎡
施設面積	979.15 ㎡	建設費	318,627 千円
施設内容	多目的ホール、カルチャー教室、調理室、和室、事務室、団らんホール、屋根付広場、自転車置場、駐車場		
竣　　工	平成 15 年 3 月 31 日	開　　館	平成 15 年 4 月 1 日
開館時間	午前 9 時～午後 9 時	休 館 日	12 月 29 日～翌 1 月 3 日
管理運営	・平成 20 年度から指定管理者制度を導入 ・指定管理者　ふれあいパーク乗鞍管理委員会		

⑴　使用料及び器具使用料

区分		単位	金額(円)
施設	多目的ホール	1 日 1 回	1,020
	カルチャー教室		1,020
	畳室		1,020
	調理室		1,020
	全館		5,140
器具	陶芸窯	1 回	3,080
	土練機		1,020
	プロジェクター		1,020
	音響機器（一式）		1,020
	そば打ち道具（一式）		1,020

⑵　利用実績

年度	利用件数（件）			利用者数（人）			使用料（円）
	有料	無料	総数	有料	無料	総数	
R4	8	147	155	141	1,677	1,818	22,950
R5	14	203	217	172	2,596	2,768	18,720
R6	13	241	254	168	2,563	2,731	22,880

4　奈川文化センター夢の森

奈川地区の拠点として、また都市農村交流による活性化促進施設として設置された本施設は、コンベンションホールを活用した芸術･文化活動をはじめ、様々な学習活動にご利用いただけます。			
位　　置	松本市奈川３３０１番地	電　話	７９－２１２１
概　　要	旧奈川村時代に、村の活力低下や山村課題の解決のため、村の風土・文化にふさわしい価値観や自然を最大限に活かした、都会にはないゆとりとふれあいの里を創造していく目的で建設されました。		
構　　造	鉄筋コンクリート造３階建	敷地面積	17,456 ㎡
施設面積	2,448.61 ㎡	建設費	1,199,300 千円
施設内容	コンベンションホール、会議室、調理室・図書室、和室、事務室、視聴覚室、茶室、駐車場		
竣　　工	平成 6 年 6 月	開　　館	平成 6 年 7 月 14 日
開館時間	午前 9 時～午後 9 時	休 館 日	12 月 29 日～翌 1 月 3 日、祝日

⑴　使用料　　（単位：円）

区分	9：00～17：00 （1 時間につき）	17：00～21：00 （1 時間につき）	全日
コンベンションホール	3,300	3,840	33,000
1 階ホール	220	320	2,200
2 階ホール	220	320	2,200
会議室	220	320	3,300
視聴覚室	540	760	7,700
実習室	440	660	5,500
研修室	440	660	5,500
和室	440	660	5,500
全館	5,500	7,700	55,000

※　冷房又は暖房を使用するときは、当該区分の定める額の 130/100 に相当する額

⑵　利用実績

年度	利用件数（件）			利用者数（人）			使用料（円）
	有料	無料	総数	有料	無料	総数	
R4	7	404	411	70	3,402	3,472	2,200
R5	6	681	687	60	3,719	3,779	2,640
R6	3	844	847	30	3,879	3,909	1,540

公民館施設一覧

名　　称	位　　置	沿　　革	公民館 床面積（㎡）
中央公民館	中央1丁目18番1号 (32-1132)	大正6年10月　松本市公会堂として建築 昭和22年4月　松本市公民館として発足 昭和23年10月　松本市第1公民館と呼称 昭和27年6月　松本市公民館と呼称 昭和34年4月　松本市中央公民館と呼称 昭和40年5月　解体のため仮事務所へ移転 昭和41年7月　厚生文化会館へ移転 昭和60年4月　厚生文化会館の廃止に伴い独立館として発足 平成11年4月　中央西開発ビル公益施設内へ移転、新たに女性センターを設置、働く婦人の家を付属施設とし、勤労青少年ホーム業務を労政課から移管 ※勤労青少年ホーム　松本市芳野4-1 ※働く婦人の家　松本市中央4-7-28 平成12年4月　女性センター、働く婦人の家を男女共生課へ移管	5,381.55
第一地区公民館	中央1丁目18番1号 (2-1550)	平成22年4月　Mウイング内に地区公民館（事務室のみ）として発足	104.39
第二地区公民館	本庄2丁目3番23号 (39-3601)	平成10年4月　地区公民館として発足	706.86
第三地区公民館	中央4丁目7番28号 (36-7040)	昭和54年10月　中央公民館分館（あがたの森公民館）として発足 平成20年4月　地区公民館として発足	445.97
東部公民館	女鳥羽2丁目1番25号 (36-8565)	平成9年4月　地区公民館として発足	632.72
城北公民館	開智2丁目3番39号 (38-0120)	平成12年4月　同上	700.04
大手公民館	大手3丁目8番1号 (39-5711)	平成14年7月　同上	603.27
安原地区公民館	旭2丁目11番13号 (39-0701)	平成13年1月　同上	660.58
城東公民館	元町3丁目7番1号 (34-0191)	平成11年4月　同上	725.13
白板地区公民館	城西1丁目6番17-3号 (35-7740)	昭和57年6月　同上 平成27年4月　移転、北部から白板地区へ名称変更	696.73
田川公民館	渚3丁目2番7号 (27-3840)	平成13年4月　地区公民館として発足	670.45
庄内地区公民館	出川1丁目5番9号 (24-1811)	平成18年4月　同上	1,003.64
鎌田地区公民館	両島5番50号 (26-0206)	昭和59年6月　同上 平成27年4月　西部から鎌田地区へ名称変更	797.31
松南地区公民館	芳野4番1号 (26-1083)	昭和62年4月　地区公民館として発足 平成26年4月　南部から松南地区へ名称変更	2,060.24

併設施設	改修状況等			エレベーター設置状況	備　　考
	構造	竣工年度	改修年度		
松本市ジェンダー平等センター 中央保健センター 体育館 第一地区福祉ひろば 第一地区公民館	S 地上7F地下1F	平成 10年度		平成 10年度	Mウイング(官民共有施設)内に設置
福祉ひろば	RC 2F	平成 9年度		平成 9年度	
福祉ひろば	S 2F	平成 19年度		平成 19年度	
デイサービスセンター 福祉ひろば	S 2F	平成 8年度		平成 8年度	
福祉ひろば	RC 2F	平成 11年度		平成 23年度	
同上	RC 2F	平成 14年度		平成 14年度	
同上	RC 2F	平成 12年度		平成 12年度	
北部地域包括支援センター 北部ヘルパーステーション 北部保健センター	RC 3F	平成 10年度		平成 10年度	ふくふくらいず内に設置
	RC 2F	平成 26年度		平成 26年度	
	RC 2F	平成 12年度		平成 12年度	
体育館　屋内プール トレーニングルーム	RC 地上4F地下2F	平成 17年度		平成 17年度	ゆめひろば庄内内に設置
図書館　体育館 福祉ひろば　児童センター	RC 2F	昭和 59年度	平成 26年度	平成 26年度	
青少年ホーム 図書館 体育館	RC 3F	平成 元年度	令和 5年度	平成 元年度	なんなんひろば内に設置

名　　称	位　　置	沿　　革	公民館 床面積（㎡）
島内公民館	大字島内 4970 番地 1 (0263-47-0264)	昭和 29 年 4 月　合併によって分館として発足 昭和 34 年 4 月　地区公民館として発足	1,115.22
中山公民館	大字中山 3746 番地 1 (0263-58-5822)	同上	742.67
島立公民館	大字島立 3298 番地 2 (0263-47-2049)	同上	714.62
新村公民館	大字新村 2179 番地 7 (0263-48-0375)	同上	523.42
和田公民館	大字和田 2240 番地 31 (0263-48-5445)	同上	590.13
神林公民館	大字神林 1557 番地 1 (0263-58-2039)	同上	662.00
笹賀公民館	大字笹賀 2929 番地 (0263-58-2046)	同上	1,321.97
芳川公民館	野溝東 2 丁目 10 番 1 号 (0263-58-2034)	同上	960.06
寿公民館	大字寿豊丘 424 番地 (0263-58-2038)	同上	709.81
寿台公民館	大字寿豊丘 649 番地 1 (0263-58-6561)	昭和 51 年 9 月　地区公民館として発足	702.82
松原地区公民館	松原 39 番地 1 (0263-57-2322)	平成 22 年 4 月　同上	481.05
岡田公民館	大字岡田町 517 番地 1 (0263-46-2313)	昭和 29 年 8 月　合併によって分館として発足 昭和 34 年 4 月　地区公民館として発足	717.10
入山辺公民館	大字入山辺 1509 番地 1 (0263-32-1389)	同上	912.90
里山辺公民館	大字里山辺 2943 番地 1 (0263-32-1077)	昭和 29 年 8 月 昭和 34 年 4 月　同上 令和 4 年 4 月　教育文化センター内から移転	1,107.37
今井公民館	大字今井 2231 番地 1 (0263-59-2001)	同上	1,121.72
内田公民館	大字内田 2203 番地 1 (0263-58-2494)	昭和 35 年 4 月　合併によって地区公民館として発足	504.98
本郷公民館	浅間温泉 2 丁目 9 番 1 号 (0263-46-1500)	昭和 49 年 5 月　同上	1,083.73
四賀公民館	会田 1001 番地 1 (0263-64-3112)	平成 17 年 4 月　同上	
安曇公民館	安曇 2741 番地の 1 (0263-94-2301)	同上	774.86
奈川公民館	奈川 3301 番地 (0263-79-2121)	令和 7 年 2 月　奈川文化センター夢の森内に移転	
梓川公民館	梓川梓 2285 番地 1 (0263-78-3000)	同上	1,432.00
波田公民館	波田 4417 番地 1 (0263-92-2268)	平成 22 年 3 月　同上 平成 29 年 7 月　波田支所内に移転	1,413.54

併設施設は敷地内の施設を掲載　　参考　　―公民館設置基準面積―
1,200 世帯まで　　450 ㎡（床面積）　1,200～5,000 世帯まで　　660 ㎡（床面積）
5,000 世帯以上　　900 ㎡（床面積）　　※出張所管内は出張所面積分 50 ㎡増

併設施設	改修状況等			エレベーター設置状況	備　　考
	構造	竣工年度	改修年度		
出張所　図書館　福祉ひろば 河西部地域包括支援センター デイサービスセンター	ＲＣ一部Ｓ １Ｆ	平成 9年度			
出張所　福祉ひろば	ＲＣ ２Ｆ	平成 13年度		平成 13年度	
出張所　体育館	ＲＣ ２Ｆ	昭和 63年度		平成 21年度	
出張所　福祉ひろば	ＲＣ ２Ｆ	平成 8年度		平成 25年度	
出張所　福祉ひろば	ＲＣ ２Ｆ	昭和 62年度	平成 30年度	平成 30年度	
出張所　福祉ひろば　体育館 農村広場	ＲＣ ２Ｆ	昭和 57年度	平成 24年度	平成 24年度	
出張所　福祉ひろば	ＲＣ ２Ｆ	昭和 61年度	平成 29年度	平成 20年度	農村環境改善センター
出張所　福祉ひろば　デイサービスセンター　体育館　南部屋内庭球場	ＲＣ ２Ｆ	平成 4年度		平成 18年度	
出張所　福祉ひろば　体育館	ＲＣ ２Ｆ	昭和 62年度		平成 22年度	
図書館	ＲＣ ２Ｆ	平成 2年度		平成 24年度	
福祉ひろば	Ｓ １Ｆ	平成 21年度			
出張所　福祉ひろば　体育館	ＲＣ ２Ｆ	平成 元年度		平成 17年度	
出張所	ＲＣ ２Ｆ	昭和 54年度	平成 16年度	平成 16年度	
出張所　福祉ひろば	ＲＣ ２Ｆ	令和 4年度		令和 4年度	
出張所　福祉ひろば　体育館	ＲＣ ２Ｆ	昭和 59年度	平成 27年度	平成 19年度	農村環境改善センター
出張所　福祉ひろば	ＲＣ ２Ｆ	昭和 61年度	平成 28年度	平成 28年度	
支所　図書館	ＲＣ ２Ｆ	平成 5年度		平成 16年度	
保健福祉センター	ＲＣ ３Ｆ	平成 14年度		平成 14年度	支所内に事務室のみ設置
	ＲＣ ２Ｆ	昭和 53年度	平成 20年度	平成 20年度	基幹集落センター
	ＲＣ ３Ｆ	平成 6年度		平成 6年度	
	ＲＣ ２Ｆ	昭和 50年度	平成 22年度	平成 22年度	
	ＳＲＣ ２Ｆ	昭和 50年度		平成 9年度	

利用状況並びに活動状況

⑴　中央公民館の利用状況

年　度	総　数		公　民　館		Ｍウイング文化センター	
	利用件数（件）	利用人数（人）	利用件数（件）	利用人数（人）	利用件数（件）	利用人数（人）
R4	4,378	103,338	3,991	96,825	387	6,513
R5	4,818	112,538	4,304	101,037	514	11,501
R6	4,865	157,108	4,349	147,672	516	9,436

⑵　中央公民館の活動状況

年度	学級・講座・講演会・展示会等							芸術文化
	健康福祉 スポーツ	環境問題	子ども・青少年 教　育	人権平和 男女共同参画	地域づくり まちづくり	趣味・教養	地域文化	芸術文化祭
R4	事業　2	―	―	7	3	―	3	1
	人　183	―	―	1,679	213	―	146	16,532
R5	事業　2	―	1	7	3	―	1	1
	人　192	―	360	1,811	135	―	130	22,264
R6	事業　2	―	1	7	2	―	1	1
	人　58	―	398	2,694	75	―	137	23,662

⑶　地区公民館活動状況の変移

年度	利用件数（件）					利用人数（人）		
	利用総件数	公民館活動以外の利用 件数（貸館分）			公民館活動の利用件数	公民館活動利用人数 学級・講座		
		総数	有料	無料		成人	女性	高齢者
	①+②	①=A+B	A	B	②	C	D	E
R4	46,681	41,355	536	40,819	5,326	13,794	805	3,259
R5	50,410	44,444	555	43,889	5,966	18,829	958	3,826
R6	54,975	47,977	574	47,403	6,998	15,502	839	3,234

芸術文化活動		各種集会・研修会等				参加合計
お城盆踊り	公民館活動発表	課題別集会まちづくり集会	公民館研究集会	町内公民館関係	団体育成関係	
1	1	78	1	27	―	121
300	597	1,540	430	253	―	21,873
1	1	79	1	20	―	117
1,351	1,249	2,246	470	386	―	23,851
1	1	88	1	20	―	125
963	822	2,156	330	289	―	31,584

利用人数（人）								
公民館活動利用人数							公民館活動以外の利用人数（貸館分）	利用総数
学級・講座			諸集会・会議等			公民館活動の利用人数		
家庭教育	青少年	その他	体育	文化	その他			
F	G	H	I	J	K	③C～K	④	③+④
2,082	5,661	5,690	10,252	21,731	21,551	84,825	368,608	453,433
3,150	6,393	5,908	11,504	21,789	30,941	103,298	435,391	538,689
3,312	10,631	11,842	12,630	23,995	34,356	116,341	452,321	568,662

⑷　令和６年度　地区公民館活動状況

公民館名	利用件数（件）					利用人数（人）		
	利用総件数	公民館活動以外の利用件数（貸館分）			公民館活動の利用件数	公民館活動利用人数		
						学級・講座		
		総数	有料	無料		成人	女性	高齢者
	①＋②	①＝A＋B	A	B	②	C	D	E
第一地区公民館	52	0	0	0	52	371	15	0
第二地区公民館	1,466	1,300	37	1,263	166	1,092	0	237
第三地区公民館	6,049	5,145	85	5,060	904	983	0	403
東部公民館	1,534	1,481	5	1,476	53	1,166	0	0
城北公民館	1,611	1,457	1	1,456	154	0	0	0
大手公民館	1,650	1,541	4	1,537	109	560	0	0
安原地区公民館	1,829	1,523	110	1,413	306	846	0	0
城東公民館	2,780	2,723	0	2,723	57	107	0	0
白板地区公民館	1,349	1,289	4	1,285	60	609	20	0
田川公民館	1,689	1,418	2	1,416	271	768	0	0
庄内地区公民館	2,702	2,468	16	2,452	234	144	0	0
鎌田地区公民館	2,621	2,526	34	2,492	95	1,770	0	0
松南地区公民館	4,523	4,055	115	3,940	468	0	0	0
島内公民館	1,923	1,791	0	1,791	132	544	0	101
中山公民館	726	577	3	574	149	647	587	880
島立公民館	1,100	1,000	33	967	100	0	0	142
新村公民館	642	534	1	533	90	140	18	36
和田公民館	423	372	4	368	51	743	50	0
神林公民館	647	601	0	601	46	0	0	15
笹賀公民館	1,860	1,720	4	1,716	140	1,723	0	0
芳川公民館	1,768	1,422	35	1,387	346	0	0	504
寿公民館	747	682	14	668	65	0	0	0
寿台公民館	1,452	1,376	2	1,374	76	278	0	0
松原地区公民館	1,948	1,824	0	1,824	124	135	0	30
岡田公民館	667	606	0	606	61	206	0	0
入山辺公民館	951	861	2	859	90	142	0	0
里山辺公民館	1,007	996	0	996	11	95	0	0
今井公民館	636	529	2	527	107	53	0	53
内田公民館	457	418	1	417	39	25	0	45
本郷公民館	2,823	2,780	23	2,757	43	122	0	0
四賀公民館	46	0	0	0	46	552	0	72
安曇公民館	181	119	0	119	62	481	0	0
奈川公民館	847	228	3	225	619	768	149	0
梓川公民館	2,185	2,038	26	2,012	147	165	0	513
波田公民館	2,102	577	8	569	1,525	267	0	203
合計	54,975	47,977	574	47,403	6,998	15,502	839	3,234

利　　用　　人　　数（人）								
公民館活動利用人数							公民館活動以外の利用人数（貸館分）	利用総数
学 級 ・ 講 座			諸集会・会議等			公民館活動の利用人数		
家庭教育	青少年	その他	体　育	文　化	その他			
F	G	H	I	J	K	③C～K	④	③+④
0	148	0	0	0	85	619	0	619
0	0	0	104	704	498	2,635	10,516	13,060
47	2,509	0	39	2,256	1,065	7,302	41,198	48,500
0	351	0	93	175	0	1,785	10,229	12,014
0	0	489	0	0	2,489	2,978	13,262	16,240
56	110	66	50	85	634	1,561	14,925	16,486
0	0	0	780	545	1,839	4,010	12,287	16,297
92	223	0	6	34	359	821	20,299	21,120
0	65	0	0	79	442	1,215	10,131	11,346
0	333	0	1,334	674	1,348	4,457	12,686	17,143
278	785	526	0	1,564	589	3,886	23,021	26,907
0	835	0	48	0	36	2,689	23,800	26,489
30	7	309	71	0	4,023	4,440	40,364	44,804
940	176	684	240	7,800	622	11,107	19,020	30,127
0	358	60	100	25	135	2,792	3,782	6,574
105	145	16	653	445	769	2,275	9,306	11,581
0	122	0	217	983	635	2,151	5,660	7,811
0	364	0	145	160	0	1,462	4,712	6,174
0	0	53	165	54	401	688	6,990	7,678
777	300	0	58	117	87	3,062	20,565	23,627
680	161	22	542	253	2,633	4,795	13,575	18,370
0	0	86	0	209	1,764	2,059	6,154	8,213
0	54	14	171	94	73	684	9,418	10,102
0	825	2	108	491	168	1,759	13,951	15,710
116	58	0	38	382	2,309	3,109	6,143	9,252
0	295	0	552	512	604	2,105	11,441	13,546
0	38	0	270	78	276	757	13,730	14,487
0	210	223	158	241	986	1,924	6,714	8,638
18	93	66	172	657	138	1,214	3,948	5,162
0	63	1,095	99	81	249	1,709	22,344	24,053
0	448	4,308	204	291	5,500	11,375	0	11,375
0	96	0	5	46	82	710	1,296	2,006
0	615	0	16	31	27	1,606	2,303	3,909
37	46	790	0	108	158	1,817	27,325	29,142
136	798	3,033	6,192	4,821	3,333	18,783	11,317	30,100
3,312	10,631	11,842	12,630	23,995	34,356	116,341	452,321	568,662

松本市公民館関係略年表

年	松本市公民館のあゆみ	※項目前の数字は月をあらわす 取り巻く状況　＊県　☆国ほか　無印は松本市
S21		1 社会教育課新設
		1 寺中作雄「公民教育の振興と公民館の発想」☆
		7 文部次官通牒「公民館の設置・運営について」（寺中構想）☆
		9 県依命通牒「町村公民館の設置並びに運営について」＊
		11 「日本国憲法」公布☆
		11 松筑公民館設置
22	4 松本市公会堂を松本市公民館と改称	3 教育基本法公布☆
	8 第１回お城盆踊り開催	9 市立図書館にアメリカ民間読書室（ＣＩＥ）設置
23	2 ＣＩＥ読書室が図書館から松本市公民館へ移る	6 社会教育法制定☆
	10 松本市公民館を第１公民館と呼称、第２公民館を大名町に開館（30年12月焼失）	11 社会教育課を廃止し文教課を設置
24	1 松本市ナトコ運営協議会設置	
	11 松本市公民館使用条例を廃止し松本市公民館条例制定	
	12 松本市公民館運営審議会発足	
25	7 第１回成人学校を開設（この地方では初めて、全国では川崎市に次いで２番目）	3 長野県公民館運営協議会結成＊
26		6 再び社会教育課設置
27	5 松本市視聴覚教育協議会発足	6 中央教育審議会設置☆
	6 松本市第１公民館を松本市公民館と改称	7 社会教育主事講習職員１名派遣
	11 芳川村公民館で第１回婦人学級開催	11 教育委員会発足
	11 松本市において第１回長野県公民館大会開催	11 社会教育課に公民館係設置
28		8 青年学級振興法制定☆
29	4～8 合併により旧村役場は出張所に、役場内に併設の公民館は分館として位置付けられる	4 島内・中山・島立が松本市と合併 8 新村・和田・神林・笹賀・芳川・寿・岡田・入山辺・里山辺・今井が松本市と合併
30	6 神林地区青年、演劇サークル「あざみ会」結成	
	8 中央公民館に専任の館長おかれる	
32	4 入山辺図書館の分室16か所に設置される	
	― 町内公民館の建設費助成を開始	
34	3 松本市公民館報創刊	4 社会教育法一部改正☆
	4 松本市公民館を松本市中央公民館と改称、各分館は地区公民館として位置づけられ再発足	5 松本市役所庁舎完成
	4 松本市公民館条例施行規則制定	12 文部省「公民館の設置及び運営に関する基準」☆
35	3 公民館報（全市版）発刊	4 内田が松本市と合併
	4 松本市公民館関係者研修会開催（町内公民館活動について話し合われる）	― 教育委員会で『松本市における市街地の現況～社会教育調査資料』を発刊
	4 各町内公民館に平均 5,000円を配布	
	4 内田公民館発足	
	11 市民芸術祭として第１回芸術文化祭開催	
	― 第１回松本市公民館大会開催（38年まで）	
	― 神林地区が県の同和教育モデル地区に指定	
36	3 神林公民館館報「かんばやし」で同和教育特集号掲載	9 長野県公民館研究集会開催＊
	4 中央公民館（事業機関）、社会教育課（条件整備）の範囲明確化	
37	9 第１回「松本市婦人のつどい」開催	
38	4 松本市公民館長会規約を定める	
39	4 松本市公民館使用条例、松本市公民館条例、同施行規則を廃止、新たに松本市公民館条例・同施行規則制定	3 新産業都市構想
	4 公民館委員が制度化される（任意設置）	4 出張所縮小と職員の引き上げ
	9 社会教育課で第１回地区公民館巡回懇談会開催、『地区公民館の現状報告』をまとめる	― 文部省の家庭教育学級補助制度はじまる☆
	― 松本市町内公民館建設補助金交付要綱が制定	
	― 家庭教育学級が各公民館ではじまる	
40		4 松本市で社会教育委員制度発足
		― ユネスコで学習宣言、ポールラングランが「生涯教育」を提唱★
41	7 厚生文化会館落成、中央公民館は厚生文化会館に移転	― 市青連芸術文化祭はじまる
42	5 松本市婦人会「21世紀松本諏訪地方未来像シンポジウム」を開催	9 全国公民館連合会「公民館のあるべき姿と今日的指標」☆
43	4 町内公民館学級振興業務委託内規制定（2,000円・58館）	
	11 寿地区一周駅伝大会はじまる	
44	3 中央公民館で『成人学校のあゆみ』発刊	7 同和対策事業特別措置法公布☆
45	3 公運審「松本市公民館運営に関する諮問」	4 社教審答申「急激な社会構造の変化に対処する社会教育のあり方について」☆
	6 公運審「松本市公民館運営に関する諮問」の答申	12 同和対策審議会答申「松本市における同和対策はいかにあるべきか」
46	4 主事研修会が月２回の定例化	4 松本市第一次基本計画策定（市内を８つの行政ブロックに分け各１館のコミュニティセンターを設置する構想）
	5 全市事業の情報紙「公民館ニュース」創刊	
	― 公運審へ「都市化に対応する公民館のあり」諮問	
	8 地区公民館主事連名で主事の専任化について陳情	
47	1 同和教育市民テキスト第１集刊行	7 ユネスコ第３回世界成人教育会議が東京で開催☆

松本市公民館関係略年表

年	松本市公民館のあゆみ	※項目前の数字は月をあらわす 取り巻く状況　＊県　☆国ほか　無印は松本市
	4 公民館主事が専任化される	
47	4 同和教育学級講座（県費補助）始まる	
	8 公運審答申「都市化に対応する公民館のあり方」	
	11 中央公民館「ろうあ者成人学校」はじまる	
	ー 今井公民館報で地域課題特集はじまる	
48	4 新任主事研修会はじまる	5 松本市勤労青少年ホームオープン
	12 公民館主事会で「松本市公民館実態白書」刊行	12 松本市生活簡素化実行委員会結成
	ー 芳川公民館で保育付母親学級がはじまる	
49	6 松本市公民館制度研究委員会発足（館長会・補佐会各３名、主事会４名、社会教育課５名）	4 社教審建議「在学青少年に対する社会教育のあり方」☆
	8 主事会新聞発刊	4 社会教育課に同和教育係設置
	12 制度研究委員会第１年次報告「公民館充実をめざして」（配置・器具器材・職員態勢主事）	5 本郷村が松本市と合併
50	2 主事会で教育長に勤務体制・専門職制の確立を要求	1 社会教育委員会答申「公民館の条件整備のすすめ方について」
	7 社会教育主事講習受講機会拡大（２名）	ー 国連婦人10年（～60年）☆
	8 『松本の住民運動と住民の学習』発刊	
	11 公民館主事のつくった学習資料「市民のくらし－その実態」発刊	
51	3 制度研究委員会第２年次報告「公民館充実をめざして」（職員態勢館長・制度改善・町内公民館活動）	3 第二次基本計画（コミュニティセンター構想を再検討）
	3 「町内公民館活動のてびき」発刊	4 内田地区の「ささら踊り」を松本市の重要無形文化財第１号に指定
	5 教育委員会組織規則改正、公民館主事（社会教育主事有資格者）が専門職として位置づけ	9 部落解放都市宣言
	9 寿台公民館開館、芳川公民館・出張所移転	
52	3 制度研究委員会第３年次報告「公民館充実をめざして」（施設、町内公民館）	
	3 松本市婦人国内研修はじまる	
	10 公運審諮問「公民館事業実施にかかる経費等について」	
	11 公運審答申「公民館事業実施にかかる経費等について」	
53	4 町内公民館振興業務委託料、１町会10,000円となる	5 文部省「生涯教育の実施状況等に関する実態調査」を発表☆
	4 公民館主事に調整給支給される	
	12 主事宿泊研修が県外研修となる	
54	2 公民館報全市版 100号記念（この号のみ８ページ）	6 中教審答申「地域社会と文化について」☆
	3 第１回公民館学級終了生作品展開催	
	4 町内公民館振興業務委託料傾斜配分（平均15,000円、最高30,000円）	
	7 松本市町内公民館館長会発足（９月に第１回研修会を開催）	
	10 あがたの森文化会館内にあがたの森公民館開館	
55	3 「松本市芸術文化祭20年の歩み」刊行	4 神奈川県茅ヶ崎市で市民の手でつくったはじめての公民館が開館☆
	4 館報ことぶき縮刷版刊行	
	5 入山辺公民館改築（社会教育課による地区公民館の整備事業開始）	
	7 和田出張所内に公民館図書室開設	
56	2 あがたの森（旧制高等学校校舎）が県宝に指定	3 第三次基本計画（コミュニティセンター構想を廃止、現施設の拡充と市街地東西南北に公民館設置となる＝22館構想）
	5 芝沢公民館開館（新村・和田の両公民館が分館となる）	6 中教審答申「生涯教育について」☆
	11 松本市公民館大会が開催直前で中止	
	11 山辺歴史研究会『山辺の民話』発刊	
57	3 島内公民館改築	5 県、生涯教育の推進構想＊
	4 公民館条例施行規則公民館委員に文化委員が新設	ー 松本にカルチャーセンター（松本中日文化センター）オープン
	4 町内公民館振興業務委託料、１町会あたり30,000円の一律配分	
	6 北部公民館開館	
58	2 公民館委員が条例施行規則上必置となる	1 本郷村誌刊行
	4 町内公民館振興業務委託料、１町会あたり27,000円	11 教育文化センター開館
	5 神林公民館改築	
	11 里山辺公民館が教育文化センター内に併設される	
59	3 館報よしかわ縮刷版刊行	5 松本女性史の会『買春（トルコ）許すまじ』発刊
	4 町内公民館振興業務委託料、１町会あたり26,000円	8 臨時教育審議会設置☆
	6 西部公民館開館、旧市唯一の陶芸窯設置	11 今井農村改善センター開館
	ー 新村公民館高齢者学級記録「新村のくらし（前編・続編）」が完成	
60	1 公民館制度見直し委員会発足	3 ユネスコ「学習権宣言」☆
	3 館報しまだち縮刷版刊行	4 新村多目的研修センター開館
	3 『松本市の公民館制度充実をめざして』（制度研究委員会報告）発刊	6 臨教審「教育改革に関する第１次答申」☆
	4 厚生文化会館を廃止し、中央公民館に一元化	10 「松本市青年団運動史」発刊
	4 今井公民館・出張所移転	10 音楽文化ホール開館
	6 町内公民館振興業務委託料、１町会あたり25,000円	

松本市公民館関係略年表

年	松本市公民館のあゆみ	※項目前の数字は月をあらわす 取り巻く状況　＊県　☆国ほか　無印は松本市
61	3　第１回松本市公民館研究集会開催	3　松本市婦人国内計画策定
	4　笹賀公民館新設開館	4　松本市第四次基本計画策定（市民生涯学習の推進・男女平等教育の推進、婦人の生涯学習の充実）
	4　中山公民館改築	4　臨教審答申「教育改革に関する第２次答申」提出、生涯学習体系化を強調☆
	4　モデル町内公民館指定事業始まる	
	4　松本市公民館条例の一部改正「公民館使用料の改定及び運用の全館統一」	
	4　松本市教育委員会組織規則の一部改正「中央公民館連絡調整機能の明確化」	
	7　中央公民館図書室兼保育室新設、事務室が２階へ移転	
	8　岡田公民館「おかだ夏まつり」はじまる	
62	4　内田公民館改築	3　「長野県公民館活動史」発刊＊
	4　南部公民館開館（勤労青少年ホーム内に設置）	3　「地域改善対策特別措置法（地対法）」が「地対財特法」へ移行☆
	10　松本市公民館及びあがたの森文化会館利用に関する内規、松本市公民館使用料の還付に関する内規制定	8　臨教審「教育改革に関する最終答申」☆
63	1　笹賀公民館戦時中生活体験記録集『平和の祈り』発刊	4　文部省「生涯学習モデル市町村事業」開始
	1　公民館運営審議会諮問「①中央公民館の施設整備について、②公民館休館日の設定について」	7　文部省に生涯学習局新設☆
	4　寿公民館改築	ー　県「生涯学習のまちづくり推進事業」はじまる＊
	4　里山辺および入山辺公民館で「信濃の明日香松本山辺の里お花見歩け歩け大会」はじまる	
	5　公運審答申「中央公民館の施設整備について」	
	5　北部公民館利用者団体連絡協議会「北友会」発足	
	5　和田公民館改築	
	10　主事会有志で生涯学習について自主研修をはじめる	
	12　公民館活動推進功労者感謝状贈呈（同内規制定）	
H1	4　島立公民館改築	8　教育委員会総務課に生涯学習担当配置
	4　ふるさとづくりモデル事業始まる	11　「子どもの権利条約」国連で採択☆
	9　公民館主事会で「生涯学習研究小委員会」発足	12　厚生省で「高齢者保健福祉推進10か年戦略」（ゴールドプラン）策定☆
	11　松本市芸術文化祭30周年特別企画展開催	
2	3　中山公民館『ふるさと中山縄文のむかしから』第１集発刊（第２集…４年、第３集…８年）	1　中教審答申「生涯学習の基盤整備について」☆
	4　岡田公民館移転改築	4　教育委員会総務課を中心に「生涯学習プロジェクトチーム」を組織
	4　中央公民館夜間等警備委託化	6　「生涯学習の振興のための施策の推進体制等の整備に関する法律」制定☆
	4　南部公民館移転改築（愛称：なんなんひろば）	
	8　なんなんひろばカリヨン「平和の鐘」設置	
	10　松本市芸術文化祭特別展「小中図工美術秀作展」開催	
	10　新村公民館図書室が多目的研修センターに開設	
	10　公運審諮問「生涯学習時代における松本市公民館のあり方」について	
3	3　中央公民館にエレベーター及び身障者用リフト設置	6　生涯学習審議会中間発表「公民館の整備・運営の在り方について」☆
	3　寿台公民館移転改築	7　松本市第五次基本計画「市民生涯学習の推進」
	4　公民館運営審議会中間答申「生涯学習時代における松本市公民館のあり方」について	8　松本市総合体育館完成（体育課移転）
	5　公民館報紙面拡大（Ｂ４版からＡ４版へ）	9　市立松本図書館が中央図書館に新築開館、分館を結ぶコンピューターネットワーク
	6　なんなんひろば利用者の会発足	10　松本市生涯学習推進本部設置（本部長：教育長）
	8　松本で第31回社会教育研究全国集会松本集会開催、市民の実践を掘り起こした「松本の学び根っこワーキング」を刊行	10　県生涯学習基本構想策定＊
	11　婦人のつどい30周年記念事業開催、記念誌『松本市婦人のつどい30年のあゆみ』刊行	
4	4　神林公民館で「すこやか健康教室」始まる	1　松本市生涯学習推進懇話会発足
	5　公民館報がページ増（全市版４ｐ、地区版２ｐ）	4　教育委員会総務課に生涯学習係設置
	ー　南部公民館（なんなんひろば）で「信州年寄り通信」発刊、以後定期的に発刊	9　学校第２土曜日が休日となる☆
5	1　公民館研究集会分科会の運営に市民が参画	3　松本市老人保健福祉計画策定
	3　芳川公民館移転改築	3　提言書「松本市生涯学習推進計画づくりにむけて」（松本市生涯学習懇話会）発刊
	3　中山公民館国庫補助事業「中山10の宝」発刊	5　西部公民館内に設置されていた西部図書館が別棟移転となる
	3　「町内公民館活動リーダー必携」発刊	
	4　公民館主事手当が条例化	
	7　松本城 400年まつりにより、お城盆踊りが休止	
6	1　公民館報が「声の館報」としてテープ化	3　松本市生涯学習基本計画「ずくだせＺＵＫＵＤＡＳＵ学びの森づくり」策定
	3　本郷公民館移転改築	4　「子どもの権利条約」批准☆
	3　新村公民館で「新村のくらし－改訂版」発刊	4　教育委員会の組織改正により社会教育課内に生涯学習係及び青少年係が設置、文化課が新設

松本市公民館関係略年表

年	松本市公民館のあゆみ	※項目前の数字は月をあらわす 取り巻く状況　＊県　☆国ほか　無印は松本市
6	3 岡田公民館文化委員で「岡田の里、地名のおこりとその移り変わり」発刊	5 生涯学習情報紙「学びの森いんふぉめーしょん」発刊
	3 神林公民館で館報 200号合冊版「かんばやし」発刊	6 福祉計画課が中心となり「29地区福祉拠点事業推進研究会」発足
	5 松本市成人学校が第 100回記念講座開催	
	6 「29地区福祉拠点事業推進研究会」に主事３名参加	
	6 中央公民館と中央図書館の共催で「第１回公民館図書委員のつどい」開催	
	7 社会教育主事講習受講枠（新潟大学）が２名が１名へ	
	11 市民公開講座「地域福祉のまちづくり」はじまる（信大、市、市教委、市社協合同主催）	
7	4 町内公民館振興業務委託料が世帯割で傾斜配分され増額（29,500円・30,500円・31,500円）	3 生涯学習記録「学びの森を生きる」発刊
	6 本郷公民館「公民館を語る会」発足	4 「地区福祉ひろば」の設置はじまる
	7 なんなんひろば「石のモニュメント」完成	4 町内公民館へ「福祉関連整備費補助制度」
	12 女性の実践活動記録「学びと歩みのハーモニー」が婦人のつどい実行委員会により発刊される	9 文部省通知「社会教育法における民間営利社会教育事業者に関する解釈について」☆
		12 第六次基本計画（公民館29地区29館構想）
8	1 公民館研究集会幹事会に分科会市民運営委員参画	4 生涯学習審議会答申「地域における生涯学習機会の充実方策」☆
	3 今井公民館『上條嵩司伝』発刊	4 塩尻市に長野県生涯学習センター開館＊
	3 入山辺公民館『入山辺の民俗』発刊	4 県社会教育課が生涯学習課へ＊
	3 寿公民館館報合冊版『館報ことぶき』発刊	10 市民と職員による「福祉ビジョン懇話会」設置（公民館職２名参加）
	3 中山公民館『館報 200号合冊版』発刊	11 社会教育課主催「学びの森市民フォーラム」はじまる
	3 里山辺公民館報合冊版「館報さとやまべ」発刊	12 「男女共同参画2000年プラン」策定☆
	4 公民館に公共利用予約案内システムが導入される	
	4 中央公民館管理業務１名シルバー人材センターへ委託	
	5 笹賀公民館利用グループの会発足	
	8 新村公民館が移転新築開館（公民館と福祉ひろば併設の第１号）	
	10 公民館で日本語講座はじまる	
	11 松本市芸術文化祭ハイライトが県松本文化会館で開催	
	11 神林公民館で地域を考える「井戸端会議」はじまる	
9	2 内田公民館報縮刷版『はちぶせ』発刊	3 女性室「男女共生地域フォーラム」はじまる（実行委員として公民館職員参加）
	3 本郷公民館・福祉ひろばで『遠い太鼓』発刊	3 松本市障害者福祉長期行動計画
	4 東部公民館開館	4 公立社会教育施設建設補助金廃止☆
	4 コミュニティ構想の名残りである芝沢公民館が廃止	7 地方分権推進委員会第二次勧告（公運審必置制や館長・主事の専任規定の廃止が打ち出される）☆
	4 和田公民館が増築開館	10 県公民館運営協議会「重点事業調査」「分館実態調査」が行われる
	4 公民館運営審議会が『公民館政策への提言』を提出	
	5 日本社会教育学会「長野県公民館調査」の一環で松本市公民館の調査が行われる（３月まで）	
	5 公民館ニュースが学びの森いんふぉめーしょんへ統合	
	7 島内公民館が移転新築開館	
10	1 中山公民館館報号外（地区産廃処理施設問題）	3 「福祉ビジョン懇話会」最終報告
	2 今井公民館『館報 200号合冊版』発刊	3 生涯学習審議会「社会変化に対応した今後社会教育行政の在り方について（中間まとめ）」☆
	4 第二地区公民館開館	3 地区福祉ひろば実践報告集『福祉ひろば・ふれあいレポート』発刊
	5 公運審諮問「21世紀に向けての松本市公民館のあり方」	3 「男女共生プランまつもと」策定
	8 国の生涯学習審議会中間まとめをうけ、公民館・社会教育関係者合同研修会を開催	3 特定非営利活動促進法（ＮＰＯ法）成立☆
	9 第１回公民館委員のつどいが開催	4 県費補助事業が指導者養成講座を残し廃止、人権教育推進市町村事業に移行☆＊
	10 今井公民館ひだまりコンサート実行委員会でＣＤ『今井のとうちゃん』制作	5 県公運協専門委員会「公民館あり方研究会」設置＊
	11 和光大学移動大学が本郷公民館を会場に開催される	9 生涯学習審議会「社会変化に対応した今後の社会教育行政の在り方について」答申☆
	11 公運審提言「公民館長の任命手続きについて」	12 「公民館の設置及び運営に関する基準」の公民館長・主事の専任」項目が廃止☆
	12 教育委員会内規「松本市地区公民館長の任命方針」制定	
	－ 北部公民館の地域づくり講座はじまる	
11	1 全国公民館連合会専門委員会による松本市公民館運営審議会の取組み調査	1 県公運協専門委員会「公民館のあり方研究会」が「これからの長野県公民館及び県公運協のあり方」を提言＊
	4 城東公民館開館	3 福祉ビジョン懇話会提言書を踏まえた『福祉の青い鳥を求めて』発行
	4 中央公民館が中央西再開発ビル公益施設内へ移転。新たに女性センター設置、働く婦人の家を付属施設とし、勤労青少年ホームを労政課から移管	4 同和教育関係の県費補助事業が廃止＊

松本市公民館関係略年表

年	松本市公民館のあゆみ	※項目前の数字は月をあらわす 取り巻く状況　＊県　☆国ほか　無印は松本市
11	5 公民館運営審議会「21世紀に向けての松本市公民館のあり方」答申	5 国宝松本城太鼓門復元記念まつり開催
	10 中央公民館ふれあいロビーに文部省教育情報衛星通信ネットワーク（エル・ネット）受信機が設置	7 社会教育法改定、青年学級振興法廃止などを含めた地方分権一括法が成立☆
	11 松本市芸術文化祭『40年のあゆみ』発刊	
12	1 『松本市公民館活動史』『学習活動実践事例集～学びを創り未来をひらく』発刊	3 県公連協あり方研究会「県下公民館実態調査に基づく考察と提言」
	3 笹賀公民館「ふるさとマップ」作成	4 改正された社会教育法が施行
	4 城北公民館開館	12 教育改革国民会議報告「教育を変える17の提案」☆
	4 女性センター、働く婦人の家を男女共生課へ移管	
	9～文部省委嘱事業「エルネットモデル事業」を中央公民館で実施	
13	1 安原地区公民館開館	1 文部科学省「21世紀教育新生プラン」発表☆
	1 市内の公民館でＩＴ講習はじまる	4 中山文庫開館
	3 中山公民館「中山の歳時記」発刊	4 島根県出雲市で社会教育部門が首長部局へ移管☆
	3 神林公民館「ふるさとマップ」作成	4 県公連協「公民館の基礎知識（13年度版）」発刊＊
	3 中央公民館「まちなか再発見！」事業記録発刊	6 社会教育法一部改正（社会奉仕体験・自然体験活動の促進、家庭教育の体制整備）☆
	4 田川公民館開館	9 松本市男女共同参画推進委員会条例制定
	4 Ｍウイング文化センター設置（同条例施行）	10 全国公民館研究集会長野大会が長野市で開催☆
	4 中央公民館長と男女共生課長が兼務となる	11 文部科学大臣が中教審に対し「教育振興計画の策定と教育基本法の在り方について」諮問☆
	6 公民館運営審議会「調査研究報告書」提出	
	6 第１回女性センターまつり開催	
	7 芸術文化祭「市民会館さよならコンサート」開催	
	9 公民館委員（体育・図書視聴覚委員）研修開催	
14	3 Ｍウイング・女性センターにキッズコーナー開設	4 学校週５日制が完全実施される☆
	3 第二地区公民館「歴史マップ」作成	5 松本市・四賀村「任意合併協議会」設置
	4 Ｍウイングにふれあい国際・情報センター開設	11 中教審中間答申
	6 島内公民館で四賀村と交流会を開催	11 文部科学省内に「『公民館の設置及び運営に関する基準』見直し検討委員会」発足
	6 町内公民館長会に女性部が発足	11 松本市コミュニティ懇話会が設置、地区・町会・自治組織について検討が行われる
	7 大手公民館開館	12 平成７年度より東京大学佐藤ゼミ・日本社会教育学会が中心となり行ってきた長野県公民館の調査研究を踏まえた「長野県公民館学習会」が開催＊
	10 第50回記念長野県公民館大会が松本市で開催	
	10 中央公民館・南部公民館・松本大学エクステンションセンター共同企画「市町村合併から考える住民自治講座」開催	
15	2 中央公民館・南部公民館共催「公民館入門講座」開催	1 松本市が松本市西部広域施設組合構成町村に合併の申し入れ
	4 「公民館の設置及び運営に関する基準」に対し、公民館長会・公民館主事会・公民館運営審議会・社会教育委員会・町内公民館長会連名で、文部科学省に意見書を提出	3 中教審答申「新しい時代にふさわしい教育基本法と教育振興基本計画の在り方について」☆
	4 町内公民館振興業務委託料が増額（30,000円・31,000円・32,000円）	3 松本市男女共同参画計画策定
	9 北部公民館「地域交流～こんな町つくろう」で中学生の発案による「街角コンサート」が実施される	4 松原町会が自治組織としての地区として独立
	10 公民館運営審議会報告書「公民館運営と公民館運営審議会のあり方について」	4 日本公民館学会が設立される☆
	11 四賀村公民館大会で松本市公民館の概要報告と交流	4 社会教育課で「生涯学習基本構想」見直し作業が開始される
		5 長野県公民館運営協議会で「公民館の設置及び運営に関する基準」に対し意見書を提出＊
		6 松本市男女共同参画推進条例施行
		6 「公民館の設置及び運営に関する基準」改正☆
		6 地方自治法改正、公の施設を民間会社等に委託できる指定管理者制度の導入☆
		7 新市民会館にかかる住民投票条例案を市議会で否決
		7 松本市・四賀村法定合併協議会設立
		8 関東甲信越静公民館研究大会で「市町村合併と公民館についての緊急アピール」が採択☆
		10 「松本市公の施設の指定管理者の指定手続等に関する条例」施行
		12 地域・家庭教育活性化推進補助金（人権促進事業費等）が廃止される☆
16	1 中央公民館・南部公民館・松本大学エクステンションセンター共同企画「合併したらどうなる？ 地域自治と公民館のあり方を考える講座」開催	1 文部科学省に「地域づくり支援室」設置☆
	3 公民館委員研修「文化委員研修会」開催	3 中央教育審議会生涯学習分科会「今後の生涯学習振興方策について（審議経過の報告）」☆
	4 公共施設予約案内システムが新システムへ移行	3 第二次「全国公民館連合会　基本構想」☆
	4 松本市公民館条例施行規則改正、趣味・サークル活動に対し冷暖房料徴収の項目が追加	4 松本市の公の施設のうち84施設に指定管理者制度を導入

松本市公民館関係略年表

年	松本市公民館のあゆみ	※項目前の数字は月をあらわす 取り巻く状況　＊県　☆国ほか　無印は松本市
16	5 新村公民館・福祉ひろば・松本大学による「ものぐさ大学」発足	5 指定管理者制度導入状況のなかで、長野県公民館運営協議会が「公民館の支援について」を各郡市公民館運営協議会に依頼＊
	5 『松本市生涯学習基本構想』見直しプロジェクト発足、公民館主事２名参加	7 松本市に文化振興課が市長部局に新設、文化財関係を除く文化振興部門が教育委員会から移管される
	6 中央公民館・南部公民館・松本大学エクステンションセンター共同企画「合併最前線を学ぶ講座」開催	7 菅谷市長と語る会が30地区で開催
	7 松本市福祉ひろば庁内研究会発足、主事６名参加	8 松原地区に福祉ひろばコーディネーターを配置し地区福祉ひろば事業をスタート
	9 市民公益活動との協働事業推進庁内ワーキンググループ発足、公民館主事３名参加	11 社会教育課による「いい街つくろう、パートナーシップまつもと」出前講座がスタート
	11 中央公民館長が専任に戻る	
	11 入山辺公民館、大規模改修工事	
17	1 公民館主事会で「スーパー公民館構想」を職員提案	1 地区福祉ひろば庁内研究会職員提案
	1 公運審諮問「総合的な地域づくりの拠点としての公民館のあり方について」	3 「松本市生涯学習基本構想」見直し改訂
	2 島内公民館「館報縮刷版」発刊	3 「松本市次世代育成支援行動計画」策定
	2 『町内公民館活動のてびき』第５次改訂版、『松本市町内公民館活動実践集』発刊	4 四賀村、梓川村、安曇村、奈川村が松本市と合併
	3 芳川公民館保育ボランティア「ゆりかご会」で10年のあゆみを発刊	4 松本市役所大手事務所開設、教育委員会が入所
	4 寿台公民館に松原地区担当の公民館主事を配置、公民館事業先行実施として３月から公民館報松原地区版が発刊開始	4 長野県公民館運営協議会規約改正、長野市及び松本市から毎年役員選出となる＊
	4 公民館委員手当てが報酬から報償費へ費目変更	4 熟年体育大学が元となった「いきいき健康ひろば」事業をＮＰＯ法人に委託
	4 合併により、四賀公民館、梓川公民館、安曇公民館、奈川公民館が地区公民館として発足	6 中央教育審議会諮問「新しい時代を切り拓く生涯学習の振興方策について」「青少年の意欲を高め、心と体の相伴った成長を促す方策について」☆
	9 教育委員会組織改正にかかり主事研修会で論議	6 全国公民館連合会で14年ぶりに『全国公民館名鑑』を発刊☆
	9 公運審答申作業にかかり、公運審委員・館長・主事のワーキンググループ設置	7 「食育基本法」施行☆
	10 中央公民館・南部公民館共催で「公共施設の民営化に反対ですか」講座が始まる	7 菅谷市長との市政まちかどトーク、ティータイムトークが始まる
	11 中央公民館と社会教育課が統合して生涯学習課とし、中央公民館は貸館機能を残し、地区公民館は生涯学習課の一部門となる組織改正が提案される	9 大手事務所に「市民活動サポートセンター」開設
		9 文部科学省生涯学習局長通知「地域における防犯教育・防犯活動及び防犯ボランティア活動の推進について」（警察と連携して実施）☆
		10 内閣府、文科省、国土交通省連携による「地域における防災に係る教育・啓発活動の推進について」☆
		11 長野県公民館運営協議会で主催研修会のあり方について検討開始＊
		11 文部科学省、経済産業省通知「地域におけるエネルギー教育・啓発活動の推進について」☆
		12 日本公民館学会第４回研究大会が松本大学を会場に開催☆
		12 第28次地方制度調査会「地方の自主性・自律性の拡大及び地方議会のあり方に関する答申」（教育委員会設置を自治体判断に、社会教育分野を首長部局に置く選択措置の提案）☆
18	3 市長公約の３Ｋプラン推進に向け、地域づくりシステム検討会議発足、中央公民館が参画	4 教育委員会組織改正、教育総務課が教育政策を担う教育政策課へ改変、青少年課が新設（勤労青少年ホームの所管が中央公民館より移管）
	4 社会教育課が中央公民館と統合し生涯学習課・中央公民館へ組織改正（中央公民館機能は残し地区公民館の位置づけは変更なし、中央公民館職員は兼務）	4 四賀・梓川・奈川・安曇地区で福祉ひろば事業スタート
	4 庄内地区公民館開館（29地区29館構想の最後）	4 教育基本法改正案が閣議決定、文部科学省内に教育基本法改正推進本部設置☆
	4 「松本市第８次基本計画」（34地区34公民館構想）、地区公民館と地区福祉ひろばはコミュニティ活動施設として位置づけられる	4 長野市で都市内分権がスタート＊
	5 公民館運営審議会「総合的な地域づくりの拠点としての公民館のあり方について」答申	5 「長野県公民館主事研修会並びに総会」が松本市で開催＊
	6 都市内分権に向けた地域づくり支援モデル事業が安原地区・本郷地区・芳川地区でスタート（公民館も関わる）	10 長野県公民館運営協議会「長野県公民館活動史Ⅱ」編さんにかかる県内公民館実態調査の実施＊
	8 ユネスコアジア文化センターで松本市の公民館活動について視察（北部・新村ほか）	10 松本市図書館でサポーター制度を導入
	10 惣社公民館館報合冊版『館報けやき』発刊	11 松本市「市民協働提案制度」がはじまる
	12 主事会の県外研修に公運審委員４名が参加しての、合同研修を実施（大阪府枚方市へ）	11 松本市「市民活動推進委員会」が発足
		11 「松本市地域づくり推進懇談会」発足
		12 教育基本法改正法が成立・公布・施行☆
		12 「道州制特別区域における広域行政の推進に関する法律」施行☆

松本市公民館関係略年表

年	松本市公民館のあゆみ	※項目前の数字は月をあらわす 取り巻く状況　＊県　☆国ほか　無印は松本市
19	3 中央公民館を見つめ直す座談会が開催。公民館発足60周年を前に、中央公民館が四柱神社隣にあった時代に関わった市民・職員などを交え、中央公民館のあり方などを話し合う	2 松本市教育委員会および木曽町教育委員会で「平和のための信州戦争展」の後援を辞退
	3 戦争体験の聞取事業が開始（松本大学生とのコラボ企画）	3 全国公民館連合会「第１回全国公民館報コンクール」を実施（以後、ホームページコンクールと合わせ、隔年で実施）☆
	4 公民館発足60周年記念事業（地区特別講座）が開催・・通年	3 「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」改正（文化財を除く文化・スポーツの事務を首長が担当できるようになる）☆
	4 市制施行 100周年地区イベントが各地区で実施される（多くの公民館で事務局等の役割を担う）	4 飯田市で地域自治組織導入（公民館は先５年間を教育委員会に残し、その後所管を検討）＊
	5 主事会にて公民館委員会プロジェクトチームと生涯学習課・中央公民館一本化プロジェクトチームが設置され検討が行われる	5 松本市制施行 100年を迎える
	5 学びの森インフォメーションに統合した「公民館ニュース」が他の学習情報に統合される	5 松本市食育推進計画庁内調整会議が開催
	7 第１回公民館報編集委員交流会が開催され、全市版と地区版が一同に会し、研修会・情報交換会が行われる	6 社会教育法等改正法（学校施設利用等）☆
	9 松本市公民館発足60周年記念事業『地域交流と活動のつどい』があがたの森文化会館にて開催。34地区からステージや展示による発表、市民団体による激アツコミュニケーションＣａｆｅなどが行われる	6 「旧松本高等学校本館・講堂」が国の重要文化財となる
	11 館長会にて教育実践活動策定について説明	9 医療制度改革施行☆
	11 医務課が各地区で実施する災害時医療救護活動講座に地区公民館が協力（年次計画により34地区で実施）	9 長野県公民館大会（小諸大会）で「公民館の充実を求める緊急アピール」が採択＊
	12 中央公民館にて、“しゃべりばinちゅーこー”や“クリスマスコンサート”などが開催され、若者を交えた事業がなされる	11 教育政策課による教育実践活動策定に向け教育部職員を対象にワーキンググループが始動
		12 教育実践活動についての地域懇談会が始まる
		12 松本市地域づくり推進市民会議が、地域づくり推進のための指針を市長に提出
20	2 松本市公民館発足60周年記念の一環として第23回松本市公民館研究集会（地域活動市民のつどい）が２日間にわたり開催	2 教育基本法改正を受けた社会教育法改正案が閣議決定☆
	3 市民団体「中信多文化共生ネットワーク」設立	3 長野県公民館運営協議会で地域課題に関する調査＊
	3 地域防災計画改正で26地区の公民館が新たに指定避難所となる（要援護者優先）	3 松本市放課後子どもプランが策定
	4 第三地区公民館　開館（あがたの森公民館が閉館）	4 和田地区に西原町会誕生。里山辺地区の林町会と大嵩崎町会が合併し、林町会となる
	4 公民館委員報償費が年額単価から回数単価に変更	4 安曇野市にて公募の地区公民館長が任命される
	4 四賀、安曇、梓川、奈川公民館業務が支所へ移管（教委の補助執行）	4 松本市第２次男女共生参画計画　策定
	5 公民館が学校と地域のコーディネートを行う学校サポート（学校応援団）事業がスタート	5 松本市地域づくり推進基本方針　策定
	6 ユネスコ「世界寺子屋運動」関係者国内研修（庄内地区公民館、神田・井川城下・上土町の町内公民館）	5 『長野県公民館活動史Ⅱ』発刊＊
	6 地域づくり推進事業のモデル地区事業がスタート（城北・松原・安原）し、公民館が中心的に関わる	5 地方分権推進委員会第一次勧告で「教育委員会設置の選択制、首長部局との連携による教育行政の充実と総合行政の推進」が提案☆
	6 公民館運営審議会「総合的な地域づくりの拠点としての公民館のあり方について」答申に続き「意見書」を提出	6 社会教育法改正（衆参両院で附帯決議付）☆
	8 第２回公民館報編集委員交流会　開催	7 全国公民館連合会による全国公民館実態調査が行われる☆
	9 町内公民館館長会30周年記念の集い　開催	7 教育振興基本計画が閣議決定☆
	9 町内公民館パンフレット　製作	9 松本市ユニバーサルデザイン基本方針が策定
	9 耐震診断費用補助対象が拡大され、昭和56年以前に建設された町内公民館も対象となる	11 長野県「つながる　つらなる　信州　人づくりビジョン」（長野県教育振興基本計画）策定＊
		12 地方分権推進委員会第二次勧告における「義務付け・枠づけの見直し」の中で、社会教育法第12条、第15条２項、第23条１項、第30条を、存置を許容するメルクマールに該当しないと提言☆
21	1 文部科学省の公民館の海外発信事業としてユネスコ・アジア文化センターによる「公民館の国際発信に関する調査研究」でユネスコ調査団が新村公民館と二美町２丁目町内公民館を視察	3 全国公民館報コンクールで飯綱町公民館報が最優秀賞、富士見町公民館報が優秀賞を受賞＊
	3 主事会「生涯学習課と中央公民館のあり方」プロジェクトで検討結果報告	4 「学びの森インフォメーション」が全戸配布から各戸配布となる
	3 全国公民館報コンクールで梓川地区公民館報が優良賞を受賞	4 須坂市公民館職員が首長部局市民共創部所属となり、公民館業務は補助執行となる＊
	9 「松本市公民館あり方検討委員会」発足（館長・主事・公運審）	4 佐久市生涯学習センター（野沢地区館併設）が指定管理者導入＊
	12 松本市芸術文化祭50周年記念式典開催	9 「多文化共生プラン（仮称）」策定に向けた「多文化共生庁内ワーキング会議」発足
		10 県生涯学習審議会答申「新しい時代にふさわしい長野県の生涯学習振興のあり方について」※

松本市公民館関係略年表

年	松本市公民館のあゆみ	※項目前の数字は月をあらわす 取り巻く状況　＊県　☆国ほか　無印は松本市
22	3 「松本市公民館あり方検討委員会」中間報告を中央公民館長へ提出	3 県公民館運営協議会「公民館の基礎知識（H22）」発刊
	3 波田町合併に伴い、波田公民館が地区公民館として発足	6 「松本市地域づくり推進行動計画」策定。地域づくり推進に向けた庁内組織の検討はじまる
	4 松原地区公民館が新築開館。第一地区公民館が、中央公民館（Mウイング）内に開館（35地区すべてに公民館が設置完了）	7 学都松本に向けた取組みを定める
	4 地区再発見情報発信事業始まる（初年度６地区～25年度に全地区終了）	
	5 ベトナム学習振興会が蟻ケ崎西町内公民館を視察	
	6 韓国・公州大学校教授および大学院生が、城北公民館、城北地区福祉ひろば、大手公民館、徒士町「おかちまち市場」、巾上西「いばらん亭」を視察（名古屋大学社会教育調査実習と合同）	
	11 梓川公民館大規模改修事業　竣工	
23	5 市公民館運営審議会提言書「もう一度公民館の意義、役割を考えよう」	11 松本市の教育に関するアンケート調査報告
		12 地域主権改革第２次一括法により社会教育法改正（公運審委員委嘱は文科省令基準を参酌）
24	9 「第53回関東甲信越静公民館研究大会（長野県松本大会）」を開催	3 県公民館運営協議会「長野県らしい公民館に磨きをかけよう」（提言）
	9 松本市公民館活動実践事例集（地域・くらしと学びをつなぐ）を発刊	3 松本市教育振興基本計画「学都松本をめざして」を策定
	12 第４回全国公民館報コンクールで波田公民館が奨励賞を受賞	3 松本市地域づくり実行計画策定
		9 第１回学都松本フォーラム（学都松本を目指して）を開催
25	3 神林公民館大規模改修事業竣工	2 松本市第３次男女共同参画計画　策定
	3 大手公民館会館10周年記念誌『語り継ぐまちんなか』発刊	3 健康寿命延伸都市宣言
	6 松本市公民館運営審議会より「松本らしい地域づくりに向けた公民館の役割について」答申が示される	4 市内15地区公民館（出張所機能を持たない館）に、地域づくりセンター準備職員を配置
	6 松原地区公民館が住民の戦時中体験をまとめた『語り伝えておきたくて』を発刊	4 松本市子どもの権利に関する条例を制定
	10 文部科学省委託事業（公民館等を中心とした社会教育活性化支援プログラム）「公民館の学びがつなぐ松本らしい地域づくり・人づくり」事業が採択され、全７講座が取り組まれる（記録集３月発行）	6 学都松本のイメージカラーを薄緑色、９月を「学びの９月」と定める
		6 社会教育法一部改正☆
		6 第二期教育振興基本計画閣議決定☆
		10 文部科学省委託事業（公民館等を中心とした社会教育活性化支援プログラム）「若者が創る信濃の国再発見物語」を６市町村（上田市、飯田市、松川町、麻績村、山形村、朝日村）へ再委託＊
26	2 第29回松本市公民館研究集会が歴史的大雪により初めて中止となる	4 長野市立長沼公民館が指定管理者導入＊
	4 南部公民館が、松南地区公民館に名称変更する	4 地域づくりセンターが各地区に設置される
	6 文部科学省委託事業「公民館の学びがつなぐ松本らしい地域づくり・人づくり」事業が２年目の採択をされ、全７講座が取り組まれる（記録集３月発行）	6 改正地方教育行政法が可決、成立☆
	9 松本市芸術文化祭55周年記念特別公演「わが想いとどけよ彼方の空に」がまつもと市民芸術館で開催される	6 国民投票法、学校教育法、国立大学法人法改正案が可決、成立☆
	12 入山辺公民館「入山辺文化誌（館報 400号合冊版）」発刊	6 「健康寿命延伸都市・松本」に「美しく生きる。」のキャッチコピーを追加する
	12 寿地区学校応援団が、優れた「地域による学校支援活動」推進にかかる文部科学大臣表彰を受賞	10 「ＥＳＤ推進のための公民館－ＣＬＣ国際会議」開催（岡山県岡山市）☆（松本市の公民館から事例発表）
		12 「まち・ひと・しごと創生長期ビジョン」「まち・ひと・しごと創生総合戦略」閣議決定☆
		12 特定秘密保護法施行☆
27	2 第30回松本市公民館研究集会が基調講演、過去最大数の11分科会により開催される	3 松本市スポーツ推進計画策定
	3 全国公民館報コンクールで、第一地区公民館・中央公民館が奨励賞を受賞	3 松本市子どもにやさしいまちづくり推進計画策定
	3 西部公民館、北部公民館大規模改修事業竣工	4 地方教育行政の組織及び運営に関する法律の一部を改正する法律施行☆
	4 西部公民館が鎌田地区公民館へ、北部公民館が白板地区公民館に名称変更する	4 諮問「新しい時代の教育や地方創生の実現に向けた学校と地域の連携・協働の在り方について」☆
	6 「全国身体障害者補助犬サミットin松本」が、中央公民館共催により開催される	4 施行に伴い、本市でも市長が主宰する総合教育会議の設置、松本市教育大綱の策定、教育委員長と教育長を一本化して「新教育長」の配置
	8 文部科学省委託事業（公民館の学びがつなぐ、松本らしい地域づくり・人づくり事業）の委託期間終了後、市単独事業としてプロジェクトチームによる取組みへ発展	4 地域づくり部（地域づくり課、地域づくりセンター）及び文化スポーツ部（スポーツ推進課を含める・旧体育課）の新設
	9 地域学習テキストをモデル３地区（白板、本郷、波田）で発刊	4 「サイトウ・キネン・フェスティバル松本」が、「セイジ・オザワ松本フェスティバル」に名称変更

松本市公民館関係略年表

年	松本市公民館のあゆみ	※項目前の数字は月をあらわす 取り巻く状況　＊県　☆国ほか　無印は松本市
27		7 「学習の自由と公民館」に関する教育研究団体連絡会議発足☆
		8 「第20回松本市平和記念式典、松本市平和の集い」開催
		10 勤労青少年福祉法大幅改正（勤労青少年ホームの法的設置根拠がなくなる）☆
		10 「健康寿命延伸都市・松本」地方創生総合戦略策定
		12 中央教育審議会から、地方創生を踏まえた今後の学校教育と社会教育のあり方に関する３本の答申☆
		184号「これからの学校教育を担う教員の資質能力の向上について～学び合い、高め合う教員育成コミュニティの構築に向けて～」
		185号「チームとしての学校の在り方と今後の改善方策について」
		186号「新しい時代の教育や地方創生の実現に向けた学校と地域の連携・協働の在り方と今後の推進方針につい
28	2 公民館発足70周年記念事業「未来を拓く自治と協働のまちづくりを目指す研究集会 松本大会」の準備会が立ち上がる	1 南部福祉総合施設「なんぷくプラザ」供用開始
	3 今井公民館大規模改修事業竣工	2 第１回地方創生全国コンファレンス「学びで地域を元気に」が国立オリンピックセンターで開催される☆
	3 歴史文化基本構想策定に関する各公民館を中心とした調査終了	4 県生涯学習推進センターに、公民館支援専門アドバイザーを配置＊
	4 スウェーデン「ソッレンテューナ市」の社会教育学研究者等の視察受入	4 小中学校９年間を、共通の教育課程で学習する「義務教育学校」を全国22校開校☆
	5 韓国「烏山市」の市長や生涯学習関係職員等の視察受入	5 県政タウンミーティングを阿智村で開催＊
	6 「未来を拓く松本大会」関係者学習会を実施	5 県公連協主事会の幹事に、飯田市を固定枠化＊
	7 学びの森生涯学習ファイル更新（２年に１回）	8 松本市第10次基本計画策定
		9 地域包括ケアシステム推進事業が、３地区でモデルにスタート（第二地区、岡田地区、四賀地区）
		9 「次期学習指導要領等に向けたこれまでの審議まとめ」を中教審初等中等教育分科会教育課程部会提出☆
		12 「義務教育の段階における普通教育に相当する教育の機会確保等に関する法律」（教育機会確保法）成立☆
29	1 全国規模の集会である「未来を拓く自治と協働のまちづくりを目指す研究集会　松本大会」が、まつもと市民芸術館、中央公民館で開催され、全国各地から延 1,115人が参加（松本市公民館70周年事業として開催）	3 あがたの森文化会館として活用されている「重要文化財旧松本高等学校校舎及び講堂保存計画」策定
	3 内田公民館大規模改修事業竣工	3 中高、飯水の郡市公運協を統合し「中飯」へ＊
	7 町内公民館の手引き改訂版編集委員会発足	3 「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」の一部改正（学校運営協議会の設置が努力義務化）☆
	7 波田公民館が波田庁舎内へ移転開館（旧波田公民館は30年３月に解体）	5 第２次松本市教育振興基本計画策定
	9 文科省組織改編に対し、社会教育委員会議、公民館運営審議会、町内公民館長会連名で意見書を提出	5 第２次松本市地域づくり実行計画策定
		8 文部科学省次年度概算要求において、文部科学省の組織改編が示される☆
		9 文科省の組織改編に対し松本市教育委員会から要望書を提出
30	2 松本市公民館研究集会と、地域づくり課所管の地域づくり市民活動研究集会を「未来へつなぐ私たちのまちづくりの集い～第33回公民館研究集会　地域づくり市民活動研究集会～」として合同開催（以降毎年合同開催）	3 県総合５か年計画策定（自治と学びが柱に据わる）＊
	3 笹賀公民館大規模改修事業竣工	12 中央教育審議会で「人口減少時代の新しい地域づくりに向けた社会教育の振興方策について（答申）」を取りまとめ☆
	3 大手公民館・中央地区福祉ひろば開館15周年記念「まち歩き講座から見た後世に残したい地区の文化財」発刊	
	4 学校サポート事業を統合した松本版コミュニティスクール事業開始	
	8 住民自治を基盤とした持続可能な地域づくりに向け、町内公民館機能に着目した「多世代参画型地域共生コミュニティづくりモデル事業を、東京大学牧野研究室との共同事業として開始（３カ年の事業）	
31	3 和田公民館大規模改修事業竣工	1 松本大学・松本大学松商短期大学部と包括的連携協定を締結
		4 第２層生活支援コーディネーター（地区生活支援員）が７地区（第二、中央、里山辺、寿台、四賀、梓川、波田）に配置
R1	6 『町内公民館活動のてびき（第６次改訂版）』発刊	6 「第９次地方分権一括法（地域の自主性及び自立性を高めるための改革の推進を図るための関係法律の整備に関する法律）」公布☆ （公立社会教育機関について、一定の担保措置を講じて条例により首長が所管することが可能となる）
	7 公民館運営審議会が提言集を中央公民館に提出	9 旧開智学校校舎国宝指定
	8 中山公民館「中山の民話」発刊	9 社会教育委員会議提言書「松本版コミュニティスクールへの提言～すべてに対してやさしくおもいやりに生きる大人へ～」

松本市公民館関係略年表

年	松本市公民館のあゆみ	※項目前の数字は月をあらわす 取り巻く状況　＊県　☆国ほか　無印は松本市
2	2　第三地区公民館が、文部科学省の第72回優良公民館表彰を受賞	3　菅谷昭市長退任 臥雲義尚市長就任
	2　「未来へつなぐ私たちのまちづくりの集い～第35回公民館研究集会　地域づくり市民活動研究集会～」で、市民提案によるテーマでの分科会を実施	
	2　城北公民館・城北地区福祉ひろば開館二十周年記念誌発刊	
	3　第三地区公民館が、長野県教育委員会の令和元年度公民館活動アワードを受賞	
	3　岡田公民館「岡田再発見を読み解く」（岡田歴史研究会編著）発刊	
	3　「松本市芸術文化祭60年の歩み」発刊	
	4　新型コロナウイルス感染症の影響で約１か月間貸館を休止（４／７～５/31）	
	6　島内地区歴史文化財調査委員会（事務局：島内公民館）「島内の歴史と文化遺産」発刊	
	7　７月豪雨により地区公民館（一部除く）に避難所を開設	
3	1　新型コロナウイルス感染症の影響で貸館の新規受付を停止（１／８～12／４）	1　松本市成人式が新型コロナウイルス感染症の影響で延期
	2　「未来へつなぐ私たちのまちづくりの集い～第36回公民館研究集会　地域づくり市民活動研究集会」が新型コロナウイルス感染症の影響により、基調講演・鼎談のみ実施となる（ＹｏｕＴｕｂｅでオンラインライブ配信）	
	2　安原地区公民館・福祉ひろば開館20周年記念冊子発刊	
4	1　新型コロナウイルス感染症の拡大により、貸館の新規受付を停止（１／15～２／20）	1　長野県内にまん延防止等重点措置が適用（１／15～３／６）
	1　コミュニティスクール事業のあり方検討会を立ち上げ、国型導入等についての検討を始める	1　令和４年成人式を２部に分けて開催
	2　「未来へつなぐ私たちのまちづくりの集い～第37回公民館研究集会　地域づくり市民活動研究集会」を対面とオンラインのハイブリッド形式で開催	2　松本市教育大綱を策定
	3　里山辺公民館が移転新築	8　松本市成人のつどい（延期になった令和３年成人式の代替事業）を開催
5	2　「未来へつなぐ私たちのまちづくりの集い～第38回公民館研究集会　地域づくり市民活動研究集会」の基調講演を対面とＹｏｕＴｕｂｅライブ配信のハイブリッド形式で開催	5　新型コロナウイルス感染症が５類感染症に移行（5/8～）
	4　大野川小・中学校をモデル校としてコミュニティ・スクール国型制度を導入	
6	2　「未来へつなぐ私たちのまちづくりの集い～第39回公民館研究集会　地域づくり市民活動研究集会」の基調講演と分科会を主会場（中央公民館・Ｍウイング）に加え、サテライト会場（芳川・四賀）も設けて開催	
7	2　「未来へつなぐ私たちのまちづくりの集い～第40回公民館研究集会　地域づくり市民活動研究集会」の全体会（パネルディスカッション）と分科会を主会場（中央公民館・Ｍウイング）に加え、サテライト会場（第三地区・笹賀）も設けて開催	
	4　四賀小学校・会田中学校、筑摩小学校をモデル校としてコミュニティ・スクール国型制度を導入	

○松本市公民館条例

昭和３９年３月３１日

条例第４２号

（目的）

第１条　この条例は、市民生活文化の振興及び福祉の増進を図るため、社会教育法（昭和２４年法律第２０７号。以下「法」という。）第２４条及び地方自治法（昭和２２年法律第６７号）第２４４条の２の規定に基づき公民館の設置及び管理等について必要な事項を定めることを目的とする。

（名称及び位置）

第２条　名称及び位置は、次のとおりとする。

名称	位置
松本市中央公民館	松本市中央１丁目１８番１号
〃　第一地区公民館	松本市中央１丁目１８番１号
〃　第二地区公民館	松本市本庄２丁目３番２３号
〃　第三地区公民館	松本市中央４丁目７番２８号
〃　東部公民館	松本市女鳥羽２丁目１番２５号
〃　城北公民館	松本市開智２丁目３番３９号
〃　大手公民館	松本市大手３丁目８番１号
〃　安原地区公民館	松本市旭２丁目１１番１３号
〃　城東公民館	松本市元町３丁目７番１号
〃　白板地区公民館	松本市城西１丁目６番１７―３号
〃　田川公民館	松本市渚３丁目２番７号
〃　庄内地区公民館	松本市出川１丁目５番９号
〃　鎌田地区公民館	松本市両島５番５０号
〃　松南地区公民館	松本市芳野４番１号
〃　中山公民館	松本市大字中山３，７４６番地１
〃　島内公民館	松本市大字島内４，９７０番地の１
〃　島立公民館	松本市大字島立３，２９８番地の２
〃　新村公民館	松本市大字新村２，１７９番地７
〃　和田公民館	松本市大字和田２，２４０番地３１
〃　神林公民館	松本市大字神林１，５５７番地の１
〃　笹賀公民館	松本市大字笹賀２，９２９番地
〃　芳川公民館	松本市野溝東２丁目１０番１号
〃　寿公民館	松本市大字寿豊丘４２４番地

〃　寿台公民館	松本市大字寿豊丘６４９番地の１
〃　岡田公民館	松本市大字岡田町５１７番地の１
〃　入山辺公民館	松本市大字入山辺１，５０９番地の１
〃　里山辺公民館	松本市大字里山辺２９４３番地１
〃　今井公民館	松本市大字今井２，２３１番地の１
〃　内田公民館	松本市大字内田２，２０３番地の１
〃　本郷公民館	松本市浅間温泉２丁目９番１号
〃　松原地区公民館	松本市大字松原３９番地１
〃　四賀公民館	松本市会田１００１番地１
〃　安曇公民館	松本市安曇２７４１番地１
〃　奈川公民館	松本市奈川３３０１番地
〃　梓川公民館	松本市梓川梓２２８５番地１
〃　波田公民館	松本市波田４４１７番地１

（公民館運営審議会）

第３条　本市の公民館事業の企画実施につき調査審議するため、法第２９条の規定に基づき中央公民館に松本市公民館運営審議会（以下「審議会」という。）を置く。

２　審議会委員（以下「委員」という。）の定数は、１５人以上３０人以内とする。

３　委員は、次に掲げる者のうちから教育委員会が委嘱する。

(1) 学校教育関係者

(2) 社会教育関係者

(3) 家庭教育の向上に資する活動を行う者

(4) 有識者

(5) 公募による市民

(6) 前各号に掲げるもののほか、教育委員会が必要と認める者

４　委員の任期は、２年とする。ただし、委員に欠員を生じた場合における補欠委員の任期は、前任者の残任期間とする。

（開館時間及び休館日）

第４条　公民館の開館時間及び休館日は、次のとおりとする。ただし、教育委員会が特に必要と認めたときは、この限りでない。

(1) 開館時間　午前９時から午後１０時まで

(2) 休館日　１２月２９日から翌年の１月３日まで（以下「年末年始」という。）

２　前項の規定にかかわらず、中央公民館、第一地区公民館及び庄内地区公民館の休館日は、次のとおりとする。ただし、教育委員会が特に必要と認めたときは、この限りでない。

休館日　毎月第２及び第４水曜日並びに年末年始

３　第１項の規定にかかわらず、松南地区公民館の開館時間及び休館日は、次のとおりとする。ただし、教育委員会が特に必要と認めたときは、この限りでない。

(1) 開館時間　平日　午前９時から午後１０時まで

日曜日　午前９時から午後５時まで

(2) 休館日　火曜日、国民の祝日に関する法律（昭和２３年法律第１７８号）に規定する休日（以下「休日」という。）及び年末年始

４　第１項の規定にかかわらず、波田公民館の開館時間及び休館日は、次のとおりとする。ただし、教育委員会が特に必要と認めたときは、この限りでない。

(1) 開館時間　平日　午前９時から午後１０時まで

日曜日及び休日　午前９時から午後５時まで

(2) 休館日　毎月第１及び第３日曜日並びに年末年始

５　第１項の規定にかかわらず、奈川公民館の開館時間及び休館日は、次のとおりとする。ただし、教育委員会が特に必要と認めたときは、この限りでない。

(1) 開館時間　午前９時から午後９時まで

(2) 休館日　休日及び年末年始

（使用の申請及び許可）

第５条　公民館を使用しようとする者は、あらかじめ教育委員会に申請し、許可を受けなければならない。許可を受けた事項の変更又は取消しをしようとする場合も、同様とする。

（使用の取消）

第６条　教育委員会は、前条の許可を受けた者（以下「使用者」という。）が次の各号のいずれかに該当するときは、全部又は一部の使用の許可を取消すことができる。

(1) 許可を得ないで使用の目的を変更したとき。

(2) この条例及びこの条例に基づく規則に違反したとき。

２　取消によって使用者が受けた損害に対して、教育委員会はその責任を負わない。

（使用料）

第７条　中央公民館の使用料は、別表第１に定める額とする。

２　奈川公民館の使用料は、別表第２に定める額とする。

３　中央公民館及び奈川公民館を除く公民館の使用料は、別表第３に定める額とする。

４　使用料は、使用の許可のあったときに納入しなければならない。ただし、市長が特別の理由があると認めたときは、この限りでない。

（使用料の減免）

第８条　市長は、次に掲げる特別の事情があると認めた者に対し、使用料の減免を行うことができる。

(1) 教育公共の利益に関する集会その他市長が特別の事情があると認めたもの

(2) 前号のほか市長が特に必要と認めたとき。

（使用料の還付）

第９条　既に納めた使用料は、還付しない。ただし、次の各号のいずれかに該当するときは、市長はその一部又は全部を還付することができる。

(1) 使用者の責でない理由により、使用することができなくなったとき。

(2) 教育委員会が定める期日前までに、使用の取消し又は変更を求める申出があったとき。

(3) 前２号のほか、市長が特別の理由があると認めたとき。

（使用の制限）

第１０条　教育委員会は、次の各号のいずれかに該当すると認める場合は、使用させないことができる。

(1) 使用目的以外の用途に使用したとき。

(2) 公益を害し、又は風紀をみだすおそれのあるとき。

(3) 前２号に掲げるもののほか、教育委員会が特に不適当と認めたとき。

（使用者の義務）

第１１条　使用者は、次に掲げる義務をおわなければならない。

(1) 使用者が使用を終ったときは、復旧の上引渡しをする。

(2) 使用者が建物その他の物品を汚損し、又は紛失したときは、その損害を賠償しなければならない。

(3) 前２号の義務を履行しないときは、市がこれを行い、使用者からその費用を徴収する。

（禁止行為）

第１２条　使用者は、教育委員会の許可を得ないで次に掲げる行為をしてはならない。

(1) 市において施した設備の現状を変更すること。

(2) 仮設の設備を行うこと。

(3) 飲食物その他の物品の販売を行うこと。

(4) 火気を使用すること。

(5) 教育委員会の定める収容人員を超えて使用すること。

(6) 使用権を他人に譲渡し、又は転貸すること。

（入場の制限）

第１３条　教育委員会は、他人に危害を及ぼし、又は他人に迷惑になる物品又は動物を携行する者、その他公民館の管理上著しく支障があると認められる者の入場を禁止し、又は退館を命ずることができる。

（廃止）

第１４条　公民館を廃止しようとするときは、議会において出席議員の３分の２以上の者の同意を得なければならない。

（罰則）

第１５条　使用者が第１０条の規定に違反した場合は、５万円以下の過料を科すことができる。

（委任）

第１６条　この条例の施行について必要な事項は、教育委員会が別に定める。

附　則

（施行期日）

１　この条例は、昭和３９年４月１日から施行する。

（条例の廃止）

２　松本市公民館条例（昭和２４年条例第６３号）及び松本市公民館使用条例（昭和２２年制定）は、廃止する。

（経過措置）

３　この条例施行のさい、旧条例の規定に基づいてなされた申請、許可等の行為は、この条例の相当規定によりなされたものとみなす。

附　則（昭和４０年１０月２１日条例第３２号）

この条例は、公布の日から施行し、昭和４０年９月１日から適用する。

附　則（昭和４１年７月１５日条例第２０号）抄

（施行期日）

１　この条例は、公布の日から施行する。

附　則（昭和４５年１０月１５日条例第４０号）

この条例は、公布の日から施行する。

附　則（昭和４９年５月１日条例第３３号）

（施行期日）

１　この条例は、公布の日から施行する。

（経過措置）

２　この条例施行前において、本郷村公民館使用料徴収条例（昭和３２年本郷村条例第９号）の規定によりなされた申請、許可等の行為は、この条例による改正後の松本市公民館条例の相当規定によりなされたものとみなす。

附　則（昭和５０年１２月２５日条例第７８号）

この条例の施行期日は、別に規則で定める。

（昭和５１年教育委員会規則第１０号で昭和５１年８月３０日から施行）

附　則（昭和５１年６月２５日条例第４０号）

この条例の施行期日は、別に規則で定める。

（昭和５１年教育委員会規則第１１号で昭和５１年９月１日から施行）

附　則（昭和５４年９月２７日条例第４０号）

この条例は、昭和５４年１０月１日から施行する。

附　則（昭和５５年２月２９日条例第９号）

この条例は、昭和５５年４月１日から施行する。

附　則（昭和５５年７月３日条例第３０号）

この条例の施行期日は、別に規則で定める。

（昭和５５年教育委員会規則第１５号で昭和５５年１２月１５日から施行）

附　則（昭和５６年３月１４日条例第１４号）

この条例は、昭和５６年４月１日から施行する。

附　則（昭和５７年３月１９日条例第１１号）

この条例の施行期日は、別に規則で定める。

（昭和５７年教育委員会規則第５号で昭和５７年５月１０日から施行）

附　則（昭和５８年３月１１日条例第１０号）

この条例の施行期日は、別に規則で定める。

（昭和５８年教育委員会規則第８号で昭和５８年５月１６日から施行）

附　則（昭和５８年６月２４日条例第３４号）

この条例の施行期日は、別に規則で定める。

（昭和５８年教育委員会規則第１７号で昭和５８年１０月１日から施行）

附　則（昭和５９年３月１日条例第９号）

この条例の施行期日は、別に規則で定める。

（昭和５９年教育委員会規則第５号で昭和５９年６月１日から施行）

附　則（昭和５９年１２月２０日条例第４４号）

この条例は、昭和６２年２月１２日から施行する。

附　則（昭和６０年３月１４日条例第１７号）

（施行期日）

１　この条例は、昭和６０年４月１日から施行する。

（経過措置）

２　この条例施行前において、この条例による改正前の松本市公民館条例の規定及び松本市厚生文化会館条例を廃止する条例（昭和６０年条例第１６号）による廃止前の松本市厚生文化会館条例（昭和４１年条例第２０号）の規定に基づいてなされた申請、許可等の行為については、この条例による改正後の松本市公民館条例の相当規定によりなされたものとみなす。

附　則（昭和６０年６月２７日条例第２８号）

この条例の施行期日は、別に規則で定める。

（昭和６０年教育委員会規則第１５号で昭和６０年９月１１日から施行）

附　則（昭和６１年３月１４日条例第２２号）

（施行期日）

１　この条例は、公布の日から施行する。ただし、中山公民館及び笹賀公民館の改正規定の施行期日は、

別に規則で定める。

（昭和６１年教育委員会規則第７号で昭和６１年４月８日から施行）

（経過措置）

２　この条例による中山公民館及び笹賀公民館の改正規定を除く改正後の松本市公民館条例の規定は、昭和６１年４月１日以降の使用に係るものから適用し、同日前の使用に係るものについては、なお従前の例による。

附　則（昭和６２年３月１０日条例第２１号）

この条例は、昭和６２年４月１日から施行する。

附　則（昭和６３年２月２５日条例第１１号）

この条例は、昭和６３年４月１日から施行する。

附　則（平成元年３月１８日条例第２４号）

（施行期日）

１　この条例は、平成元年４月１日から施行する。

（経過措置）

２　この条例による島立公民館の改正規定を除く改正後の松本市公民館条例の規定は、平成元年４月１日（以下「施行日」という。）以後に使用料を徴収するものから適用し、施行日前に使用料を徴収したものについては、なお従前の例による。

附　則（平成２年３月２２日条例第２１号）

この条例は、平成２年４月１日から施行する。ただし、第２条、第４条及び別表第３の改正規定中南部公民館に係る部分の施行期日は、別に規則で定める。

（平成２年教育委員会規則第１４号で平成２年５月２４日から施行）

附　則（平成３年３月８日条例第２１号）

この条例は、平成３年４月１日から施行する。ただし、別表第１の改正規定の施行期日は、別に規則で定める。

（平成３年教育委員会規則第７号で平成３年７月２１日から施行）

附　則（平成３年９月３０日条例第３６号）

この条例は、平成３年１１月５日から施行する。

附　則（平成５年３月１２日条例第３２号）

この条例は、公布の日から施行する。ただし、第２条の改正規定中芳川公民館に係る部分並びに別表第３及び別表第４の改正規定は、平成５年４月１日から施行する。

附　則（平成６年３月１８日条例第２３号）

この条例は、平成６年４月１日から施行する。

附　則（平成６年１２月２１日条例第６２号）

（施行期日）

1　この条例は、公布の日から起算して２０日を経過した日から施行する。

（経過措置）

2　この条例の施行前にした行為に対する罰則の適用については、なお従前の例による。

附　則（平成８年６月２７日条例第３８号）

この条例は、平成８年８月１日から施行する。ただし、第５条及び第６条の改正規定は、公布の日から施行する。

附　則（平成８年９月３０日条例第４９号）

この条例は、公布の日から施行する。

附　則（平成９年３月１４日条例第２３号）

（施行期日）

1　この条例は、平成９年４月１日から施行する。

（経過措置）

2　この条例による改正後の第７条及び別表第２の規定は、この条例の施行の日（以下「施行日」という。）以後に徴収する使用料から適用し、施行日前に徴収する使用料については、なお従前の例による。

附　則（平成１０年３月１３日条例第２６号）

この条例は、平成１０年４月１日から施行する。

附　則（平成１１年３月１２日条例第２２号）

（施行期日）

1　この条例は、平成１１年４月１日から施行する。ただし、第２条の表の改正規定中松本市中央公民館に係る部分並びに別表第１及び別表第２の改正規定は、平成１１年４月１２日から施行する。

（経過措置）

2　この条例による改正後の別表第１及び別表第２の規定は、第２条の表の改正規定中松本市中央公民館に係る部分並びに別表第１及び別表第２の改正規定の施行の日（以下「施行日」という。）以後の使用に係るものから適用し、施行日前の使用に係るものについては、なお従前の例による。

附　則（平成１１年１２月２４日条例第５９号）

この条例の施行期日は、別に規則で定める。

（平成１２年教育委員会規則第１号で平成１２年４月１日から施行）

附　則（平成１２年１２月２１日条例第７３号）

（施行期日）

1　この条例は、平成１３年４月１日から施行する。ただし、第２条の改正規定は、平成１３年１月４日から施行する。

（経過措置）

2　この条例による改正後の別表第１及び別表第２の規定は、平成１３年４月１日（以下「施行日」と

いう。）以後の使用に係るものから適用し、施行日前の使用に係るものについては、なお従前の例による。

附　則（平成１３年3月１６日条例第３６号）

（施行期日）

1　この条例は、平成１３年４月１日から施行する。

（経過措置）

2　この条例による改正後の別表第３及び別表第４の規定は、平成１３年４月１日（以下「施行日」という。）以後の使用に係るものから適用し、施行日前の使用に係るものについては、なお従前の例による。

附　則（平成１４年3月１５日条例第２６号）

（施行期日）

1　この条例は、平成１４年3月２６日から施行する。

（準備行為）

2　施設等を使用しようとする者への許可に関する手続きその他この条例を施行するために必要な準備行為は、この条例の施行前において行うことができる。

（松本市出張所の設置に関する条例の一部改正）

3　松本市出張所の設置に関する条例（昭和３４年条例第２号）の一部を次のように改正する。

第２条の表中「

松本市大字中山３，７３８番地の１

」を「

松本市大字中山３，７４６番地１

」に改める。

附　則（平成１４年6月２７日条例第５６号）

（施行期日）

1　この条例は、平成１４年7月１５日から施行する。

（準備行為）

2　施設等を使用しようとする者への許可に関する手続きその他この条例を施行するために必要な準備行為は、この条例の施行前においても行うことができる。

附　則（平成１４年１２月１９日条例第７０号）

この条例は、松本都市計画事業中央西土地区画整理事業の換地処分の公告があった日の翌日から施行する。

附　則（平成１５年１２月１８日条例第１０１号）

（施行期日）

１　この条例は、平成１６年４月１日から施行する。

（経過措置）

２　この条例による改正後の松本市公民館条例第７条、別表第１及び別表第２の規定は、この条例の施行の日（以下「施行日」という。）以後の使用に係るものから適用し、施行日前の使用に係るものについては、なお従前の例による。

附　則（平成１７年３月２２日条例第１５２号）

（施行期日）

１　この条例は、平成１７年４月１日から施行する。

（四賀村、安曇村、奈川村及び梓川村の編入に伴う経過措置）

２　この条例の施行の日（以下「施行日」という。）前に、四賀村公民館条例（昭和３０年四賀村条例第１１号）、安曇村公民館設置条例（昭和２４年安曇村条例第５号）、奈川村公民館設置条例（昭和３２年奈川村条例第２号）又は梓川村立公民館設置条例（昭和５２年梓川村条例第１１号）の規定によりなされた処分、手続その他の行為は、この条例による改正後の松本市公民館条例の相当規定によりなされた処分、手続その他の行為とみなす。

３　施行日から平成２２年３月３１日までの間の奈川公民館の使用料については、第７条第２項の規定にかかわらず、次のとおりとする。

区分	９：００～１７：００（１時間につき）	１７：００～２２：００（１時間につき）	全日
第１会議室	円 １５０	円 ３１０	円 ２，１００
第２会議室	１５０	３１０	２，１００
第３会議室	１５０	３１０	２，１００
大会議室	４２０	８４０	５，５６０
講義室	２１０	４２０	２，７３０
研修室	２１０	４２０	２，７３０
調理実習室	３１０	６３０	４，２００
視聴覚準備室	１００	２１０	１，３６０
託児室	５０	１００	６３０
全館	１，５７０	３，１５０	２１，０００

備考

１　暖房を使用する場合の金額は、当該区分に定める額の１００分の１３０に相当する額とする。この場合において、算出した金額（施設を複数使用する場合は、当該使用料の合計額）に１０円未満の端数金額があるときは、その端数金額を切り捨てるものとする。

２　調理実習室の金額には、調理備品等の使用料を含むものとする。

附　則（平成１８年３月１６日条例第３４号）

（施行期日）

１　この条例は、平成１８年４月１日から施行する。

（準備行為）

２　施設等を使用しようとする者への許可に関する手続その他この条例を施行するために必要な準備行為は、この条例の施行前においても行うことができる。

附　則（平成２０年３月６日条例第２６号）

（施行期日）

１　この条例は、平成２０年４月１日から施行する。

（準備行為）

２　施設等を使用しようとする者への許可に関する手続きその他この条例を施行するために必要な準備行為は、この条例の施行前においても行うことができる。

附　則（平成２０年６月１９日条例第３７号）

この条例は、平成２０年１０月３１日から施行する。

附　則（平成２２年３月１９日条例第８１号）

（施行期日）

１　この条例は、平成２２年４月１日から施行する。ただし、第１条中第２条の表の改正規定（波田公民館に係る部分に限る。）、第４条第３項の次に１項を加える改正規定並びに附則第３項及び附則第４項の規定は、平成２２年３月３１日から施行する。

（準備行為）

２　施設等を使用しようとする者への許可に関する手続その他この条例を施行するために必要な準備行為は、この条例の施行前においても行うことができる。

（波田町の編入に伴う経過措置）

３　波田町の編入の日（次項において「編入日」という。）前に、波田町公民館設置条例（昭和５１年波田町条例第１０号）又は波田町中央公民館使用料徴収条例（昭和５１年波田町条例第１１号）の規定によりなされた処分、手続その他の行為は、この条例による改正後の松本市公民館条例の相当規定によりなされた処分、手続その他の行為とみなす。

４　編入日から平成２９年７月１９日までの間、波田公民館の使用料については、第７条第２項の規定にかかわらず、次のとおりとする。

区分	午前	午後	夜間	午前～午後	午後～夜間	全日
	８：３０～１２：００	１３：００～１７：００	１７：００～２２：００	８：３０～１７：００	１３：００～２２：００	８：３０～２２：００

					0	
	円	円	円	円	円	円
第１会議室	８４０	１，０５０	１，２６０	１，６８０	２，１１０	２，７４０
第２会議室	７４０	９４０	１，１６０	１，４８０	１，９００	２，４２０
第３会議室	１，０５０	１，２６０	１，４８０	２，１１０	２，５４０	３，３８０
第５会議室	７４０	９４０	１，１６０	１，４８０	１，９００	２，４２０
第６会議室	７４０	９４０	１，１６０	１，４８０	１，９００	２，４２０
第７会議室	８４０	１，０５０	１，２６０	１，６８０	２，１１０	２，７４０
講堂	２，２２０	２，４２０	２，６４０	４，４４０	４，８６０	６，８８０
講義室	１，４８０	１，６８０	１，９００	２，９６０	３，３８０	４，６６０
料理実習室	１，６８０	１，９００	２，１１０	３，３８０	３，８００	５，２９０
視聴覚室	１，４８０	１，６８０	１，９００	２，９６０	３，３８０	４，６６０
児童室	８４０	１，０５０	１，２６０	１，６８０	２，１１０	２，７４０
託児室	７４０	９４０	１，１６０	１，４８０	１，９００	２，４２０
資料室	８４０	１，０５０	１，２６０	１，６８０	２，１１０	２，７４０
ギャラリー大	１，０５０	１，２６０	１，４８０	２，１１０	２，５４０	３，３８０
ギャラリー中	７４０	９４０	１，１６０	１，４８０	１，９００	２，４２０

備考

１　冷房又は暖房を使用する場合の金額は、当該区分に定める額の１００分の１３０に相当する額とする。この場合において、算出した額（施設を複数使用する場合は、当該使用料の合計額）に１０円未満の端数金額があるときは、その端数金額を切り捨てるものとする。

２　講義室及び視聴覚室を併用して使用する場合の金額は、講堂の使用料を適用する。

附　則（平成２４年３月１日条例第２２号）

（施行期日）

１　この条例は、平成２４年４月１日から施行する。

（経過措置）

２　この条例の施行の際現にこの条例による改正前の松本市公民館条例（以下「旧条例」という。）第３条の規定により委嘱されている公民館運営審議会委員は、この条例による改正後の第３条の規定により委嘱されたものとみなす。この場合において、当該委員の任期は、旧条例第３条の規定により委嘱された日から２年とする。

附　則（平成２６年３月１４日条例第１０３号）

（施行期日）

１　この条例は、平成２６年４月１日から施行する。

（経過措置）

２　この条例による改正後の松本市公民館条例別表第１及び別表第２の規定並びに松本市公民館条例の一部を改正する条例附則第４項の規定は、この条例の施行の日（以下「施行日」という。）以後の使用に係る使用料で施行日以後に納入するものから適用し、施行日以後の使用に係る使用料で施行日前に納入するもの及び施行日前の使用に係る使用料で施行日以後に納入するものについては、なお従前の例による。

附　則（平成２７年３月１３日条例第３８号）

この条例中第１条の規定は平成２７年４月１日から、第２条の規定は平成２７年４月１０日から施行する。

附　則（平成２９年６月２２日条例第４０号）

この条例は、平成２９年７月２０日から施行する。ただし、第１条中別表第１第１号の表展示室の項を削る改正規定、別表第１第２号の表の改正規定及び第２条の規定は、公布の日から施行する。

附　則（平成３１年３月１８日条例第１００号）

（施行期日）

１　この条例は、平成３１年１０月１日から施行する。ただし、別表第１第１号の表備考の改正規定は、公布の日から施行する。

（経過措置）

２　この条例による改正後の別表第１及び別表第２の規定は、この条例の施行の日（以下「施行日」という。）以後の使用に係る使用料で施行日以後に納入するものから適用し、施行日以後の使用に係る使用料で施行日前に納入するもの及び施行日前の使用に係る使用料で施行日以後に納入するものについては、なお従前の例による。

附　則（令和４年２月９日条例第１５号）

（施行期日）

１　この条例は、令和４年４月１日から施行する。ただし、附則第２項及び第３項の規定は、令和４年３月２８日から施行する。

（松本市出張所の設置に関する条例の一部改正）

２　松本市出張所の設置に関する条例（昭和３４年条例第２号）の一部を次のように改正する。

第２条の表中「松本市大字里山辺２，９３０番地の１」を「松本市大字里山辺２９４３番地１」に改める。

（松本市地域づくりを推進する条例の一部改正）

３　松本市地域づくりを推進する条例（平成２６年条例第１号）の一部を次のように改正する。

別表里山辺地区地域づくりセンターの項中「松本市大字里山辺２９３０番地１」を「松本市大字里山辺２９４３番地１」に改める。

（松本市地区福祉ひろば条例の一部改正）

４　松本市地区福祉ひろば条例（平成７年条例第２号）の一部を次のように改正する。

別表松本市里山辺地区福祉ひろばの項中「松本市大字里山辺２９３０番地１」を「松本市大字里山辺２９４３番地１」に改める。

附　則（令和７年３月１８日条例第２９号）

（施行期日）

１　この条例は、令和７年４月１日から施行する。

（経過措置）

２　この条例による改正後の第７条第２項及び別表第２の規定は、この条例の施行の日（以下「施行日」という。）以後の使用に係る使用料で施行日以後に納入するものから適用し、施行日以後の使用に係る使用料で施行日前に納入するもの及び施行日前の使用に係る使用料で施行日以後に納入するものについては、なお従前の例による。

別表第１（第７条関係）

（１）　施設

区分	午前	午後	夜間	午前～午後	午後～夜間	全日
	９：００～１２：３０	１３：００～１７：００	１７：３０～２２：００	９：００～１７：００	１３：００～２２：００	９：００～２２：００
	円	円	円	円	円	円
ホール	７，６４０	８，８００	９，８４０	１５，６１０	１７，７００	２３，６５０
レクリエーション室	２，９３０	３，３５０	３，７７０	５，９６０	６，７６０	９，０４０
大会議室	１，８８０	２，２００	２，４１０	３，８７０	４，３７０	５，８４０
中会議室	９４０	１，０４０	１，１５０	１，８８０	２，０８０	２，８１０
中視聴覚室	９４０	１，０４０	１，１５０	１，８８０	２，０８０	２，８１０
小視聴覚室	４１０	５２０	６２０	８８０	１，０８０	１，３９０
特別室	９４０	１，０４０	１，１５０	１，８８０	２，０８０	２，８１０

備考

１　物品を販売し、及び入場料又はこれに類するものを徴収して施設を使用する場合の使用料は、当該区分に定める額の１００分の２００に相当する額とする。

２　ホールには、主催者事務室及び控室１～３を含む。

３　大・中会議室、中・小視聴覚室及び特別室は、次の室をいう。

区分	室数	室名
大会議室	1	3―2
中会議室	5	3―1、4―1～4―4

中視聴覚室	1	3―B
小視聴覚室	2	3―A、4―C
特別室	4	工作室、保育室、料理実習室、和室

（2） 冷暖房

区分	単位	金額
	1回	円
ホール		6，600
レクリエーション室		2，410
大会議室		1，460
中会議室		730
中視聴覚室		730
小視聴覚室		410
特別室		730

備考 1回とは、午前・午後・夜間をそれぞれ単位とする。

（3） 器具

教育委員会が別に定める額

別表第2（第7条関係）

区分	9：00～17：00（1時間につき）	17：00～21：00（1時間につき）	全日
	円	円	円
コンベンションホール	3，300	3，840	33，000
1階ホール	220	320	2，200
2階ホール	220	320	2，200
会議室	220	320	3，300
視聴覚室	540	760	7，700
実習室	440	660	5，500
研修室	440	660	5，500
和室	440	660	5，500
全館	5，500	7，700	55，000

備考

1 冷房又は暖房を使用するときは、当該区分に定める額の100分の130に相当する額とする。この場合において、算出した額（施設を複数使用する場合は、当該使用料の合計額）に10円未満の端数金額があるときは、その端数金額を切り捨てるものとする。

２　コンベンションホール、視聴覚室及び実習室の使用料には、備品等の使用料を含むものとする。

別表第３（第７条関係）

（１）　施設

区分	午前	午後	夜間	午前～午後	午後～夜間	全日
	９：００～１２：３０	１３：００～１７：００	１７：３０～２２：００	９：００～１７：００	１３：００～２２：００	９：００～２２：００
	円	円	円	円	円	円
講堂（４００m²以上）	２，６１０	４，０８０	４，６１０	６，３５０	８，２５０	１０，１７０
講堂（２００～４００m²）	２，２００	３，２４０	３，６６０	５，１６０	６，５５０	８，１９０
大会議室（１００～２００m²）	１，０４０	１，４６０	１，８８０	２，３７０	３，１７０	３，９４０
中会議室（５０～１００m²）	８３０	１，０４０	１，４６０	１，７７０	２，３７０	２，９９０
小会議室（５０m²以下）	６２０	８３０	１，０４０	１，３７０	１，７７０	２，２４０
料理実習室	１，０４０	１，２５０	１，４６０	２，１７０	２，５７０	３，３７０

（２）　冷暖房

区分	単位	冷房	暖房
	１回	円	円
大会議室（１００m²以上）		１，１５０	１，０４０
中会議室（５０～１００m²）		８３０	８３０
小会議室（５０m²以下）		４１０	３１０
料理実習室		８３０	８３０

備考　１回とは、午前・午後・夜間をそれぞれ単位とする。

（３）　器具

教育委員会が別に定める額

○松本市公民館運営審議会規則

昭和３９年４月１日
教育委員会規則第４号

（目的）

第１条　この規則は、松本市公民館条例（昭和３９年条例第４２号。以下「条例」という。）第３条による松本市公民館運営審議会（以下「審議会」という。）の運営について必要な事項を定める。

（委員の委嘱）

第２条　松本市公民館運営審議会委員（以下「委員」という。）は、条例第３条に規定する者のうちから教育委員会が委嘱する。

（役員）

第３条　審議会の委員長及び副委員長は、委員のうちからそれぞれ１名を互選する。

２　委員長は、会務を掌理する。

３　副委員長は、委員長を補佐し、委員長事故あるときはその職務を代理する。

（職務）

第４条　審議会は、館長の諮問に応じ、中央及び地区公民館の事業の企画実施について調査審議する。

（会議の招集）

第５条　審議会は、委員長が招集する。

（議事）

第６条　審議会の議事は、出席委員の過半数で決し、可否同数のときは委員長の決するところによる。

（委任）

第７条　この規則に定めるものを除くほか、審議会の運営について必要な事項は、委員長が定める。

附　則

（施行期日）

１　この規則は、昭和３９年４月１日から施行する。

（規則の廃止）

２　松本市公民館運営審議会規則（昭和３４年教育委員会規則第７号）は、廃止する。

附　則（令和４年３月２４日教育委員会規則第７号）

（施行期日）

１　この規則は、令和４年３月２４日から施行する。

（経過措置）

２　この規則の施行の際現にこの規則による改正前の松本市公民館運営審議会規則（以下「旧規則」という。）の規定により松本市公民館運営審議会委員に委嘱されている者は、この規則による改正後の松本市公民館運営審議会規則（以下「新規則」という。）の規定により委員として委嘱されたものと

みなす。この場合において、委員の任期は、新規則の規定にかかわらず、旧規則の規定による委員としての残任期間と同一の期間とする。

○松本市Mウイング文化センター運営委員会設置要綱

平成１３年１０月２９日
教育委員会告示第３６号

（目的）

第１条　この要綱は、松本市Mウイング文化センター（以下「文化センター」という。）の円滑な運営を進めるに当たり、広く意見、提言等を聴くため、松本市Mウイング文化センター運営委員会（以下「委員会」という。）を設置することについて必要な事項を定めることを目的とする。

（所掌事項）

第２条　委員会は、文化センターの運営に関し、教育委員会の諮問に応ずる。

２　委員会は、文化センターの運営に関し、教育委員会に対し意見を述べることができる。

（組織）

第３条　委員会は、委員３０人以内をもつて組織する。

２　委員は、次に掲げる者のうちから教育委員会が委嘱する。

(1) 学校教育関係者

(2) 社会教育関係者

(3) 家庭教育の向上に資する活動を行う者

(4) 有識者

(5) 公募による市民

(6) 前各号に掲げるもののほか、教育委員会が必要と認める者

（任期）

第４条　委員の任期は２年とし、再任を妨げない。ただし、欠員を生じた場合における補欠委員の任期は、前任者の残任期間とする。

（委員長及び副委員長）

第５条　委員会に委員長及び副委員長を置く。

２　委員長及び副委員長は、委員の互選により選出する。

３　委員長は、委員会を代表し、会務を総理する。

４　副委員長は、委員長を補佐し、委員長に事故あるときは、その職務を代理する。

（会議）

第６条　委員会は委員長が必要に応じて召集し、会議の議長は委員長が務める。

（庶務）

第７条　委員会の庶務は、教育委員会生涯学習課において処理する。

（補則）

第８条　この要綱に定めるもののほか必要な事項は、教育委員会が別に定める。

附　則

この告示は、平成１３年１０月２９日から施行する。

附　則（平成１８年3月３１日教育委員会告示第８号）

この告示は、平成１８年４月１日から施行する。

附　則（平成２４年3月３０日教育委員会告示第９号）

（施行期日）

1　この告示は、平成２４年４月１日から施行する。

（経過措置）

2　この告示の施行の際現にこの告示による改正前の松本市Mウイング文化センター運営委員会設置要綱（以下「旧要綱」という。）第３条の規定により委嘱されているMウイング文化センター運営委員会委員は、この告示による改正後の第３条の規定により委嘱されたものとみなす。この場合において、当該委員の任期は、旧要綱第３条の規定により委嘱された日から２年とする。

松本市の公民館（令和７年度）

令和７年 12 月発行

発行・編集　松本市生涯学習課・中央公民館

松本市中央１－18－1
℡　0263－32－1132
e-mail:gakushu@city.matsumoto.lg.jp